

岐阜県「子ども調査」  
報告書

令和6年3月

岐阜県



# 目 次

I	調査概要	1
1. 1	調査の目的	1
1. 2	調査の方法	1
1. 3	調査の対象	1
1. 4	調査の期間	1
1. 5	調査基準日	1
1. 6	回収率・集計結果	1
1. 7	報告書の見方	2
II	子どもの貧困率及びクロス集計のための分類	3
2. 1	本調査における子どもの貧困率の定義	3
2. 2	岐阜県の子どもの貧困率	3
2. 3	所得による分類	4
2. 4	父母のいずれかの有無による分類	4
III	子ども（小学5年生・中学2年生）調査	5
3. 1	回答者の属性	5
(1)	回答者の住んでいる市町村の圏域	5
(2)	回答者の性別	5
(3)	自分が使うことができるもの	6
3. 2	夢について	9
(1)	将来の夢	9
(2)	夢がない理由	10
3. 3	友だちについて	11
(1)	友だちとの関係	11
3. 4	地域での活動について	14
(1)	地域での活動への参加	14
3. 5	学校・勉強について	15
(1)	学校生活	15
(2)	学校での成績	17
(3)	学校の授業	18
(4)	下校後の1日あたりの勉強時間	19
(5)	学習塾	20
(6)	将来、行きたい学校	21
(7)	現実的に行くと思う学校	22
(8)	現実的に行くと思う学校を選んだ理由	23

3. 6	健康について.....	24
(1)	自分の健康状態.....	24
(2)	虫歯の状況.....	24
(3)	学校のある日の起床時間.....	25
(4)	学校のある日の就寝時間.....	25
3. 7	食事について.....	26
(1)	学校のある日の朝ごはん.....	26
(2)	学校のある日の夕ごはん.....	27
(3)	学校のない日の朝ごはん.....	28
(4)	学校のない日の夕ごはん.....	29
3. 8	家庭について.....	30
(1)	両親との会話の頻度.....	30
3. 9	自分のことについて.....	33
(1)	自分自身の思いや気持ち.....	33
(2)	学校などでの経験.....	35
(3)	相談先.....	36
3. 10	自由記述.....	38
(夢について)	.....	38
(友達について)	.....	38
(地域での活動について)	.....	38
(学校・勉強について)	.....	38
(家庭について)	.....	38
(自分のことについて)	.....	39
(その他)	.....	39

#### IV 保護者（小学1年生・小学5年生・中学2年生）調査.....40

4. 1	回答者の属性.....	40
(1)	回答者の住んでいる市町村の圏域.....	40
(2)	調査票の回答者.....	40
(3)	生計をともにしている人数.....	41
4. 2	就労について.....	43
(1)	就労状況「母親」.....	43
(2)	就労していない「母親」の現在の状況.....	44
(3)	現在の職業「母親」.....	45
(4)	仕事の勤務時間など「母親」.....	47
(5)	雇用期間の定め「母親」.....	52
(6)	就労状況「父親」.....	53
(7)	就労していない「父親」の現在の状況.....	54
(8)	現在の職業「父親」.....	55
(9)	仕事の勤務時間など「父親」.....	57
(10)	雇用期間の定め「父親」.....	62

4. 3	お子さんのことについて	62
(1)	ひらがな	62
(2)	ひらがな(現在)	63
(3)	通っていた施設	64
(4)	通っていた施設の1ヶ月の利用料	65
(5)	これまでの子育ての中で、あたり思ったりしたこと	66
(6)	子どもが放課後の時間を過ごす場所	68
(7)	学童保育施設の1ヶ月の利用料	70
(8)	学童保育施設を利用していない理由	70
(9)	子どもが放課後誰と過ごすことが多いか	71
(10)	子ども用のもの	73
(11)	子どもにしていること	76
(12)	地域のクラブ活動等	79
(13)	地域のクラブ活動等の種類	80
(14)	地域のクラブ活動等以外の有料の習い事	81
(15)	地域のクラブ活動等以外の有料の習い事の種類	82
(16)	教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの	84
(17)	どの段階まで教育を受けさせたいか	86
4. 4	お子さんとの関係について	88
(1)	子どもとの関係	88
4. 5	あなたの地域や友人・知人、社会との関係について	91
(1)	当てはまること	91
(2)	子どもを預かってもらえる人の有無	94
4. 6	健康状況について	95
(1)	健康状態	95
(2)	心の状態	96
(3)	子どもを医療機関へ受診させなかったこと	99
(4)	子どもを医療機関へ受診させなかった理由	100
4. 7	人生経験について	101
(1)	母親の最終学歴	101
(2)	父親の最終学歴	102
(3)	15歳頃の家庭の様子	103
(4)	15歳頃の家庭の暮らし向き	103
4. 8	現在の暮らしについて	104
(1)	家庭の現在の暮らし向き	104
(2)	家庭の通常の家計状況	105
(3)	経済的な理由から食料や衣料が買えないことがあったか	106
(4)	経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができなかったことがあったか	107
(5)	電気、ガス、水道を止められた経験	109
(6)	制度利用(支援)の有無	110

4. 9 収入について.....	113
(1) 世帯収入 .....	113
(2) 世帯収入(合算値)のうち受給しているもの.....	115
(3) 母親と父親の年間収入 .....	120
4. 10 支出について.....	124
(1) 世帯の1ヶ月の平均的な支出 .....	124
(2) 世帯の1ヶ月の食費.....	126
(3) 世帯の1ヶ月の住居費.....	127
(4) 子ども1人の学校以外の教育費.....	128
4. 11 お子さんへの支援について.....	130
(1) 利用したいと思うもの .....	130
(2) 利用したくない・必要だと思わない理由 .....	132
4. 12 自由記述.....	136
(就労について) .....	136
(子どもについて) .....	136
(子どもとの関係について) .....	136
(地域や友人等との関係について) .....	136
(健康状態について) .....	136
(支出について) .....	137
(お子さんへの支援について) .....	137
(その他) .....	137

## V 子ども(小学5年生・中学2年生)調査(クロス集計) .138

5. 1 学校・勉強について.....	138
(1) 学校生活 .....	138
(2) 学校での成績.....	147
(3) 学校の授業.....	149
(4) 下校後の1日あたりの勉強時間.....	151
(5) 学習塾 .....	153
(6) 将来、行きたい学校 .....	155
(7) 現実的に行くと思う学校 .....	158
(8) 現実的に行くと思う学校を選んだ理由 .....	162
5. 2 健康について.....	166
(1) 虫歯の状況.....	166
5. 3 食事について.....	167
(1) 学校のある日の朝ごはん .....	167
(2) 学校のある日の夕ごはん .....	169
(3) 学校のない日の朝ごはん .....	171
(4) 学校のない日の夕ごはん .....	173
5. 4 自分について.....	175
(1) 自分自身の思いや気持ち .....	175

(2) 学校などでの経験.....	185
(3) 相談先.....	189

## VI 保護者（小学1年生・小学5年生・中学2年生）調査 （クロス集計）..... 192

6. 1 就労について.....	192
(1) 就労状況「母親」.....	192
(2) 就労状況「父親」.....	193
6. 2 お子さんのことについて.....	194
(1) ひらがな.....	194
(2) ひらがなについて（現在）.....	196
(3) これまでの子育ての中で、あたり思ったりしたこと.....	198
(4) 子どもが放課後の時間を過ごす場所.....	207
(5) 学童保育施設の1ヶ月の利用料.....	210
(6) 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか.....	211
(7) 子ども用のもの.....	213
(8) 子どもにしていること.....	225
(9) 地域のクラブ活動等以外の有料の習い事.....	236
(10) 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの.....	237
(11) どの段階まで教育を受けさせたいか.....	240
6. 3 お子さんとの関係について.....	246
(1) 子どもとの関係.....	246
6. 4 あなたの地域や友人・知人、社会との関係について.....	254
(1) 当てはまること.....	254
(2) 子どもを預かってもらえる人の有無.....	260
6. 5 健康状況について.....	262
(1) 健康状態.....	262
(2) 心の状態.....	264
6. 6 人生経験について.....	275
(1) 母親の最終学歴.....	275
(2) 父親の最終学歴.....	277
(3) 15歳頃の家庭の暮らし向き.....	279
6. 7 現在の暮らしについて.....	280
(1) 家庭の現在の暮らし向き.....	280
(2) 家庭の通常の家計状況.....	282
(3) 経済的な理由から食料や衣料が買えないことがあったか.....	284
(4) 経済的な理由から月々の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができなかったことがあったか.....	286
6. 8 支出について.....	294
(1) 子ども1人の学校以外の教育費.....	294

6. 9	お子さんへの支援について .....	296
(1)	利用したいと思うもの .....	296
(2)	利用したくない・必要だと思わない理由 .....	301

## **VII 調査票..... 308**

7. 1	小学生5年生（子ども） .....	308
7. 2	中学2年生（子ども） .....	318
7. 3	小学1年生（保護者） .....	328
7. 4	小学5年生・中学2年生（保護者） .....	348

# I 調査概要

## 1. 1 調査の目的

岐阜県に住む子どもを取り巻く環境が、子どもの日々の生活などに、どのように影響しているかを調べ、その結果を県の施策に活用することを目的として実施しました。

## 1. 2 調査の方法

岐阜県全域において、アンケート調査を実施しました無作為抽出した対象世帯に対して調査票を郵送し、郵送又はオンライン回答で調査しました。

## 1. 3 調査の対象

小学校5年生及び中学校2年生の子ども各2,000人(計4,000人)と、小学校1年生、小学校5年生及び中学校2年生の保護者各2,000人(計6,000人(世帯))としました(42市町村の住民基本台帳より無作為抽出)。

## 1. 4 調査の期間

令和5年11月1日～30日

## 1. 5 調査基準日

令和5年9月1日

## 1. 6 回収率・集計結果

調査対象	保護者			子ども		合計	
	小1	小5	中2	小5	中2		
配布数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
	6,000			4,000			
回収数	1,096	900	855	821	775	4,447	
	2,851			1,596			
	内(郵送)	601	631	522	609	514	2,877
	内(オンライン)	495	269	333	212	261	1,570
回収率	54.8%	45.0%	42.8%	41.1%	38.8%	44.5%	
	47.5%			39.9%			
	内(郵送)	54.8%	70.1%	61.1%	74.2%	66.3%	64.7%
	内(オンライン)	45.2%	29.9%	38.9%	25.8%	33.7%	35.3%

※内は、回答数の中で、郵送の割合・Webの割合

回収率について、全体では、前回42.7%より上回り、今回は44.5%となりました。子ども小5を除き、1.3～5.8ポイント高くなっています。保護者と子どもで分けると、子どもの回収率は変わりませんが、保護者の回収率は前回44.5%から今回47.5%と上がっており、オンライン回答の採用により高くなった可能性があります。

## 1. 7 報告書の見方

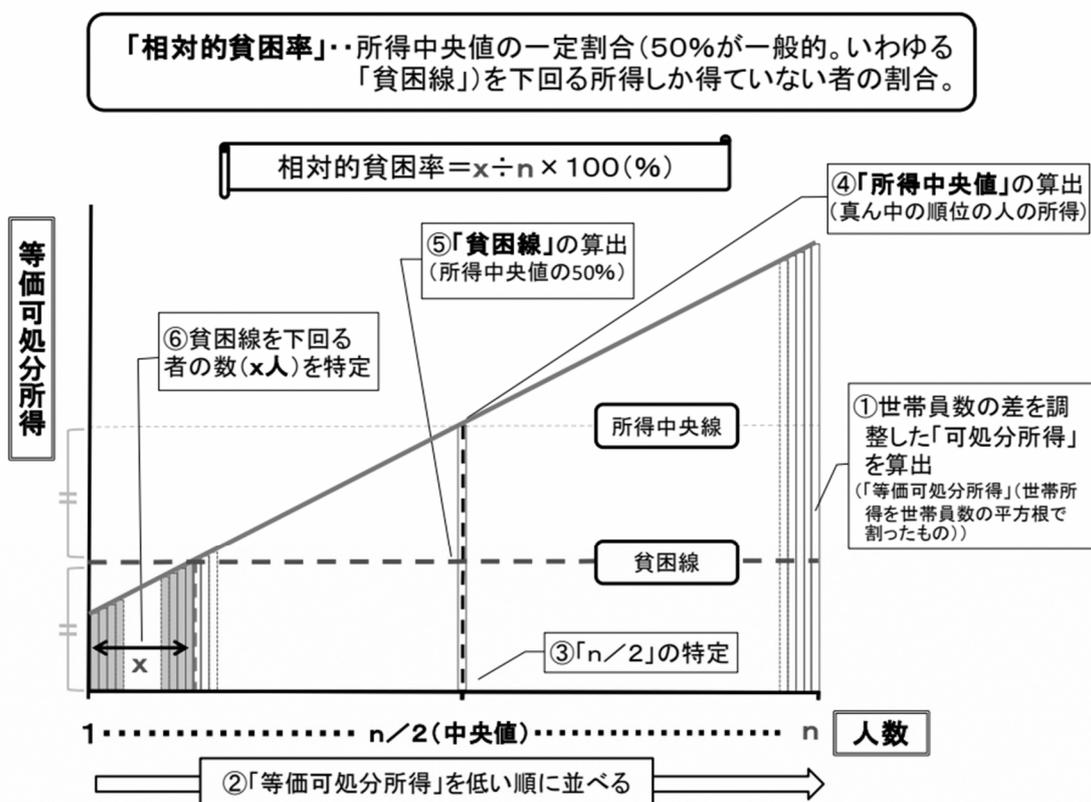
- (1) 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれ回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書の読み取り文、グラフ、表においても反映しています。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。
- (4) 図表中の「n (numberofcase)」は、集計対象者総数（又は回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- (5) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。
- (6) クロス集計では、回答がない場合や同一世帯の確認ができない保護者と子どもの調査票がある場合は、集計数と一致しないことがあります。

## Ⅱ 子どもの貧困率及びクロス集計のための分類

### 2. 1 本調査における子どもの貧困率の定義

貧困に対する考え方には、「各家計がこれ以下の所得だと食べていけない、あるいは最低限度の生活を送ることができない、といった絶対的な水準」を示す「絶対的貧困」と「所得額が国や地域における平均的な生活水準に満たない状態」を示す「相対的貧困」がありますが、本調査では「相対的貧困」を用いることとしました。

厚生労働省の国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準である貧困線を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいいます。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って算出した所得）の中央値の半分の額をいいます。この算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づいています。



※厚生労働省HP（参考資料）

### 2. 2 岐阜県の子どもの貧困率

2. 1で示した方法により算出した本県の「子どもの貧困率」は、6.7%でした。なお、岐阜県の子どもの貧困率では、子どもがいる世帯を単位として計算しました。

＜岐阜県の子どもの貧困率＞ 6.7%

## 2. 3 所得による分類

本調査では、貧困と非貧困以外にも、貧困線を上回る程度の差異を把握するため、等価可処分所得の額により、下記の4つの所得区分に分類しました。各学年とも所得区分Ⅳの割合が最も高く、学年があがるほど高くなっています。

### ■岐阜県子ども調査独自の貧困線

	区分	定義	小1	小5	中2	全体
↓ 貧困線	所得区分Ⅰ	137万円（貧困線）未満	5.9%	6.5%	8.0%	6.7%
	所得区分Ⅱ	205万円（Ⅰの1.5倍）未満	21.0%	19.8%	15.7%	19.1%
	所得区分Ⅲ	274万円（Ⅰの2倍）未満	19.8%	19.2%	21.1%	20.0%
↑ 中央値	所得区分Ⅳ	274万円（Ⅰの2倍）以上	53.1%	54.3%	54.9%	54.0%
	合計（分類可能）(n)		969	791	742	2,502

(参考) ■令和4年国民生活基礎調査の貧困線

	区分	定義	小1	小5	中2	全体
↓ 貧困線	所得区分Ⅰ	127万円（貧困線）未満	5.1%	5.8%	6.7%	5.8%
	所得区分Ⅱ	190万円（Ⅰの1.5倍）未満	17.1%	16.4%	12.6%	15.5%
	所得区分Ⅲ	254万円（Ⅰの2倍）未満	20.9%	19.3%	20.6%	20.3%
↑ 中央値	所得区分Ⅳ	254万円（Ⅰの2倍）以上	56.7%	58.4%	59.9%	58.2%
	合計（分類可能）(n)		969	791	742	2,502

## 2. 4 父母のいずれかの有無による分類

父母のいずれかの有無による差異を把握するため、父母のいずれかがいない「ひとり親世帯」と「その他の世帯」に分類しました。ひとり親世帯の割合は中2が最も高くなっています。

区分	小1	小5	中2	全体
ひとり親世帯	8.3%	8.8%	11.3%	9.4%
その他の世帯	91.6%	91.1%	88.6%	90.5%
合計（分類可能）(n)	1,096	900	855	2,851

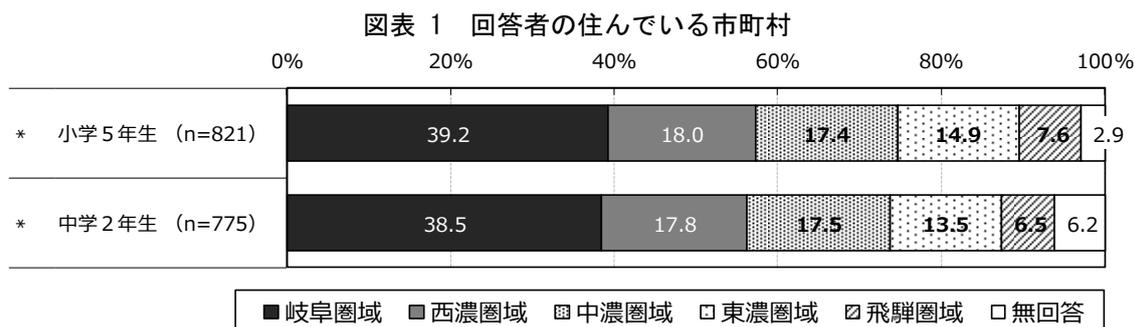
### Ⅲ 子ども（小学5年生・中学2年生）調査

#### 3. 1 回答者の属性

##### (1) 回答者の住んでいる市町村の圏域

【小学5年生・中学2年生：問1】  
あなたの住んでいる市町村に○をつけてください。（○はひとつ）

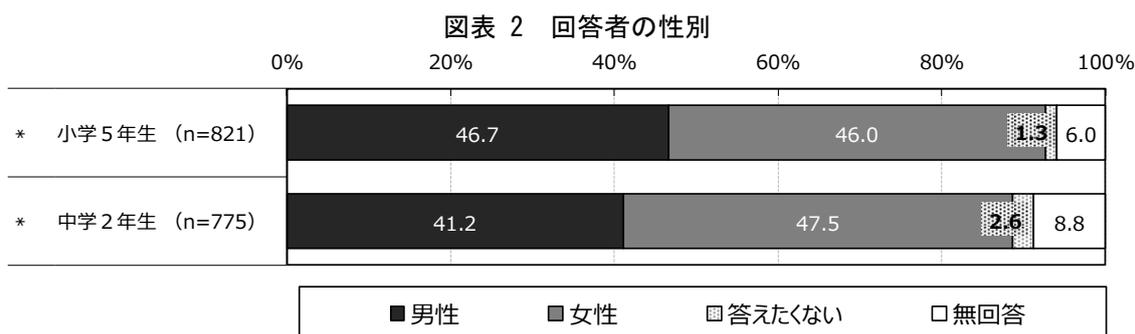
回答者の住んでいる市町村の圏域別状況については、次のとおりとなっています。



##### (2) 回答者の性別

【小学5年生・中学2年生：問2】  
あなたの性別に○をつけてください。（○はひとつ）

回答者の性別については、小5は「男性」、「女性」ともほぼ同率となっています。中2については、「女性」が「男性」よりも約5%多くなっています。

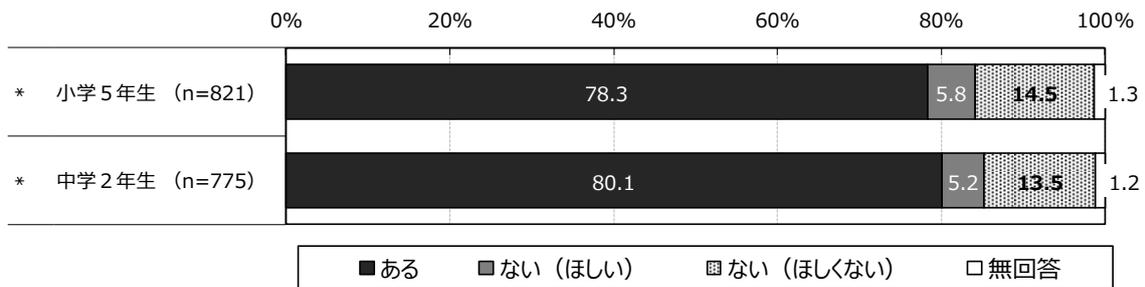


(3) 自分が使うことができるもの

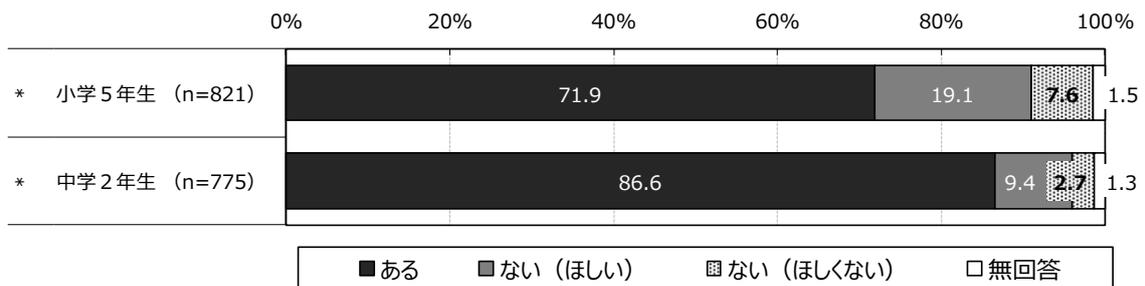
【小学5年生・中学2年生：問4】  
 あなたは、自分が使うことができる、A～Mのものがありますか。  
 ある場合は、「1 ある」の番号に○をつけてください。  
 ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらないと思うものは  
 「3 ほしくない」の番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

自分が使うことができるものについては、全体的に小5に比べて中2の方が「ある」割合が高くなっていますが、「ゲーム機」・「自転車」のみ、小5の方が「ある」割合が高くなっています。小5・中2とも大半の人が「ある」としているのは「自分だけの本」(約78～80%)、「子ども部屋」(約71～86%)、「自分専用の勉強机」(約70～88%)、「自分専用の文房具」(約94～97%)、「スポーツ用品」(約74～78%)、「ゲーム機」(約83～86%)、「自転車」(約89～94%)、「ちょっとしたおやつやおもちゃを買うおこづかい」(約82～86%)となっています。一方、「ない、(ほしい)」割合が高いのは「スマートフォン・携帯電話」、「携帯音楽プレイヤーなど音楽をきくもの」、「インターネットにつながるパソコン」となっています。

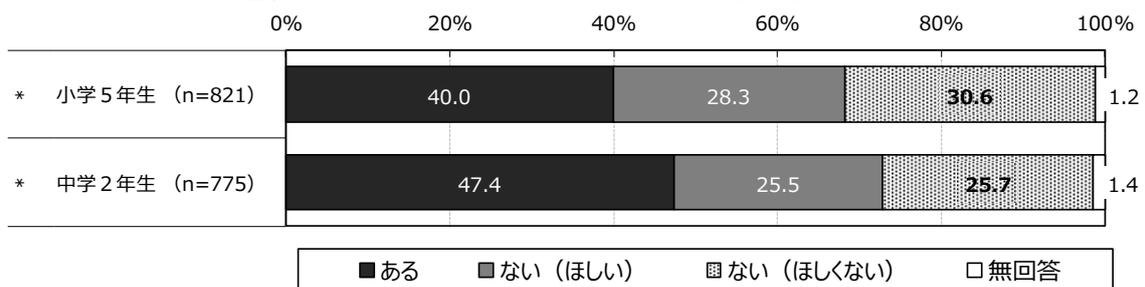
図表 3-1 ア (A) 自分だけの本



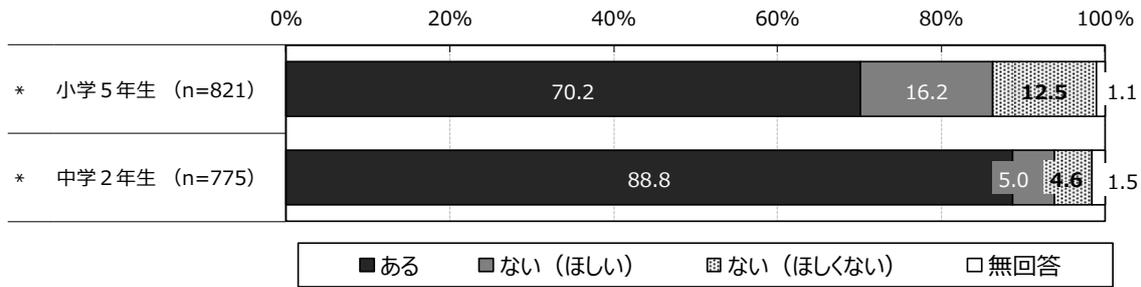
図表 3-2 イ (B) 子ども部屋



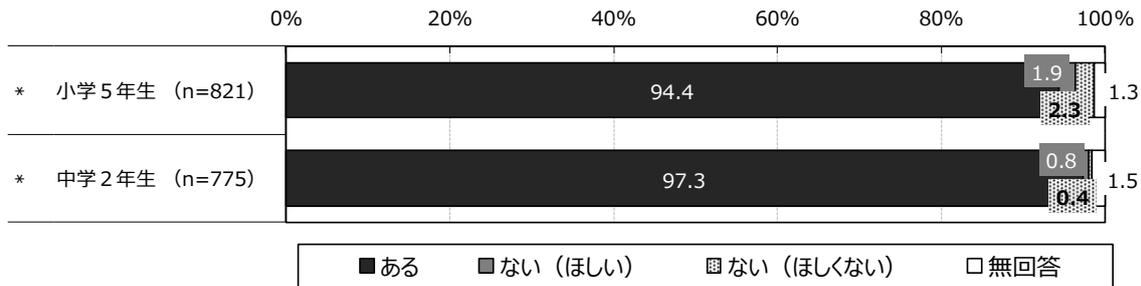
図表 3-3 ウ (C) インターネットにつながるパソコン



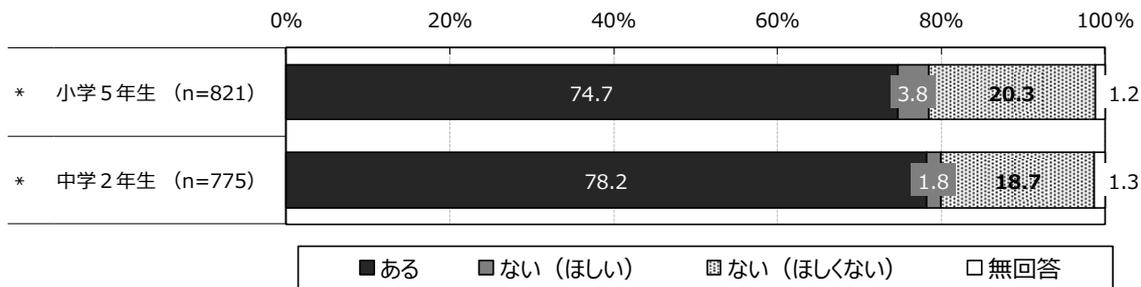
図表 3-4 エ (D) 自分専用の勉強机



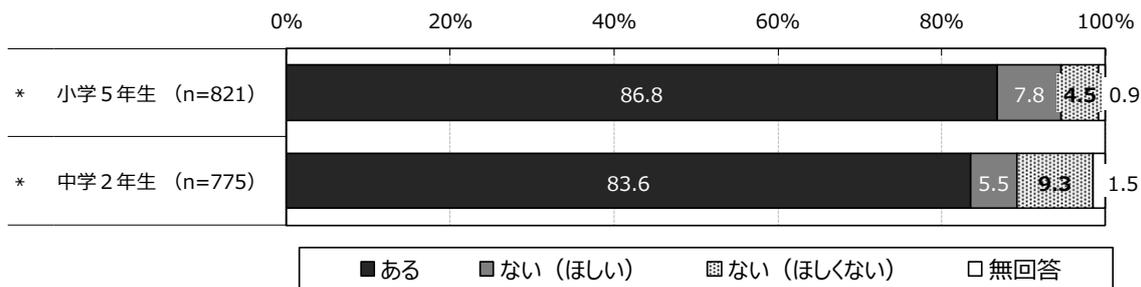
図表 3-5 オ (E) 自分専用の文房具



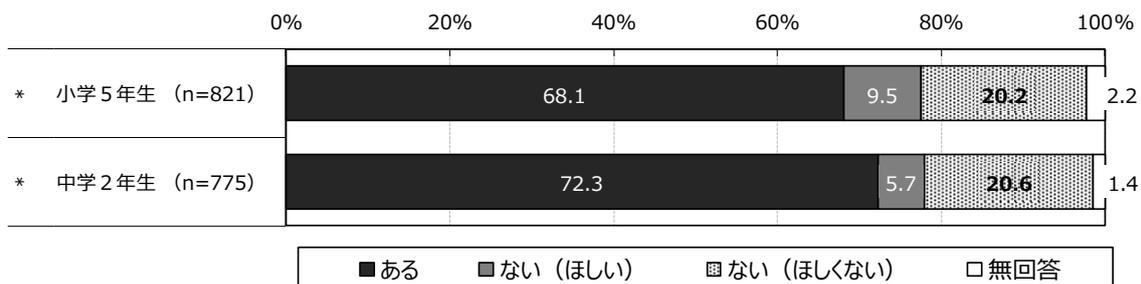
図表 3-6 カ (F) スポーツ用品



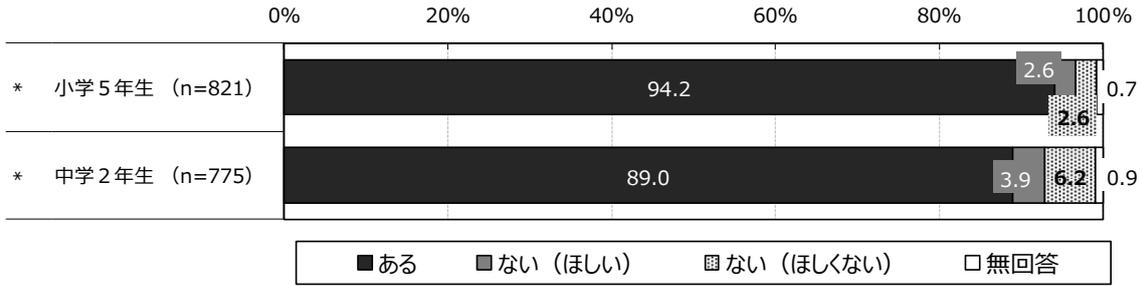
図表 3-7 キ (G) ゲーム機



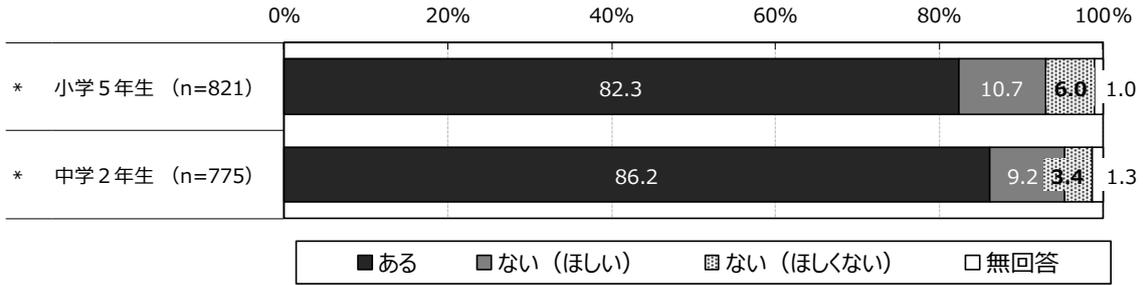
図表 3-8 ク (H) たいていの友だちが持っているおもちゃ



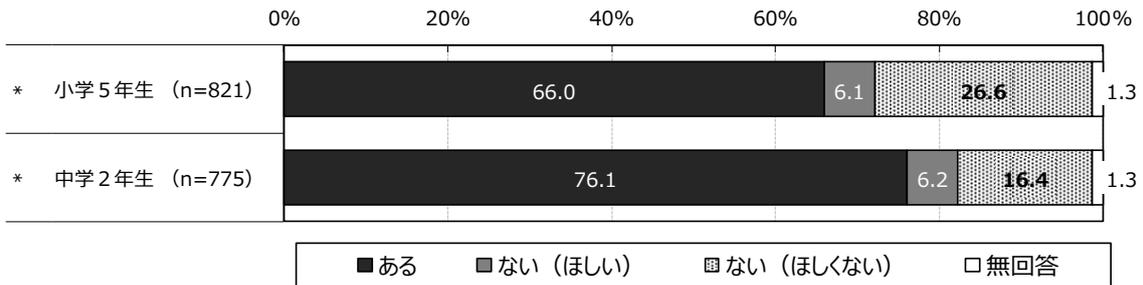
図表 3-9 ケ (I) 自転車



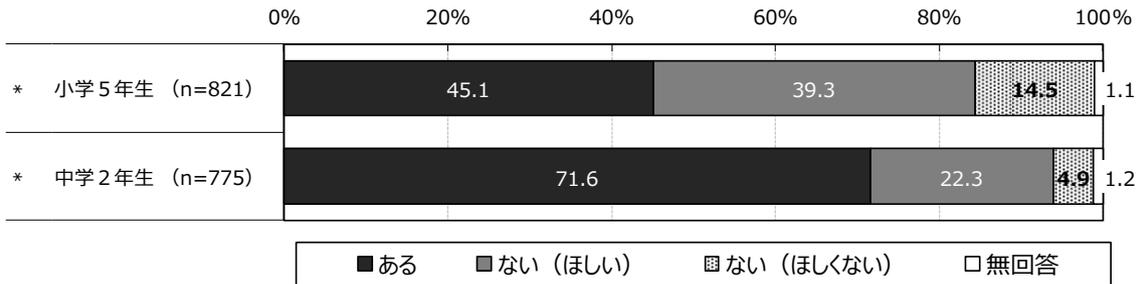
図表 3-10 コ (J) ちょっとしたおやつやおもちゃを買うおこづかい



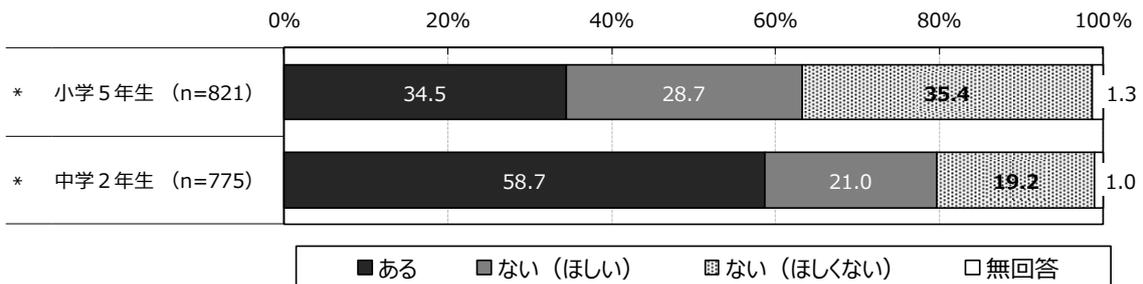
図表 3-11 サ (K) 友だちが着ているのと同じような服



図表 3-12 シ (L) 携帯電話・スマートフォン



図表 3-13 ス (M) 携帯音楽プレイヤーなど音楽をきくもの



### 3. 2 夢について

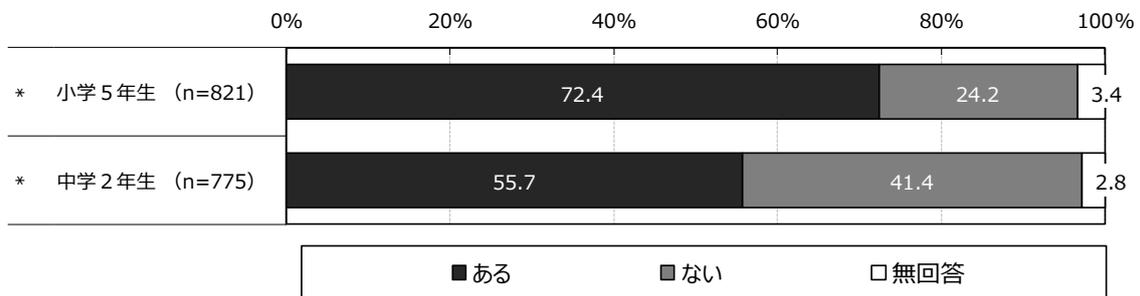
#### (1) 将来の夢

【小学5年生・中学2年生：問5-1】  
あなたは、将来の夢がありますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

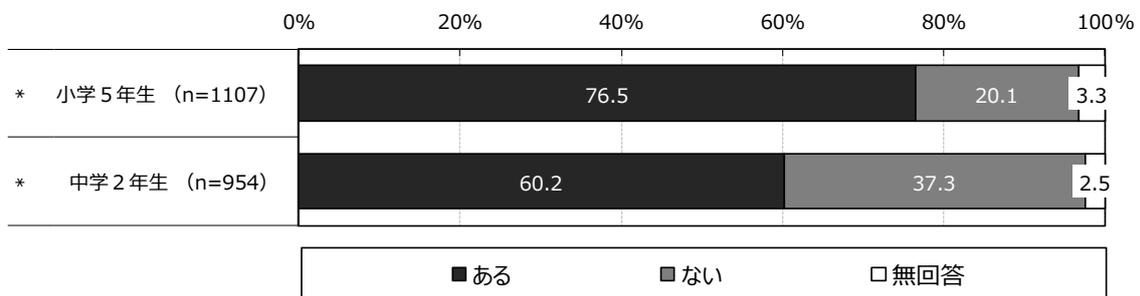
将来の夢については、小5は「ある」が、72.4%、中2でも、「ある」が55.7%とそれぞれ半数を超えています。中2では、「ない」が41.4%と小5より17.2ポイント高くなっています。

平成30年度調査と比較して小5、中2とも「ある」が減少し、「ない」が増加しています。

図表4 将来の夢



[平成30年度調査 図表4 将来の夢]



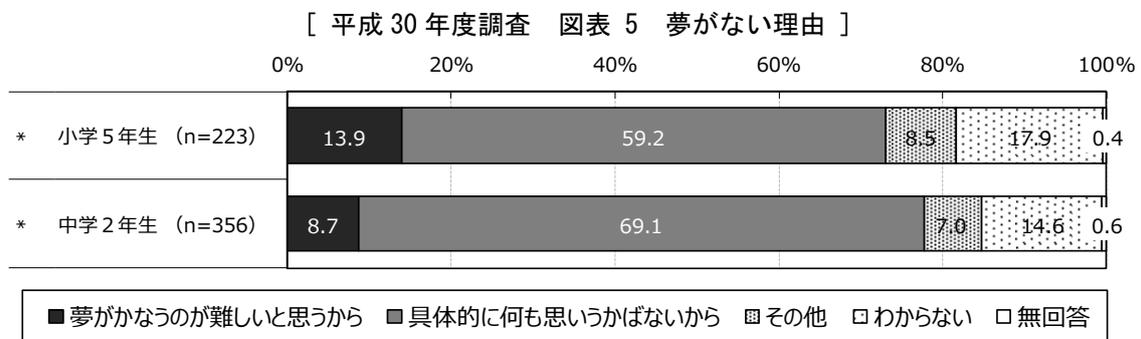
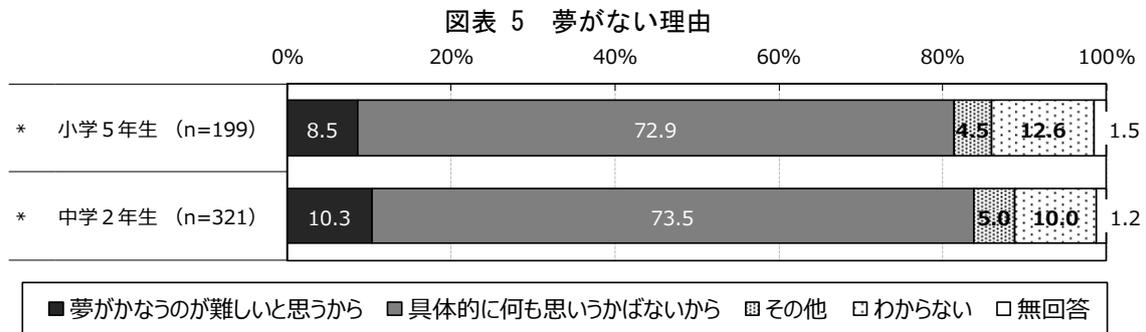
(2) 夢がない理由

【小学5年生・中学2年生：問5-2】  
 ※問5-1で「2 ない」と答えた人に聞きます。  
 夢がない理由はなんですか。  
 もっともあてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

※問5-1で「ない」と回答した方のみ

夢がない理由については、小5、中2ともに「具体的に何も思いうかばないから」がそれぞれ最も高くなっており約7割強占めています。「夢がかなうのが難しいと思うから」では、中2は小5よりも1.8ポイント高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5の「夢がかなうのが難しいと思うから」が5.4ポイント低くなっています。



### 3. 3 友だちについて

#### (1) 友だちとの関係

【小学5年生・中学2年生：問6】

あなたは、友だちとの関係についてどう思っていますか。

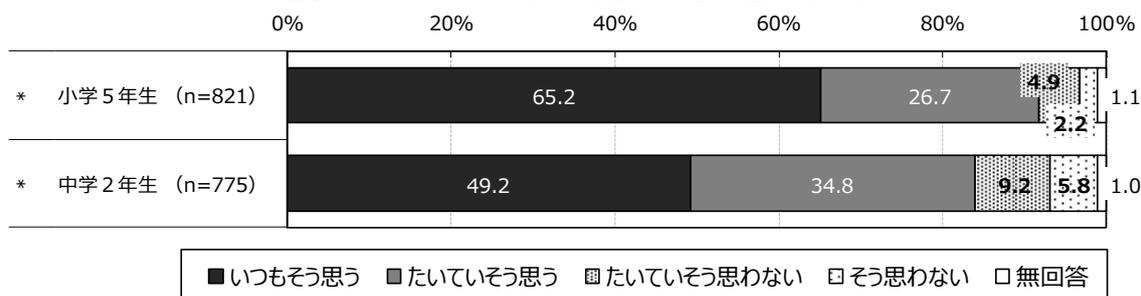
次のAそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

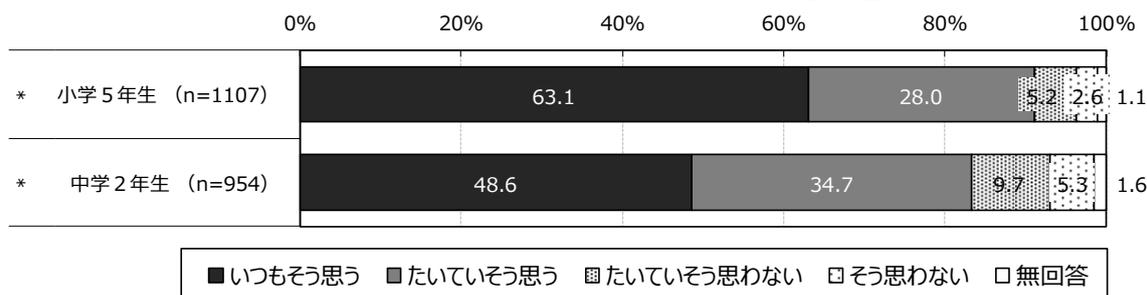
友だちとの関係については、「友だちとたくさん遊んでいる」の小5と「友だちと仲良くしている」の小5と中2に対して「いつもそう思う」と「たいていそう思う」と答えた割合は、90%を超えています。また、「友だちから好かれている」と答えた人の割合は、「たいていそう思う」が最も高く、小5・中2ともに約半数となっています。

平成30年度調査と比較して、「友だちとたくさん遊んでいる」、「友だちと仲良くしている」、「自分が友だちとくらべてちがうと感じる」では、大きな変化は見られませんでした。「友だちから好かれている」では、いずれの学年においても「いつもそう思う」の割合が増えています。

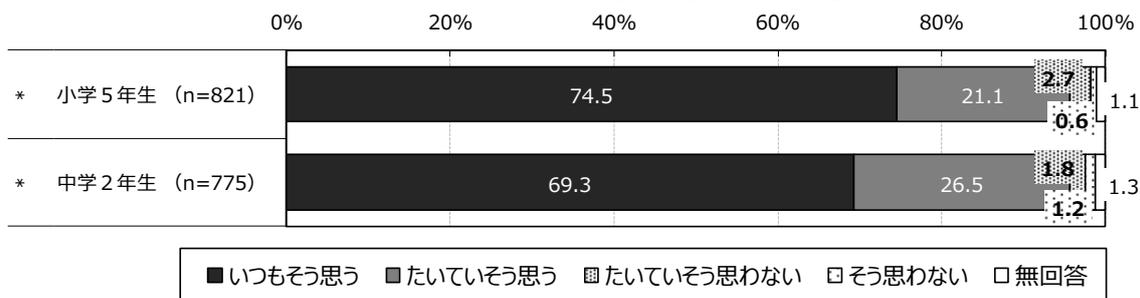
図表 6-1 ア (A) 友だちとたくさん遊んでいる



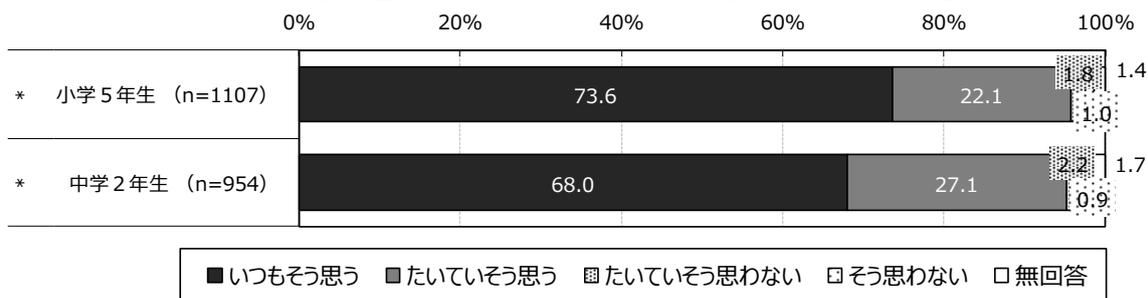
[平成30年度調査 図表 6-1 ア (A) 友だちとたくさん遊んでいる]



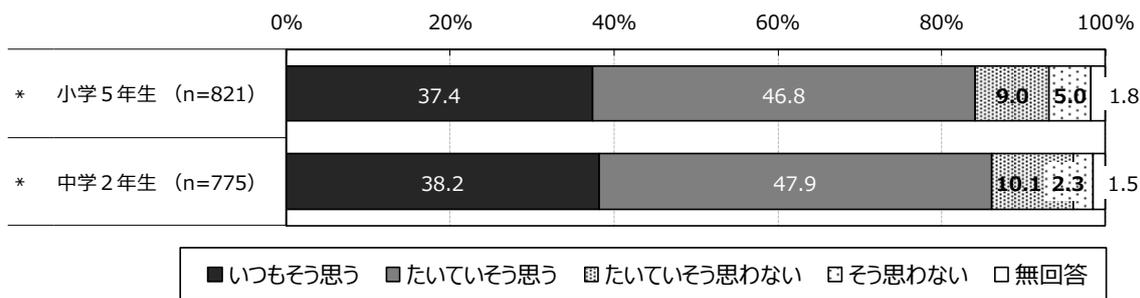
図表 6-2 イ (B) 友だちと仲良くしている



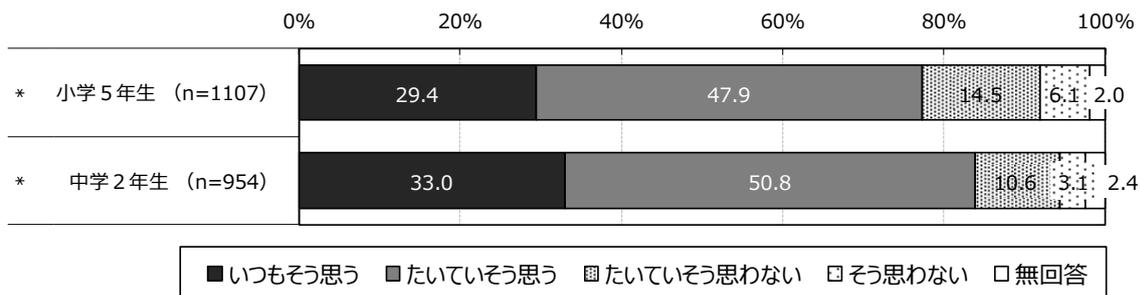
[平成30年度調査 図表 6-2 イ (B) 友だちと仲良くしている]



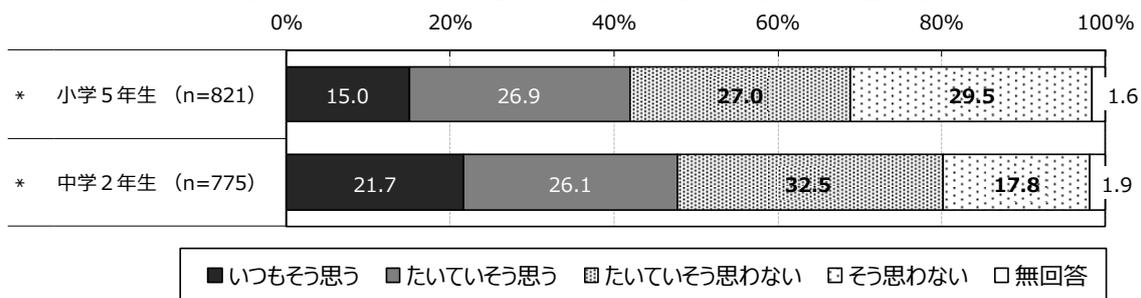
図表 6-3 ウ (C) 友だちから好かれている



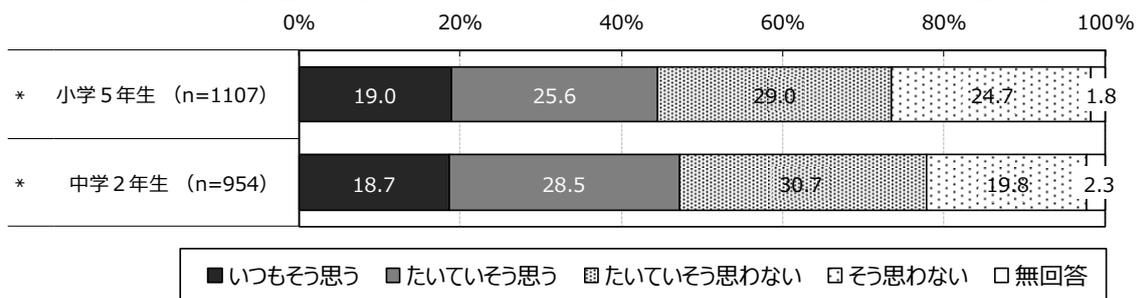
[平成30年度調査 図表 6-3 ウ (C) 友だちから好かれている]



図表 6-4 エ (D) 自分が友だちとくらべてちがうと感じる



[ 平成 30 年度調査 図表 6-4 エ (D) 自分が友だちとくらべてちがうと感じる ]



### 3. 4 地域での活動について

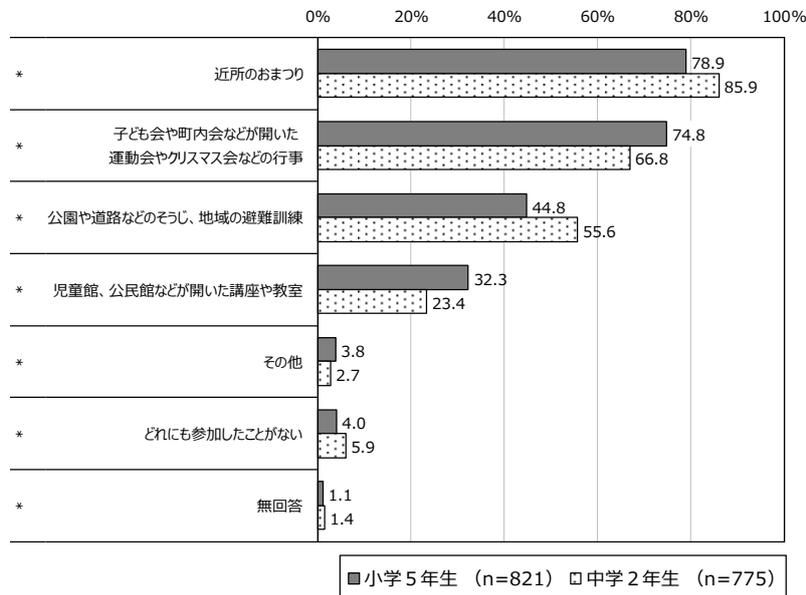
#### (1) 地域での活動への参加

【小学5年生・中学2年生：問7】  
 あなたは、あなたの住んでいる地域で次のような活動に参加したことがありますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

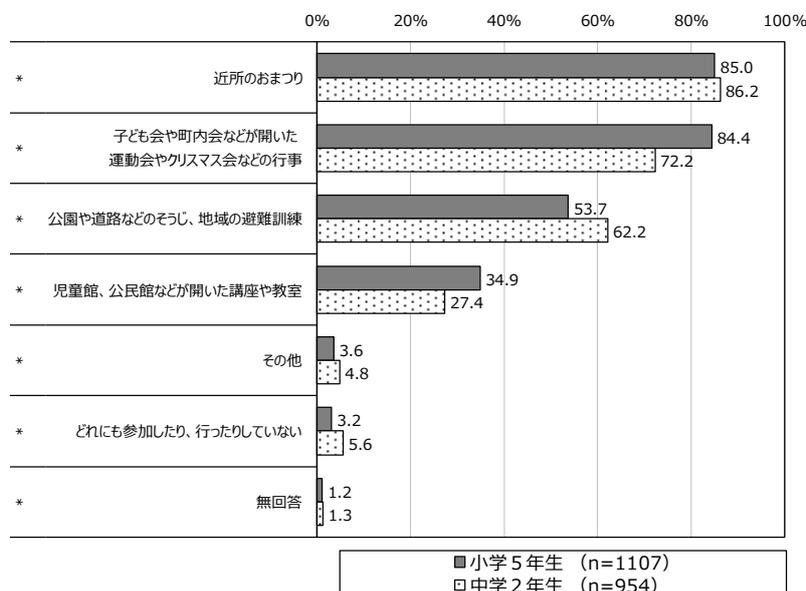
地域での活動への参加については、小5・中2ともに「近所のおまつり」が78%以上となっており、それぞれ最も高くなっています。次いで小5・中2ともに「子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事」、「公園や道路などのそうじ、地域の避難訓練」、「児童館、公民館などが開いた講座や教室」の順となっています。

平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。

図表7 地域での活動への参加



[平成30年度調査 図表7 地域での活動への参加]



### 3. 5 学校・勉強について

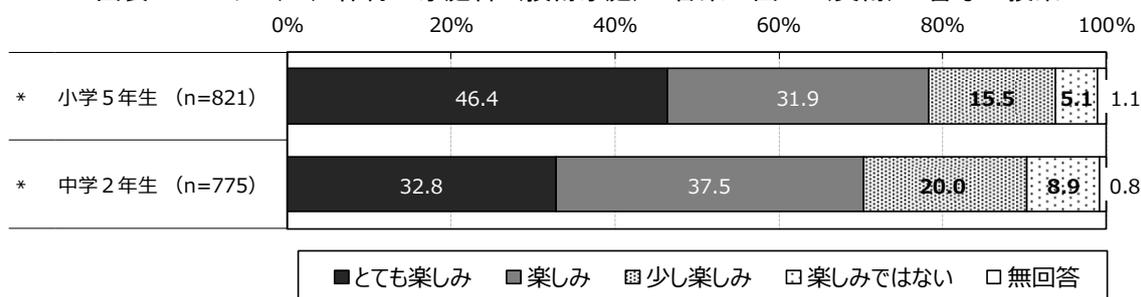
#### (1) 学校生活

【小学5年生・中学2年生：問8】

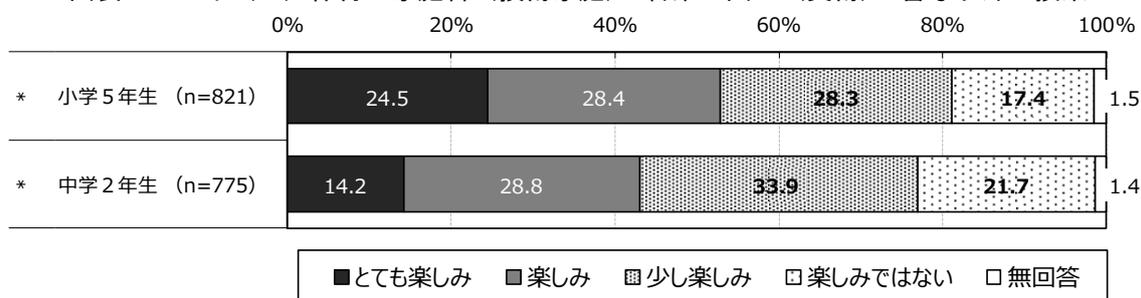
あなたの学校生活についてお聞きます。次のA～Hについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

学校生活については、小5・中2とも「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)の割合が高いのは「友だちに会うこと」、「休み時間」、「クラブ活動(部活動)」、「給食」となっています。小5では、「体育・家庭科(技術家庭)音楽・図工(美術)・書写の授業」の割合も高くなっています。

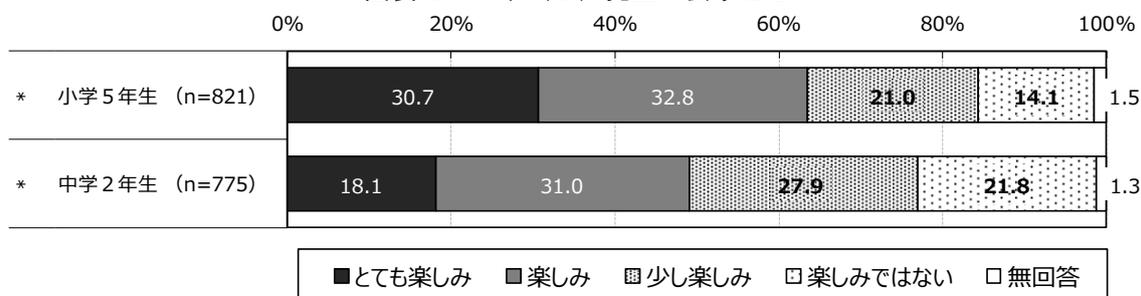
図表 8-1 ア (A) 体育・家庭科(技術家庭)・音楽・図工(美術)・書写の授業



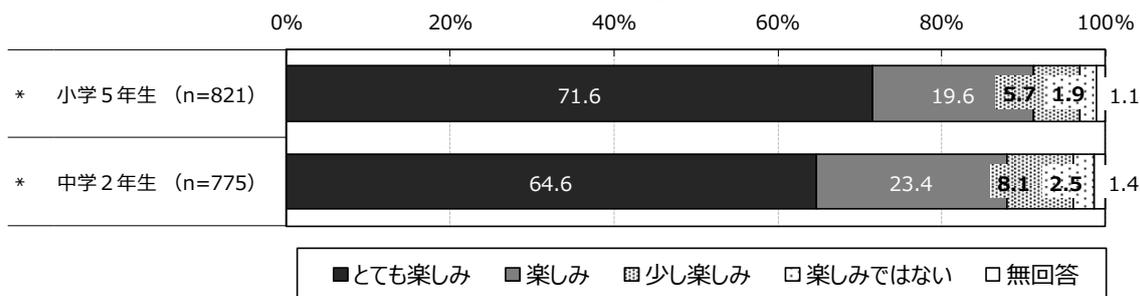
図表 8-2 イ (B) 体育・家庭科(技術家庭)・音楽・図工(美術)・書写以外の授業



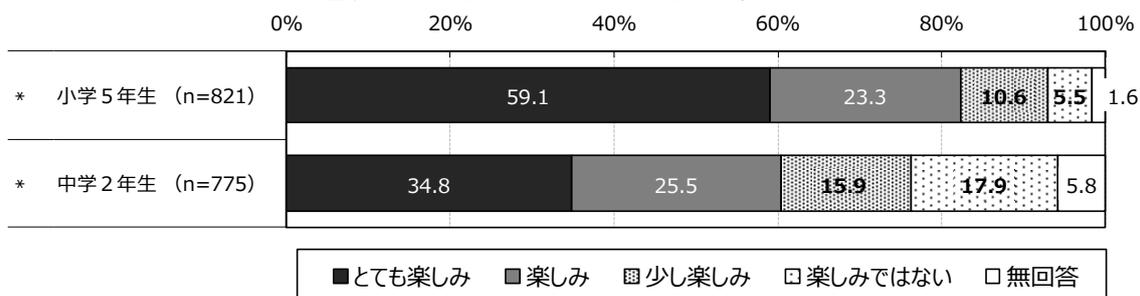
図表 8-3 ウ (C) 先生に会うこと



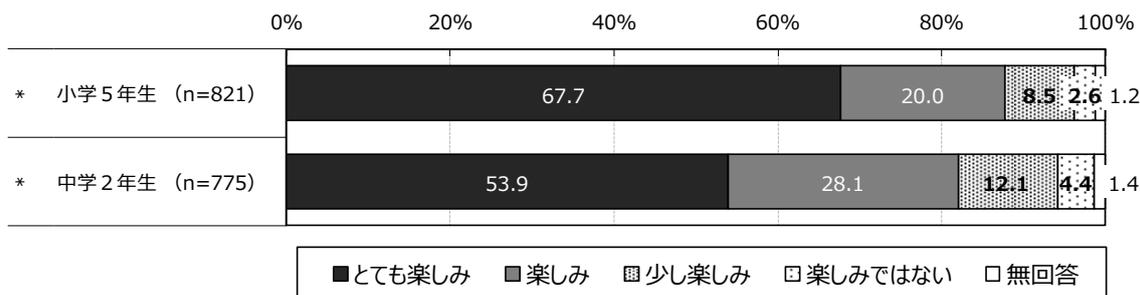
図表 8-4 エ (D) 友だちに会うこと



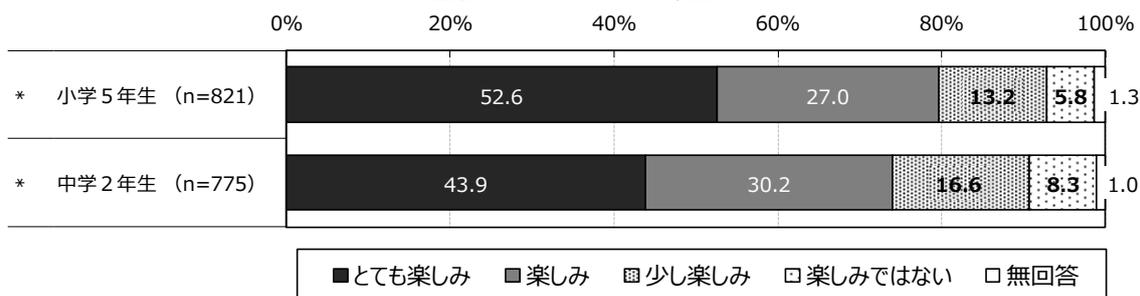
図表 8-5 オ (E) クラブ活動 (部活動)



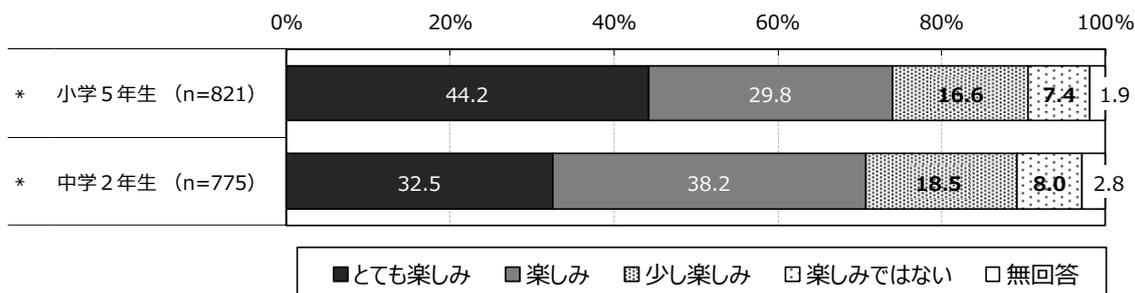
図表 8-6 カ (F) 休み時間



図表 8-7 キ (G) 給食



図表 8-8 ク (H) その他の時間



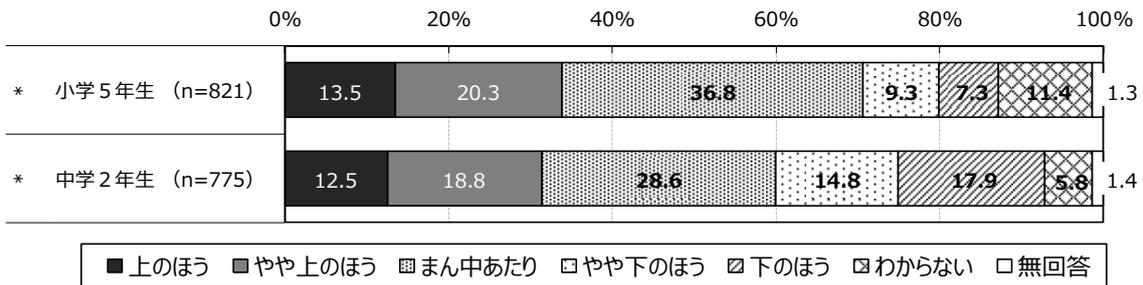
(2) 学校での成績

【小学5年生・中学2年生：問9】  
 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

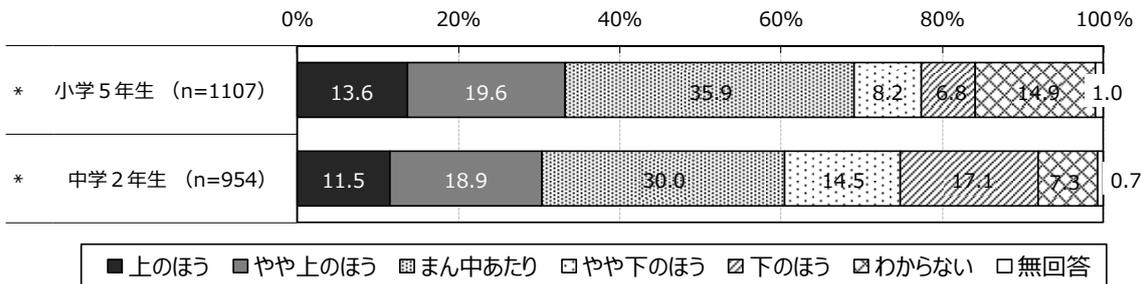
学校での成績については、「上のほう」(「上のほう」+「やや上のほう」)(小5:33.8%、中2:31.3%)、「まん中あたり」(小5:36.8%、中2:28.6%)「下のほう」(「やや下のほう」+「下のほう」)(小5:16.6%、中2:32.7%)となっています。

平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。

図表9 学校での成績



[平成30年度調査 図表9 学校での成績]



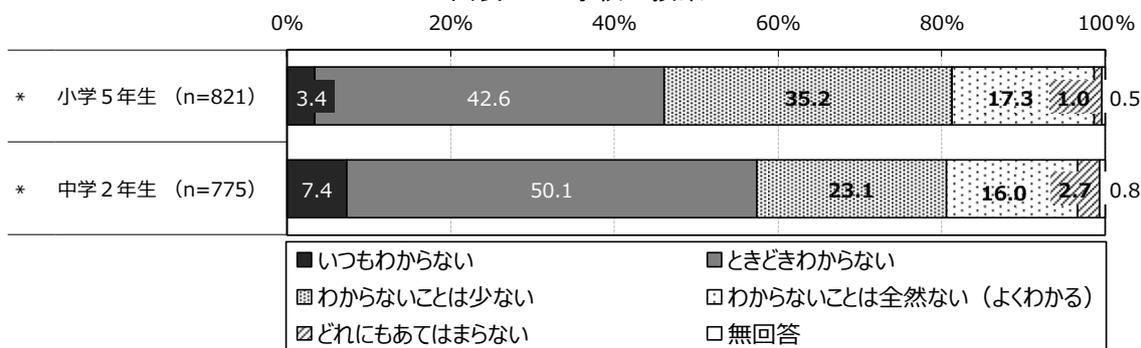
(3) 学校の授業

【小学5年生・中学2年生：問10】  
 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

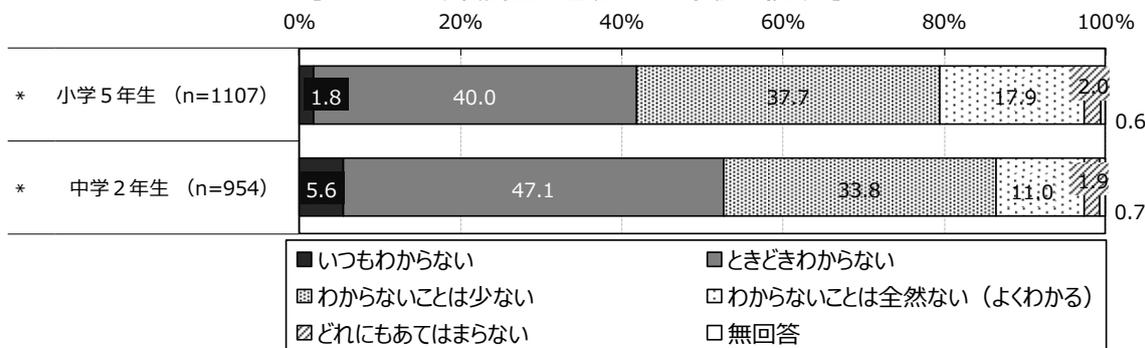
学校の授業については、「わからない」（「いつもわからない」＋「ときどきわからない」）（小5：46%、中2：57.5%）、「わかる」（「わからないことは少ない」＋「わからないことは全然ない（よくわかる）」）（小5：52.5%、中2：39.1%）となっています。

平成30年度調査と比較して、小5、中2とも「わかる」（「わからないことは少ない」＋「わからないこと全然ない（よくわかる）」）の割合は、小5、3.1%、中2、5.7%低くなりました。

図表 10 学校の授業



[平成30年度調査 図表 10 学校の授業]



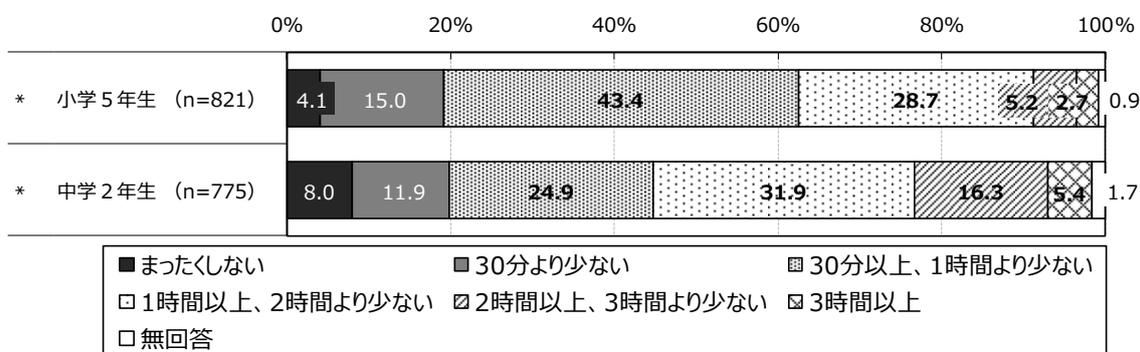
(4) 下校後の1日あたりの勉強時間

【小学5年生・中学2年生：問11】  
 あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強しますか。1日あたりの勉強時間について、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ） ※学習塾などでの時間も含まれます。

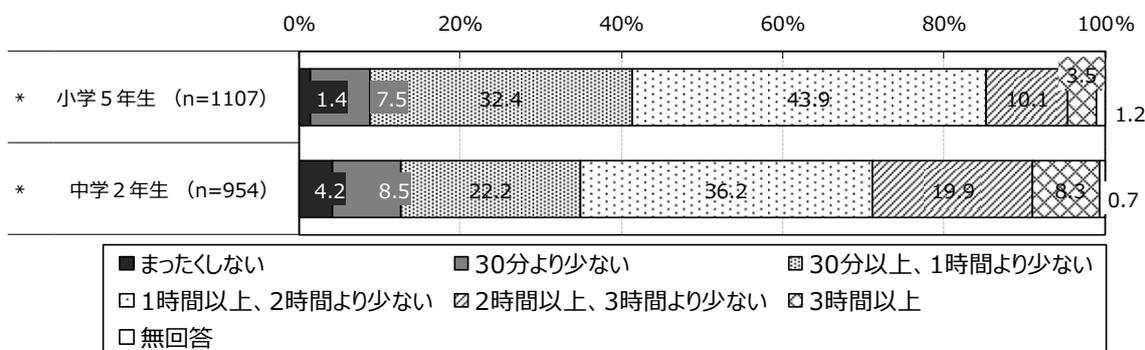
下校後の1日あたりの勉強時間については、小5では「30分以上、1時間より少ない」が高く43.4%となっています。中2では、「1時間以上、2時間より少ない」が高く、31.9%となっています。

平成30年度調査と比較して、小5の「1時間以上、2時間より少ない」の割合は15.2%低くなりました。

図表 11 下校後の1日あたりの勉強時間



[平成30年度調査 図表 11 下校後の1日あたりの勉強時間]



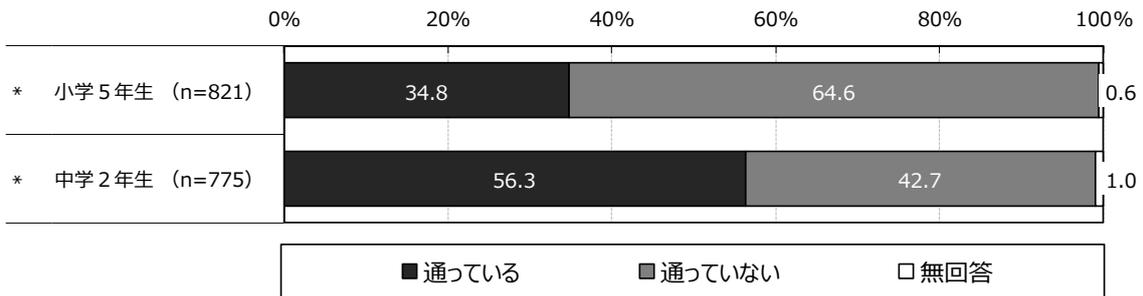
(5) 学習塾

【小学5年生・中学2年生：問12】  
 あなたは、学習塾へ通っていますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

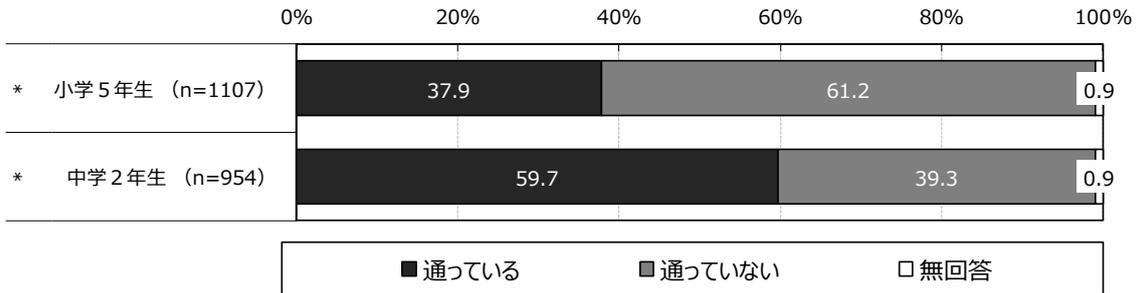
学習塾については、小5では「通っていない」が高く、64.6%となっています。中2では「通っている」が高くなっており、56.3%となっています。

平成30年度調査と比較して「通っている」は、小5、3.1%、中2、3.4%低くなっています。

図表 12 学習塾



[平成30年度調査 図表 12 学習塾]



(6) 将来、行きたい学校

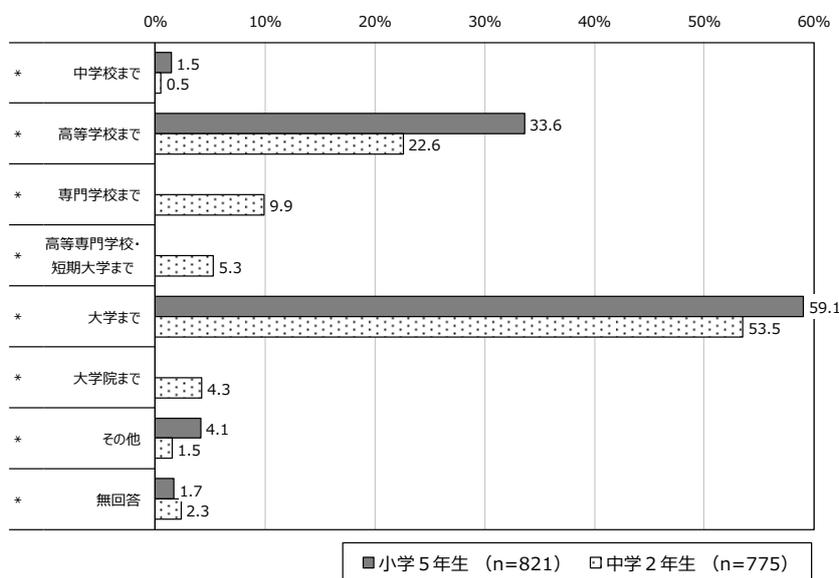
【小学5年生・中学2年生：問13】  
 あなたは、理想的には将来どの学校まで行きたいと思いますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

※小学5年生は、「専門学校まで」「高等専門学校・短期大学まで」「大学院まで」の選択肢がない

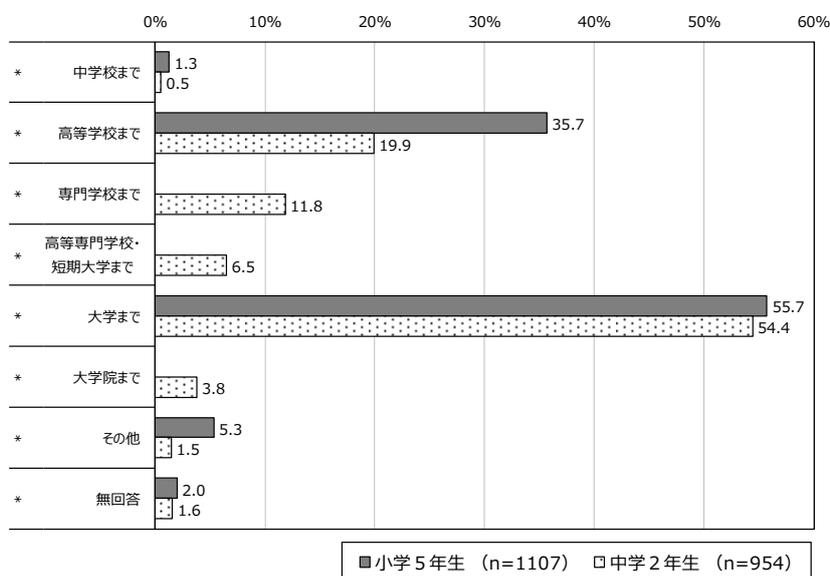
将来、どの学校まで行きたいかについては、小5・中2とも「大学まで」(小5：59.1%、中2：53.5%)が最も高くなっています。次いで「高等学校まで」(小5：33.6%、中2：22.6%)ですが、小5が中2より、11ポイント高くなっています。

平成30年度調査と比較して小5では、「大学まで」が増加し、中2では、「高等学校」以上が増加しています。

図表 13 将来、行きたい学校



[平成30年度調査 図表 13 将来、行きたい学校]



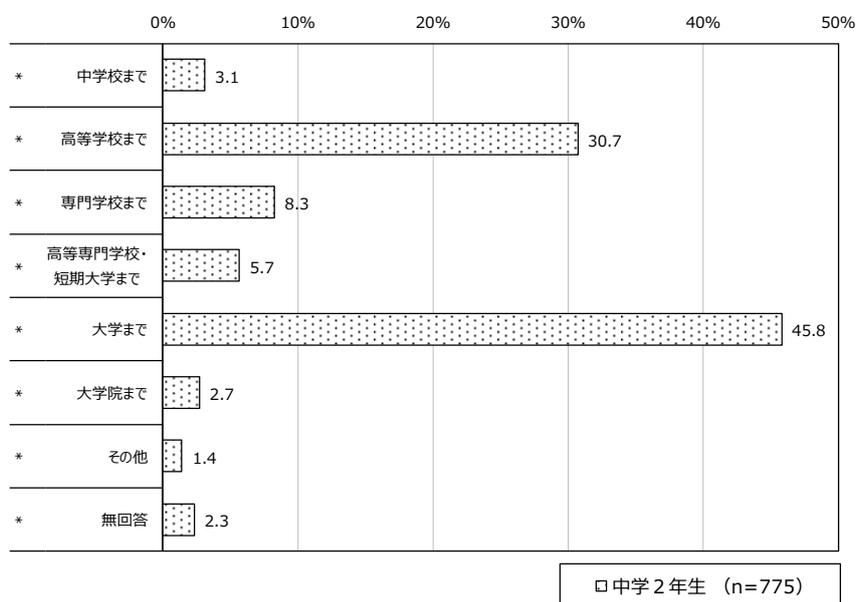
(7) 現実的に行くと思う学校

【中学2年生のみ：問14】  
 あなたは、現実的にはどの学校まで行くことになると思いますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

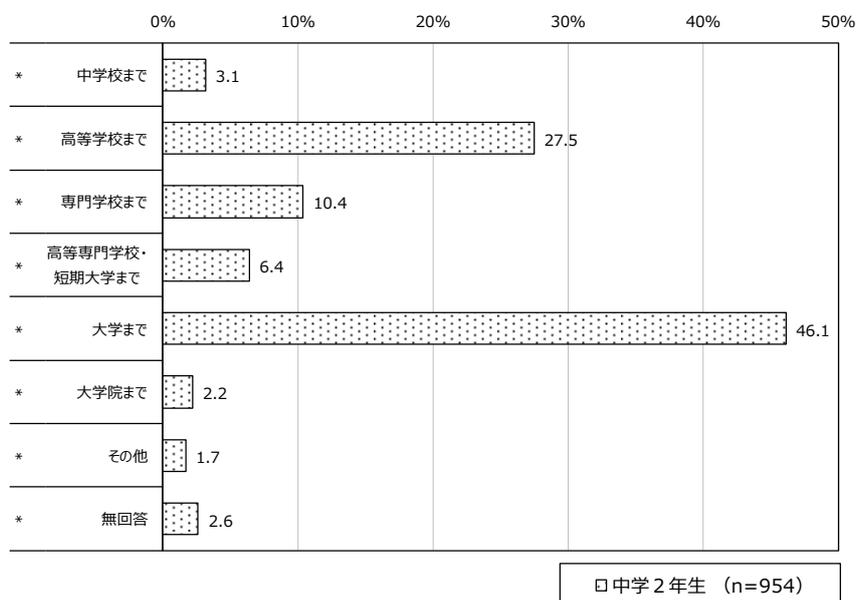
現実的に行くと思う学校については、「大学まで」が最も高く、45.8%となっています。次いで「高等学校まで」となっており、30.7%となっています。前記(6)将来、行きたい学校と比較すると「高等学校まで」が8.1ポイント高くなっており、「大学まで」が7.7ポイント低くなっています。

平成30年度調査と比較して「高等学校まで」及び「大学院まで」は高くなっていますが、それ以外は、低い傾向となっています。

図表 14 現実的に行くと思う学校



[平成30年度調査 図表 14 現実的に行くと思う学校]



(8) 現実的に行くと思う学校を選んだ理由

【中学2年生のみ：問15】

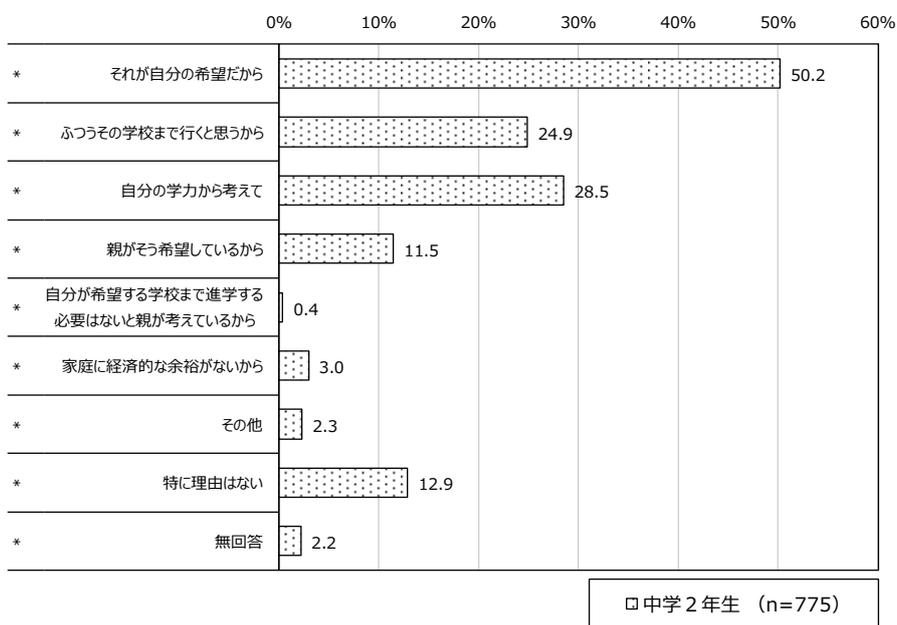
あなたが問14のように考える理由はなぜですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

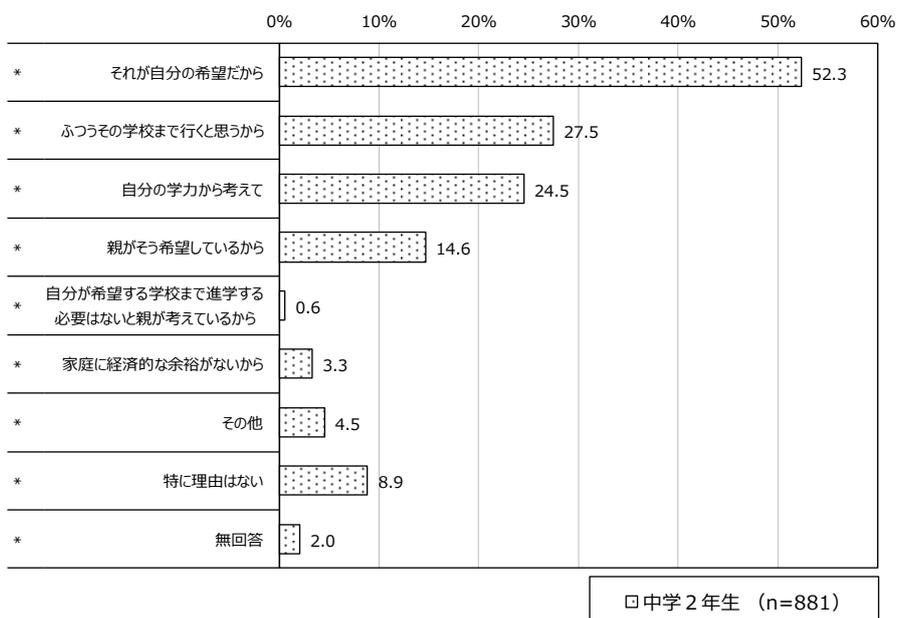
現実的に行くと思う学校を選んだ理由については、「それが自分の希望だから」が最も高く、50.2%と半数を超えています。次いで「自分の学力から考えて」(28.5%)、「ふつうその学校まで行くと思うから」(24.9%)となっています。

平成30年度調査と比較して、「自分の学力から考えて」と「ふつうその学校まで行くと思うから」の順位が逆転しています。

図表 15 現実的に行くと思う学校を選んだ理由



[ 平成30年度調査 図表 15 現実的に行くと思う学校を選んだ理由 ]

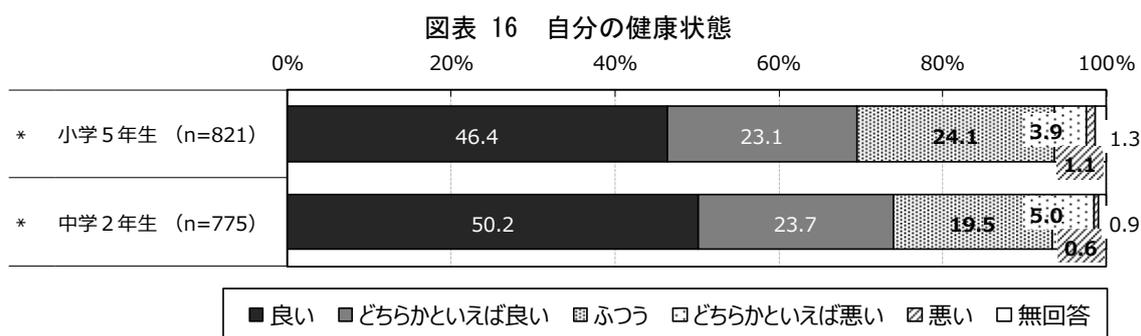


### 3. 6 健康について

#### (1) 自分の健康状態

【小学5年生：問 14、中学2年生：問 16】  
 あなたは、自分の健康状態について、どう感じていますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

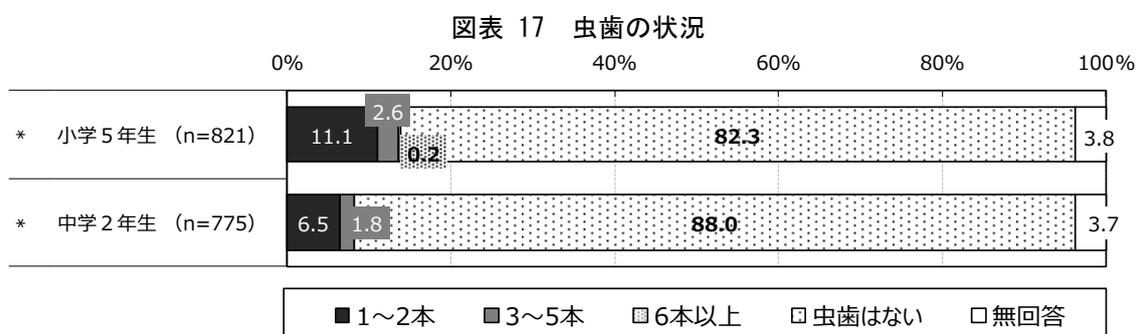
自分の健康状態については、「良い」(「良い」+「どちらかといえば良い」)が(小5:69.5%、中2:73.9%)、「ふつう」が(小5:24.1%、中2:19.5%)、「悪い」(「どちらかといえば悪い」+「悪い」)が(小5:5.0%、中2:5.6%)となっています。



#### (2) 虫歯の状況

【小学5年生：問 15、中学2年生：問 17】  
 あなたは、今、虫歯(治療中も含めて)がおおよそ何本ありますか。  
 ※虫歯がない場合は、0本と書いてください。

虫歯の状況については、小5・中2とも「虫歯はない」(小5:82.3%、中2:88.0%)が最も高くなっています。次いで小5・中2ともに「1~2本」(小5:11.1%、中2:6.5%)となっています。

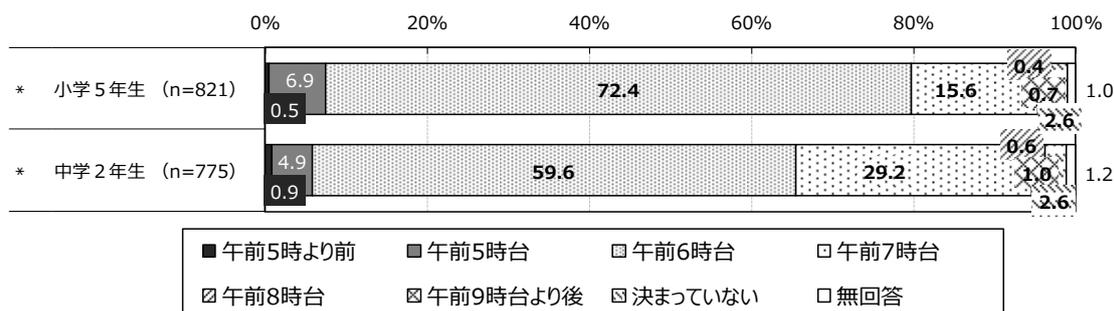


### (3) 学校のある日の起床時間

【小学5年生：問 16-1、中学2年生：問 18-1】  
 あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）、何時に起きていますか。  
 あてはまる番号に○を付けてください。（○はひとつ）

学校のある日の起床時間については、小5・中2とも「午前6時台」(小5：72.4%、中2：59.6%)が最も高く、次いで「午前7時台」(小5：15.6%、中2：29.2%)となっています。

図表 18 学校のある日の起床時間

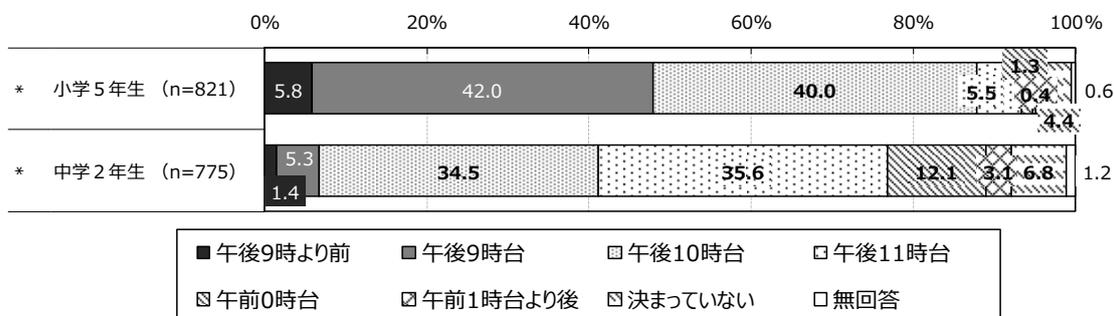


### (4) 学校のある日の就寝時間

【小学5年生：問 16-2、中学2年生：問 18-2】  
 あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。  
 あてはまる番号に○を付けてください。（○はひとつ）

学校のある日の就寝時間については、小5は、「午後9時台」が最も高く、42.0%となっています。次いで「午後10時台」も高くなっており、40.0%となっています。中2は、「午後11時台」が最も高く、35.6%となっています。次いで「午後10時台」の34.5%となっています。学年が上がるにつれて、就寝時間が遅くなっていることが分かります。

図表 19 学校のある日の就寝時間



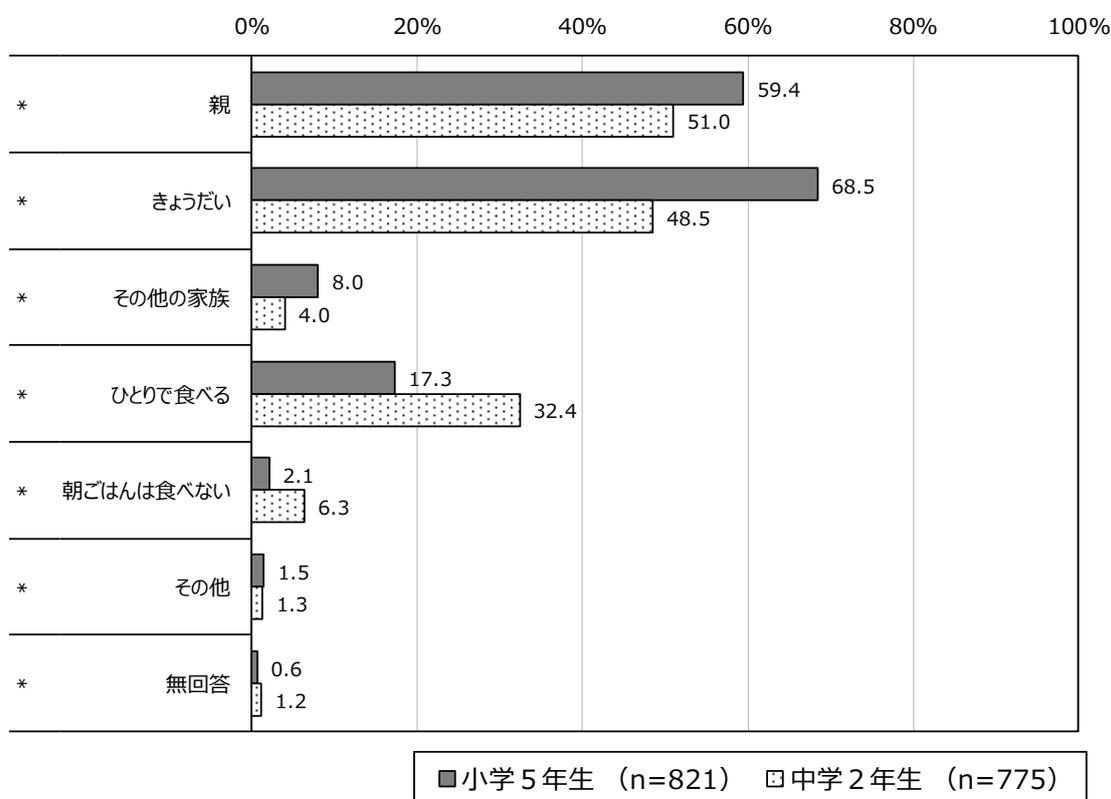
### 3. 7 食事について

#### (1) 学校のある日の朝ごはん

【小学5年生：問 17-1、中学2年生：問 19-1】  
 あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）の朝ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

学校のある日の朝ごはんを一緒に食べる人については、小5は「きょうだい」（68.5%）が最も高く、次いで「親」（59.4%）となっています。「ひとりで食べる」では（小5：17.3%、中2：32.4%）となっていますが、中2が小5より、15.1ポイント高くなっています。

図表 20 学校のある日の朝ごはん

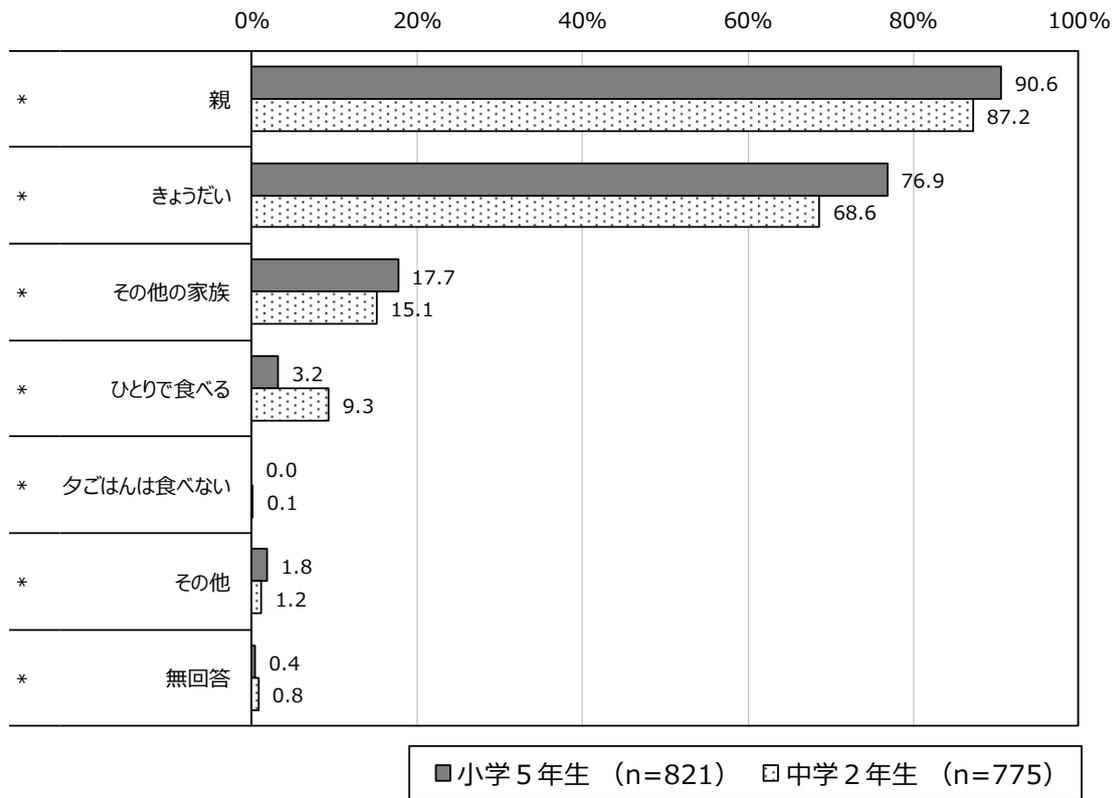


(2) 学校のある日の夕ごはん

【小学5年生：問 17-2、中学2年生：問 19-2】  
 あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）の夕ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

学校のある日の夕ごはんを一緒に食べる人については、小5・中2とも「親」（小5：90.6%、中2：87.2%）が最も高く、次いで「きょうだい」（小5：76.9%、中2：68.6%）、次いで「その他家族」（小5：17.7%、中2：15.1%）となっています。

図表 21 学校のある日の夕ごはん

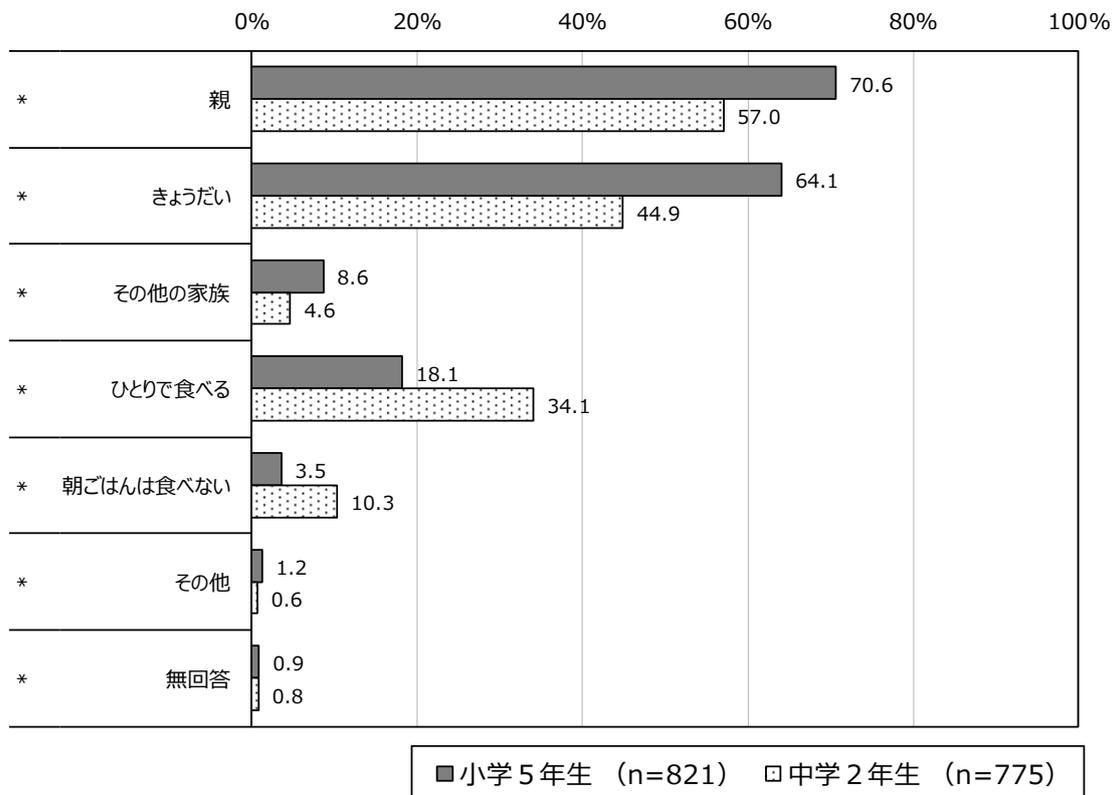


(3) 学校のない日の朝ごはん

【小学5年生：問 17-3、中学2年生：問 19-3】  
 あなたは、休日（学校のない日）の朝ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

学校のない日の朝ごはんを一緒に食べる人については、小5・中2とも「親」（小5:70.6%、中2:57.0%）が最も高く、次いで「きょうだい」（小5:64.1%、中2:44.9%）となっています。次いで「ひとりで食べる」（小5:18.1%、中2:34.1%）ですが、中2が小5より、16ポイント高くなっています。

図表 22 学校のない日の朝ごはん

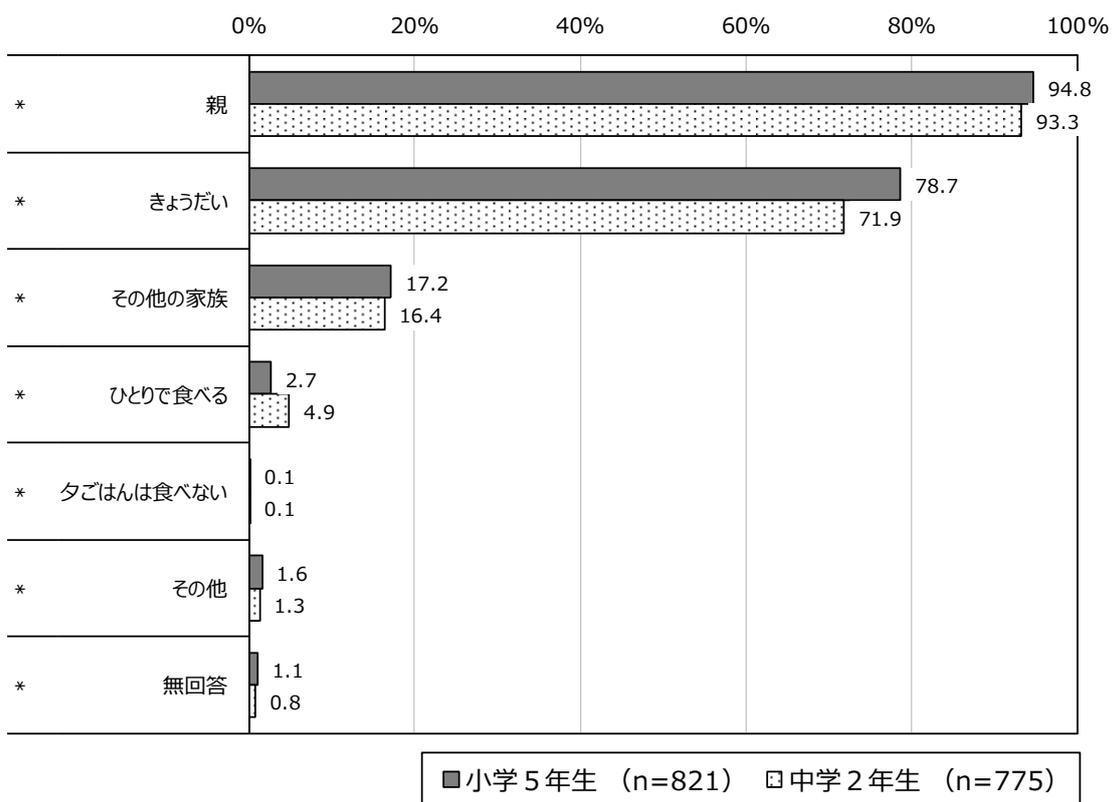


#### (4) 学校のない日の夕ごはん

【小学5年生：問 17-4、中学2年生：問 19-4】  
 あなたは、休日（学校のない日）の夕ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

学校のない日の夕ごはんを一緒に食べる人については、小5・中2とも「親」（小5:94.8%、中2:93.3%）が最も高く、次いで「きょうだい」（小5:78.7%、中2:71.9%）、次いで「その他の家族」（小5:17.2%、中2:16.4%）となっています。

図表 23 学校のない日の夕ごはん



### 3. 8 家庭について

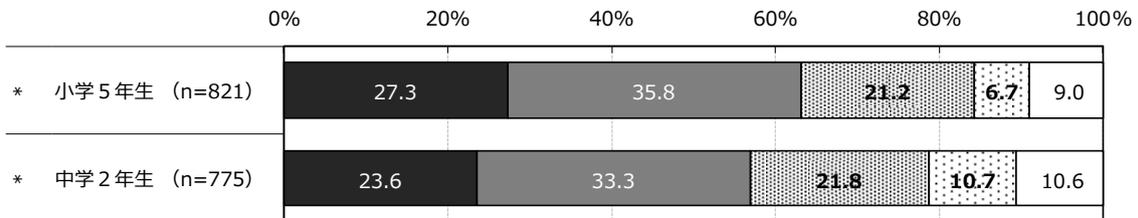
#### (1) 両親との会話の頻度

【小学5年生：問 18、中学2年生：問 20】  
 あなたは、次のようなことについて、お父さんやお母さんとどのくらい話をしますか。  
 A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。  
 (○はそれぞれひとつ)  
 ※お父さんやお母さんと一緒に住んでいない場合は、5に○をつけてください。

#### (1-1) 父親との会話の頻度

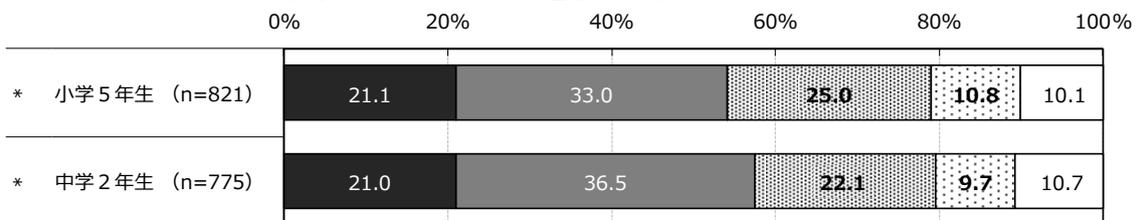
父親との会話の頻度については、小5では「話をする」（「よく話をする」＋「ときどき話をする」）のは「学校での出来事」（63.1%）が最も高く、中2では「勉強や成績のこと」（57.5%）が最も高くなっています。小5・中2ともに、「将来なりたいもの」は（小5：37.1%、中2：39.5%）と約4割以下となっています。

図表 24-1 ア（A）学校での出来事



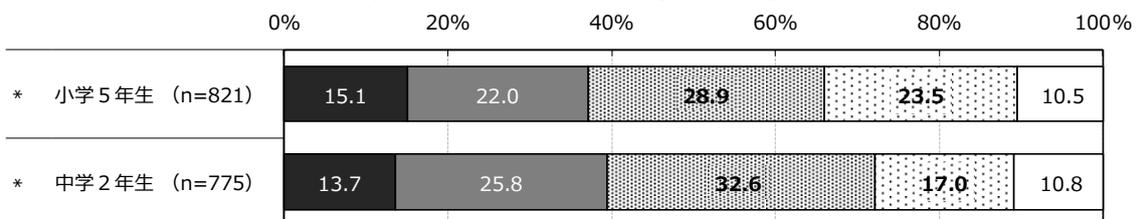
■よく話をする ■ときどき話をする ▨あまり話をしない □まったく話をしない □無回答

図表 24-2 イ（B）勉強や成績のことについて



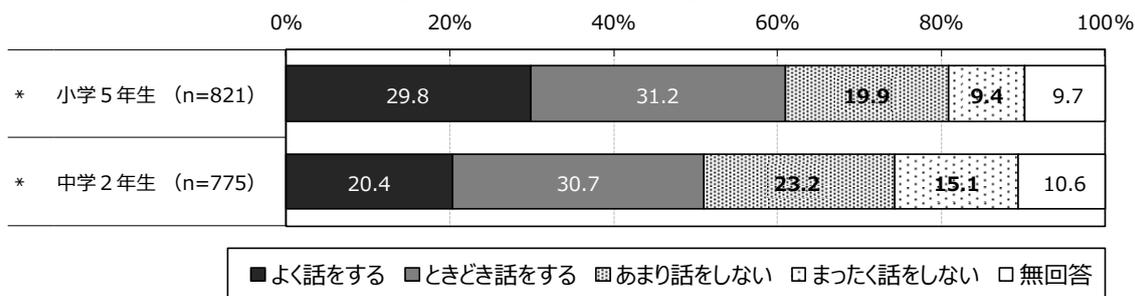
■よく話をする ■ときどき話をする ▨あまり話をしない □まったく話をしない □無回答

図表 24-3 ウ（C）将来なりたいもの



■よく話をする ■ときどき話をする ▨あまり話をしない □まったく話をしない □無回答

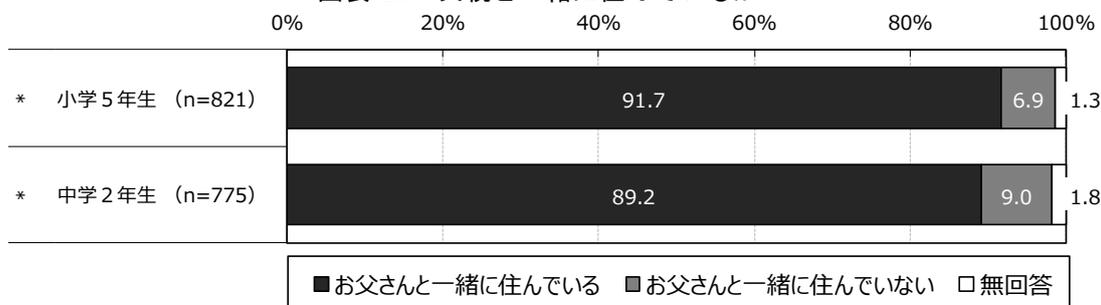
図表 24-4 エ (D) 友だちのこと



(1-2) 父親と一緒に住んでいるか

父親と一緒に住んでいるかについては、「お父さんと一緒に住んでいる」が小5では、91.7%、中2では89.2%となっています。「お父さんと一緒に住んでいない」は、小5では、6.9%、中2では9.0%とやや高くなっています。

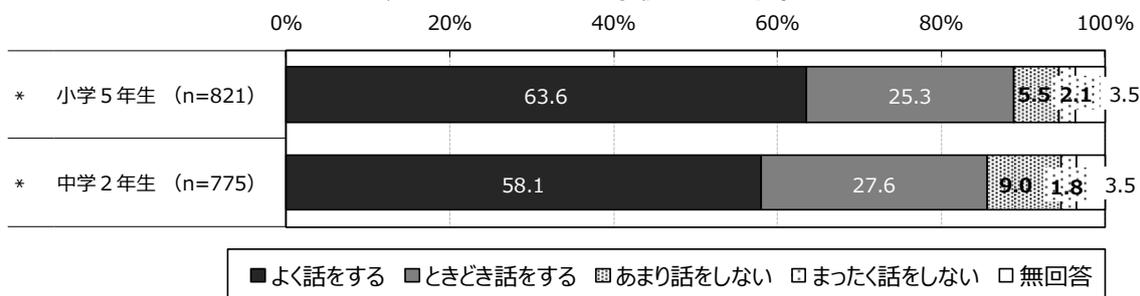
図表 25 父親と一緒に住んでいるか



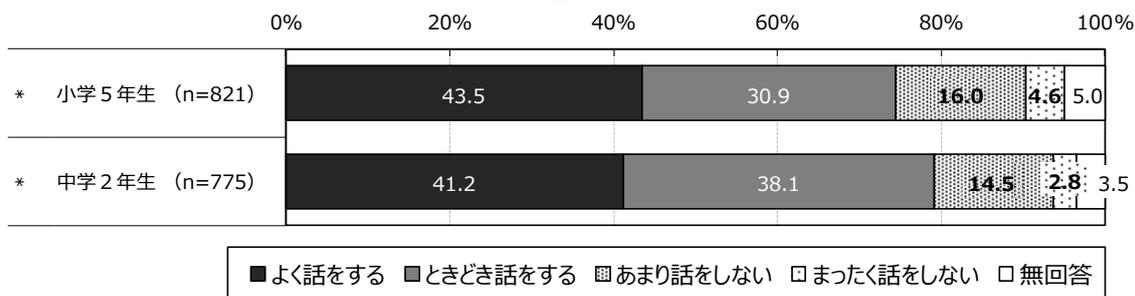
(1-3) 母親との会話の頻度

母親との会話の頻度については、小5・中2ともに「話をする」（「よく話をする」＋「ときどき話をする」）のは、どの項目でも半数を超えています。小5・中2ともに「学校での出来事について」が、（小5：88.9%、中2：85.7%）と最も高く、次いで「友だちのこと」（小5：86.0%、中2：80.4%）となっています。

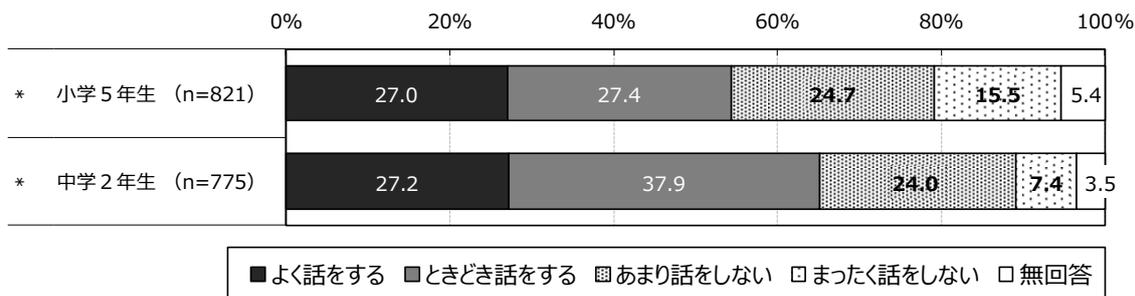
図表 26-1 ア (A) 学校での出来事



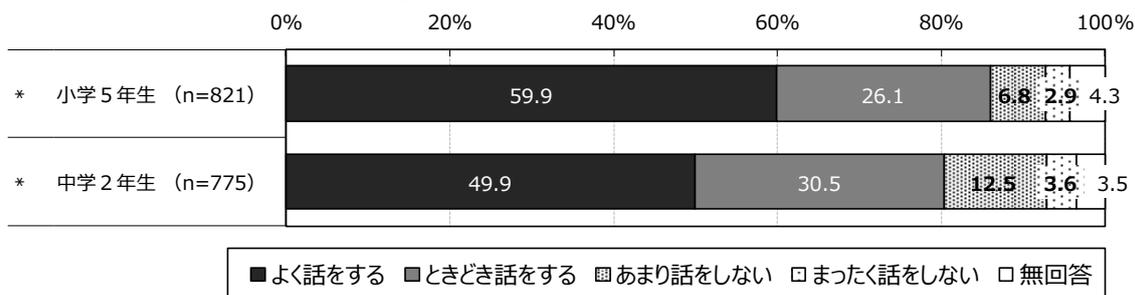
図表 26-2 イ (B) 勉強や成績のことについて



図表 26-3 ウ (C) 将来なりたいもの



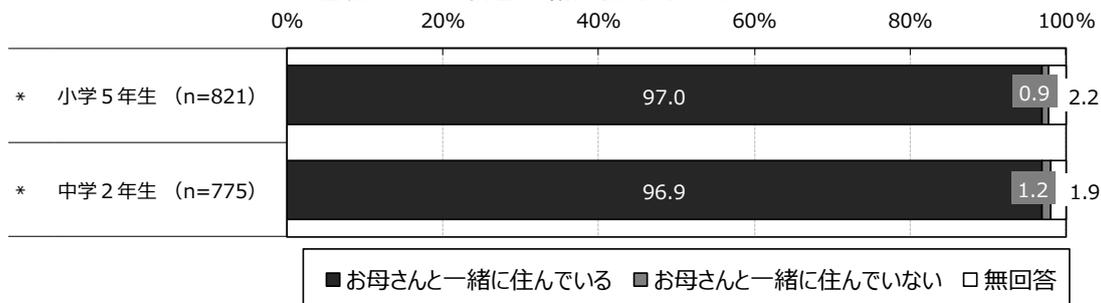
図表 26-4 エ (D) 友だちのこと



(1-4) 母親と一緒に住んでいるか

母親と一緒に住んでいるかについては、「お母さんと一緒に住んでいる」が小5では、97.0%、中2では96.9%となっています。「お母さんと一緒に住んでいない」は、小5では、0.9%、中2では1.2%となっています。

図表 27 母親と一緒に住んでいるか



### 3. 9 自分のことについて

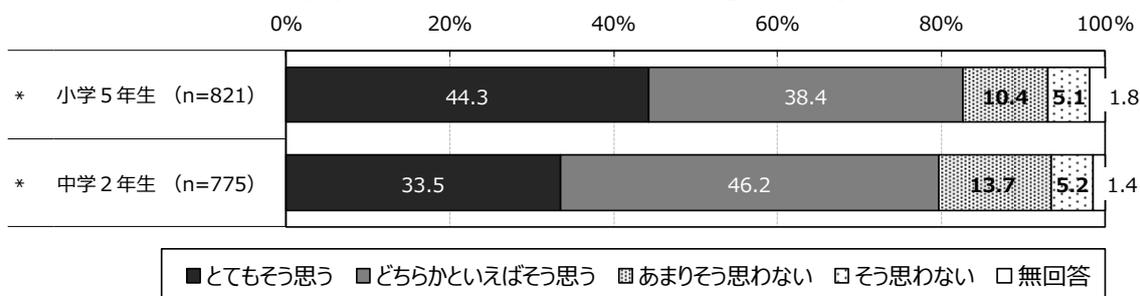
#### (1) 自分自身の思いや気持ち

【小学5年生：問19、中学2年生：問21】  
 あなたの思いや気持ちを聞かせてください。  
 次のA～Fのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。  
 (○はそれぞれひとつ)

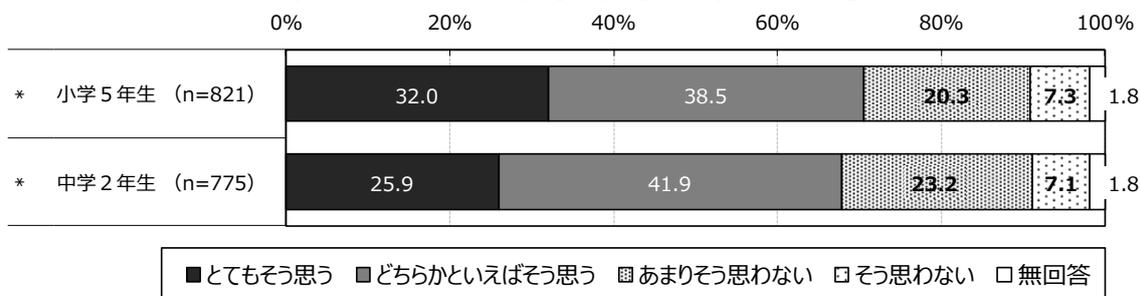
自分自身の思いや気持ちについては、小5では「自分は家族に大切にされている」で「とてもそう思う」が72.0%、中2でも63.2%と最も高くなっています。全体的に中2に比べて小5の方が「そう思う」(「とてもそう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して「自分は価値のある人間だと思う」について、小5の「とてもそう思う」の割合は5.7%高くなっています。

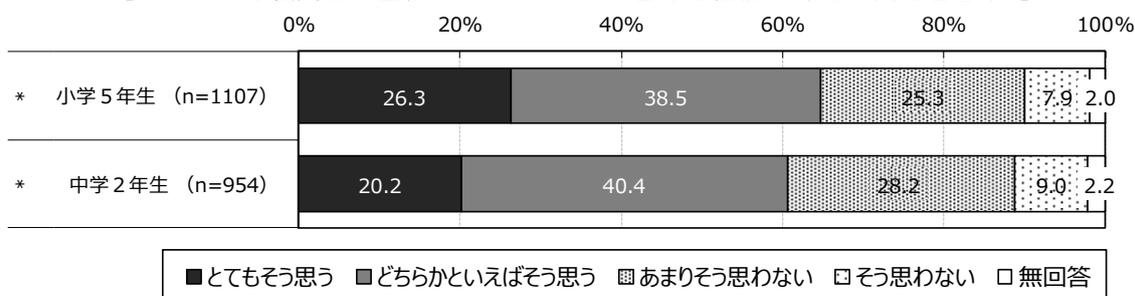
図表 28-1 ア (A) ががんばれば、むくわれる



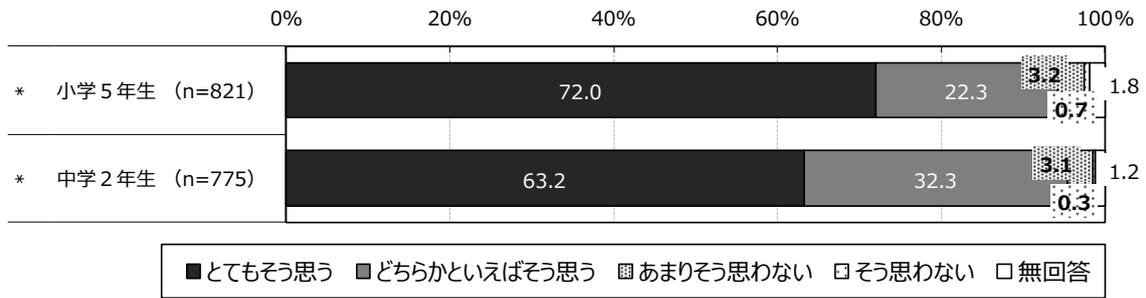
図表 28-2 イ (B) 自分は価値のある人間だと思う



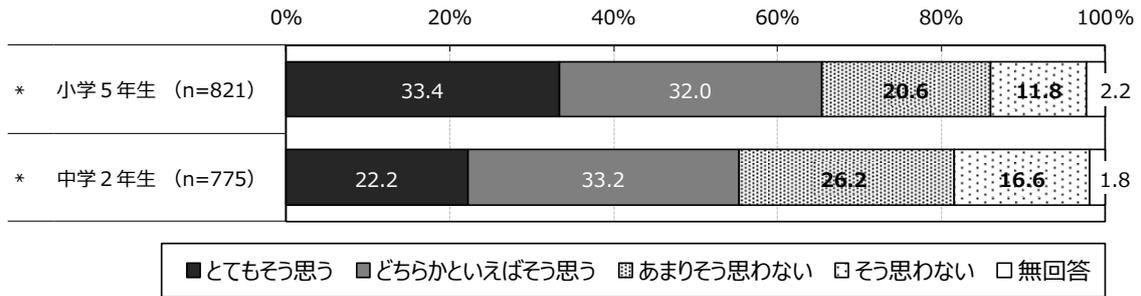
[平成30年度調査 図表 28-2 イ (B) 自分は価値のある人間だと思う]



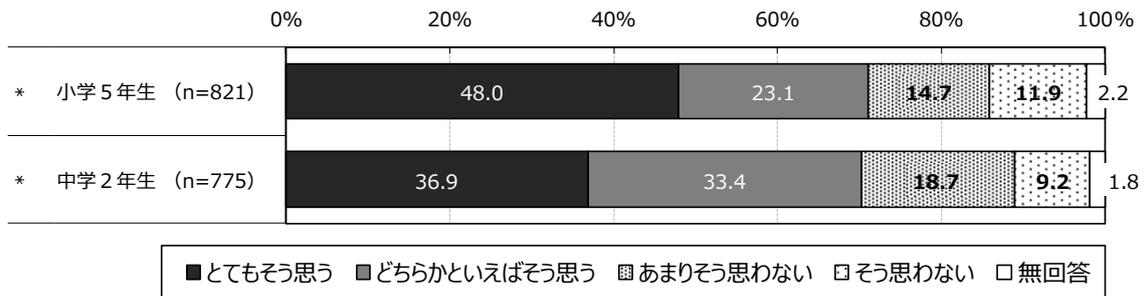
図表 28-3 ウ (C) 自分は家族に大切にされている



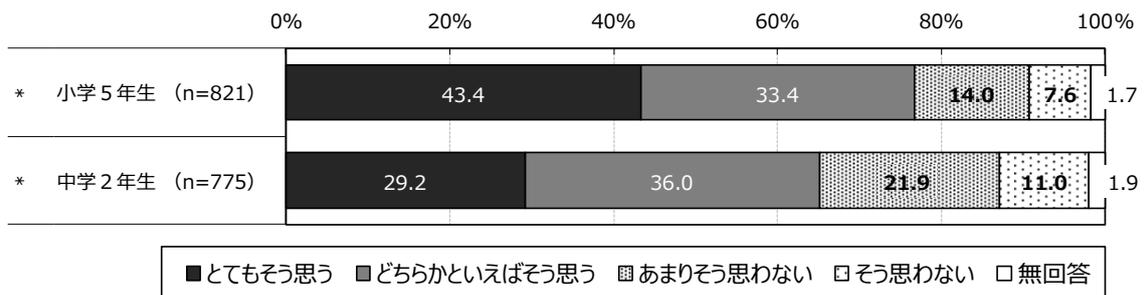
図表 28-4 エ (D) 不安に感じることはない



図表 28-5 オ (E) 孤独を感じることはない



図表 28-6 カ (F) 自分の将来が楽しみだ

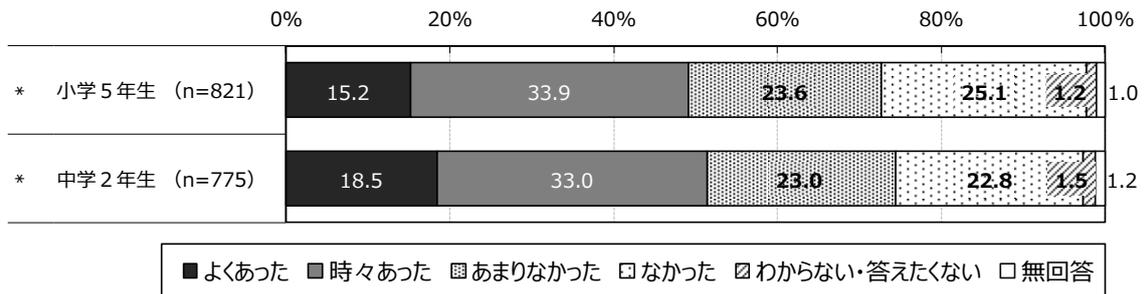


(2) 学校などでの経験

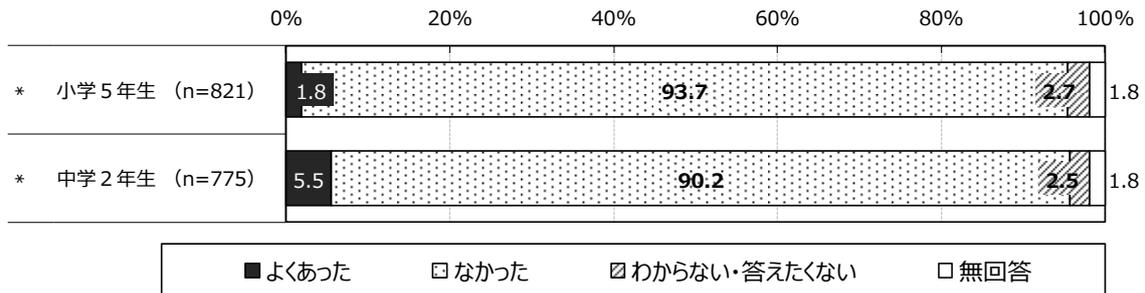
【小学5年生：問20、中学2年生：問22】  
 あなたは、これまでにA～Dのようなことがありましたか。  
 それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

学校などでの経験については、小5・中2ともに、「学校に行きたくないと思った」ことが、「あった」（「よくあった」＋「時々あった」）（小5：49.1%、中2：51.5%）が最も高くなっています。また、「いじめられた」が「あった」（「よくあった」＋「時々あった」）では（小5：12.9%、中2：7.2%）となっています。

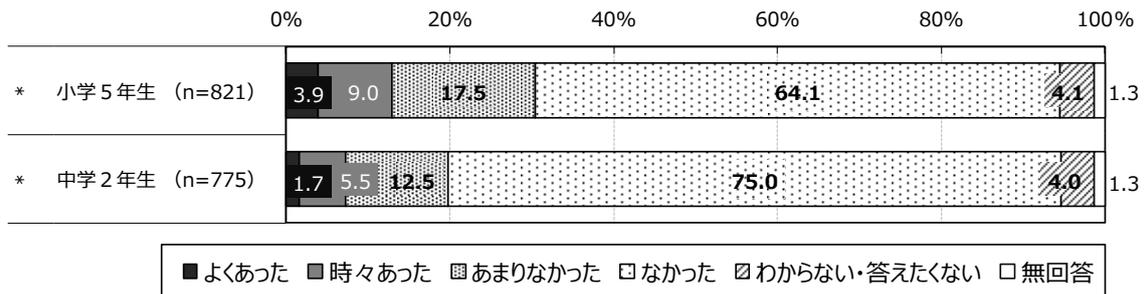
図表 29-1 ア（A）学校に行きたくないと思った



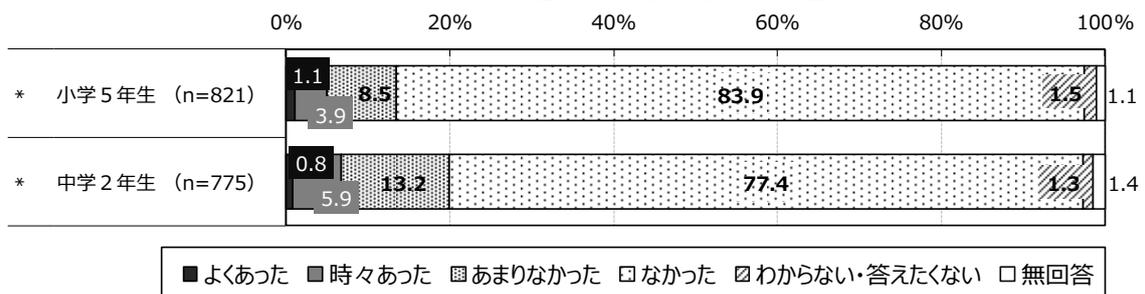
図表 29-2 イ（B）1ヶ月以上学校を休んだ



図表 29-3 ウ（C）いじめられた



図表 29-4 エ（D）夜遅くまで子どもだけで過ごした



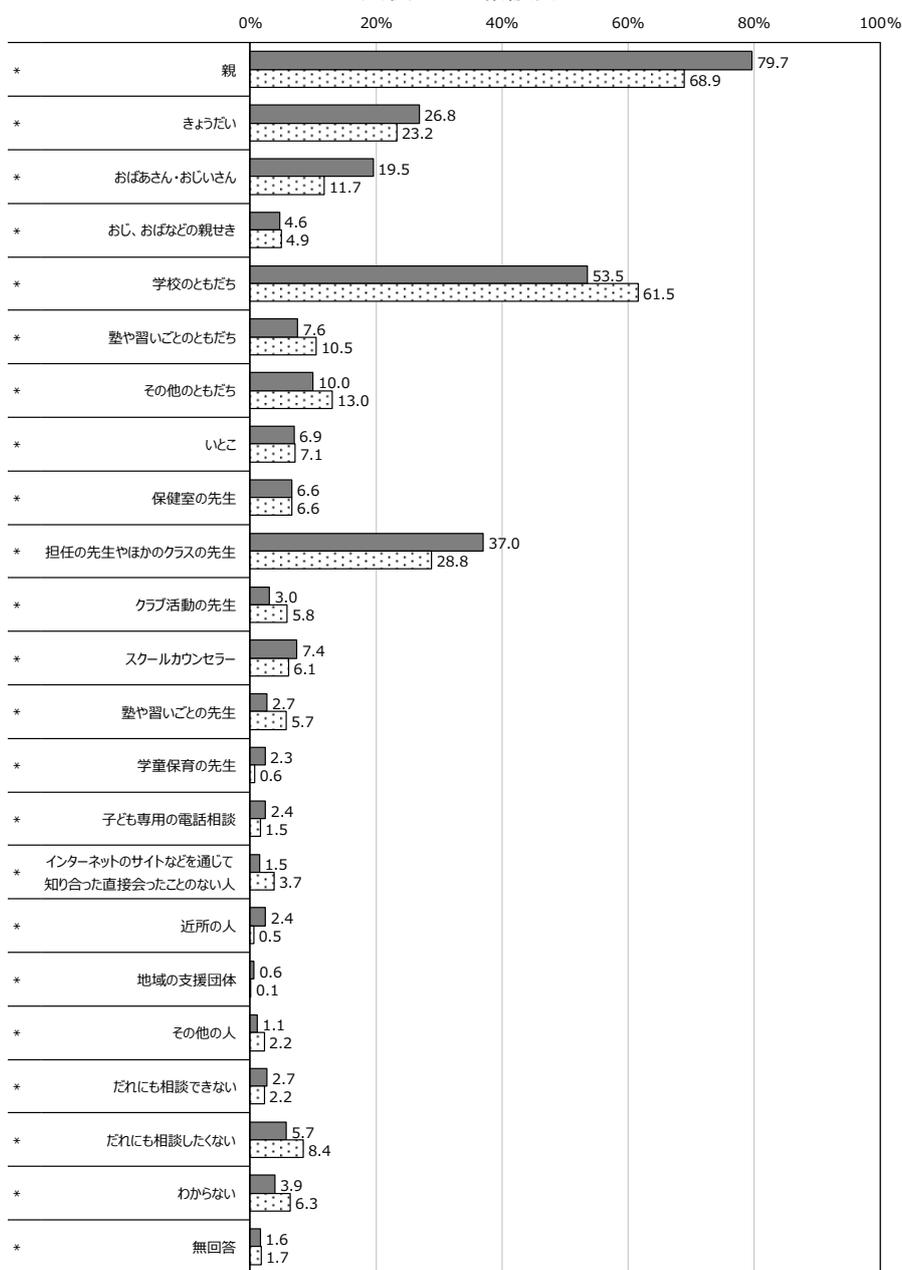
### (3) 相談先

【小学5年生：問21、中学2年生：問23】  
 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

嫌なことや悩んでいるときの相談先については、小5・中2とも「親」(小5:79.7%、中2:68.9%)が最も高くなっています。次いで「学校のともだち」(小5:53.5%、中2:61.5%)、「担任の先生やほかのクラスの先生」(小5:37.0%、中2:28.8%)となっています。

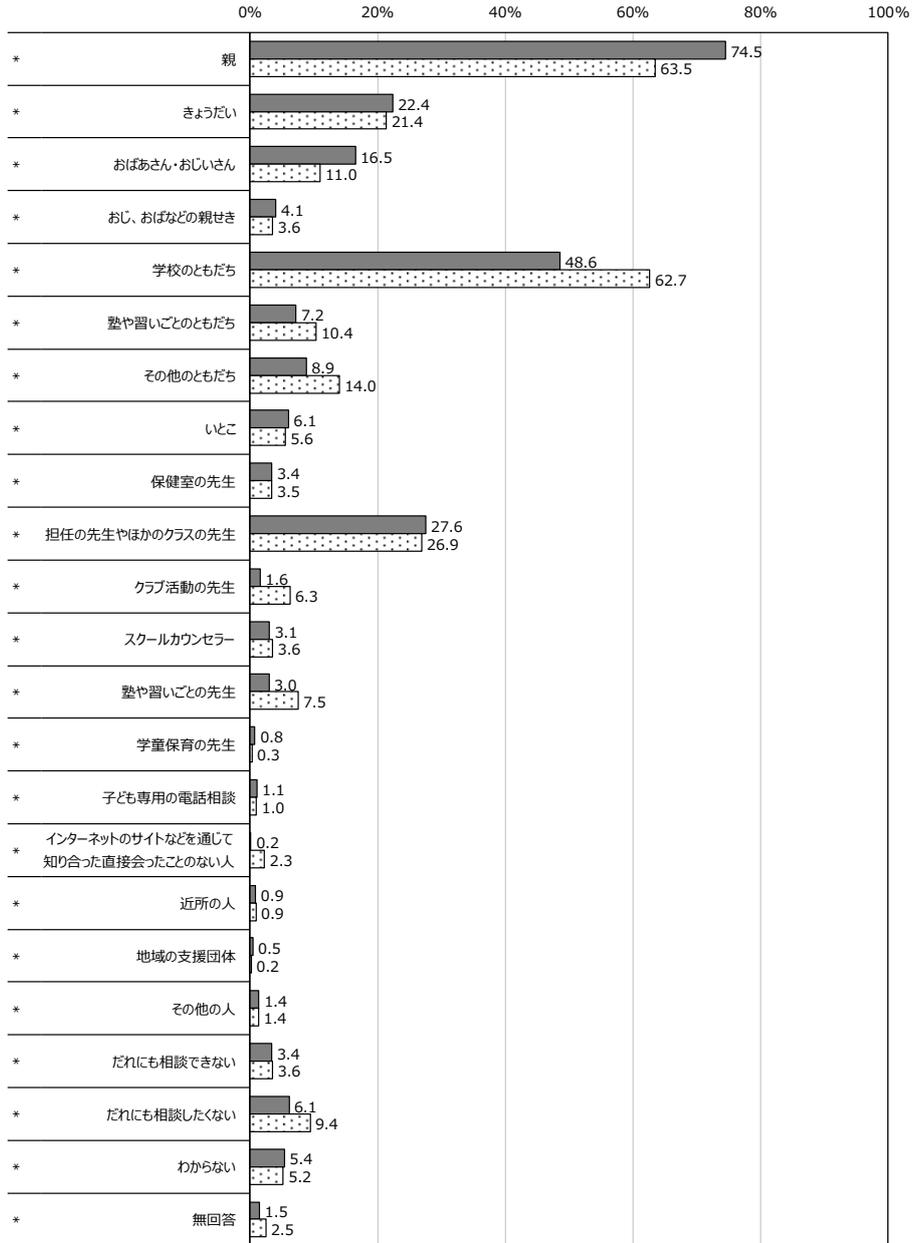
平成30年度調査と比較して大きな変化は見られないませんが、「親」、「きょうだい」、「担任の先生やほかのクラスの先生」は高くなっています。

図表 30 相談先



■小学5年生 (n=821) □中学2年生 (n=775)

[ 平成 30 年度調査 図表 30 相談先 ]



■小学5年生 (n=1107) □中学2年生 (n=954)

### 3. 10 自由記述

#### (夢について)

- ・必要とされる人材になれるように、専門知識をつけていきたいです。
- ・もっと進路のことについて考えないといけないと思いました。
- ・がんばって自立したいです。
- ・将来を考えたくない。

#### (友達について)

- ・友達がいらない人もいるという前提はないのでしょうか？
- ・もっといろんな人と話をしたい。
- ・仲良くなかったら友達ではないと思います。
- ・悩みを抱え込んでいる子たちと会話がしたい。

#### (地域での活動について)

- ・公園を作ってほしい。
- ・子どもが遊ぶ場所が少ないので、遊び場が近くにもほしい。
- ・遊具や、広場、雨の日でも遊べる場所がほしい。
- ・サッカーや野球ができる公園を多く作ってほしい。

#### (学校・勉強について)

- ・いじめを解決してほしい。先生たちが見て見ぬふりをする。
- ・子どもの立場に立って、いじめを減らす活動をしてください。
- ・学校でいじわるされることが多いため、学校が嫌い。
- ・学校の授業を楽しくしてほしい。
- ・勉強したい人だけがして、やりたくない人はやらなくていいと思います。
- ・宿題をなくしてほしい。
- ・校則を緩和してほしい。
- ・学校の先生に納得がいかない。
- ・もっと相談が気軽にできるようにしてほしい。

#### (家庭について)

- ・怒らないでほしい。
- ・親に感謝しています。
- ・子どもの気持ちを尊重してほしい。
- ・習い事に行きたい。

(自分のことについて)

- もう少し自由に楽に生きたい、過ごしたい。
- 自分を大切にしたいです。
- 時間とお金がほしい。生活に余裕がほしい。
- 誠実で立派な大人になるように頑張る。
- アンケートを通して自分の気持ちが分かりました。
- 自分のことについて振り返ることができて、これからも頑張ろうと思いました。

(その他)

- アンケートでふだん言えないことをいえてとてもうれしかったです。
- 子どももアンケートで、自分の気持ちを正直に書いて良かったです。
- アンケートで同じ質問をくりかえされるのがめんどくさかった。
- アンケートの問題がむずかしかったです。

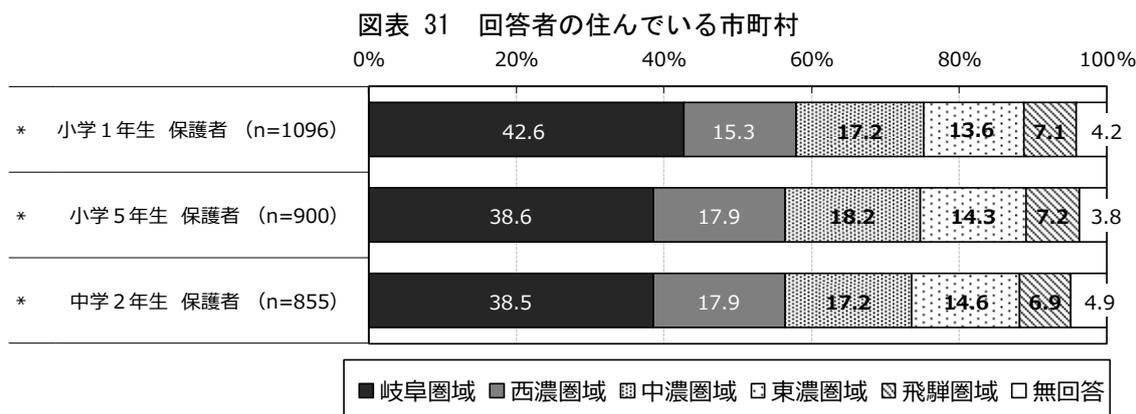
## Ⅳ 保護者（小学1年生・小学5年生・中学2年生）調査

### 4. 1 回答者の属性

#### (1) 回答者の住んでいる市町村の圏域

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問1】  
あなたの住んでいる市町村に○をつけてください。（○はひとつ）

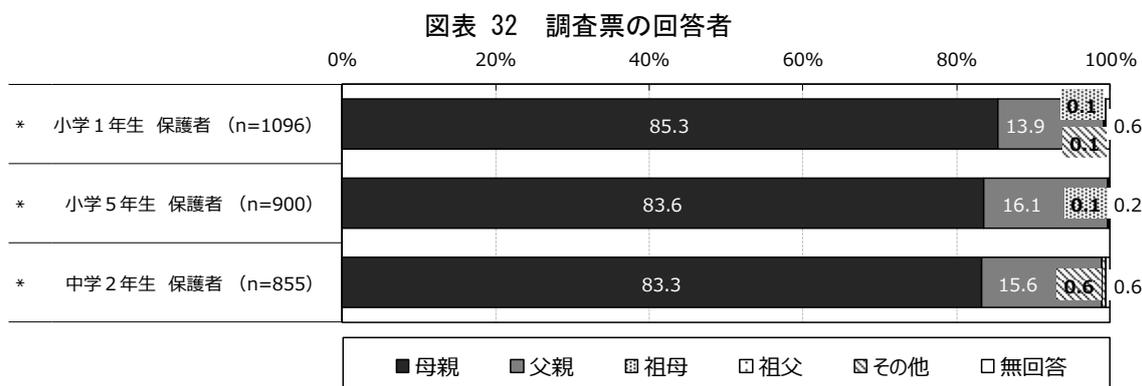
回答者の住んでいる市町村の圏域別状況については、次のとおりとなっています。



#### (2) 調査票の回答者

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問3】  
この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。  
あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

調査票の回答者については、小1・小5・中2とも「母親」が約8割を占めています。



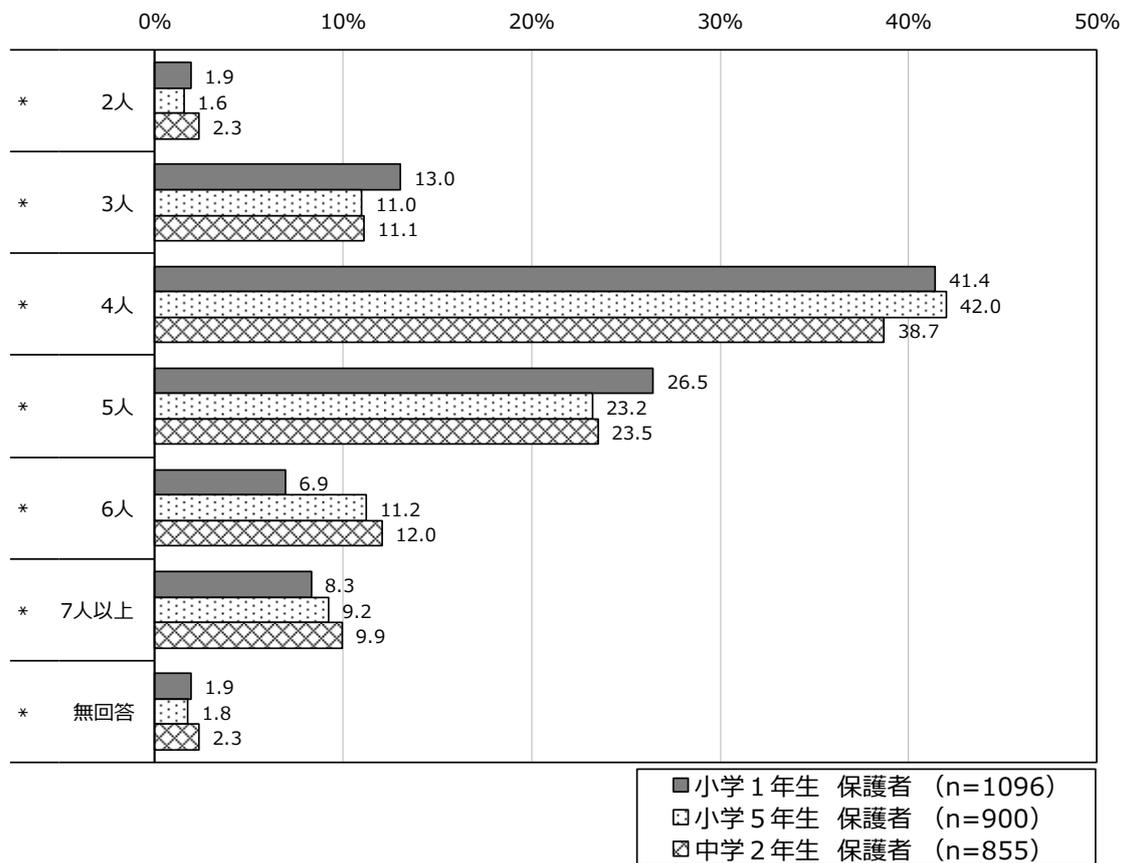
(3) 生計をともにしている人数

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問4】  
 世帯人員は何人ですか。  
 調査対象のお子さん本人を除き、単身赴任などで一時的に別居している方を含んだ人数を記入してください。また、同居している方の中にお子さんと生計を別にしている場合も別と記入してください。

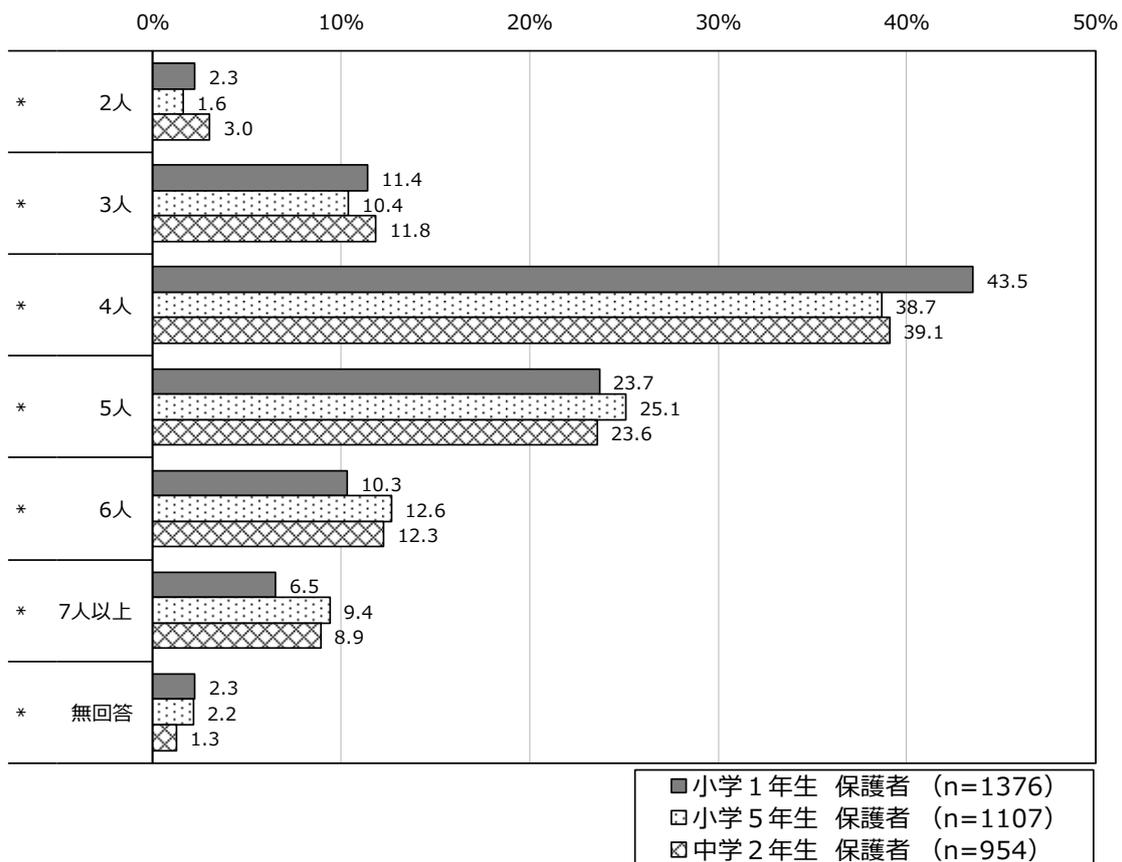
生計をともにしている人数（調査対象の子どもを含んだ世帯人員）については、小1・小5・中2ともに「4人」（小1：41.4%、小5：42.0%、中2：38.7%）が最も高くなっています。次いで「5人」（小1：26.5%、小5：23.2%、中2：23.5%）、次いで小5と中2では「6人」（小5：11.2%、中2：12.0%）となっており、小1では「3人」（13.0%）となっています。

平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。

図表 33 生計をともにしている人数



[ 平成 30 年度調査 図表 33 生計をともにしている人数 ]



## 4. 2 就労について

### (1) 就労状況「母親」

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問5-1】

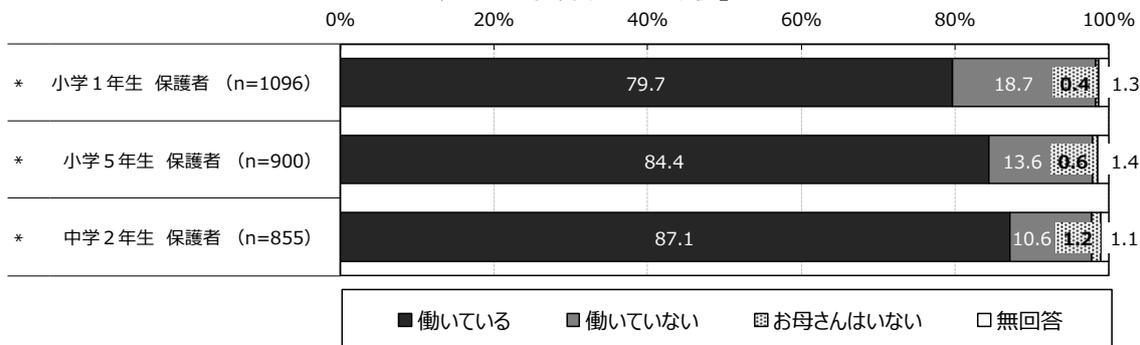
お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）は、現在働いていますか。

あてはまるものに○をつけてください（○はひとつ）

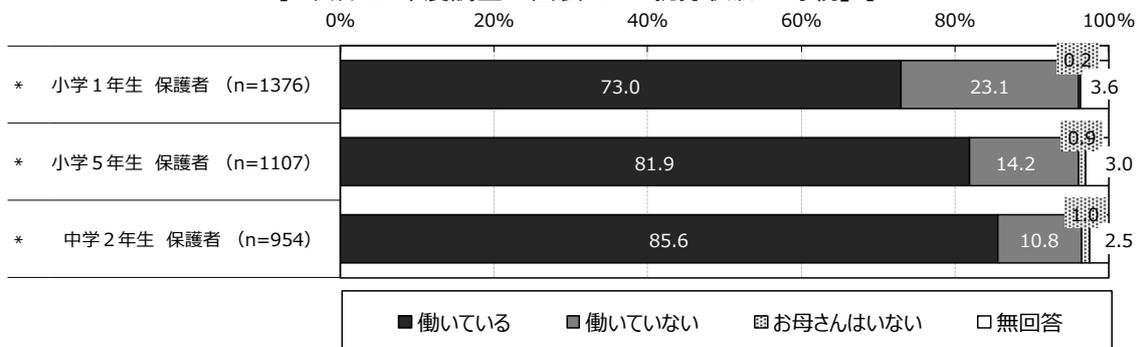
母親の就労状況については、どの学年も「働いている」（小1：79.7%、小5：84.4%、中2：87.1%）が最も高く、学年が上がるにつれて「働いている」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小1、小5、中2とも「働いている」の割合が高くなっています。

図表 34 就労状況「母親」



[平成30年度調査 図表 34 就労状況「母親」]



(2) 就労していない「母親」の現在の状況

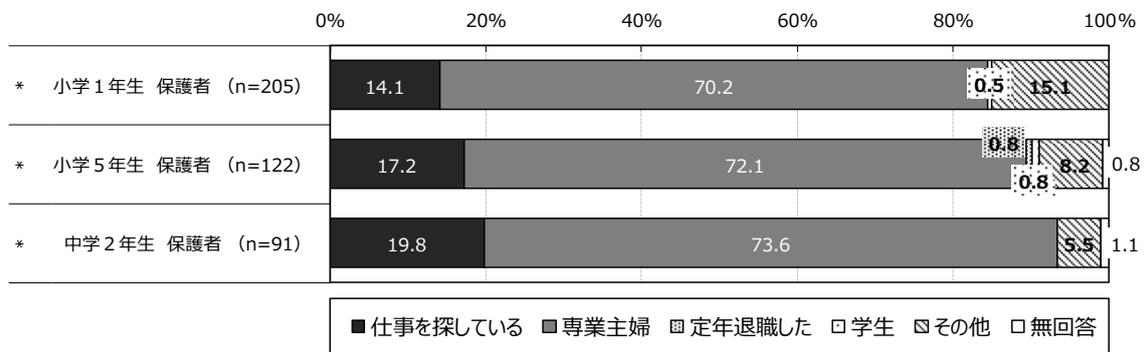
【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問5-2】  
 働いていない方にお伺いします。現在の状況にあてはまるものに○をつけてください。  
 (○はひとつ)

※問5-1で「働いていない」と回答した方のみ

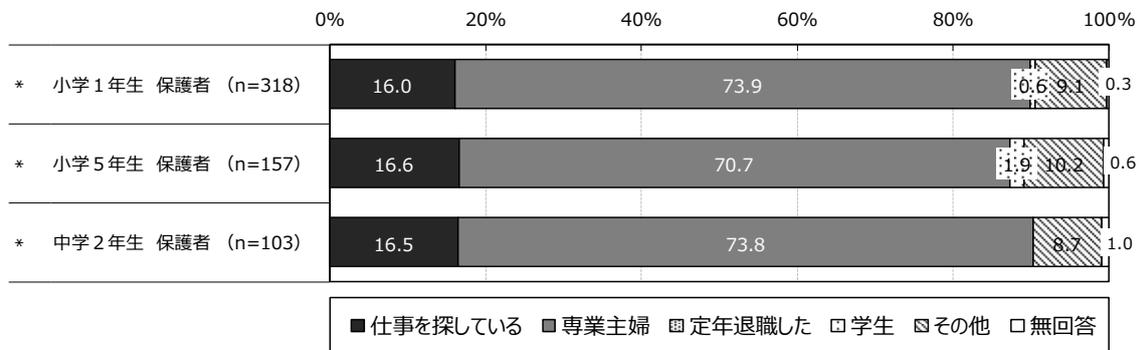
就労していない母親の現在の状況については、小1・小5・中2とも「専業主婦」(小1：70.2%、小5：72.1%、中2：73.6%)が大半を占めています。

平成30年度調査と比較して、「仕事を探している」が、小5及び中2の保護者について高くなっています。

図表 35 就労していない「母親」の現在の状況



[平成30年度調査 図表 35 就労していない「母親」の現在の状況]



(3) 現在の職業「母親」

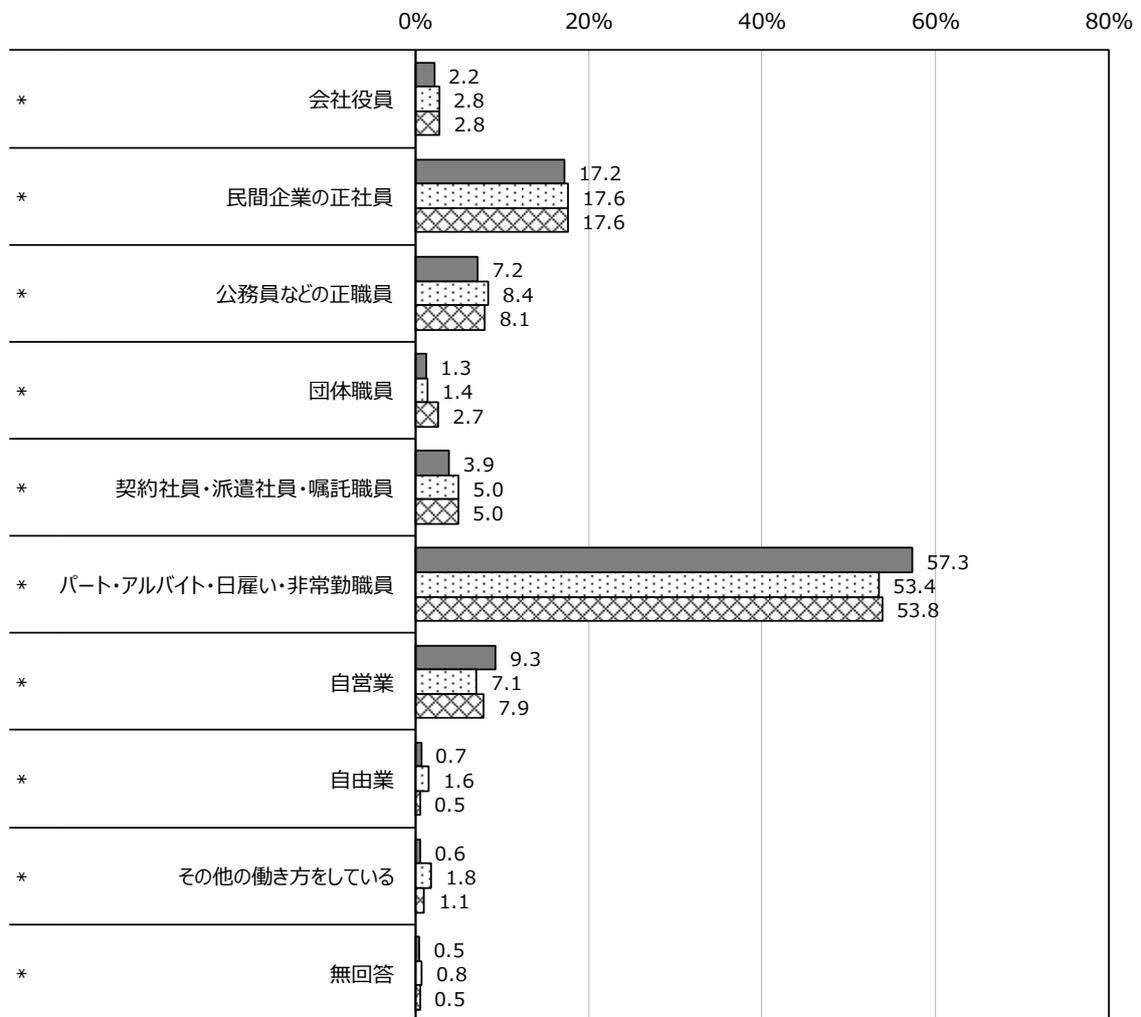
【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問6-1】  
 お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）の現在の職業について  
 お伺いします。現在のご職業は次のどれにもっとも近いですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

※問5-1で「働いている」と回答した方のみ

母親の現在の職業については、小1・小5・中2とも「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（小1：57.3%、小5：53.4%、中2：53.8%）が最も高く、次いで「民間企業の正社員」（小1：17.2%、小5：17.6%、中2：17.6%）となっています。

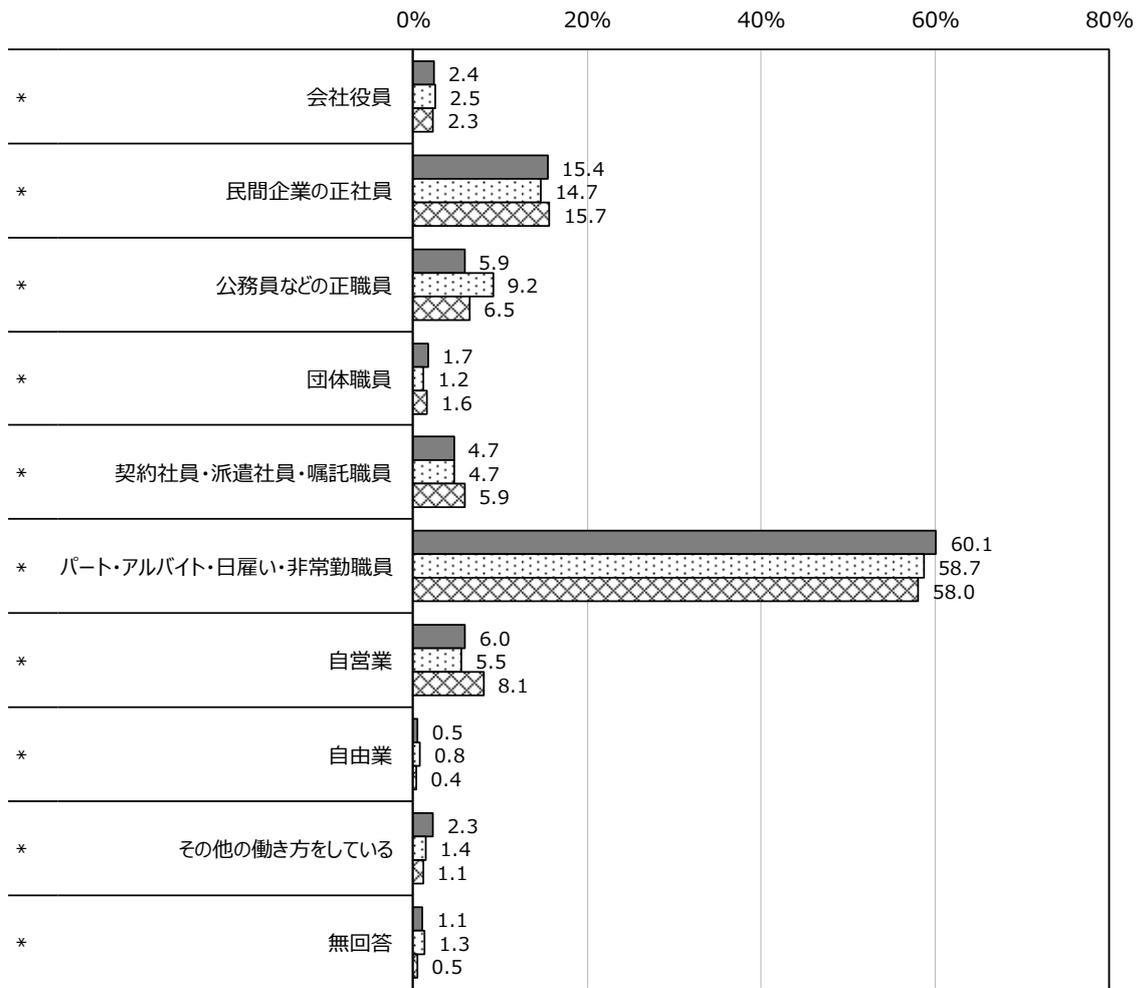
平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。その内「民間企業の正社員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が、高くなっています。

図表 36 現在の職業「母親」



■ 小学1年生 保護者 (n=873)  
 □ 小学5年生 保護者 (n=760)  
 ▨ 中学2年生 保護者 (n=745)

[平成30年度調査 図表 36 現在の職業「母親」]



■ 小学1年生 保護者 (n=1005)  
 □ 小学5年生 保護者 (n=907)  
 ⊠ 中学2年生 保護者 (n=817)

(4) 仕事の勤務時間など「母親」

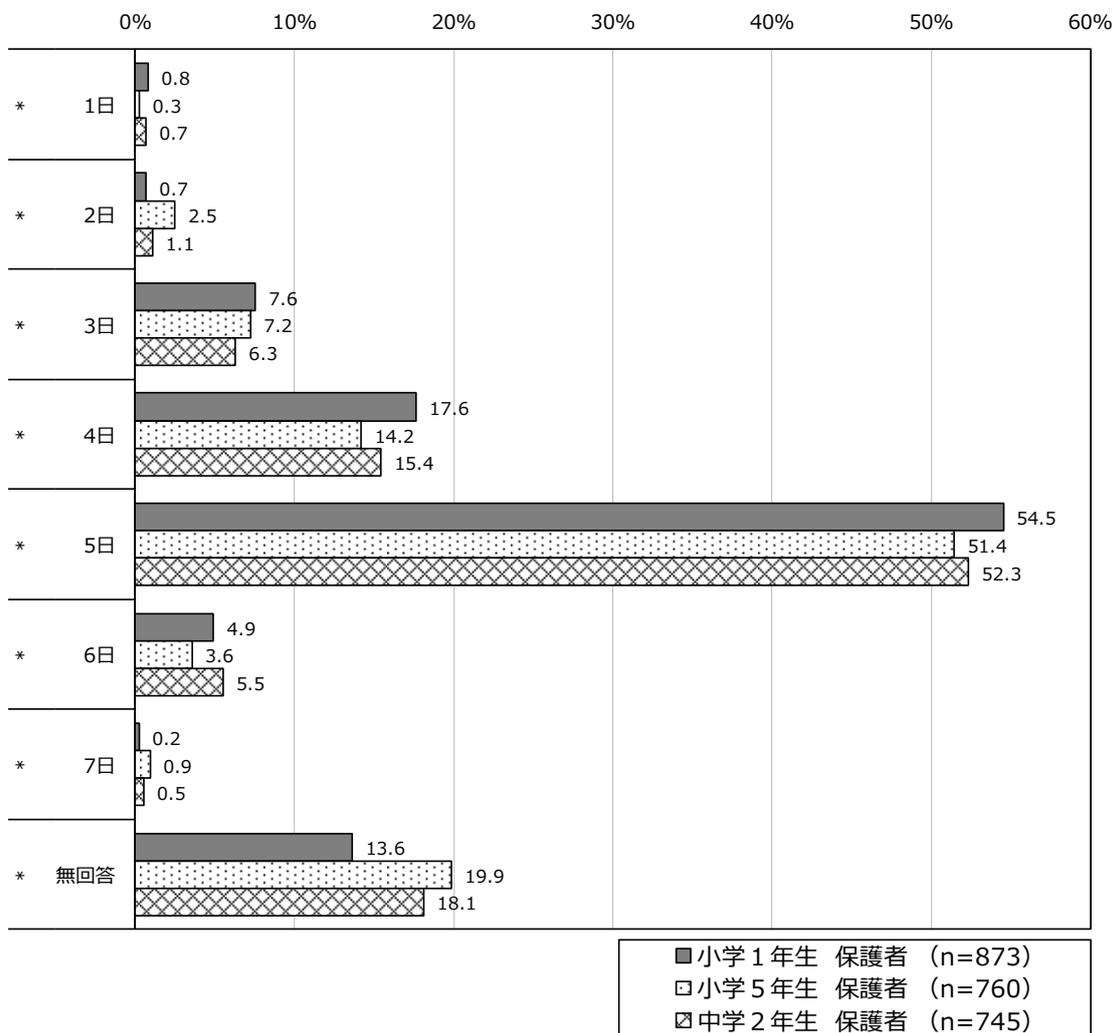
【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問6-2】  
 仕事の勤務時間などについてお答えください。A～Cは該当する数字を記入し、D～Gはあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

(4-1) A 普段の1週間あたりの労働日数「母親」

※問5-1で「働いている」と回答した方のみ

母親の1週間あたりの就労日数については、小1・小5・中2とも「5日」(小1:54.5%、小5:51.4%、中2:52.3%)が最も高く、次いで「4日」(小1:17.6%、小5:14.2%、中2:15.4%)となっています。

図表 37 A 普段の1週間あたりの労働日数「母親」

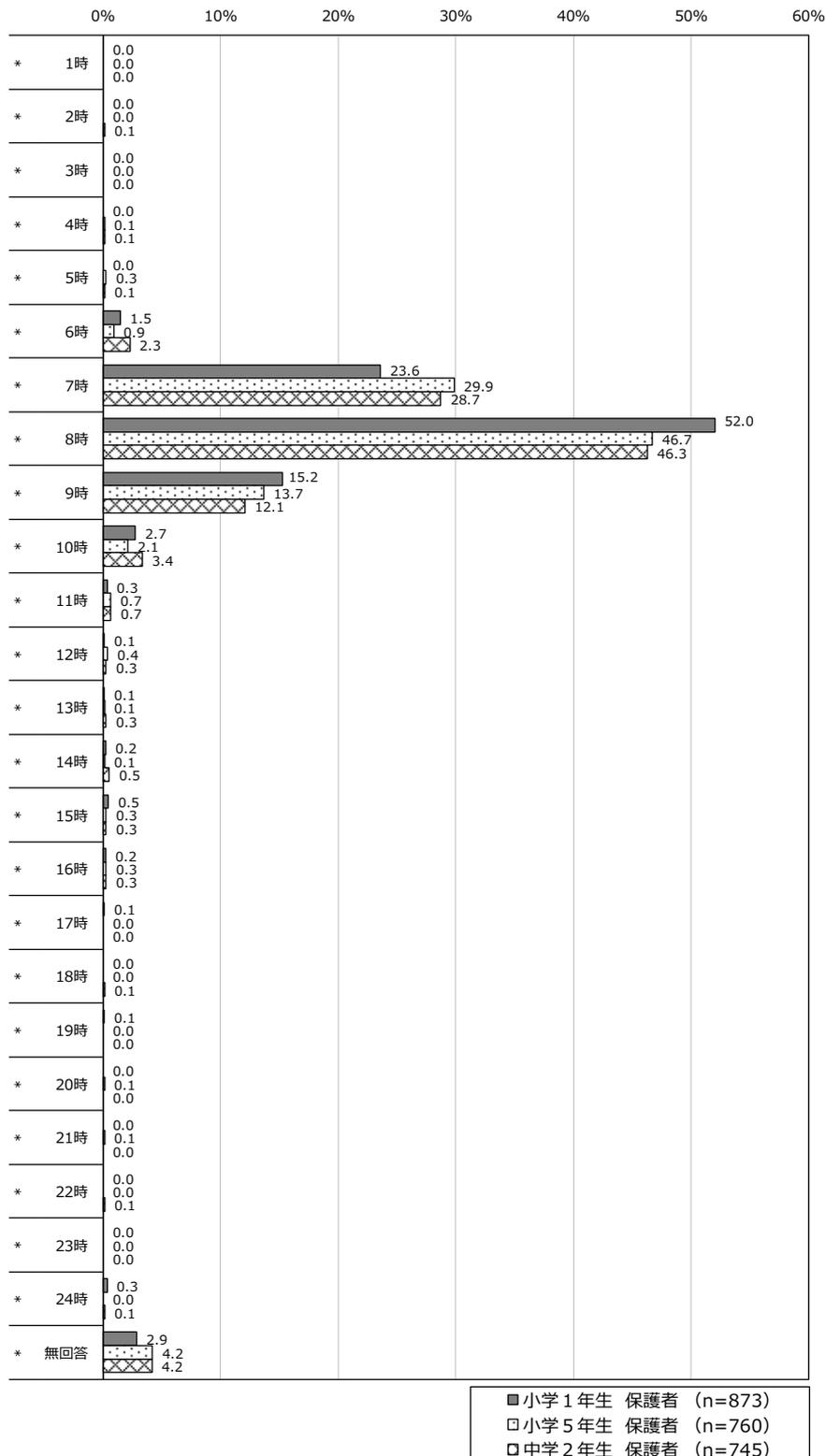


(4-2) B仕事のある日に家を出る時間「母親」

※問5-1で「働いている」と回答した方のみ

母親の仕事のある日に家を出る時間については、小1・小5・中2とも「8時台」(小1: 52.0%、小5: 46.7%、中2: 46.3%)が最も高く、次いで「7時台」(小1: 23.6%、小5: 29.9%、中2: 28.7%)、次いで「9時台」(小1: 15.2%、小5: 13.7%、中2: 12.1%)となっています。

図表 38 B 仕事のある日に家を出る時間「母親」



(4-3) C仕事のある日の帰宅時間「母親」

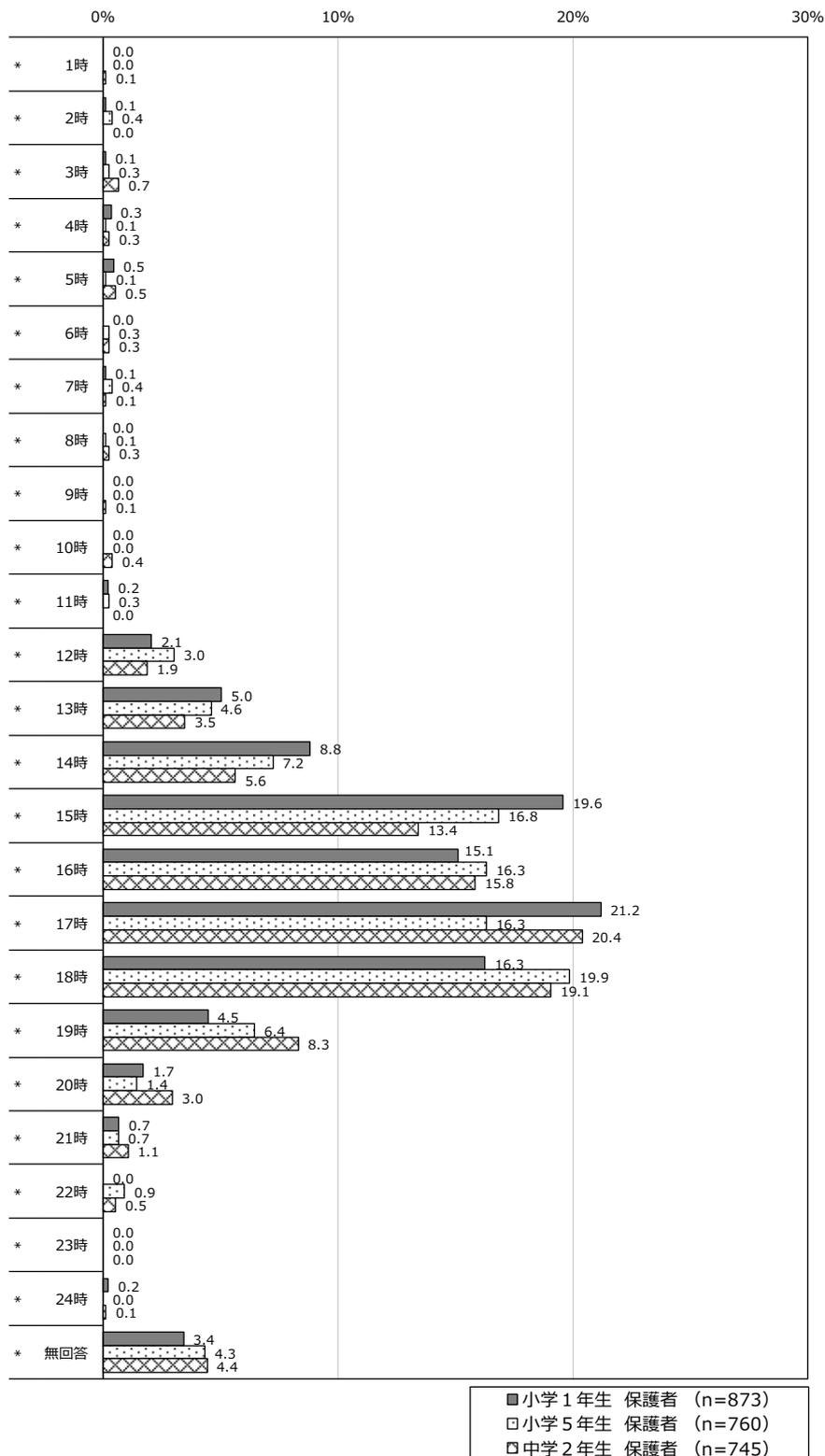
※問5-1で「働いている」と回答した方のみ

母親の仕事のある日の帰宅時間については、小1では「17時台」(21.2%)が最も高く、次いで「15時台」(19.6%)となっています。

小5では「18時台」(19.9%)が最も高く、次いで「15時台」(16.8%)となっています。

中2では「17時台」(20.4%)が最も高く、次いで「18時台」(19.1%)となっています。

図表 39 C 仕事のある日の帰宅時間「母親」

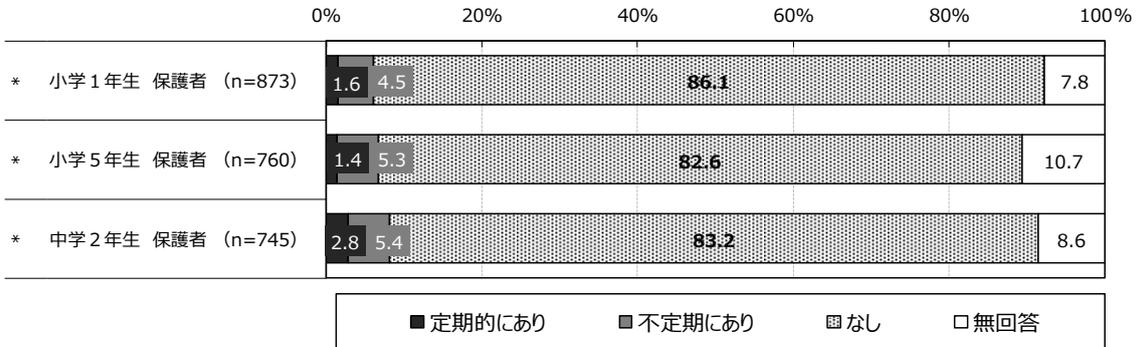


(4-4) D深夜労働の有無「母親」

※問 5-1 で「働いている」と回答した方のみ

母親の深夜労働の有無については、小1・小5・中2とも「なし」(小1:86.1%、小5:82.6%、中2:83.2%)が大半を占めています。

図表 40 D 深夜労働の有無「母親」

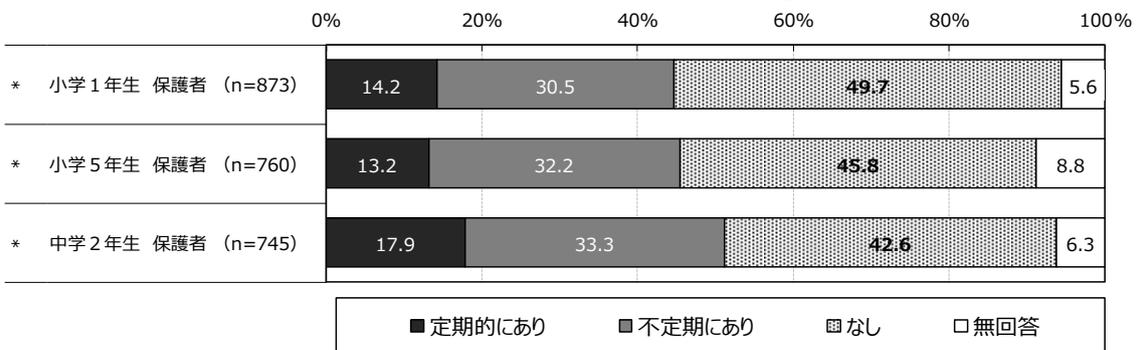


(4-5) E土曜出勤の有無「母親」

※問 5-1 で「働いている」と回答した方のみ

母親の土曜出勤の有無については、小1・小5・中2とも「なし」(小1:49.7%、小5:45.8%、中2:42.6%)が最も高く、次いで「不定期的にある」(小1:30.5%、小5:32.2%、中2:33.3%)となっています。「不期的にある」は学年が上がるにつれて、割合が高くなっています。

図表 41 E 土曜出勤の有無「母親」

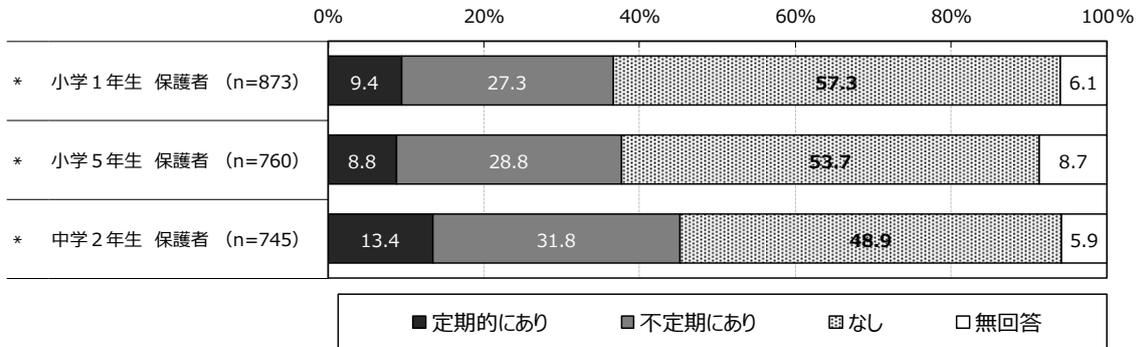


(4-6) F 日曜・祝日出勤の有無「母親」

※問 5-1 で「働いている」と回答した方のみ

母親の日曜・祝日出勤の有無については、小1・小5・中2とも「なし」(小1:57.3%、小5:53.7%、中2:48.9%)が最も高く、次いで「不定期にあり」(小1:27.3%、小5:28.8%、中2:31.8%)となっています。

図表 42 F 日曜・祝日出勤の有無「母親」

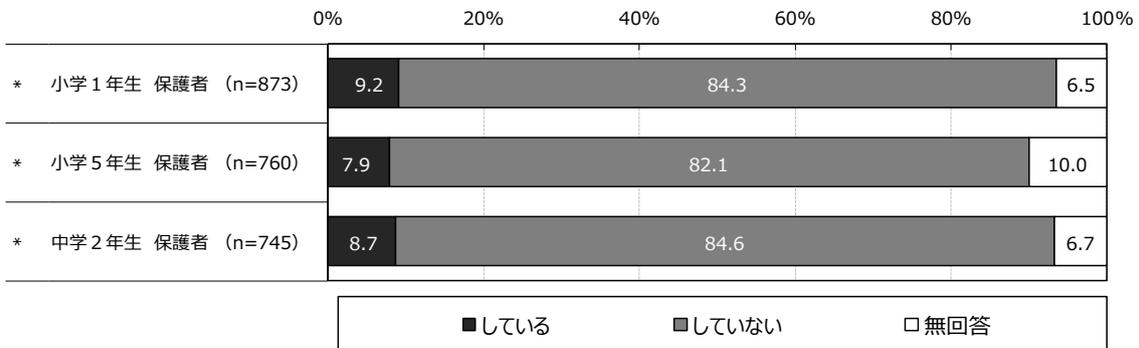


(4-7) G 副業の有無「母親」

※問 5-1 で「働いている」と回答した方のみ

母親の副業の有無については、小1・小5・中2の母親は「していない」(母親小1:84.3%、小5:82.1%、中2:84.6%)が大半を占めています。

図表 43 G 副業の有無「母親」



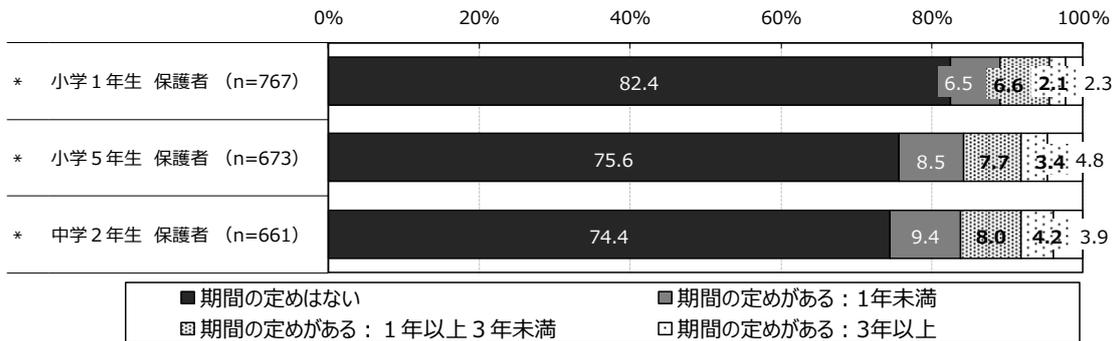
(5) 雇用期間の定め「母親」

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問6-3】  
 ※問6-1で2～6と答えた方にお伺いします。現在の仕事に雇用期間がありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

※問6-1で「民間企業の正社員」「公務員などの正職員」「団体職員」「契約社員・派遣社員・嘱託職員」「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」と回答した方のみ

母親の雇用期間の定めについては、小1・小5・中2とも「期間の定めはない」(小1：82.4%、小5：75.6%、中2：74.4%)が大半を占めています。

図表 44 雇用期間の定め「母親」



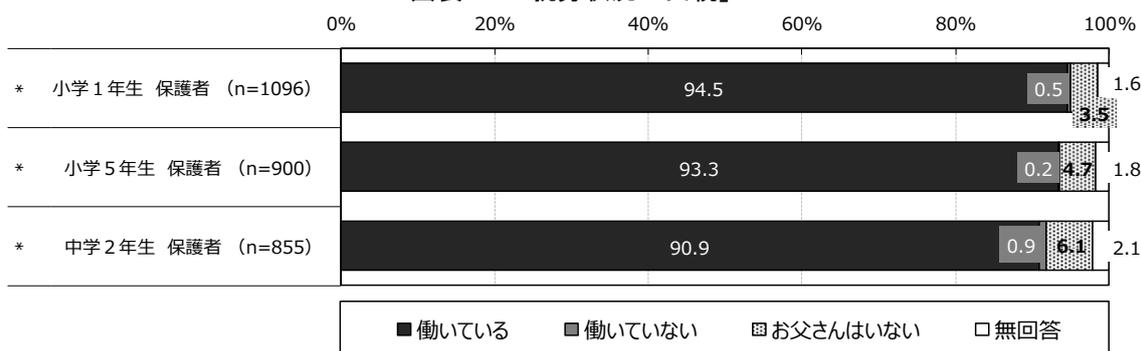
(6) 就労状況「父親」

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問7-1】  
 お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）は、現在働いていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください（○はひとつ）

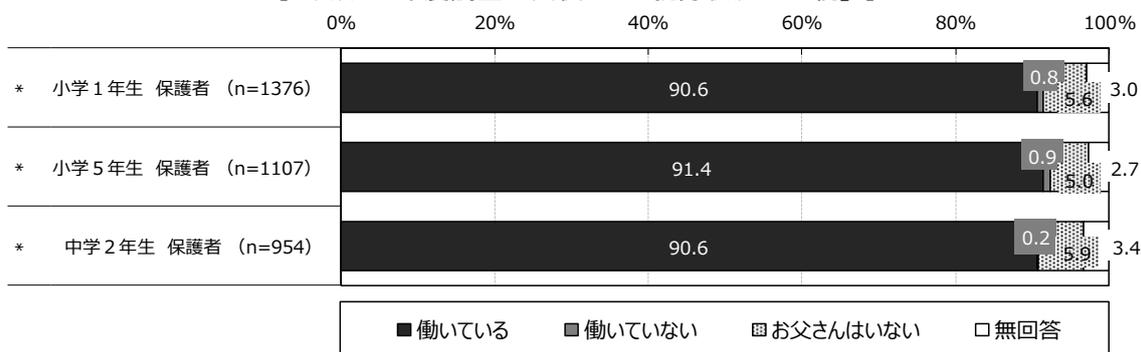
父親の就労状況については、どの学年も「働いている」（小1：94.5%、小5：93.3%、中2：90.9%）の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して小1、小5、中2の保護者について高くなっています。

図表 45 就労状況「父親」



[平成30年度調査 図表 45 就労状況「父親」]



(7) 就労していない「父親」の現在の状況

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問7-2】  
 働いていない方にお伺いします。  
 現在の状況にあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

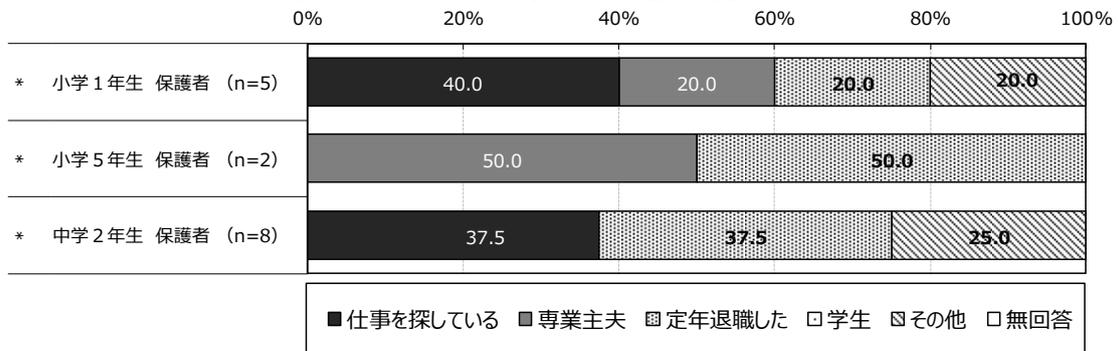
※問7-1で「働いていない」と回答した方のみ

就労していない父親の現在の状況については、小1では「仕事を探している」の割合が高くなっています。

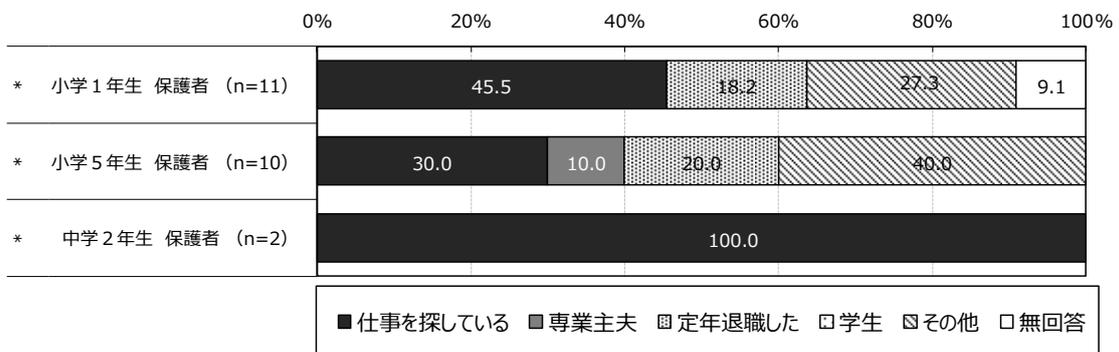
その他として「病気により障害があり働けず」、中2のその他として「障がい者」「主夫」との回答がありました。

平成30年度調査と比較して、「仕事を探している」は減少し、就労していない「父親」の数は減りました。

図表 46 就労していない「父親」の現在の状況



[ 平成30年度調査 図表 46 就労していない「父親」の現在の状況 ]



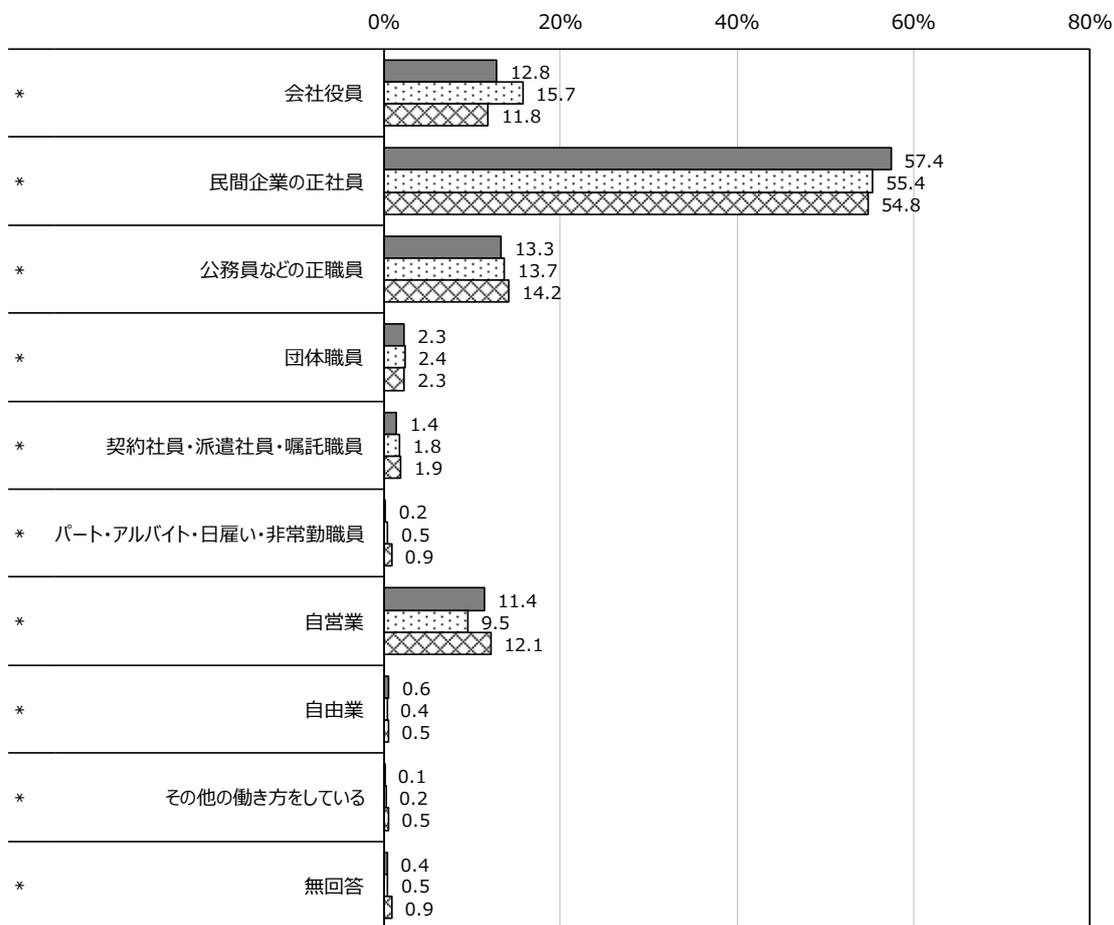
(8) 現在の職業「父親」

【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問8-1】  
 お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）の現在の職業について  
 お伺いします。現在のご職業は次のどれにもっとも近いですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

※問7-1で「働いている」と回答した方のみ

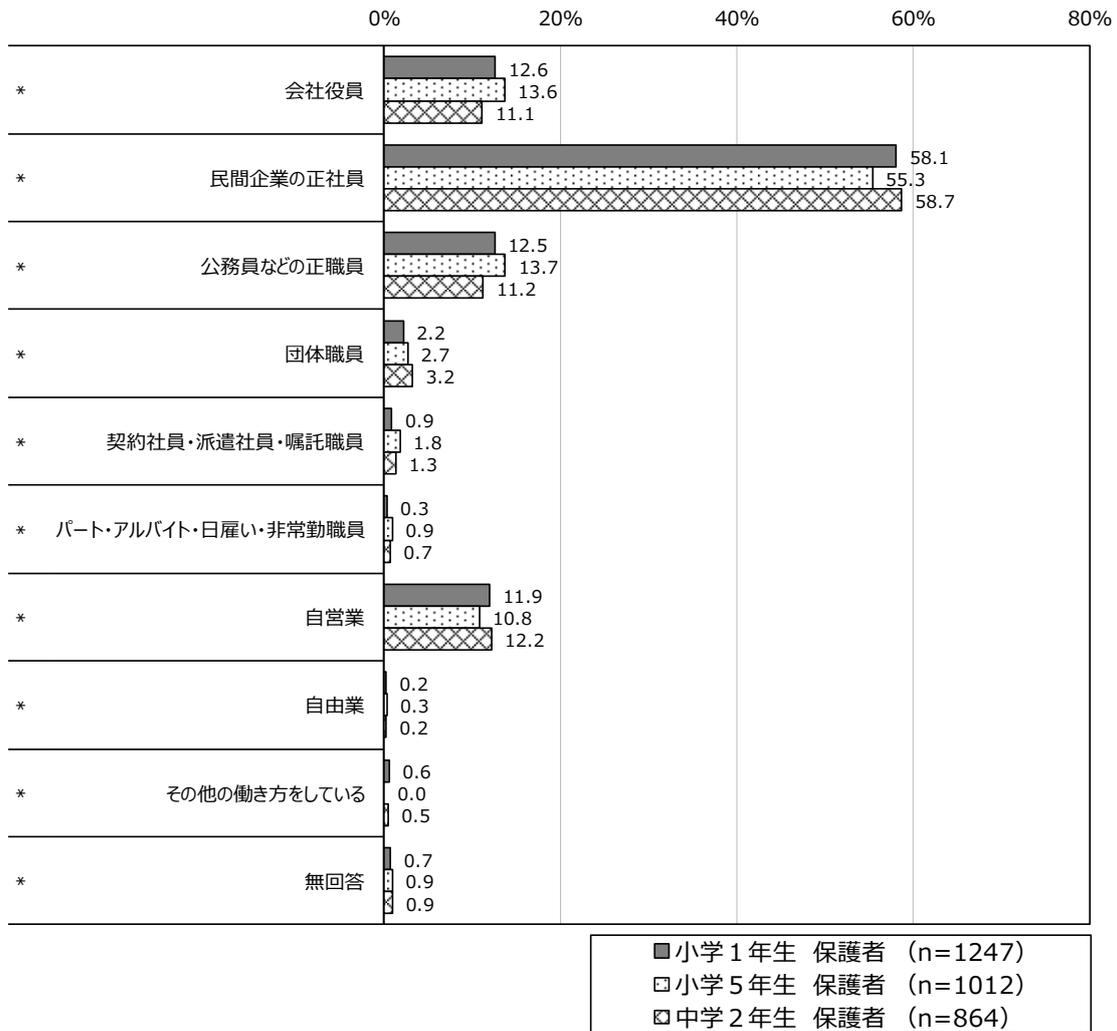
父親の現在の職業については、小1・小5・中2とも「民間企業の正社員」（小1：57.4%、小5：55.4%、中2：54.8%）が最も高く、次いで小1・中2では「公務員などの正職員」（小1：13.3%、中2：14.2%）、小5では「会社役員」（15.7%）となっています。  
 平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。

図表 47 現在の職業「父親」



■ 小学1年生 保護者 (n=1036)  
 □ 小学5年生 保護者 (n=840)  
 ▨ 中学2年生 保護者 (n=777)

[平成30年度調査 図表 47 現在の職業「父親」]



(9) 仕事の勤務時間など「父親」

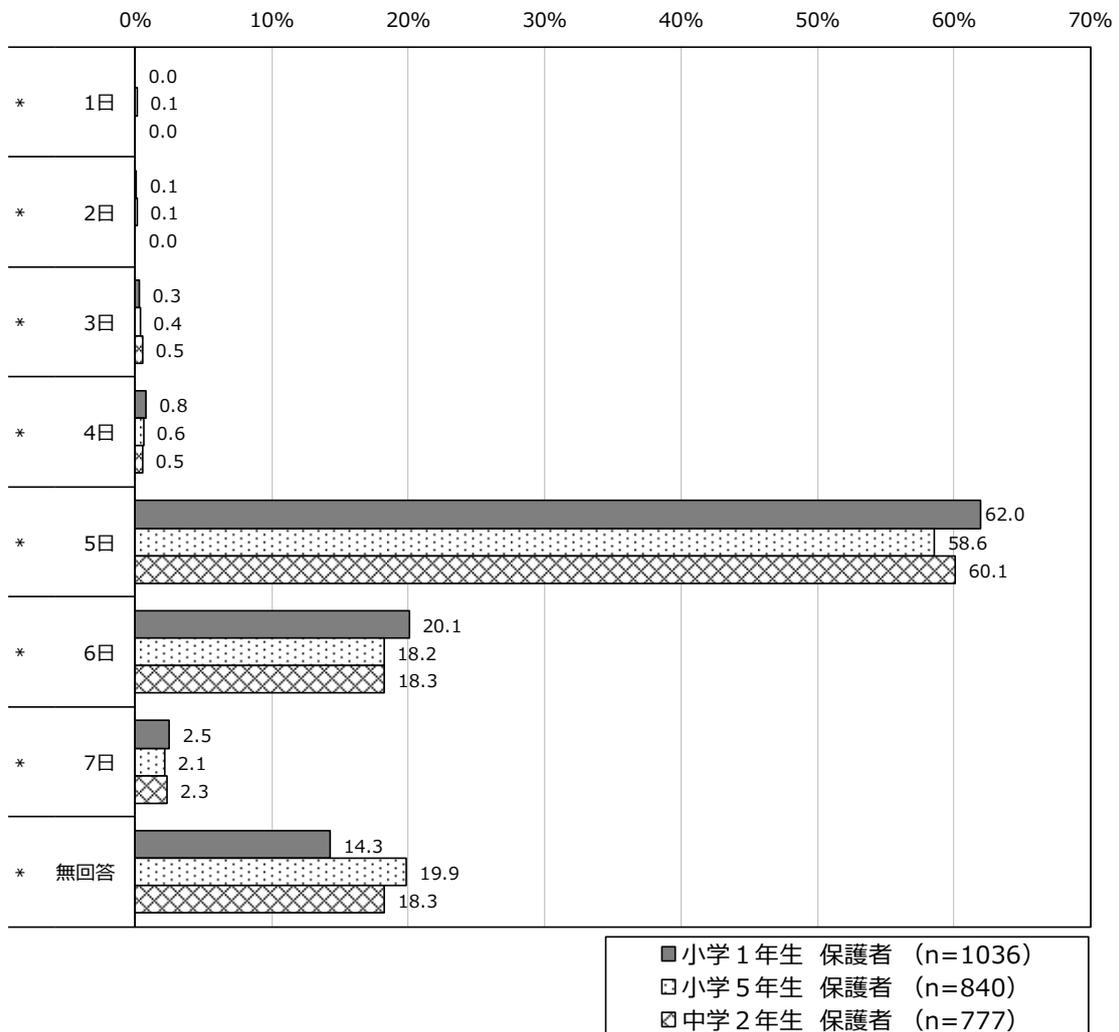
【小学1年生・小学5年生・中学2年生：問8-2】  
 仕事の勤務時間などについてお答えください。A～Cは該当する数字を記入し、D～Gはあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

(9-1) A 普段の1週間あたりの労働日数「父親」

※問7-1で「働いている」と回答した方のみ

父親の普段の1週間あたりの就労日数については、小1・小5・中2とも「5日」(小1：62.0%、小5：58.6%、中2：60.1%)が最も高く、次いで小1・小5・中2とも「6日」(小1：20.1%、小5：18.2%、中2：18.3%)となっています。

図表 48 A 普段の1週間あたりの労働日数「父親」

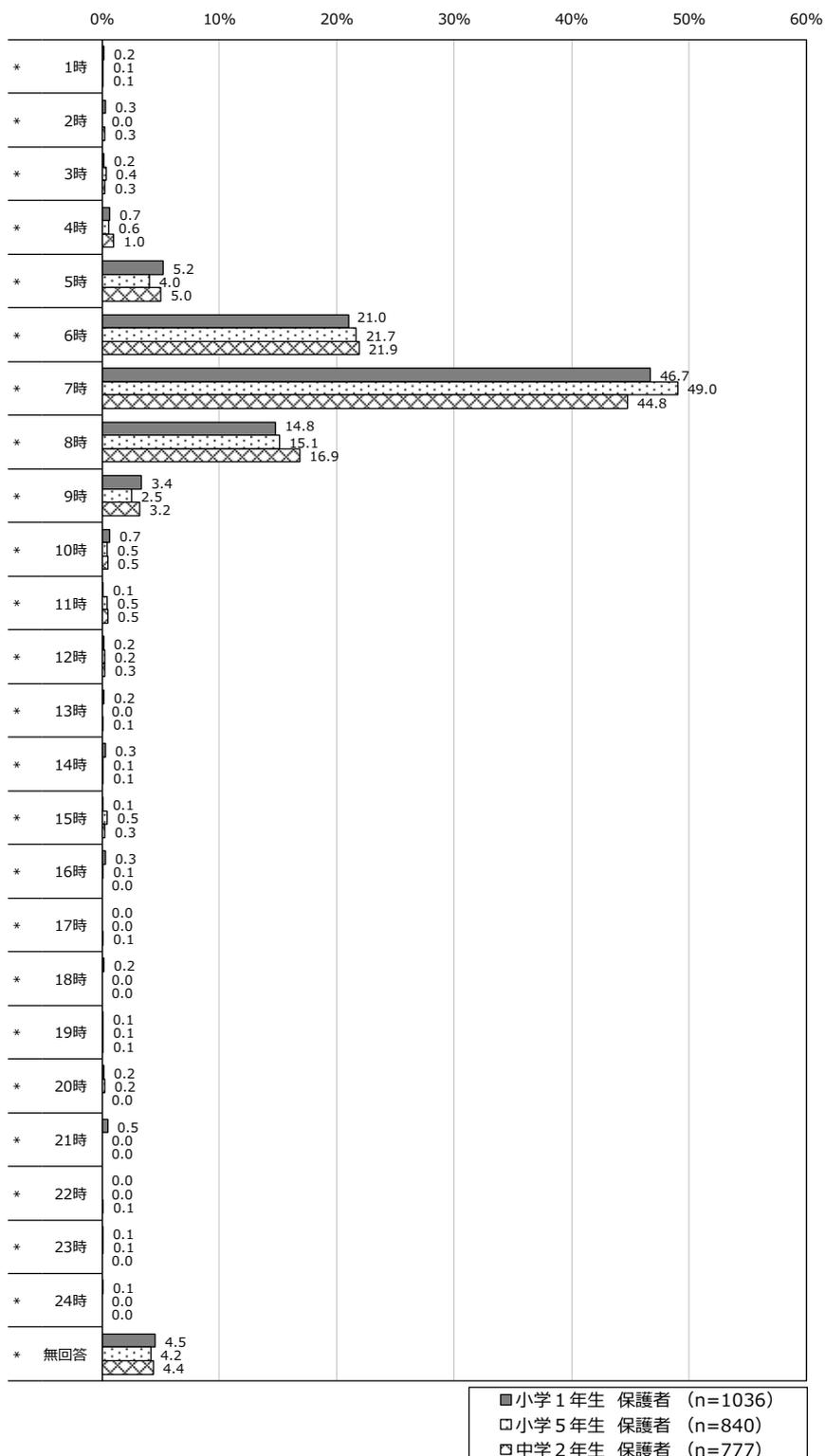


(9-2) B仕事のある日に家を出る時間「父親」

※問7-1で「働いている」と回答した方のみ

父親の仕事のある日に家を出る時間については、小1・小5・中2とも「7時台」(小1: 46.7%、小5: 49.0%、中2: 44.8%)が最も高く、次いで「6時台」(小1: 21.0%、小5: 21.7%、中2: 21.9%)、次いで「8時台」(小1: 14.8%、小5: 15.1%、中2: 16.9%)となっています。

図表 49 B 仕事のある日に家を出る時間「父親」

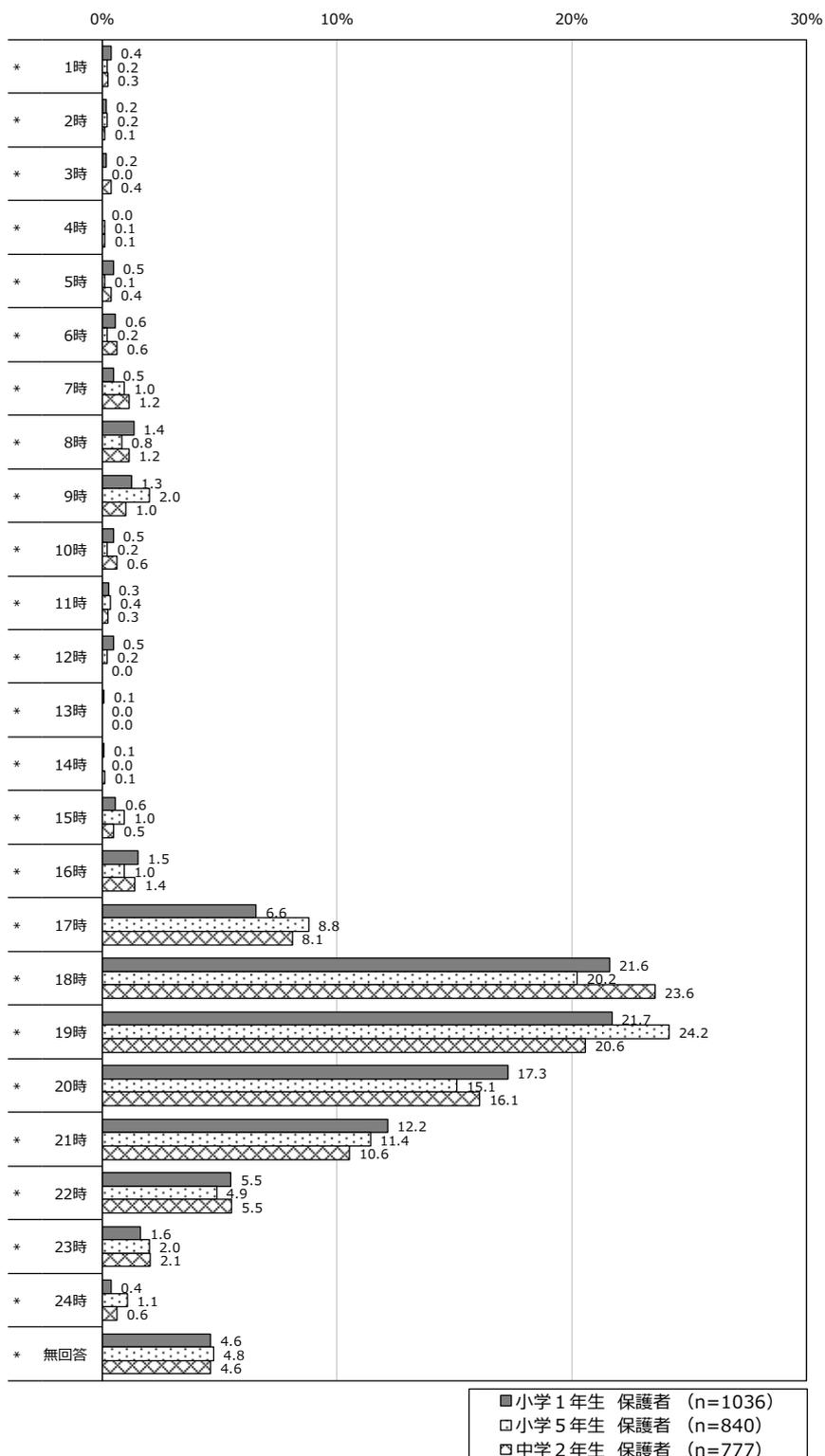


(9-3) C仕事のある日の帰宅時間「父親」

※問7-1で「働いている」と回答した方のみ

父親の仕事のある日の帰宅時間については、小1・小5では「19時台」(小1:21.7%、小5:24.2%)、中2では「18時台」(23.6%)が最も高くなっています。次いで小1・小5では「18時台」(小1:21.6%、小5:20.2%)、中2では「19時台」(20.6%)となっています。

図表 50 C 仕事のある日の帰宅時間「父親」

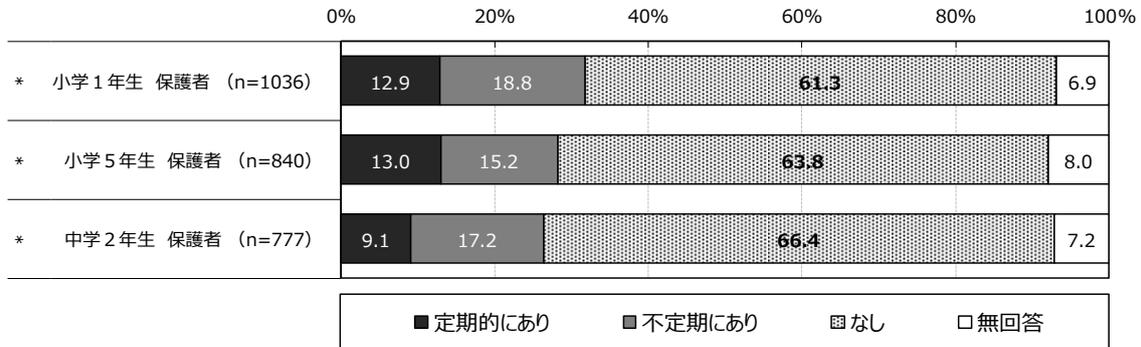


(9-4) D深夜労働の有無「父親」

※問7-1で「働いている」と回答した方のみ

父親の深夜労働の有無については、小1・小5・中2とも「なし」(小1:61.3%、小5:63.8%、中2:66.4%)が半数以上を占めています。学年が低いほど「あり」(「定期的にある」+「不定期にある」)が高くなっています。

図表 51 D 深夜労働の有無「父親」

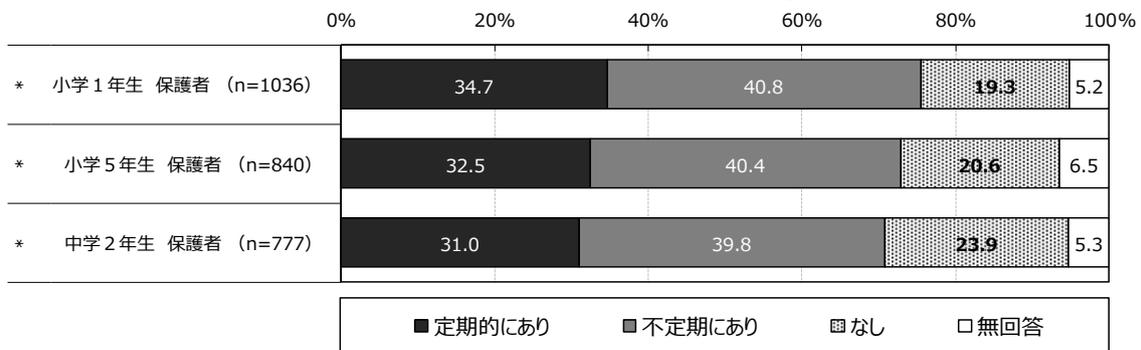


(9-5) E土曜出勤の有無「父親」

※問7-1で「働いている」と回答した方のみ

父親の土曜出勤の有無については、小1・小5・中2とも「あり」(「定期的にある」+「不定期にある」)が7割を超えており、「不定期にある」(小1:40.8%、小5:40.4%、中2:39.8%)が最も高くなっています。

図表 52 E 土曜出勤の有無「父親」

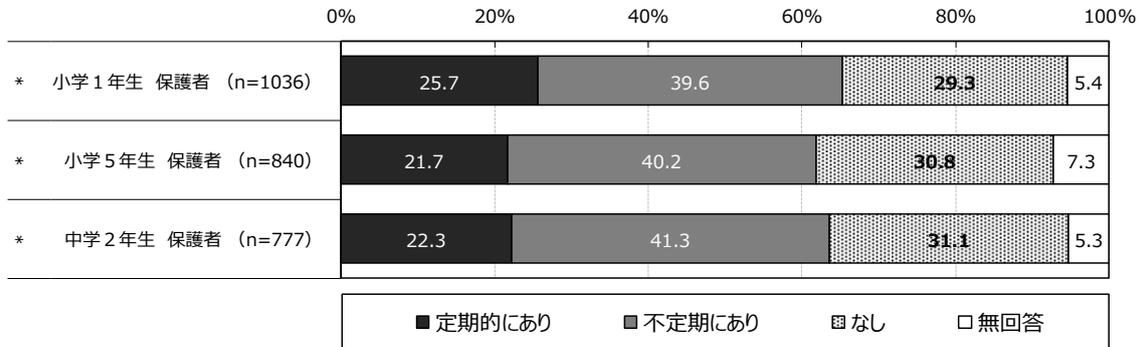


(9-6) F日曜・祝日出勤の有無「父親」

※問 7-1 で「働いている」と回答した方のみ

父親の日曜・祝日出勤の有無については、小1・小5・中2とも「不定期にあり」(小1: 39.6%、小5: 40.2%、中2: 41.3%)が最も高く、次いで「なし」(小1: 29.3%、小5: 30.8%、中2: 31.1%)となっています。

図表 53 F 日曜・祝日出勤の有無「父親」

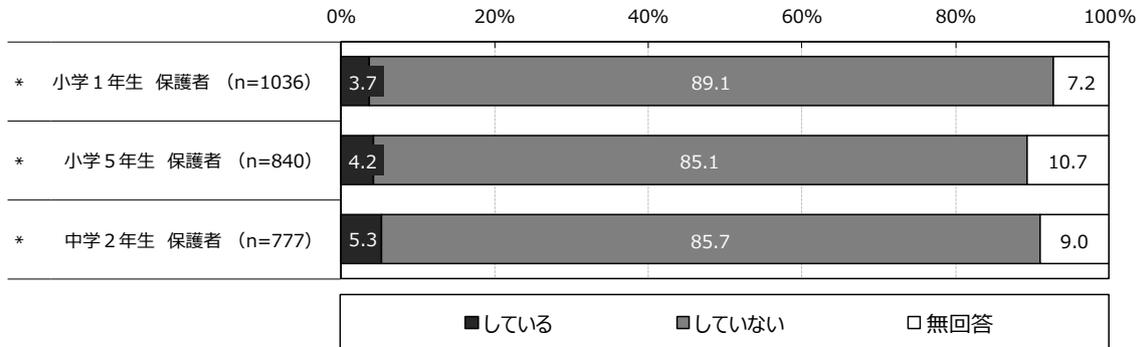


(9-7) G副業の有無「父親」

※問 7-1 で「働いている」と回答した方のみ

父親の副業の有無については、小1・小5・中2の父親は「していない」(父親小1: 89.1%、小5: 85.1%、中2: 85.7%)が大半を占めています。

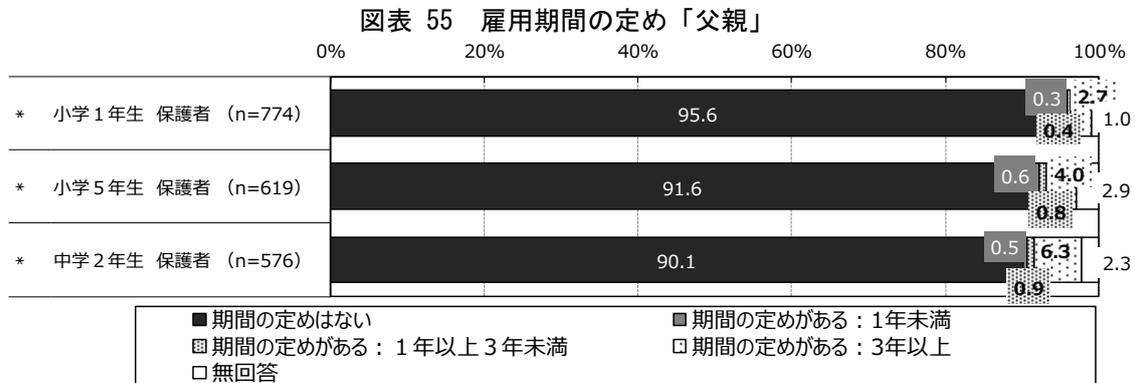
図表 54 G 副業の有無「父親」



(10) 雇用期間の定め「父親」

※問 8-1 で「民間企業の正社員」「公務員などの正職員」「団体職員」「契約社員・派遣社員・嘱託職員」「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」と回答した方のみ

父親の雇用期間の定めについては、小1・小5・中2とも「期間の定めはない」(小1: 95.6%、小5: 91.6%、中2: 90.1%) が大半を占めています。



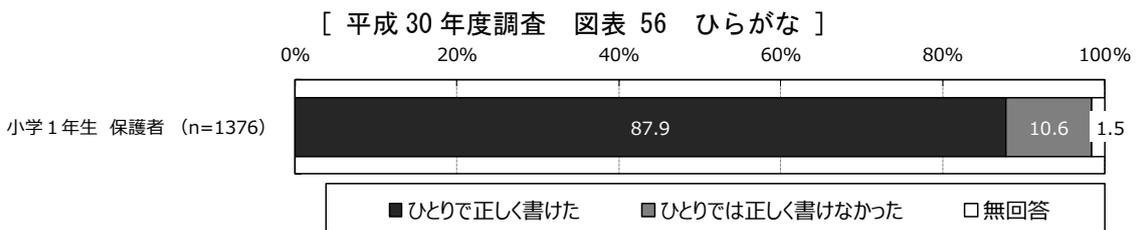
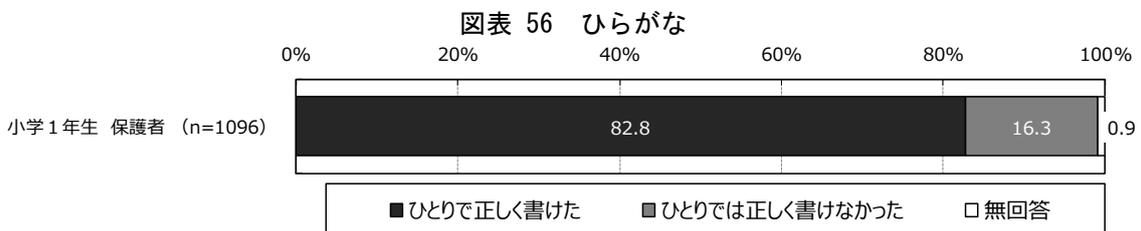
4.3 お子さんのことについて

(1) ひらがな

【小学1年生のみ：問9-1】  
 あなたのお子さんは小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けましたか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

小1の保護者に小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けたかについては、「ひとりで正しく書けた」(82.8%) が大半を占めています。

平成30年度調査と比較して、「ひとりでは正しく書けなかった」の割合は、5.7%高くなっています。



## (2) ひらがな（現在）

【小学1年生のみ：問9-2】

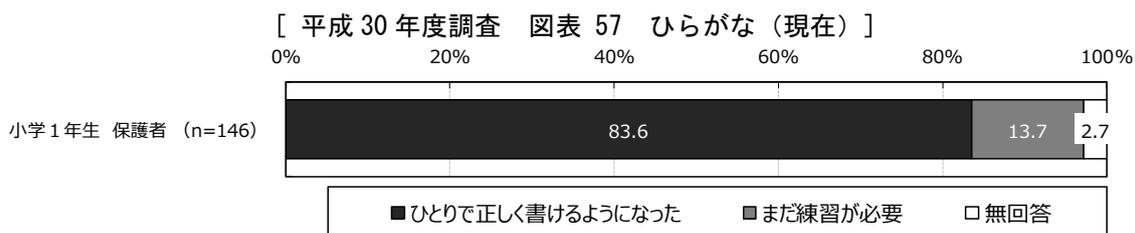
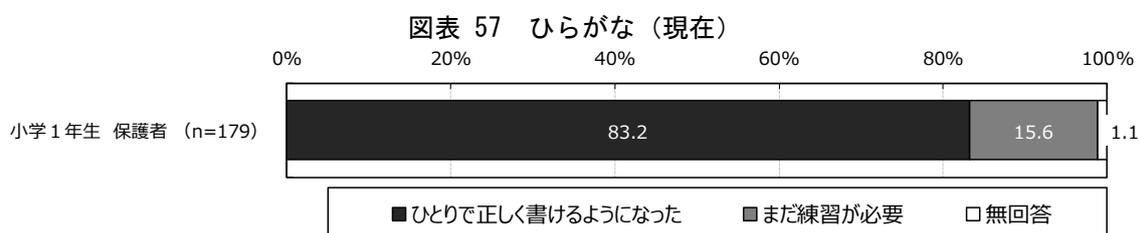
※問9-1で「2」と回答した方に伺います。

現在、あなたのお子さんは、自分の名前をひらがなで書けるようになりましたか。あてはまるものに○をつけてください。

### ※問9-1で「ひとりでは正しく書けなかった」と回答した方のみ

小1の保護者に現在、自分の名前をひらがなで書けるようになったかについては、「ひとりで正しく書けるようになった」(83.2%)が最も高く、次いで「まだ練習が必要」(15.6%)となっています。

平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。

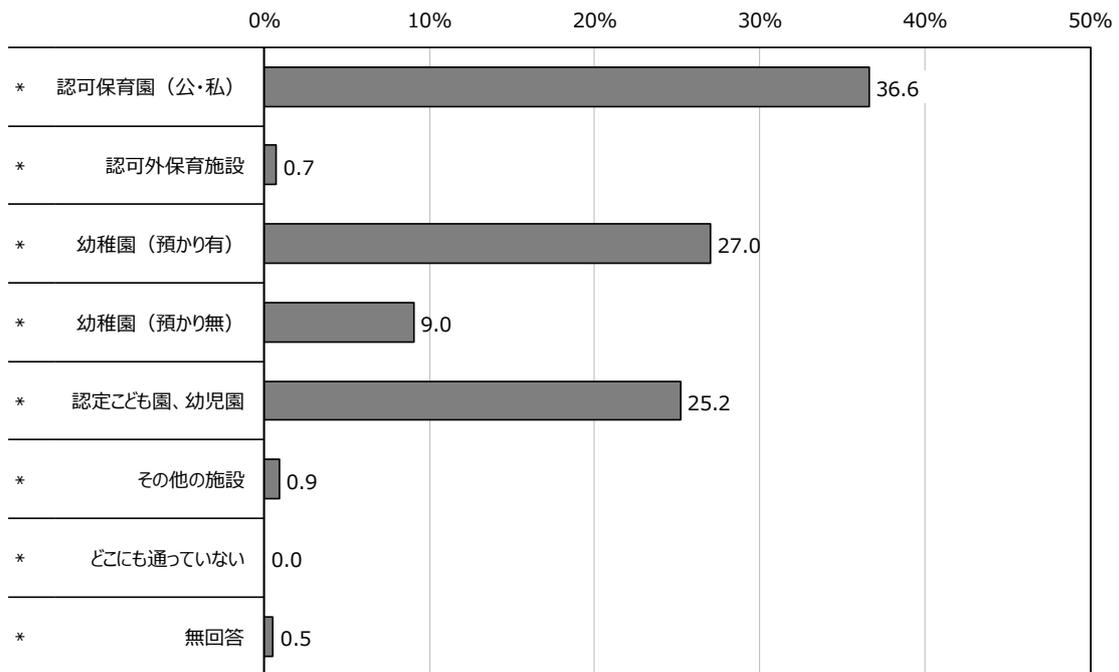


(3) 通っていた施設

【小学1年生のみ：問10-1】  
あなたのお子さんが小学校入学前の1年間に通っていた施設を教えてください。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

小1の保護者に小学校入学前の1年間に通っていた施設については、「認可保育園（公・私）」（36.6%）が最も高く、次いで「幼稚園（預かり有）」（27.0%）となっています。

図表 58 通っていた施設



■小学1年生 保護者 (n=1096)

(4) 通っていた施設の1ヶ月の利用料

【小学1年生のみ：問10-2】

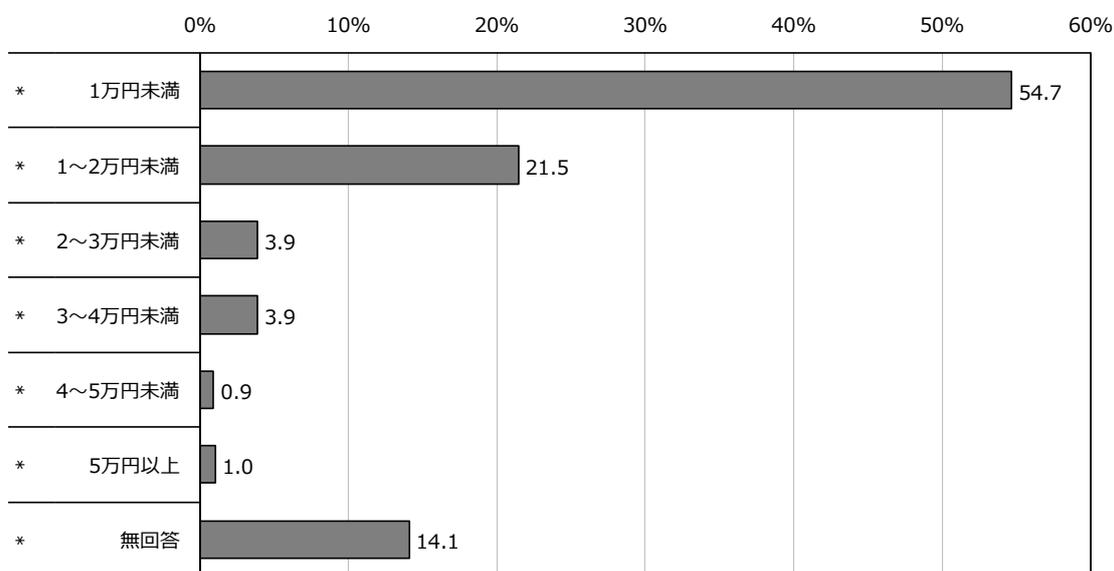
※問10-1で1～6と回答した方にお伺いします。

お子さんが通っていた施設の、1ヶ月のおおよその利用料を教えてください。

※問10-1で「認可保育園(公・私)」「認可外保育施設」「幼稚園(預かり有)」「幼稚園(預かり無)」「認定こども園、幼児園」「その他の施設」と回答した方のみ

小1の保護者に小学校入学前の1年間に通っていた施設の1ヶ月のおおよその利用料については、「1万円未満」(54.7%)が最も高く、次いで「1～2万円未満」(21.5%)となっています。

図表 59 通っていた施設の1ヶ月の利用料



■小学1年生 保護者 (n=1057)

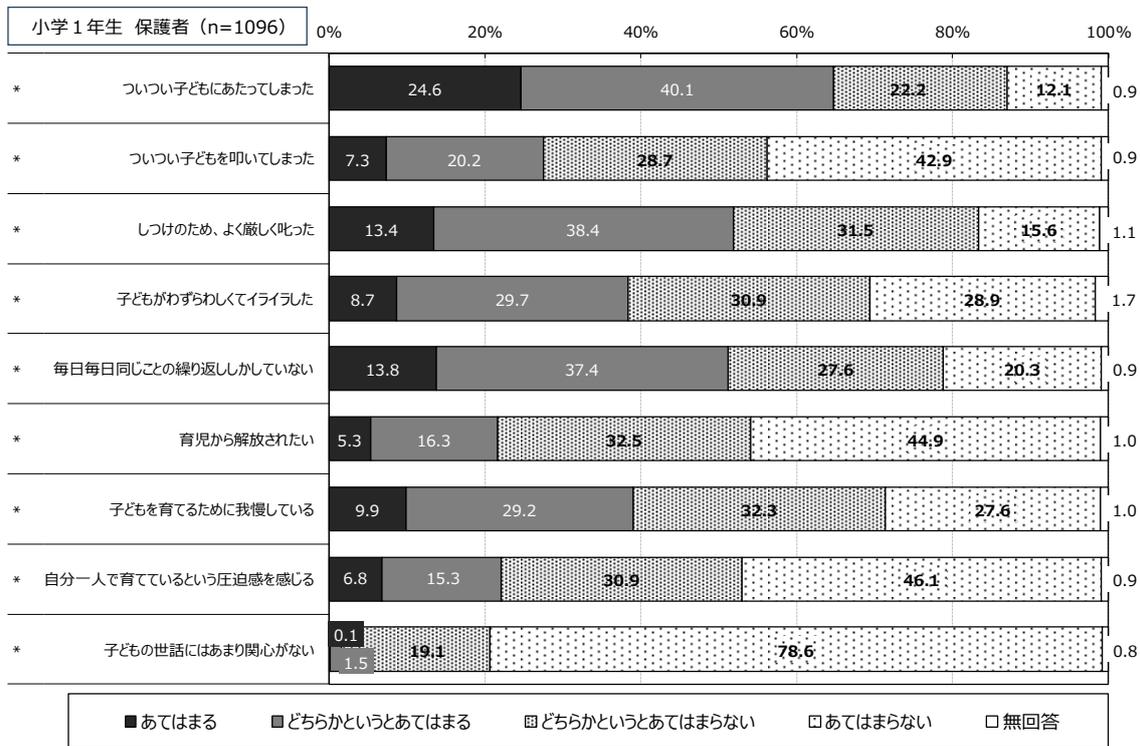
(5) これまでの子育ての中で、あたり思ったりしたこと

【小学1年生のみ：問11】  
 これまでの育児について思っていることをお聞かせください。  
 これまでの子育ての中でA～Iのようなことがあたり、思ったりしたことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

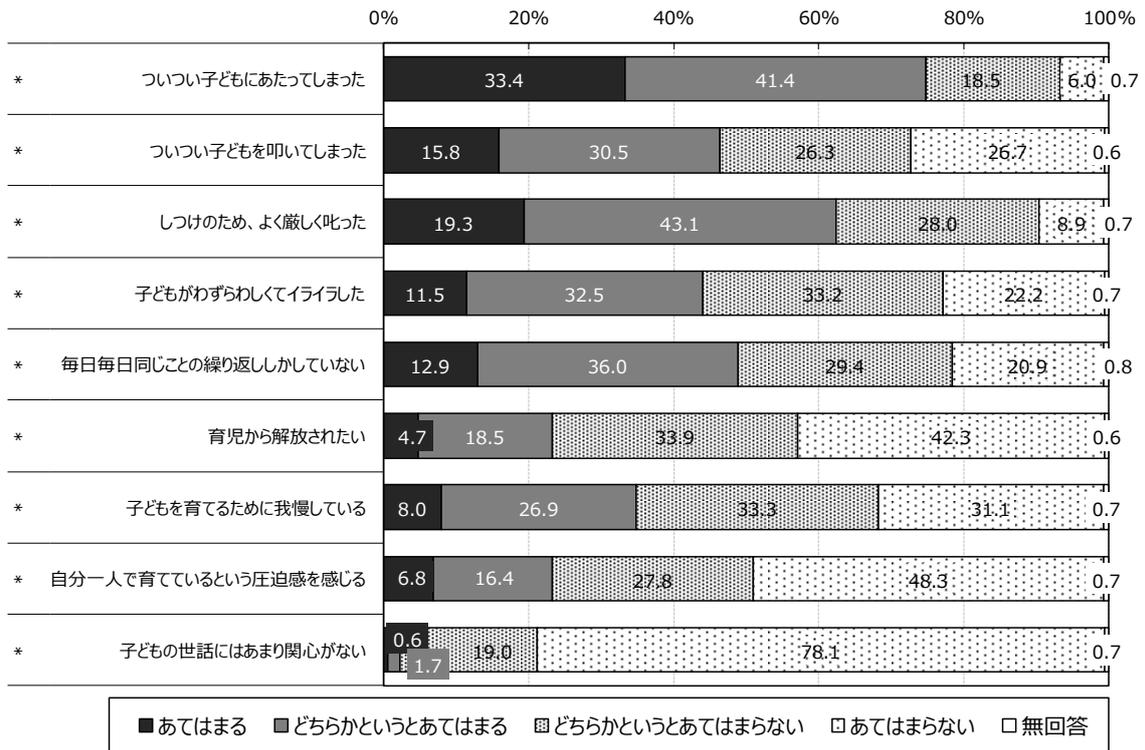
小1の保護者に、これまでの子育ての中で、あたり思ったりしたことについては、「あてはまる」(「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)で、「ついつい子どもにあたってしまった」(64.7%)が最も高く、次いで「しつけのため、よく厳しく叱った」(51.8%)、次いで「毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない」(51.2%)となっています。

平成30年度調査と比較して、「ついつい子どもにあたってしまった」、「ついつい子どもを叩いてしまった」、「しつけのため、よく厳しくしかった」、「子どもがわずらわしくてイライラした」の「あてはまる」と回答した割合は、低くなっています。

図表 60 これまでの子育ての中で、あたり思ったりしたこと



[ 平成 30 年度調査 図表 60 これまでの子育ての中で、あたり思ったりしたこと ]



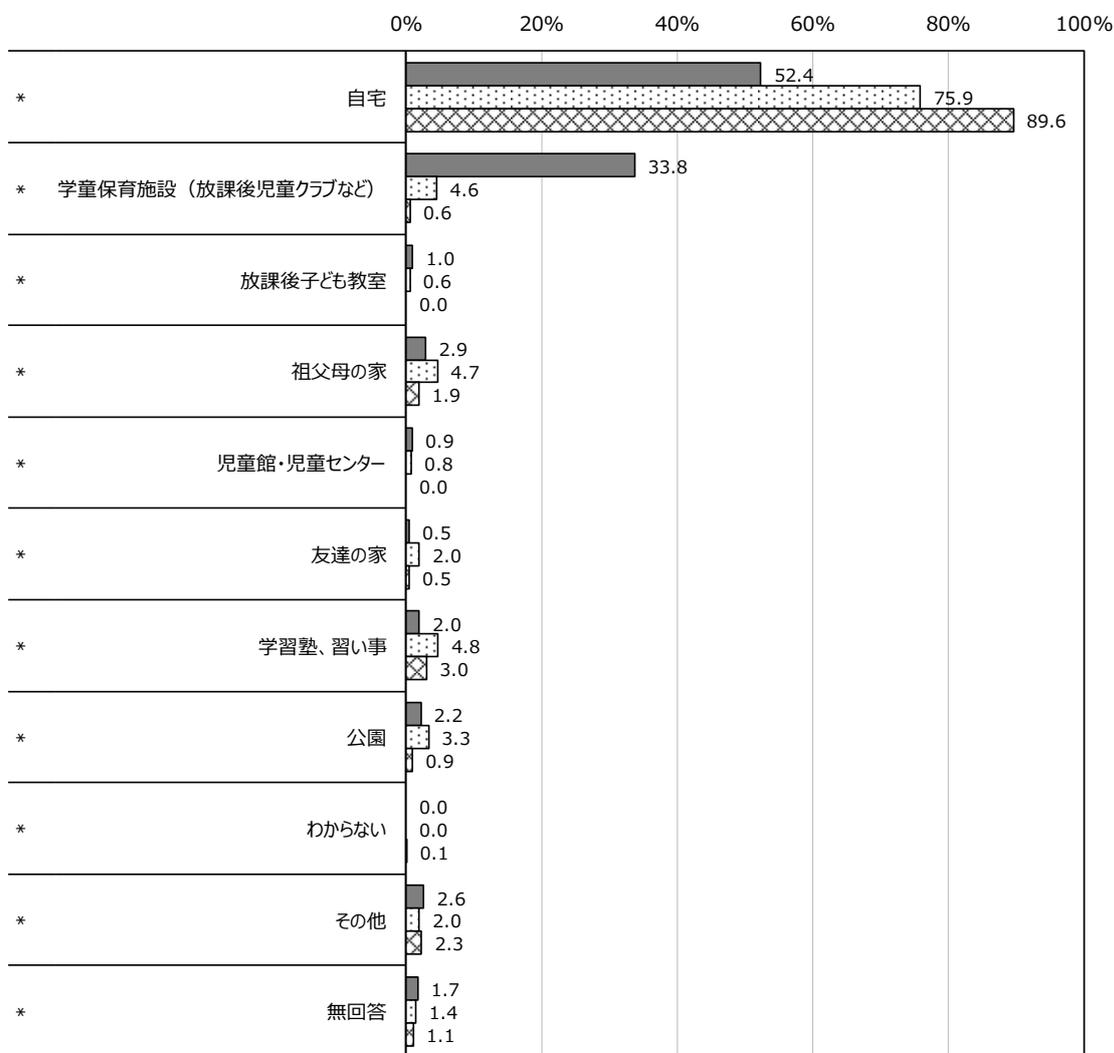
(6) 子どもが放課後の時間を過ごす場所

【小学1年生のみ：問12-1、小学5年生・中学2年生：問9】  
 お子さんは、現在、学校が終わってからの放課後の時間を、主にどこで過ごしていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

子どもが放課後の時間を過ごす場所については、小1・小5・中2ともに「自宅」(小1：52.4%、小5：75.9%、中2：89.6%)が最も高くなっています。次いで、小1では「学童保育施設(放課後児童クラブなど)」(33.8%)、小5・中2では「学習塾、習い事」(小5：4.8%、中2：3.0%)となっています。

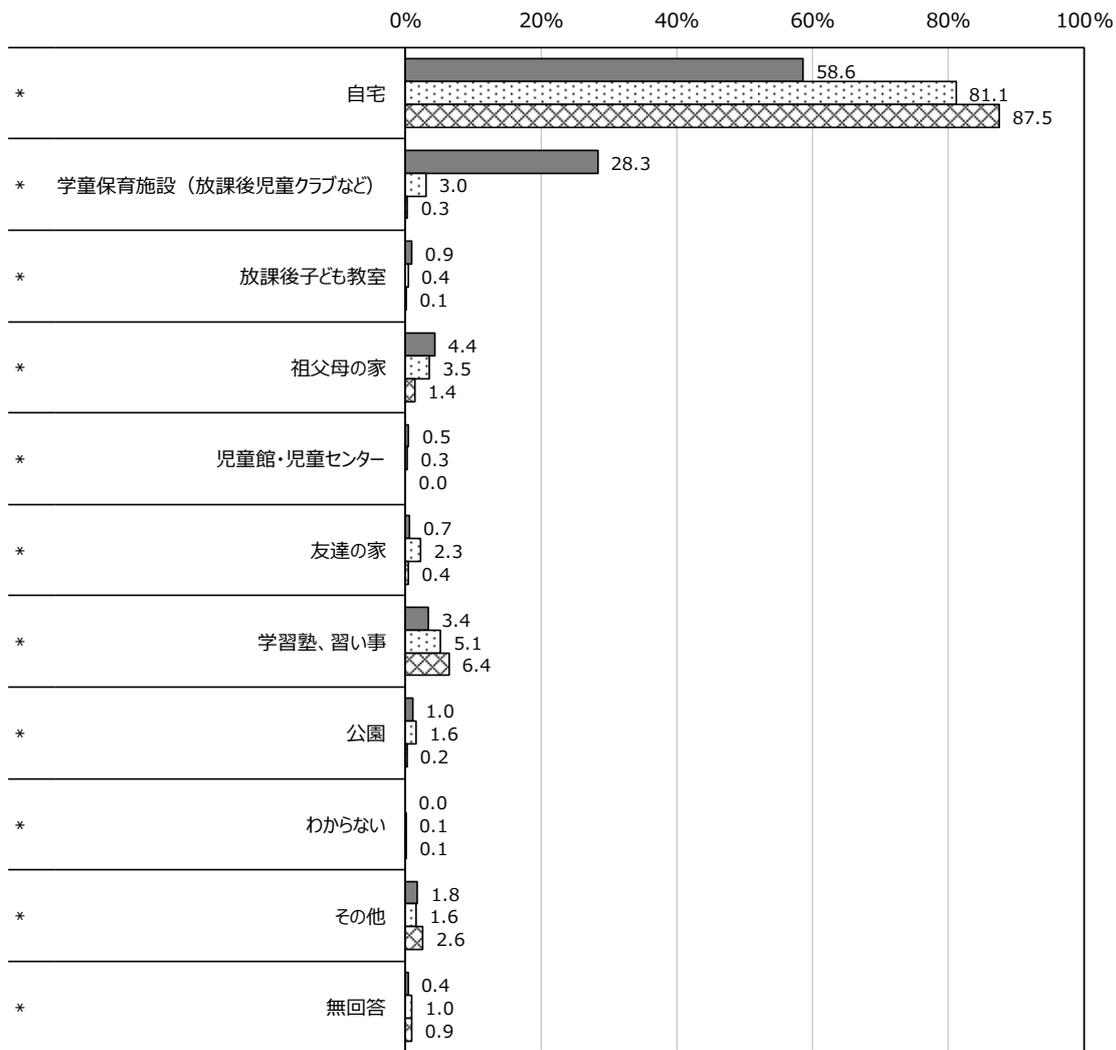
平成30年度調査と比較して、「自宅」では、小1、小5で低くなっており、「学習塾、習い事」では全ての学年で割合が低くなっています。また、「学童保育施設(放課後児童クラブなど)」、「公園」は、全ての学年で割合が高くなっています。

図表 61 子どもが放課後の時間を過ごす場所



■小学1年生 保護者 (n=1096)  
 □小学5年生 保護者 (n=900)  
 ⊠中学2年生 保護者 (n=855)

[ 平成 30 年度調査 図表 61 子どもが放課後の時間を過ごす場所 ]



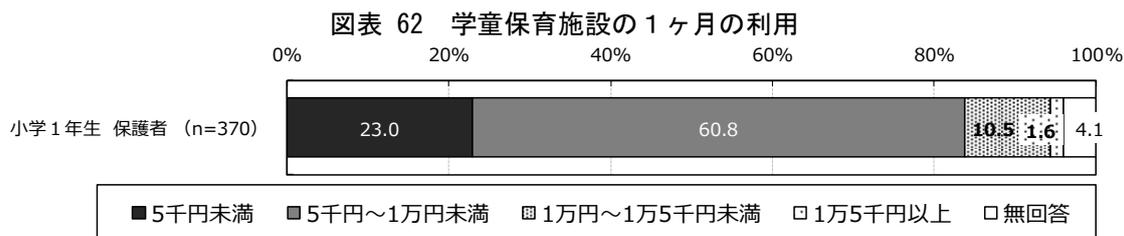
■ 小学1年生 保護者 (n=1376)  
 □ 小学5年生 保護者 (n=1107)  
 ▨ 中学2年生 保護者 (n=954)

(7) 学童保育施設の1ヶ月の利用料

【小学1年生のみ：問12-2】  
 ※問12-1で「2」と答えた方にお伺いします。  
 現在利用している学童保育施設のおおよその1ヶ月の利用料を教えてください。

※小学1年生の間12-1で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方のみ

小1の保護者に学童保育施設の1ヶ月の利用料については、「5千円～1万円未満」(60.8%)が最も高く、次いで「5千円未満」(23.0%)となっています。

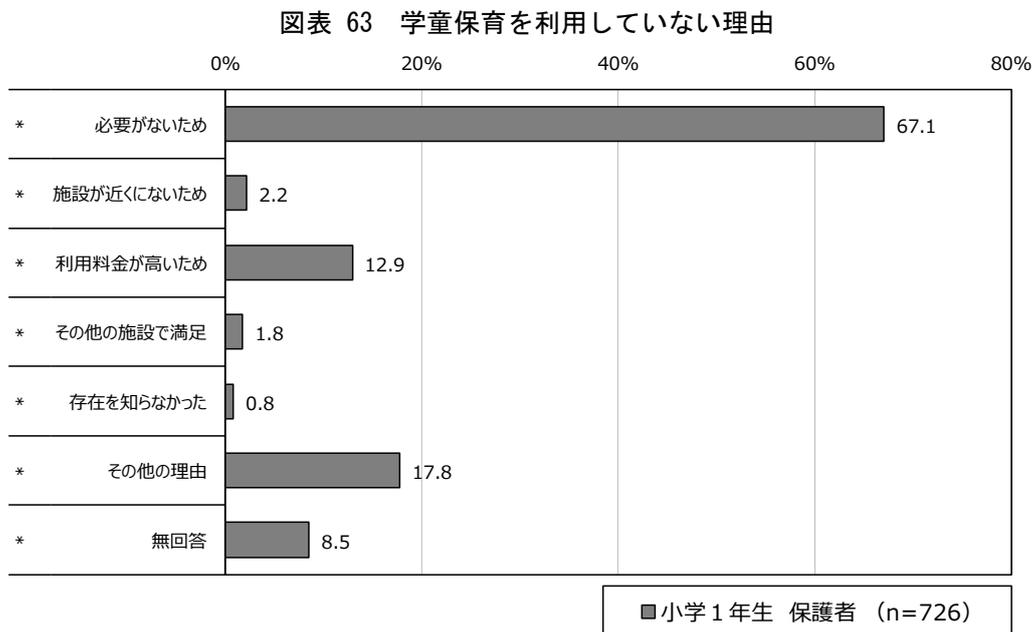


(8) 学童保育施設を利用していない理由

【小学1年生のみ：問13】  
 ※問12-1で学童保育を利用していないすべての方にお伺いします。  
 学童保育施設を利用していない理由を教えてください。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※小学1年生の間12-1で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答していない全ての方

小1の保護者に学童保育施設を利用していない理由については、「必要がないため」(67.1%)が最も高くなっています。その他の理由として「条件を満たしていないから」との回答が多くありました。



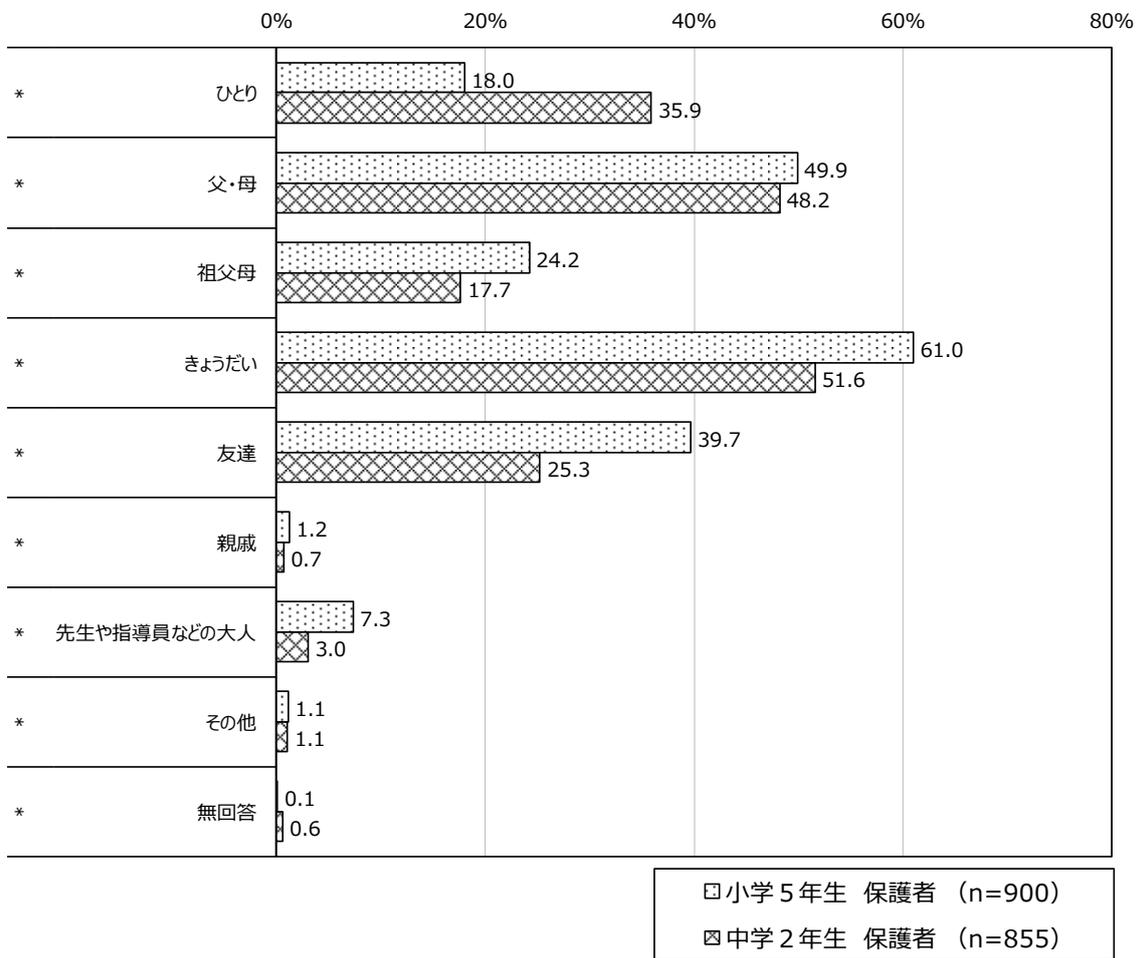
(9) 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか

【小学5年生・中学2年生のみ：問10】  
 お子さんは、放課後、誰と過ごすことが多いですか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

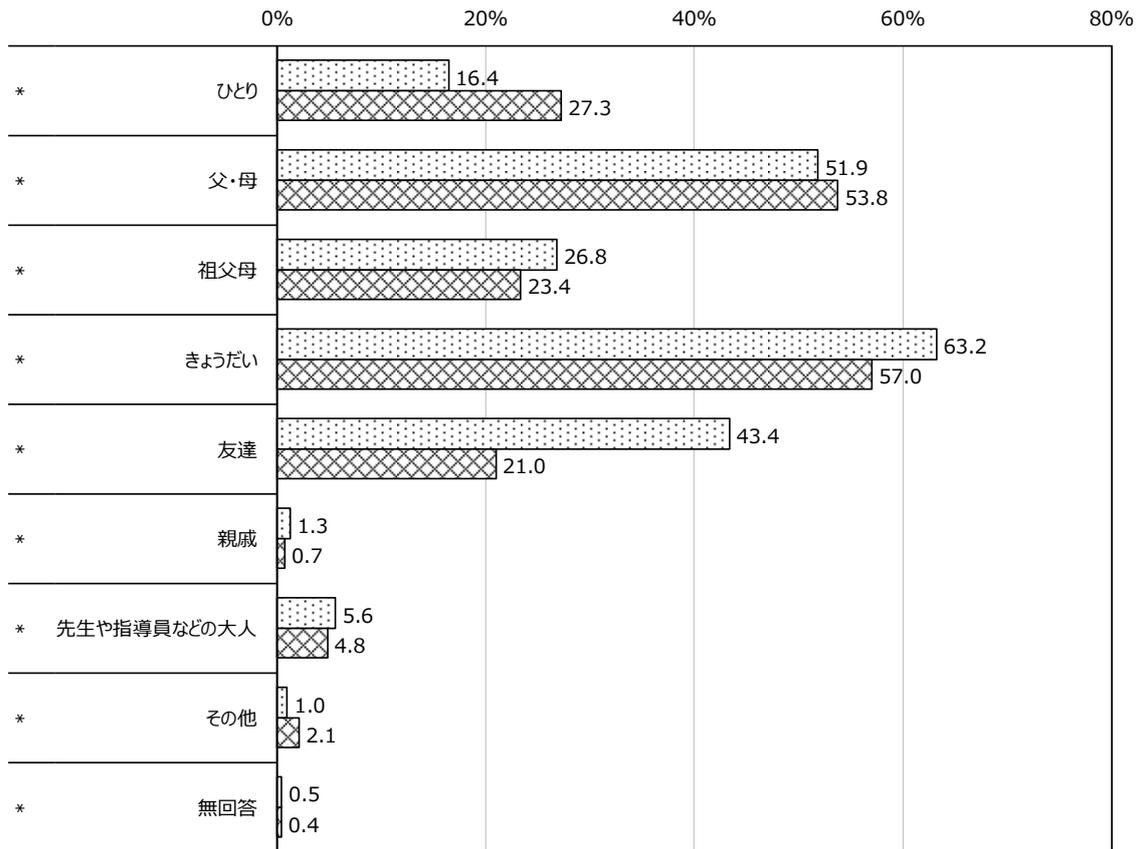
小5・中2の保護者に子どもが放課後誰と過ごすことが多いかについては、小5・中2とも「きょうだい」(小5:61.0%、中2:51.6%)が最も高くなっており、次いで「父・母」(小5:49.9%、中2:48.2%)となっています。小5では「友達」(39.7%)と過ごす割合も高く、中2では「ひとり」(35.9%)で過ごす割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2の「ひとり」と回答した割合は、8.6%高くなっています。

図表 64 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか



[ 平成 30 年度調査 図表 64 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか ]



□小学5年生 保護者 (n=1107)

▣中学2年生 保護者 (n=954)

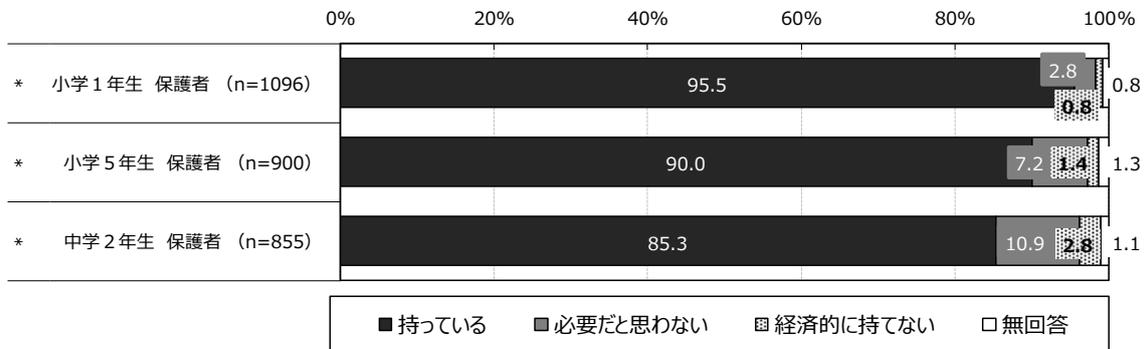
(10) 子ども用のもの

【小学1年生：問14、小学5年生・中学2年生：問11】  
 あなたのご家庭ではお子さん用に次のものをお持ちですか。  
 A～Kについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

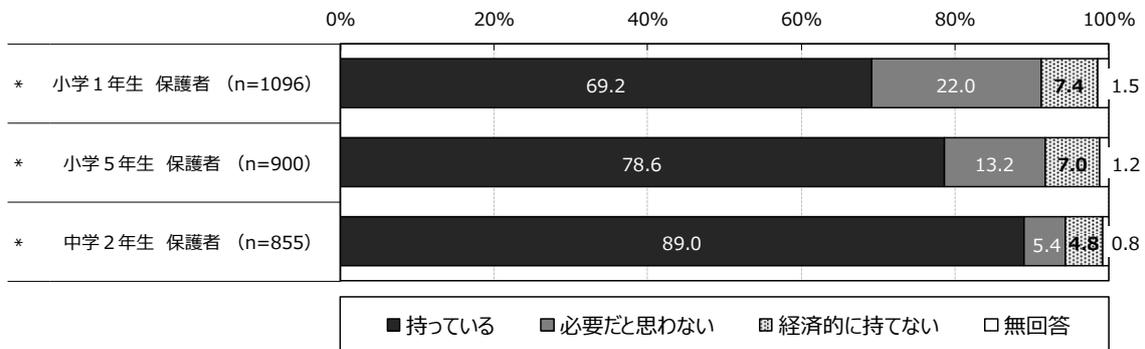
子ども用のものについては、小1・小5・中2ともに「子どもの本」と「そのお子さん専用の文房具」と「多くの子どもが持っているおもちゃ」と「自転車」が8割以上所持しています。また、小5・中2では「子ども部屋」「子ども専用の勉強机」「ゲーム機」はいずれも7割以上が所持しています。「携帯電話・スマートフォン」「携帯音楽プレイヤー等」は必要だと思わない割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して「子ども部屋」において、小1の「持っている」の割合は4.2%高くなっています。

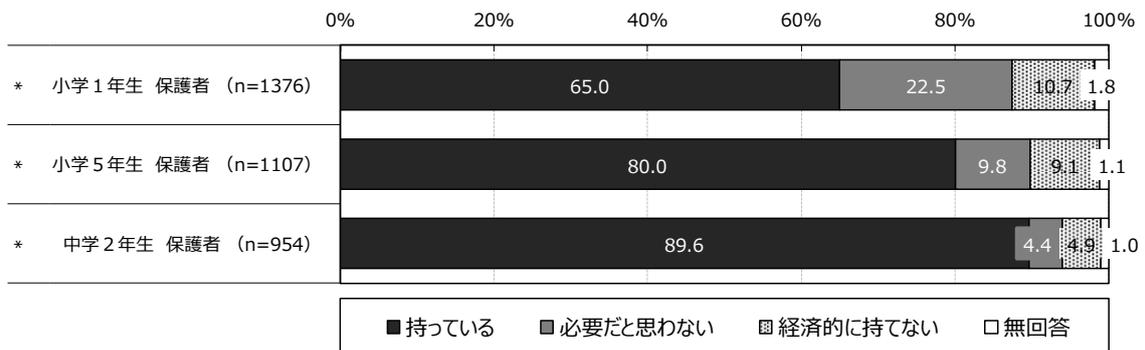
図表 65-1 A 子どもの本



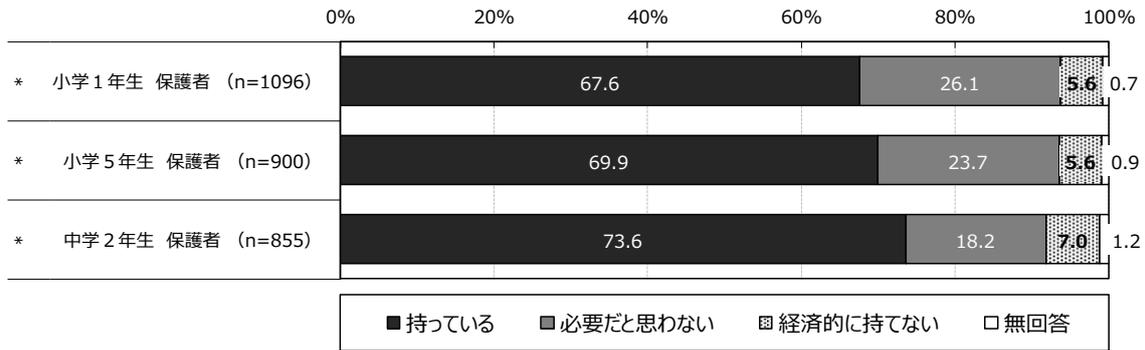
図表 65-2 B 子ども部屋



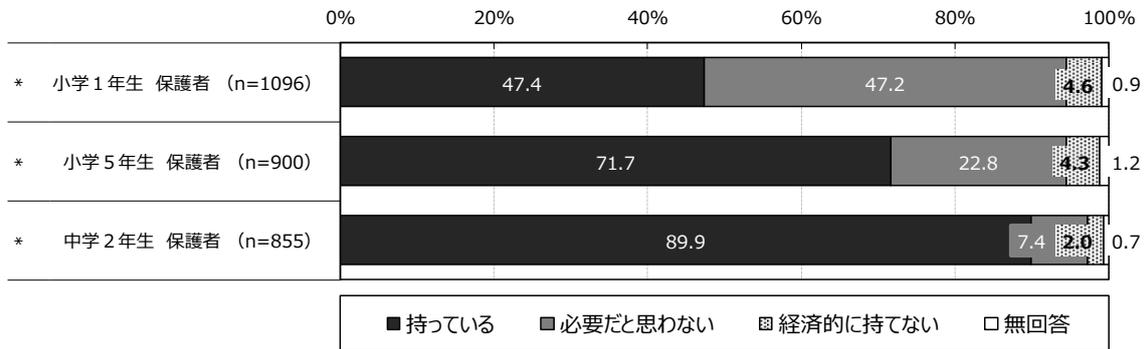
[平成30年度調査 図表 65-2 B 子ども部屋]



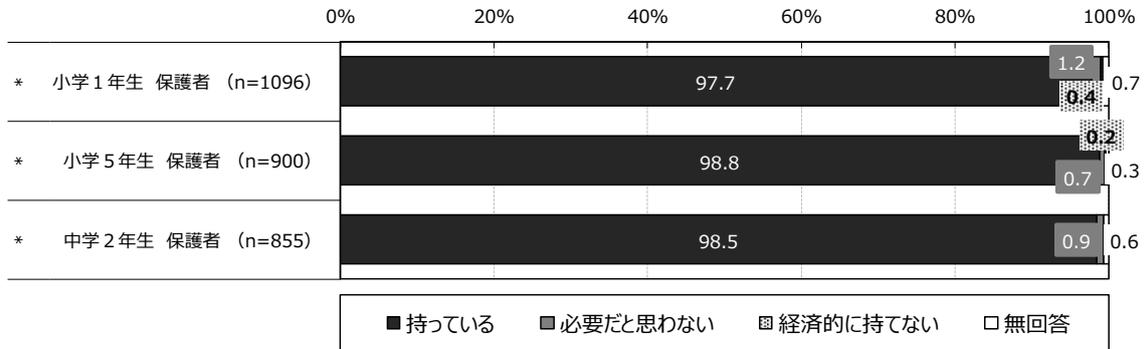
図表 65-3 C インターネットにつながるパソコン



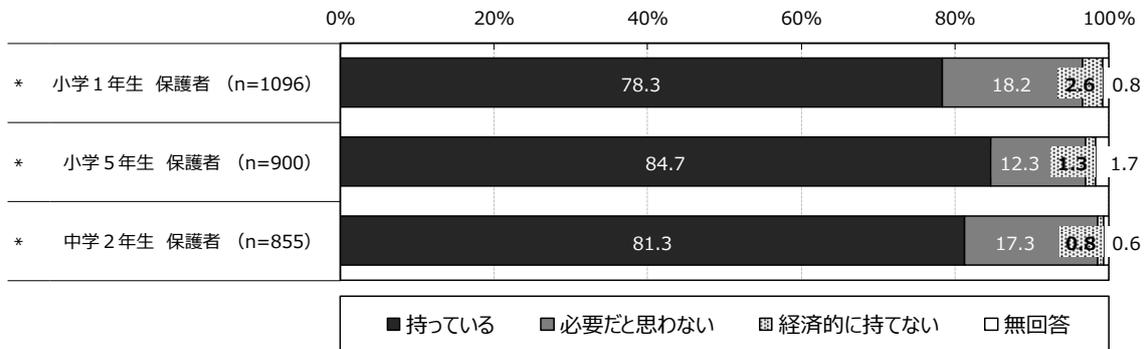
図表 65-4 D 子ども専用の勉強机



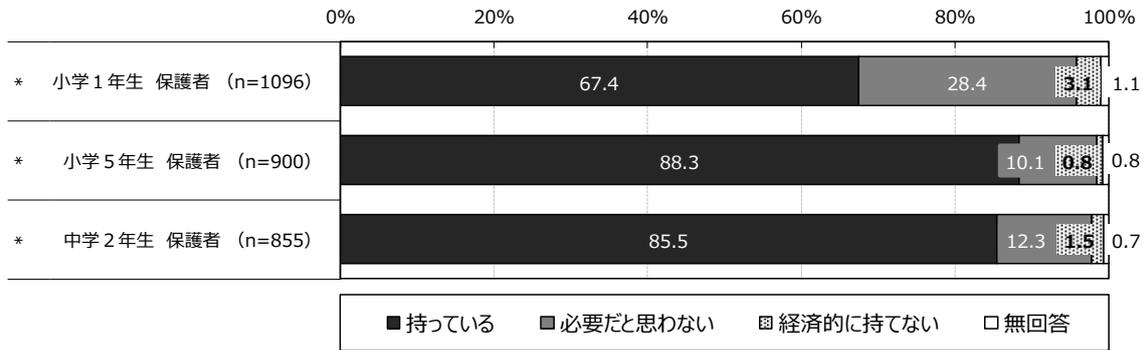
図表 65-5 E そのお子さん専用の文房具



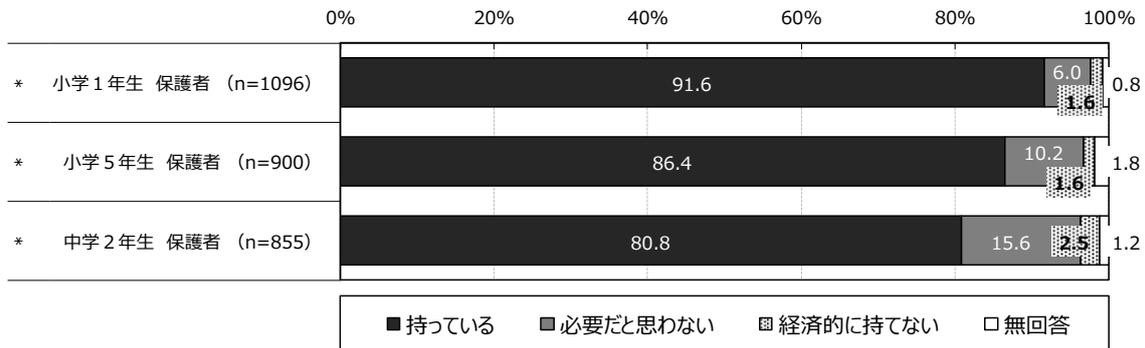
図表 65-6 F スポーツ用品



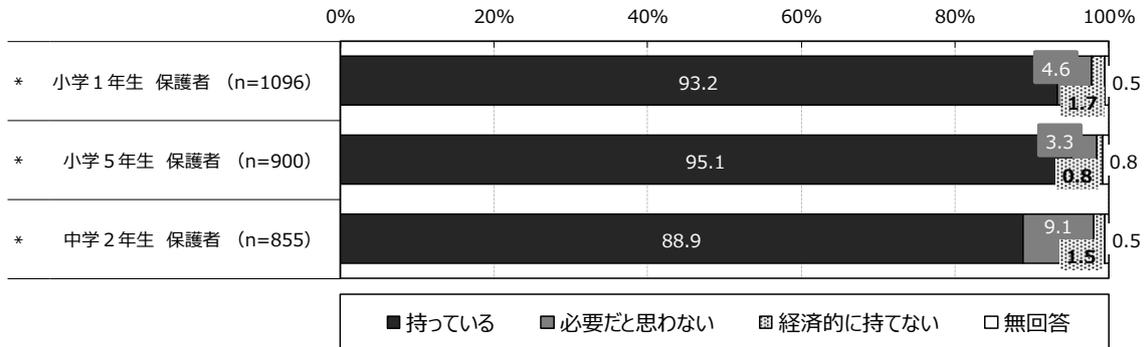
図表 65-7 G ゲーム機



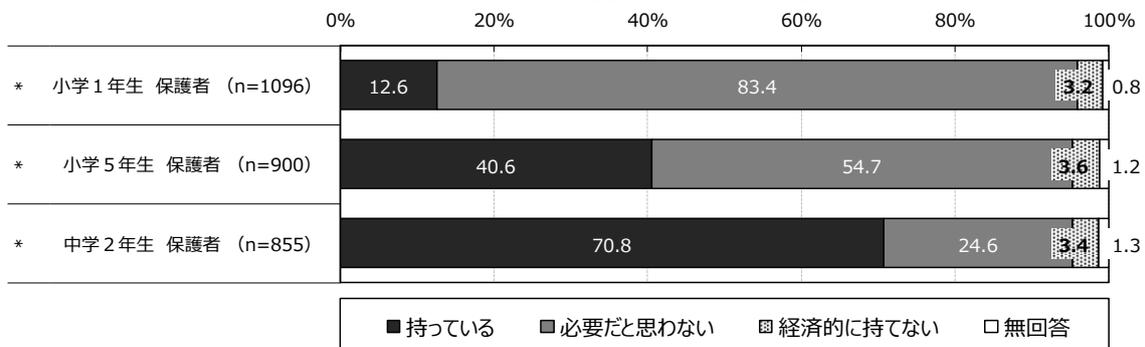
図表 65-8 H 多くの子どもが持っているおもちゃ



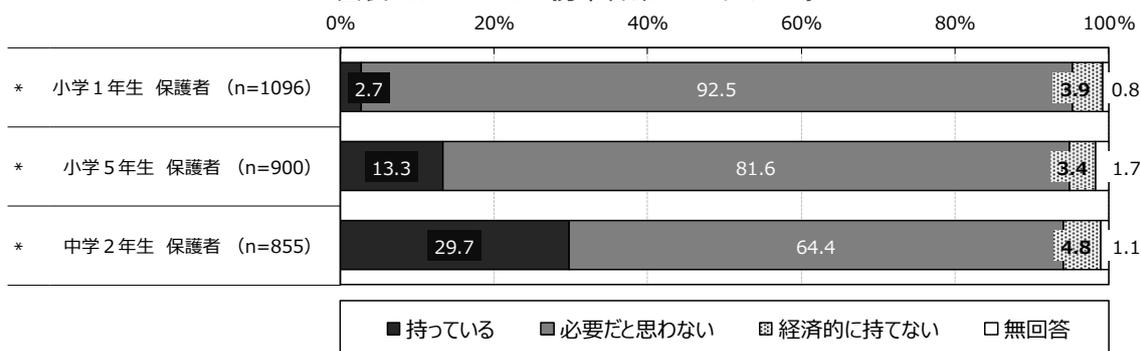
図表 65-9 I 自転車



図表 65-10 J 携帯電話・スマートフォン



図表 65-11 K 携帯音楽プレイヤー等

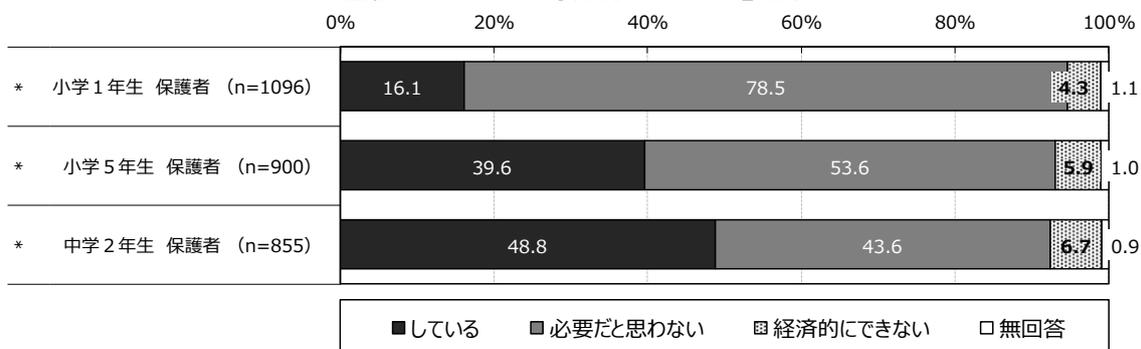


(11) 子どもにしていること

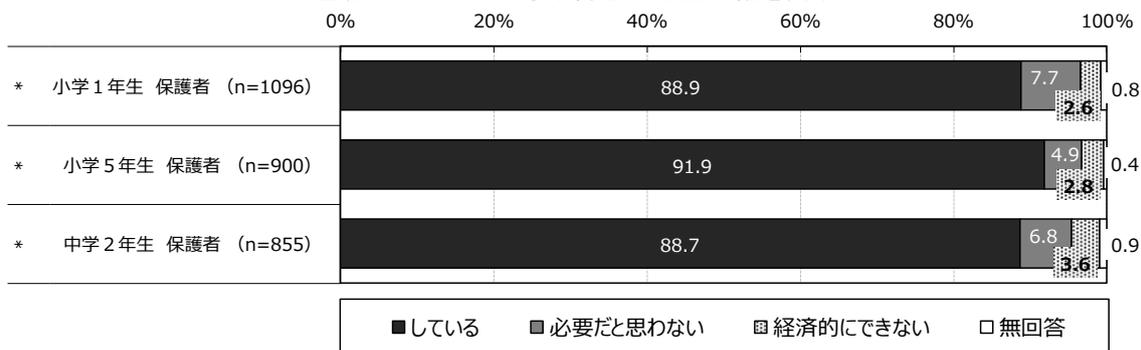
【小学1年生：問15、小学5年生・中学2年生：問12】  
 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

子どもにしていることについては、小1・小5・中2ともに「お誕生日のお祝いをする」「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」「医者に行く」「歯医者に行く」「子どもの学校行事などへ親が参加する」は、「している」保護者が9割を超えています。「毎年新しい洋服・靴を買う」も8割を超えています。「毎月おこづかいを渡す」「学習塾に通わせる」については、学年が上がるにつれて、「している」割合が高くなっています。

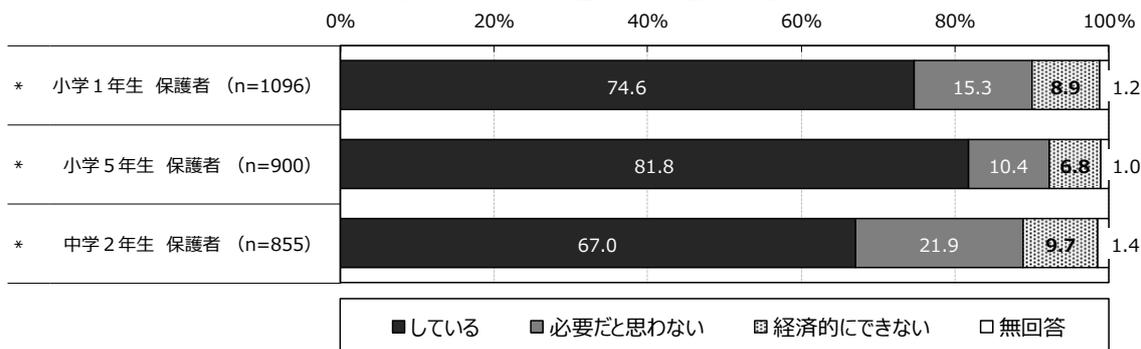
図表 66-1 A 毎月おこづかいを渡す



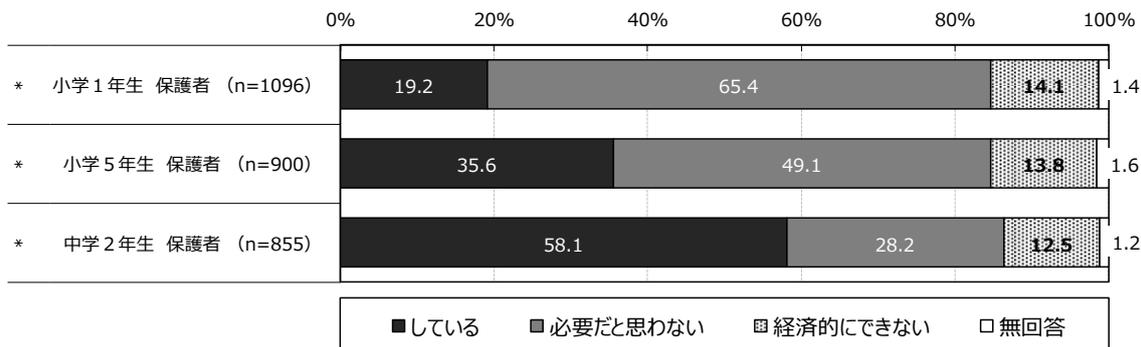
図表 66-2 B 毎年新しい洋服・靴を買う



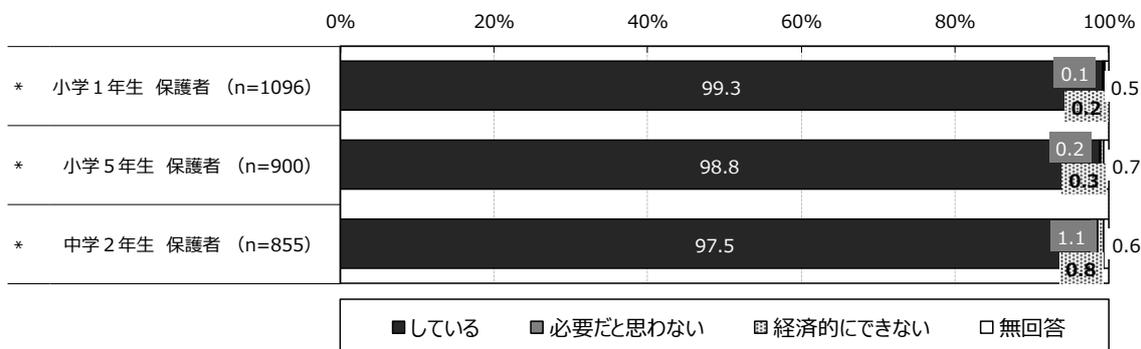
図表 66-3 C 習い事に通わせる



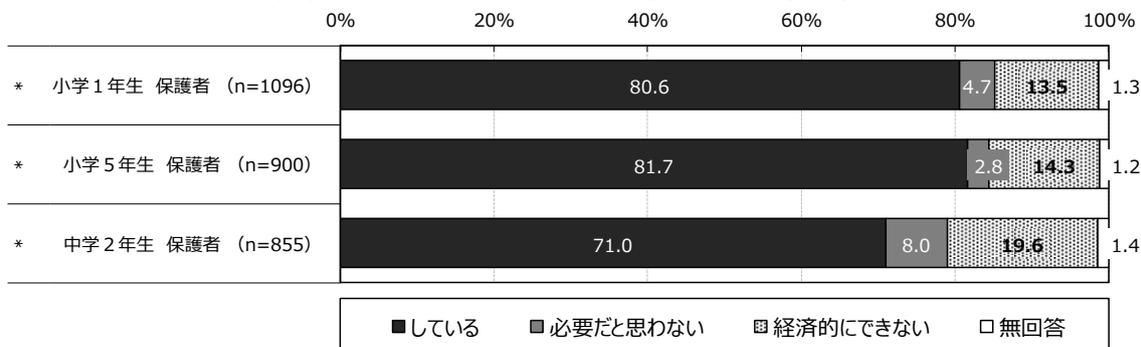
図表 66-4 D 学習塾に通わせる



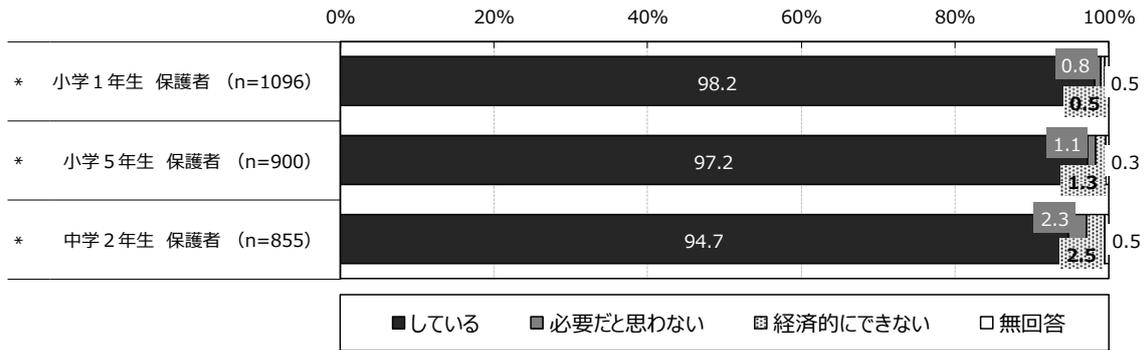
図表 66-5 E お誕生日のお祝いをする



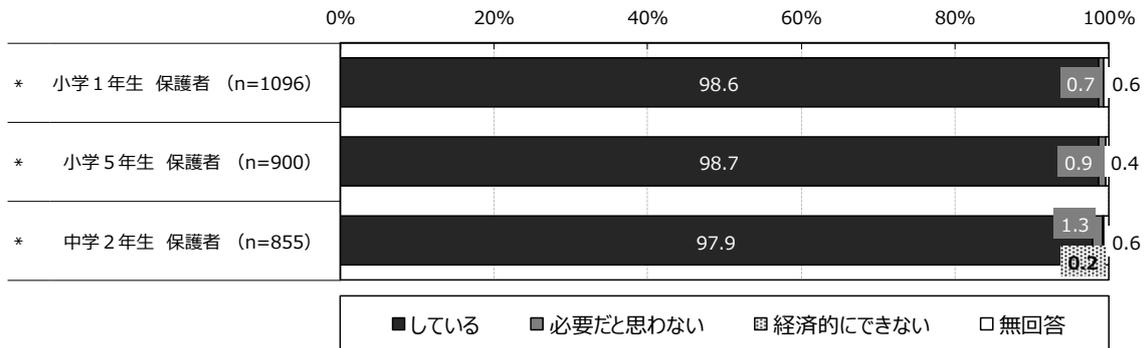
図表 66-6 F 1年に1回くらい家族旅行に行く



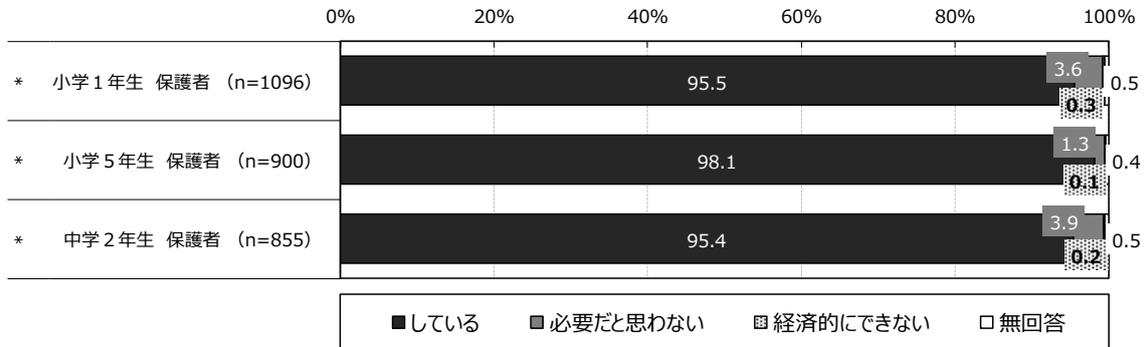
図表 66-7 G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



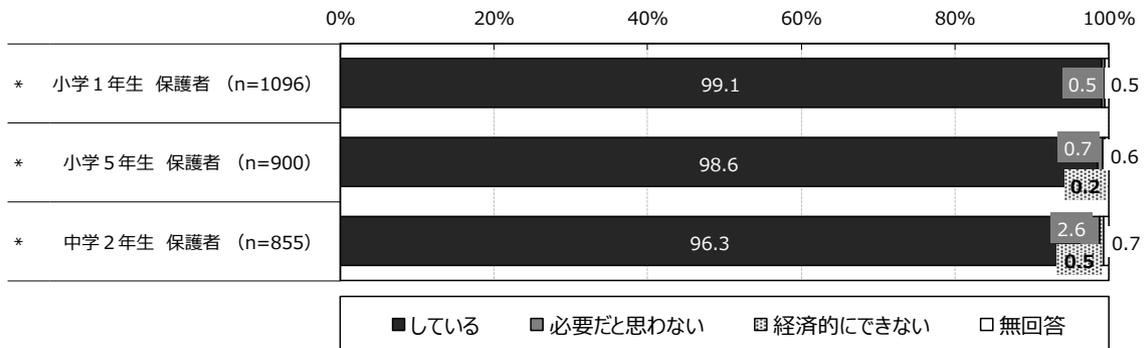
図表 66-8 H 医者に行く



図表 66-9 I 歯医者に行く



図表 66-10 J 子どもの学校行事などへ親が参加する



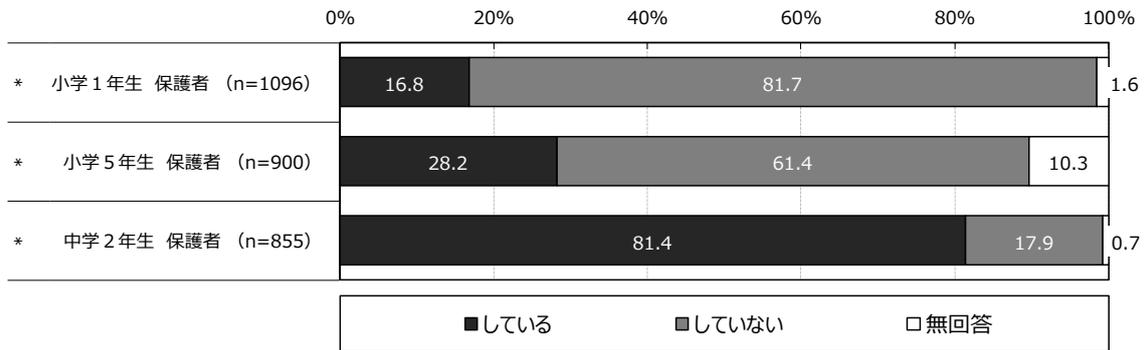
(12) 地域のクラブ活動等

【小学1年生：問16-1、小学5年生・中学2年生：問13-1】  
 お子さんは中学校の部活動や地域のクラブ活動をしていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

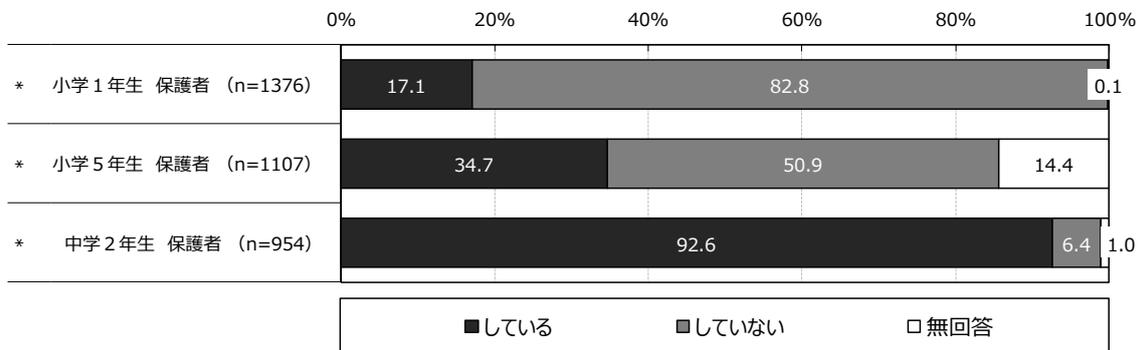
地域のクラブ活動等については、小1では「していない」が約8割を占めており、中2では「している」が約8割を占めています。学年が上がるにつれて、「している」割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2の「していない」の割合は、11.5%高くなっています。

図表 67 地域のクラブ活動等



[平成30年度調査 図表 67 地域のクラブ活動等]



※地域のクラブ活動等とは、学校または地域ボランティアで行われる非営利の目的の趣味やスポーツ活動のことを指します。

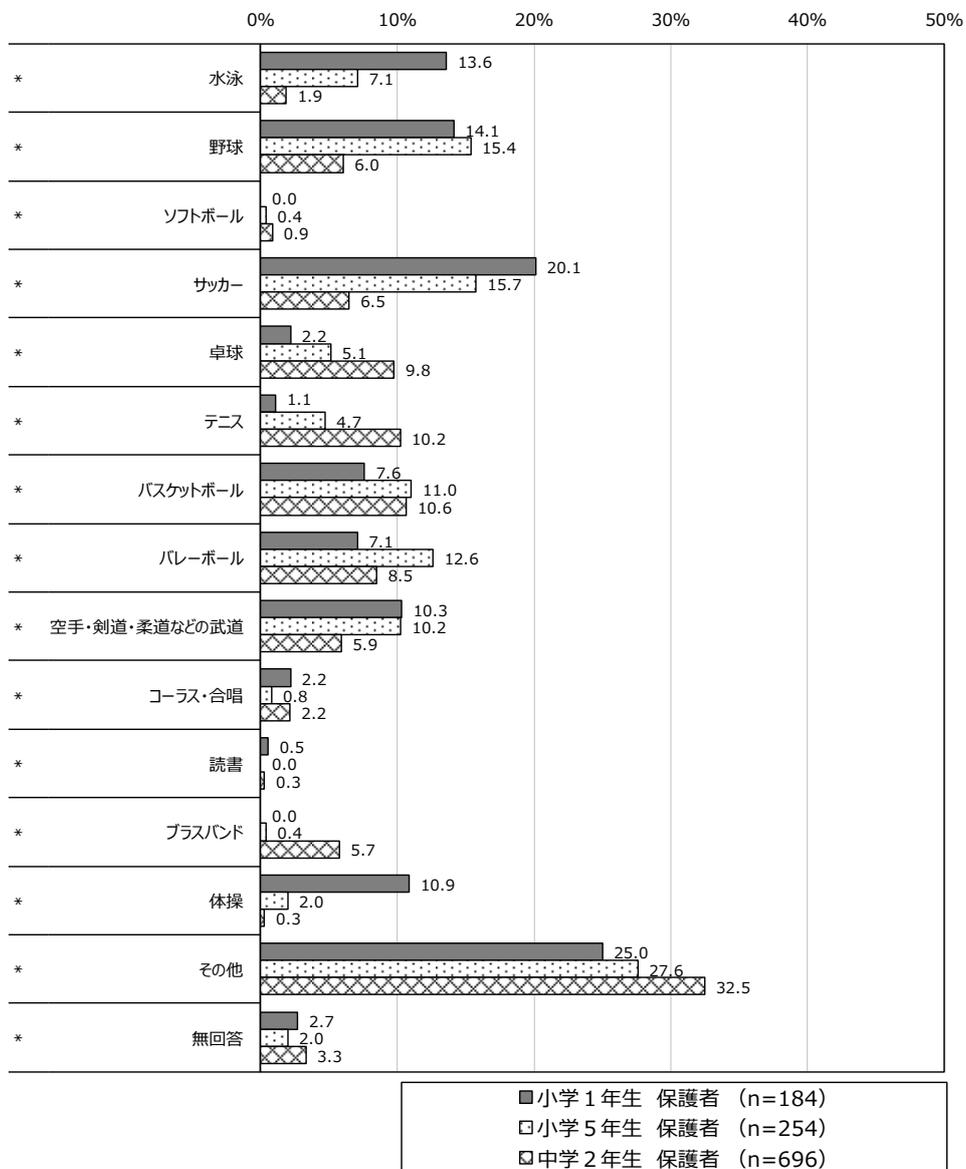
(13) 地域のクラブ活動等の種類

【小学1年生：問16-2、小学5年生・中学2年生：問13-2】  
 ※問13-1で「1 している」と答えた方にお伺いします。  
 活動の種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※小学1年生：問16-1、小学5年生・中学2年生：問13-1で「している」と回答した方のみ

地域のクラブ活動等の種類については、小1・小5では「サッカー」(小1：20.1%、小5：15.7%)が最も高くなっており、次いで「野球」(小1：14.1%、小5：15.4%)となっています。中2では「バスケットボール」(10.6%)が最も高くなっており、次いで「テニス」(10.2%)となっています。その他として「設問以外のスポーツ」「ダンス」等がありました。

図表 68 地域のクラブ活動等の種類



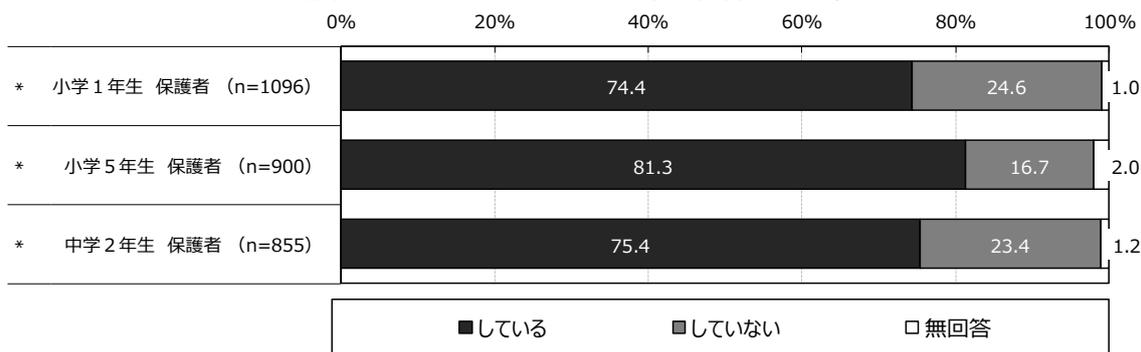
(14) 地域のクラブ活動等以外の有料の習い事

【小学1年生：問 17-1、小学5年生・中学2年生：問 14-1】  
 お子さんは、習い事等（スポーツクラブ・学習塾を含む）をしていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

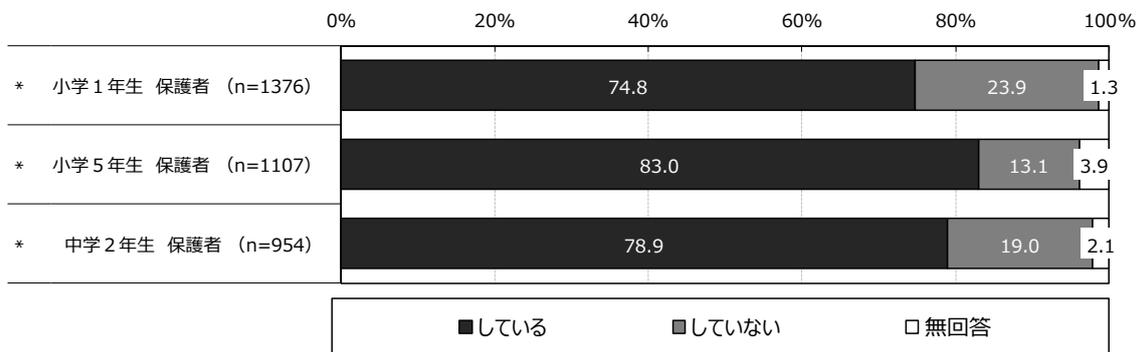
地域のクラブ活動等以外の有料の習い事については、小1・小5・中2ともに「している」が大半を占めています。

平成30年度調査と比較して、中2の「していない」の割合は、4.4%高くなっています。

図表 69 地域のクラブ活動等の有料の習い事



[平成30年度調査 図表 69 地域のクラブ活動等の有料の習い事]



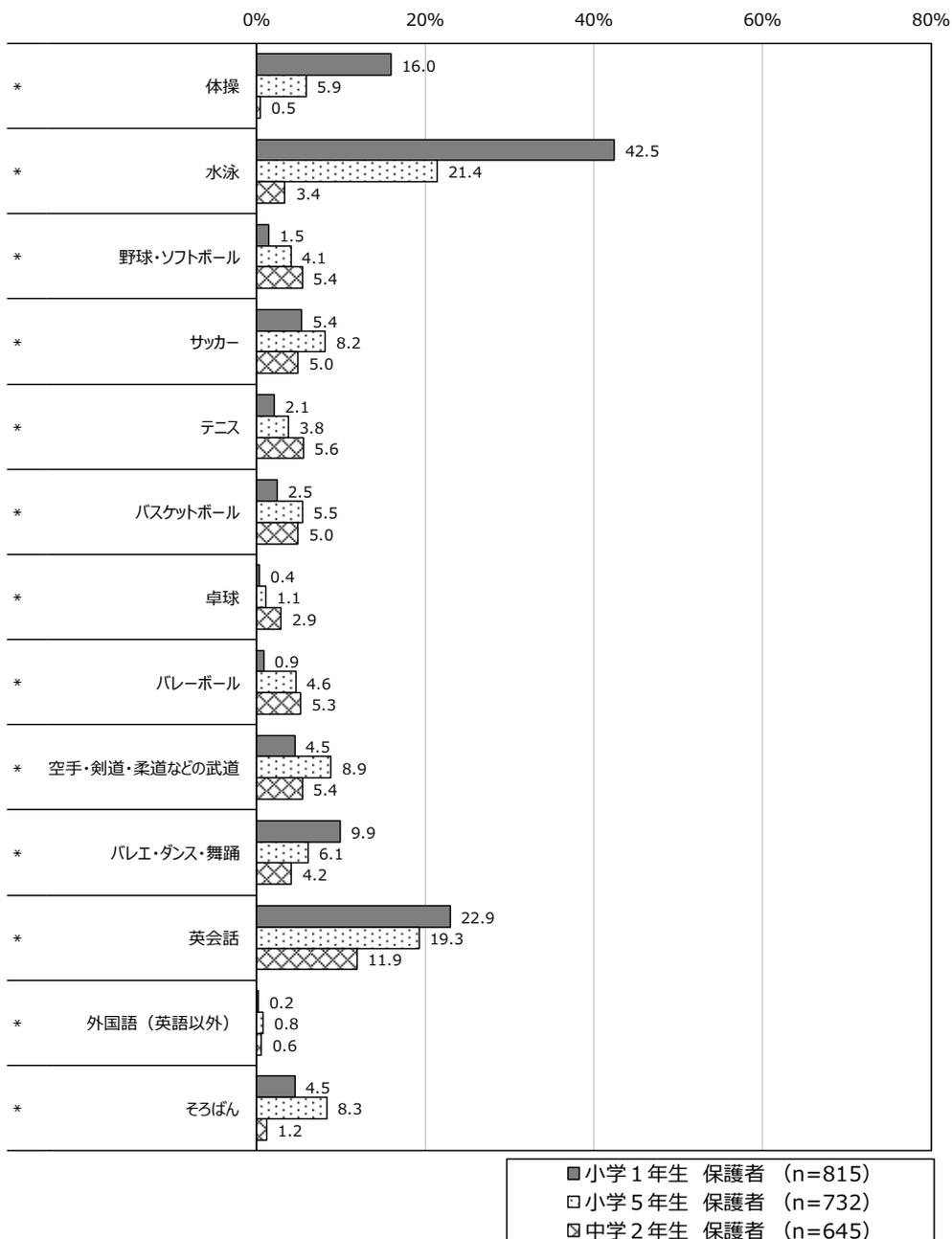
(15) 地域のクラブ活動等以外の有料の習い事の種類

【小学1年生：問17-2、小学5年生・中学2年生：問14-2】  
 ※問14-1で「1 している」と答えた方にお伺いします。  
 習い事等の種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
 (○はいくつでも)

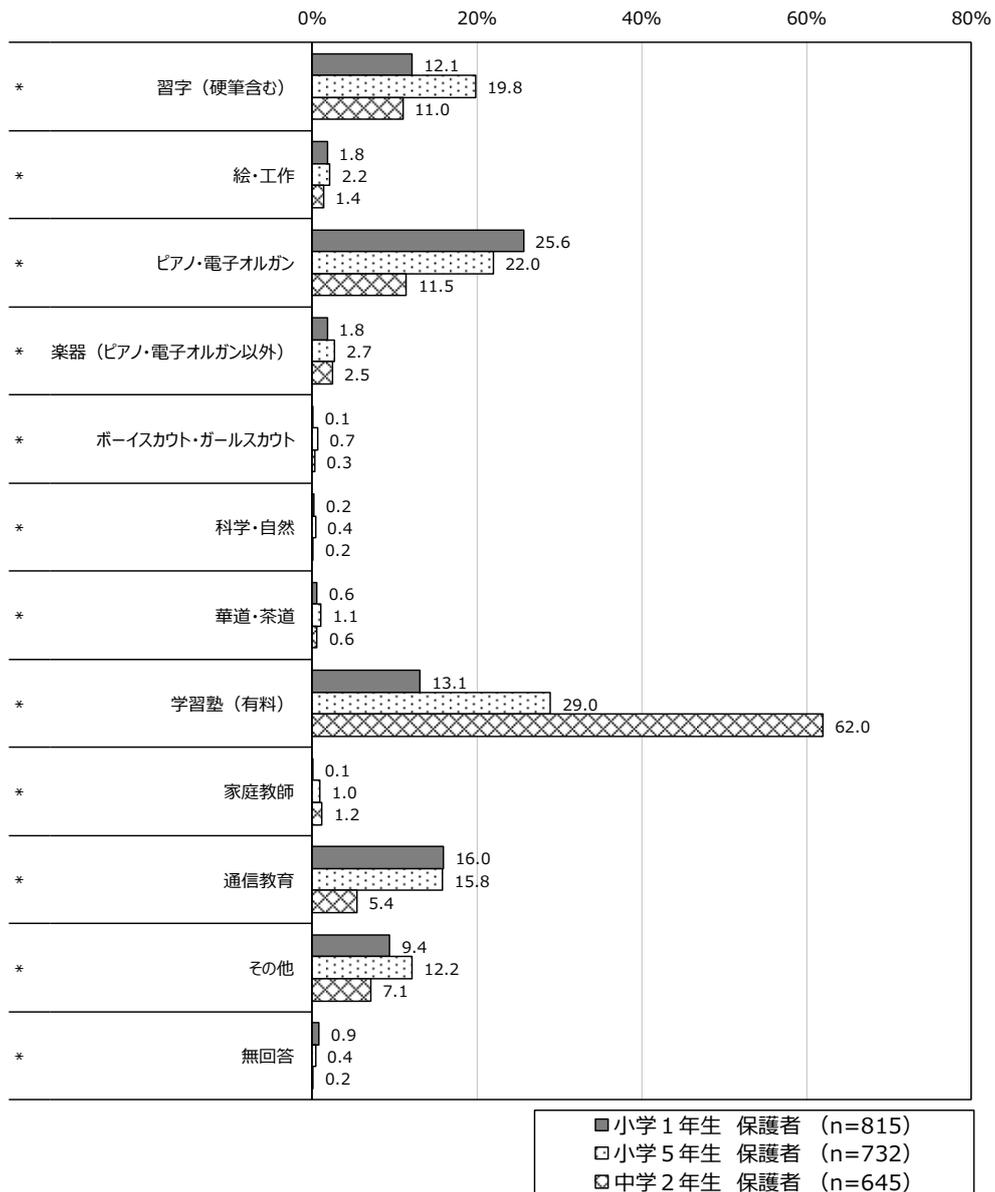
※小学1年生：問17-1、小学5年生・中学2年生：問14-1で「している」と回答した方のみ

地域のクラブ活動等以外の有料の習い事の種類については、小1では「水泳」(42.5%)、小5・中2では「学習塾(有料)」(小5：29.0%、中2：62.0%)がそれぞれ最も高くなっています。次いで小1・小5では「ピアノ・電子オルガン」(小1：25.6%、小5：22.0%)、中2では「英会話」(11.9%)となっています。

図表 70 地域のクラブ活動等の有料の習い事の種類



図表 70(続き) 地域のクラブ活動等の有料の習い事の種類



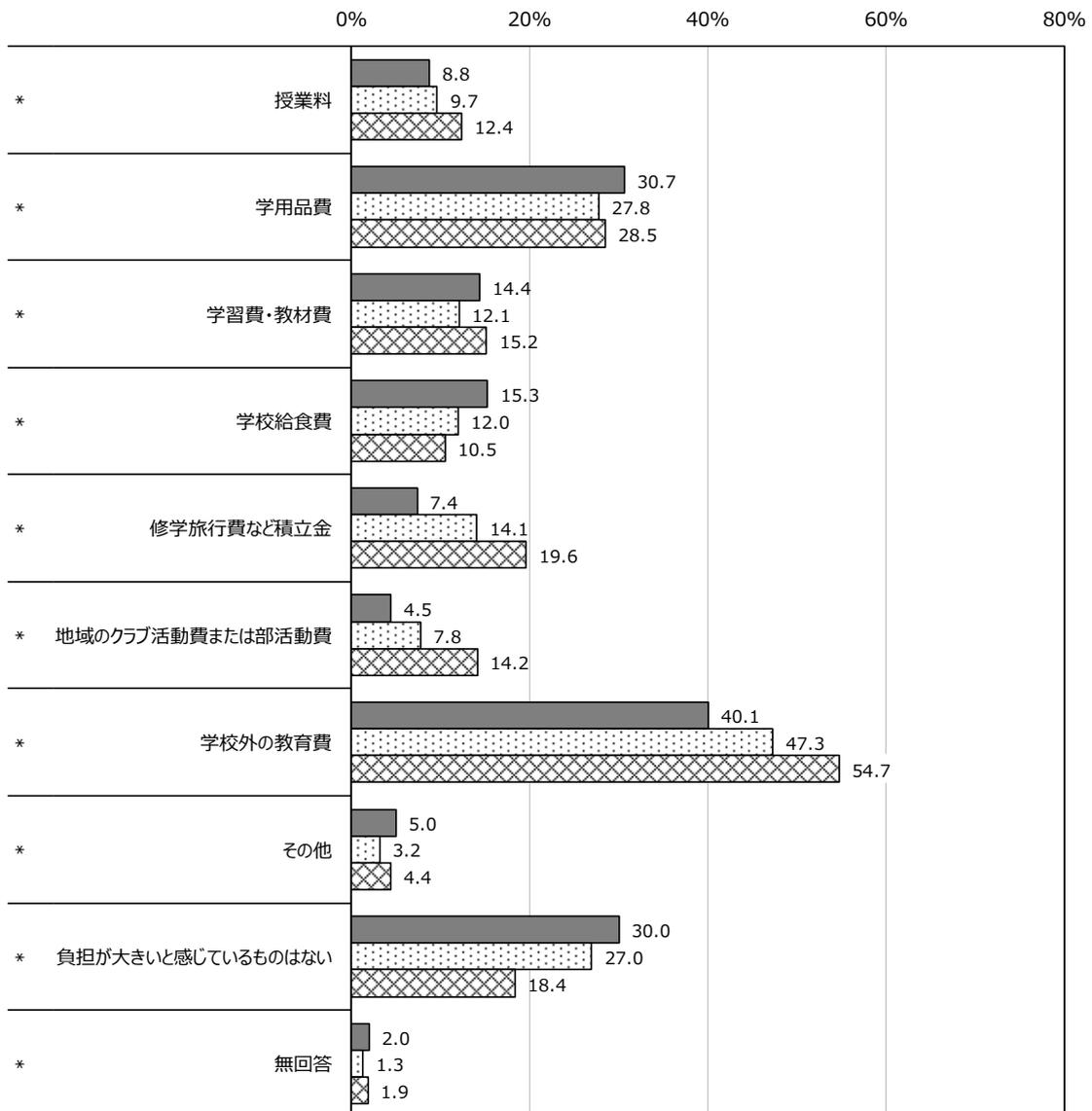
(16) 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの

【小学1年生：問18 小学、5年生・中学2年生：問15】  
 お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものについては、小1・小5・中2ともに「学校外の教育費」(小1：40.1%、小5：47.3%、中2：54.7%)が最も高く、次いで小1・小5・中2ともに「学用品費」(小1：30.7%、小5：27.8%、中2：28.5%)となっています。

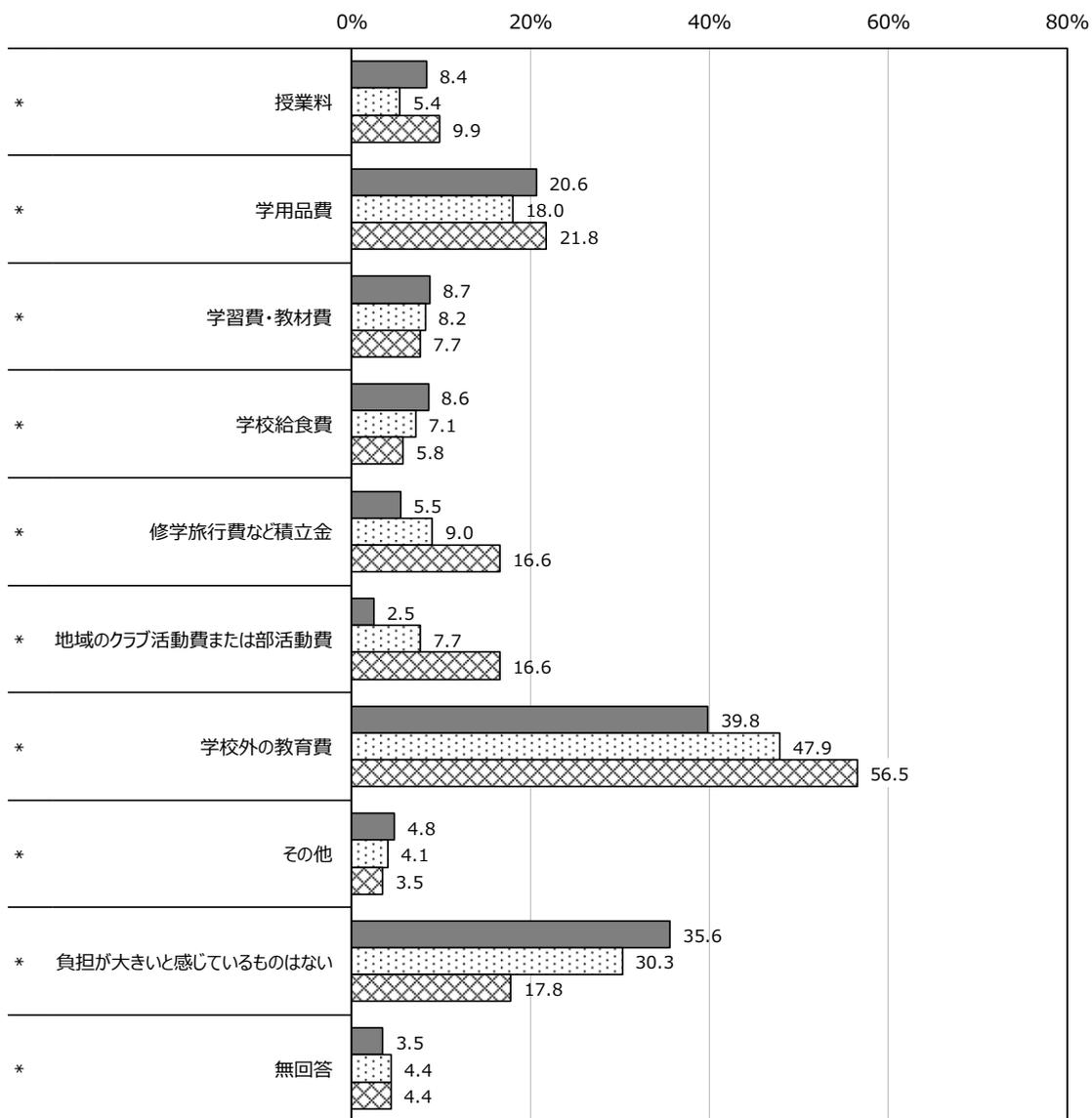
平成30年度調査と比較して、小1、小5、中2とも「授業料」、「学用品費」、「学習費・教材費」、「学校給食費」、「修学旅行費などの積立金」の割合が高くなっています。その内、小1の「学用品費」の割合は10.1%高くなっています。

図表 71 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの



■ 小学1年生 保護者 (n=1096)  
 □ 小学5年生 保護者 (n=900)  
 ▨ 中学2年生 保護者 (n=855)

[ 平成 30 年度調査 図表 71 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの ]



■ 小学1年生 保護者 (n=1376)  
 □ 小学5年生 保護者 (n=1107)  
 ⊠ 中学2年生 保護者 (n=954)

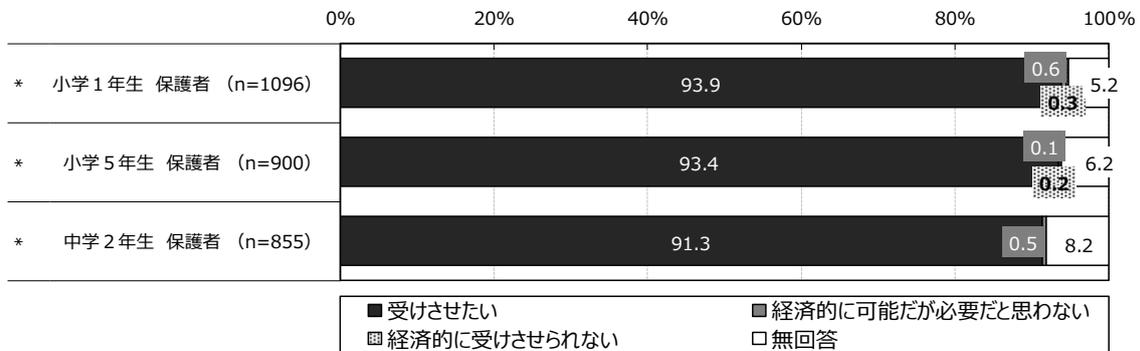
(17) どの段階まで教育を受けさせたいか

【小学1年生：問19、小学5年生・中学2年生：問16】  
 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。  
 A～Cについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

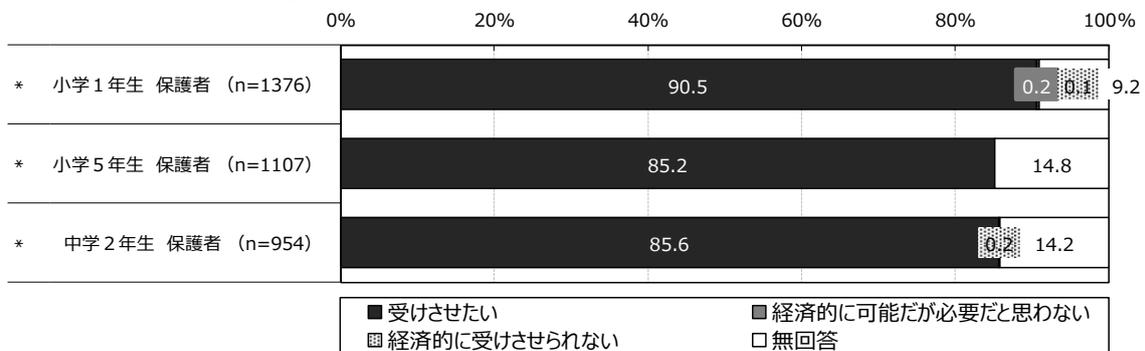
どの段階まで教育を受けさせたいかについては、小1・小5・中2ともに「高等学校」(小1：93.9%、小5：93.4%、中2：91.3%)が9割以上を占めています。一方、「短大・高専・専門学校」「大学・大学院」を「受けさせたい」保護者は、小1・小5・中2ともに約6～7割にとどまっています。また、「大学・大学院」が「経済的に受けさせられない」(小1：14.3%、小5：17.7%、中2：17.3%)と回答した保護者は、いずれも1割以上みられます。

平成30年度調査と比較して、「高等学校」、「短大・高専・専門学校」、「大学・大学院」を「受けさせたい」割合は、いずれの学年も高くなっています。

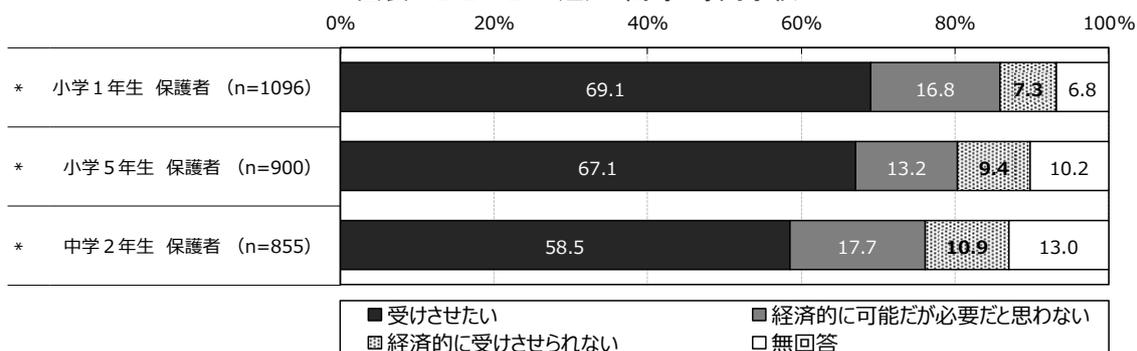
図表 72-1 A 高等学校



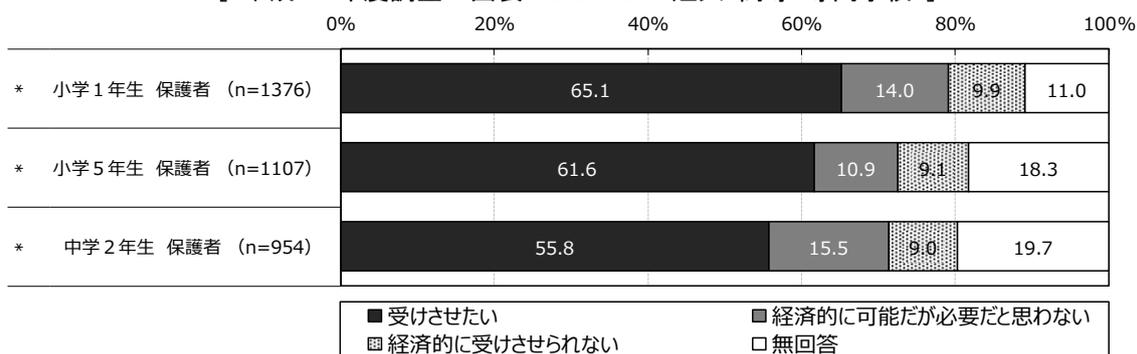
[平成30年度調査 図表 72-1 A 高等学校]



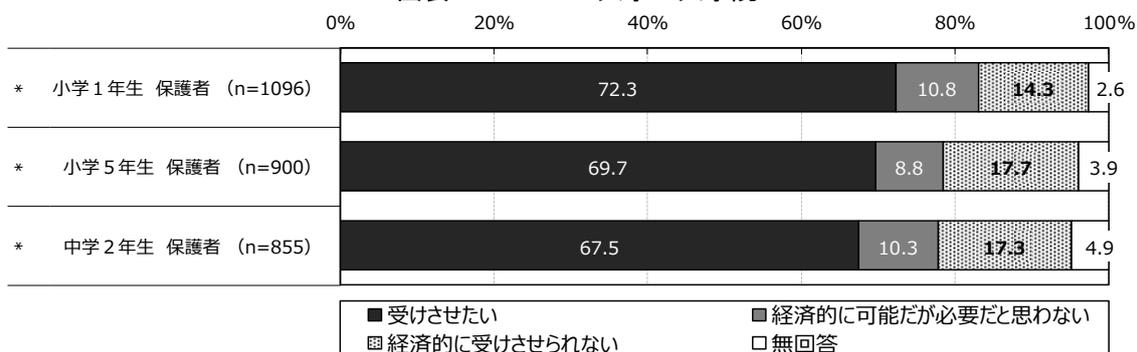
図表 72-2 B 短大・高専・専門学校



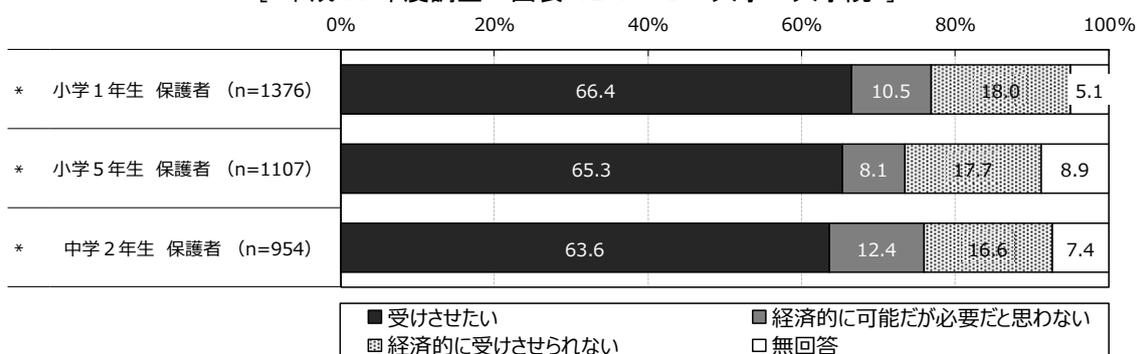
[ 平成30年度調査 図表 72-2 B 短大・高専・専門学校 ]



図表 72-3 C 大学・大学院



[ 平成30年度調査 図表 72-3 C 大学・大学院 ]



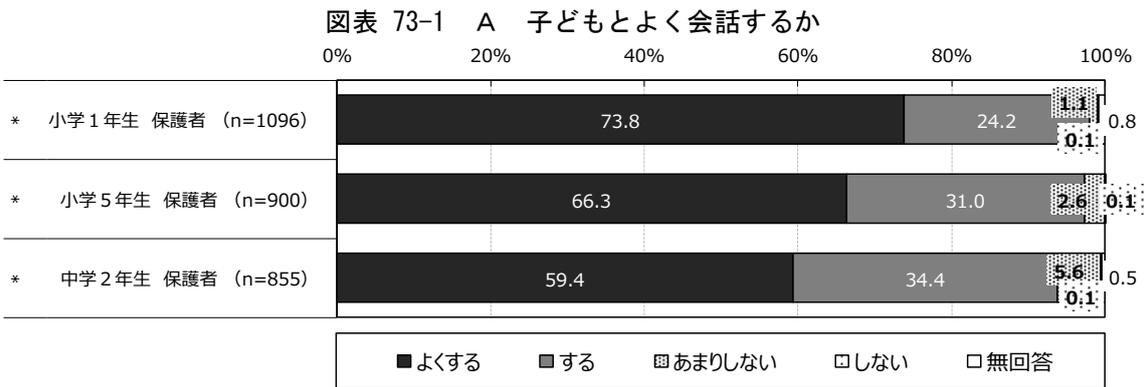
## 4. 4 お子さんとの関係について

### (1) 子どもとの関係

【小学1年生：問20、小学5年生・中学2年生：問17】  
 あなたとお子さんの関係について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。  
 (○はそれぞれひとつ)

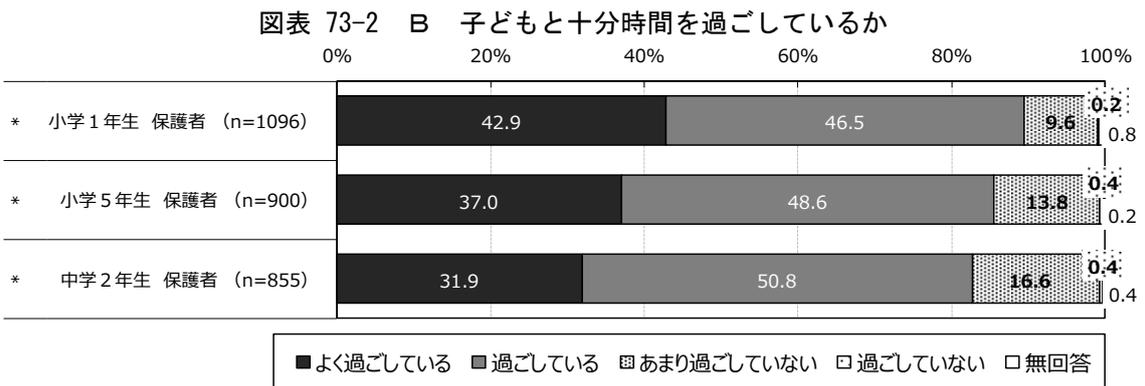
#### (1-1) A子どもとよく会話するか

子どもとよく会話するかについては、小1・小5・中2ともに「する」(「よくする」+「する」)が9割を超えています。



#### (1-2) B子どもと十分な時間を過ごしているか

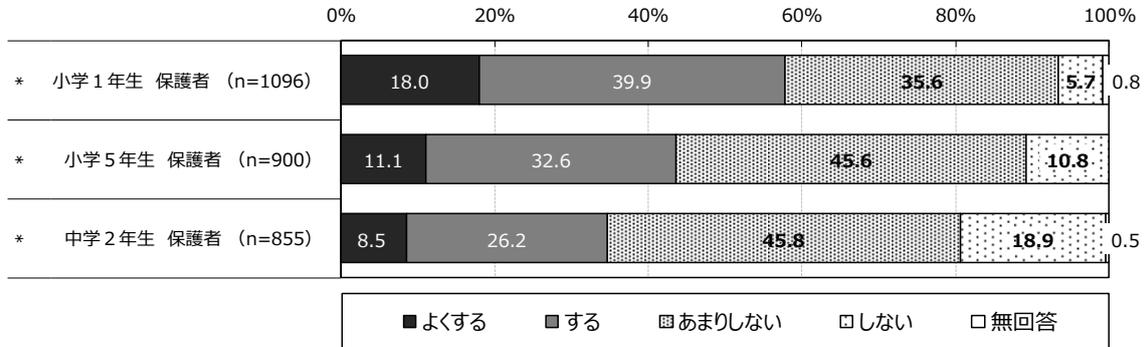
子どもと十分な時間を過ごしているかについては、小1・小5・中2ともに「過ごしている」(「よく過ごしている」+「過ごしている」)が8割以上となっています。「あまり過ごしていない」は、学年が上がるにつれて増えています。



(1-3) C子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするか

子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするかについては、小1では「する」(「よくする」+「する」)が半数以上となっており、小5では約4割、中2では約3割となっています。「しない」(「あまりしない」+「しない」)では、学年が上がるにつれて増えており、小5と中2では半数以上となっています。

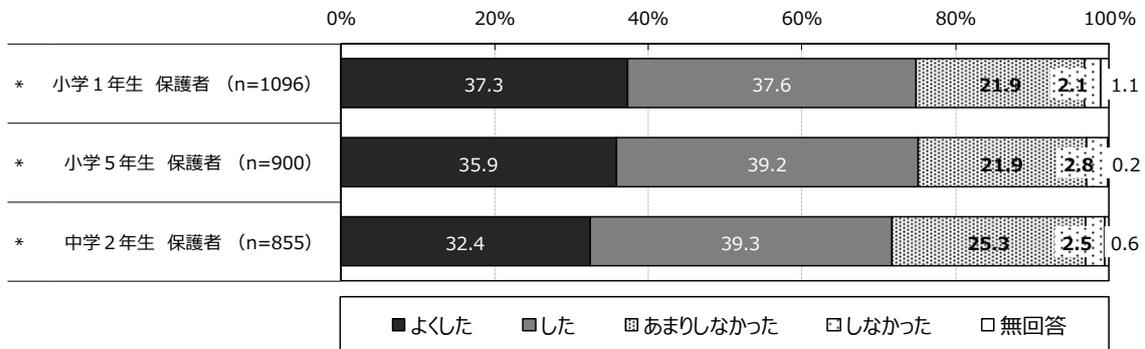
図表 73-3 C 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするか



(1-4) D子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか

子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたかについては、小1・小5・中2ともに「やった」(「よくやった」+「やった」)が7割以上となっています。一方、「しなかった」(「あまりしなかった」+「しなかった」)でも、小1・小5・中2のいずれにおいても約2~3割となっています。

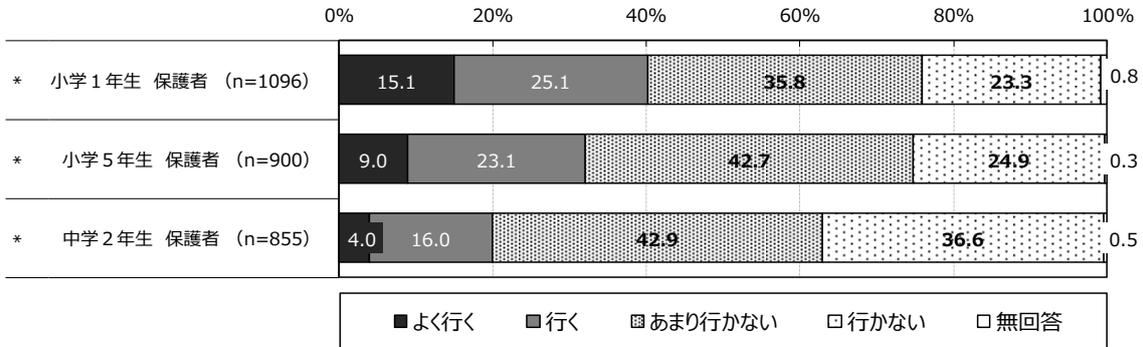
図表 73-4 D 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか



(1-5) E子どもと一緒に図書館に行くか

子どもと一緒に図書館に行くかについては、小1・小5・中2ともに「行かない」(「あまり行かない」+「行かない」)が半数以上となっており、中2では約8割となっています。「行く」(「よく行く」+「行く」)では、学年が上がるにつれて、割合が低くなっています。

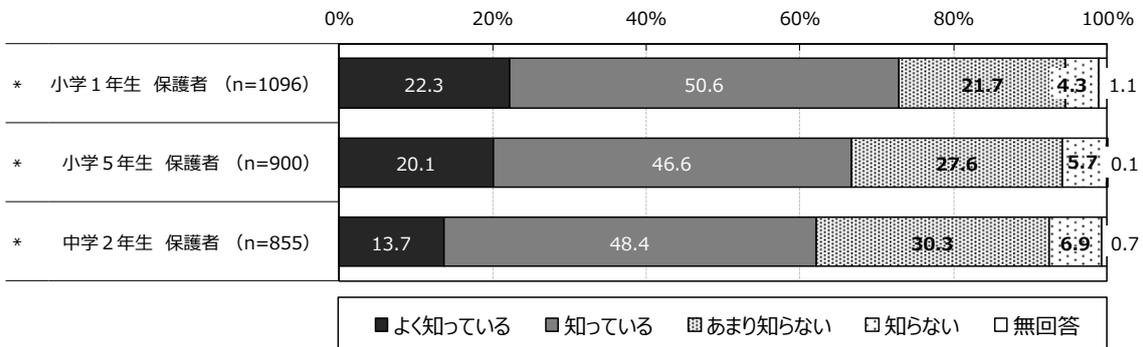
図表 73-5 E 子どもと一緒に図書館に行くか



(1-6) F子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか

子どもが将来の夢をどう思っているか知っているかについては、小1では「知っている」(「よく知っている」+「知っている」)が7割以上、小5・中2では6割以上となっています。「知らない」(「あまり知らない」+「知らない」)では、小1が2割以上、小5・中2では3割以上となっています。

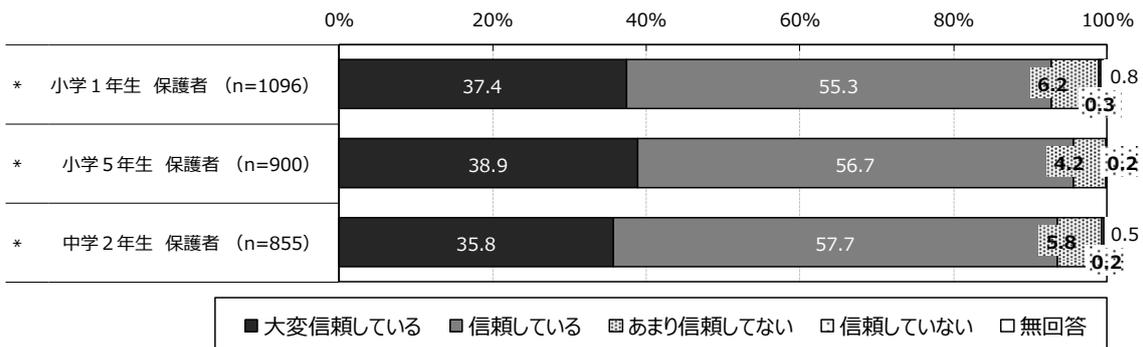
図表 73-6 F 子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか



(1-7) G子どもを信頼しているか

子どもを信頼しているかについては、小1・小5・中2ともに「信頼している」(「大変信頼している」+「信頼している」)が9割以上を占めています。

図表 73-7 G 子どもを信頼しているか



## 4. 5 あなたの地域や友人・知人、社会との関係について

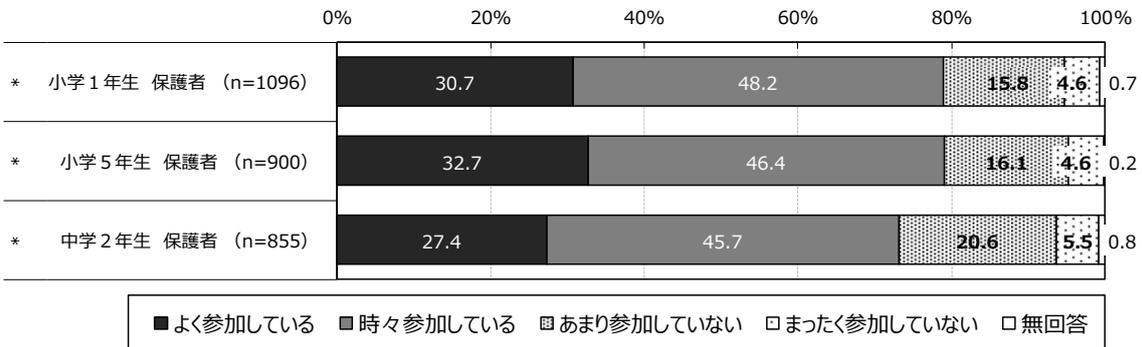
### (1) 当てはまること

【小学1年生：問21、小学5年生・中学2年生：問18】  
 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。  
 もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

#### (1-1) A 地域の行事への参加

地域の行事への参加については、小1・小5・中2ともに「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）が7割以上を占めています。

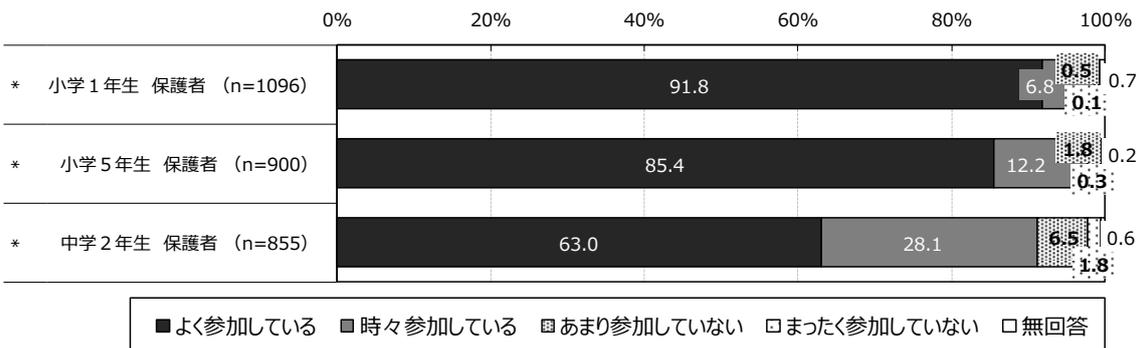
図表 74-1 A 地域の行事への参加



#### (1-2) B 学校行事への参加

学校行事への参加については、小1・小5では「よく参加している」が大半を占めていますが、中2では約6割、「時々参加している」が約3割となっています。

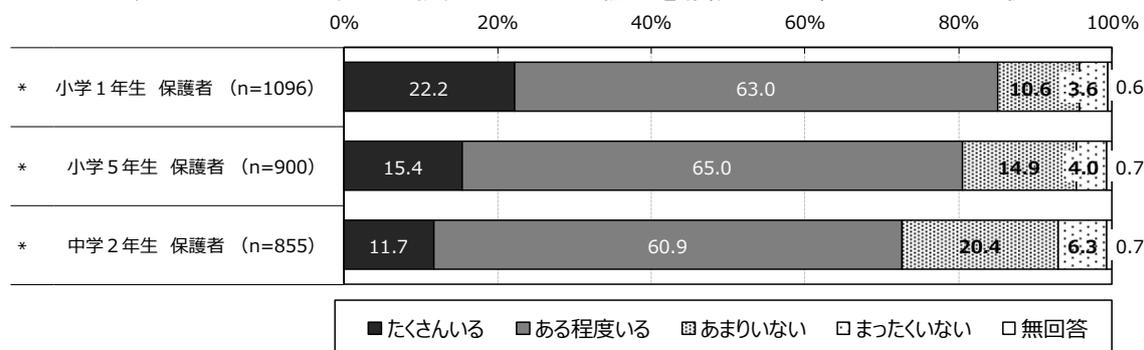
図表 74-2 B 学校の行事への参加



(1-3) C子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚については、小1と小5では「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）が約8割、中2では7割以上となっています。

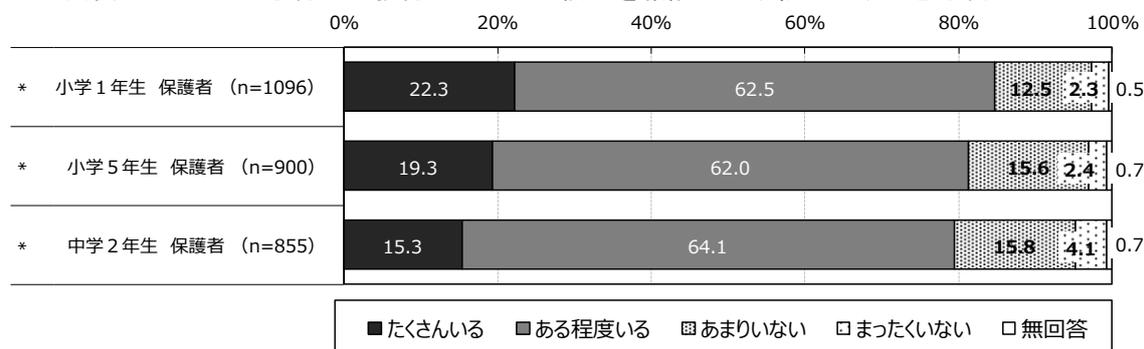
図表 74-3 C 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚



(1-4) D子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人については、小1・小5・中2ともに「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）が約8割となっており、大半を占めています。

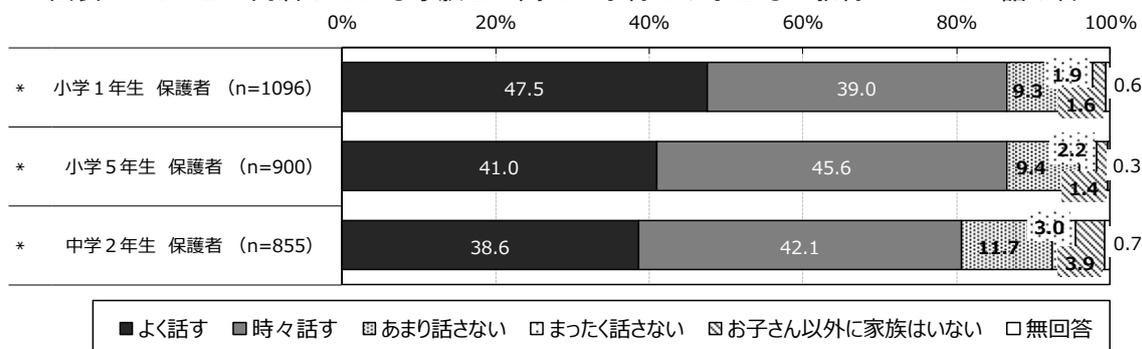
図表 74-4 D 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人



(1-5) E同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合い

同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合いについては、小1・小5・中2ともに「話す」（「よく話す」＋「時々話す」）が8割以上となっており、大半を占めています。「話さない」（「あまり話さない」＋「まったく話さない」）では、学年が上がるにつれて高くなる傾向があります。

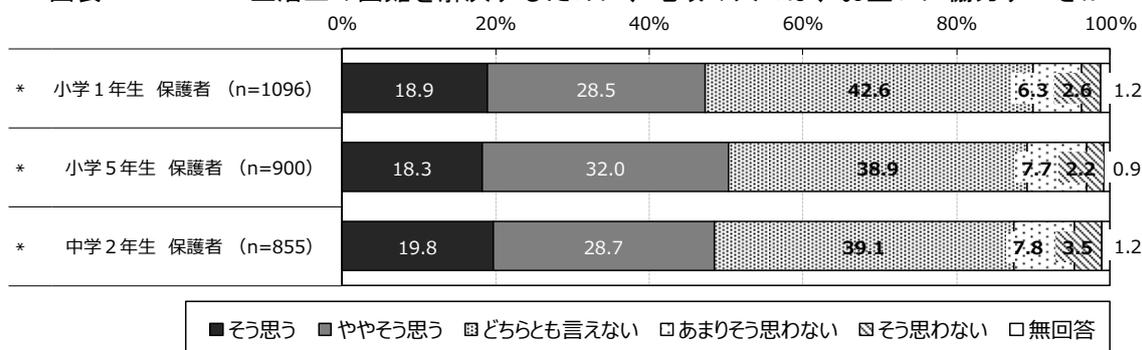
図表 74-5 E 同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合い



(1-6) F生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきか

生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきかについては、小1・小5・中2ともに「そう思う」（「そう思う」＋「ややそう思う」）が約5割程度となっています。一方、「どちらとも言えない」も約4割程度みられます。

図表 74-6 F 生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきか



(2) 子どもを預かってもらえる人の有無

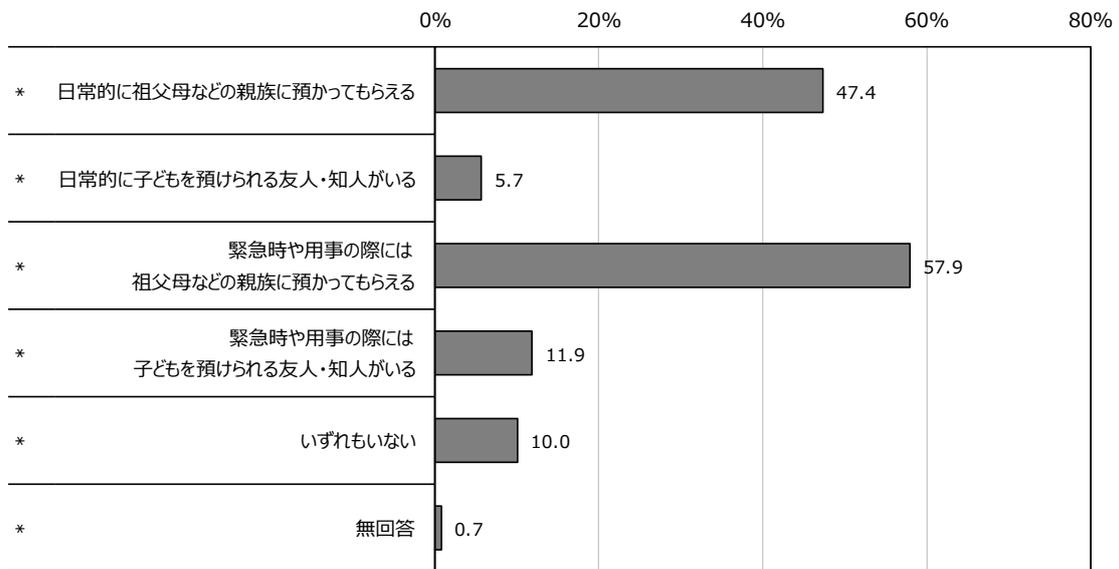
【小学1年生のみ：問22】

お子さんを預かってもらえる人の有無について教えてください。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

子どもを預かってもらえる人の有無については、「緊急時や用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」(57.9%)が最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」(47.4%)、「緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」(11.9%)となっています。

図表 75 子どもを預かってもらえる人の有無



■小学1年生 保護者 (n=1096)

## 4. 6 健康状況について

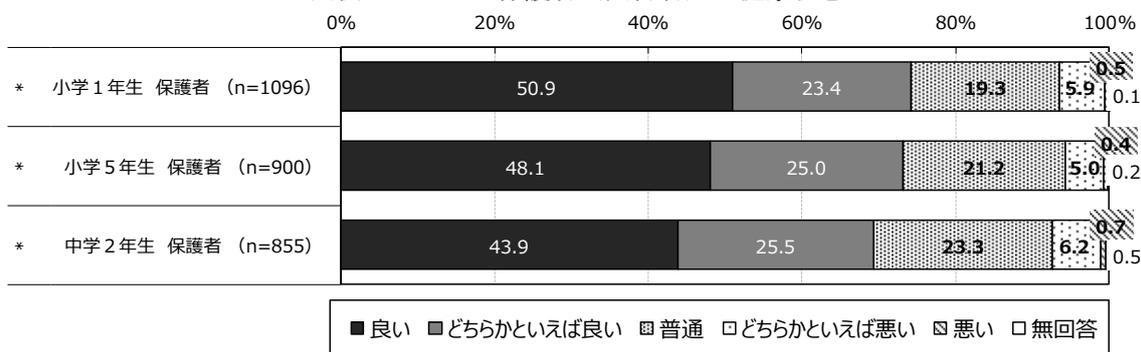
### (1) 健康状態

【小学1年生：問23、小学5年生・中学2年生：問19】  
 あなたとおさんの健康状態についてお伺いします。  
 もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

#### (1-1) A保護者(回答者)の健康状態

保護者(回答者)の健康状態については、「良い」(「良い」+「どちらかといえば良い」)が小1・小5・中2ともに約7割となっています。

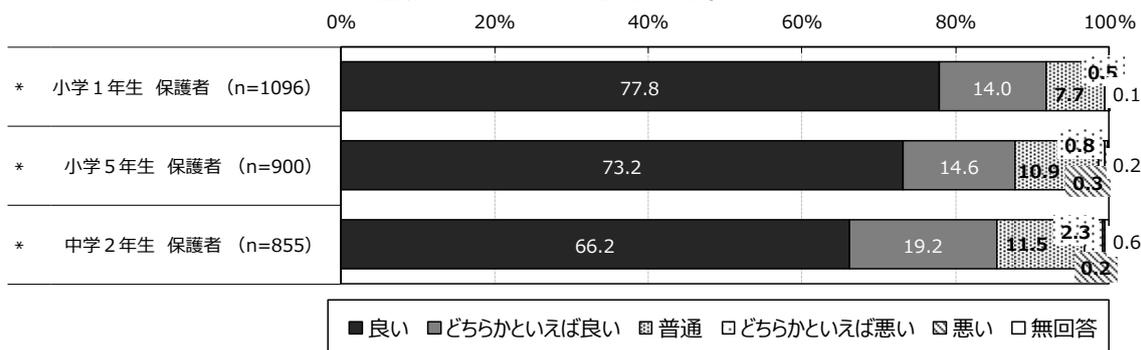
図表 76-1 A 保護者(回答者)の健康状態



#### (1-2) B子どもの健康状態

子どもの健康状態については、「良い」(「良い」+「どちらかといえば良い」)が小1・小5・中2ともに8割を超えています。

図表 76-2 B 子どもの健康状態

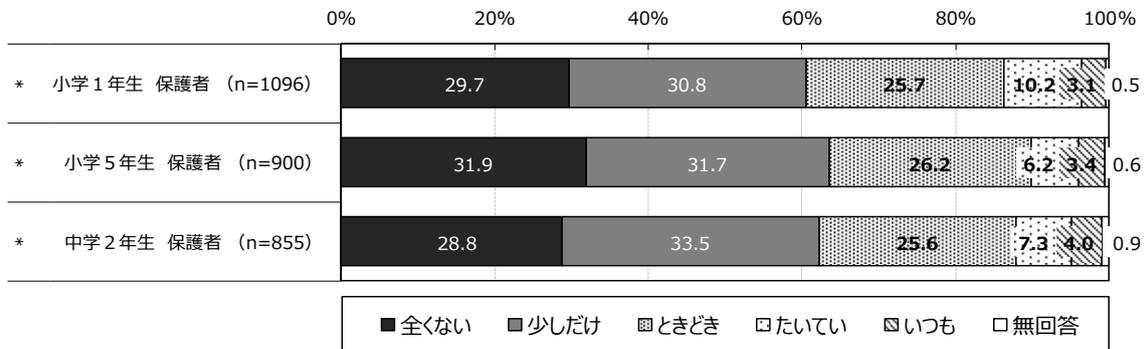


(2) 心の状態

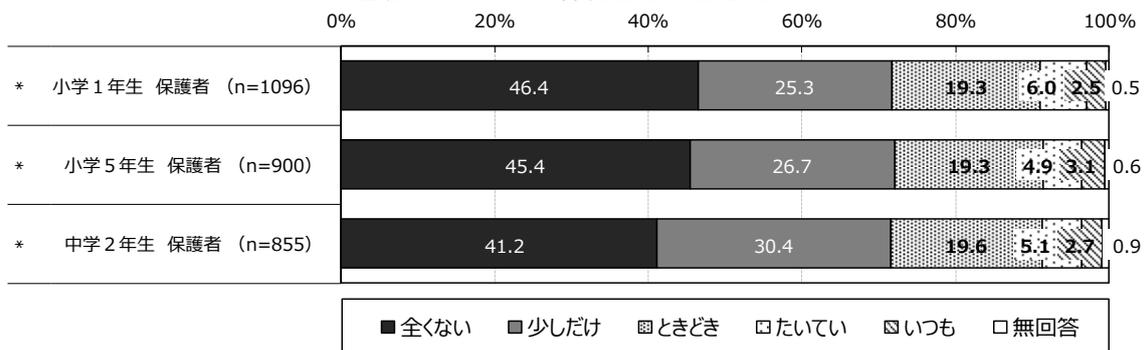
【小学1年生：問24、小学5年生・中学2年生：問20】  
 あなたの心の状態についてお聞きします。過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

心の状態については、小1・小5・中2ともに「どうしても落ち着けなくらいに、神経過敏に感じたか」「絶望的だと感じたか」「そわそわ、落ち着かなく感じたか」「じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたか」「気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じたか」「何をするにも骨折りだと感じたか」「自分は価値のない人間だと感じたか」では半数以上が「全くない」と回答しています。また、小1・小5・中2ともに「理由もなく疲れ切ったように感じたか」「ゆううつに感じたか」については、約3割が「少しだけ」と回答しています。

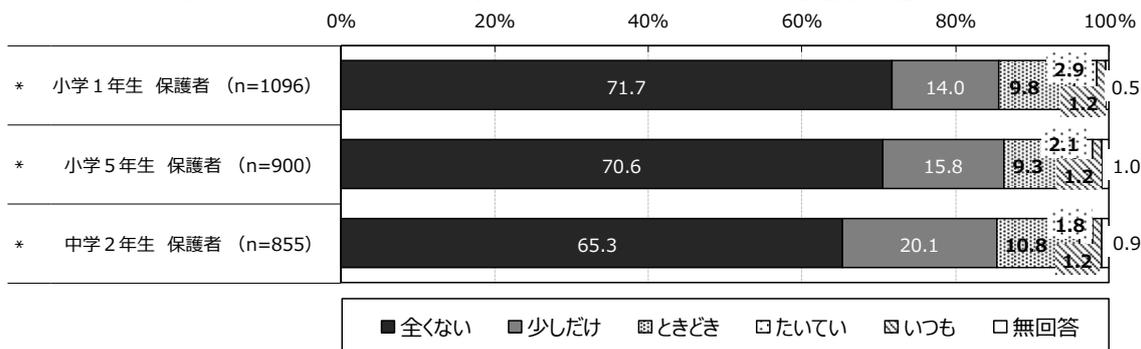
図表 77-1 A 理由もなく疲れ切ったように感じたか



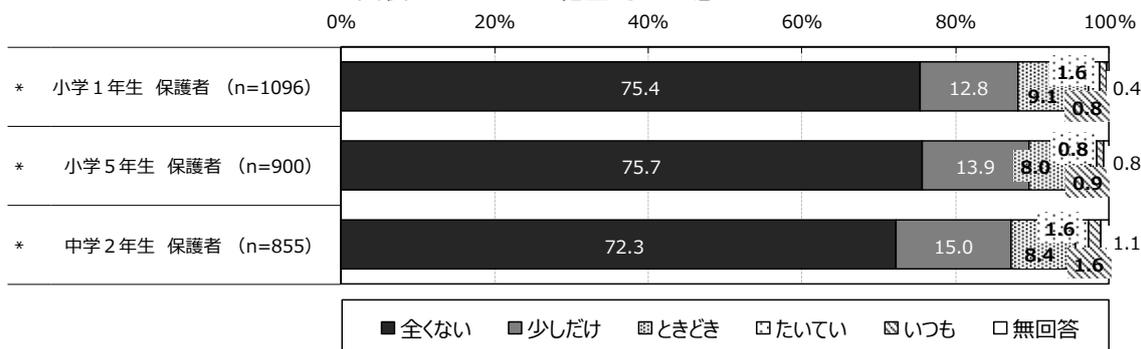
図表 77-2 B 神経過敏に感じたか



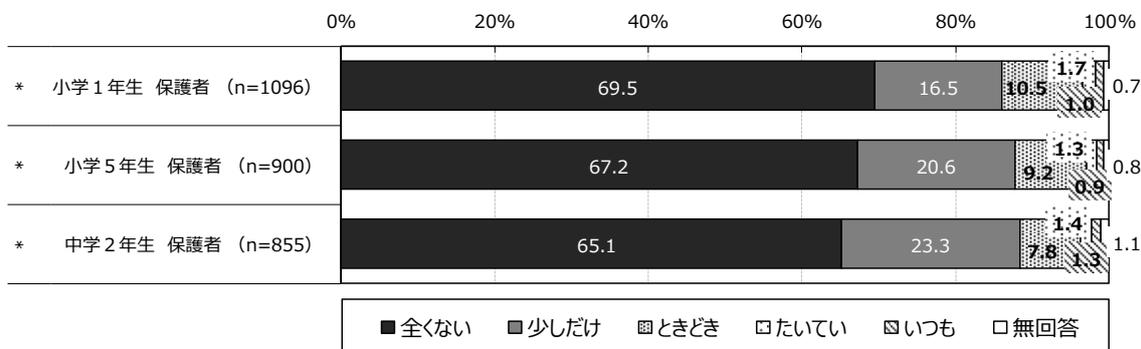
図表 77-3 C どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたか



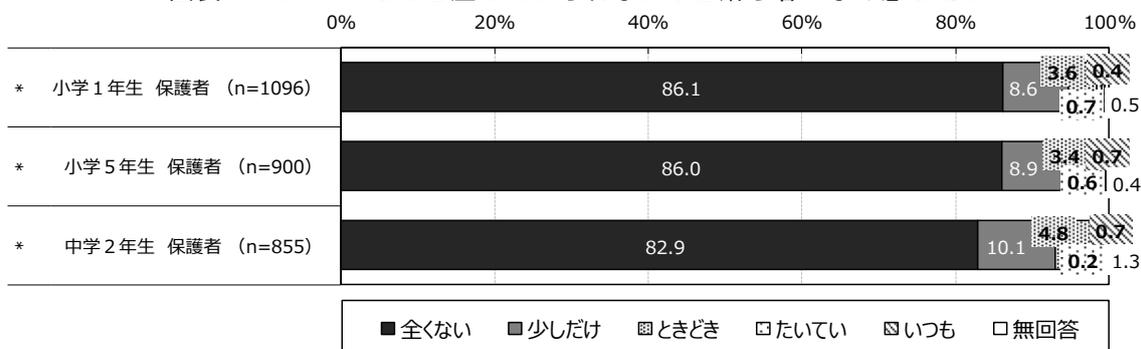
図表 77-4 D 絶望的だと感じたか



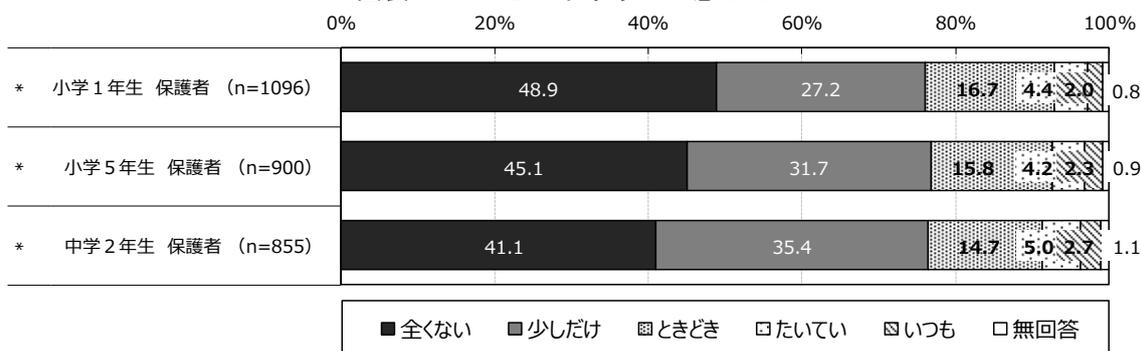
図表 77-5 E そわそわ、落ち着かなく感じたか



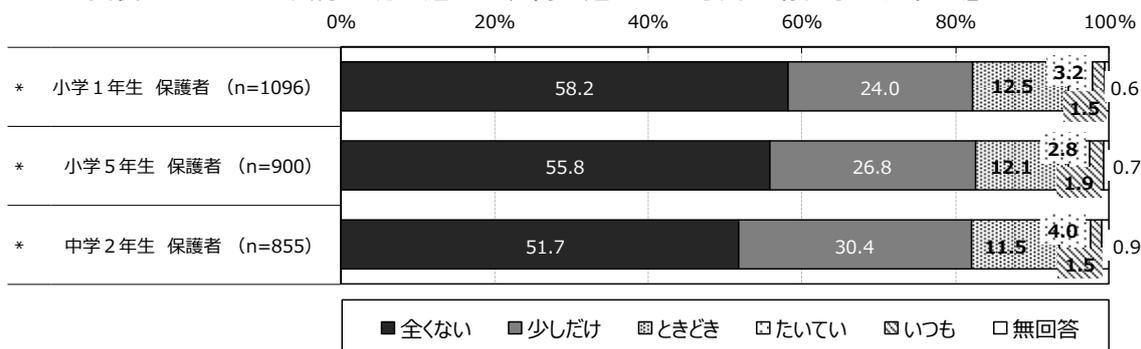
図表 77-6 F じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたか



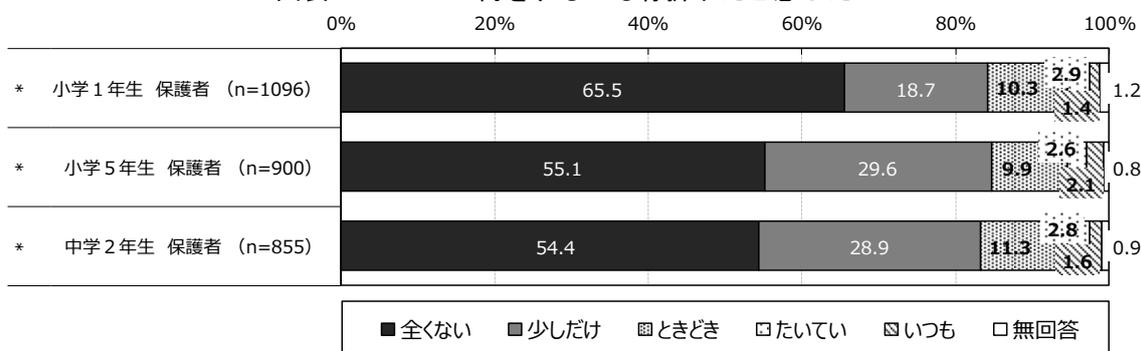
図表 77-7 G ゆううつに感じたか



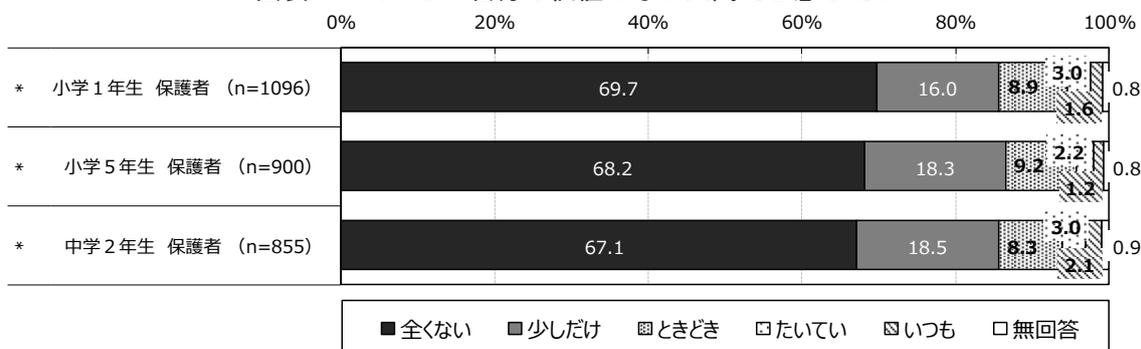
図表 77-8 H 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じたか



図表 77-9 I 何をするのも骨折りだと感じたか



図表 77-10 J 自分は価値のない人間だと感じたか

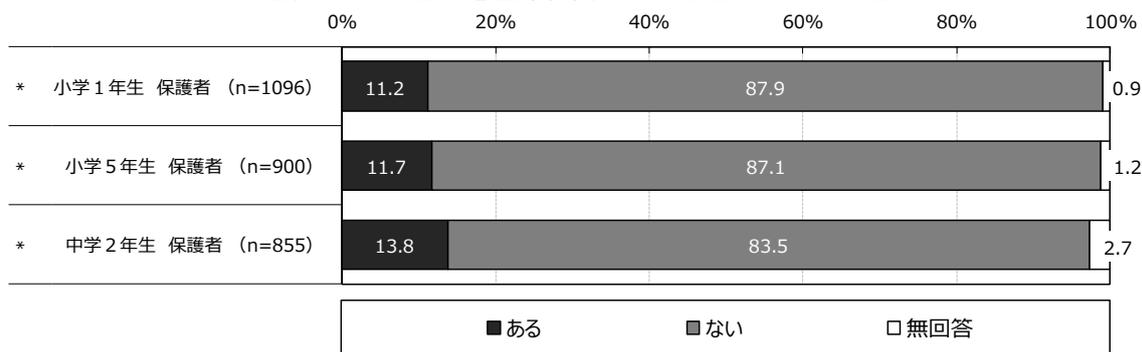


(3) 子どもを医療機関へ受診させなかったこと

【小学1年生：問25-1、小学5年生・中学2年生：問21-1】  
 お子さんの状況についてお伺いします。過去1年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

子どもを医療機関へ受診させなかったことについては、小1・小5・中2ともに「ない」が大半を占めています。

図表 78 子どもを医療機関へ受診させなかったこと



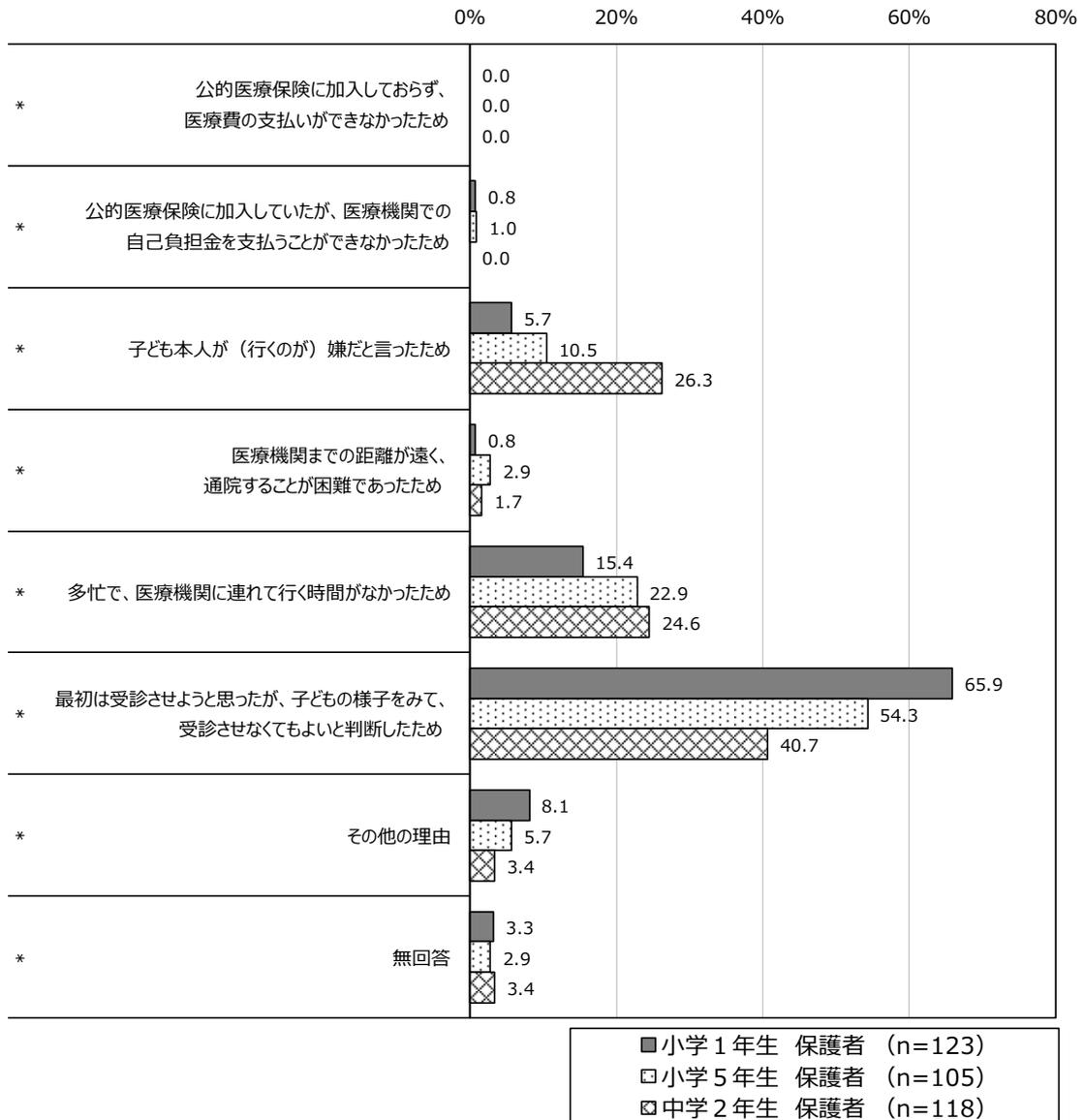
(4) 子どもを医療機関へ受診させなかった理由

【小学1年生：問25-2、小学5年生・中学2年生：問21-2】  
 ※問25-1で「1 ある」と答えた方にお伺いします。  
 その理由は何ですか。以下の1～7のうち、もっとも近いものに○をつけてください。  
 (○はひとつ)

※小学1年生：問25-1、小学5年生・中学2年生：問21-1で、「ある」と回答した方のみ

子どもを医療機関へ受診させなかった理由については、小1・小5・中2ともに「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」(小1：65.9%、小5：54.3%、中2：40.7%)が最も高くなっており、次いで小1・小5では「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」(小1：15.4%、小5：22.9%)、中2では「子ども本人が(行くのが)嫌だと言ったため」(26.3%)となっています。

図表 79 子どもを医療機関へ受診させなかった理由



## 4. 7 人生経験について

### (1) 母親の最終学歴

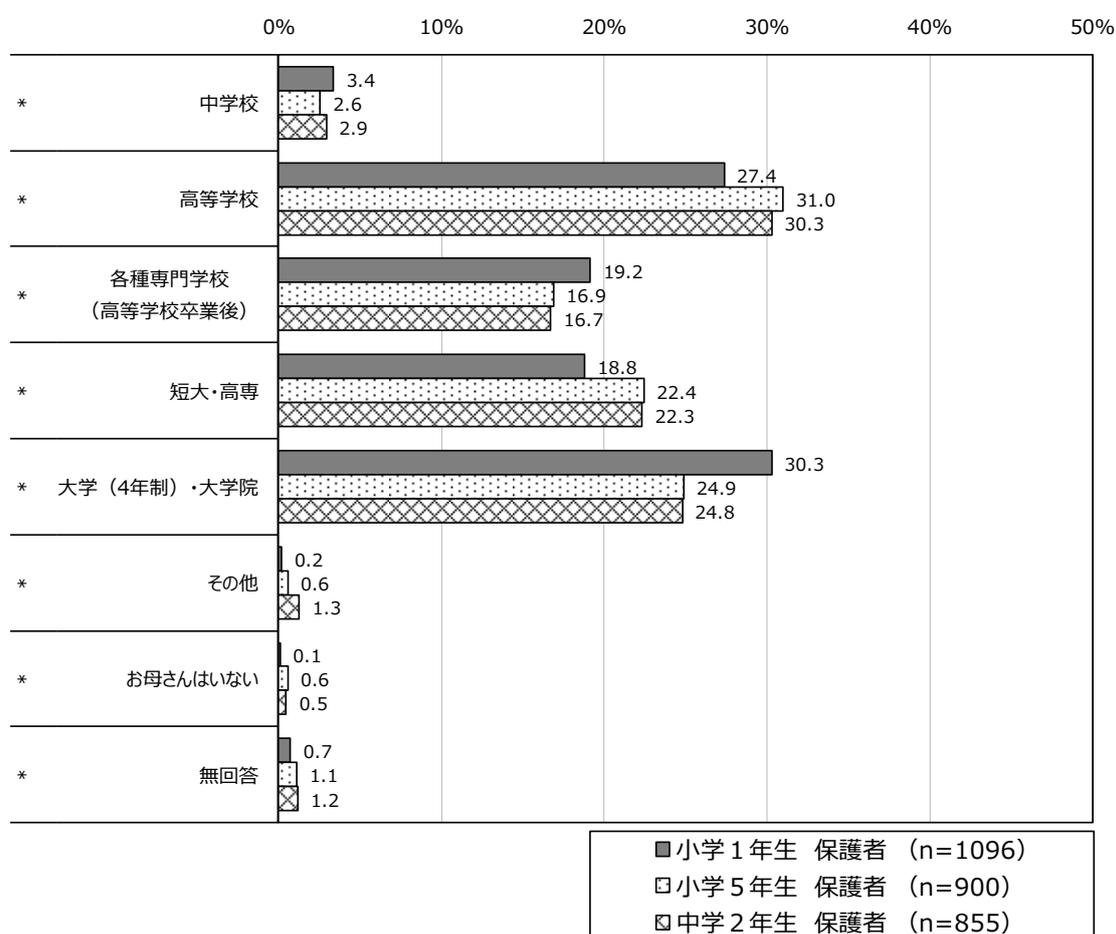
【小学1年生：問26、小学5年生・中学2年生：問22】

お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）の最終学歴を教えてください。

あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

母親の最終学歴については、小1は「大学（4年制）・大学院」（30.3%）、小5・中2は「高等学校」（小5：31.0%、中2：30.3%）が最も高くなっており、次いで小1は「高等学校」（27.4%）、小5・中2は「大学（4年制）・大学院」（小5：24.9%、中2：24.8%）となっています。

図表 80 母親の最終学歴



## (2) 父親の最終学歴

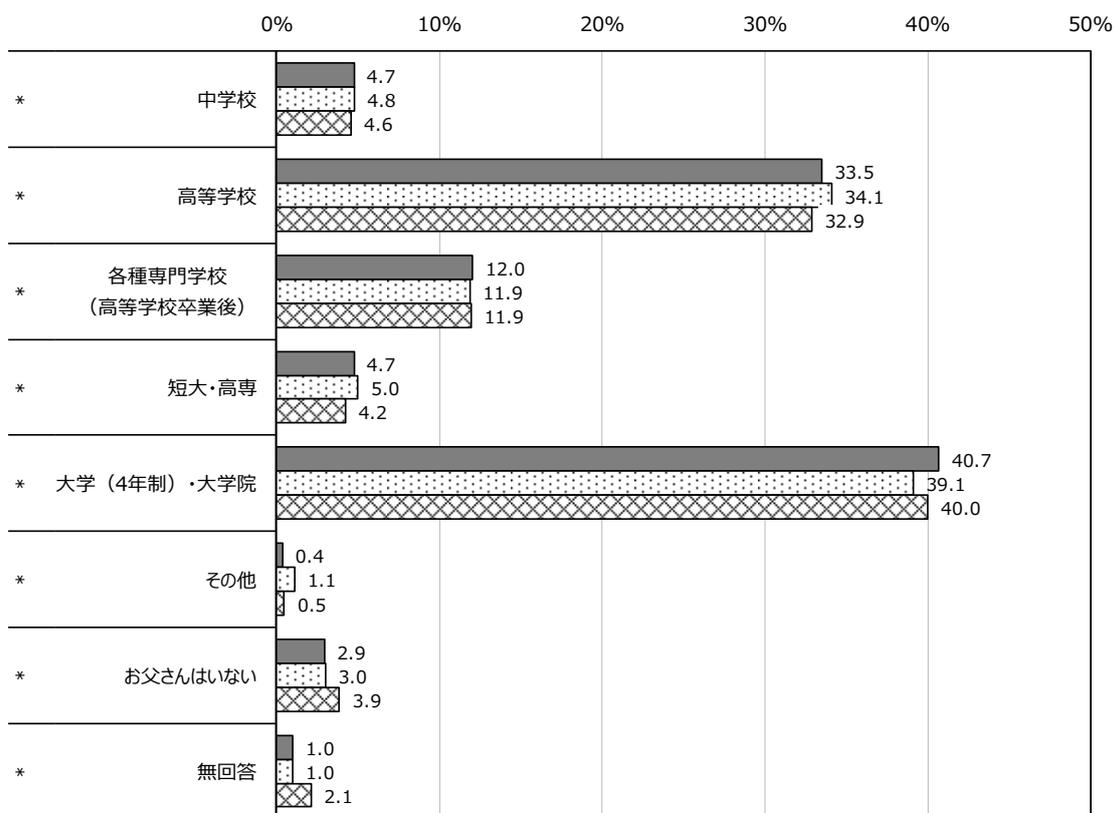
【小学1年生：問27、小学5年生・中学2年生：問23】

お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）の最終学歴を教えてください。

あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

父親の最終学歴については、小1・小5・中2ともに「大学（4年制）・大学院」（小1：40.7%、小5：39.1%、中2：40.0%）が最も高くなっており、次いで「高等学校」（小1：33.5%、小5：34.1%、中2：32.9%）、次いで「各種専門学校（高校卒業後）」（小1：12.0%、小5：11.9%、中2：11.9%）となっています。

図表 81 父親の最終学歴



■小学1年生 保護者 (n=1096)

□小学5年生 保護者 (n=900)

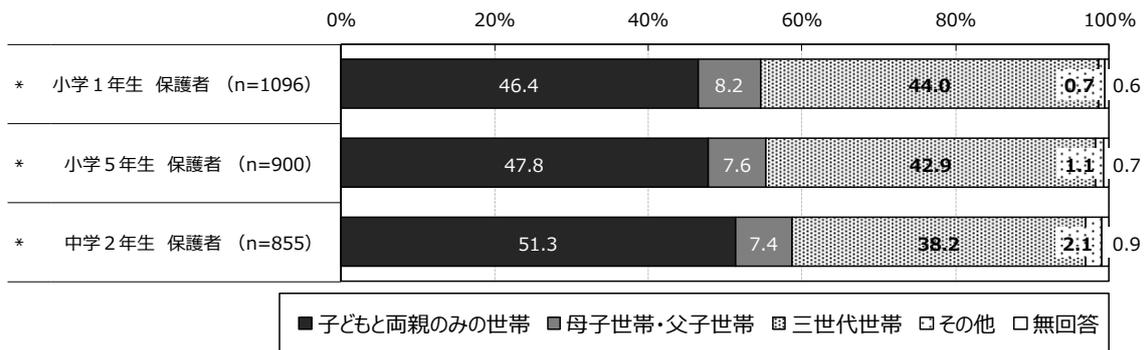
▨中学2年生 保護者 (n=855)

### (3) 15歳頃の家庭の様子

【小学1年生：問28、小学5年生・中学2年生：問24】  
 あなたの15歳頃のご家庭は、次のどの形態でしたか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

15歳頃の家庭の様子については、小1・小5・中2ともに「子どもと両親のみの世帯」(小1：46.4%、小5：47.8%、中2：51.3%)が最も高くなっており、次いで「三世帯世帯」(小1：44.0%、小5：42.9%、中2：38.2%)となっています。

図表 82 15歳頃の家庭の様子

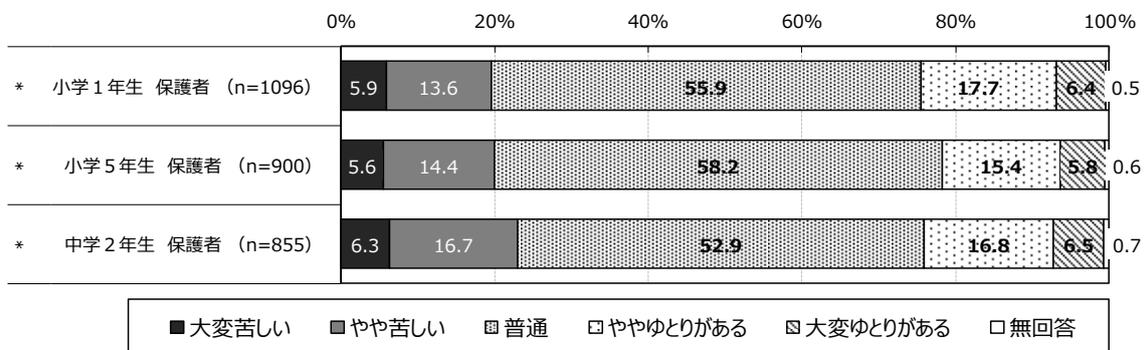


### (4) 15歳頃の家庭の暮らし向き

【小学1年生：問29、小学5年生・中学2年生：問25】  
 あなたの15歳頃のご家庭の暮らしの状態はどうだったと感じますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

15歳頃の家庭の暮らし向きについては、小1・小5・中2ともに「普通」(小1：55.9%、小5：58.2%、中2：52.9%)が半数以上となっており、次いで「ややゆとりがある」(小1：17.7%、小5：15.4%、中2：16.8%)となっています。

図表 83 15歳頃の家庭の暮らし向き



## 4. 8 現在の暮らしについて

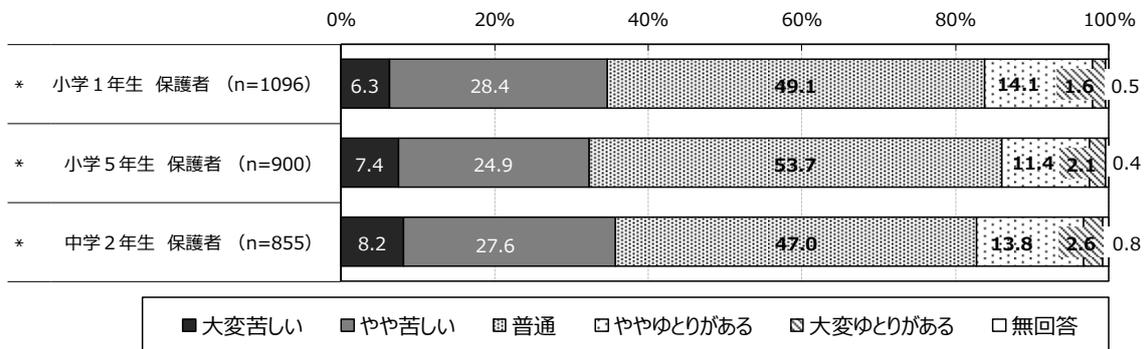
### (1) 家庭の現在の暮らし向き

【小学1年生：問30、小学5年生・中学2年生：問26】  
 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

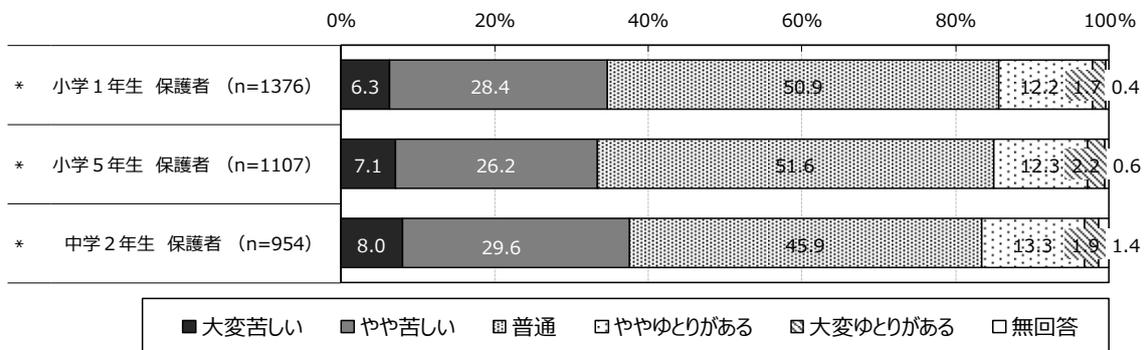
家庭の現在の暮らし向きについては、小1・小5・中2ともに「普通」(小1：49.1%、小5：53.7%、中2：47.0%)が最も高くなっており、次いで「やや苦しい」(小1：28.4%、小5：24.9%、中2：27.6%)となっています。

平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。

図表 84 家庭の現在の暮らし向き



[平成30年度調査 図表 84 家庭の現在の暮らし向き]

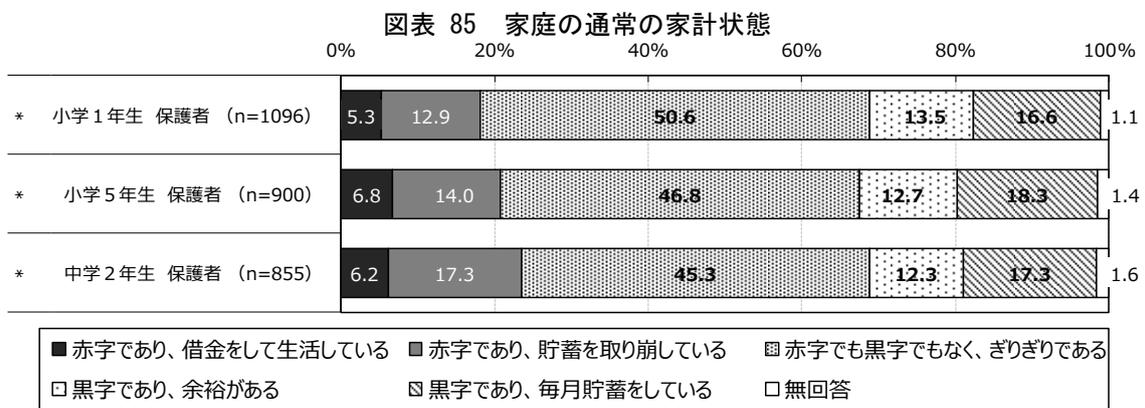


(2) 家庭の通常の家計状況

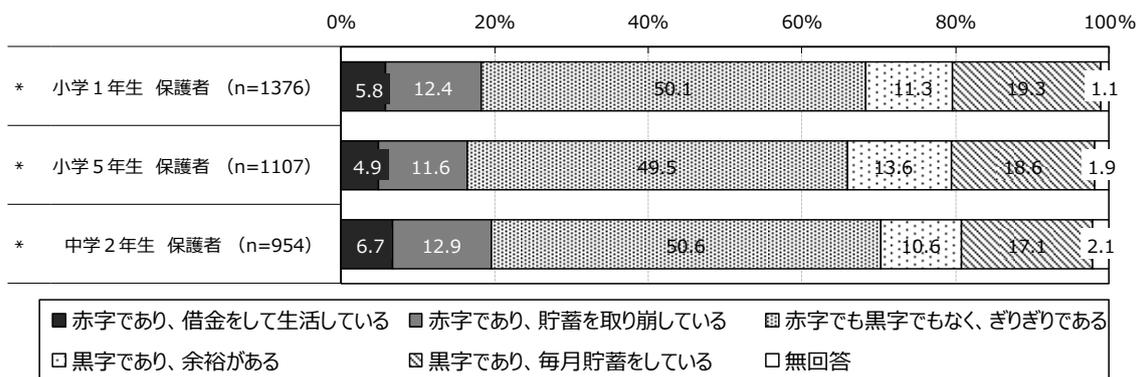
【小学1年生：問31、小学5年生・中学2年生：問27】  
 あなたのご家庭の通常の家計の状況について、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)  
 ※なお、住宅ローンの支払いなどローンに関するものも、支出に入れて下さい。

家庭の通常の家計状況については、小1・小5・中2ともに「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」(小1：50.6%、小5：46.8%、中2：45.3%)が最も高くなっており、次いで小1・小5では「黒字であり、毎月貯蓄をしている」(小1：16.6%、小5：18.3%)、中2では「赤字であり、貯蓄を取り崩している」「黒字であり、毎月貯蓄をしている」(ともに17.3%)となっています。

平成30年度調査と比較して、中2の「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合は、5.3%低くなっています。



[ 平成30年度調査 図表 85 家庭の通常の家計状態 ]

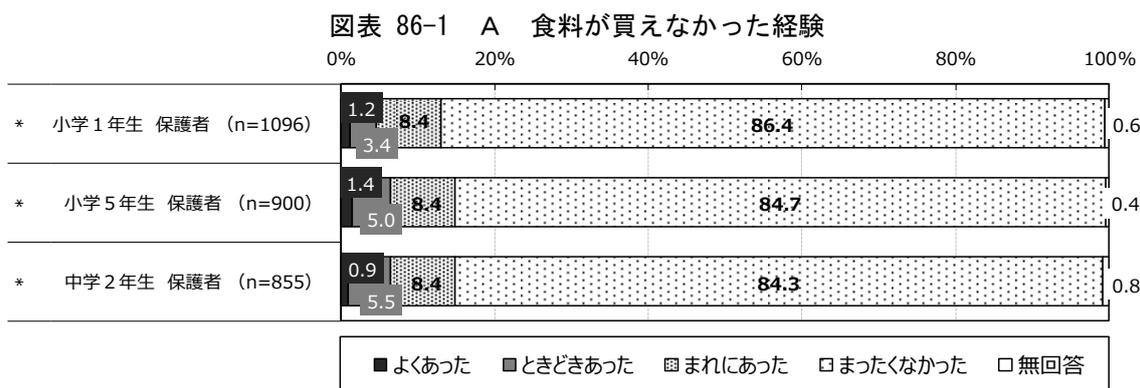


(3) 経済的な理由から食料や衣料が買えないことがあったか

【小学1年生：問32、小学5年生・中学2年生：問28】  
 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はそれぞれひとつ）

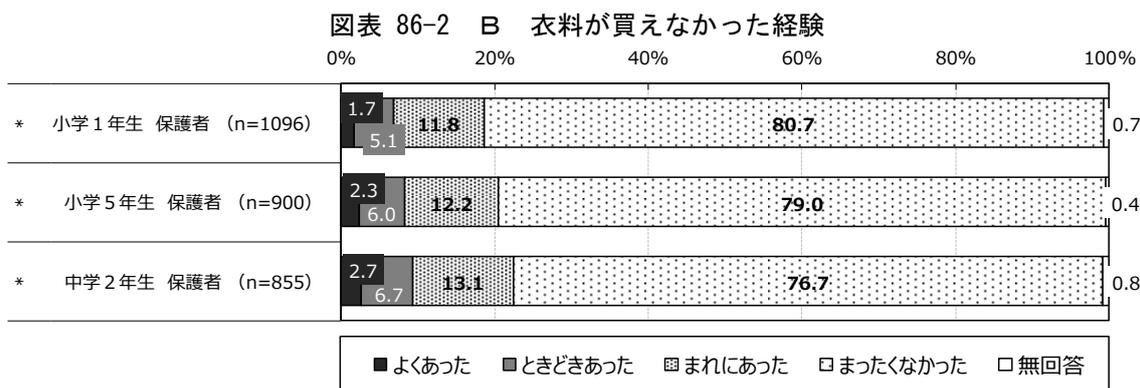
(3-1) A食料が買えなかった経験

食料が買えなかった経験については、小1・小5・中2ともに「まったくなかった」が8割以上となっており、大半を占めています。



(3-2) B衣料が買えなかった経験

衣料が買えなかった経験については、小1・小5・中2ともに「まったくなかった」が約8割となっており、大半を占めています。

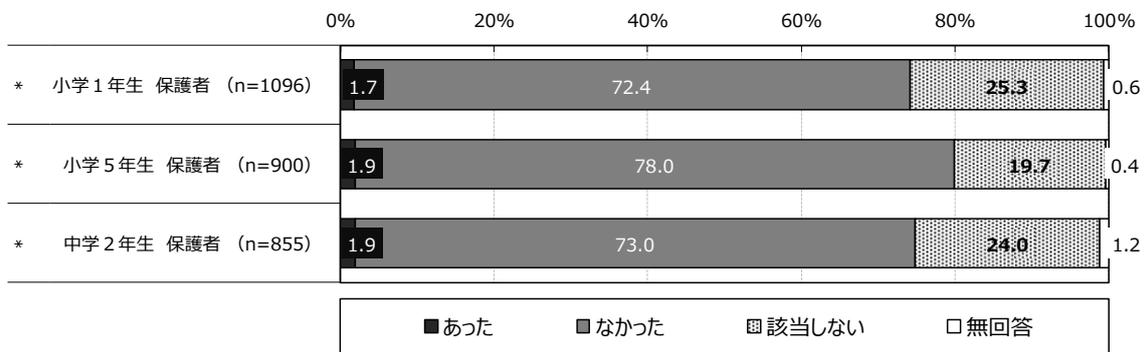


(4) 経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができなかったことがあったか

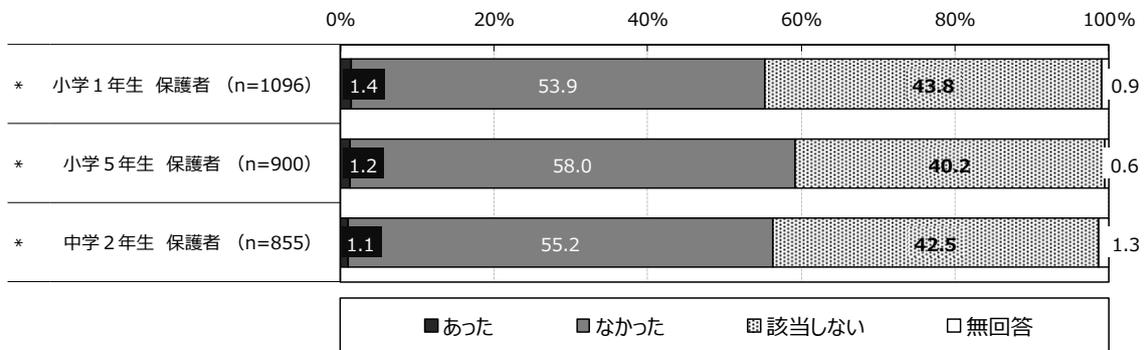
【小学1年生：問33、小学5年生・中学2年生：問29】  
 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。  
 A～Hについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

経済的な理由で月々の料金の支払い、住宅ローンの滞納、債務の返済ができなかったことがあったかについては、該当しないを除き、小1・小5・中2ともに「なかった」が大半を占めています。

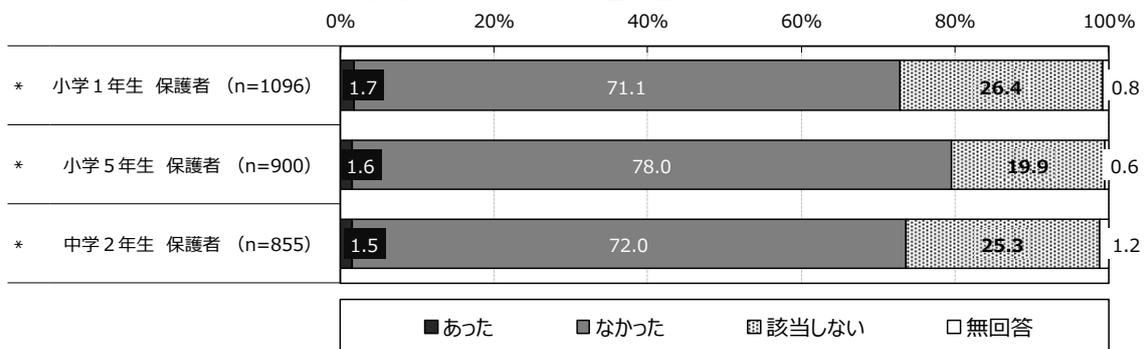
図表 87-1 A 電気料金の未払い



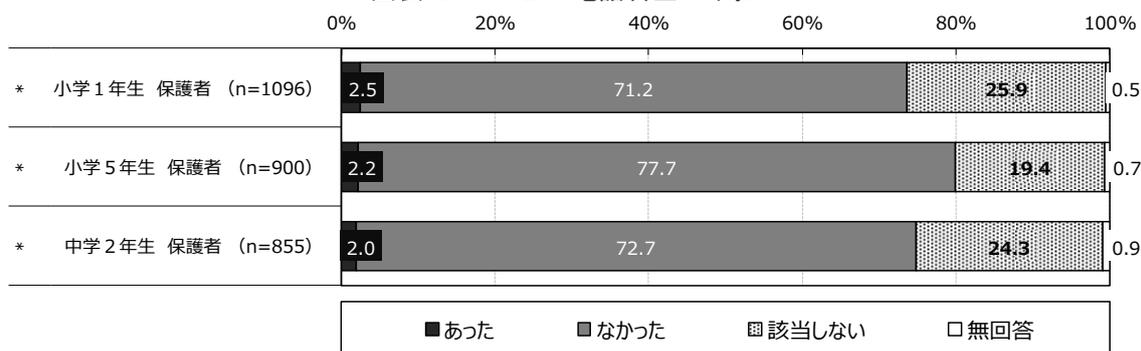
図表 87-2 B ガス料金の未払い



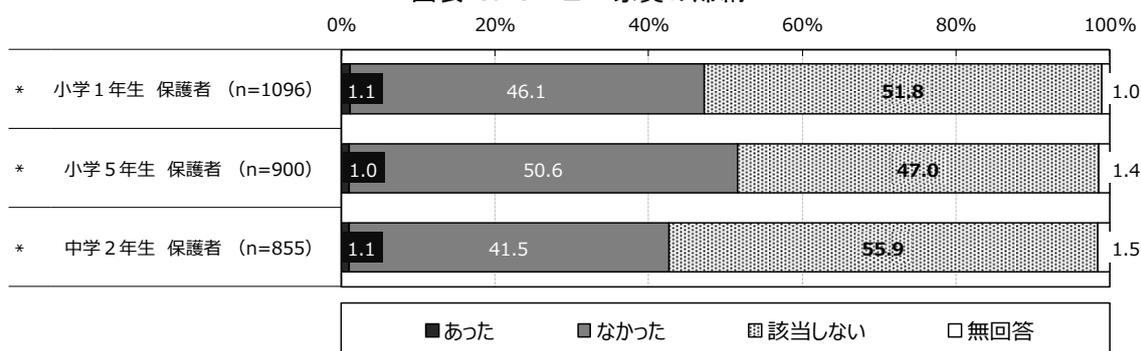
図表 87-3 C 水道料金の未払い



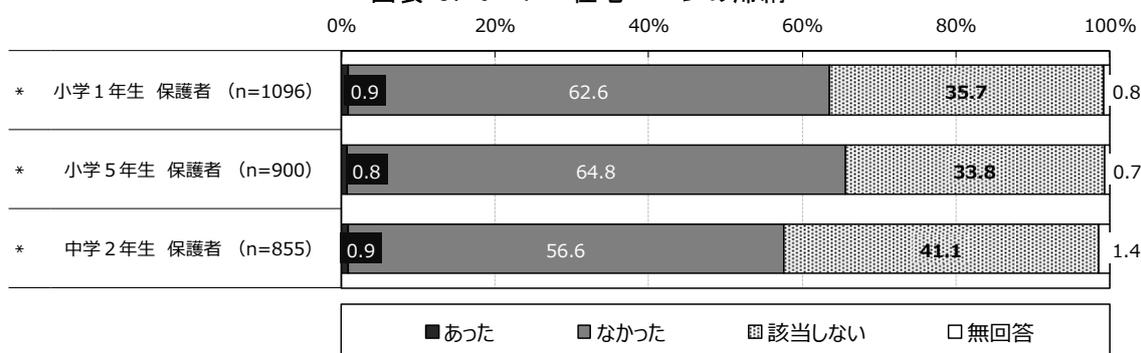
図表 87-4 D 電話料金の未払い



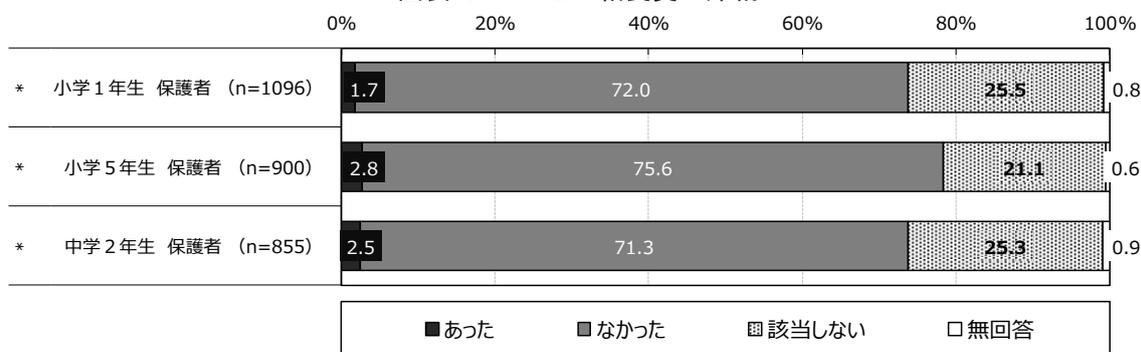
図表 87-5 E 家賃の滞納



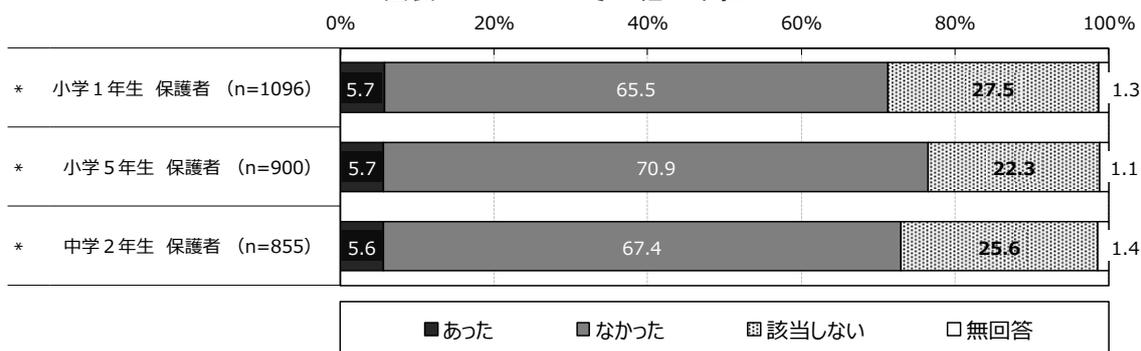
図表 87-6 F 住宅ローンの滞納



図表 87-7 G 給食費の滞納



図表 87-8 H その他の未払い

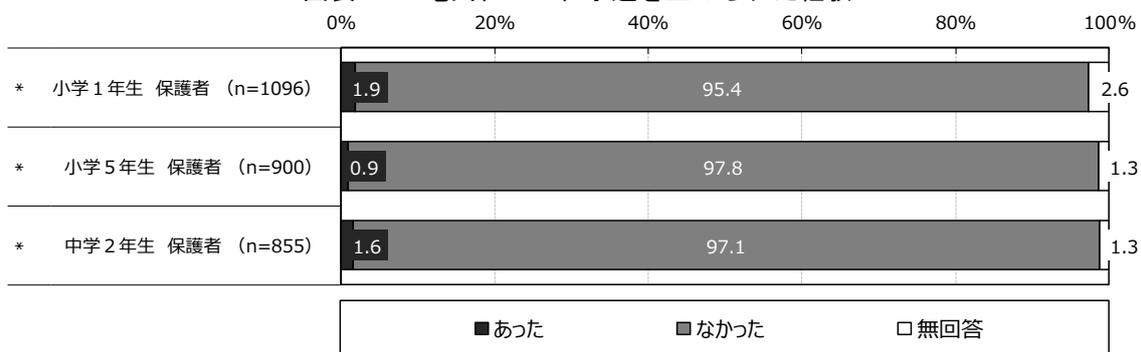


(5) 電気、ガス、水道を止められた経験

【小学1年生：問34、小学5年生・中学2年生：問30】  
 あなたの世帯では、過去10年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

電気、ガス、水道を止められた経験については、小1・小5・中2ともに「なかった」が9割以上となっており、大半を占めています。

図表 88 電気、ガス、水道を止められた経験

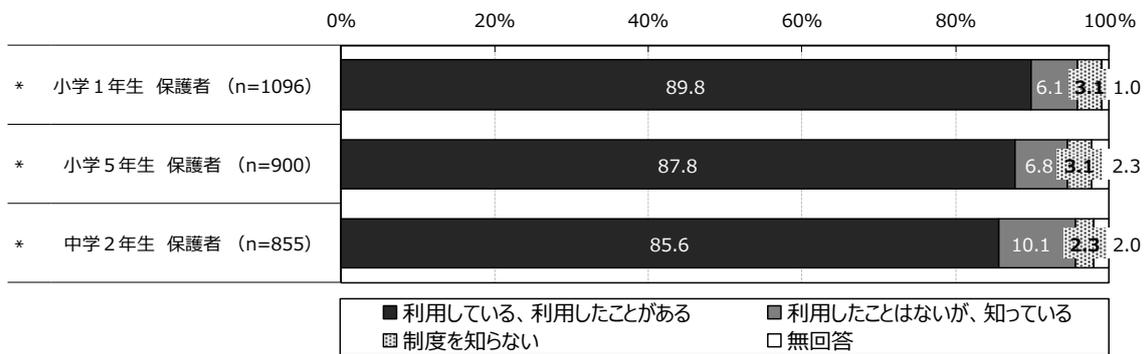


(6) 制度利用（支援）の有無

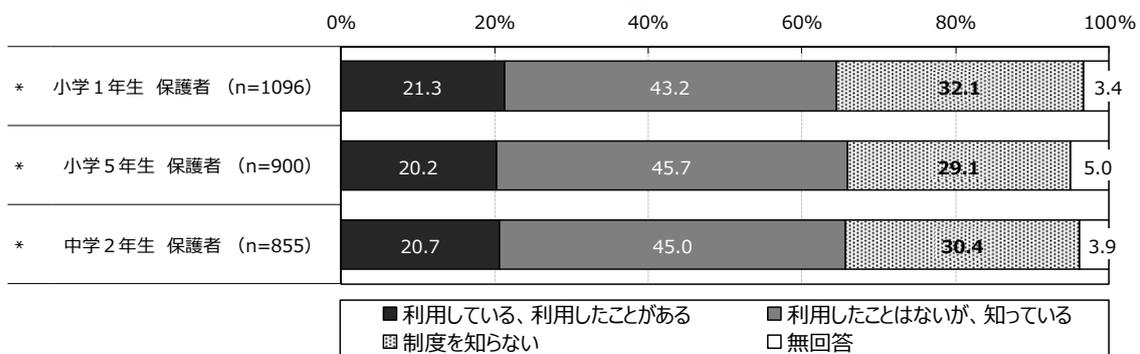
【小学1年生：問35、小学5年生・中学2年生：問31】  
 あなたはお子さんのために次の公的制度を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（○はそれぞれひとつ）

制度利用（支援）の有無については、小1・小5・中2ともに「児童手当」（小1：89.8%、小5：87.8%、中2：85.6%）がおおよそ9割となっており、大半を占めています。次いで「児童扶養手当」（小1：21.3%、小5：20.2%、中2：20.7%）となっています。「母子父子寡婦福祉資金貸付金」と「生活福祉資金貸付金」では「制度を知らない」が小1・小5・中2ともに高い割合となっています。

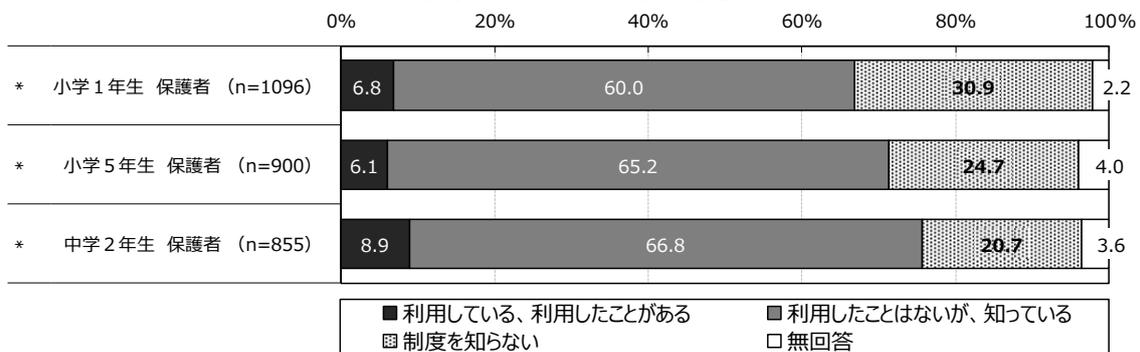
図表 89-1 A 児童手当



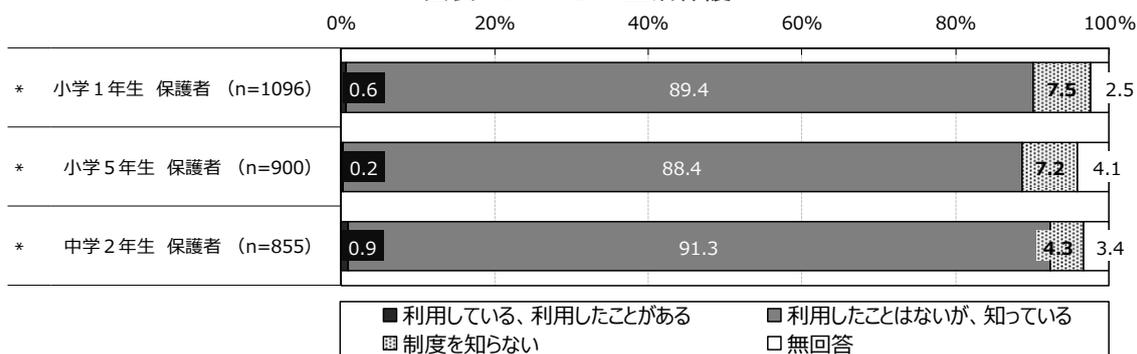
図表 89-2 B 児童扶養手当



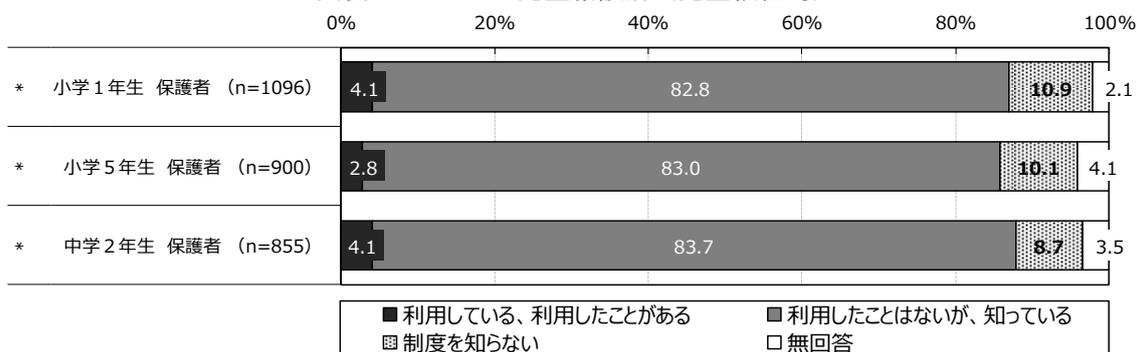
図表 89-3 C 就学援助



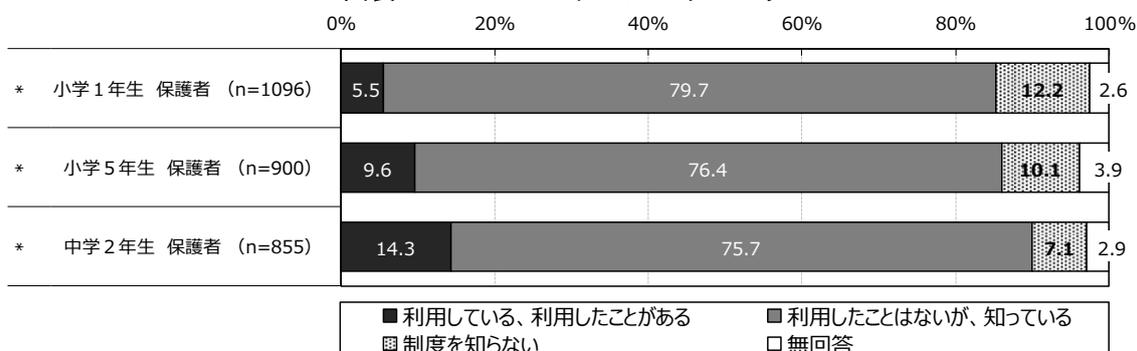
図表 89-4 D 生活保護



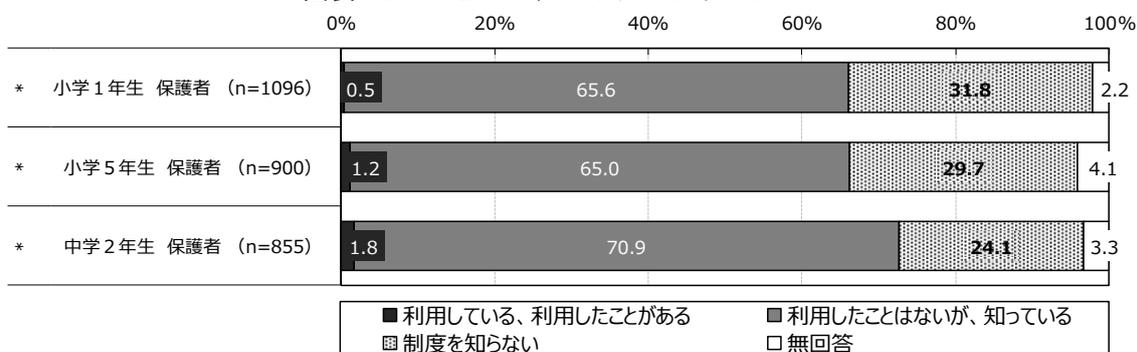
図表 89-5 E 児童相談所 (児童福祉司)



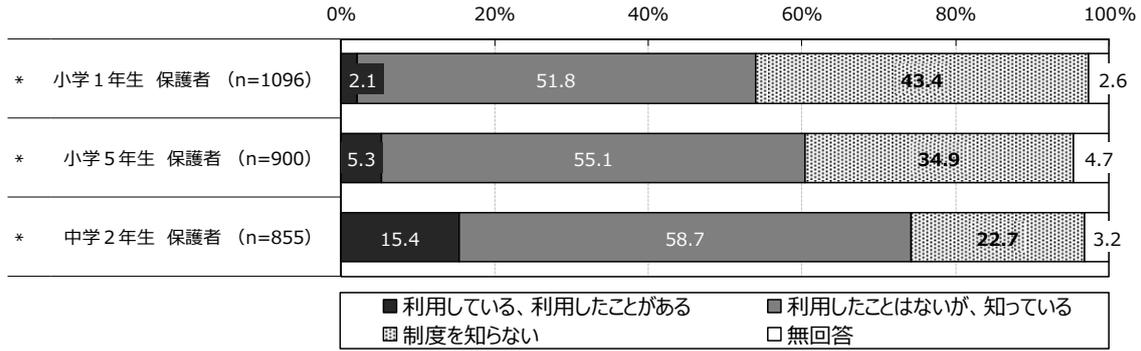
図表 89-6 F スクールカウンセラー



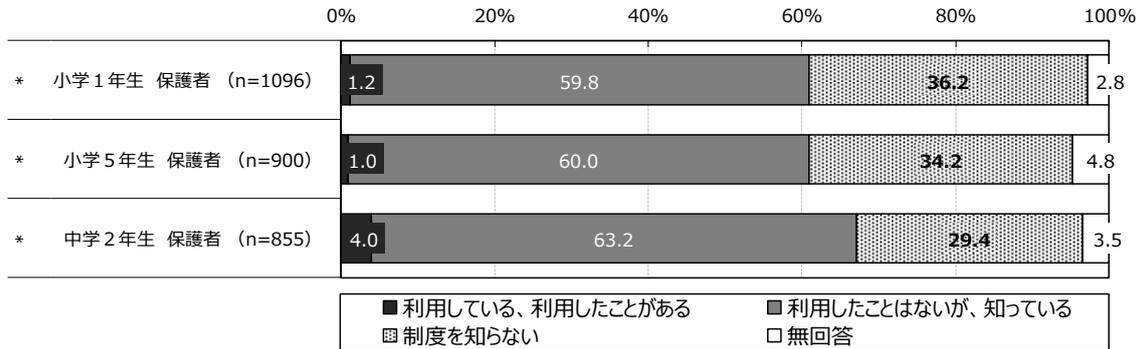
図表 89-7 G スクールソーシャルワーカー



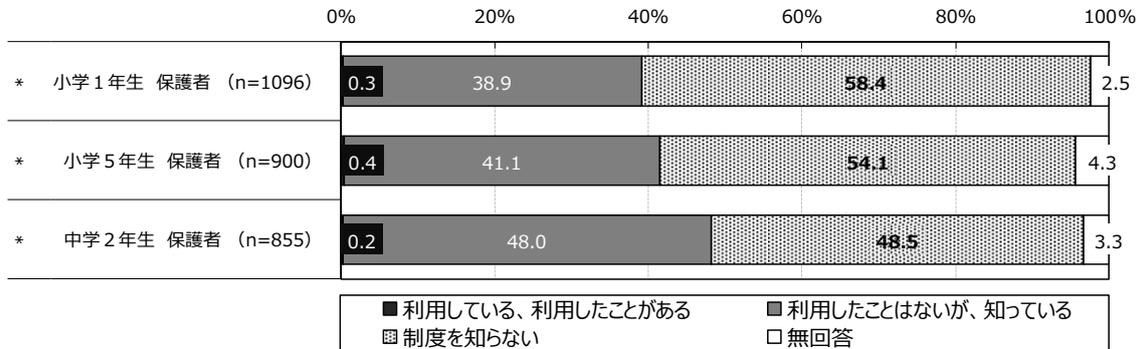
図表 89-8 H 高等学校等就学支援金



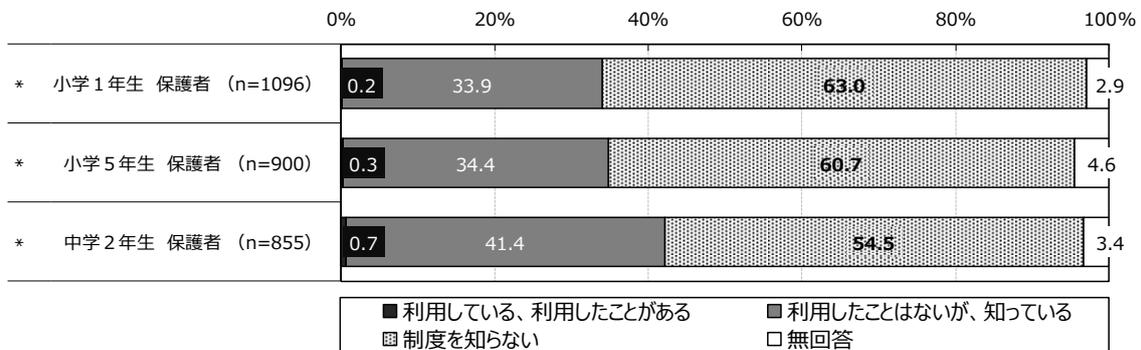
図表 89-9 I 奨学のための給付金



図表 89-10 J 母子父子寡婦福祉資金貸付金



図表 89-11 K 生活福祉資金貸付金



## 4. 9 収入について

### (1) 世帯収入

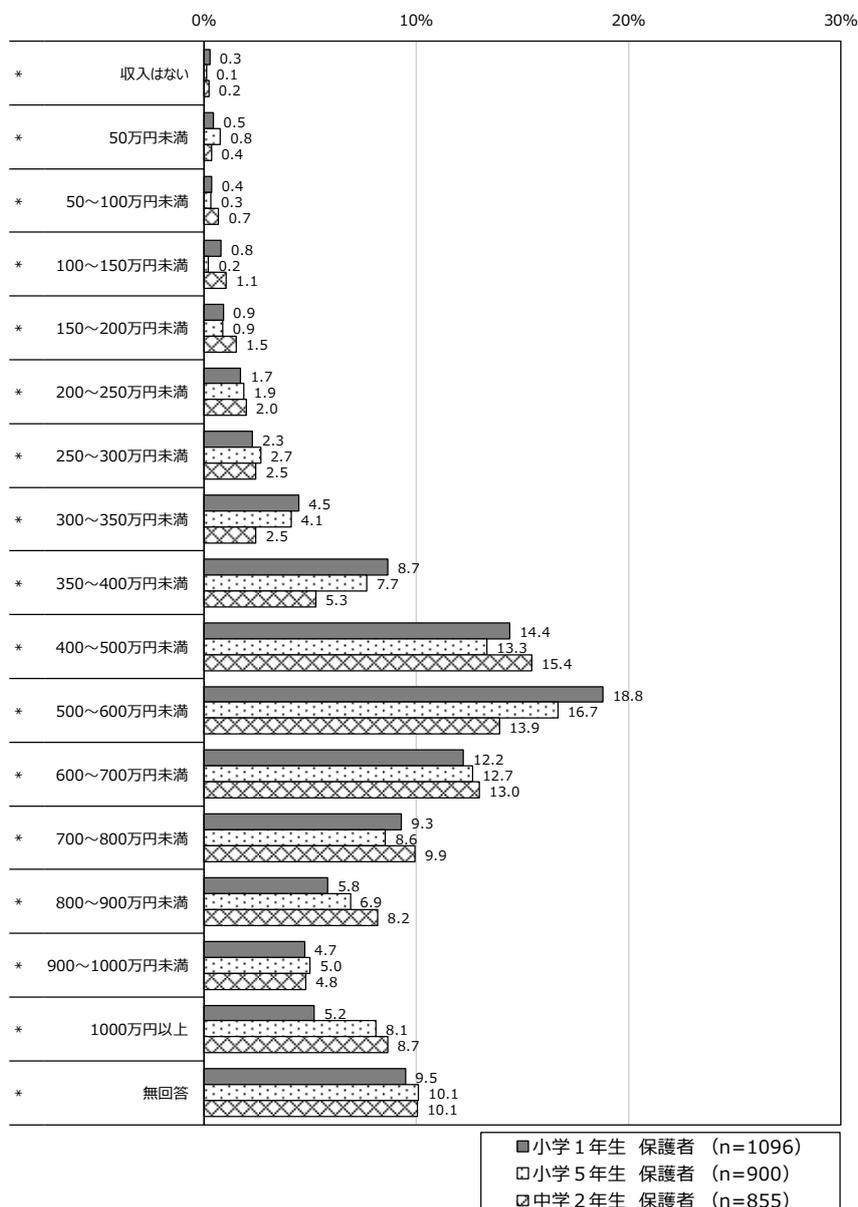
【小学1年生：問36、小学5年生・中学2年生：問32】

最近のあなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯収入（年間のボーナス含む手取り額を教えてください。なお、単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

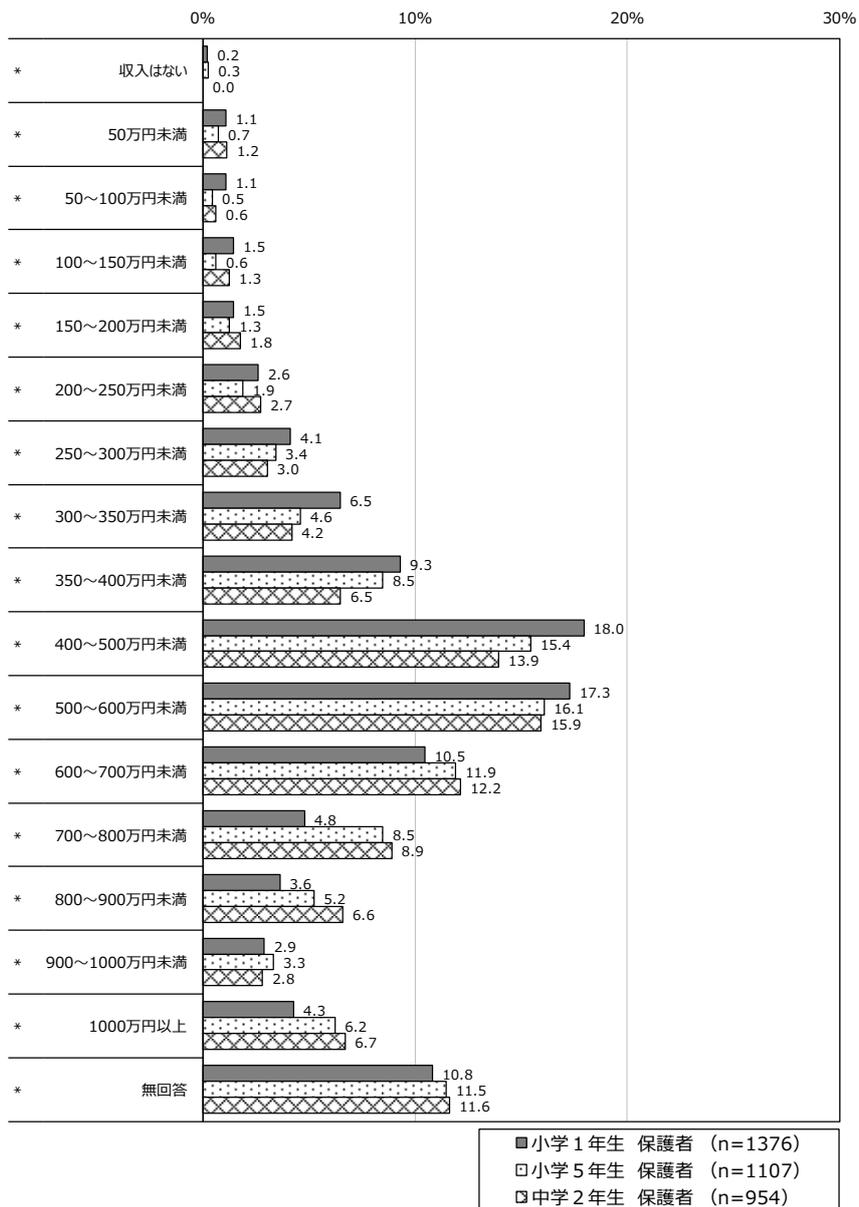
世帯収入については、小1・小5では「500～600万円未満」（小1：18.8%、小5：16.7%）が最も高くなっており、中2では「400～500万円未満」（15.4%）が最も高くなっています。次いで、小1・小5では「400～500万円未満」（小1：14.4%、小5：13.3%）、中2では「500～600万円未満」（13.9%）となっています。

平成30年度調査と比較して、小1では、「400～500万円未満」から「500～600万円」の割合が高くなっています。

図表 90 世帯収入



[ 平成 30 年度調査 図表 90 世帯収入 ]



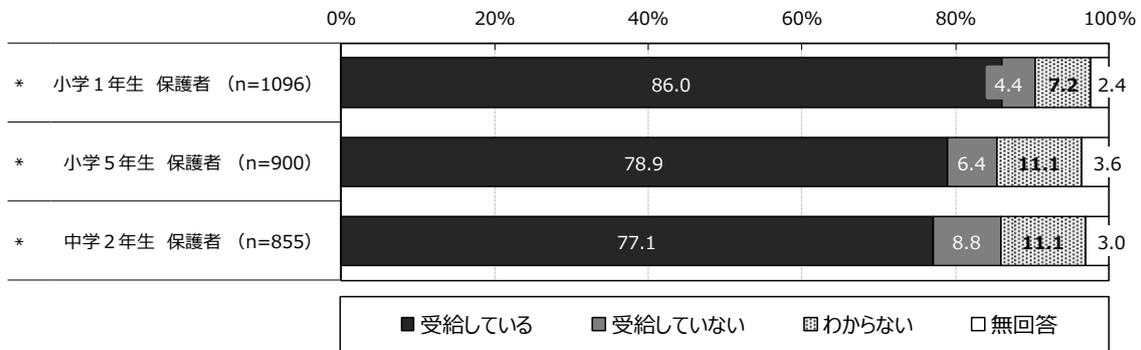
(2) 世帯収入（合算値）のうち受給しているもの

【小学1年生：問37、小学5年生・中学2年生：問33】  
 世帯収入（合算値）のうち、次のものについて、それぞれの額を教えてください。  
 受給していない方は「2 受給していない」に、不明な方は「3 わからない」に○をつけてください。

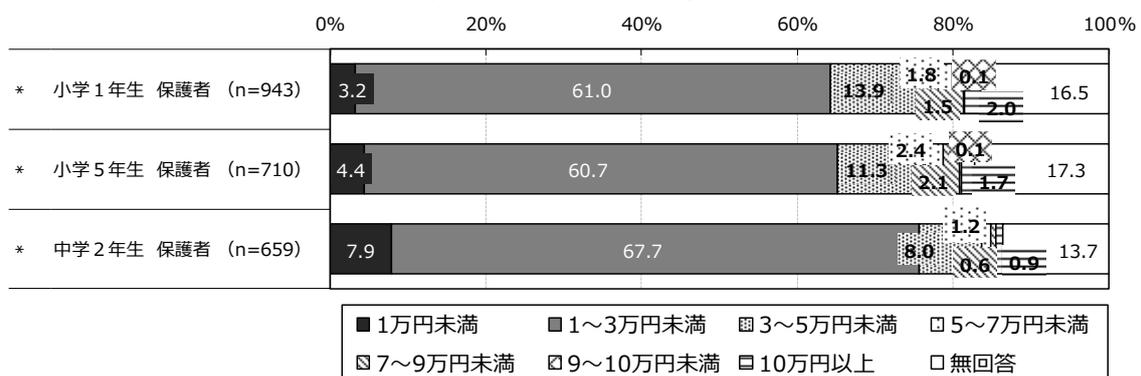
(2-1) A児童手当

児童手当の受給の有無については、小1・小5・中2ともに「受給している」(小1:86.0%、小5:78.9%、中2:77.1%)が、大半を占めています。児童手当の受給月額については、小1・小5・中2ともに「1~3万円未満」(小1:61.0%、小5:60.7%、中2:67.7%)が最も高くなっており、次いで「3~5万円未満」(小1:13.9%、小5:11.3%、中2:8.0%)となっています。

図表 91-1 A 受給の有無



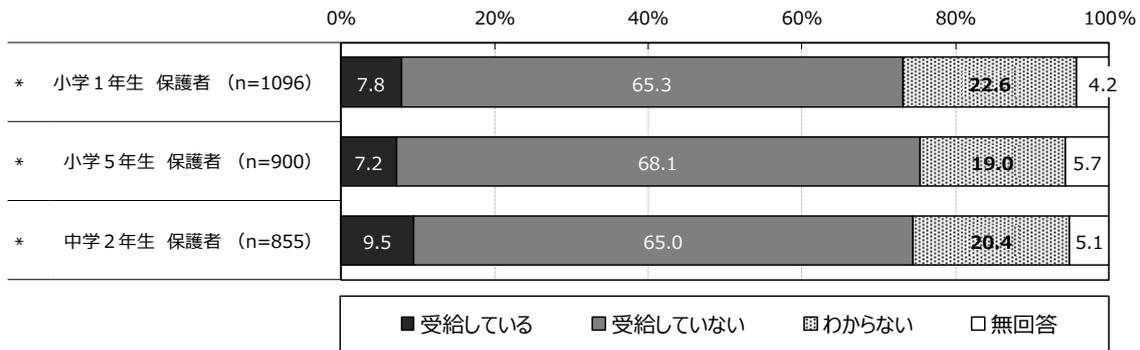
図表 91-2 A 受給月額



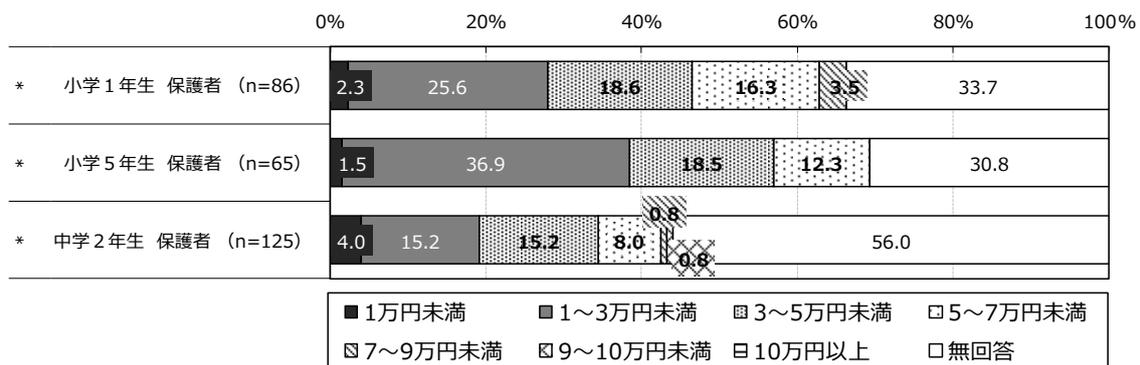
(2-2) B児童扶養手当・特別児童扶養手当

児童扶養手当・特別児童扶養手当の受給の有無については、小1・小5・中2ともに「受給していない」(小1:65.3%、小5:68.1%、中2:65.0%)が半数以上を占めています。児童扶養手当・特別児童扶養手当の受給月額については、小1・小5では「1~3万円未満」(小1:25.6%、小5:36.9%)が最も高くなっており、次いで「3~5万円未満」(小1:18.6%、小5:18.5%)となっています。中2では「1~3万円未満」と「3~5万円未満」が15.2%となっています。

図表 91-3 B 受給の有無



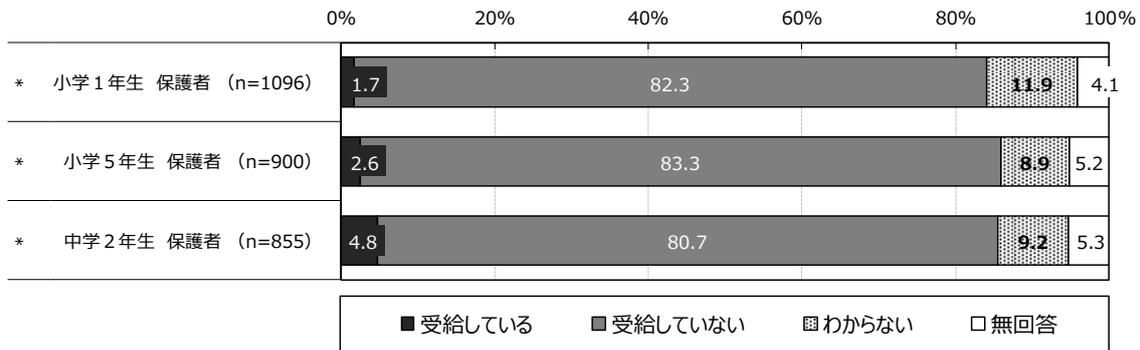
図表 91-4 B 受給月額



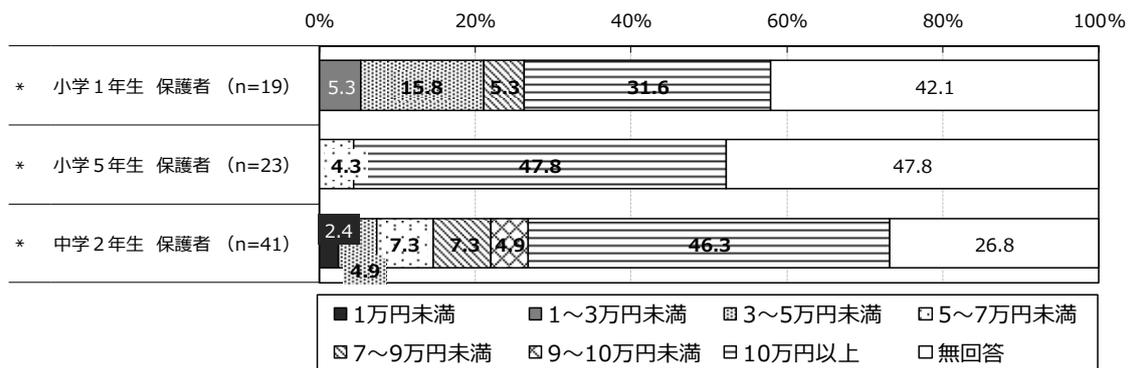
### (2-3) C 公的年金

公的年金の受給の有無については、小1・小5・中2ともに「受給していない」(小1: 82.3%、小5: 83.3%、中2: 80.7%)が8割を超えており、大半を占めています。公的年金の受給月額については、小1・小5・中2ともに「10万円以上」(小1: 31.6%、小5: 47.8%、中2: 46.3%)が最も高くなっています。次いで小1は「3~5万円未満」(15.8%)、小5は「5~7万円未満」(4.3%)、中2は「5~7万円未満」「7~9万円未満」(ともに7.3%)となっています。

図表 91-5 C 受給の有無



図表 91-6 C 受給月額

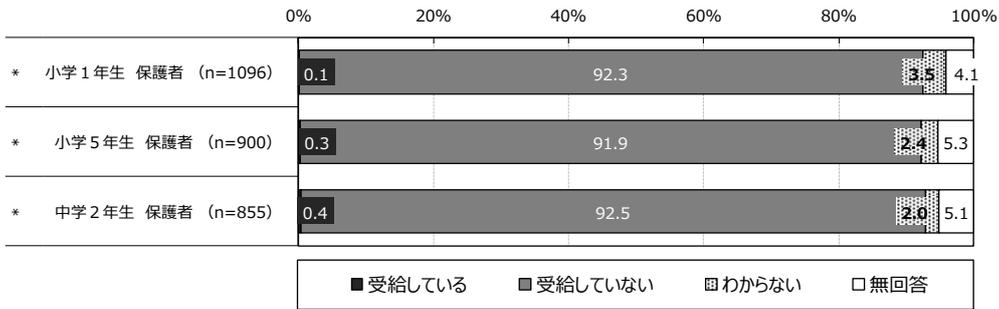


(2-4) D生活保護・準要保護

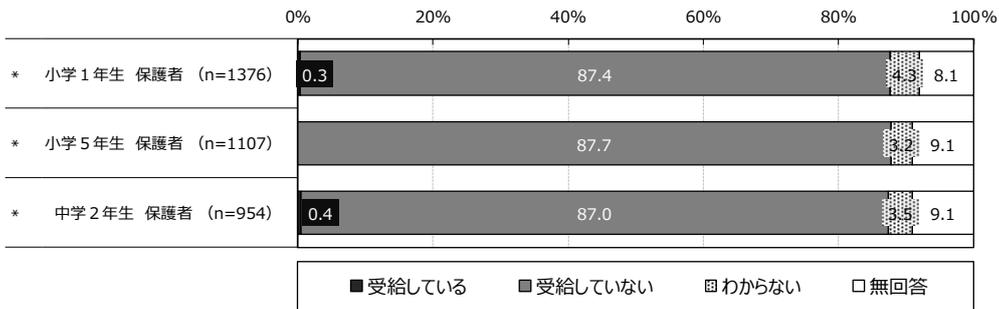
生活保護・準要保護の受給の有無については、小1・小5・中2ともに「受給していない」(小1:92.3%、小5:91.9%、中2:92.5%)が9割を超えており、大半を占めています。生活保護・準要保護の受給月額については、小1では「10万円以上」(100.0%)となっています。小5では「1~3万円未満」(33.3%)、中2では「9~10万円未満」(33.3%)となっています。

平成30年度調査と比較して、「受給していない」の割合は高くなっています。

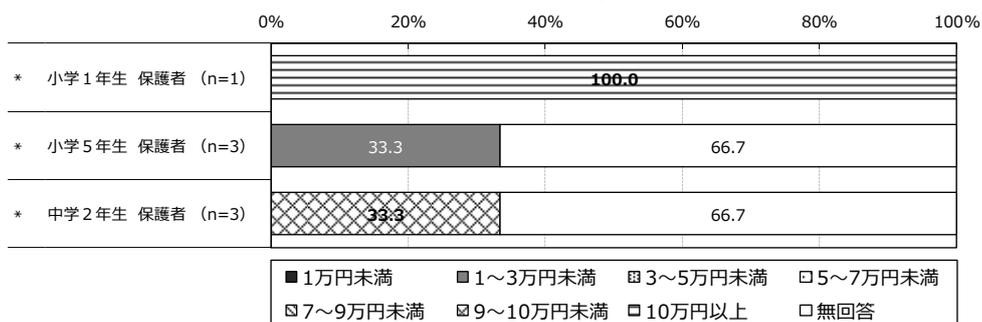
図表 91-7 D 受給の有無



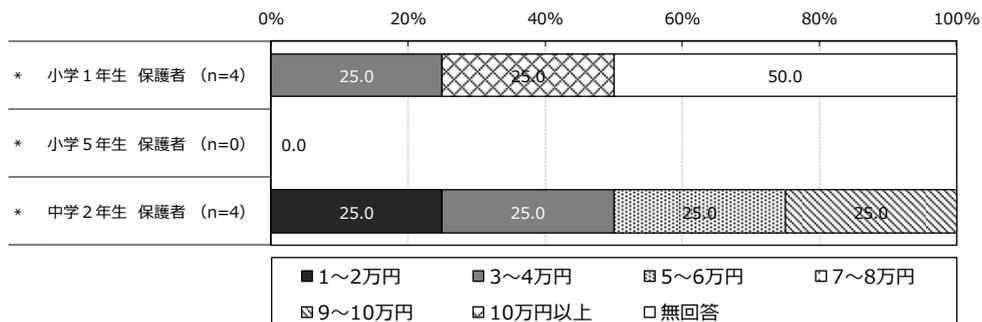
[平成30年度調査 図表 91-7 D 受給の有無]



図表 91-8 D 受給月額



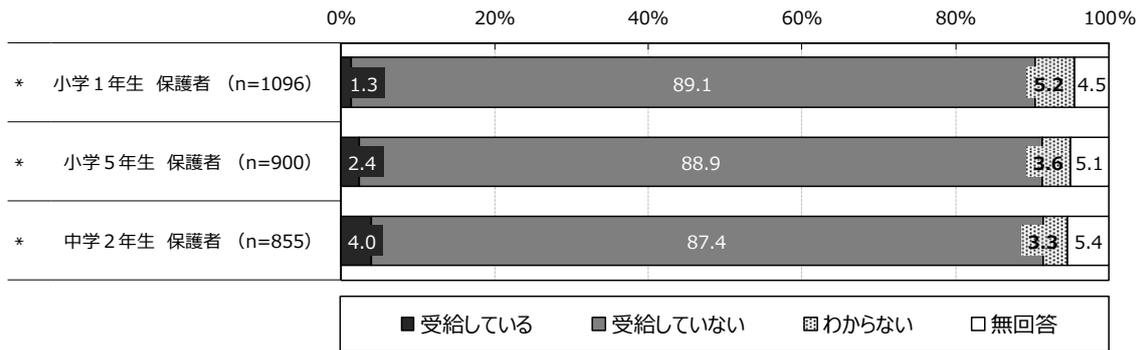
[平成30年度調査 図表 91-8 D 受給月額]



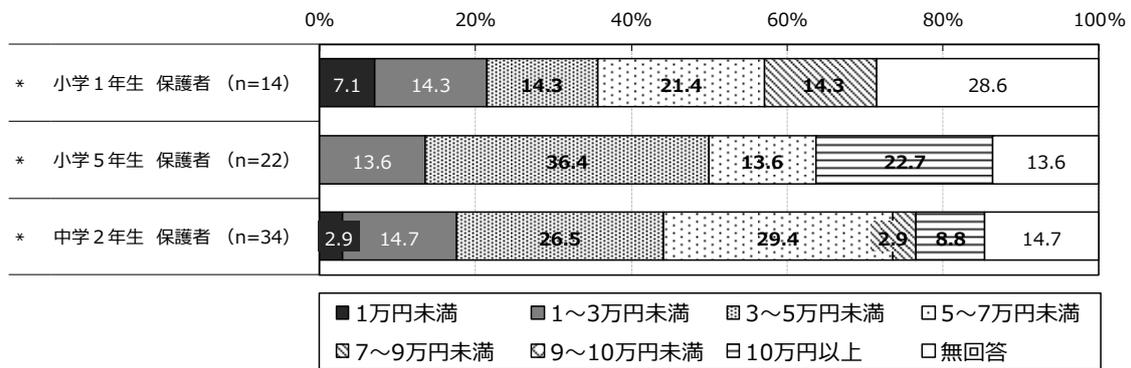
(2-5) E その他（養育費・奨学金（貸付を含む）等）

その他（養育費・奨学金（貸付を含む）等）の受給の有無については、小1・小5・中2ともに「受給していない」（小1：89.1%、小5：88.9%、中2：87.4%）が8割を超えており、大半を占めています。その他の受給月額については、小1では「5～7万円未満」（21.4%）が最も高くなっており、次いで「1～3万円未満」「3～5万円未満」「7～9万円未満」（ともに14.3%）となっています。小5では「3～5万円未満」（36.4%）が最も高くなっており、次いで「10万円以上」（22.7%）となっています。中2では「5～7万円未満」（29.4%）が最も高くなっており、次いで「3～5万円未満」（26.5%）となっています。

図表 91-9 E 受給の有無



図表 91-10 E 受給月額



### (3) 母親と父親の年間収入

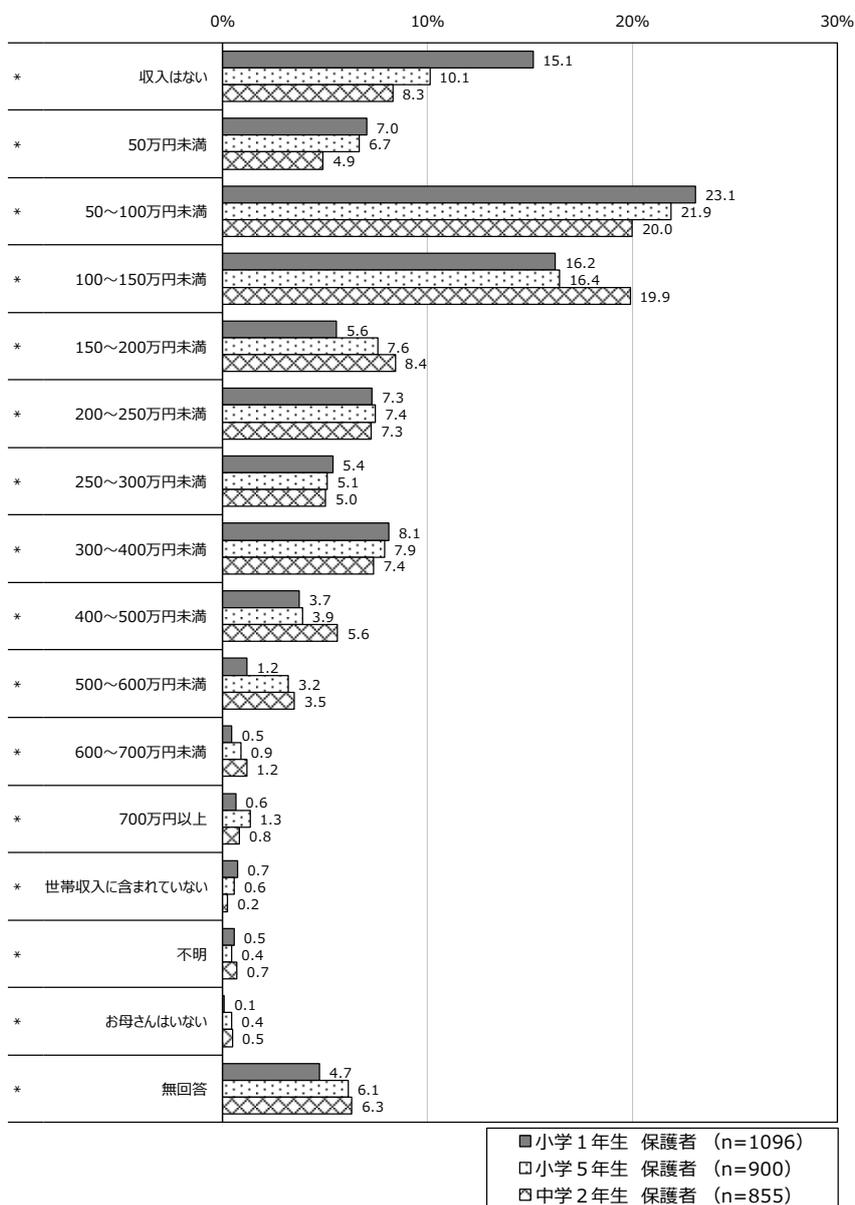
【小学1年生：問38、小学5年生・中学2年生：問34】  
 世帯収入（合算値）に含まれている、お子さんの親のおおよその年間収入を教えてください。お母さん、お父さんのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ○はひとつ）

#### (3-1) 母親の年間収入

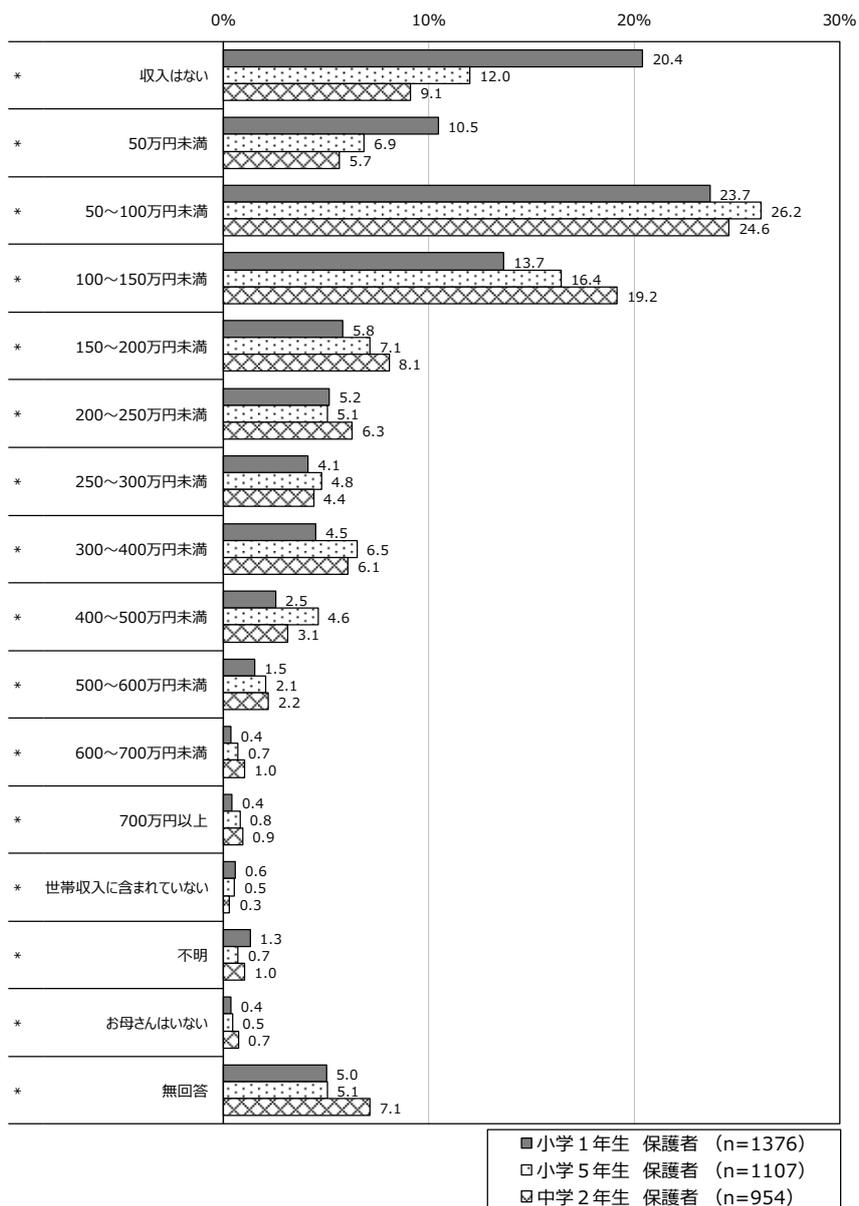
母親の年間収入については、小1・小5・中2ともに「50～100万円未満」（小1：23.1%、小5：21.9%、中2：20.0%）が最も高くなっており、次いで、小1・小5・中2ともに「100～150万円未満」（小1：16.2%、小5：16.4%、中2：19.9%）となっています。

平成30年度調査と比較して、「50～100万円未満」の割合が高いのは変わらないが、小1の「300～400万円未満」の割合は3.6%高くなり、「収入はない」の割合は5.3%低くなっています。

図表 92 母親の年間収入



[ 平成 30 年度調査 図表 92 母親の年間収入 ]

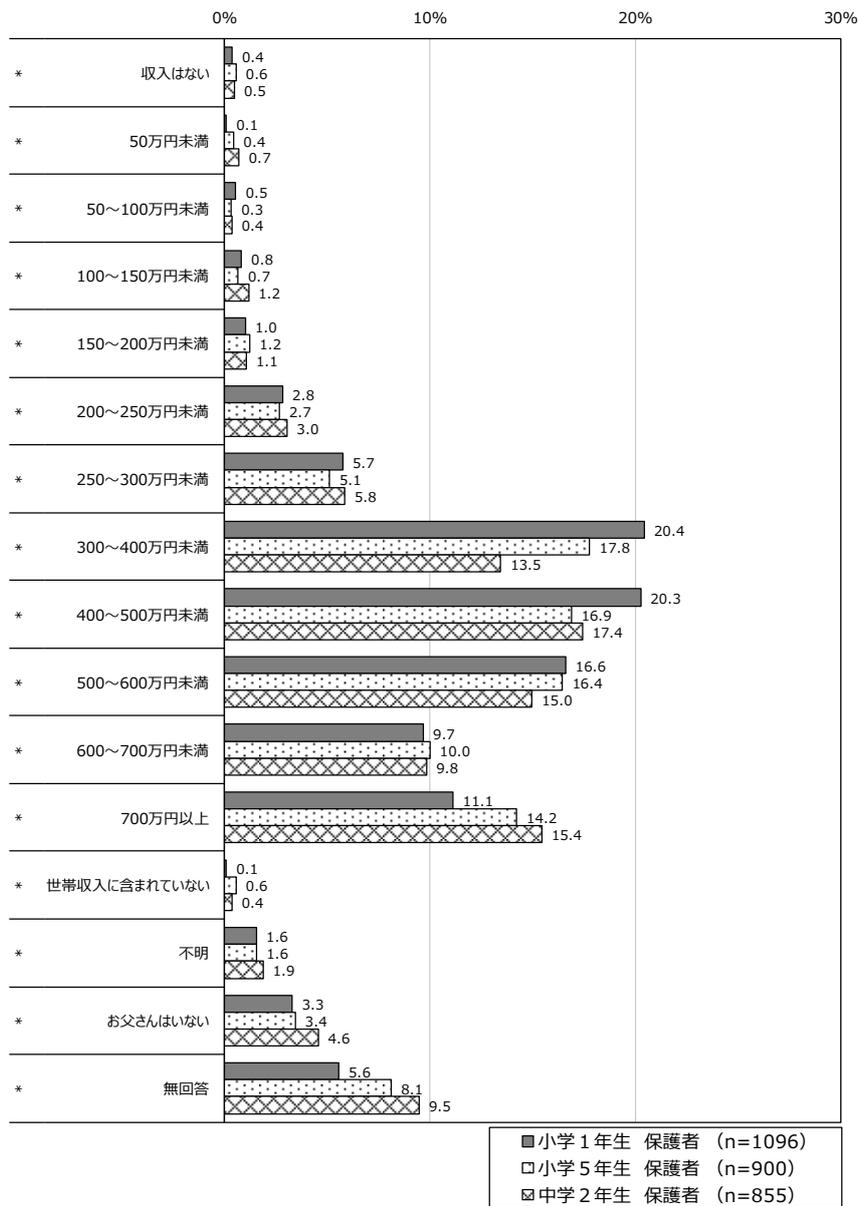


### (3-2) 父親の年間収入

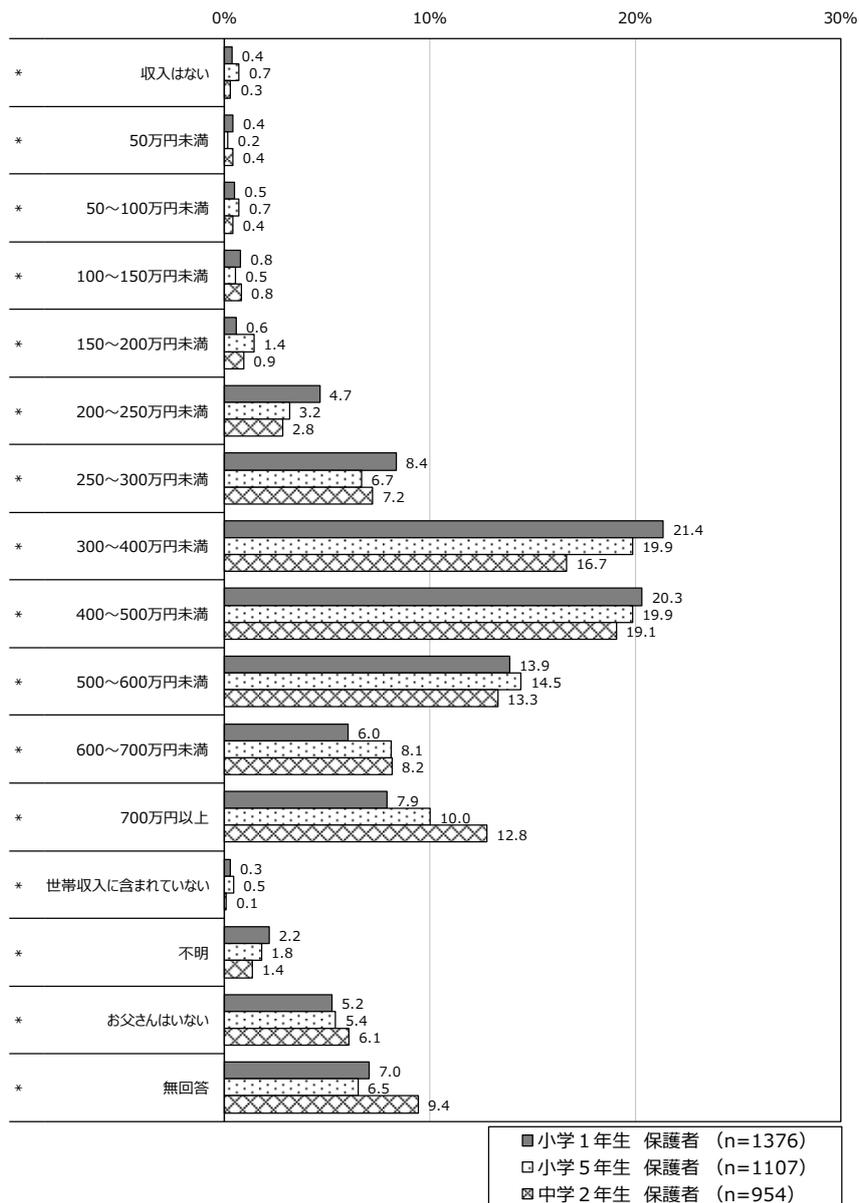
父親の年間収入については、小1では「300～400万円未満」(20.4%)が最も高くなっており、次いで「400～500万円未満」(20.3%)となっています。小5では「300～400万円未満」(17.8%)が最も高くなっており、次いで「400～500万円未満」(16.9%)となっています。中2では「400～500万円未満」(17.4%)が最も高くなっており、次いで「700万円以上」(15.4%)となっています。

平成30年度調査と比較して、小1、小5の「300から400万円未満」の割合及び中2の「400～500万円未満」の割合が高いのに変更はありませんが、「500万円以上」の割合は全体的に高くなっています。

図表 93 父親の年間収入



[ 平成 30 年度調査 図表 93 父親の年間収入 ]



## 4. 10 支出について

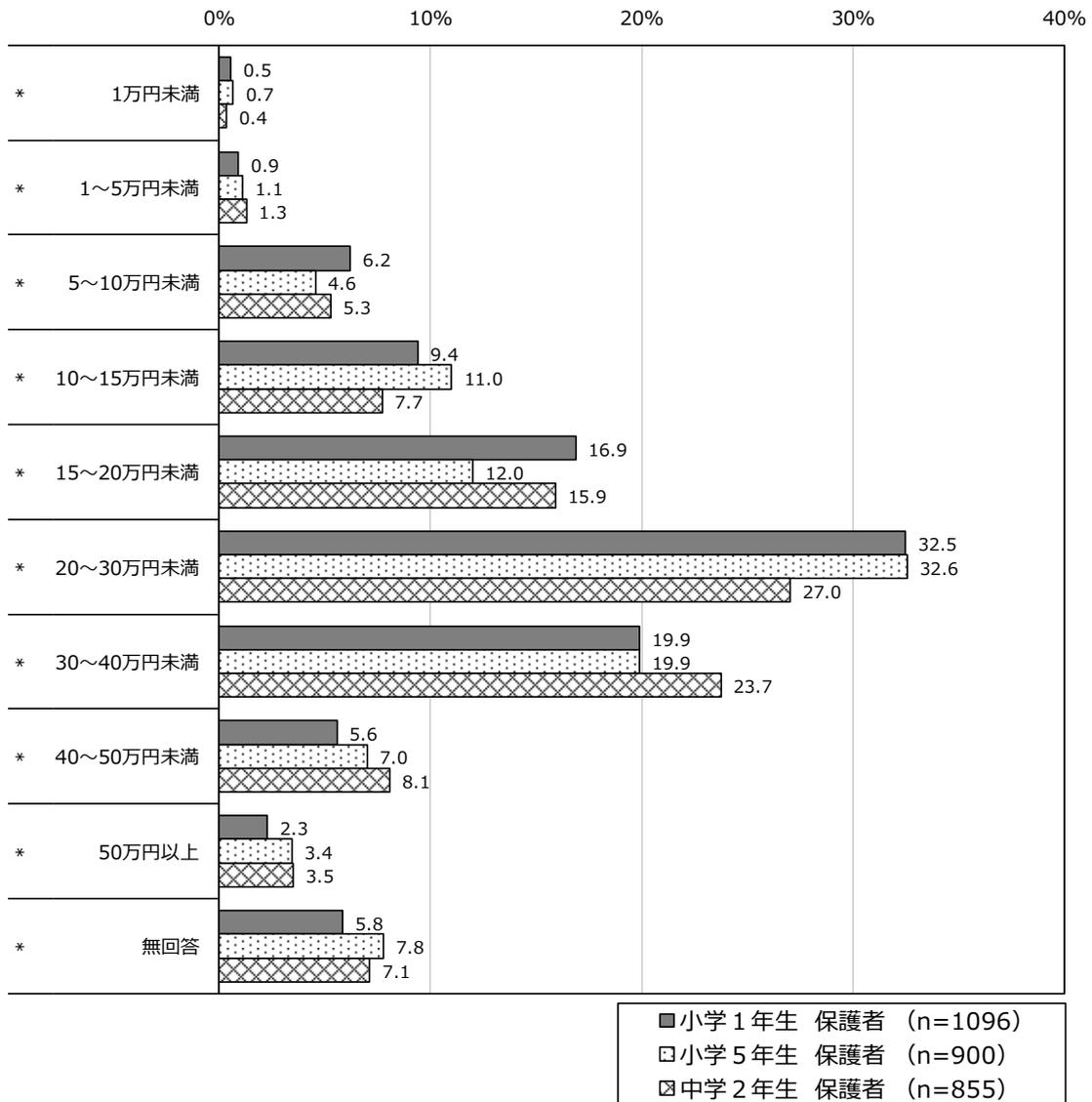
### (1) 世帯の1ヶ月の平均的な支出

【小学1年生：問39、小学5年生・中学2年生：問35】  
 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の平均的な支出（住宅ローン等の借金返済含む・税額等は含まない）はどれくらいですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

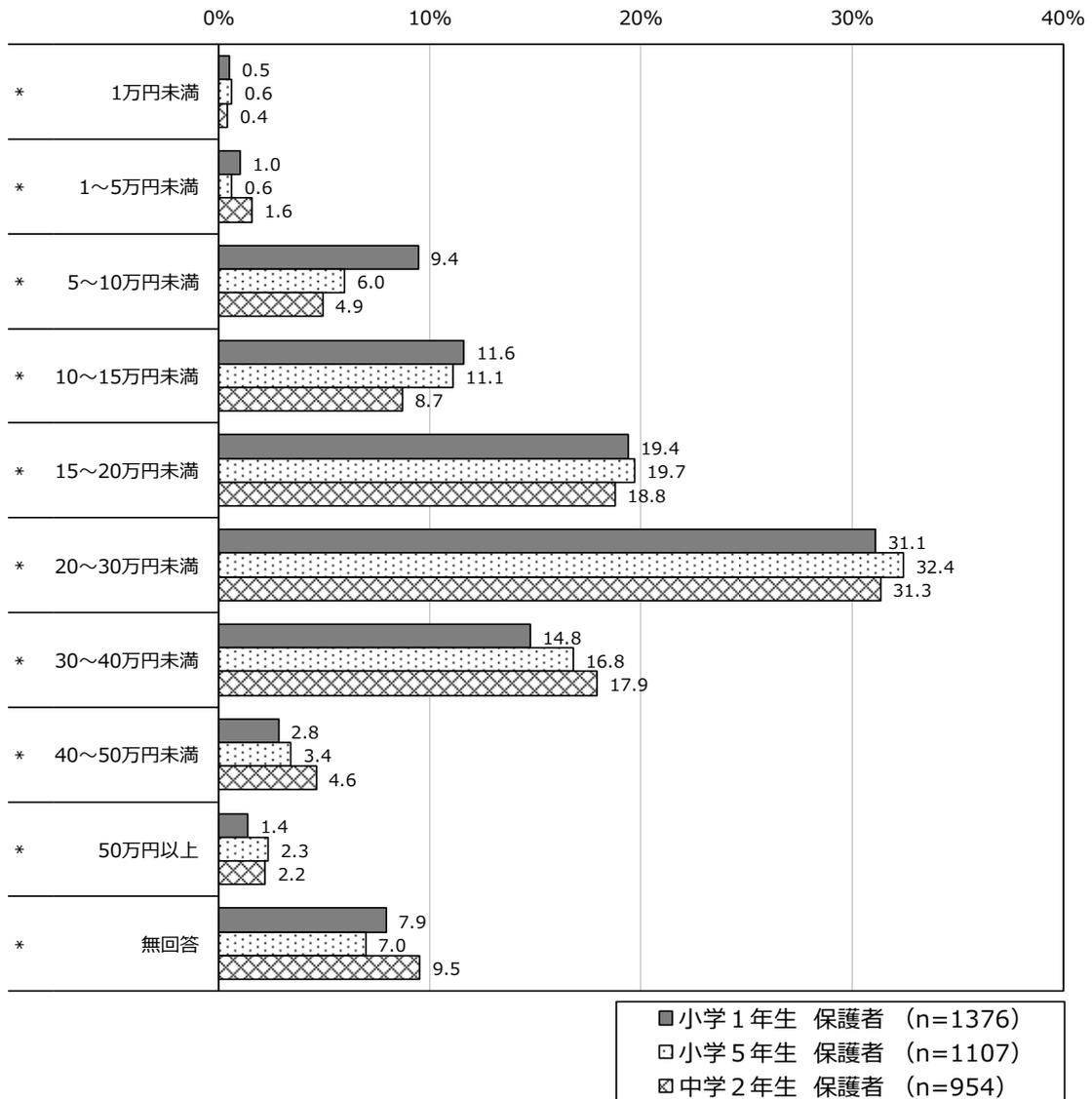
世帯の1ヶ月の平均的な支出については、小1・小5・中2ともに「20～30万円未満」（小1：32.5%、小5：32.6%、中2：27.0%）が最も高くなっており、次いで「30～40万円未満」（小1：19.9%、小5：19.9%、中2：23.7%）、次いで「15～20万円未満」（小1：16.9%、小5：12.0%、中2：15.9%）となっています。

平成30年度調査と比較して、小1、小5、中2とも「30～40万円未満」の割合は高くなっており、その内、中2の「30～40万円未満」の割合は、5.8%高くなっています。

図表 94 世帯の1ヶ月の平均的な支出



[ 平成 30 年度調査 図表 94 世帯の 1 ヶ月の平均的な支出 ]

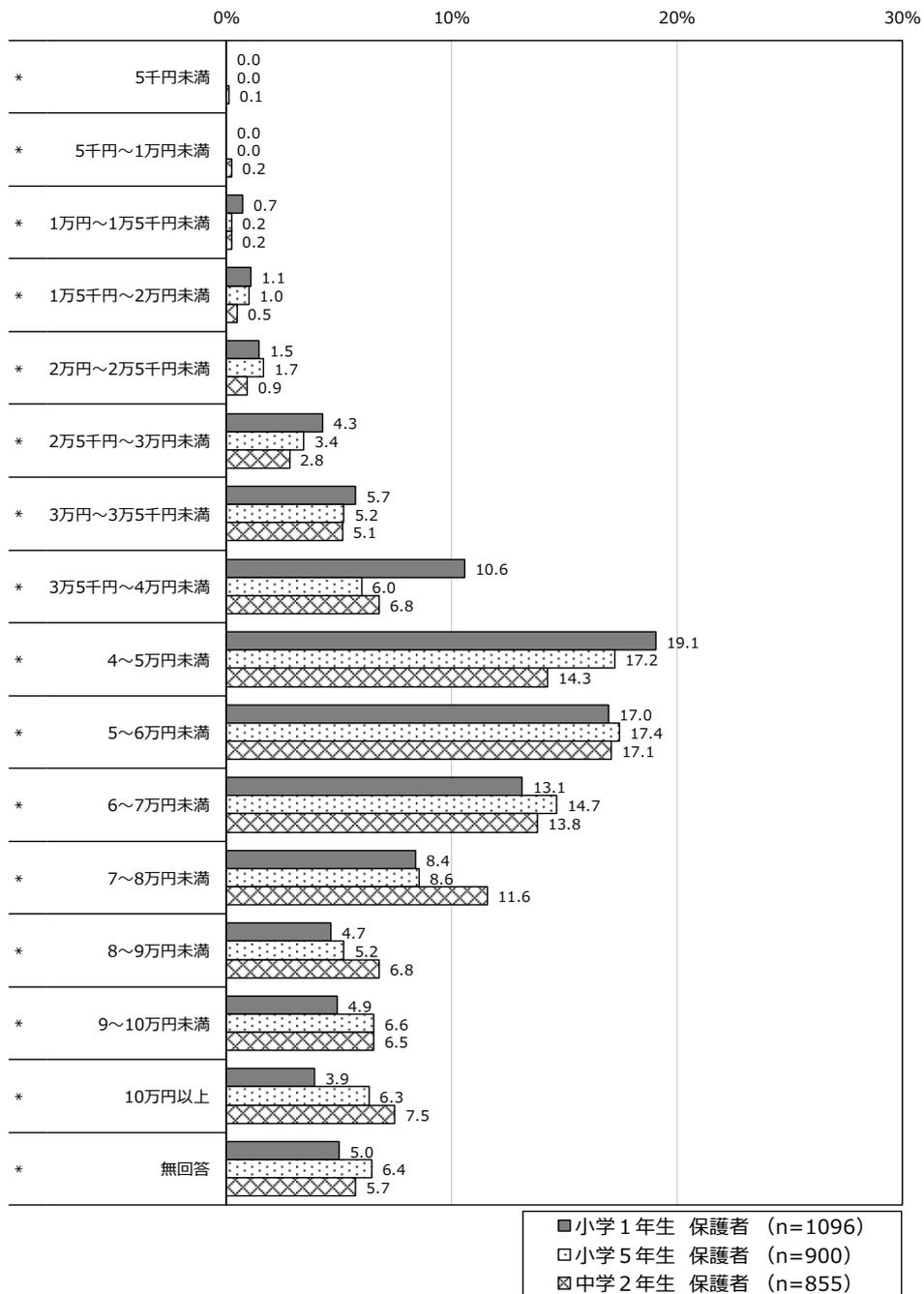


(2) 世帯の1ヶ月の食費

【小学1年生：問40、小学5年生・中学2年生：問36】  
 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の食費について、平均的な支出はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

世帯の1ヶ月の食費については、小1では「4～5万円未満」（19.1%）が最も高くなっており、次いで「5～6万円未満」（17.0%）となっています。中2では「5～6万円未満」（17.1%）が最も高くなっており、次いで「4～5万円未満」（14.3%）となっています。

図表 95 世帯の1ヶ月の食費

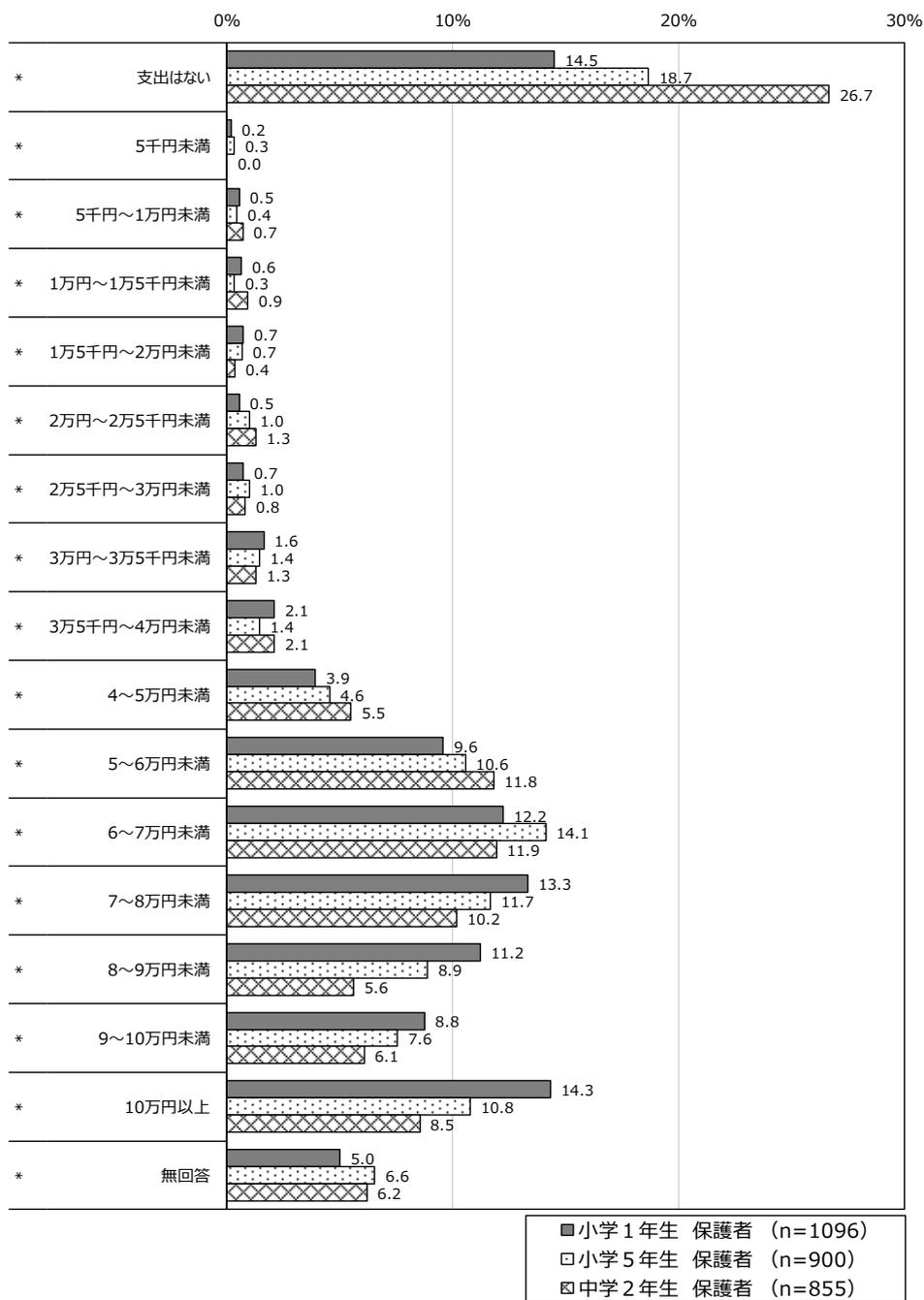


(3) 世帯の1ヶ月の住居費

【小学1年生：問41、小学5年生・中学2年生：問37】  
 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の住居費（家賃・住宅ローン）について、平均的な支出はどれくらいですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

世帯の1ヶ月の住居費については、小1・小5・中2ともに「支出はない」（小1：14.5%、小5：18.7%、中2：26.7%）が最も高くなっており、次いで小1では「10万円以上」（14.3%）、小5・中2では「6～7万円未満」（小5：14.1%、中2：11.9%）となっています。

図表 96 世帯の1ヶ月の住居費



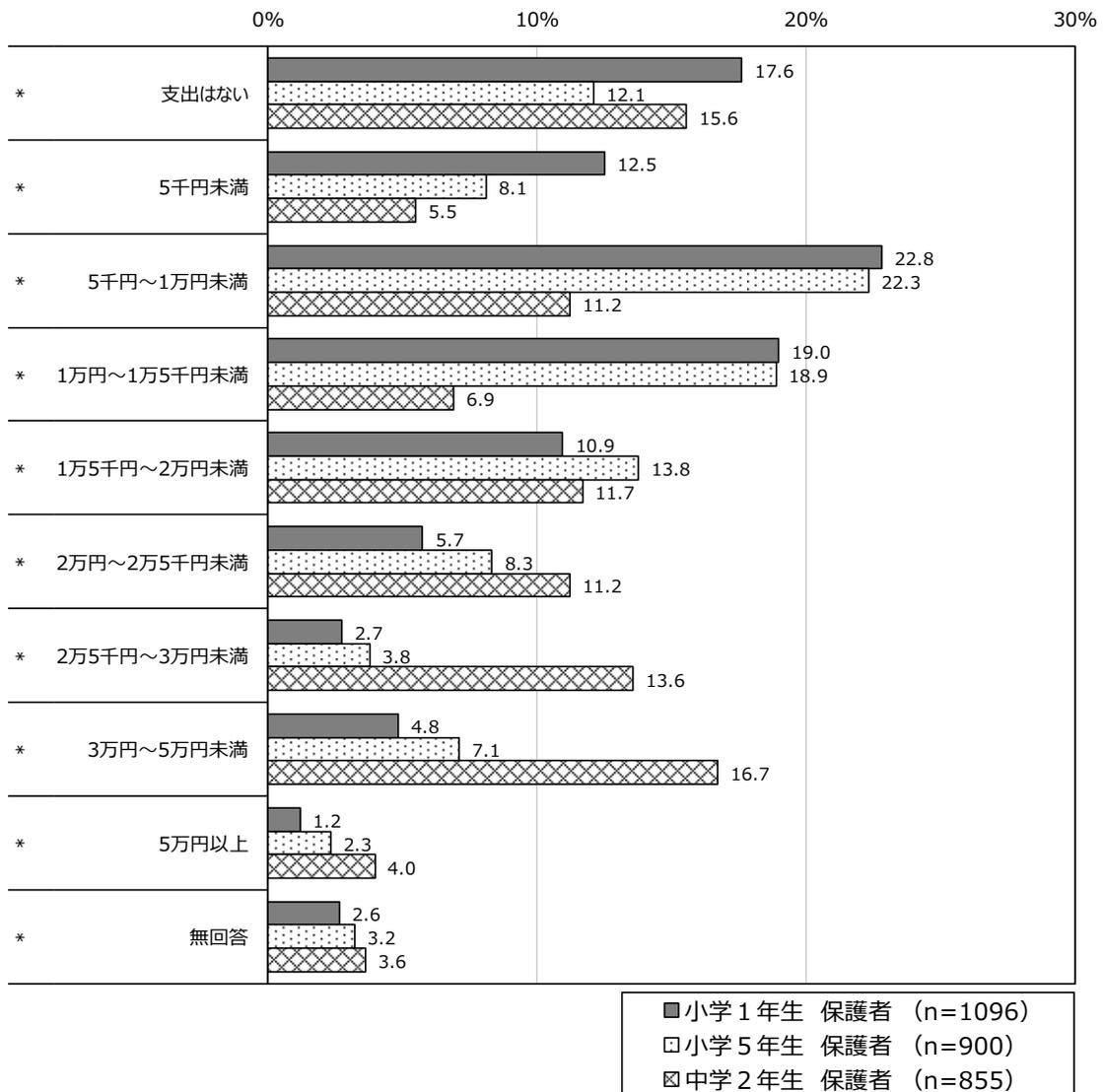
#### (4) 子ども1人の学校以外の教育費

【小学1年生：問42、小学5年生・中学2年生：問38】  
 このアンケート調査の対象となっているお子さん1人について、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる1ヶ月あたりの平均の支出はどれくらいですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

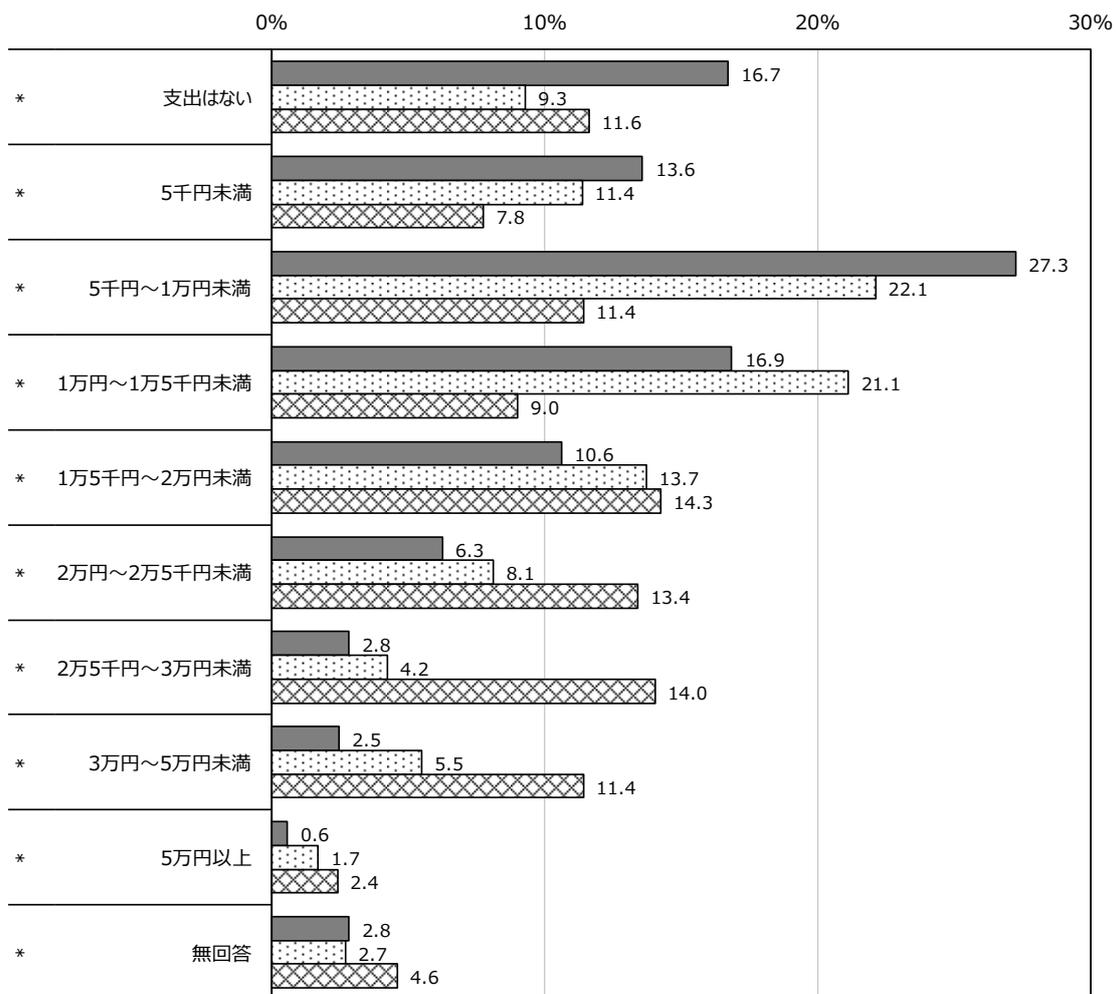
子ども1人の学校以外の教育費については、小1・小5ではともに「5千円～1万円未満」が最も高くなっており、次いで「1万円～1万5千円未満」（小1：19.0%、小5：18.9%）となっています。中2では「3万円～5万円未満」（16.7%）が最も高くなっており、次いで「支出はない」（15.6%）となっています。

平成30年度調査と比較して、小1の「5千円～1万円未満」の割合は、4.5%低くなっています。一方、中2の「3万円～5万円未満」は、5.3%高くなっています。

図表 97 子ども1人の学校以外の教育費



[ 平成 30 年度調査 図表 97 子ども 1 人の学校以外の教育費 ]



■ 小学1年生 保護者 (n=1376)  
 □ 小学5年生 保護者 (n=1107)  
 ▨ 中学2年生 保護者 (n=954)

## 4. 1.1 お子さんへの支援について

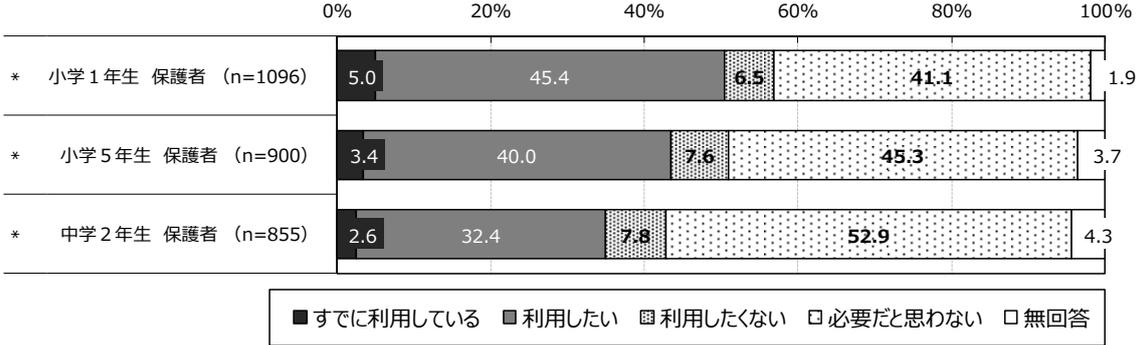
### (1) 利用したいと思うもの

【小学1年生：問43-1、小学5年生・中学2年生：問39-1】  
 次のうち、利用したいと思うものについて、あてはまるものに○を付けてください。  
 (それぞれ○はひとつ)

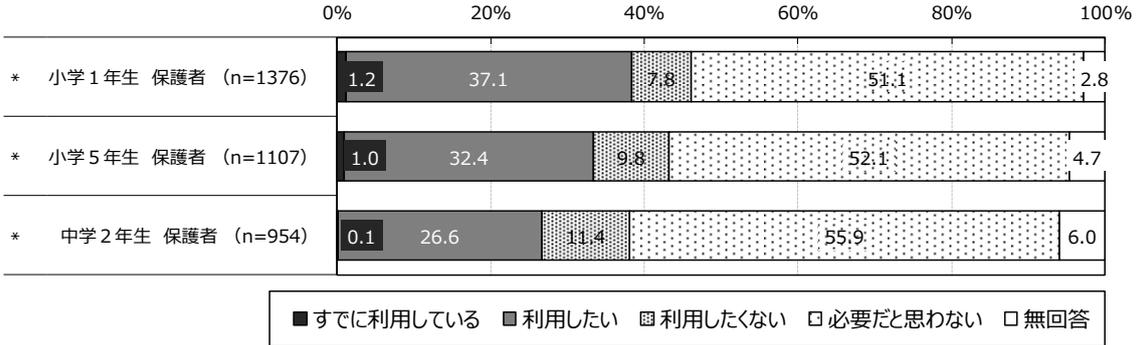
利用したいと思うもの(「すでに利用している」を含む)については、小1・小5・中2ともに「子どものための無料の体験活動」(小1:86.0%、小5:82.5%、中2:67.8%)が最も高くなっており、次いで「子どものための無料の学習塾」(小1:78.0%、小5:75.5%、中2:65.4%)となっています。「子ども食堂」については、「必要だと思わない」が約4～5割となっています。

平成30年度調査と比較して「子ども食堂」において、小1、小5、中2とも「利用したい」の割合は高くなっており、その内小1の「利用したい」の割合は8.3%高くなっています。「子どものための無料の学習塾」において、小1、小5、中2とも「利用したい」の割合は、低くなっており、その内中2の「利用したい」の割合は3.4%低くなっています。

図表 98-1 A 子ども食堂

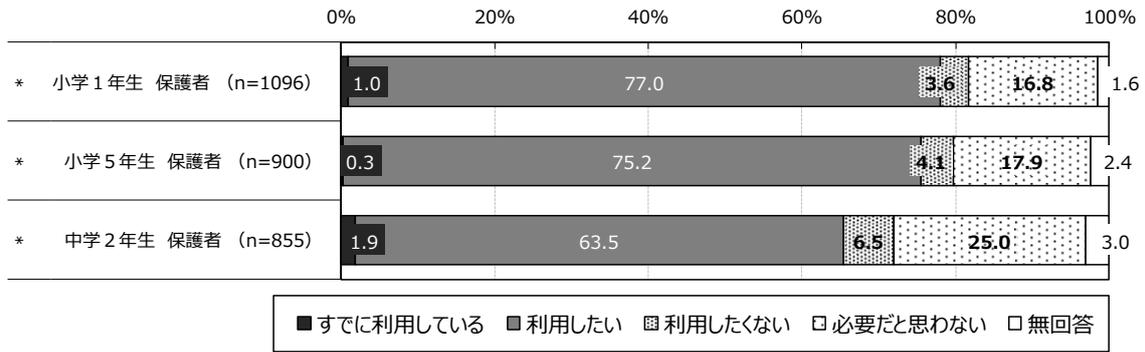


[平成30年度調査 図表 98-1 A 子ども食堂]

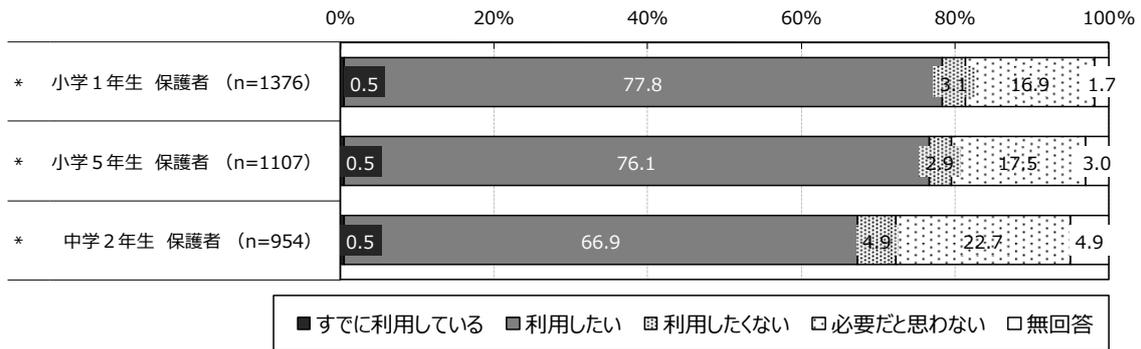


※「子ども食堂」とは、子どもがひとりでも時間を過ごすことができ、無料あるいは安価に食事をできる場所のことを言います。

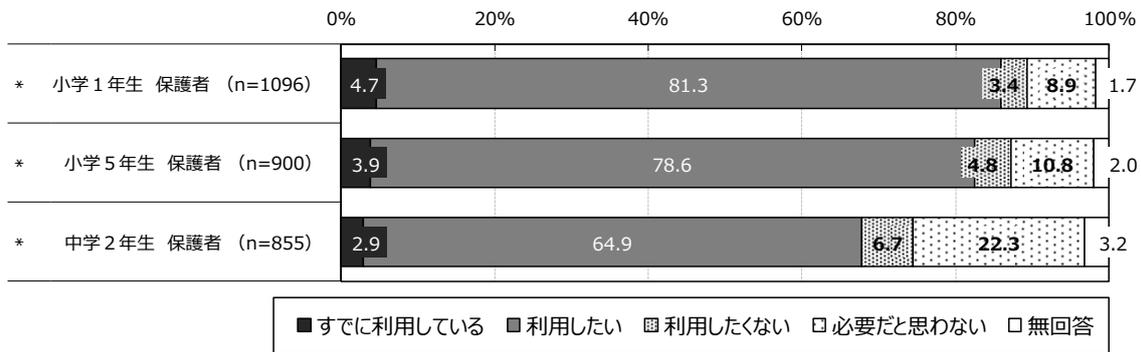
図表 98-2 B 子どものための無料の学習塾



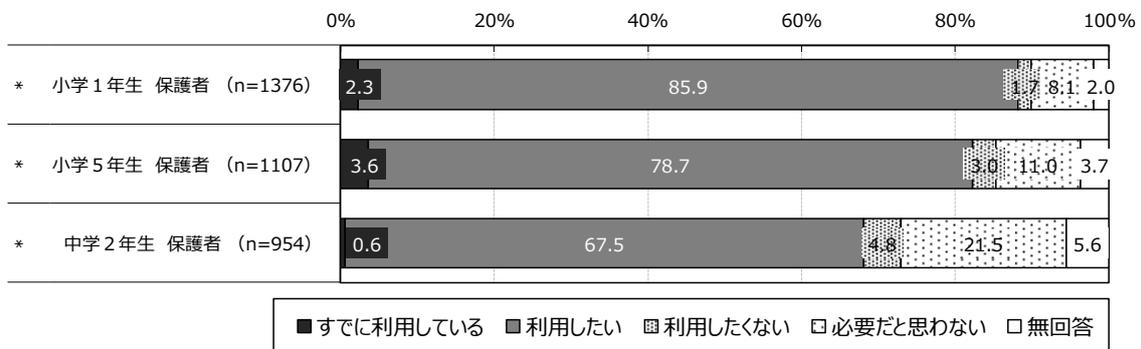
[ 平成 30 年度調査 図表 98-2 B 子どものための無料の学習塾 ]



図表 98-3 C 子どものための無料の体験活動



[ 平成 30 年度調査 図表 98-3 C 子どものための無料の体験活動 ]



(2) 利用したくない・必要だと思わない理由

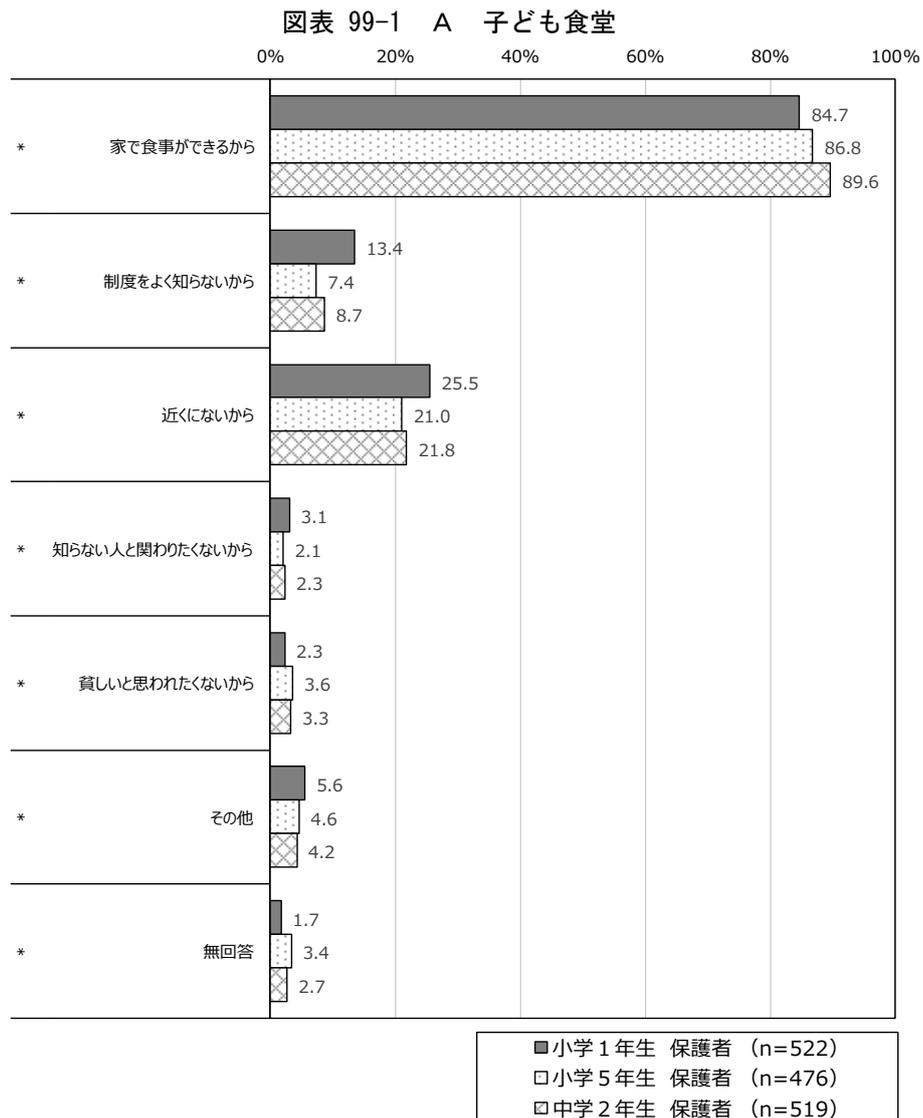
【小学1年生：問43-2、小学5年生・中学2年生：問39-2】  
 ※問43-1で「3 利用したくない」「4 必要だと思わない」と回答した方に伺います。その理由としてあてはまるものに○をつけてください。  
 (○はいくつでも)

(2-1) A子ども食堂

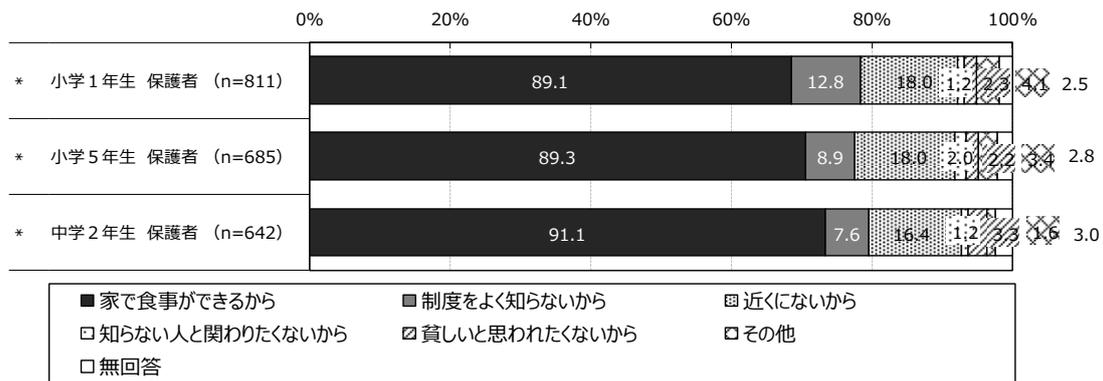
※小学1年生：問43-1、小学5年生・中学2年生：問39-1で、「利用したくない」「必要だと思わない」と回答した方のみ

子ども食堂については、小1・小5・中2ともに「家で食事ができるから」(小1：84.7%、小5：86.8%、中2：89.6%)が最も高くなっており、大半を占めています。次いで「近くにないから」(小1：25.5%、小5：21.0%、中2：21.8%)、「制度をよく知らないから」(小1：13.4%、小5：7.4%、中2：8.7%)となっています。

平成30年度調査と比較して、小1の「近くにないから」の割合は、7.5%低くなっています。



[ 平成 30 年度調査 図表 99-1 A 子ども食堂 ]

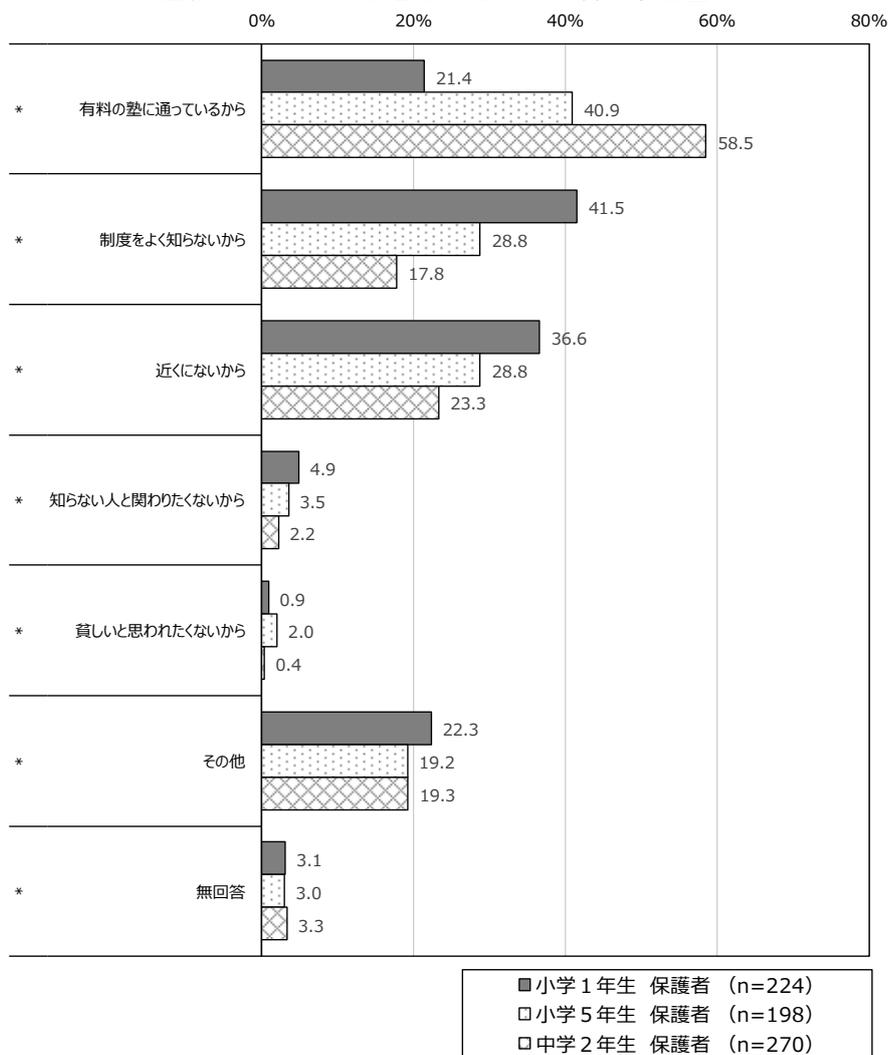


(2-2) B 子どものための無料の学習塾

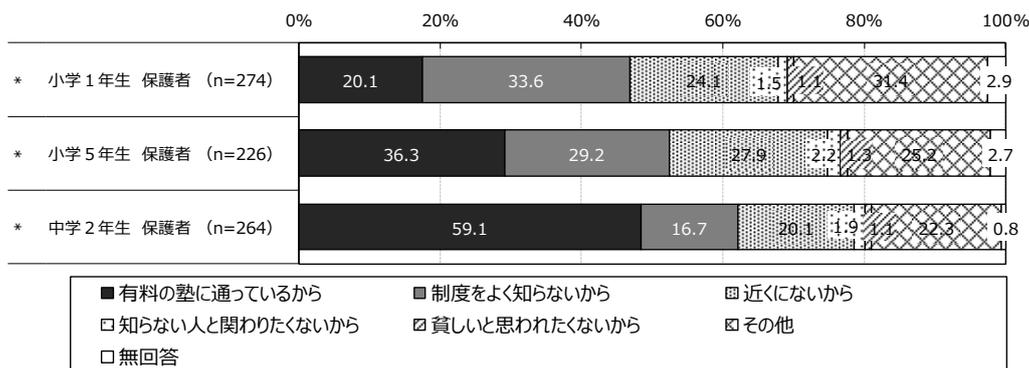
無料の学習塾については、小1では「制度をよく知らないから」(41.5%)が最も高くなっており、次いで「近くにないから」(36.6%)となっています。小5・中2では「有料の塾に通っているから」(小5:40.9%、中2:58.5%)が最も高くなっており、次いで小5では「制度をよく知らないから」と「近くにないから」(ともに28.8%)となっており、中2では「近くにないから」(23.3%)となっています。

平成30年度調査と比較して、小1の「近くにないから」の割合は、12.5%高くなっています。

図表 99-2 B 子どものための無料の学習塾



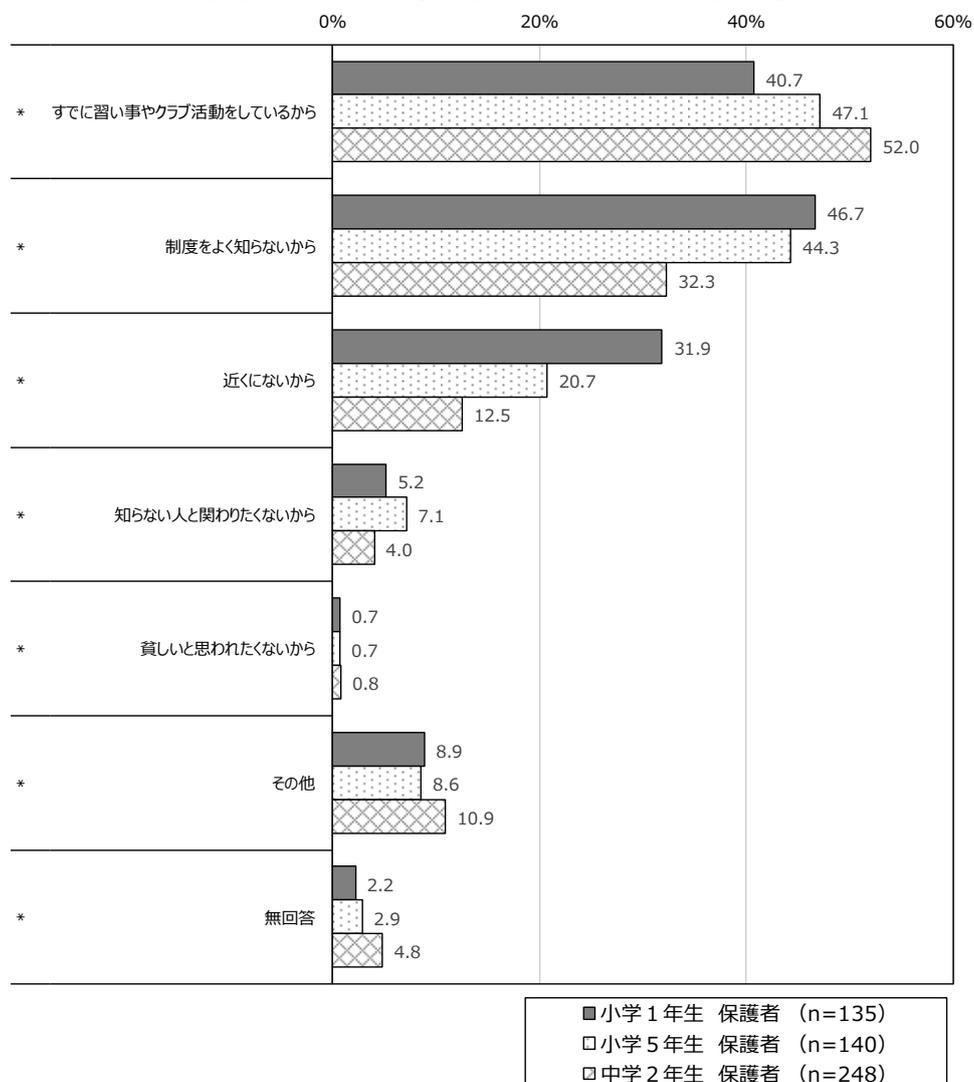
[平成30年度調査 図表 99-2 B 子どものための無料の学習塾]



### (2-3) C 子どものための無料の体験活動

無料の体験活動については、小1では「制度をよく知らないから」(46.7%)が最も高くなっており、次いで「すでに習い事やクラブ活動をしているから」(40.7%)となっており、小5・中2では「すでに習い事やクラブ活動をしているから」(小5:47.1%、中2:52.0%)となっており、次いで「制度をよく知らないから」(小5:44.3%、中2:32.3%)となっています。

図表 99-3 C 子どものための無料の体験活動



## 4. 1 2 自由記述

### (就労について)

- ・扶養内で働ける限度額を上げてほしい。
- ・子育てと仕事の両立は難しい、子どもがいても働ける場所が必要。
- ・母親が働きやすい職場が増えてほしい。
- ・父親も子育てに関われるよう仕事時間の短縮。
- ・最低賃金を上げてほしい。
- ・もっと働きたいが、子育てと仕事の両立が難しい。
- ・子どものための休みやすい職場環境が整ってほしい。

### (子どもについて)

- ・ipadを配布されているが健康に悪影響があるのではないかと。遊びに使われている。
- ・子どもの通学の荷物が多すぎる。
- ・いじめに対する対応。
- ・自主勉強への指導、平等な学校教育。
- ・子どもには色々な経験をしてほしい。
- ・塾に通わなくても、学習できる様に学校の先生増員。
- ・制服等が高価であるため、見直ししてほしい。
- ・体育館へのエアコンの設置。
- ・部活動のクラブ化に伴う対策。

### (子どもとの関係について)

- ・母親も働かなくてはいけないため子どもと過ごす時間が減っている。
- ・残業続きで子供とお父さんが平日に顔を合わせる時間が少ない。
- ・フルタイムでの勤務で子供との時間が限られている。

### (地域や友人等との関係について)

- ・PTAや地域の委員活動が負担になっている。
- ・子ども会活動が負担になっている。
- ・スポーツ等の習いごとの送迎や保護者会など母親ばかりで父親が出る場合が少ない。
- ・地域活動に参加しているため、近所の方に子どもを覚えてもらえるため、近所の方の見守りがある。

### (健康状態について)

- ・役員の仕事でイライラしてしまうことがある。
- ・介護見守りによる精神的につらい。
- ・子どもの不登校、子育てに関するメンタルな悩みがある。

### （支出について）

- ・税金の支払いで、自分たちや子供の将来の為の貯蓄が出来ない
- ・生活が苦しく、将来に希望が持てない
- ・共働きだが生活が厳しい。
- ・市内でない地域は交通費がかかる。
- ・子育てにはお金がかかり進学に不安がある。
- ・大学などに通わせたいが塾や大学の授業料等の費用に不安を感じて生活するのが苦しい。
- ・税金の支払いが多くて大変
- ・税金が高すぎる。
- ・物価高で家計を圧迫している。
- ・収入は上がらないのに物価高で生活が苦しい。

### （お子さんへの支援について）

- ・インフルエンザ等の優良予防接種、歯科矯正の無料化。
- ・病児、障害のある子どもへの支援。
- ・医療費の高校生までの無料化。
- ・授業についていけない子どもへのサポート支援。
- ・無料の学習塾があると良い。
- ・価格の安い学習塾、学習塾に通う補助金制度。
- ・土曜日や休日の学童保育の開設。
- ・学童を高学年まで利用できるようにしてほしい。
- ・学童の料金を安くしてほしい。
- ・土日祝日の児童館の開放。
- ・長期休暇に子どもがいられる学習スペースなどの場所。
- ・子どもを持つ家庭に対する支援を増やしてほしい。
- ・ラーケーションの導入。
- ・給食費の無償化。
- ・病児保育の充実。
- ・子どもが遊べる公園や施設の充実。
- ・児童手当の増額。
- ・児童扶養手当の制度、限度額の見直し。
- ・支援制度の情報の周知。
- ・高校、大学の無償化。
- ・扶養控除の拡充。
- ・習い事への補助。
- ・不登校への支援、フリースクールの充実。

### （その他）

- ・こどもを産みたくても、これ以上生活が苦しくなるのは困るので産めない。
- ・子どもの相談に対する夜間窓口や専門の方の窓口。

## V 子ども（小学5年生・中学2年生）調査（クロス集計）

### 5. 1 学校・勉強について

#### (1) 学校生活

【小学5年生・中学2年生：問8】

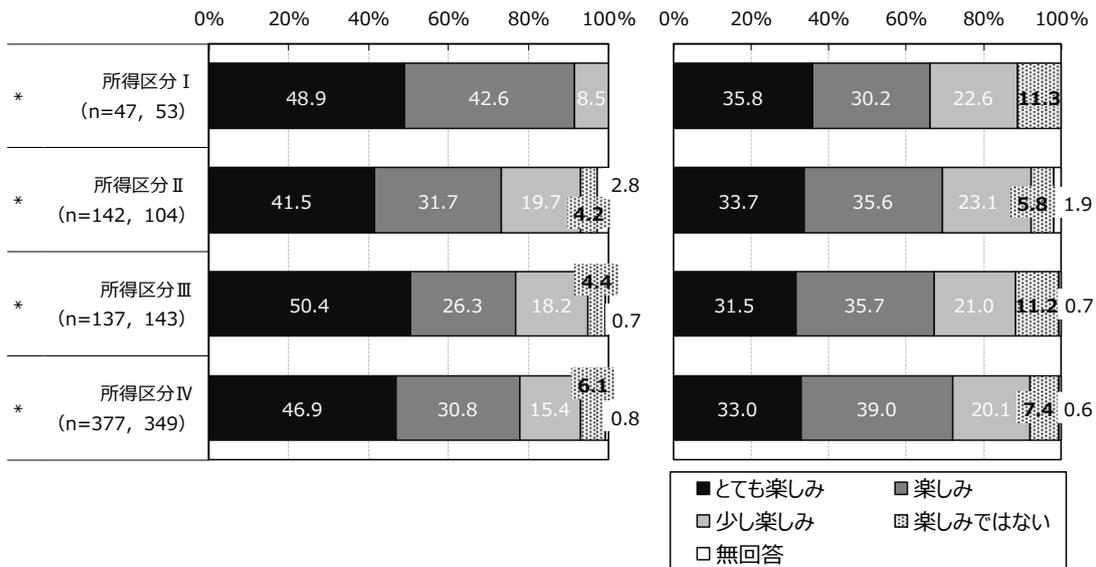
あなたの学校生活についてお聞きます。次のA～Hについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれひとつ）

#### (1-1) ア（A）体育・家庭科（技術家庭）・音楽・図工（美術）・書写の授業

##### 《所得区分別》

体育・家庭科（技術家庭）・音楽・図工（美術）・書写の授業については、小5・中2のいずれの所得区分においても「楽しみ」（「とても楽しみ」＋「楽しみ」）の割合が高くなっています。小5では所得区分Iが91.5%と最も高くなっており、中2では区分IVが72.0%と最も高くなっています。

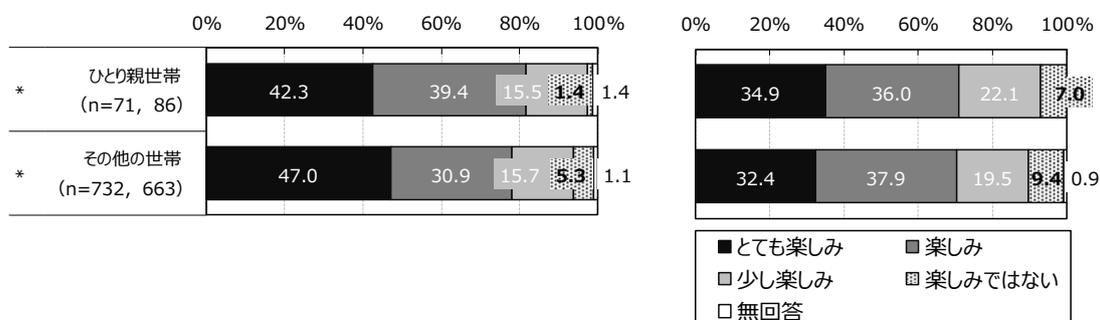
図表 1-1 ア（A）体育・家庭科（技術家庭）・音楽・図工（美術）・書写の授業  
【小学5年生】 【中学2年生】



《世帯別》

体育・家庭科（技術家庭）・音楽・図工（美術）・書写の授業については、小5・中2のいずれの世帯においても「楽しみ」（「とても楽しみ」＋「楽しみ」）の割合が7割以上となっています。その内、小5のひとり親世帯が81.7%と最も高くなっています。

図表 1-2 ア（A）体育・家庭科（技術家庭）・音楽・図工（美術）・書写の授業  
【小学5年生】 【中学2年生】

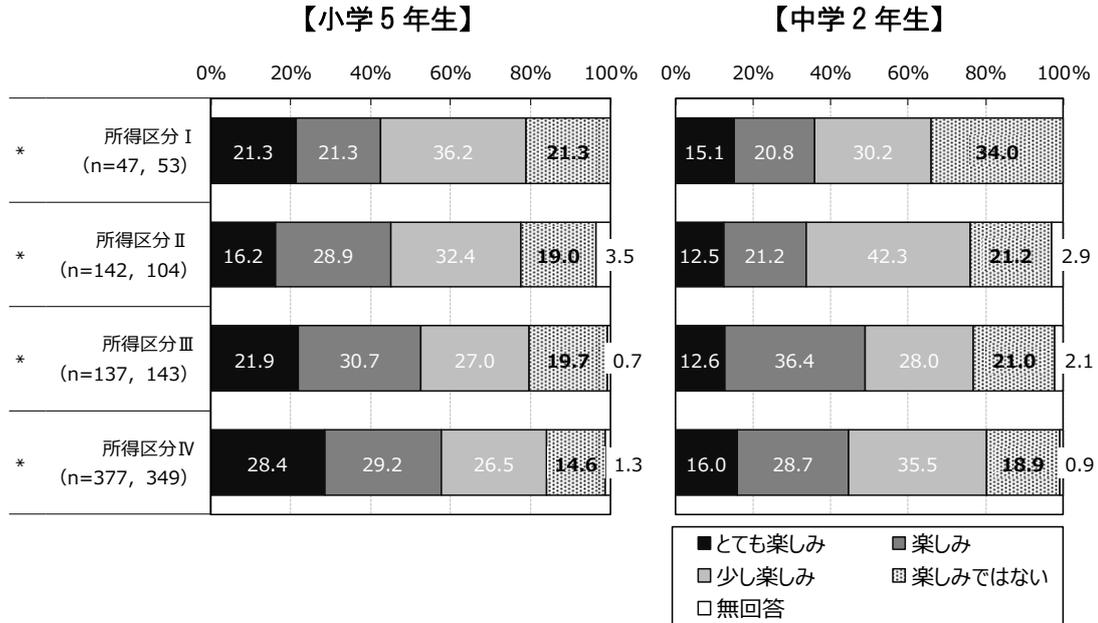


(1-2) イ (B) 体育・家庭科 (技術家庭)・音楽・図工 (美術)・書写以外の授業

《所得区分別》

体育・家庭科 (技術家庭)・音楽・図工 (美術)・書写以外の授業については、小5は所得区分Ⅳ (57.6%)、中2は所得区分Ⅲ (49.0%) で「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)の割合が最も高くなっています。また、「楽しみではない」は、中2の所得区分Ⅰが34.0%と最も高くなっています。

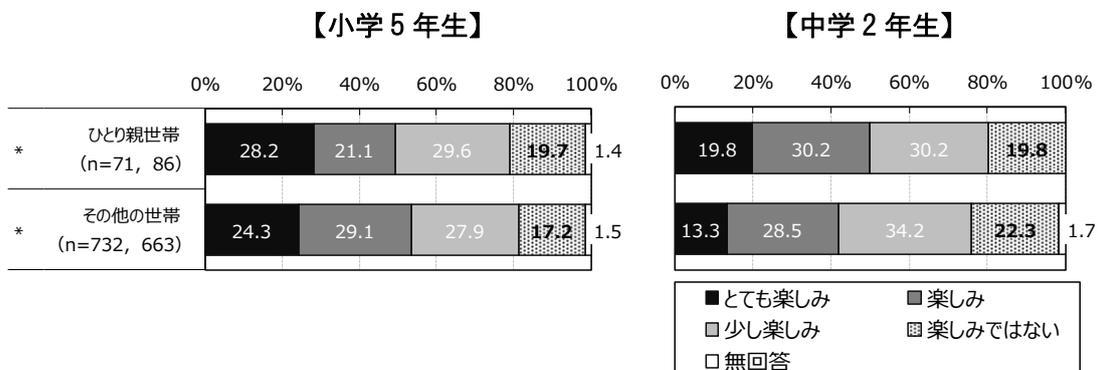
図表 1-3 イ (B) 体育・家庭科 (技術家庭)・音楽・図工 (美術)・書写以外の授業



《世帯別》

体育・家庭科 (技術家庭)・音楽・図工 (美術)・書写以外の授業については、小5・中2のいずれの世帯においても、体育・家庭科 (技術家庭科)・音楽・美術・書写の授業に比べて「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)の割合が低くなっています。小5のその他の世帯でのみ半数以上となっており、53.4%と最も高くなっています。

図表 1-4 イ (B) 体育・家庭科 (技術家庭)・音楽・図工 (美術)・書写以外の授業

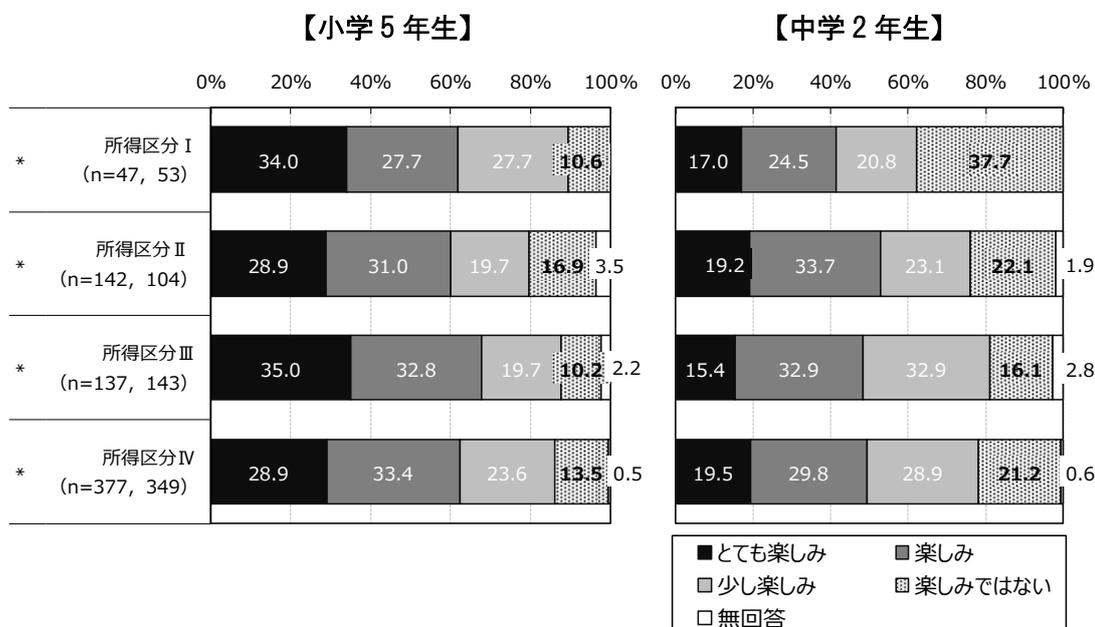


### (1-3) ウ (C) 先生に会うこと

#### 《所得区分別》

先生に会うことについては、小5は所得区分Ⅲ（67.8%）、中2は所得区分Ⅱ（52.9%）で「楽しみ」（「とても楽しみ」＋「楽しみ」）の割合が最も高くなっています。また、「楽しみではない」は、中2の所得区分Ⅰが37.7%と最も高くなっています。

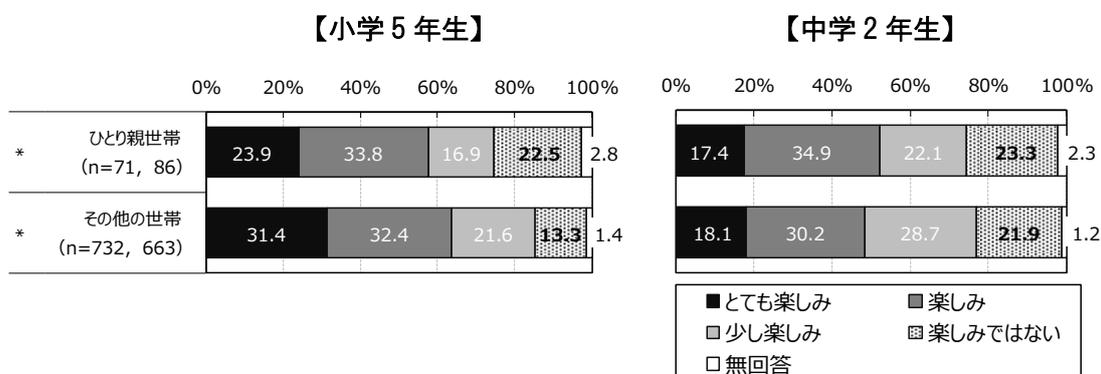
図表 1-5 ウ (C) 先生に会うこと



#### 《世帯別》

先生に会うことについては、小5ではひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「楽しみ」（「とても楽しみ」＋「楽しみ」）の割合が高くなっています。中2のひとり親世帯では「とても楽しみ」が17.4%と最も低く、「楽しみではない」では23.3%と最も高くなっています。

図表 1-6 ウ (C) 先生に会うこと

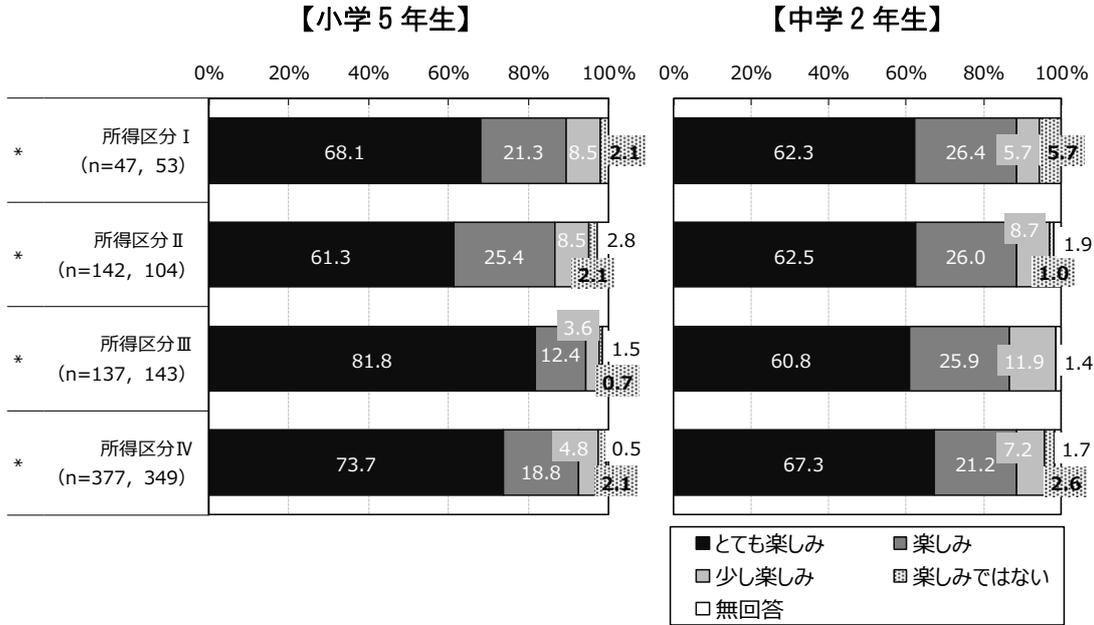


(1-4) エ (D) 友だちに会うこと

《所得区分別》

友だちに会うことについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)の割合は8割を超えています。所得区分では小5・中2ともに、所得区分Ⅰ(小5:89.4%、中2:88.7%)の割合が約8割となっています。また、小5の所得区分Ⅲ(94.2%)、所得区分Ⅳ(92.5%)のみ9割を超えています。

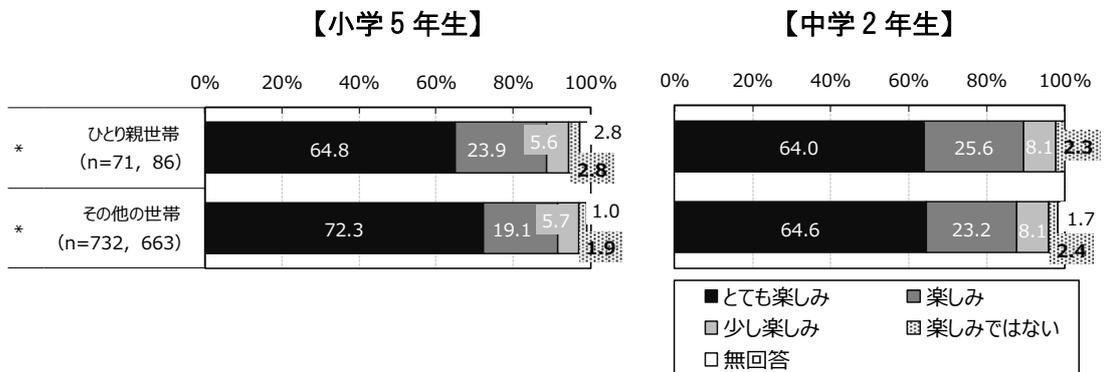
図表 1-7 エ (D) 友だちに会うこと



《世帯別》

友だちに会うことについては、小5・中2のいずれの世帯においても「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)の割合は8割を超えており、その内、小5のその他の世帯が91.4%と最も高くなっています。

図表 1-8 エ (D) 友だちに会うこと

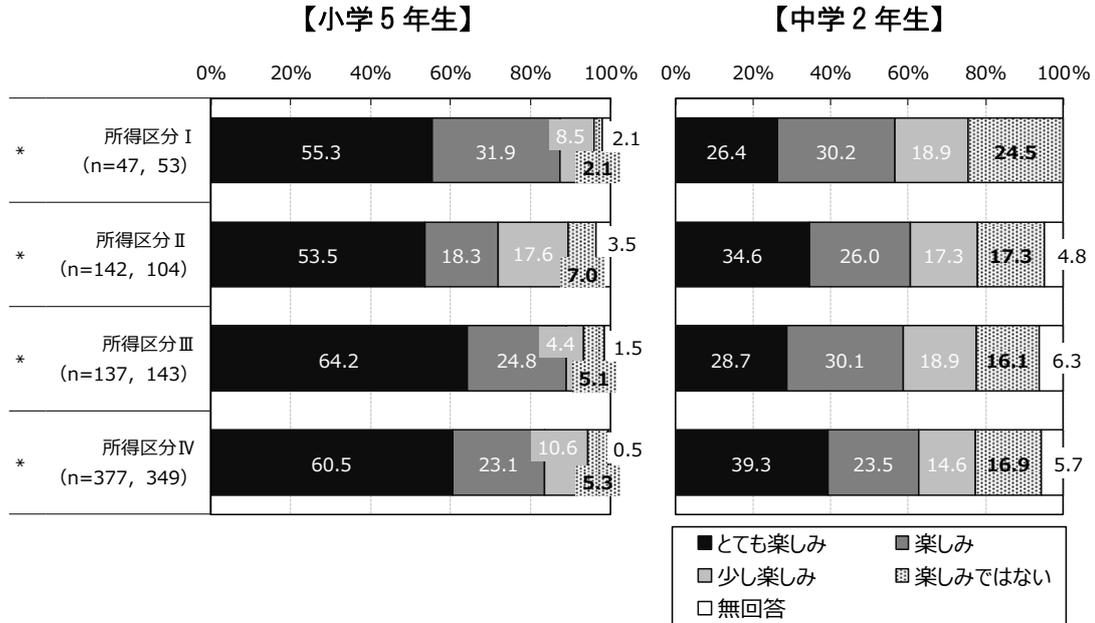


(1-5) オ (E) クラブ活動 (部活動)

《所得区分別》

クラブ活動 (部活動) については、小5・中2 ともに、「楽しみ」(「とても楽しみ」 + 「楽しみ」) で小5 では所得区分Ⅲ (89.0%)、中2 では所得区分Ⅳ (62.8%) の割合が最も高くなっており、中2 の所得区分Ⅰ (56.6%) が最も低くなっています。また、「楽しみではない」では中2 の所得区分Ⅰが24.5%と最も高くなっています。

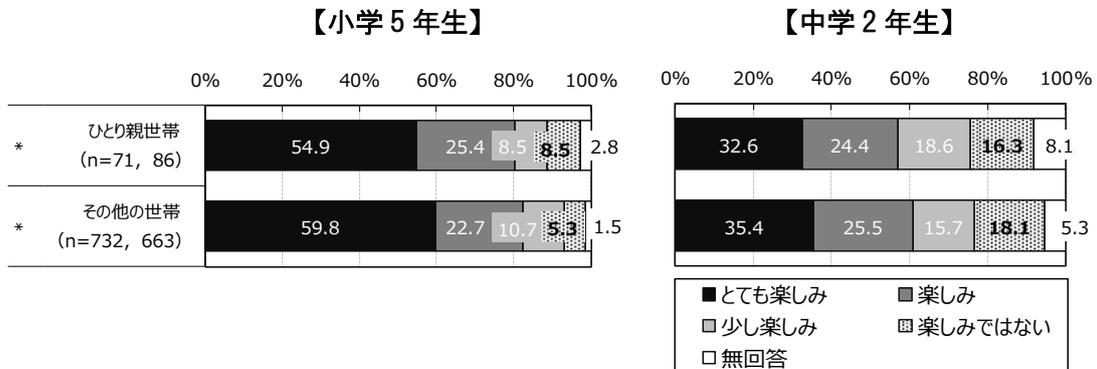
図表 1-9 オ (E) クラブ活動 (部活動)



《世帯別》

クラブ活動 (部活動) については、小5・中2 のいずれの世帯においても「楽しみ」(「とても楽しみ」 + 「楽しみ」) の割合が高くなっており、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「楽しみ」の割合が高くなっています。また、中2 のその他の世帯では「楽しみではない」が18.1%と最も高くなっています。

図表 1-10 オ (E) クラブ活動 (部活動)

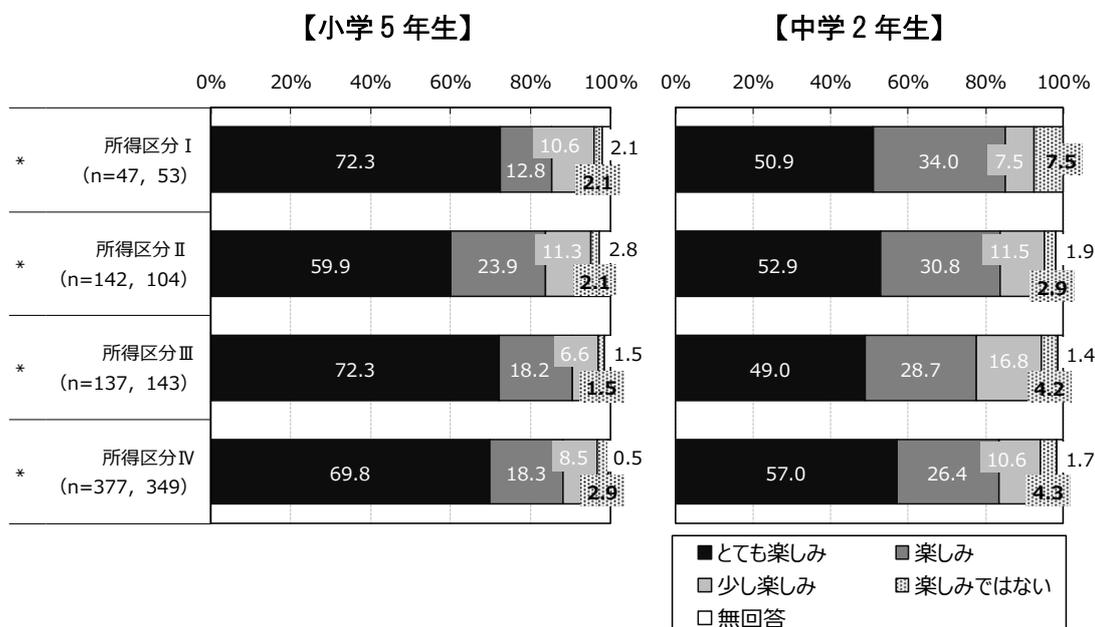


(1-6) カ (F) 休み時間

《所得区分別》

休み時間については、小5の所得区分Ⅲが「楽しみ」（「とても楽しみ」＋「楽しみ」）の割合は90.5%と最も高く、所得区分Ⅱが83.8%と最も低くなっています。また、中2は所得区分Ⅰが84.9%と最も高く、所得区分Ⅲが77.7%と最も低くなっています。

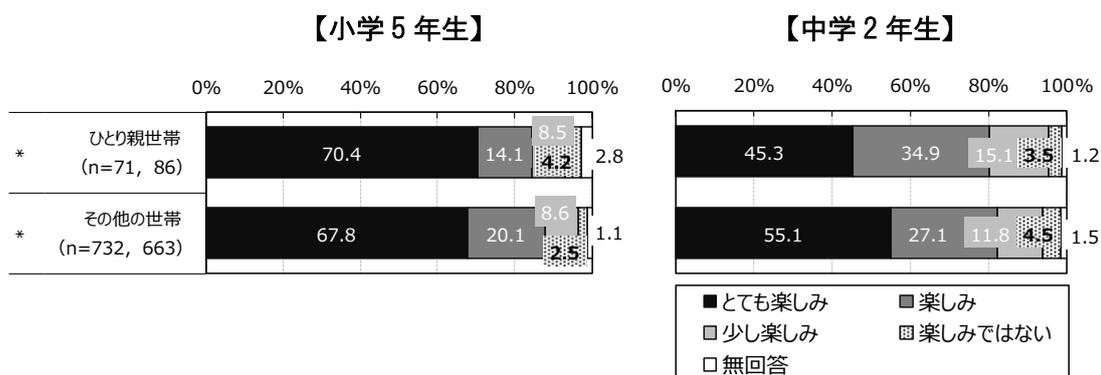
図表 1-11 カ (F) 休み時間



《世帯別》

休み時間については、小5・中2のいずれの世帯においても、「楽しみ」（「とても楽しみ」＋「楽しみ」）の割合は8割を超えており、小5のその他の世帯が87.9%と最も高くなっています。ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「楽しみ」の割合が高くなっています。

図表 1-12 カ (F) 休み時間

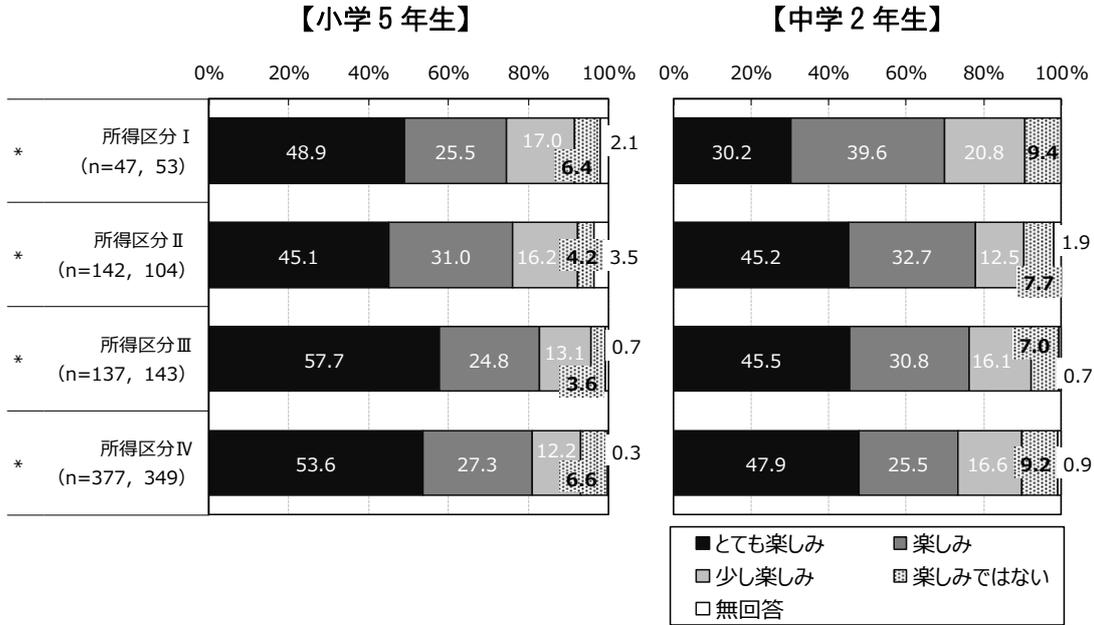


(1-7) キ (G) 給食

《所得区分別》

給食については、「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)で小5の所得区分Ⅲが82.5%と最も高く、次いで所得区分Ⅳが80.9%となっています。また中2の所得区分Ⅰでは「楽しみ」の割合が69.8%と最も低くなっており、「楽しみではない」では9.4%と最も高くなっています。

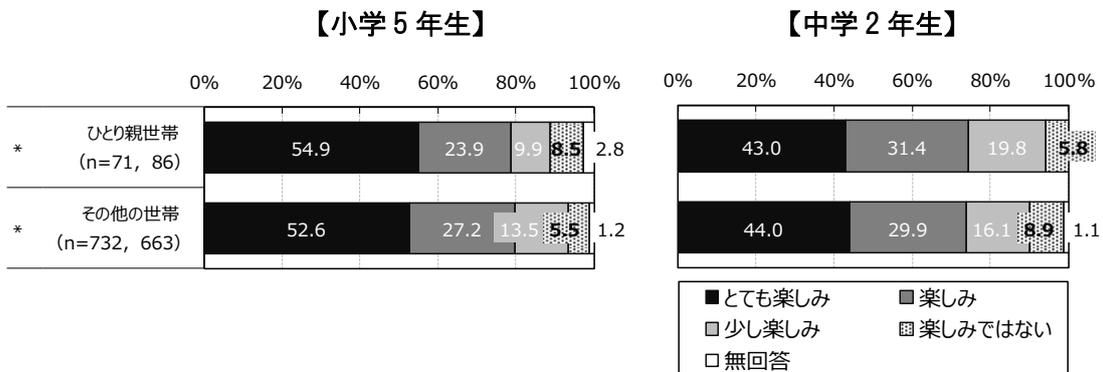
図表 1-13 キ (G) 給食



《世帯別》

給食については、小5・中2のいずれの世帯においても「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)の割合は7割を超えており、その内、小5のその他の世帯が79.8%と最も高くなっています。

図表 1-14 キ (G) 給食

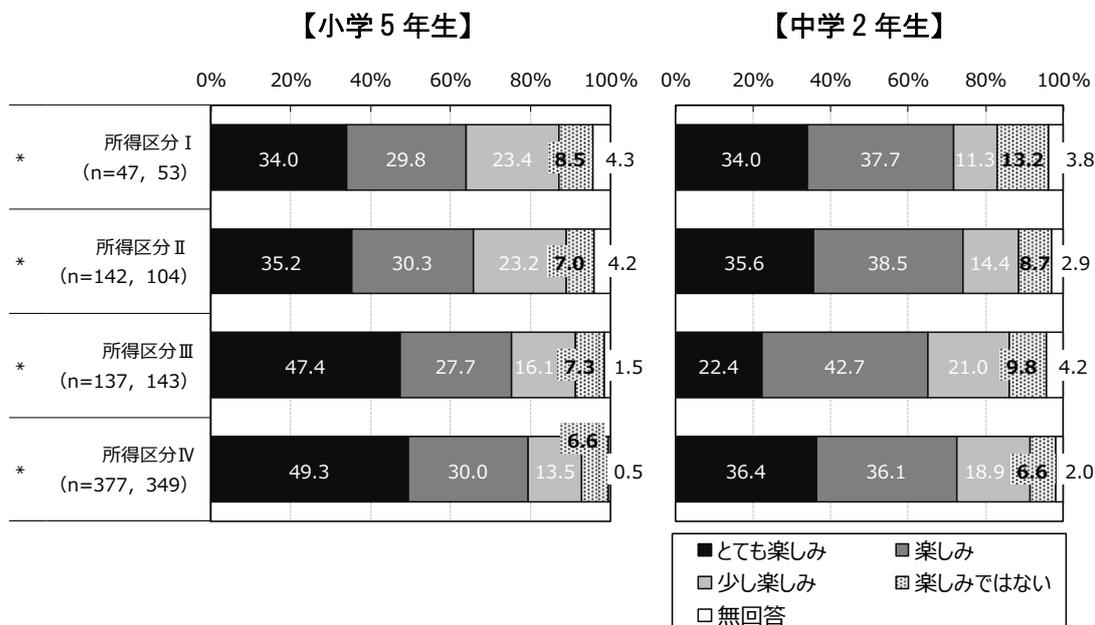


(1-8) ク (H) その他の時間

《所得区分別》

その他の時間については、小5の所得区分Ⅳで「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)が79.3%と最も高くなっています。また、最も低かったのは小5の所得区分Ⅰが63.8%となっています。「楽しみではない」は中2の所得区分Ⅰが13.2%と、最も高くなっています。

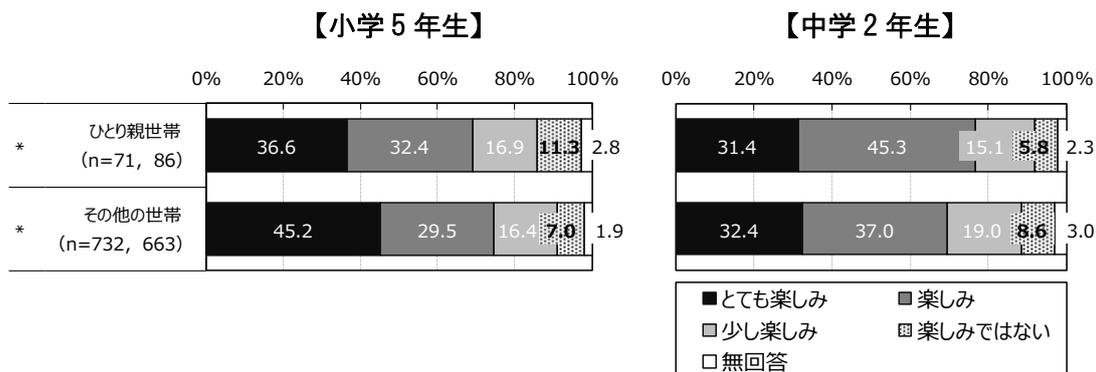
図表 1-15 ク (H) その他の時間



《世帯別》

その他の時間については、中2のひとり親世帯で「楽しみ」(「とても楽しみ」+「楽しみ」)が76.7%と最も高くなっています。また「楽しみではない」では、小5のひとり親世帯が11.3%と最も高くなっています。

図表 1-16 ク (H) その他の時間



(2) 学校での成績

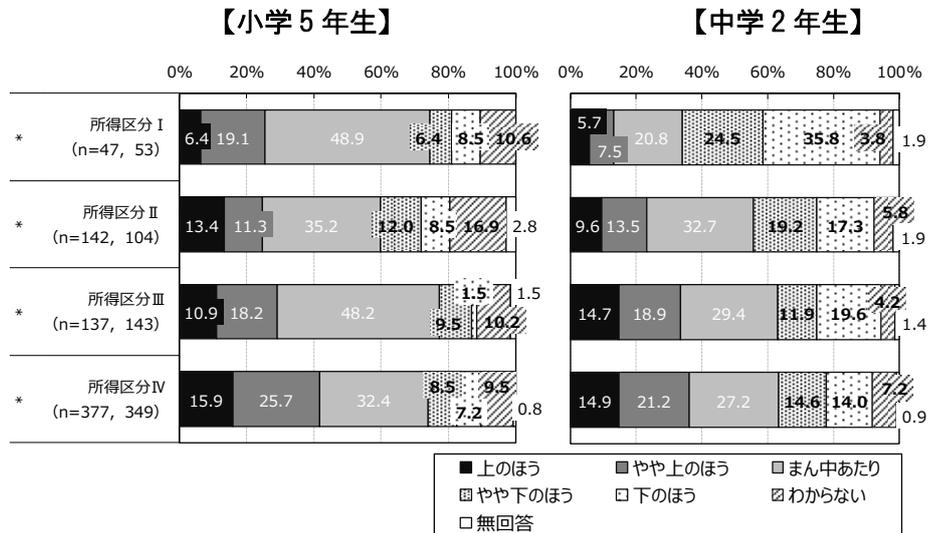
【小学5年生・中学2年生：問9】  
 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

《所得区分別》

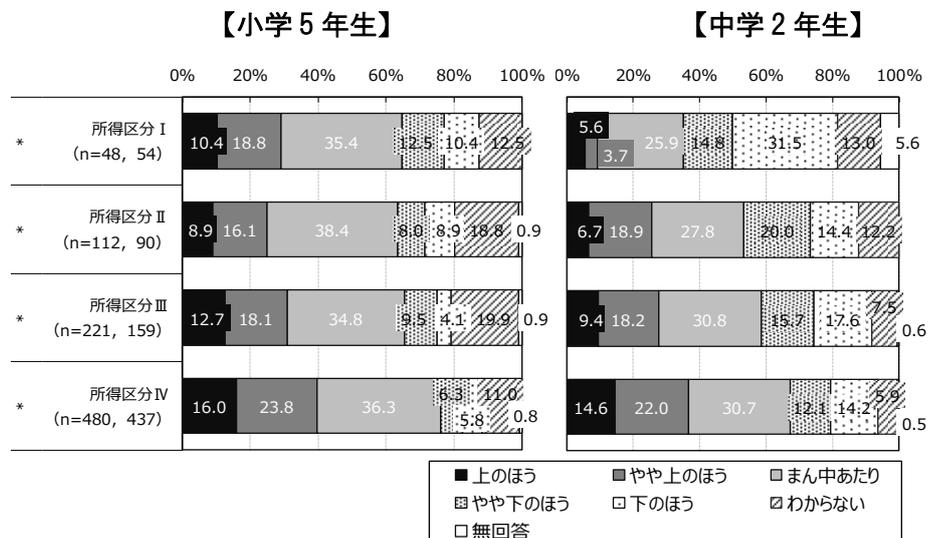
学校での成績については、中2の所得区分Ⅰを除き、いずれの世帯においても「まん中あたり」が最も高くなっています。中2の所得区分Ⅰでは「下のほう」が35.8%と最も高くなっています。「上のほう」「上のほう」+「やや上のほう」では、所得が上がるにつれて高くなる傾向があります。最も「上のほう」の割合が高かったのは、小5で所得区分Ⅳが41.6%となっており、最も低かったのは、中2で所得区分Ⅰが13.2%となっています。

平成30年度調査と比較して、小5の所得区分Ⅲの「まん中あたり」の割合が13.4%高くなっています。

図表 2-1 学校での成績



[平成30年度調査 図表 2-1 学校での成績]

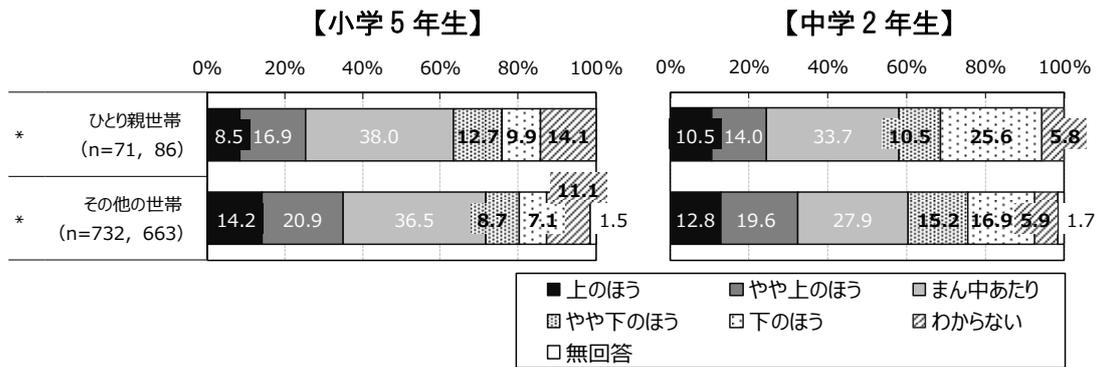


《世帯別》

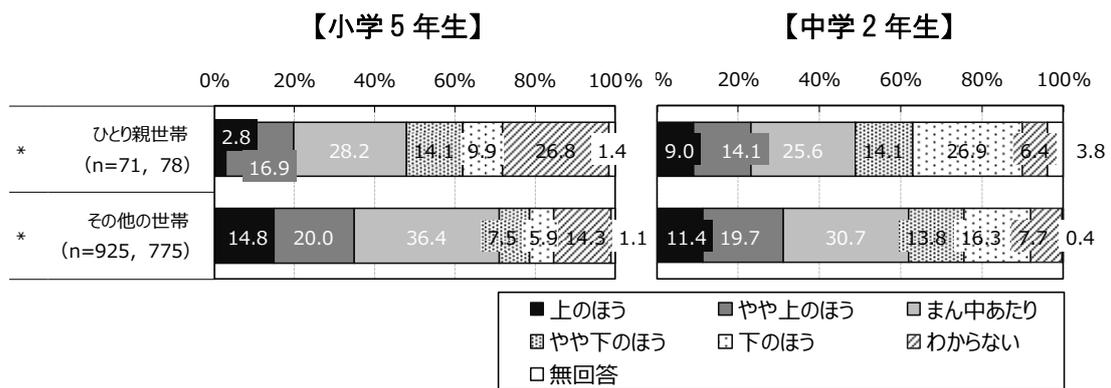
学校での成績については、いずれの世帯においても「まん中あたり」が最も高くなっています。中2のひとり親世帯では「下のほう」が25.6%と最も高くなっています。「上のほう」（「上のほう」＋「やや上のほう」）では、小5・中2ともにひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高く、小5のその他の世帯が35.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯の「まん中あたり」の割合が9.8%高くなっています。

図表 2-2 学校での成績



[平成30年度調査 図表 2-2 学校での成績]



(3) 学校の授業

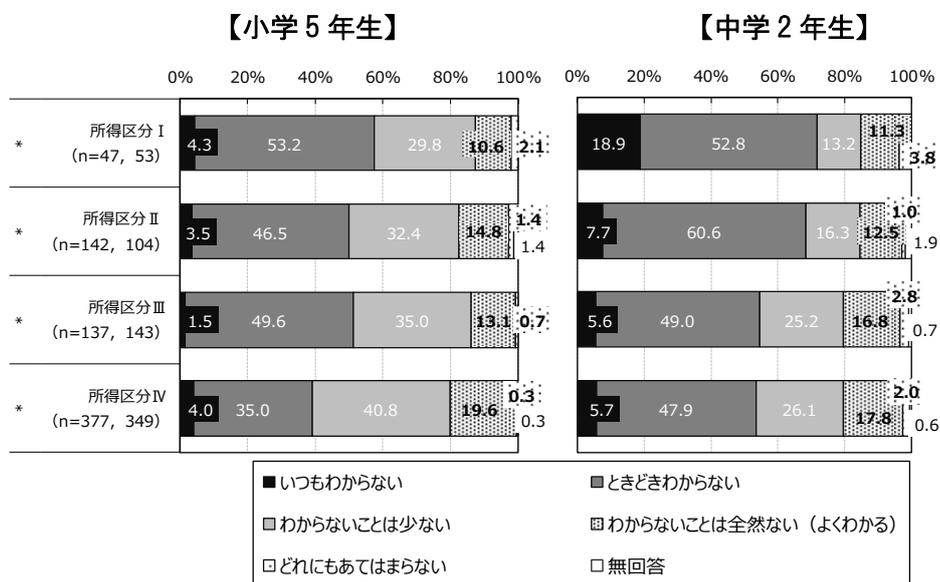
【小学5年生・中学2年生：問10】  
 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

《所得区分別》

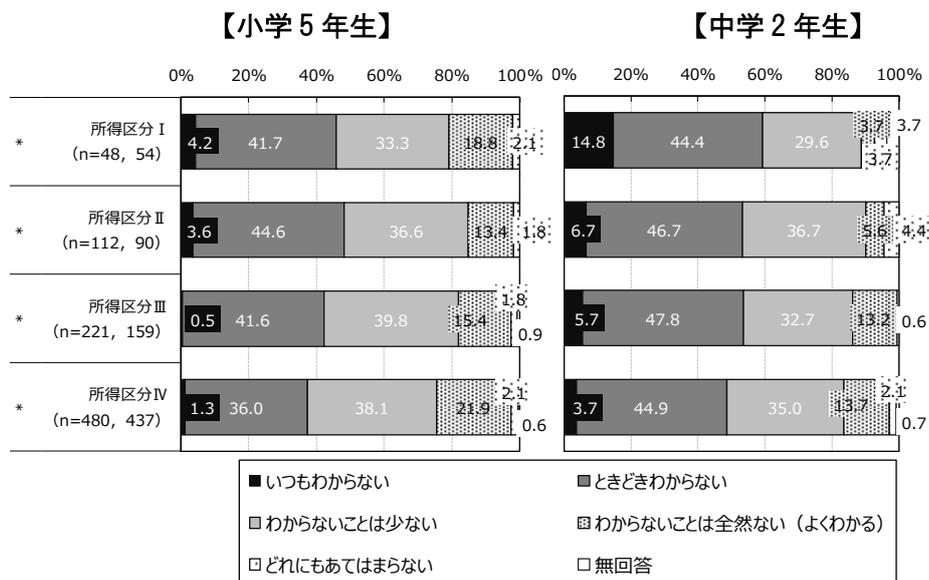
学校の授業については、小5の所得区分Ⅳを除き、いずれの所得区分においても「ときどきわからない」が最も高くなっています。「いつもわからない」では中2の所得区分Ⅰが18.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2の所得区分Ⅱの「わからないことは少ない」の割合が20.4%低くなっています。

図表 3-1 学校の授業



[平成30年度調査 図表 3-1 学校の授業]

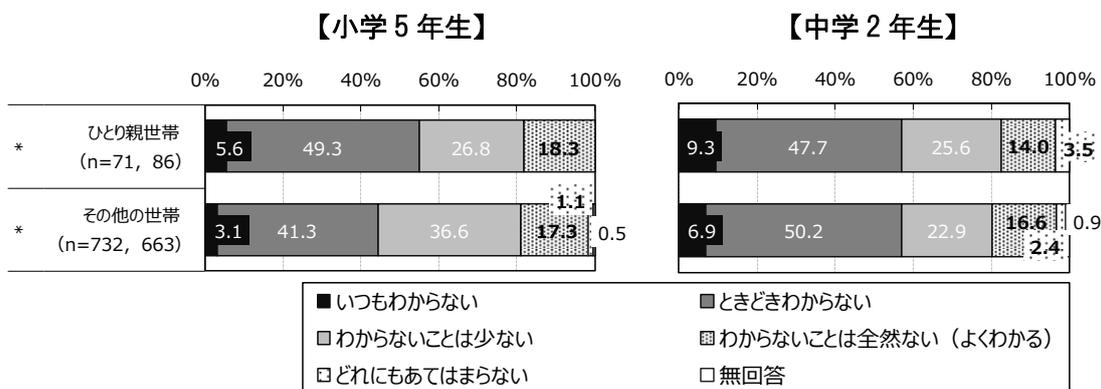


《世帯別》

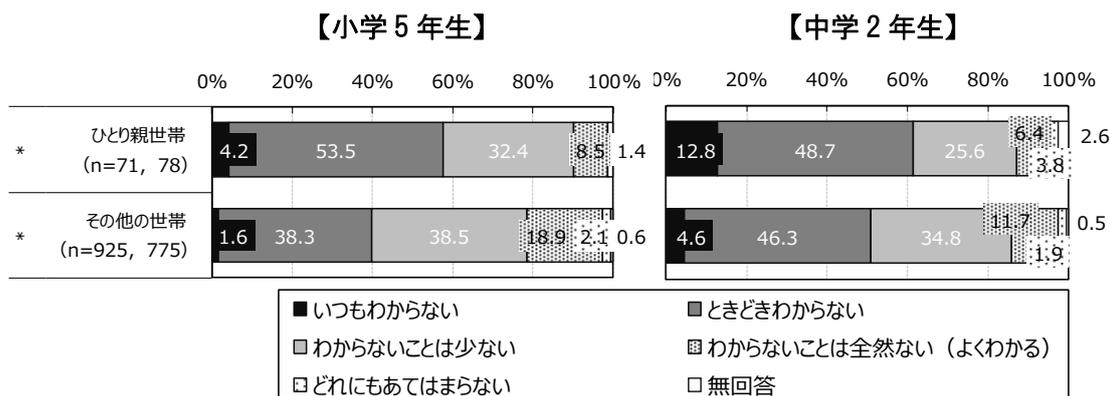
学校の授業については、小5のその他の世帯を除き、いずれの世帯においても「わからない」（「いつもわからない」＋「ときどきわからない」）の割合が高くなっています。中2のその他の世帯が57.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2のその他の世帯の「わからないことは少ない」の割合が11.9%低くなっています。

図表 3-2 学校の授業



[平成30年度調査 図表 3-2 学校の授業]



(4) 下校後の1日あたりの勉強時間

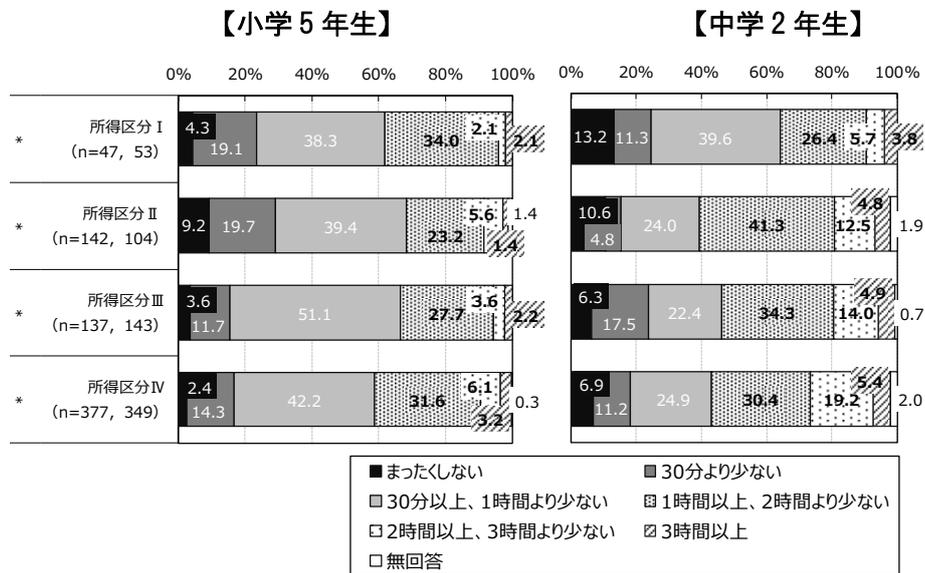
【小学5年生・中学2年生：問11】  
 あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強しますか。1日あたりの勉強時間について、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ） ※学習塾などでの時間も含まれます。

《所得区分別》

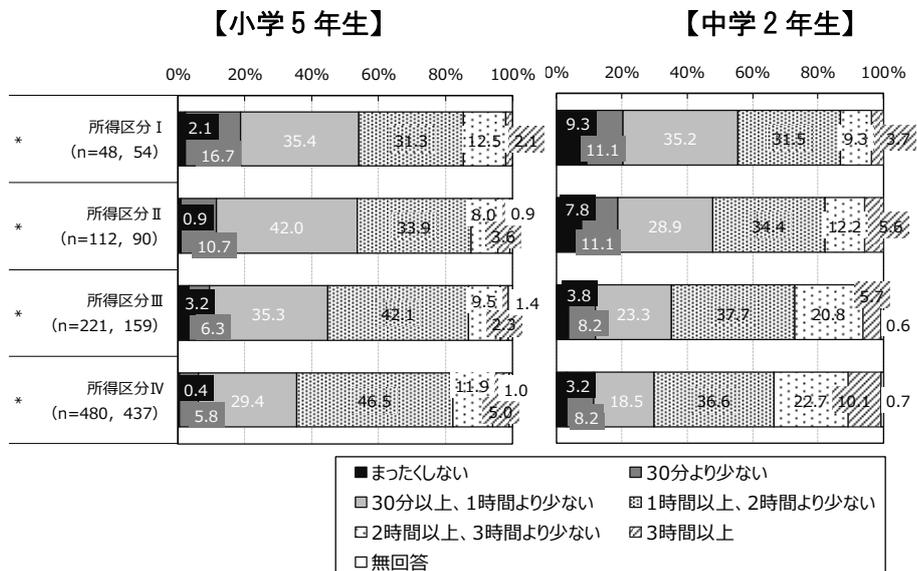
下校後の1日あたりの勉強時間については、小5・中2のいずれの所得区分においても「30分以上、1時間より少ない」+「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高くなっています。中2では所得が上がるにつれて、3時間以上勉強をする時間が多くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5の所得区分Ⅲの「30分以上、1時間より少ない」の割合が15.8%高くなっています。

図表 4-1 下校後の1日あたりの勉強時間



[平成30年度調査 図表 4-1 下校後の1日あたりの勉強時間]

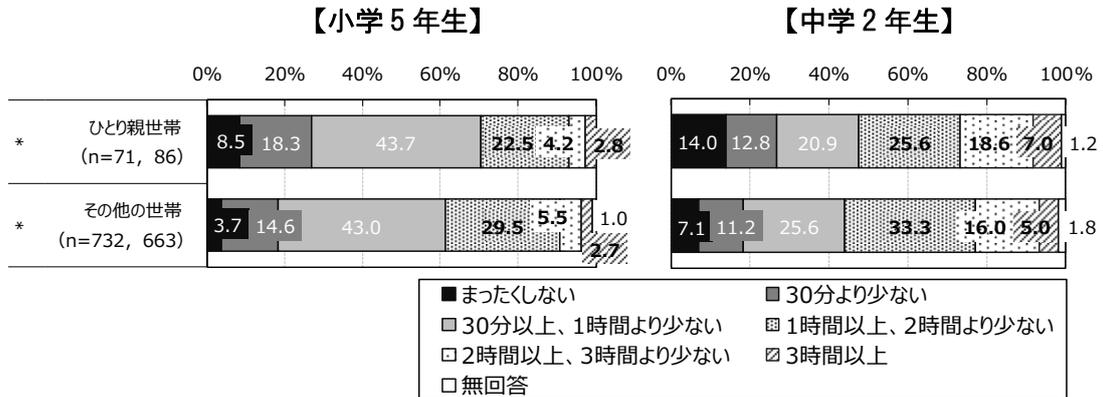


《世帯別》

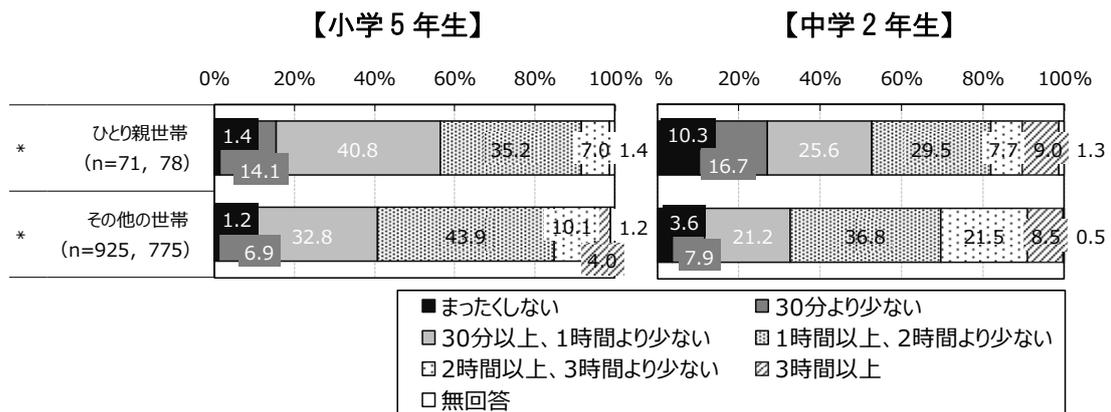
下校後の1日あたりの勉強時間については、小5・中2のいずれの世帯においても「30分以上、1時間より少ない」＋「1時間以上、2時間より少ない」の割合が高くなっています。その他の世帯では、ひとり親世帯よりも「まったくしない」の割合は低くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のその他の世帯の「1時間以上、2時間より少ない」の割合が14.4%低くなっています。

図表 4-2 下校後の1日あたりの勉強時間



[ 平成30年度調査 図表 4-2 下校後の1日あたりの勉強時間 ]



(5) 学習塾

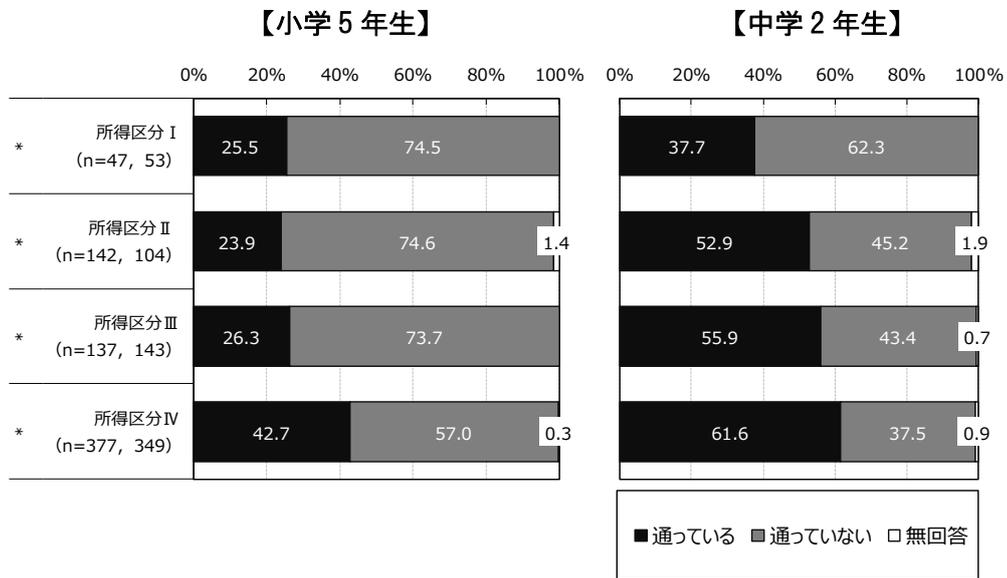
【小学5年生・中学2年生：問12】  
 あなたは、学習塾へ通っていますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

《所得区分別》

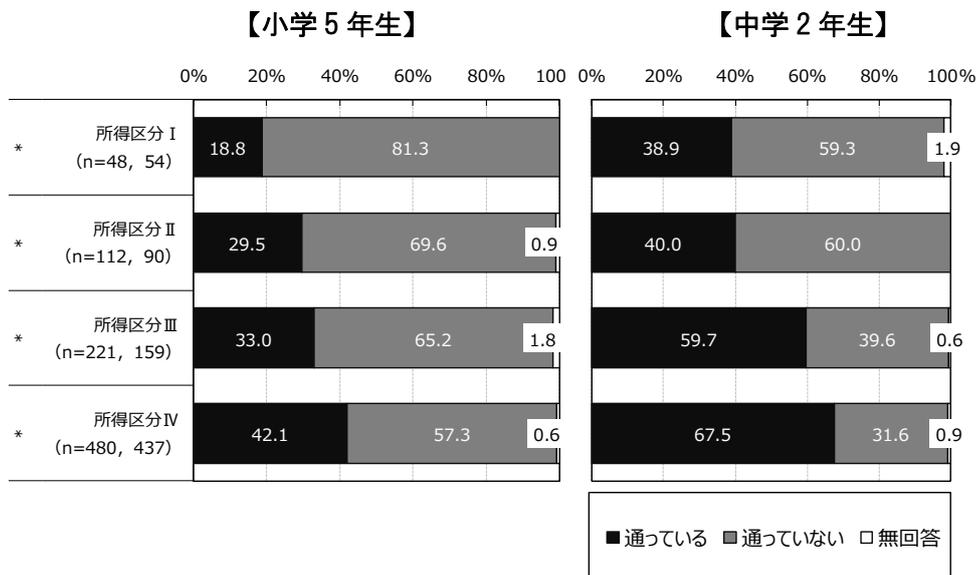
学習塾については、中2において、所得が上がるにつれて「通っている」の割合が高くなっており、所得区分Ⅳでは61.6%と最も高くなっています。一方、「通っていない」では、小5・中2ともに所得が上がるにつれて、低くなる傾向があります。

平成30年度調査と比較して、中2の所得区分Ⅱでは「通っていない」の割合は14.8%低くなっています。

図表 5-1 学習塾



[ 平成30年度調査 図表 5-1 学習塾 ]

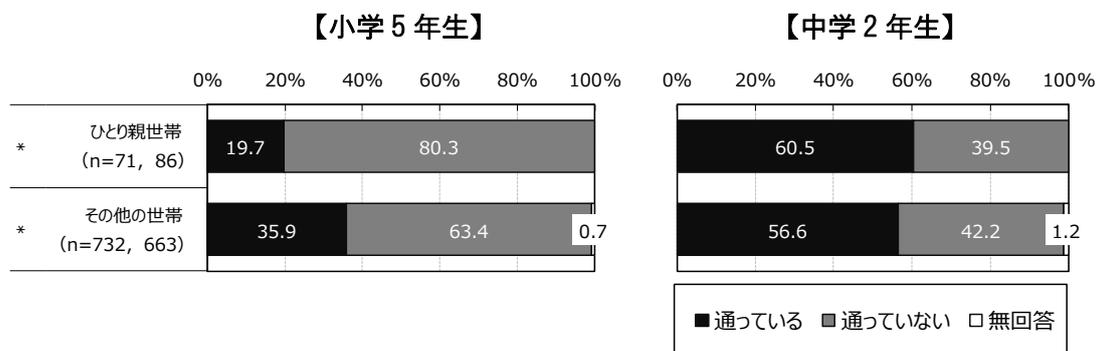


《世帯別》

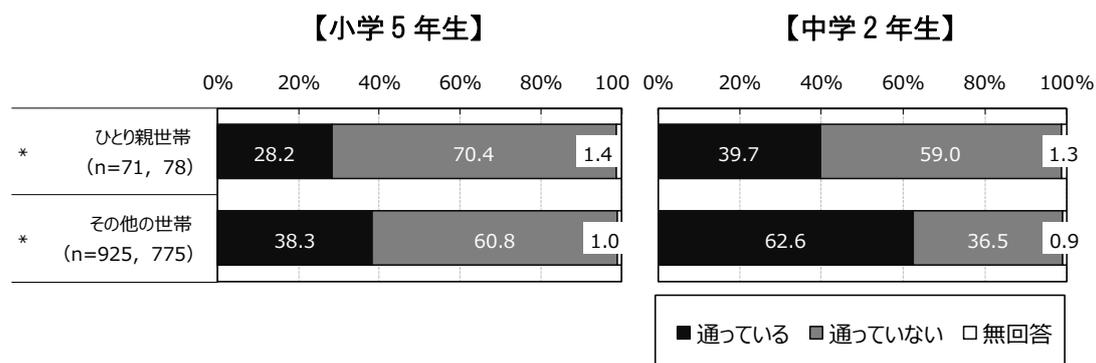
学習塾については、中2において、「通っている」の割合がひとり親世帯・その他の世帯ともに大きな差はないが、「通っていない」では、小5のひとり親世帯が80.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2のひとり親世帯では「通っている」の割合が20.8%高くなっています。

図表 5-2 学習塾



[ 平成30年度調査 図表 5-2 学習塾 ]



(6) 将来、行きたい学校

【小学5年生・中学2年生：問13】  
 あなたは、理想的には将来どの学校まで行きたいと思いますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

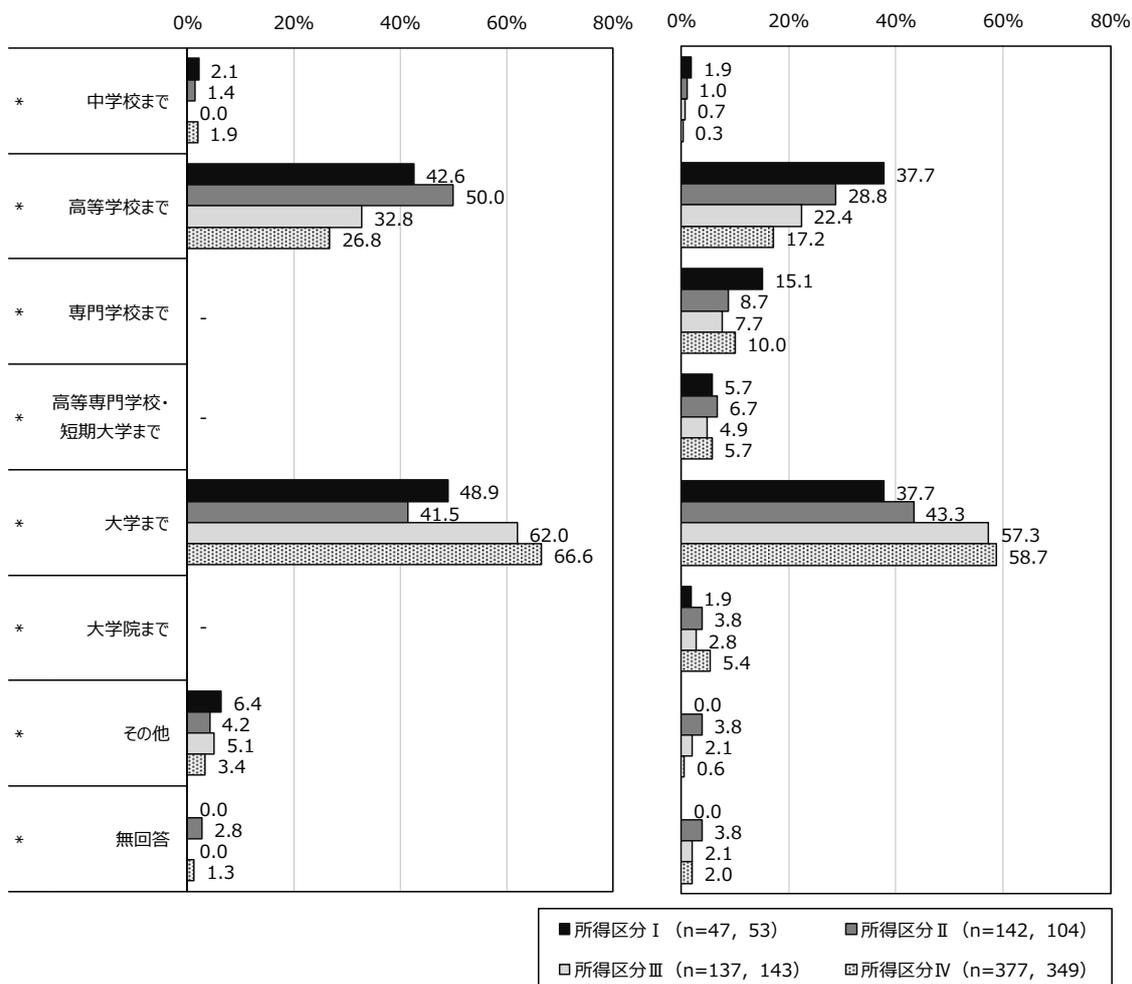
※小学5年生は、「専門学校まで」「高等専門学校・短期大学まで」「大学院まで」の選択肢がない

《所得区分別》

将来、行きたい学校については、小5の所得区分Ⅱと中2の所得区分Ⅰを除き、いずれの所得区分においても「大学まで」が最も高い割合となっており、所得区分Ⅳ(小5:66.6%、中2:58.7%)が最も高くなっています。所得が上がるにつれて、大学まで行きたいと答える人が多くなる傾向があります。また「高等学校まで」では小5の所得区分Ⅱが50.0%と中2の所得区分Ⅰが37.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2の所得区分Ⅲの「大学まで」の割合が9.5%高くなっています。

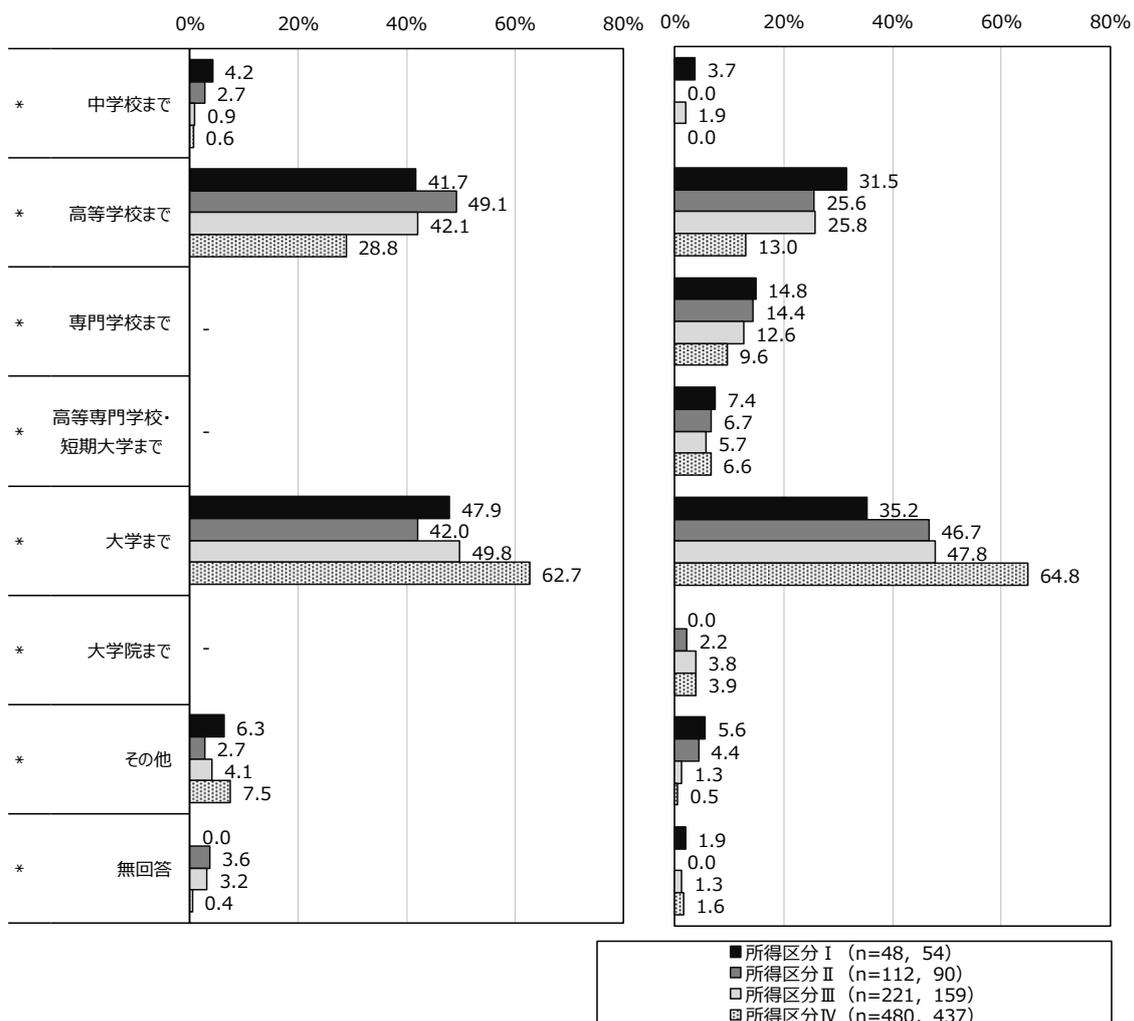
図表 6-1 将来、行きたい学校  
 【小学5年生】 【中学2年生】



[ 平成 30 年度調査 図表 6-1 将来、行きたい学校 ]

【小学 5 年生】

【中学 2 年生】

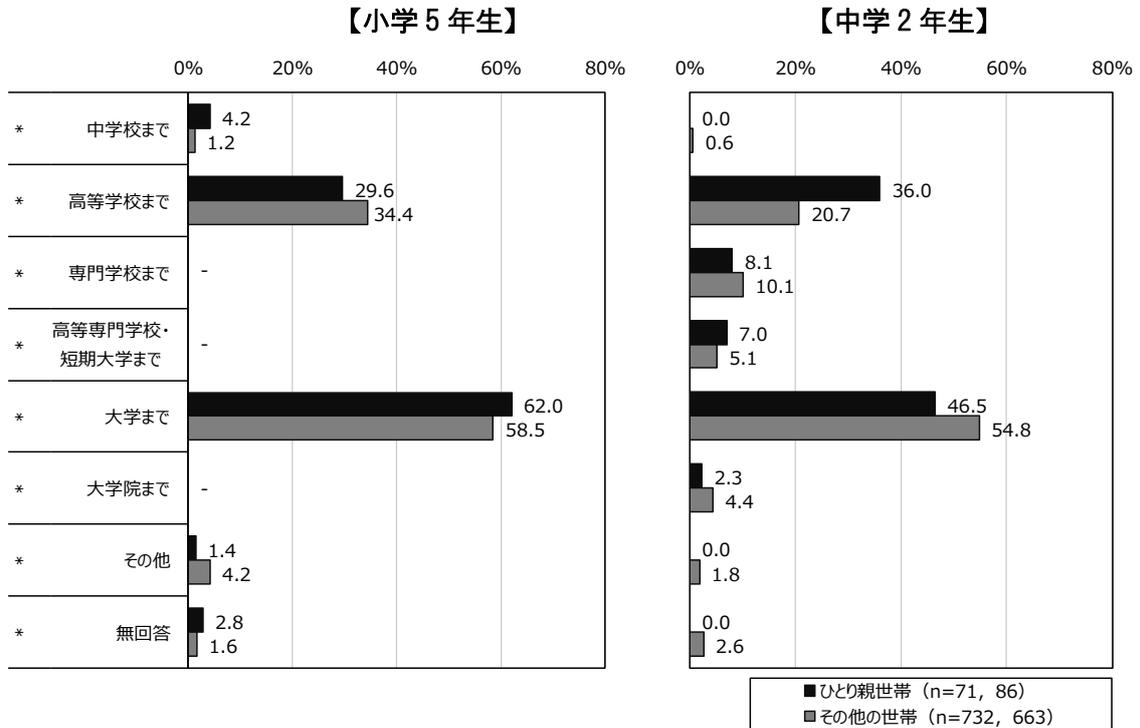


《世帯別》

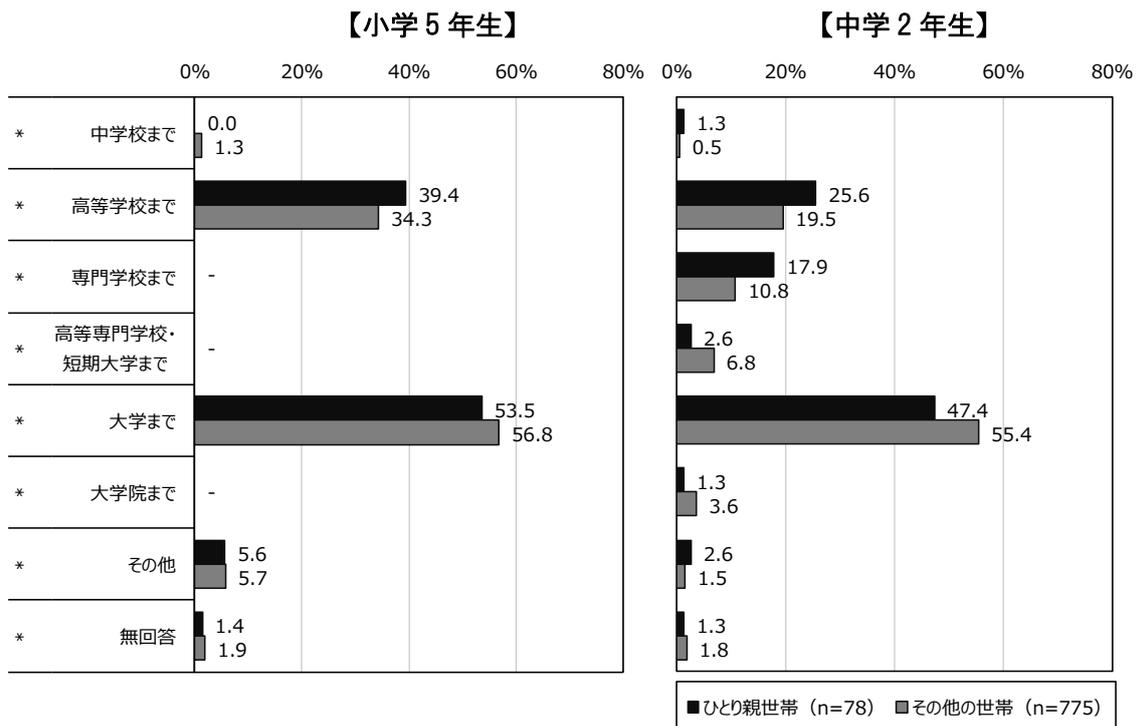
将来、行きたい学校については、小5・中2のいずれの世帯においても「大学まで」が最も高い割合となっています。また、中2の「高等学校まで」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2のひとり親世帯の「高等学校まで」の割合は10.4%高くなっています。

図表 6-2 将来、行きたい学校



[平成30年度調査 図表 6-2 将来、行きたい学校]



(7) 現実的に行くと思う学校

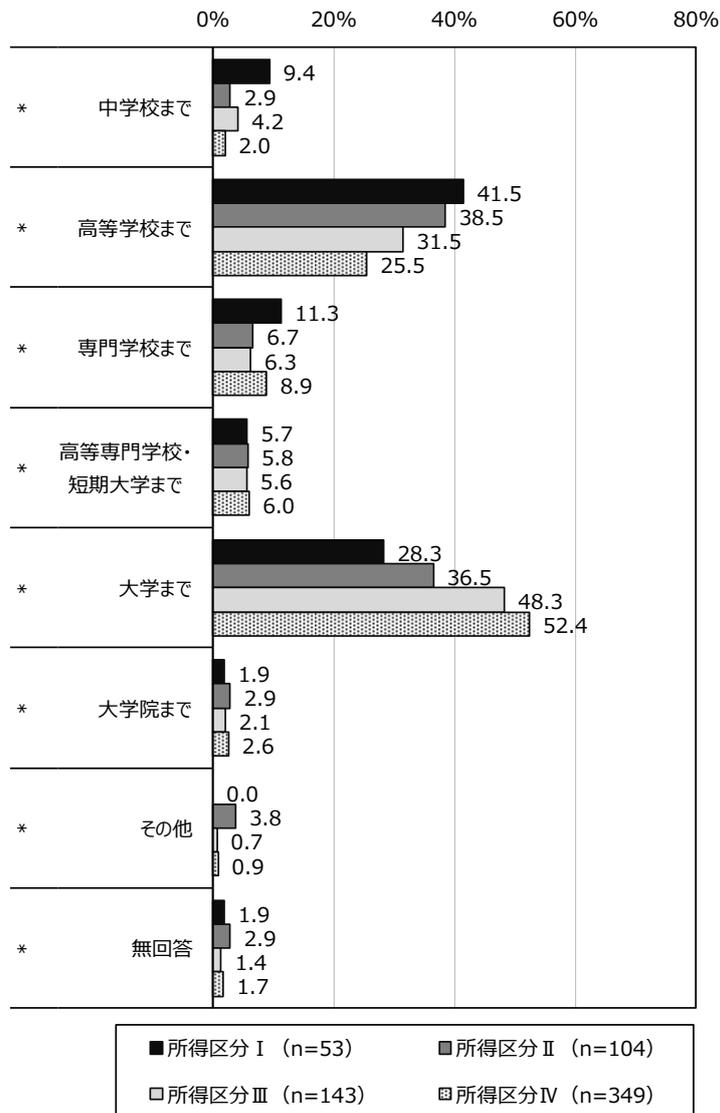
【中学2年生のみ：問14】  
 あなたは、現実的にはどの学校まで行くことになると思いますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

《所得区分別》

現実的に行くと思う学校については、所得区分ⅠとⅡでは、「高等学校まで」が最も高くなっており、所得区分ⅢとⅣでは「大学まで」が最も高くなっています。また、将来行きたい学校と比較すると、いずれの所得区分でも「高等学校まで」が増加しており、「大学まで」が減少しています。理想と現実には差があることが分かります。

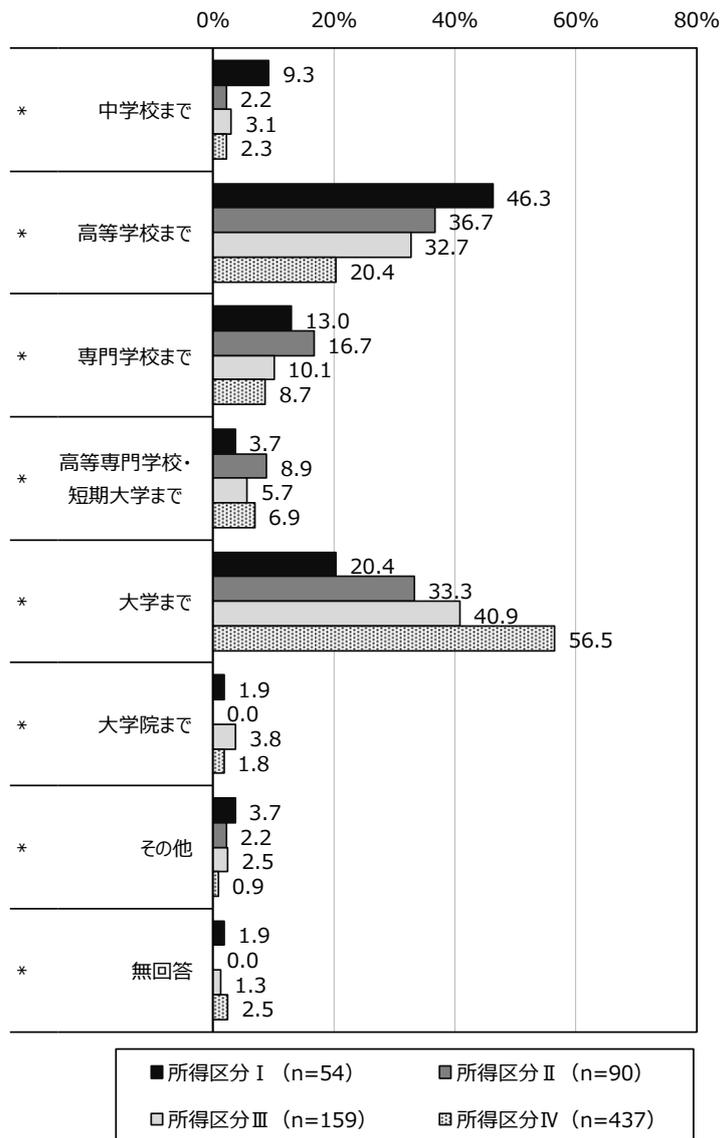
平成30年度調査と比較して、所得区分Ⅰの「大学まで」の割合が7.9%高くなっています。

図表 7-1 現実的に行くと思う学校  
 【中学2年生】



[ 平成 30 年度調査 図表 7-1 現実的に行くと思う学校 ]

【中学 2 年生】

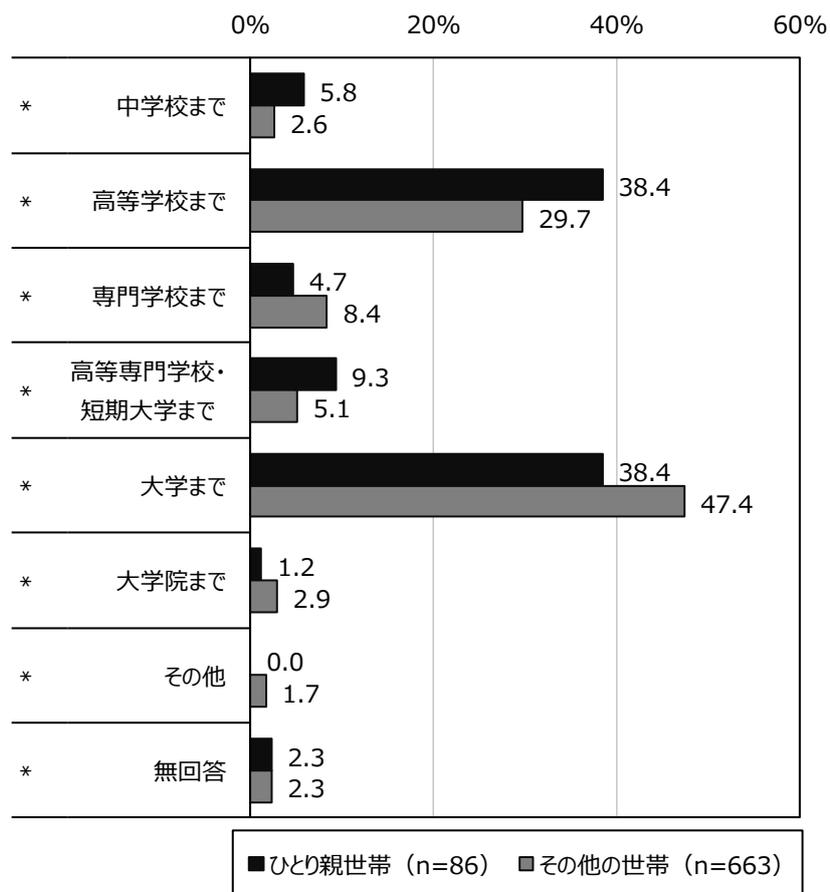


《世帯別》

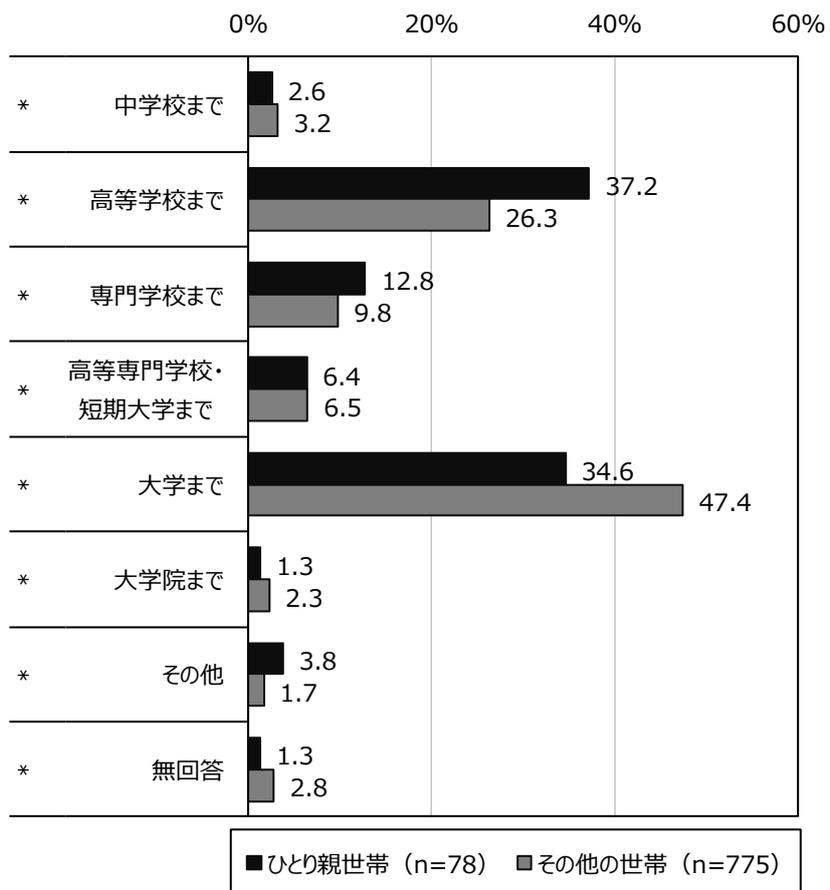
現実的に行くと思う学校については、ひとり親世帯では「高等学校まで」と「大学まで」が同じとなっており、その他の世帯では「大学まで」が最も高くなっています。また、将来行きたい学校と比較すると、いずれの世帯においても「高等学校まで」が増加しており、「大学まで」が減少しています。理想と現実には差があることが分かります。

平成 30 年度調査と比較して、ひとり親世帯の「専門学校まで」の割合が 8.1%低くなっています。

図表 7-2 現実的に行くと思う学校  
【中学 2 年生】



[ 平成 30 年度調査 図表 7-2 現実的に行くと思う学校 ]



(8) 現実的に行くと思う学校を選んだ理由

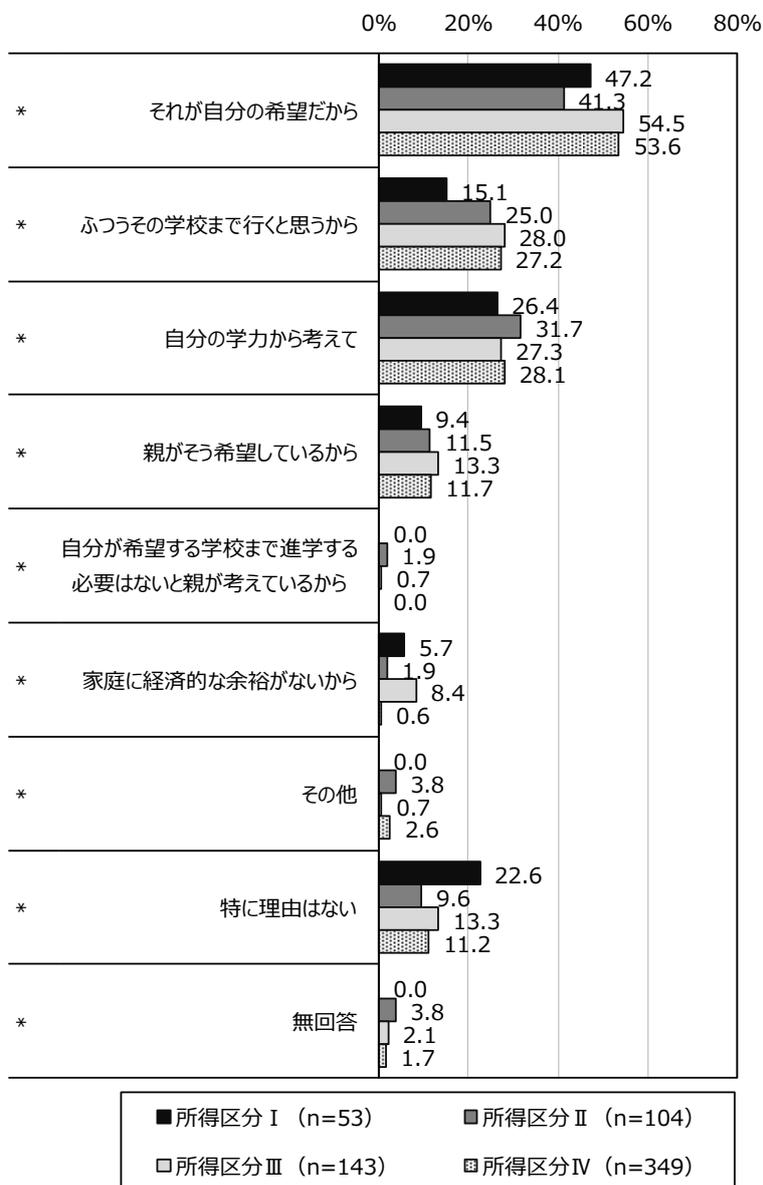
【中学2年生のみ：問15】  
 あなたが問14のように考える理由はなぜですか。  
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

《所得区分別》

現実的に行くと思う学校を選んだ理由については、いずれの所得区分においても「それが自分の希望だから」が最も高くなっています。所得区分Ⅲを除き、「自分の学力から考えて」、次いで「ふつうその学校まで行くと思うから」の順となっています。

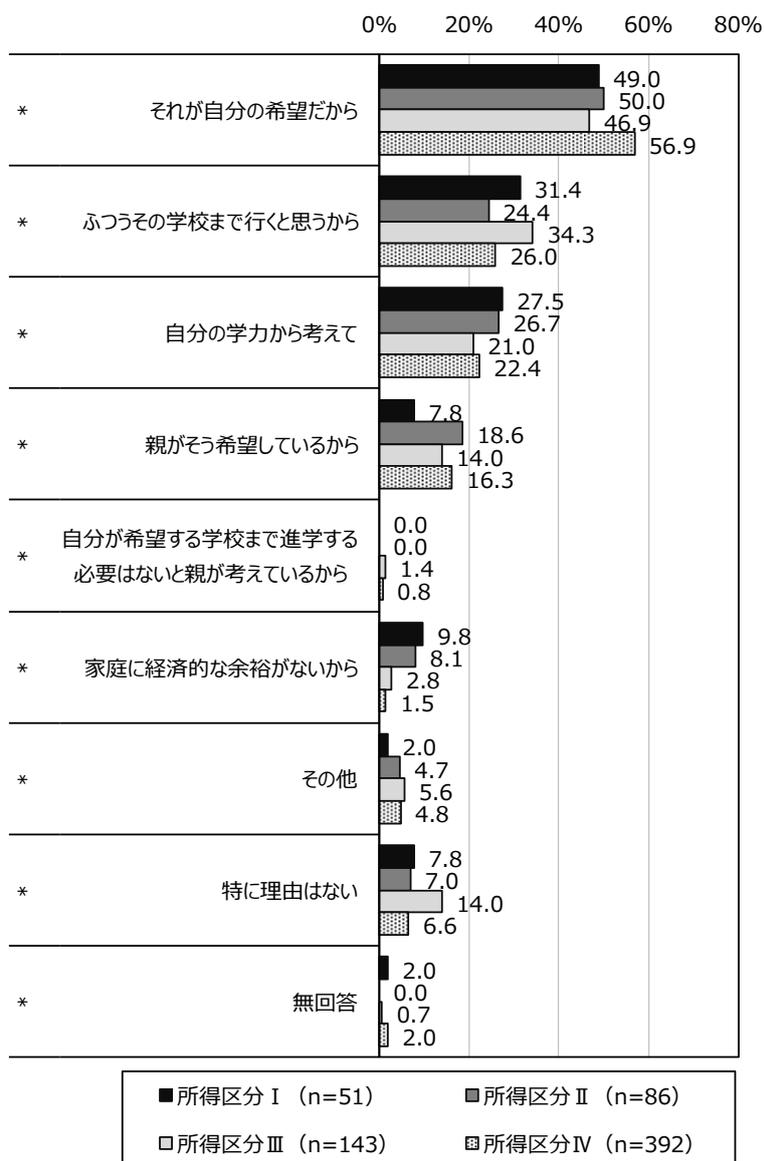
平成30年度調査と比較して、所得区分Ⅰの「ふつうその学校まで行くと思うから」の割合は16.3%低くなっています。

図表 8-1 現実的に行くと思う学校を選んだ理由  
 【中学2年生】



[ 平成 30 年度調査 図表 8-1 現実的に行くと思う学校を選んだ理由 ]

【中学 2 年生】



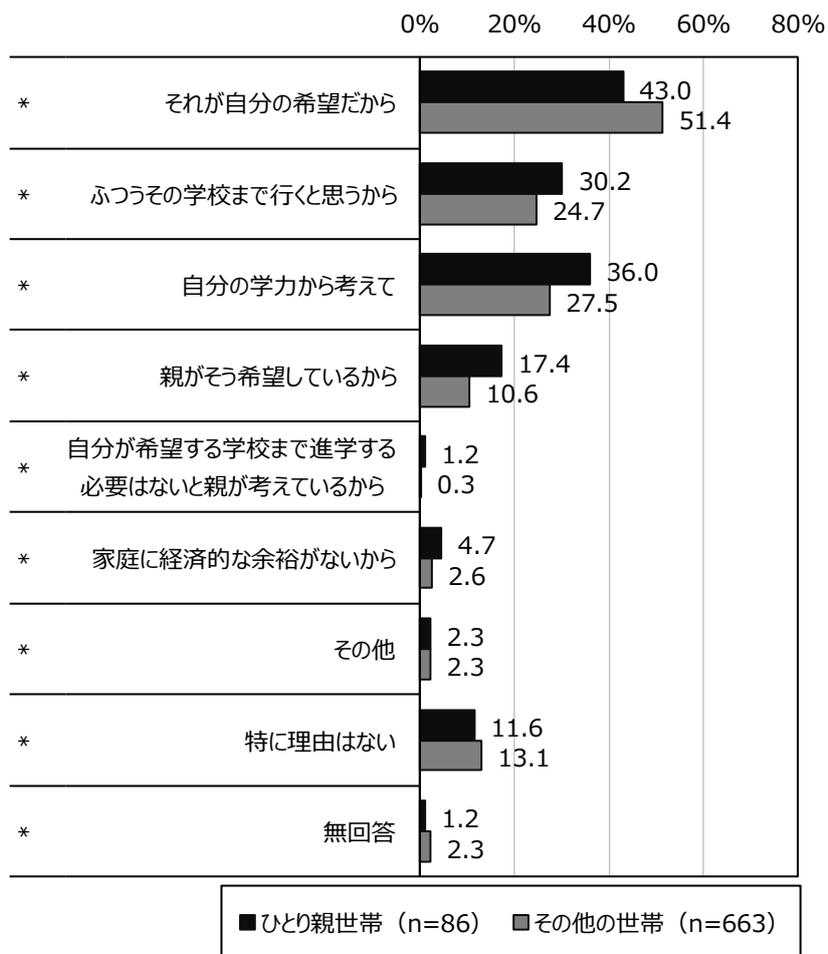
《世帯別》

現実的に行くと思う学校を選んだ理由については、いずれの世帯においても「それが自分の希望だから」が最も高くなっており、次いで「自分の学力から考えて」、次いで「ふつうその学校まで行くと思うから」の順となっています。

平成30年度調査と比較して、ひとり親世帯の「ふつうその学校まで行くと思うから」の割合は、4.9%低くなっています。

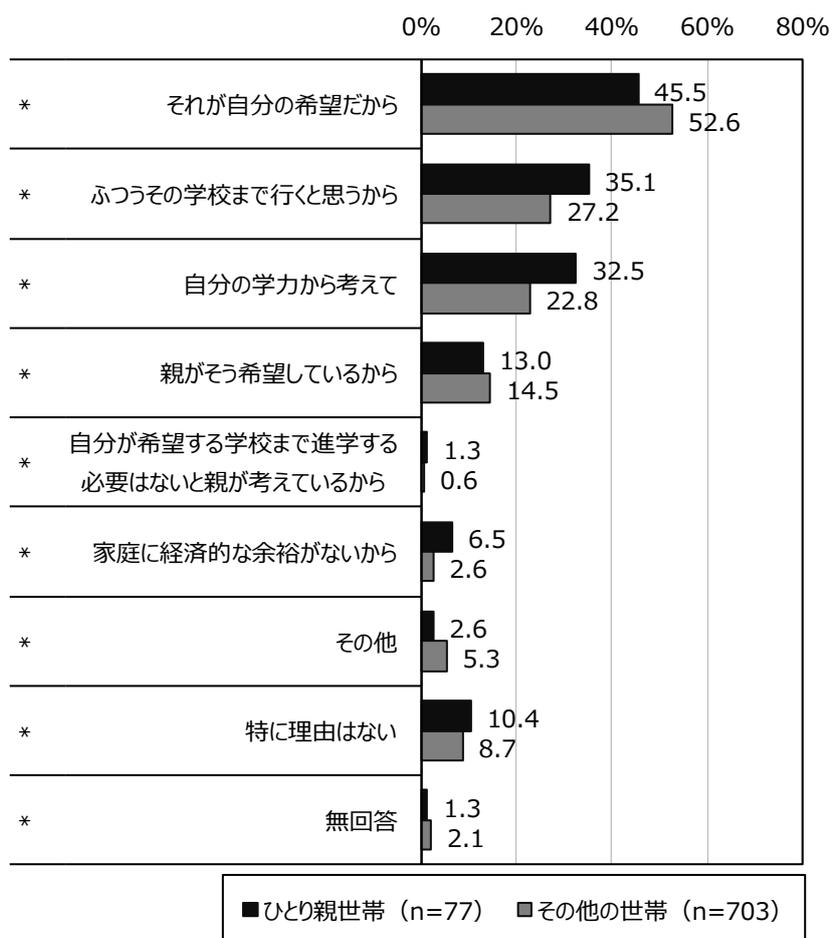
図表 8-2 現実的に行くと思う学校を選んだ理由

【中学2年生】



[ 平成 30 年度調査 図表 8-2 現実的に行くと思う学校を選んだ理由 ]

【中学 2 年生】



## 5. 2 健康について

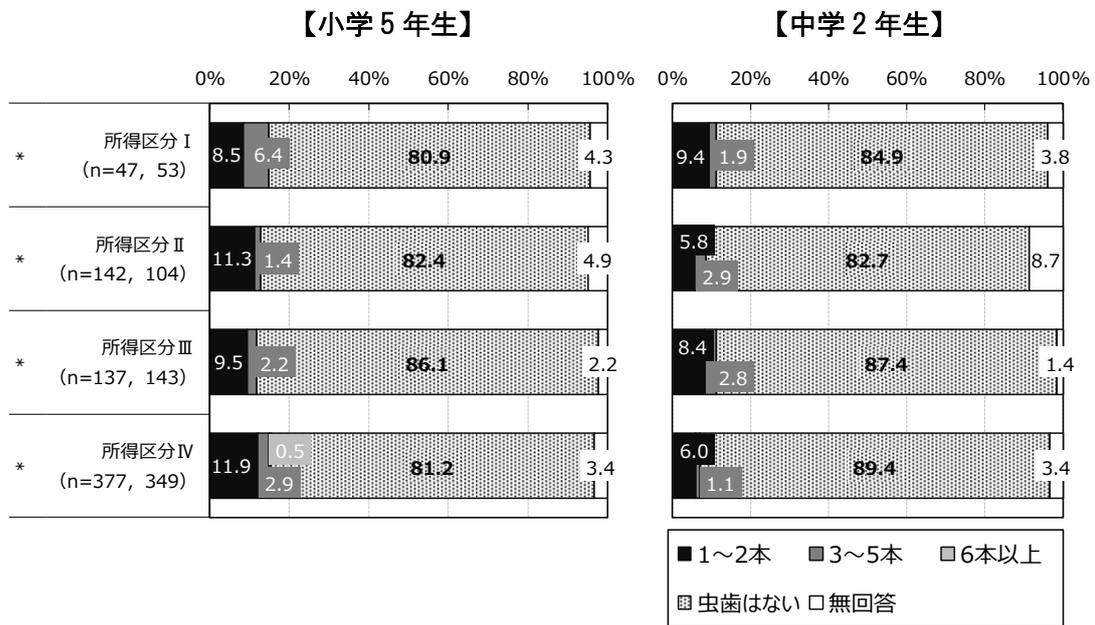
### (1) 虫歯の状況

【小学5年生：問 15、・中学2年生：問 17】  
 あなたは、今、虫歯（治療中のも含めて）がおおよそ何本ありますか。  
 ※虫歯がない場合は、0本と書いてください。

#### 《所得区分別》

虫歯の状況については、小5・中2のいずれの所得区分においても「虫歯はない」が大半を占めています。

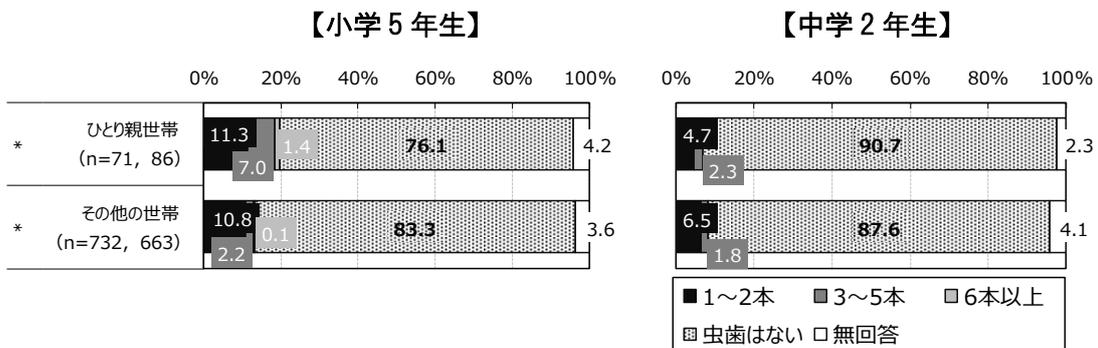
図表 9-1 虫歯の状況



#### 《世帯別》

虫歯の状況については、小5・中2のいずれの世帯においても「虫歯はない」が大半を占めています。

図表 9-2 虫歯の状況



## 5.3 食事について

### (1) 学校のある日の朝ごはん

【小学5年生：問 17-1、・中学2年生：問 19-1】  
 あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）の朝ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

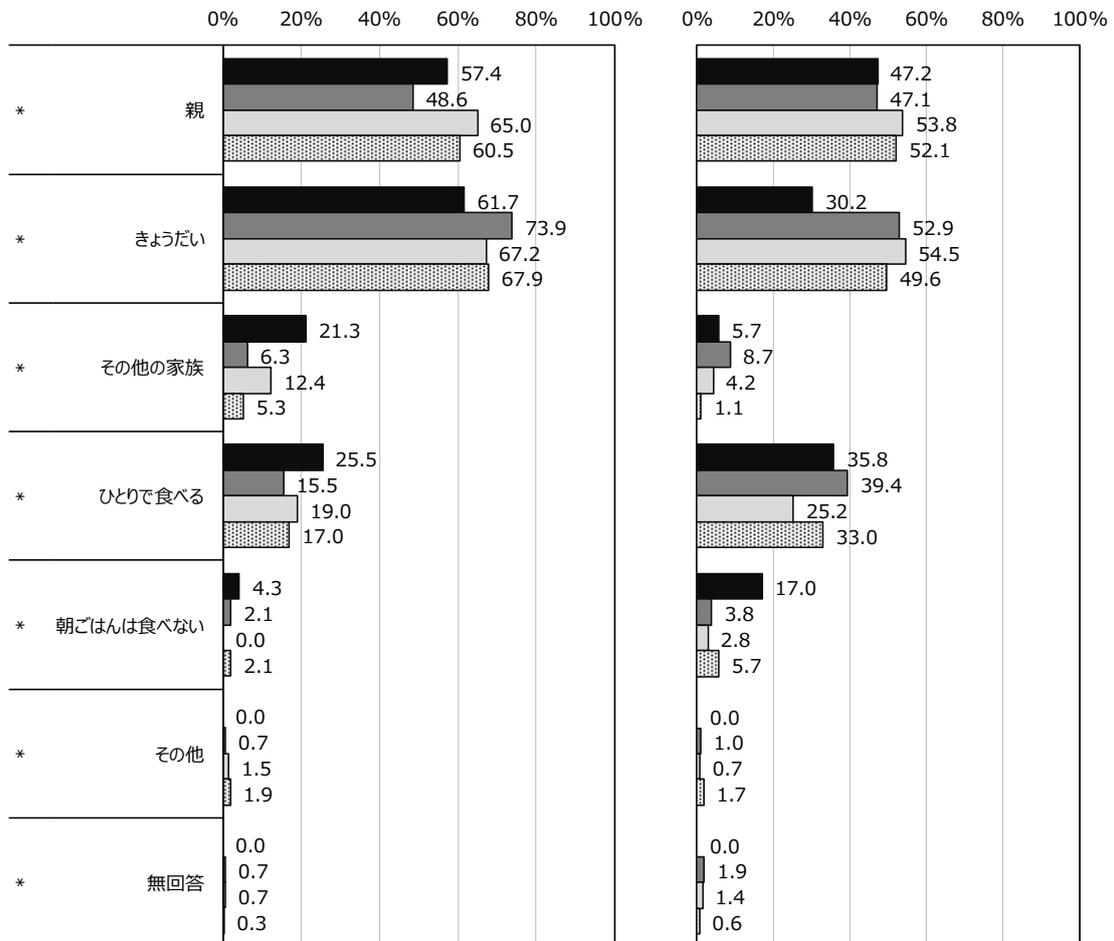
#### 《所得区分別》

学校のある日の朝ごはんについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「親」と「きょうだい」の割合が概ね高くなっていますが、中2の所得区分においては「ひとりで食べる」の割合も高くなっています。

図表 10-1 学校のある日の朝ごはん

#### 【小学5年生】

#### 【中学2年生】



■ 所得区分 I (n=47, 53)      ■ 所得区分 II (n=142, 104)  
 □ 所得区分 III (n=137, 143)      ▨ 所得区分 IV (n=377, 349)

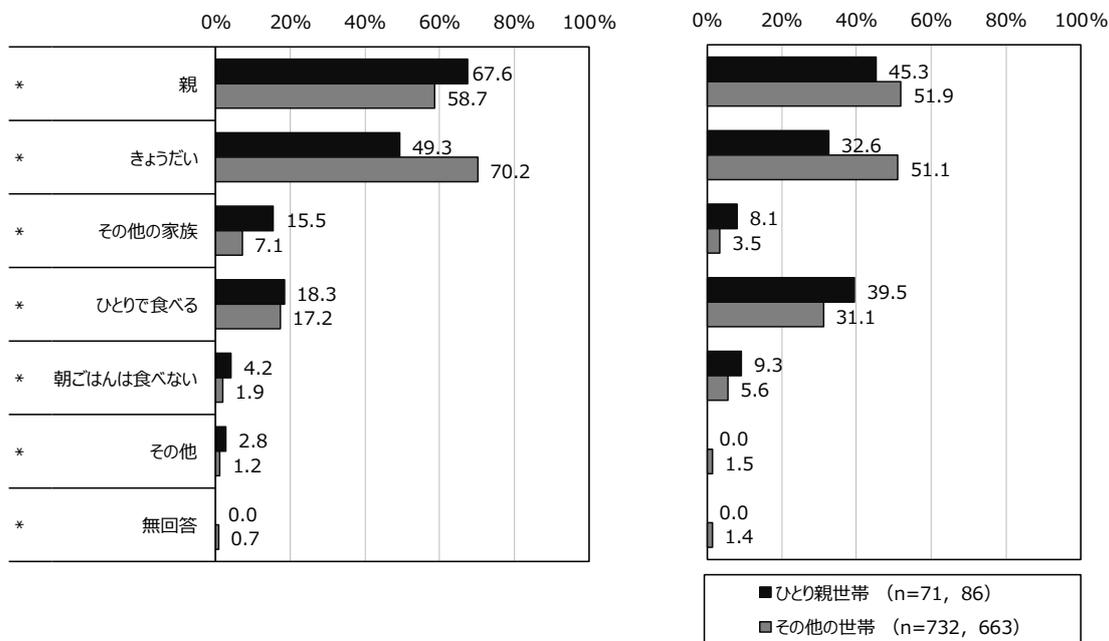
《世帯別》

学校のある日の朝ごはんについては、小5・中2のいずれの世帯においても「親」と「きょうだい」の割合が高くなっていますが、中2のひとり親世帯では「きょうだい」の割合が32.6%と低くなっています。また、ひとり親世帯では「ひとりで食べる」の割合も高くなっています。

図表 10-2 学校のある日の朝ごはん

【小学5年生】

【中学2年生】



(2) 学校のある日の夕ごはん

【小学5年生：問 17-2、中学2年生：問 19-2】  
 あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）の夕ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

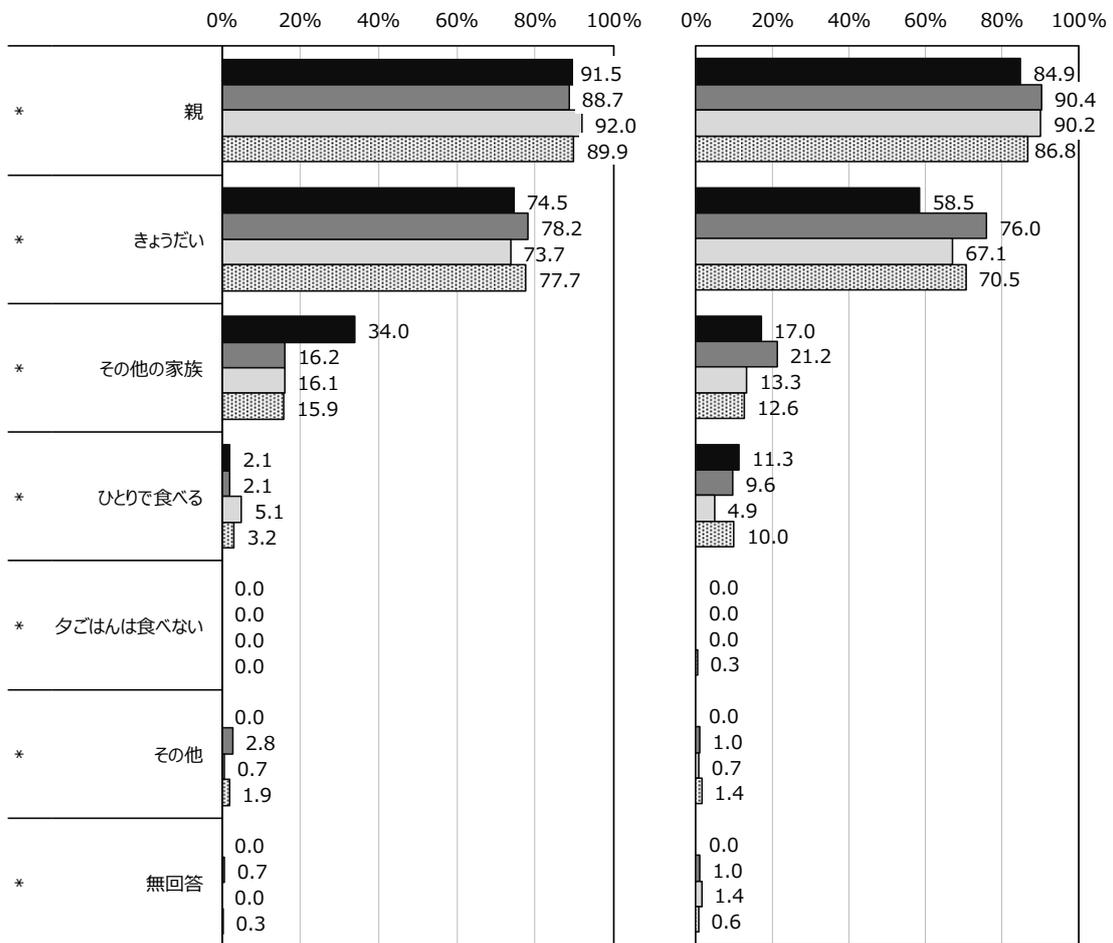
《所得区分別》

学校のある日の夕ごはんについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「親」が最も高くなっており、次いで「きょうだい」、次いで「その他の家族」の順となっています。

図表 11-1 学校のある日の夕ごはん

【小学5年生】

【中学2年生】

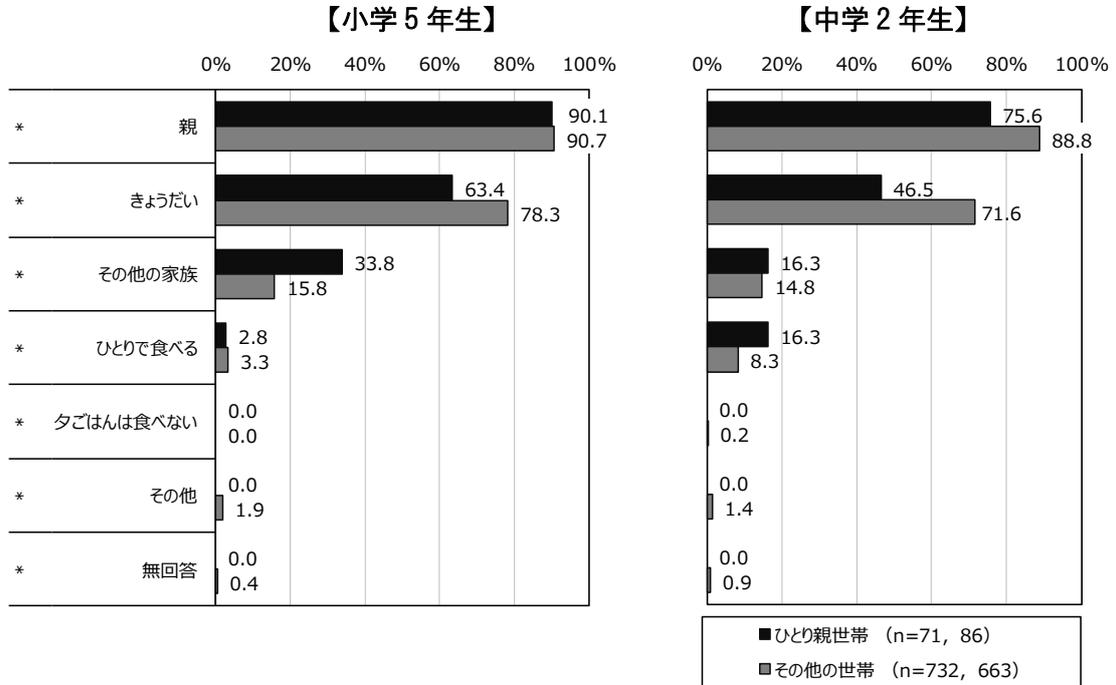


■ 所得区分 I (n=47, 53)      ■ 所得区分 II (n=142, 104)  
 □ 所得区分 III (n=137, 143)      □ 所得区分 IV (n=377, 349)

《世帯別》

学校のある日の夕ごはんについては、小5・中2のいずれの世帯においても「親」が最も高くなっており、次いで「きょうだい」、次いで「その他の家族」の順となっています。また、「その他の家族」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の割合が高くなっています。

図表 11-2 学校のある日の夕ごはん



(3) 学校のない日の朝ごはん

【小学5年生：問 17-3、中学2年生：問 19-3】  
 あなたは、休日（学校のない日）の朝ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

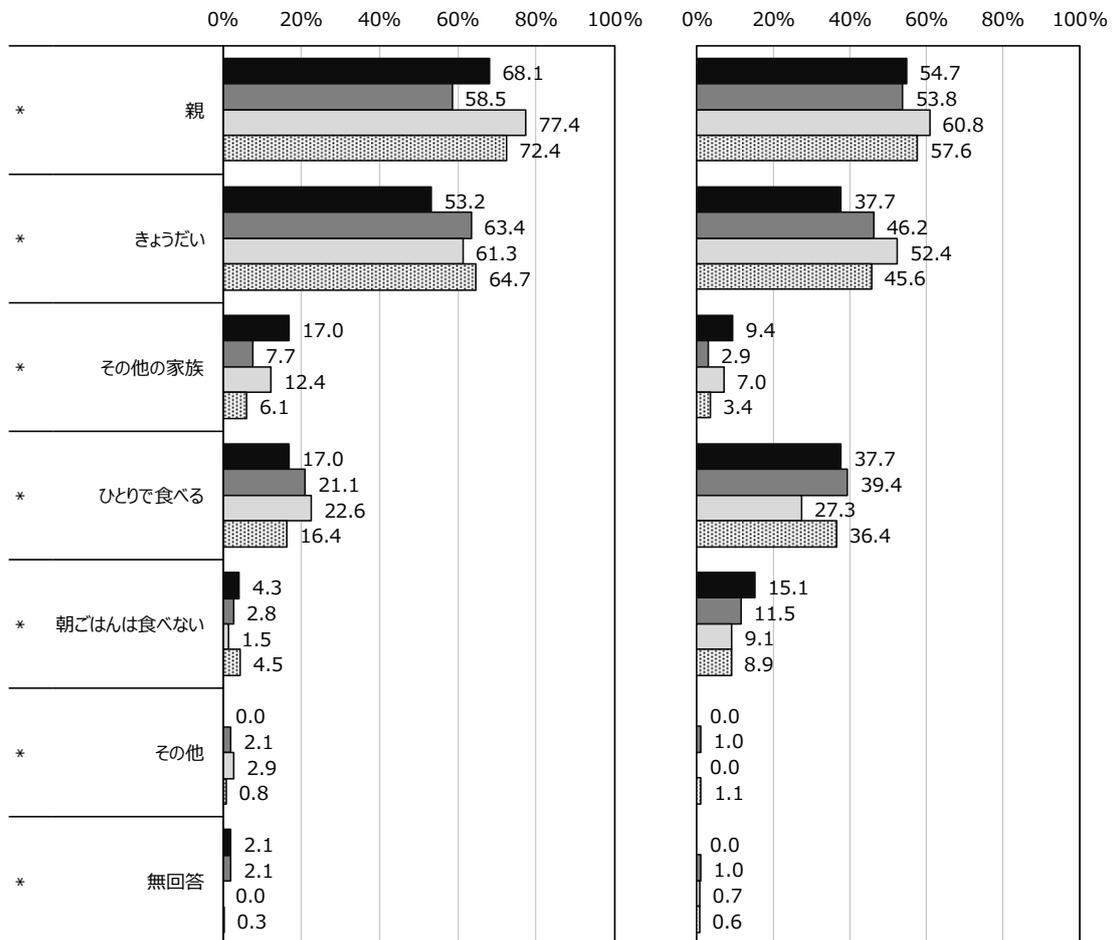
《所得区分別》

学校のない日の朝ごはんについては、小5の所得区分Ⅱを除き、いずれの所得区分においても「親」が最も高くなっており、次いで「きょうだい」となっています。また、「朝ごはんは食べない」では、中2の所得区分Ⅰが15.1%と高くなってしています。

図表 12-1 学校のない日の朝ごはん

【小学5年生】

【中学2年生】



■ 所得区分Ⅰ (n=47, 53)      ■ 所得区分Ⅱ (n=142, 104)  
 □ 所得区分Ⅲ (n=137, 143)      ▨ 所得区分Ⅳ (n=377, 349)

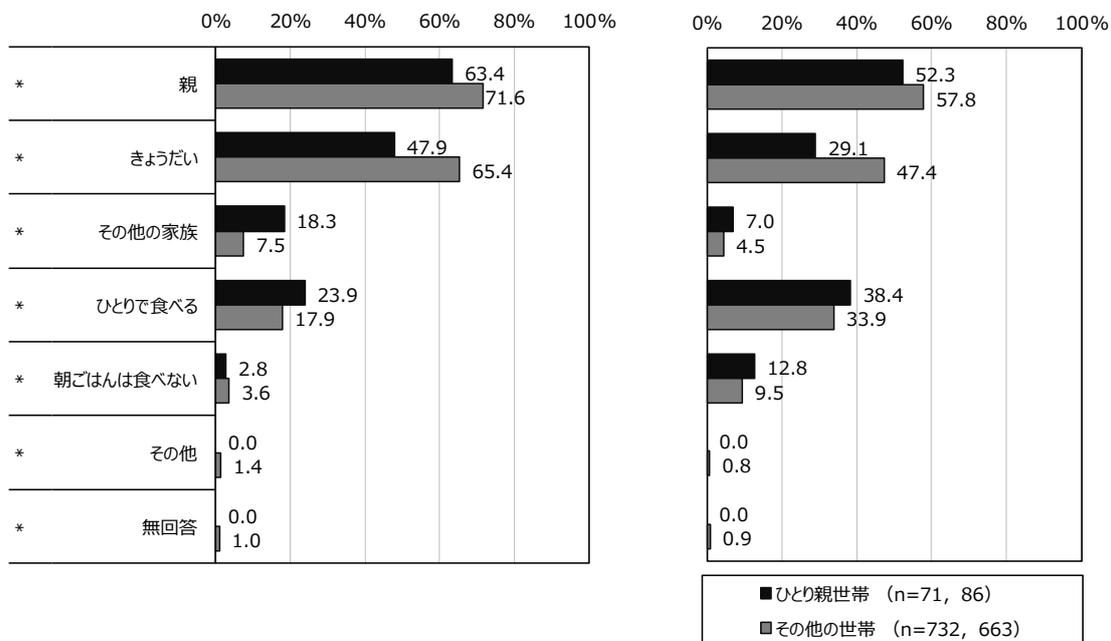
《世帯別》

学校の無い日の朝ごはんについては、小5・中2のいずれの世帯においても「親」が最も高くなっています。ひとり親世帯では、「きょうだい」、次いで「ひとりで食べる」の順となっています。また、「朝ごはんは食べない」では、中2のひとり親世帯が12.8%と高くなっています。

図表 12-2 学校の無い日の朝ごはん

【小学5年生】

【中学2年生】



(4) 学校のない日の夕ごはん

【小学5年生：問 17-4、中学2年生：問 19-4】  
 あなたは、休日（学校のない日）の夕ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

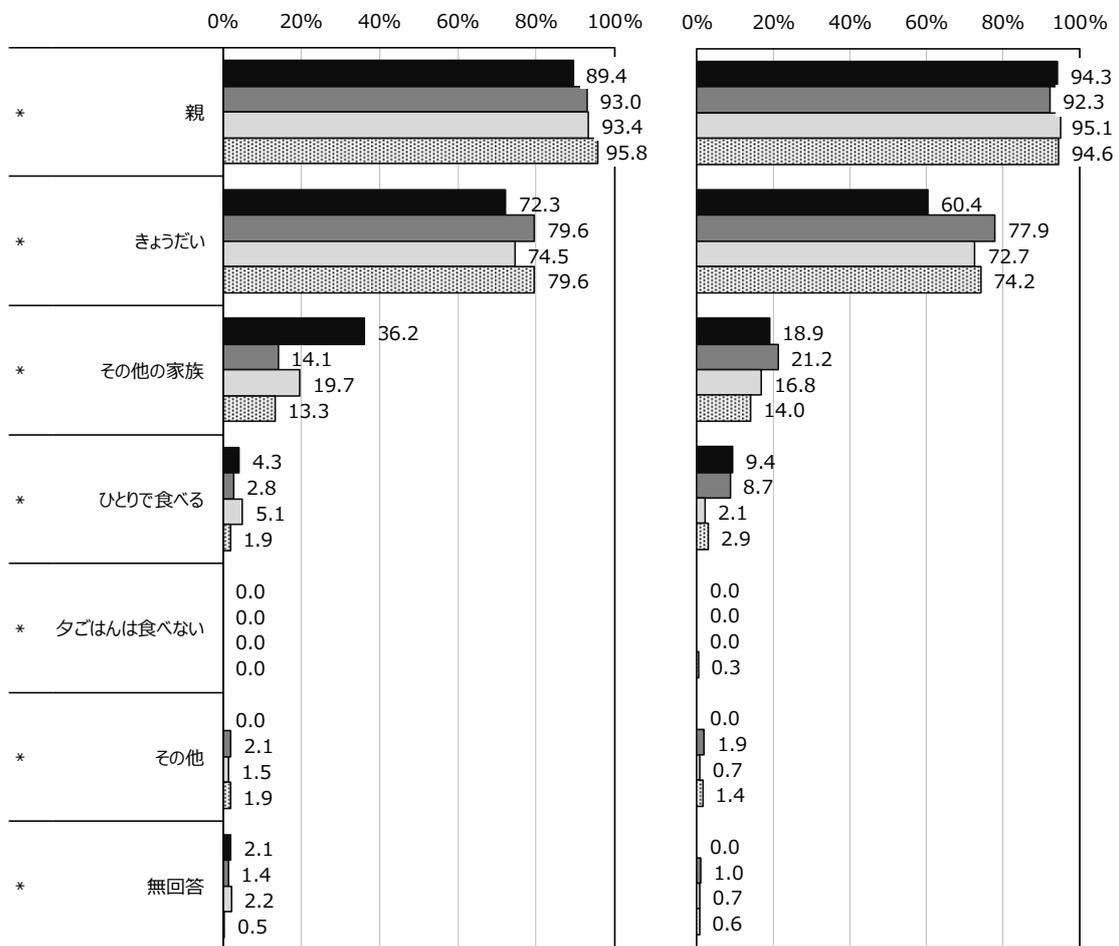
《所得区分別》

学校のない日の夕ごはんについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「親」が最も高くなっており、次いで「きょうだい」、次いで「その他家族」の順となっています。また、「ひとりで食べる」では、中2の所得区分Ⅰが9.4%と高くなっています。

図表 13-1 学校のない日の夕ごはん

【小学5年生】

【中学2年生】

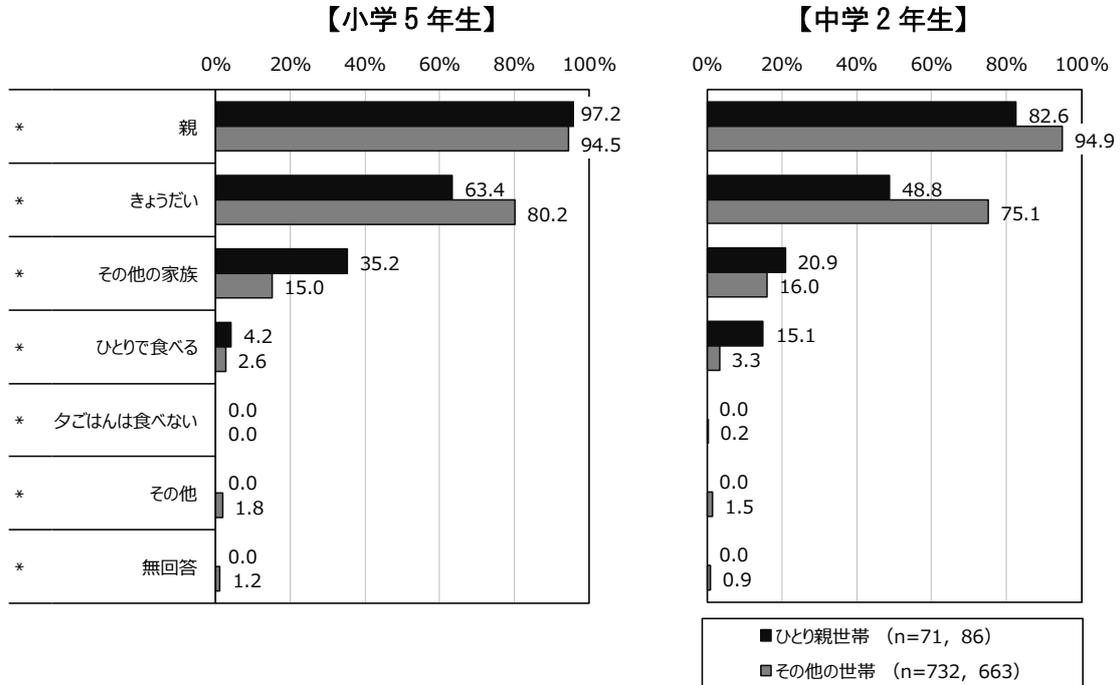


■ 所得区分Ⅰ (n=47, 53)      ■ 所得区分Ⅱ (n=142, 104)  
 □ 所得区分Ⅲ (n=137, 143)      ▨ 所得区分Ⅳ (n=377, 349)

《世帯別》

学校の無い日の夕ごはんについては、小5・中2のいずれの世帯においても「親」が最も高くなっており、次いで「きょうだい」、次いで「その他の家族」の順となっています。また、「その他の家族」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の割合が高くなっています。

図表 13-2 学校の無い日の夕ごはん



## 5. 4 自分のことについて

### (1) 自分自身の思いや気持ち

【小学5年生：問19、中学2年生：問21】  
 あなたの思いや気持ちを聞かせてください。  
 次のA～Fのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。  
 (○はそれぞれひとつ)

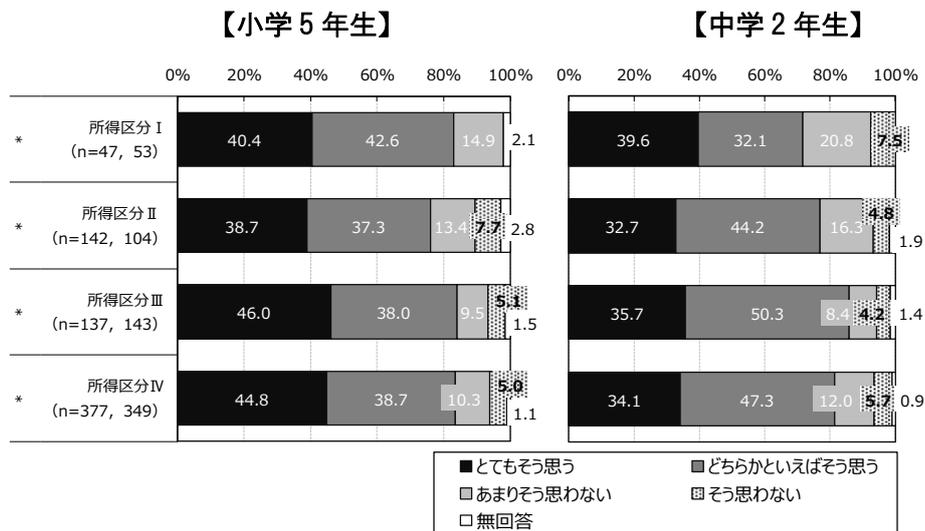
#### (1-1) ア (A) がんばれば、むくわれる

##### 《所得区分別》

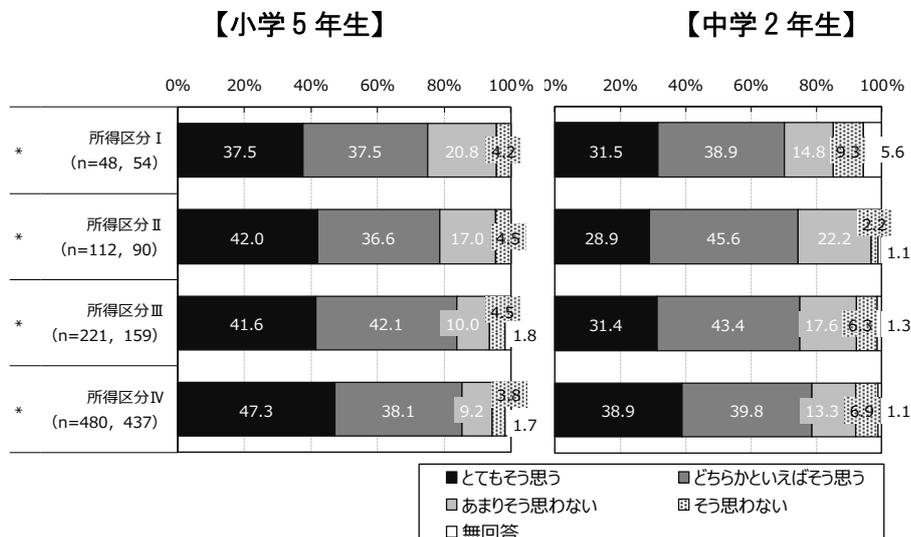
がんばれば、むくわれるについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「そう思う」「とてもそう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合が7割を超えています。

平成30年度調査と比較して、中2の所得区分Iの「とてもそう思う」の割合は8.1%高くなっています。

図表 14-1 ア (A) がんばれば、むくわれる



[平成30年度調査 図表 14-1 ア (A) がんばれば、むくわれる]

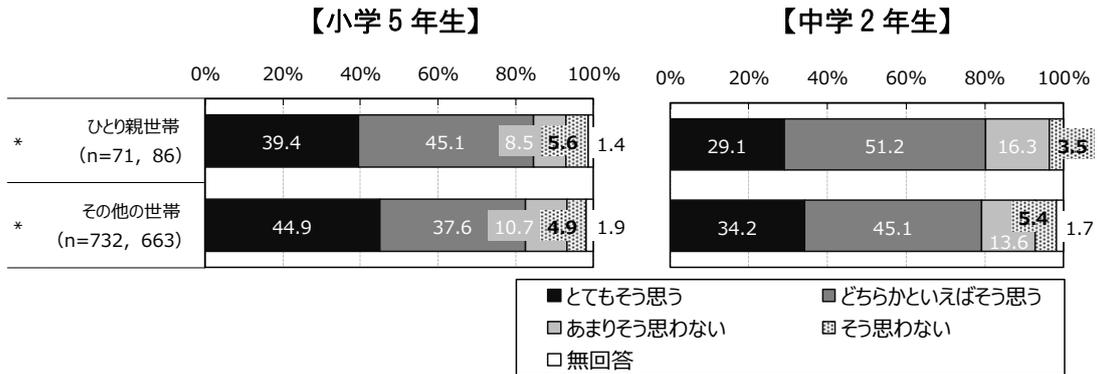


《世帯別》

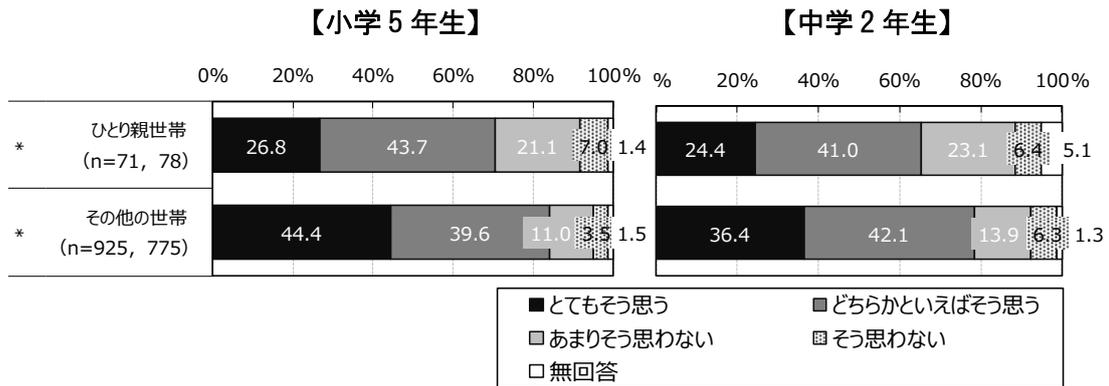
がんばれば、むくわれるについては、小5・中2のいずれの世帯においても「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が約8割となっています。いずれの学年・世帯においても、「とてもそう思う」の割合は、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯では、「とてもそう思う」の割合が12.6%高くなり、「あまりそう思わない」の割合が12.6%低くなっています。

図表 14-2 ア（A）がんばれば、むくわれる



[平成30年度調査 図表 14-2 ア（A）がんばれば、むくわれる]



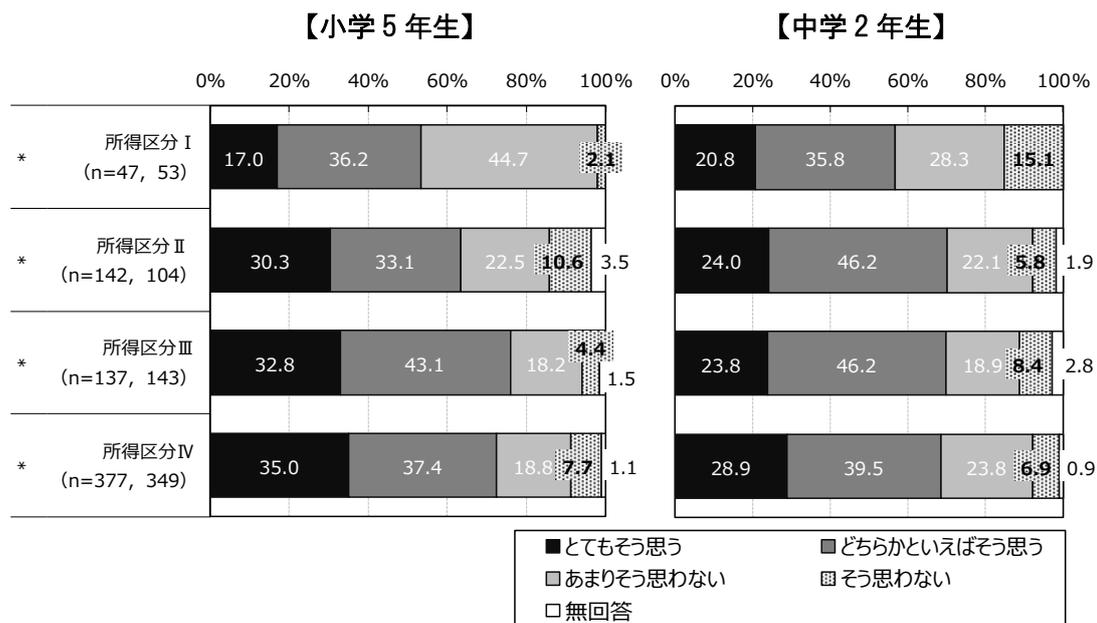
(1-2) イ (B) 自分は価値のある人間だと思う

《所得区分別》

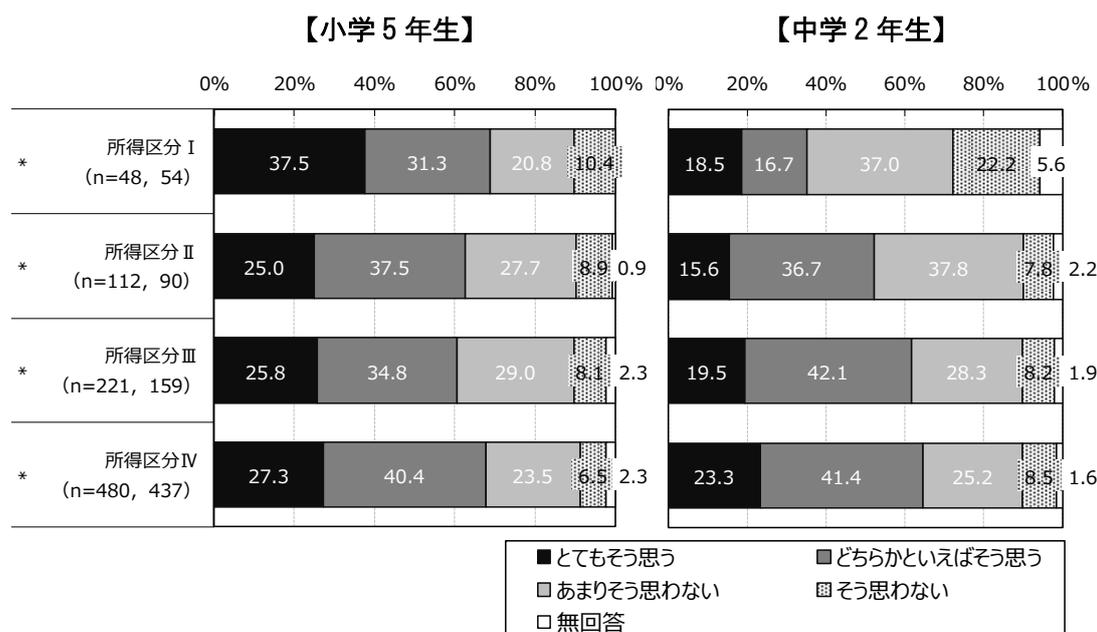
自分は価値のある人間だと思うについては、いずれの所得区分においても「そう思う」(「とてもそう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合が半数以上となっています。また、いずれの所得区分 I では、「そう思わない」(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較して、小 5 の所得区分 I の「あまりそう思わない」の割合が 23.9% 高くなっています。

図表 14-3 イ (B) 自分は価値のある人間だと思う



[平成 30 年度調査 図表 14-3 イ (B) 自分は価値のある人間だと思う]

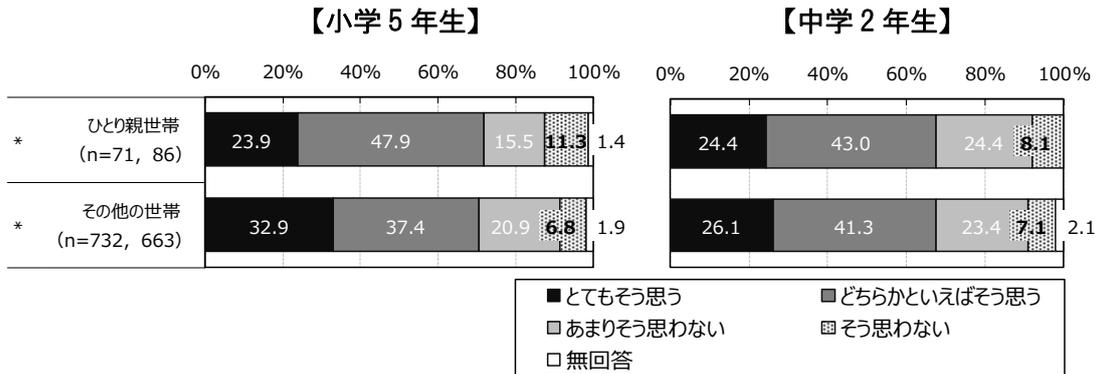


《世帯別》

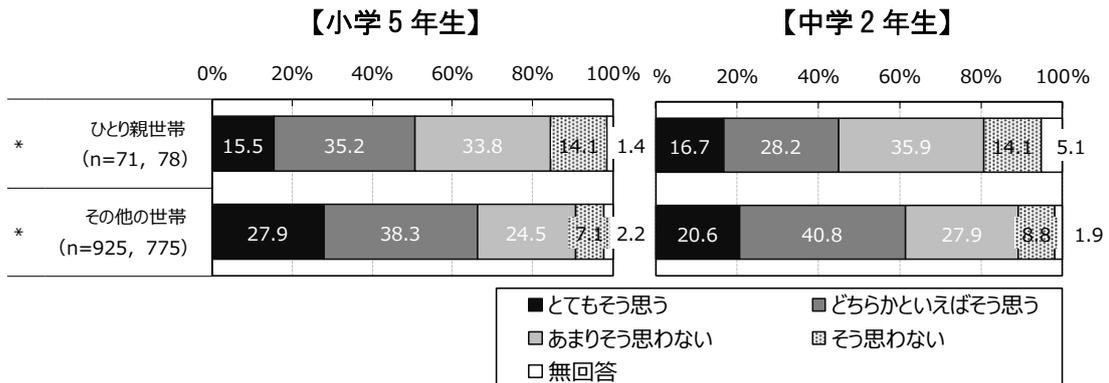
自分は価値のある人間だと思うについては、小5・中2のいずれの世帯においても、「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合は約7割となっており、小5のひとり親世帯が71.8%と最も高くなっています。また、小5・中2ともに、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「とてもそう思う」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯の「あまりそう思わない」の割合が18.3%低くなっています。

図表 14-4 イ（B）自分は価値のある人間だと思う



[平成30年度調査 図表 14-4 イ（B）自分は価値のある人間だと思う]

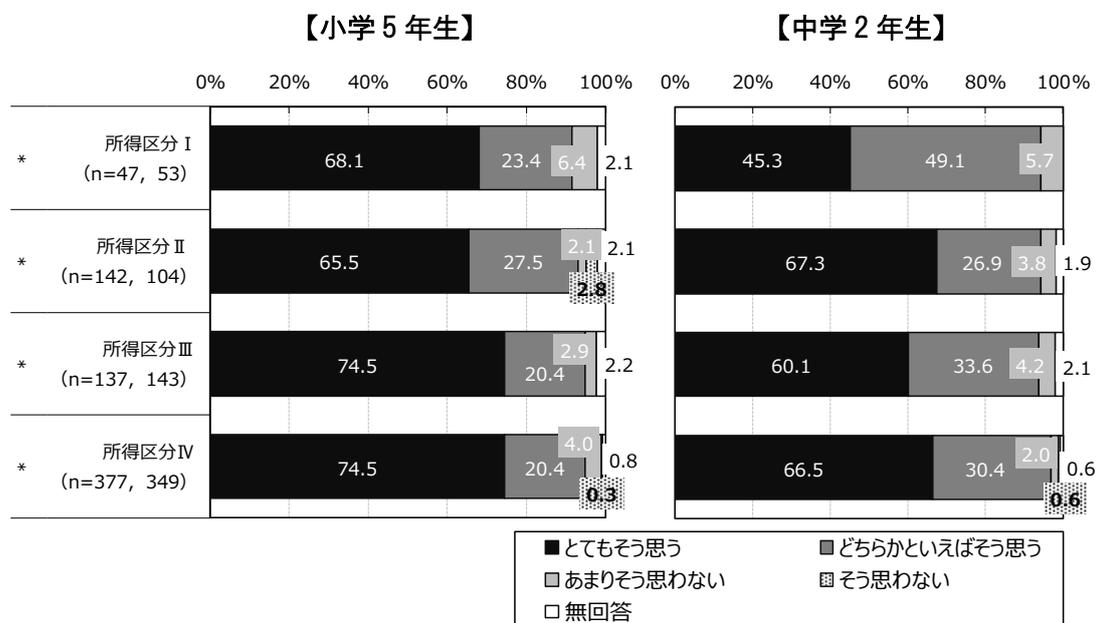


(1-3) ウ (C) 自分は家族に大事にされている

《所得区分別》

自分は家族に大事にされているについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が大半を占めています。

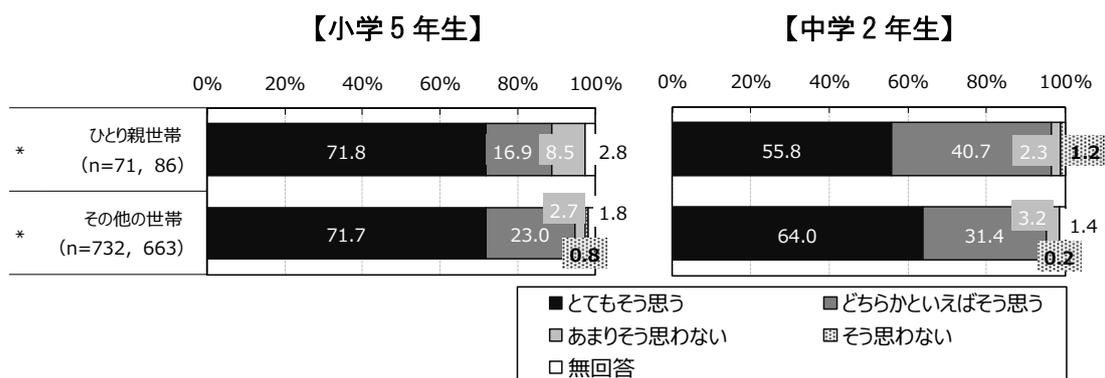
図表 14-5 ウ (C) 自分は家族に大事にされている



《世帯別》

自分は家族に大事にされているについては、小5・中2のいずれの世帯においても、「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が8割を超えており、大半を占めています。中2のひとり親世帯では96.5%と最も高くなっています。

図表 14-6 ウ (C) 自分は家族に大事にされている

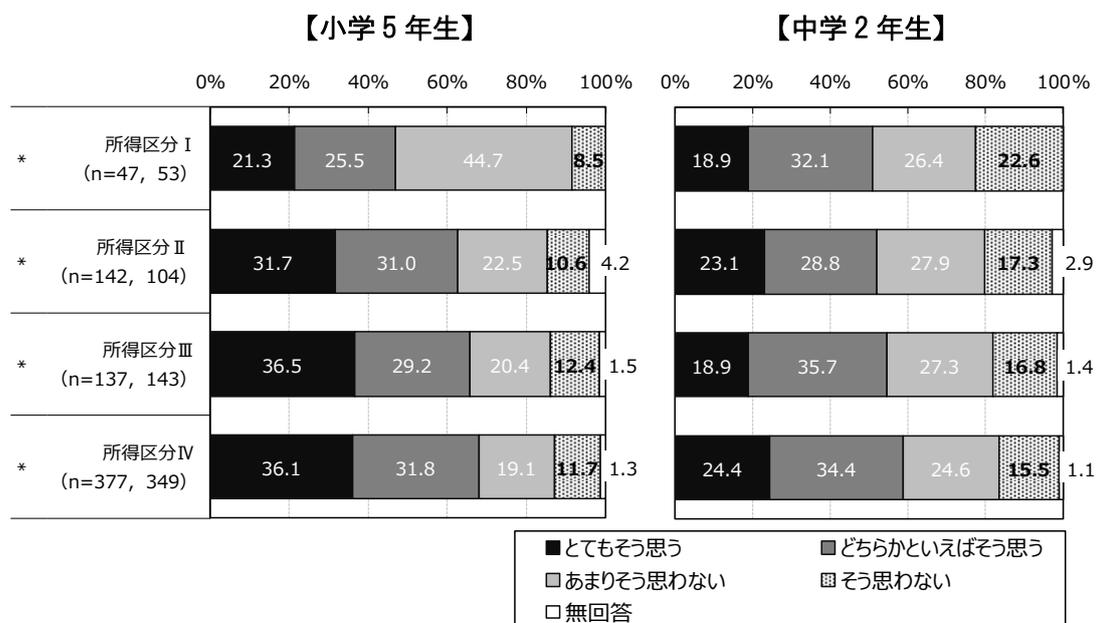


(1-4) エ (D) 不安に感じることはない

《所得区分別》

不安に感じることはないについては、小5の所得区分Ⅰを除き、いずれの所得区分においても「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が半数を超えています。また、小5・中2ともに所得が上がるにつれて、「そう思う」の割合が高くなっています。

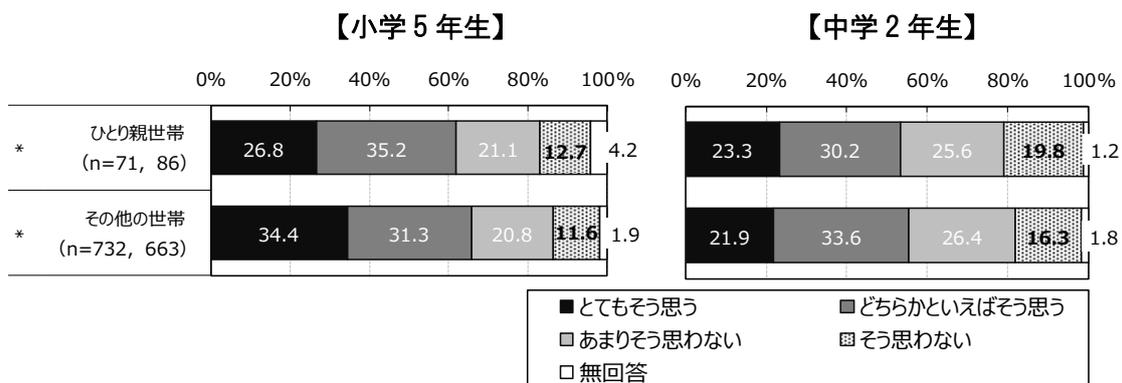
図表 14-7 エ (D) 不安に感じることはない



《世帯別》

不安に感じることはないについては、小5・中2のいずれの世帯においても「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が半数を超えており、小5のその他の世帯が65.7%と最も高くなっています。

図表 14-8 エ (D) 不安に感じることはない



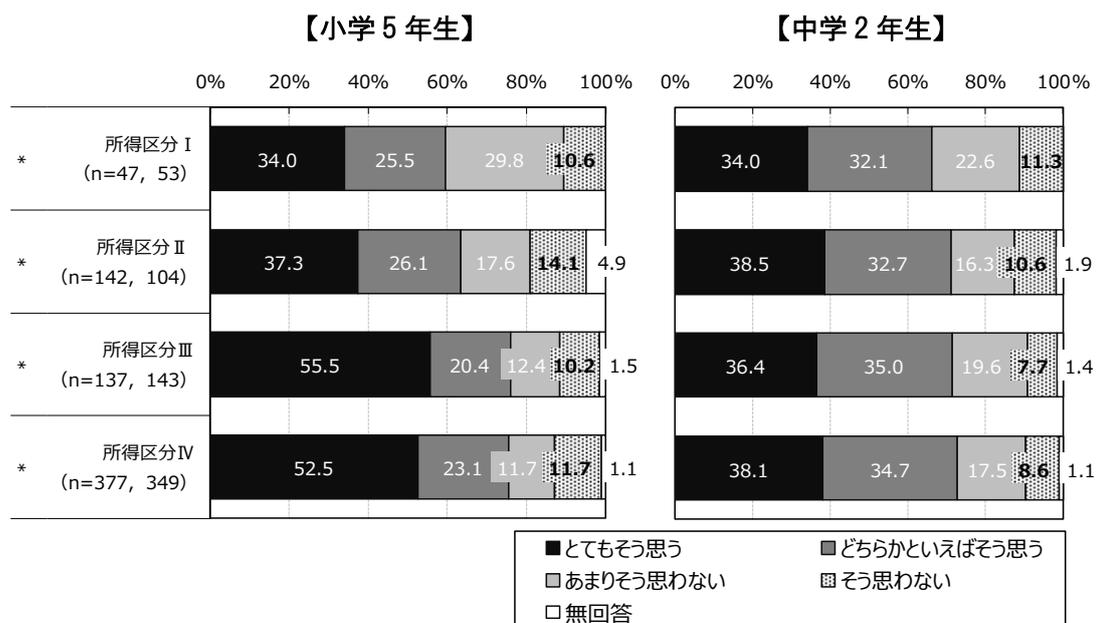
(1-5) オ (E) 孤独を感じることはない

《所得区分別》

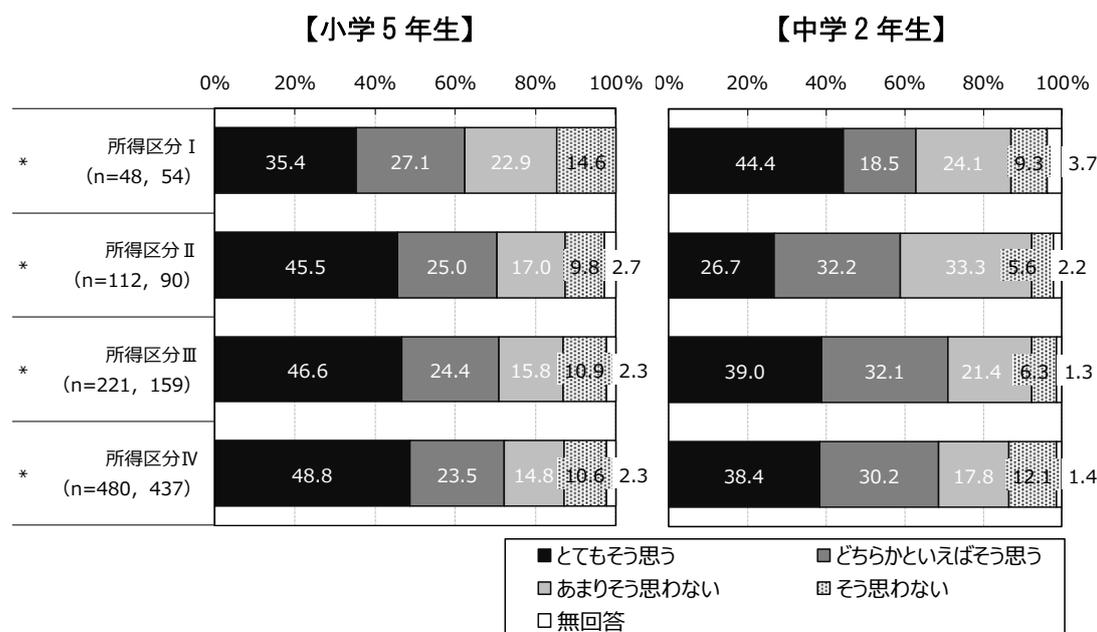
孤独を感じることはないについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「そう思う」(「とてもそう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合が半数を超えています。また、小5の所得区分Ⅲにおいては75.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2の所得区分Ⅱにおいては、「そう思う」(「とてもそう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合が12.3%高くなっています。

図表 14-9 オ (E) 孤独を感じることはない



[平成30年度調査 図表 14-9 オ (E) 孤独を感じることはない]

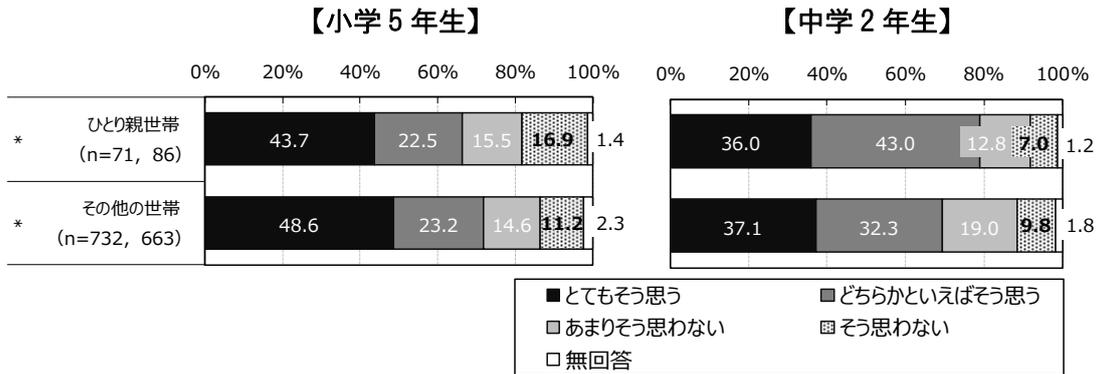


《世帯別》

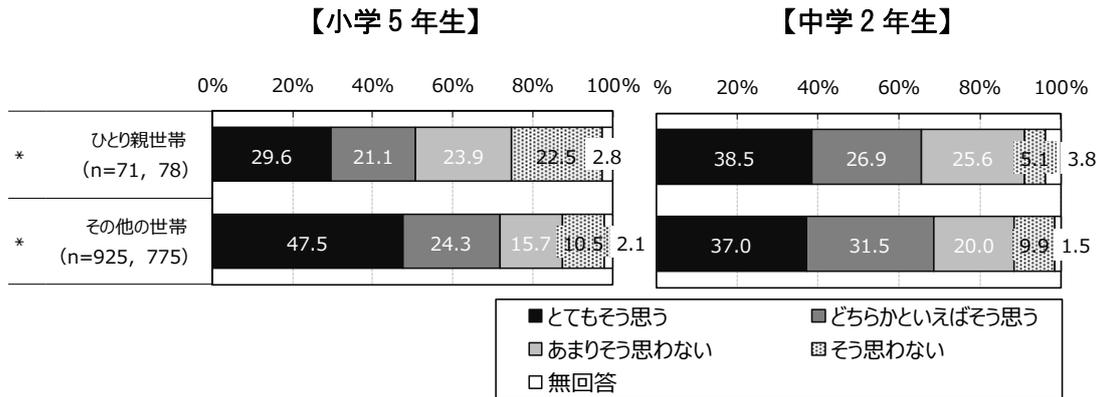
孤独を感じることはないについては、小5・中2のいずれの世帯においても「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が半数を超えており、中2のひとり親世帯が79.0%と最も高くなっています。「そう思わない」（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）では、小5のひとり親世帯が32.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯において「とてもそう思う」の割合は14.1%高くなっています。

図表 14-10 オ（E）孤独を感じることはない



[平成30年度調査 図表 14-10 オ（E）孤独を感じることはない]



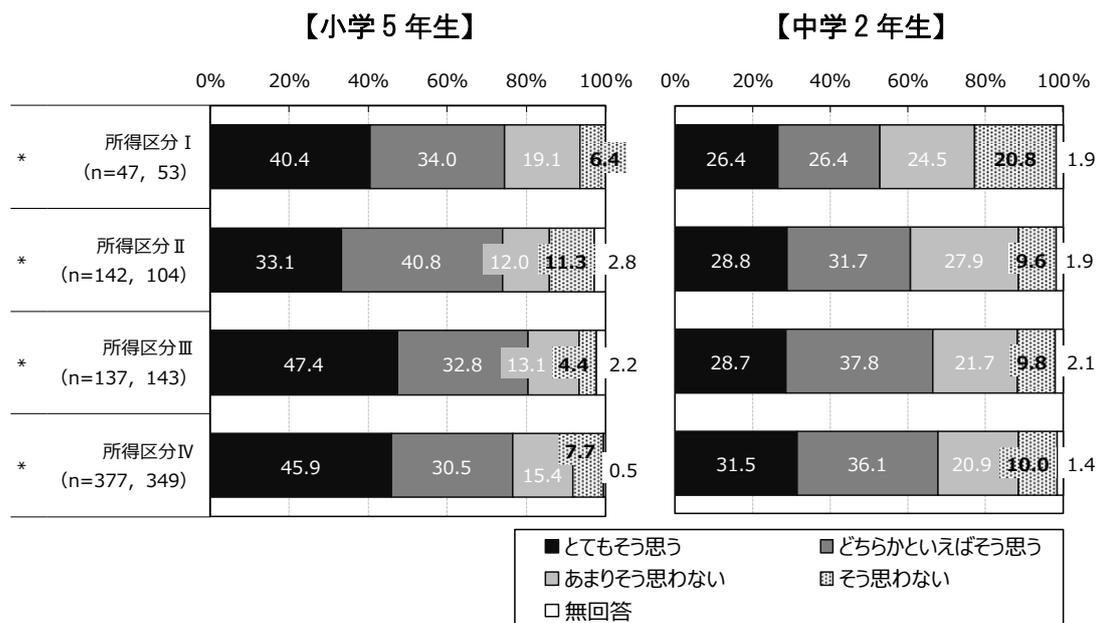
(1-6) カ (F) 自分の将来が楽しみだ

《所得区分別》

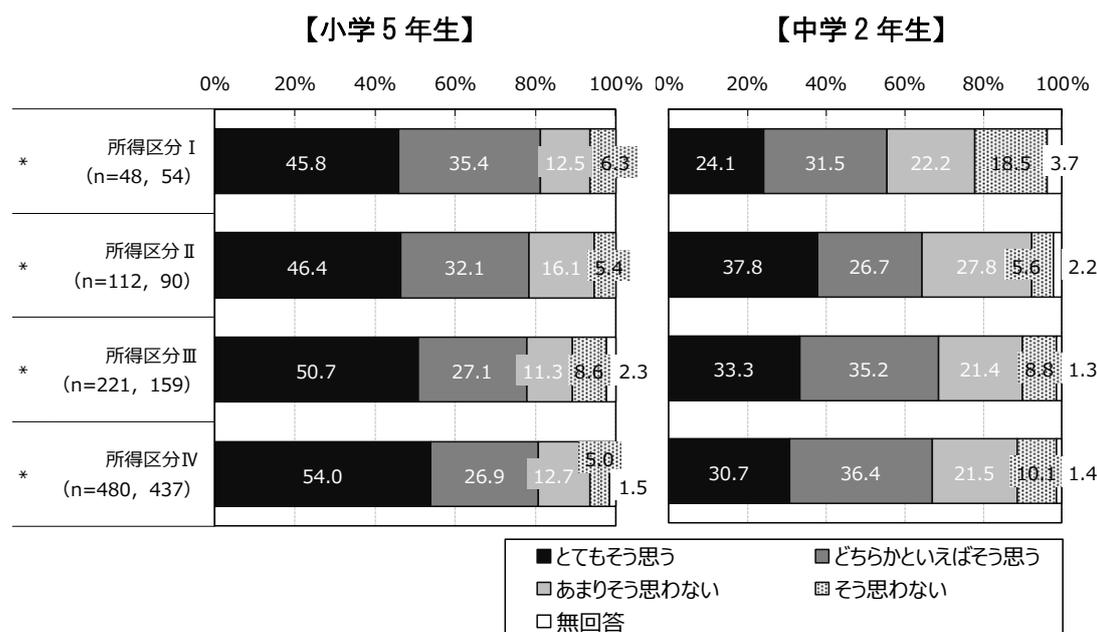
自分の将来が楽しみだについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「そう思う」(「とてもそう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合が半数を超えています。また、中2では「そう思わない」(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)では、所得が低くなるにつれて高くなる傾向があります。

平成30年度調査と比較して、小5の所得区分Ⅱの「とてもそう思う」の割合は13.3%低くなっています。

図表 14-11 カ (F) 自分の将来が楽しみだ



[平成30年度調査 図表 14-11 カ (F) 自分の将来が楽しみだ]

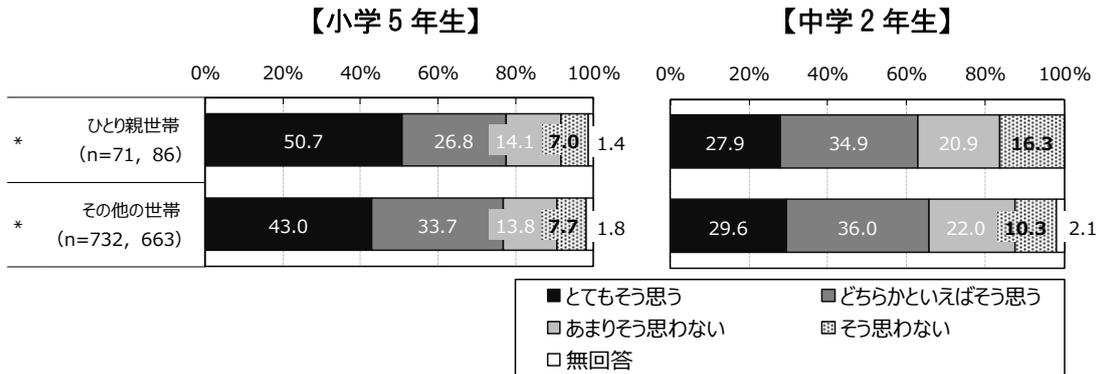


《世帯別》

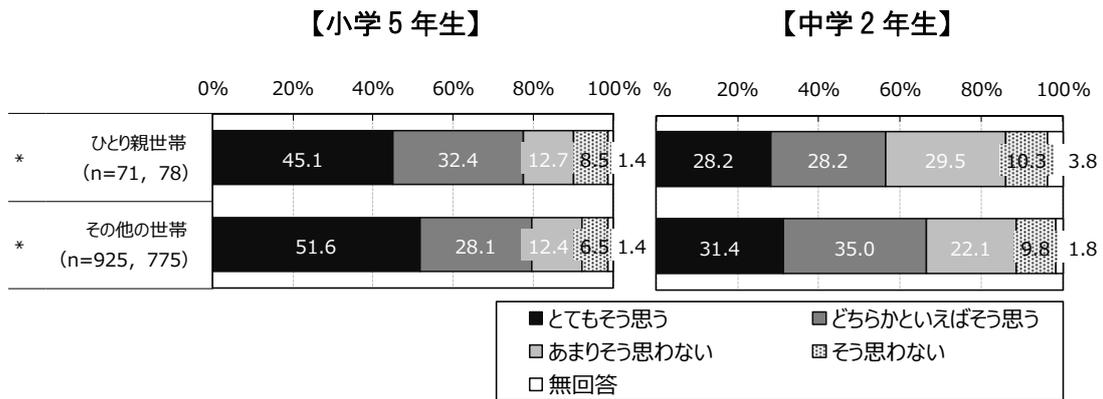
自分の将来が楽しみだについては、小5・中2のいずれの世帯においても、「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合が半数を超えており、小5のひとり親世帯が77.5%と最も高くなっています。また、「そう思わない」（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）では、中2のひとり親世帯が37.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2のひとり親世帯において、「そう思う」（「とてもそう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）の割合は、6.4%高くなっています。

図表 14-12 カ（F）自分の将来が楽しみだ



[平成30年度調査 図表 14-12 カ（F）自分の将来が楽しみだ]



(2) 学校などでの経験

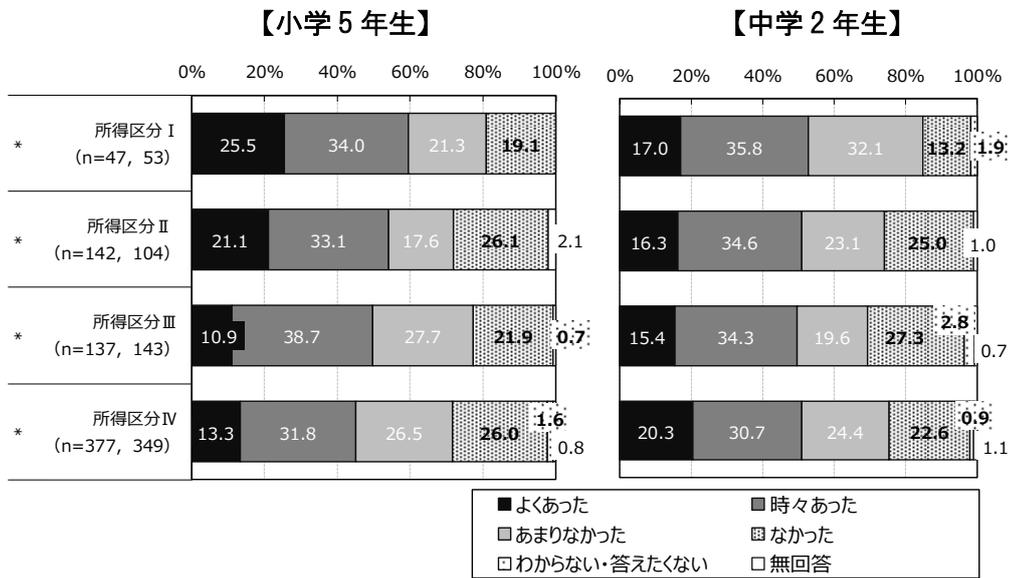
【小学5年生：問20、中学2年生：問22】  
 あなたは、これまでにA～Dのようなことがありましたか。  
 それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(2-1) ア (A) 学校に行きたくないと思った

《所得区分別》

学校に行きたくないと思ったについては、すべての所得区分において「あった」（「よくあった」＋「時々あった」）の割合が40%を超えています。また、小5では所得が低いほど、「なかった」（「あまりなかった」＋「なかった」）の割合が低くなっています。

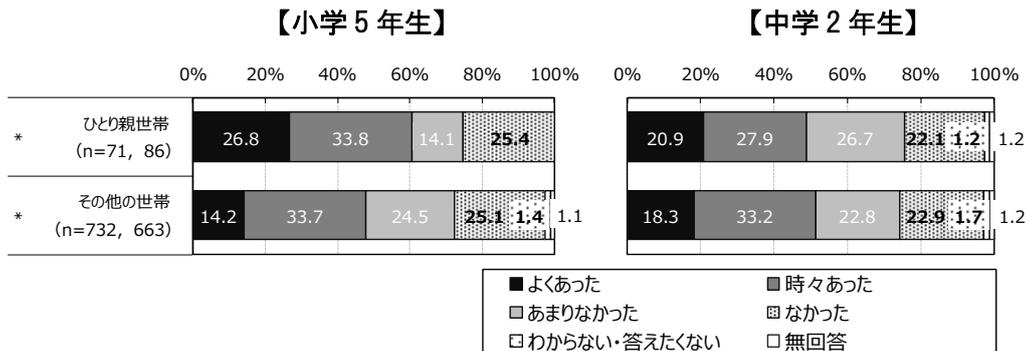
図表 15-1 ア (A) 学校に行きたくないと思った



《世帯別》

学校に行きたくないと思ったについては、小5のひとり親世帯で、「あった」（「よくあった」＋「時々あった」）の割合が60.6%と最も高くなっています。小5においては「なかった」（「あまりなかった」＋「なかった」）では、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高くなっています。

図表 15-2 ア (A) 学校に行きたくないと思った

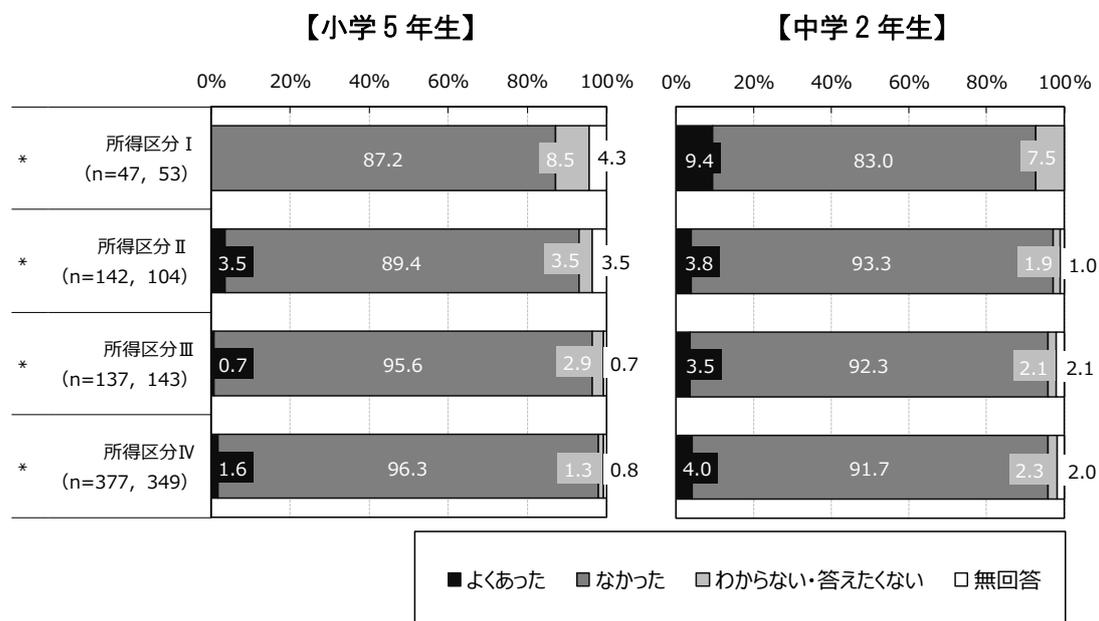


(2-2) イ (B) 1ヶ月以上学校を休んだ

《所得区分別》

1ヶ月以上学校を休んだについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「なかった」が大半を占めています。

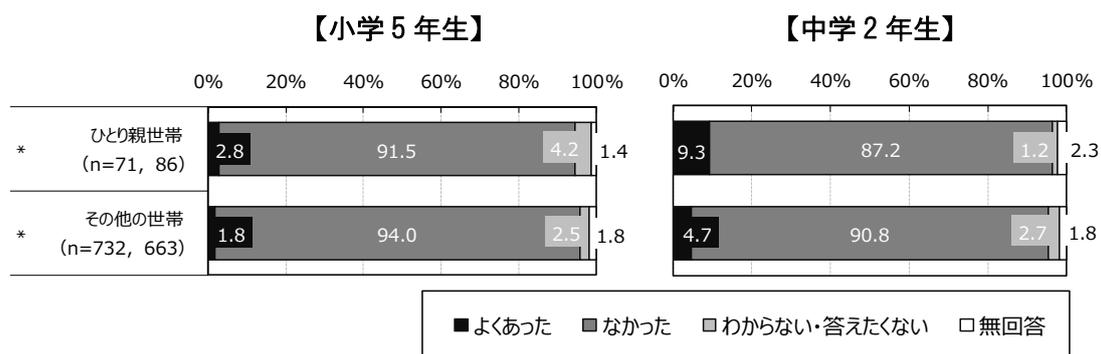
図表 15-3 イ (B) 1ヶ月以上学校を休んだ



《世帯別》

1ヶ月以上学校を休んだについては、小5・中2のいずれの世帯においても「なかった」が大半を占めています。「よくあった」では中2のひとり親世帯で9.3%と最も高くなっています。

図表 15-4 イ (B) 1ヶ月以上学校を休んだ

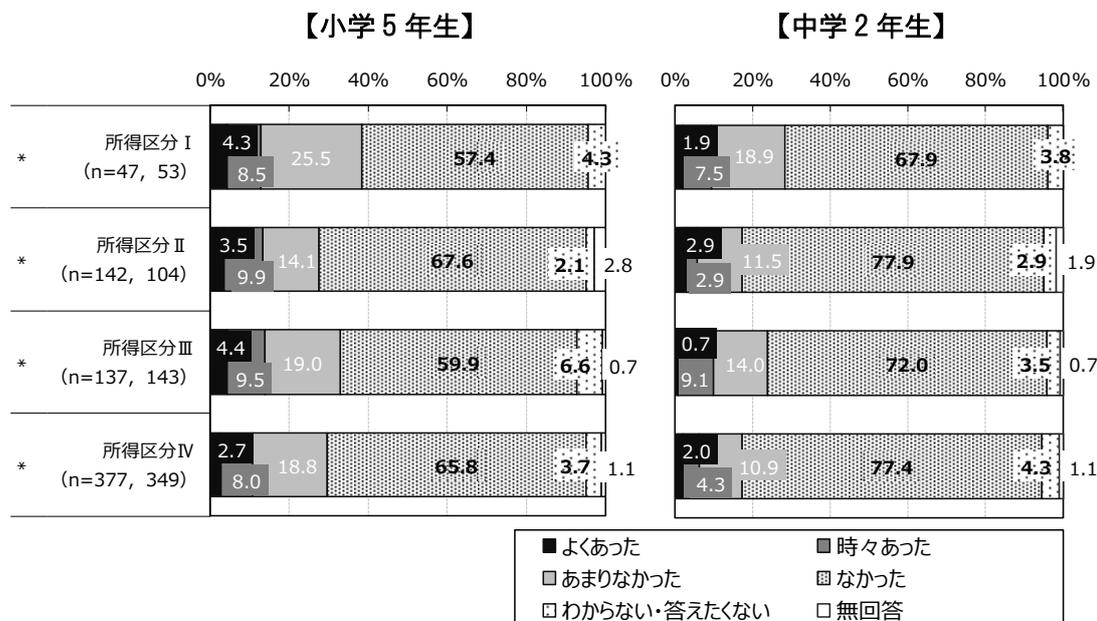


## (2-3) ウ (C) いじめられた

### 《所得区分別》

いじめられたについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「なかった」（「あまりなかった」＋「なかった」）の割合が大半を占めています。「あった」（「よくあった」＋「時々あった」）では、小5の所得区分Ⅲが13.9%と最も高くなっています。また、小5ではいずれの所得区分でも「あった」が1割以上となっています。

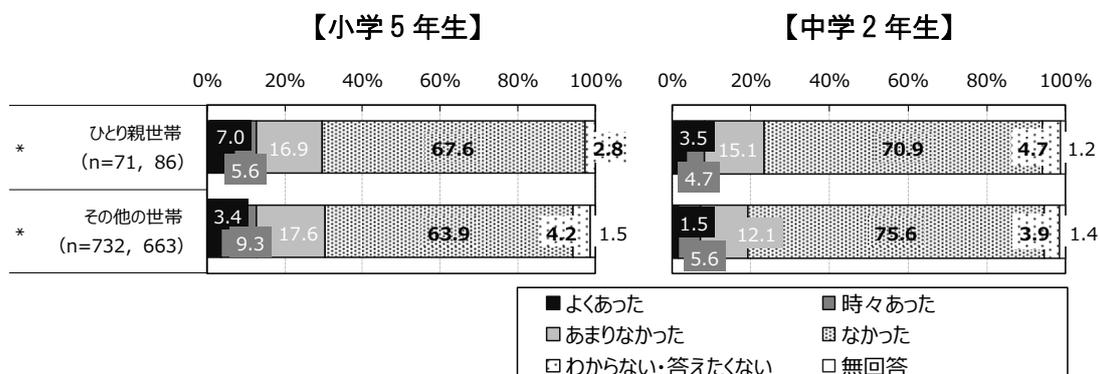
図表 15-5 ウ (C) いじめられた



### 《世帯別》

いじめられたについては、小5・中2のいずれの世帯においても「なかった」（「あまりなかった」＋「なかった」）の割合が高くなっています。「あった」（「よくあった」＋「時々あった」）では、小5のその他の世帯で12.7%と最も高くなっています。

図表 15-6 ウ (C) いじめられた

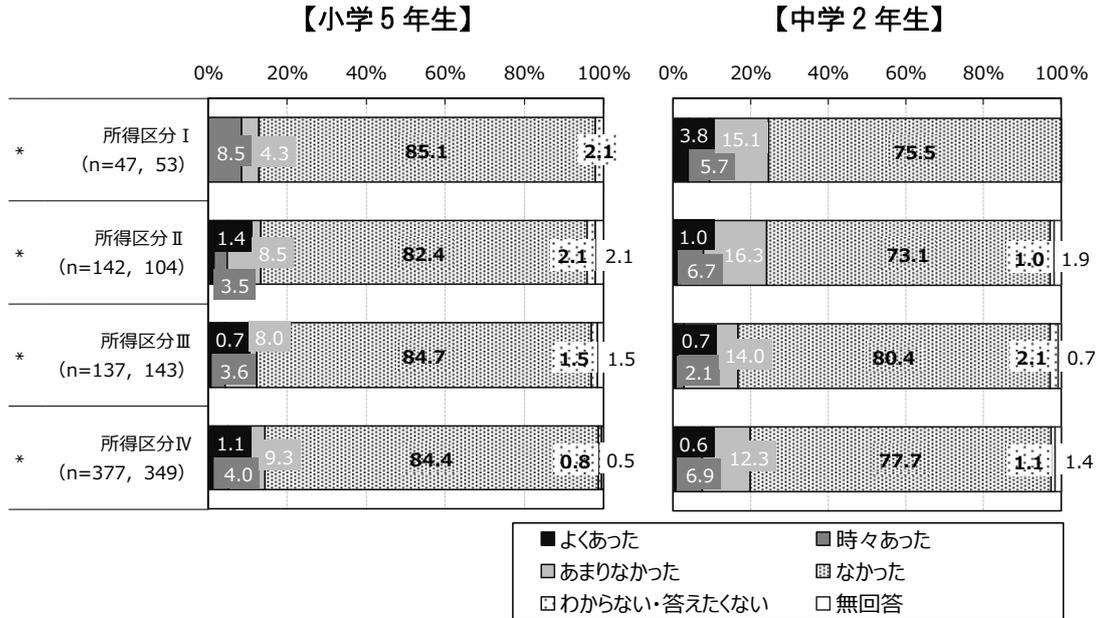


(2-4) エ (D) 夜遅くまで子どもだけで過ごした

《所得区分別》

夜遅くまで子どもだけで過ごしたについては、小5・中2のいずれの所得区分においても「なかった」（「あまりなかった」＋「なかった」）の割合が大半を占めています。「あった」（「よくあった」＋「時々あった」）では、中2の所得区分Ⅰが9.5%と最も高くなっています。

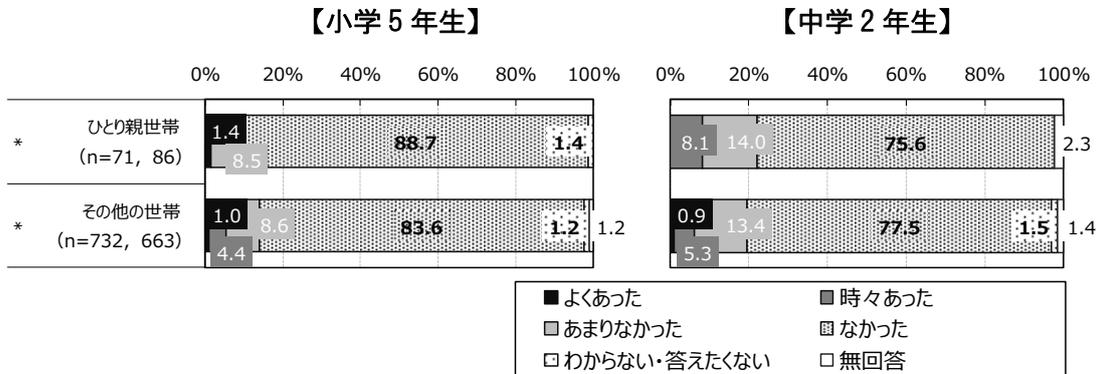
図表 15-7 エ (D) 夜遅くまで子どもだけで過ごした



《世帯別》

夜遅くまで子どもだけで過ごしたについては、小5・中2のいずれの世帯においても「なかった」（「あまりなかった」＋「なかった」）の割合が8割以上となっており、大半を占めています。「あった」（「よくあった」＋「時々あった」）では、中2のひとり親世帯が8.1%と最も高くなっています。

図表 15-8 エ (D) 夜遅くまで子どもだけで過ごした



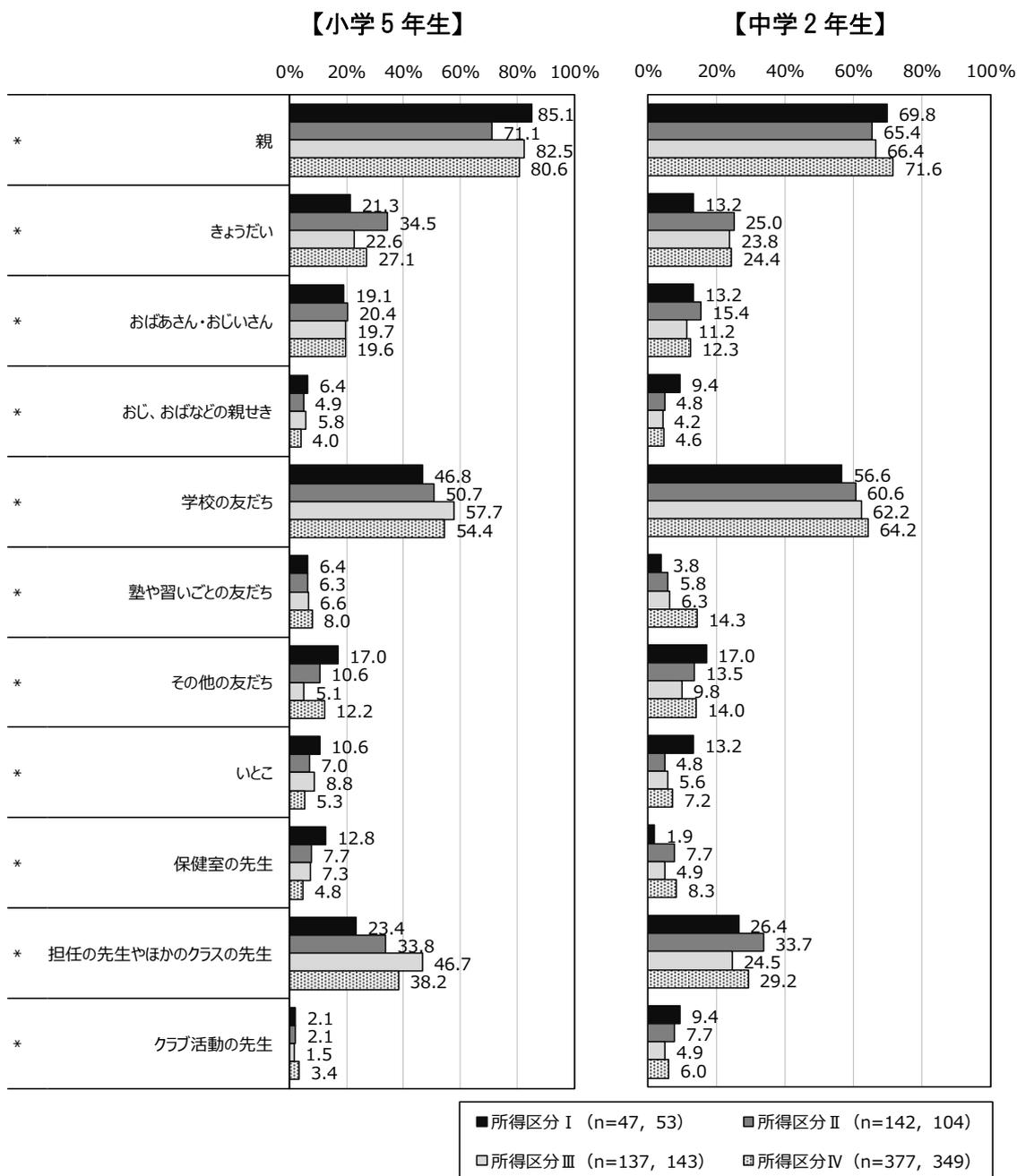
(3) 相談先

【小学5年生：問21、中学2年生：問23】  
 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

《所得区分別》

嫌なことや悩んでいるときの相談先については、小5・中2ともに、いずれの所得区分においても「親」が最も高くなっており、次いで「学校の友だち」、「担任の先生やほかのクラスの先生」の順となっています。

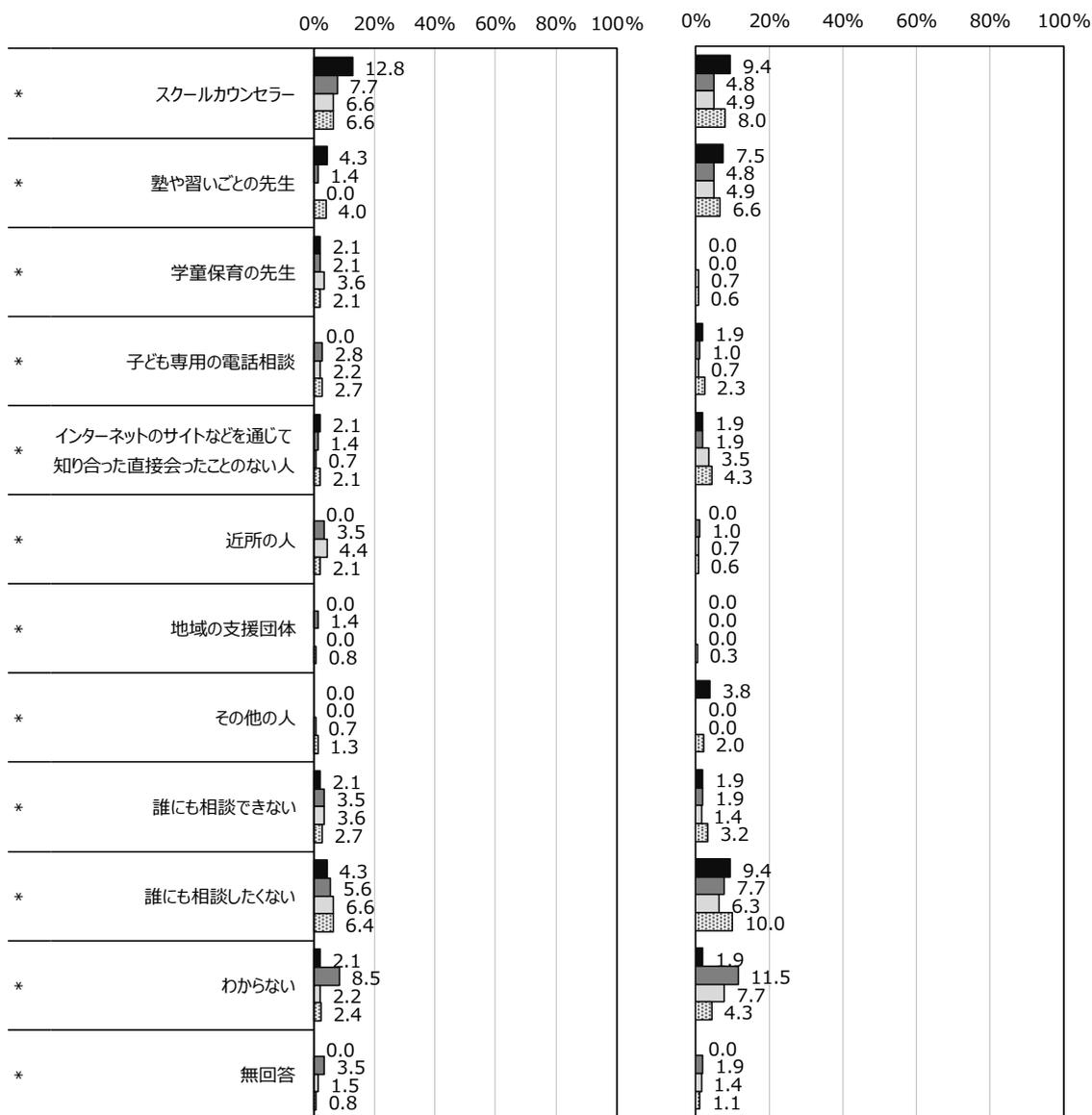
図表 16-1 相談先



図表 16-1 相談先（続き）

【小学5年生】

【中学2年生】

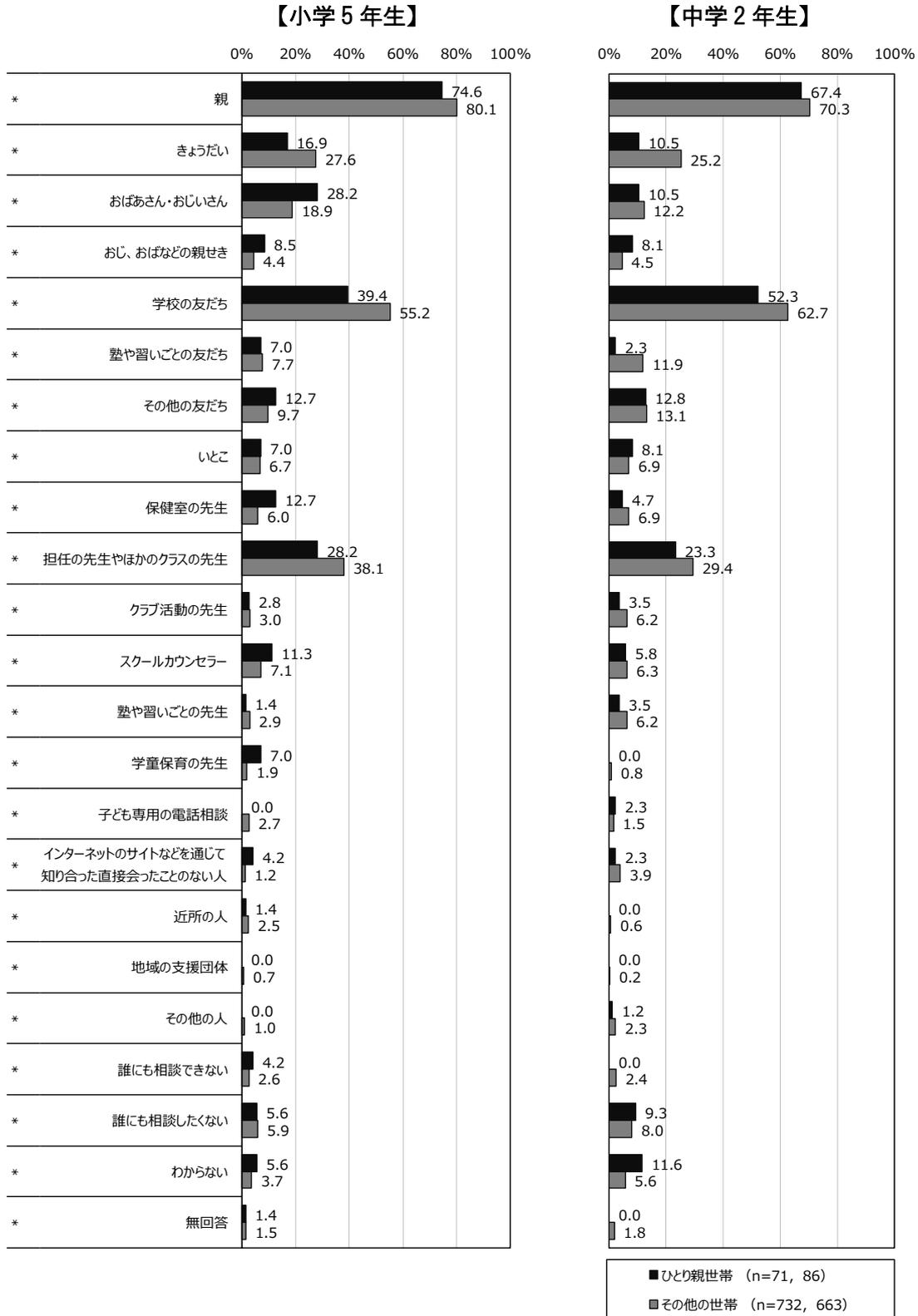


■ 所得区分 I (n=47, 53)      ■ 所得区分 II (n=142, 104)  
 □ 所得区分 III (n=137, 143)      ▨ 所得区分 IV (n=377, 349)

《世帯別》

嫌なことや悩んでいるときの相談先については、小5・中2のいずれの世帯においても「親」が最も高くなっており、次いで「学校の友だち」となっていますが、小5・中2のその他の世帯では「きょうだい」の割合も高くなっていきます。

図表 16-2 相談先



## Ⅵ 保護者（小学1年生・小学5年生・中学2年生）調査 （クロス集計）

### 6. 1 就労について

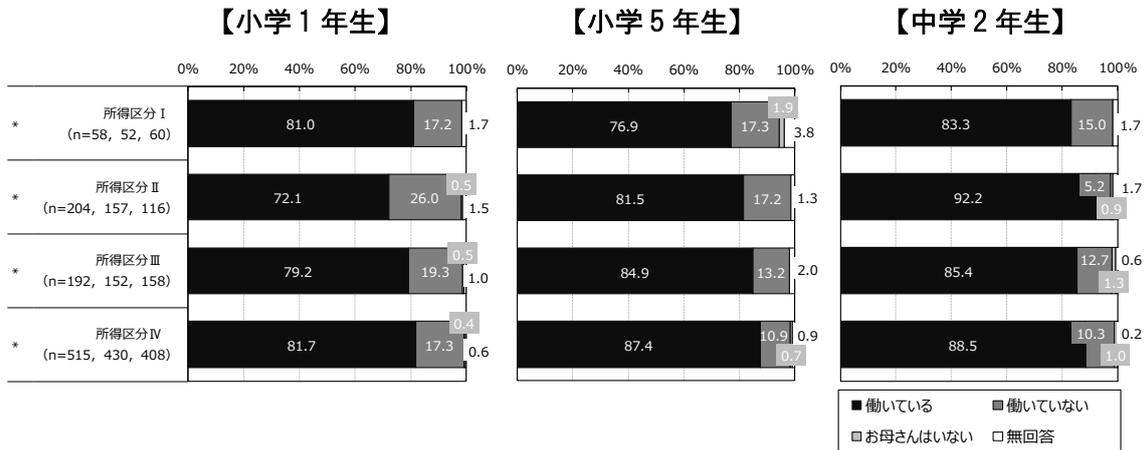
#### （1）就労状況「母親」

【小学5年生・中学2年生：問5-1】  
 お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）は、現在働いていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください（○はひとつ）

#### 《所得区分別》

母親の就労状況については、いずれの学年・所得区分においても「働いている」の割合が最も高くなっています。小1では「働いていない」がいずれの所得区分においても約2割となっています。

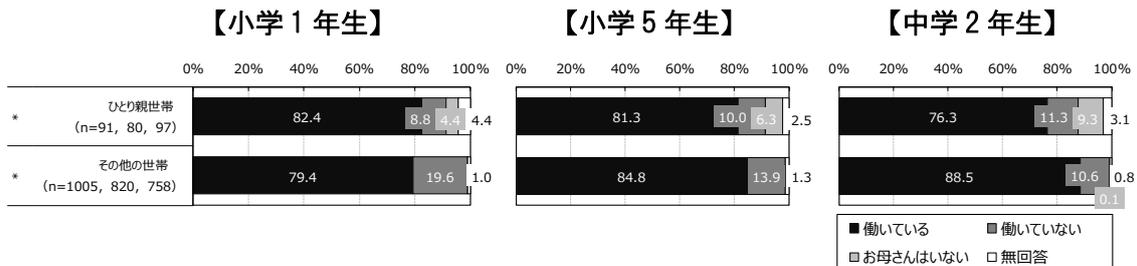
図表 17-1 就労状況「母親」



#### 《世帯別》

母親の就労状況については、いずれの学年・世帯においても「働いている」の割合が最も高くなっており、中2のその他の世帯が88.5%と最も高くなっています。また、「働いていない」では、小1のその他の世帯が19.6%と最も高くなっています。

図表 17-2 就労状況「母親」



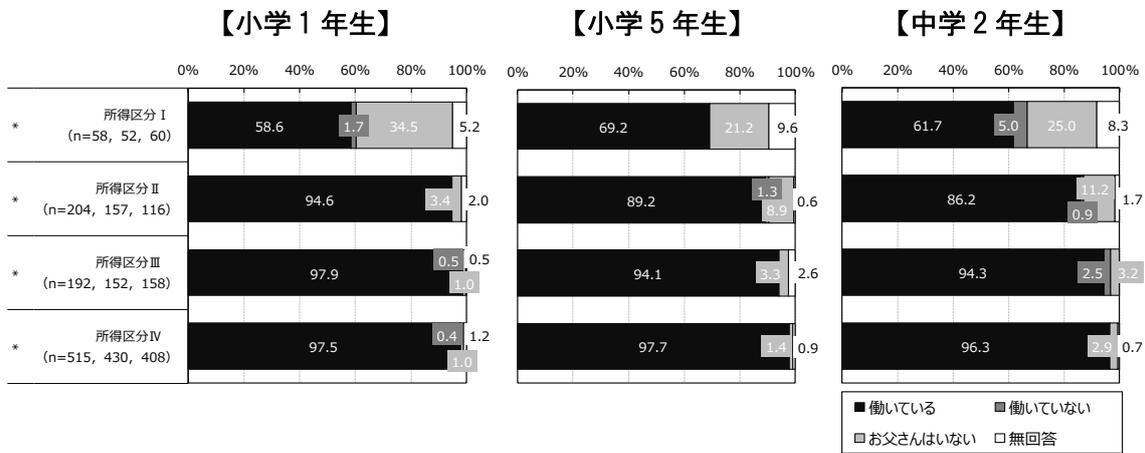
(2) 就労状況「父親」

【小学5年生・中学2年生：問7-1】  
 お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）は、現在働いていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください（○はひとつ）

《所得区分別》

父親の就労状況については、所得区分Ⅰを除く、いずれの学年・所得区分においても「働いている」が大半を占めています。一方、所得区分Ⅰではいずれの学年においても「働いている」お父さんは約半数となっており、「お父さんはいない」子の割合は、2～3割となっています。また、所得区分Ⅲ・Ⅳでは「働いている」お父さんの割合は、いずれの学年においても9割以上となっています。

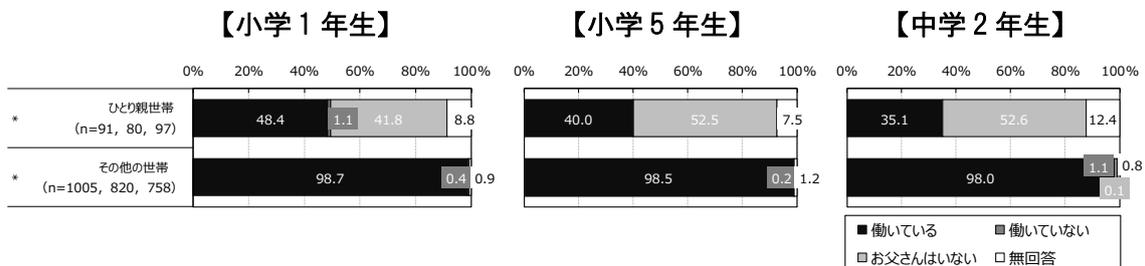
図表 18-1 就労状況「父親」



《世帯別》

父親の就労状況については、いずれの学年においても、その他の世帯では「働いている」が9割以上となっており、大半を占めています。一方、ひとり親世帯では小1を除く、いずれの学年においても、「お父さんはいない」の割合が高くなっています。

図表 18-2 就労状況「父親」



## 6. 2 お子さんのことについて

### (1) ひらがな

【小学1年生のみ：問9-1】

あなたのお子さんは小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けましたか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

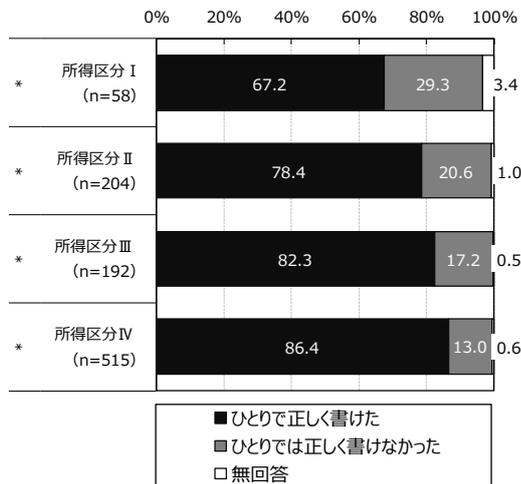
《所得区分別》

小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けたかについては、「ひとりで正しく書けた」が大半を占めており、所得が上がるにつれて、割合が高くなっています。一方「ひとりでは正しく書けなかった」では、所得が上がるにつれて、割合が低くなっています。

平成30年度調査と比較して、小1の所得区分Ⅰの「ひとりで正しく書けた」の割合が11.4%低くなっています。

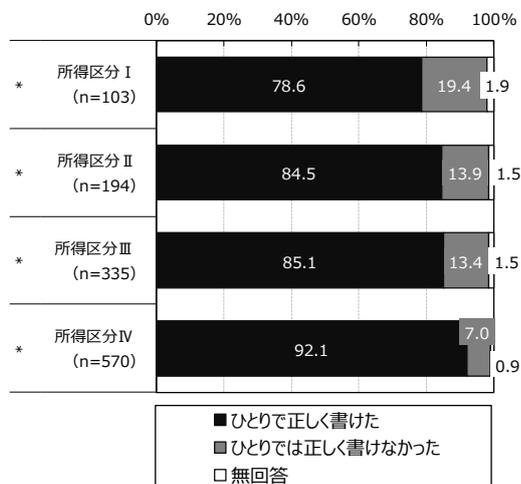
図表 19-1 ひらがな

【小学1年生】



[平成30年度調査 《所得区分別》 図表 19-1 ひらがな]

【小学1年生】



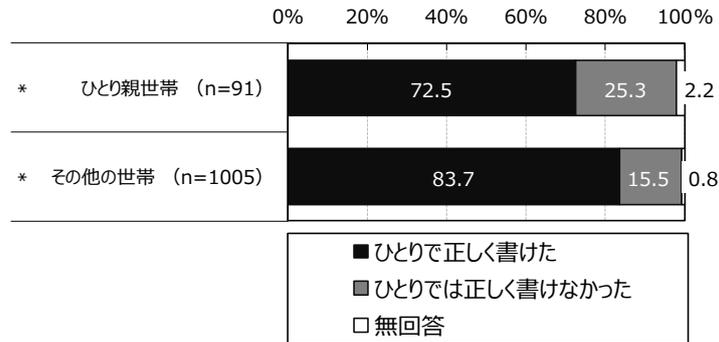
《世帯別》

小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けたかについては、いずれの世帯においても「ひとりで正しく書けた」が大半を占めています。ひとり親世帯に比べて、その他の世帯では11.2ポイント高くなっています。

平成30年度調査と比較して、ひとり親世帯の「ひとりで正しく書けなかった」の割合が8.1%高くなっています。

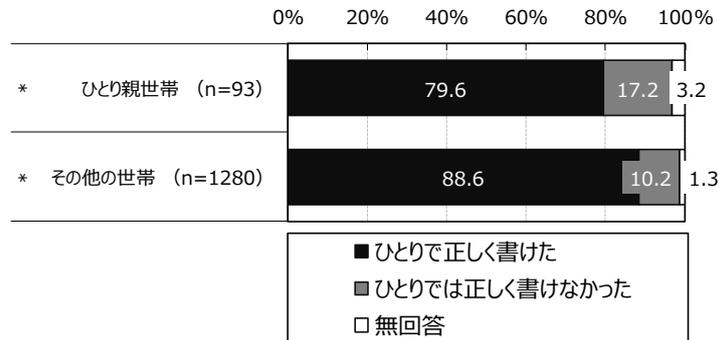
図表 19-2 ひらがな

【小学1年生】



[平成30年度調査 《世帯別》 図表 19-1 ひらがな]

【小学1年生】



(2) ひらがなについて (現在)

【小学1年生のみ：問9-2】  
 ※問9-1で「2」と回答した方に伺います。  
 現在、あなたのお子さんは、自分の名前をひらがなで書けるようになりましたか。あてはまるものに○をつけてください。

※問9-1で「ひとりでは正しく書けなかった」と回答した方のみ

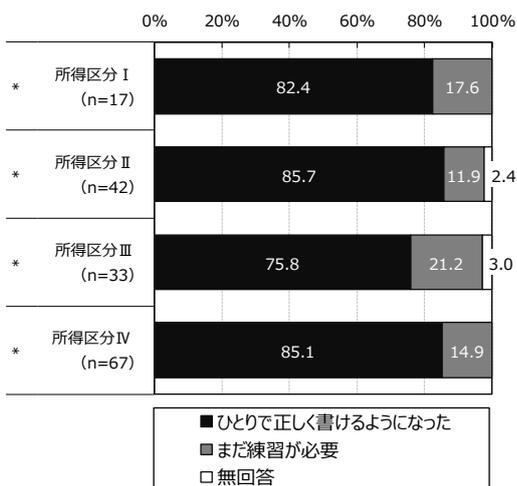
《所得区分別》

現在、自分の名前をひらがなで書けるようになったかについては、「ひとりで正しく書けるようになった」が7割以上となっています。一方「まだ練習が必要」では、所得区分Ⅲが21.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、所得区分Ⅰの「ひとりで正しく書けるようになった」の割合が12.4%高くなっています。

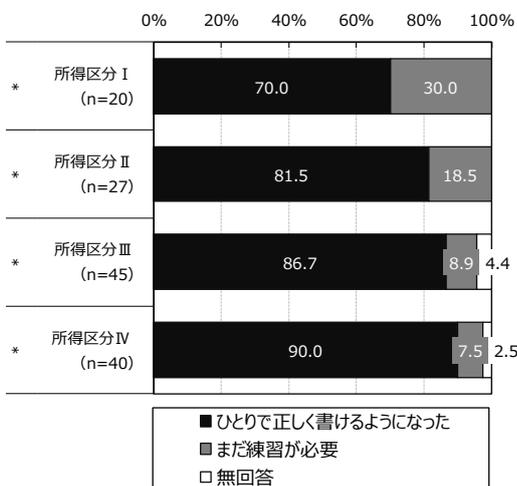
図表 20-1 ひらがな (現在)

【小学1年生】



[平成30年度調査 図表 20-1 ひらがな (現在)]

【小学1年生】



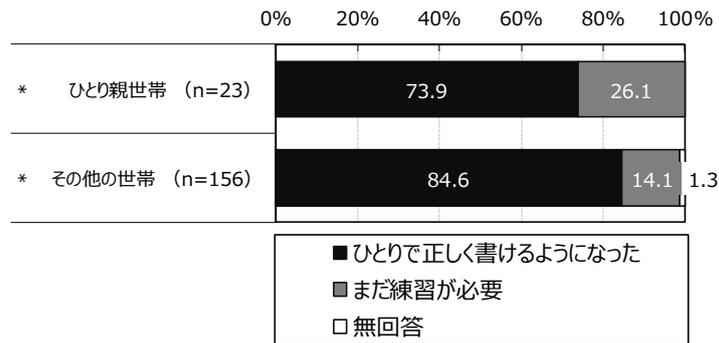
《世帯別》

現在、自分の名前をひらがなで書けるようになったかについては、「ひとりで正しく書けるようになった」でひとり親世帯が7割以上、その他の世帯が8割以上となっています。「まだ練習が必要」では、ひとり親世帯がその他の世帯よりも12ポイント高くなっています。

平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。

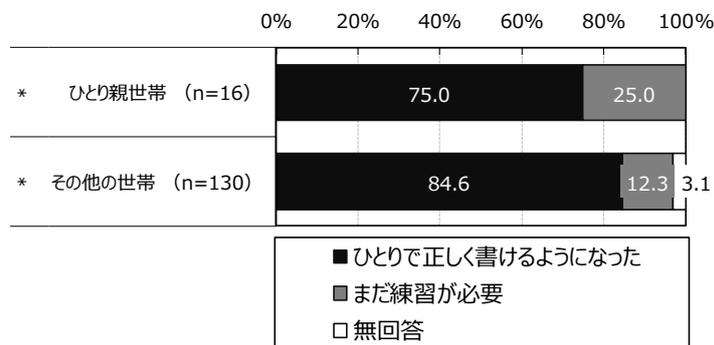
図表 20-2 ひらがな（現在）

【小学1年生】



[平成30年度調査 図表 20-2 ひらがな（現在）]

【小学1年生】



(3) これまでの子育ての中で、あたり思ったりしたこと

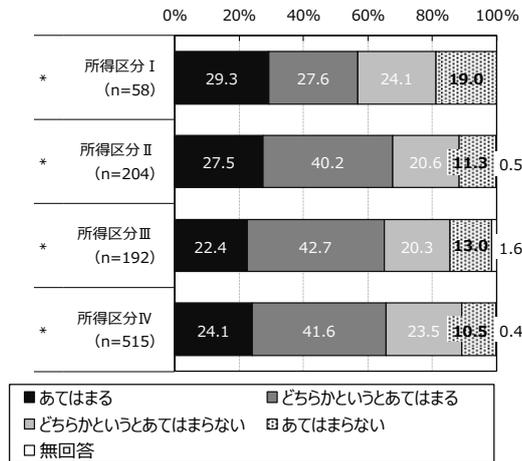
【小学1年生のみ：問11】  
 これまでの育児について思っていることをお聞かせください。  
 これまでの子育ての中でA～Iのようなことがあたり、思ったりしたことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(3-1) A ついつい子どもにあたってしまった

《所得区分別》

ついつい子どもにあたってしまったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても5割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても3割以上となっています。

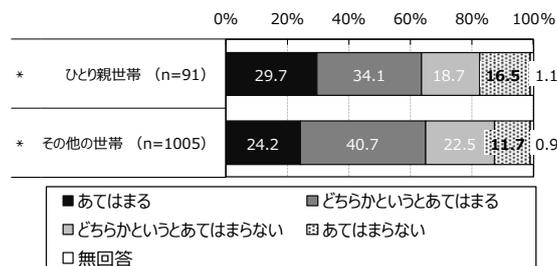
図表 21-1 A ついつい子どもにあたってしまった  
【小学1年生】



《世帯別》

ついつい子どもにあたってしまったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）が、ひとり親世帯では63.8%となっており、その他の世帯よりも1.1ポイント低くなっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、ひとり親世帯よりもその他の世帯が1ポイント低く、34.2%となっています。

図表 21-2 A ついつい子どもにあたってしまった  
【小学1年生】

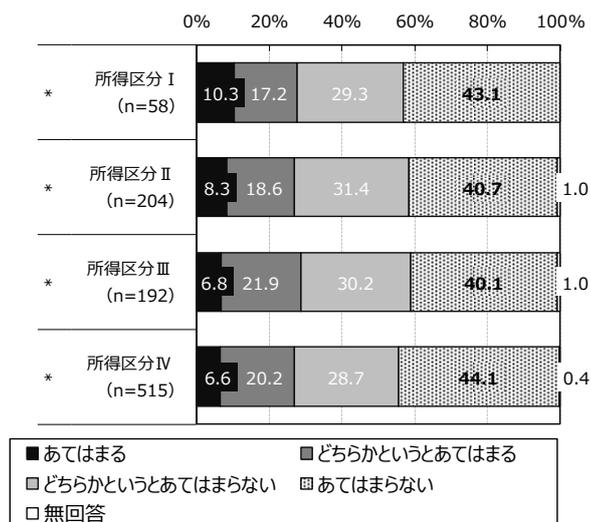


### (3-2) B ついつい子どもを叩いてしまった

#### 《所得区分別》

ついつい子どもを叩いてしまったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても3割程度となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても7割以上となっています。

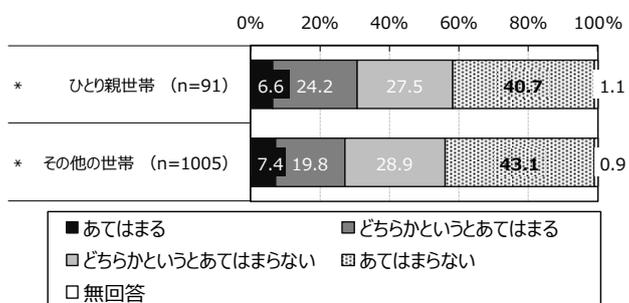
図表 21-3 B ついつい子どもを叩いてしまった  
【小学1年生】



#### 《世帯別》

ついつい子どもを叩いてしまったについては、いずれの世帯も「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）が、ひとり親世帯では30.8%となっており、その他の世帯よりも3.6ポイント高くなっています。一方、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、ひとり親世帯では68.2%となっており、その他の世帯よりも3.8ポイント低くなっています。

図表 21-4 B ついつい子どもを叩いてしまった  
【小学1年生】

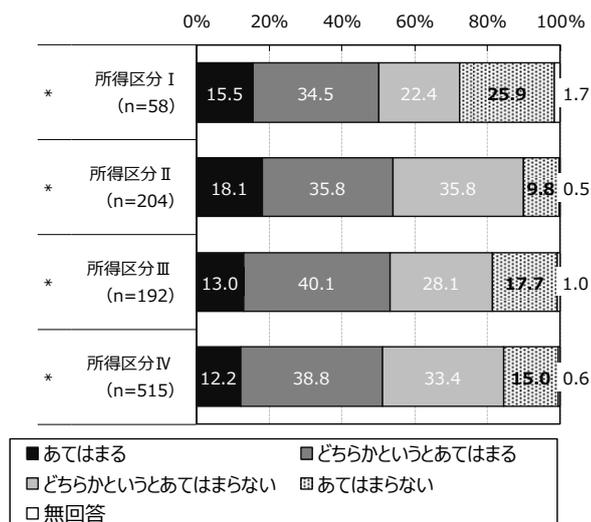


### (3-3) Cしつけのため、よく厳しく叱った

#### 《所得区分別》

しつけのため、よく厳しく叱ったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらか」というとあてはまる）」の割合が、いずれの所得区分においても約半数となっています。また、「あてはまらない」（「どちらか」というとあてはまらない」＋「あてはまらない）」では、いずれの所得区分においても4割以上となっています。

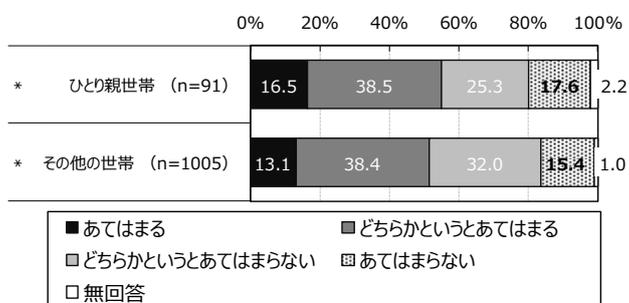
図表 21-5 C しつけのため、よく厳しく叱った  
【小学1年生】



#### 《世帯別》

しつけのため、よく厳しく叱ったについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらか」というとあてはまる）」の割合が、いずれの世帯においても5割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらか」というとあてはまらない」＋「あてはまらない）」では、いずれの世帯においても4割以上となっており、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が、4.5ポイント高くなっています。

図表 21-6 C しつけのため、よく厳しく叱った  
【小学1年生】

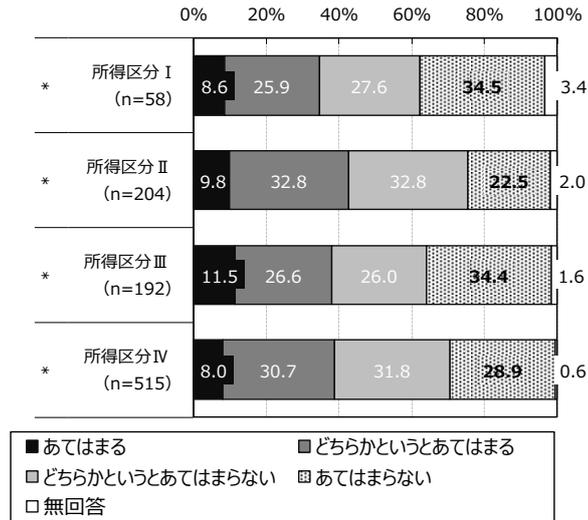


### (3-4) D子どもがわずらわしくてイライラした

#### 《所得区分別》

子どもがわずらわしくてイライラしたについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても3割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても半数以上となっています。

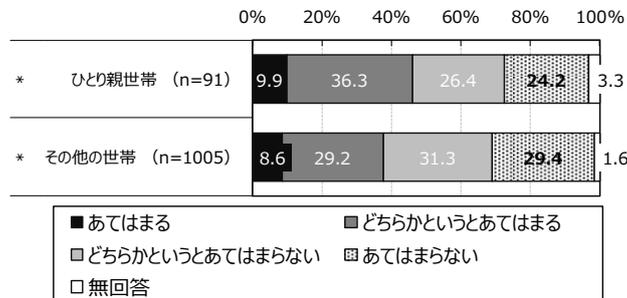
図表 21-7 D 子どもがわずらわしくてイライラした  
【小学1年生】



#### 《世帯別》

子どもがわずらわしくてイライラしたについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの世帯においても3割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても半数以上となっています。

図表 21-8 D 子どもがわずらわしくてイライラした  
【小学1年生】

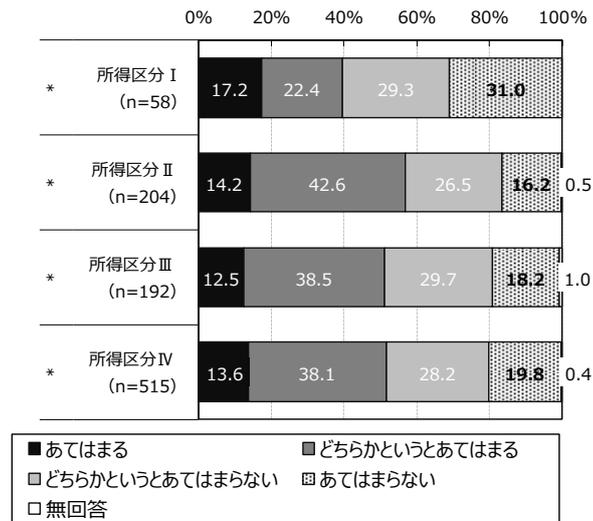


(3-5) E 毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない

《所得区分別》

毎日毎日同じことの繰り返ししかしていないについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、所得区分Ⅰを除く、いずれの所得区分においても半数以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても4割以上となっており、所得区分Ⅰでは60.3%と最も高くなっています。

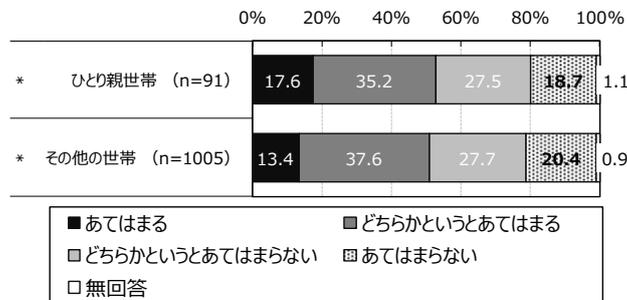
図表 21-9 E 毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない  
【小学1年生】



《世帯別》

毎日毎日同じことの繰り返ししかしていないについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）が、ひとり親世帯では52.8%となっており、その他の世帯よりも1.8ポイント高くなっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、その他の世帯で48.1%となっており、ひとり親世帯に比べて1.9ポイント高くなっています。

図表 21-10 E 毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない  
【小学1年生】

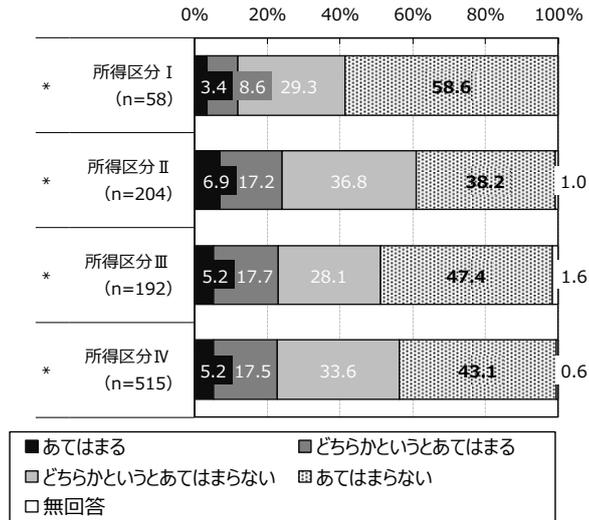


### (3-6) F 育児から解放されたい

#### 《所得区分別》

育児から解放されたいについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、所得区分Ⅰを除く、いずれの所得区分においても2割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても7割以上となっています。

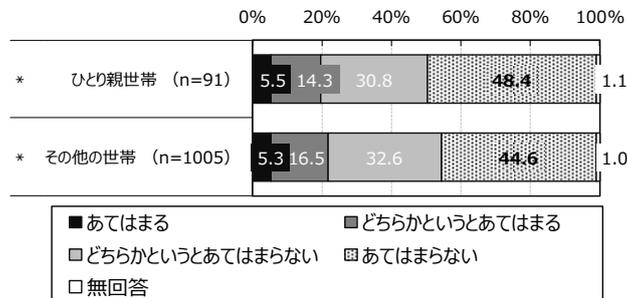
図表 21-11 F 育児から解放されたい  
【小学1年生】



#### 《世帯別》

育児から解放されたいについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの世帯においても約2割となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても7割以上となっています。

図表 21-12 F 育児から解放されたい  
【小学1年生】

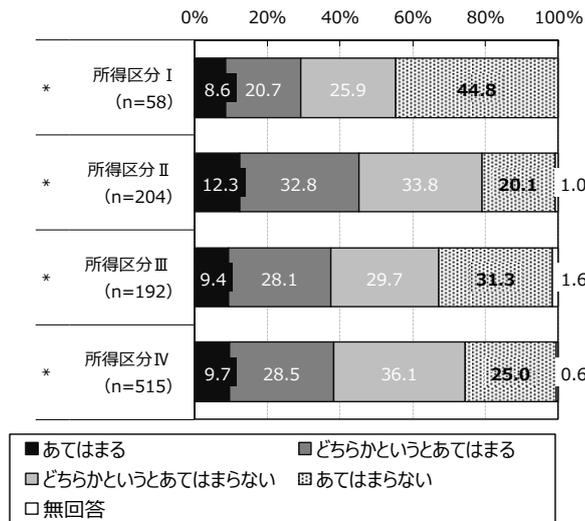


(3-7) G子どもを育てるために我慢している

《所得区分別》

子どもを育てるために我慢しているについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても2割以上となっており、所得区分Ⅱが45.1%と最も高くなっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても5割以上となっており、所得区分Ⅰでは70.7%と最も高くなっています。

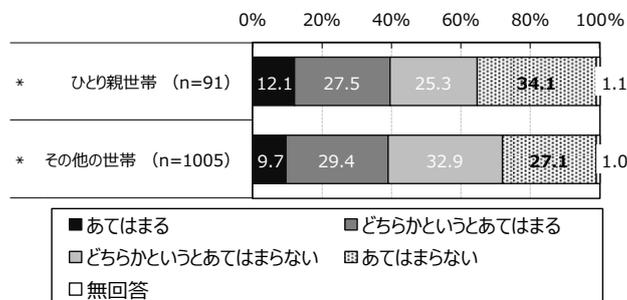
図表 21-13 G 子どもを育てるために我慢している  
【小学1年生】



《世帯別》

子どもを育てるために我慢しているについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの世帯においても約4割となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても約6割となっています。

図表 21-14 G 子どもを育てるために我慢している  
【小学1年生】

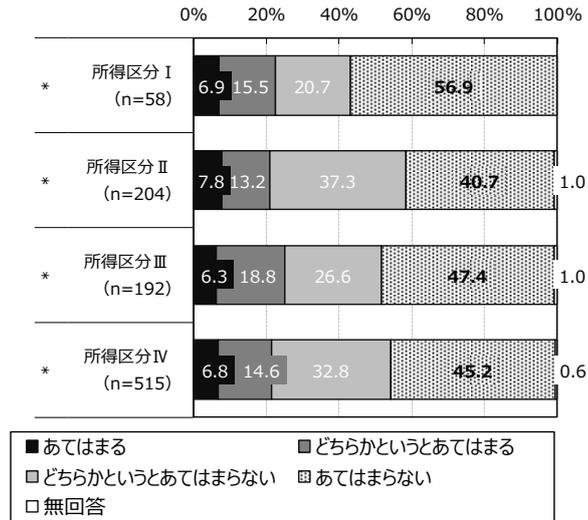


(3-8) H自分一人で育てているという圧迫感を感じる

《所得区分別》

自分一人で育てているという圧迫感を感じるについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの所得区分においても2割以上となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても7割以上となっています。

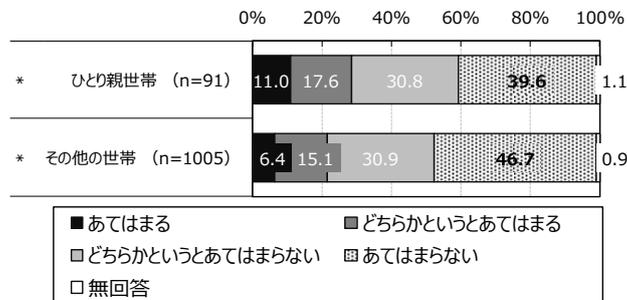
図表 21-15 H 自分一人で育てているという圧迫感を感じる  
【小学1年生】



《世帯別》

自分一人で育てているという圧迫感を感じるについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらかというにあてはまる」）の割合が、いずれの世帯においても2割以上となっており、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が7.1ポイント高く、28.6%となっています。また、「あてはまらない」（「どちらかというにあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても7割以上となっており、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が7.2ポイント低く、70.4%となっています。

図表 21-16 H 自分一人で育てているという圧迫感を感じる  
【小学1年生】

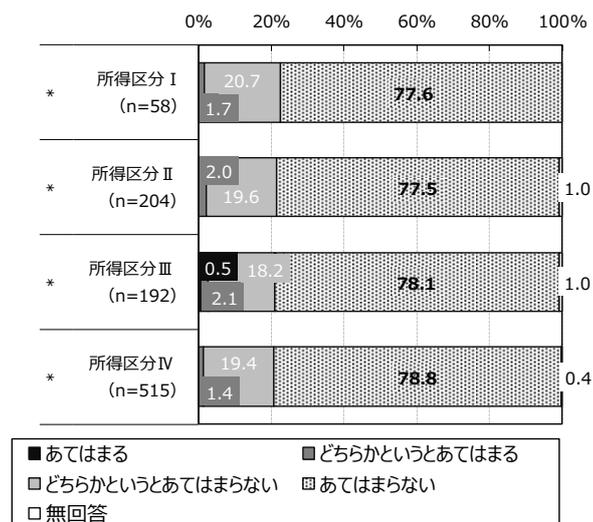


### (3-9) 子どもの世話にはあまり関心がない

#### 《所得区分別》

子どもの世話にはあまり関心がないについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらか」というとあてはまる）の割合が、いずれの所得区分においても1割未満となっています。「あてはまらない」（「どちらか」というとあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの所得区分においても9割以上となっており、大半を占めています。

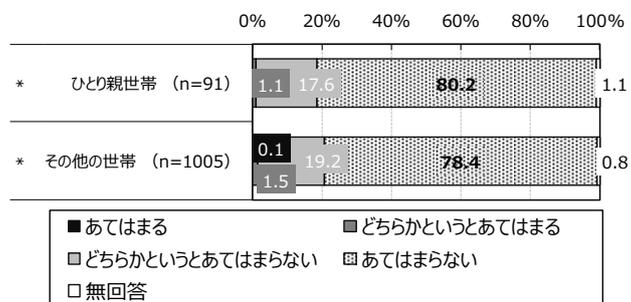
図表 21-17 Ⅰ 子どもの世話にはあまり関心がない  
【小学1年生】



#### 《世帯別》

子どもの世話にはあまり関心がないについては、「あてはまる」（「あてはまる」＋「どちらか」というとあてはまる）の割合が、いずれの世帯においても1割未満となっています。「あてはまらない」（「どちらか」というとあてはまらない」＋「あてはまらない」）では、いずれの世帯においても9割以上となっており、大半を占めています。

図表 21-18 Ⅰ 子どもの世話にはあまり関心がない  
【小学1年生】



(4) 子どもが放課後の時間を過ごす場所

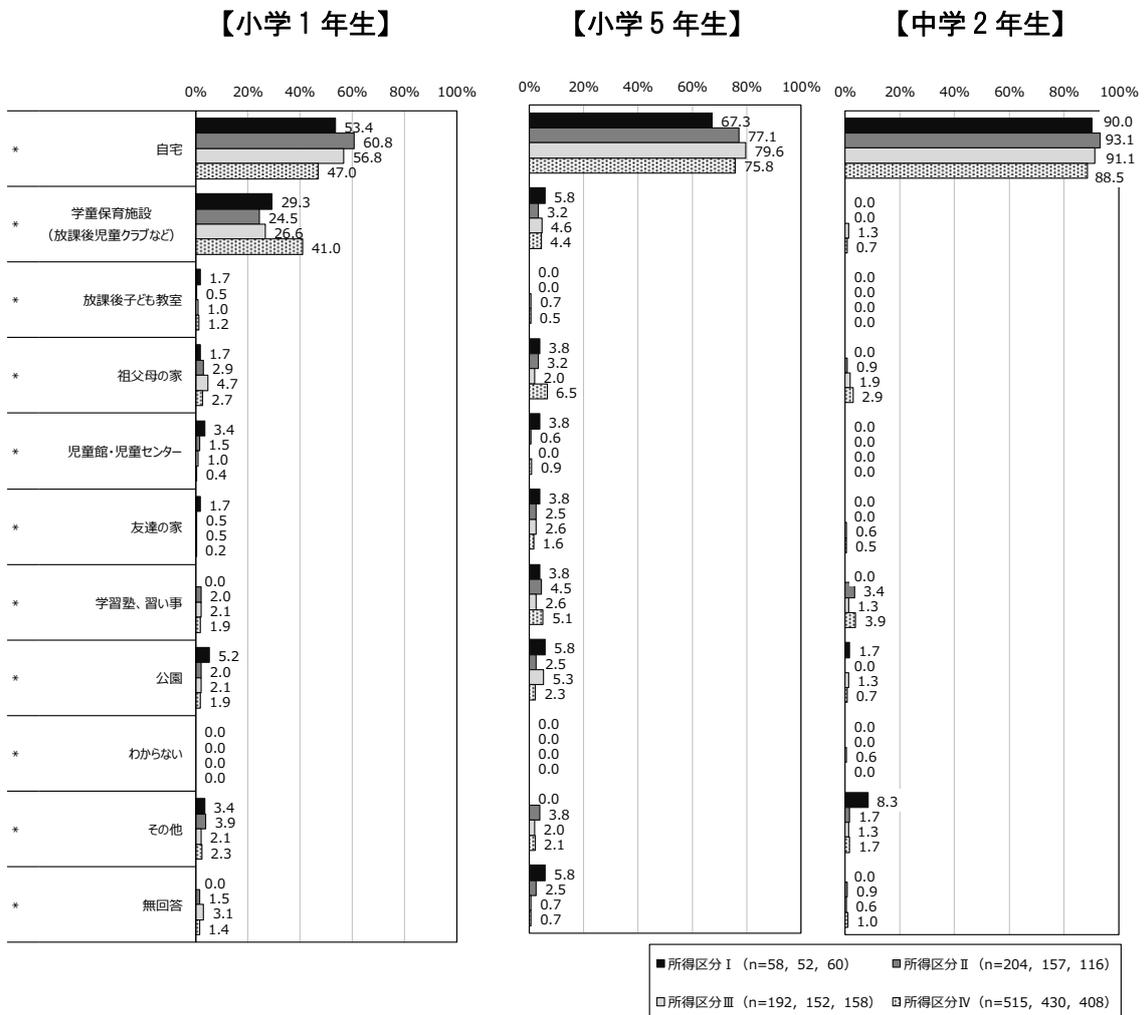
【小学1年生：問12-1、小学5年生・中学2年生：問9】  
 お子さんは、現在、学校が終わってからの放課後の時間を、主にどこで  
 過ごしていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

《所得区分別》

子どもが放課後の時間を過ごす場所については、小5・中2は、いずれの所得区分においても「自宅」の割合が高くなっており、大半を占めています。小1では、いずれの所得区分においても「自宅」が半数近くとなっており、次いで「学童保育施設（放課後児童クラブなど）」が2割以上となっています。

平成30年度調査と比較して、小5の所得区分Iにおいて、「自宅」の割合が15.1%低くなり、「児童館・児童センター」「友達の家」「公園」の割合が高くなっています。

図表 22-1 子どもが放課後の時間を過ごす場所

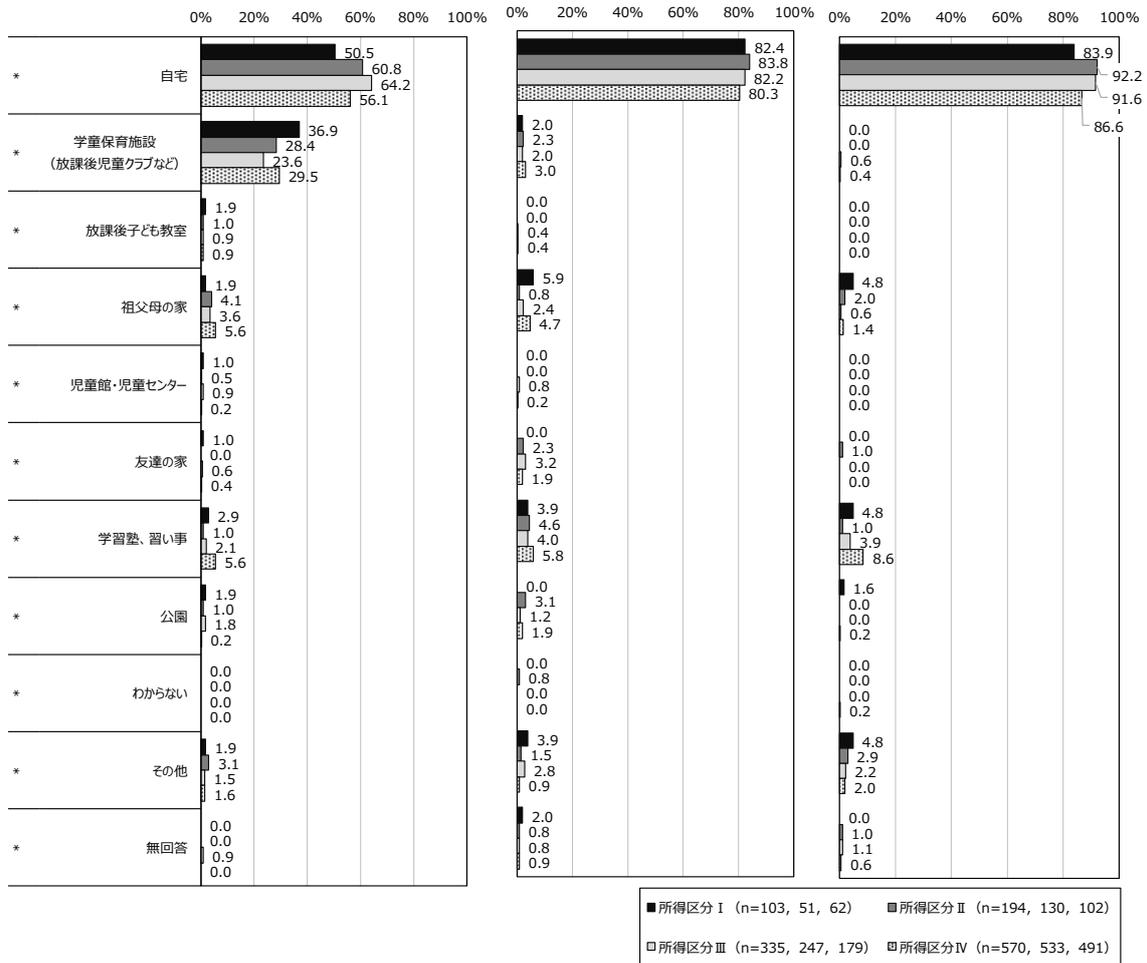


[平成30年度調査 図表 22-1 子どもが放課後の時間を過ごす場所]

【小学1年生】

【小学5年生】

【中学2年生】

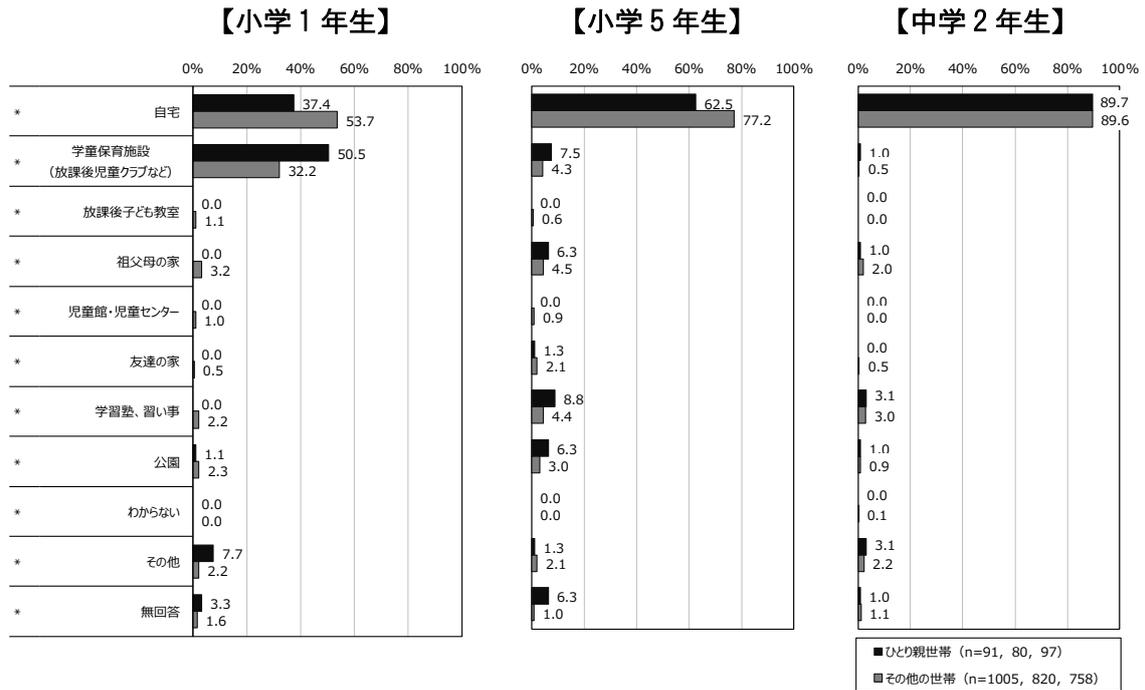


《世帯別》

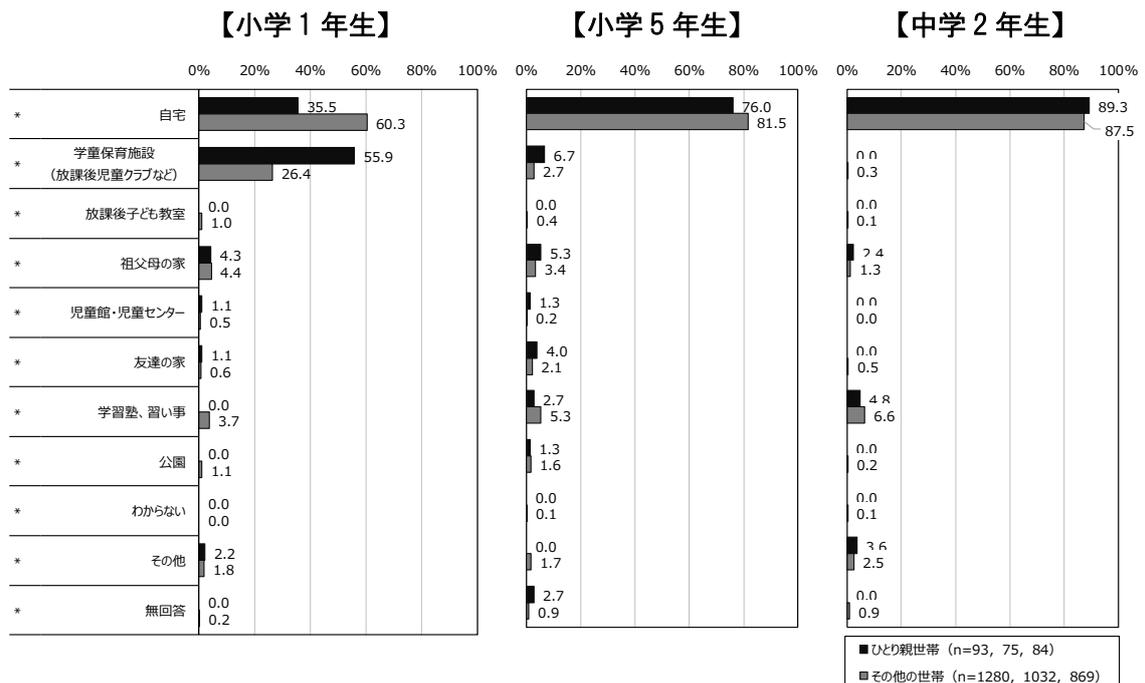
子どもが放課後の時間を過ごす場所については、小5・中2では、いずれ世帯においても「自宅」の割合が高くなっており、大半を占めています。小1は、その他の世帯では「自宅」が53.7%となっており、ひとり親世帯よりも16.3ポイント高くなっています。一方、ひとり親世帯では「学童保育施設（放課後児童クラブなど）」が50.5%と、その他の世帯よりも18.3ポイント高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯において、「自宅」の割合は13.5%低くなり、「学習塾、習い事」「公園」の割合が高くなっています。

図表 22-2 子どもが放課後の時間を過ごす場所



[平成30年度調査 図表 22-2 子どもが放課後の時間を過ごす場所]



(5) 学童保育施設の1ヶ月の利用料

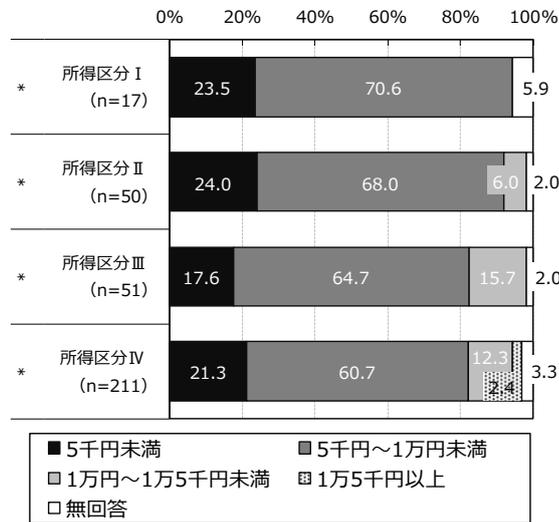
【小学1年生のみ：問12-2】  
 ※問12-1で「2」と答えた方にお伺いします。  
 現在利用している学童保育施設のおおよその1ヶ月の利用料を教えてください。

※小学1年生の問12-1で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方のみ

《所得区分別》

学童保育施設の1ヶ月の利用料については、いずれの所得区分においても「5千円～1万円未満」が最も高くなっており、所得区分Ⅰが70.6%となっています。「1万円～1万5千円未満」と「1万5千円以上」では、いずれの所得区分においても2割未満となっています。

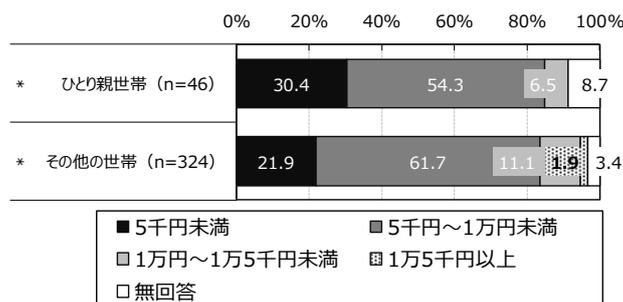
図表 23-1 学童保育施設の1ヶ月の利用料  
 【小学1年生】



《世帯別》

学童保育施設の1ヶ月の利用料については、いずれの世帯においても「5千円～1万円未満」が最も高くなっています。「5千円未満」では、ひとり親世帯が30.4%と、その他の世帯よりも8.5ポイント高くなっています。「1万円～1万5千円未満」と「1万5千円以上」では、いずれの世帯においても2割未満となっています。

図表 23-2 学童保育施設の1ヶ月の利用料  
 【小学1年生】



(6) 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか

【小学5年生・中学2年生のみ：問10】  
 お子さんは、放課後、誰と過ごすことが多いですか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

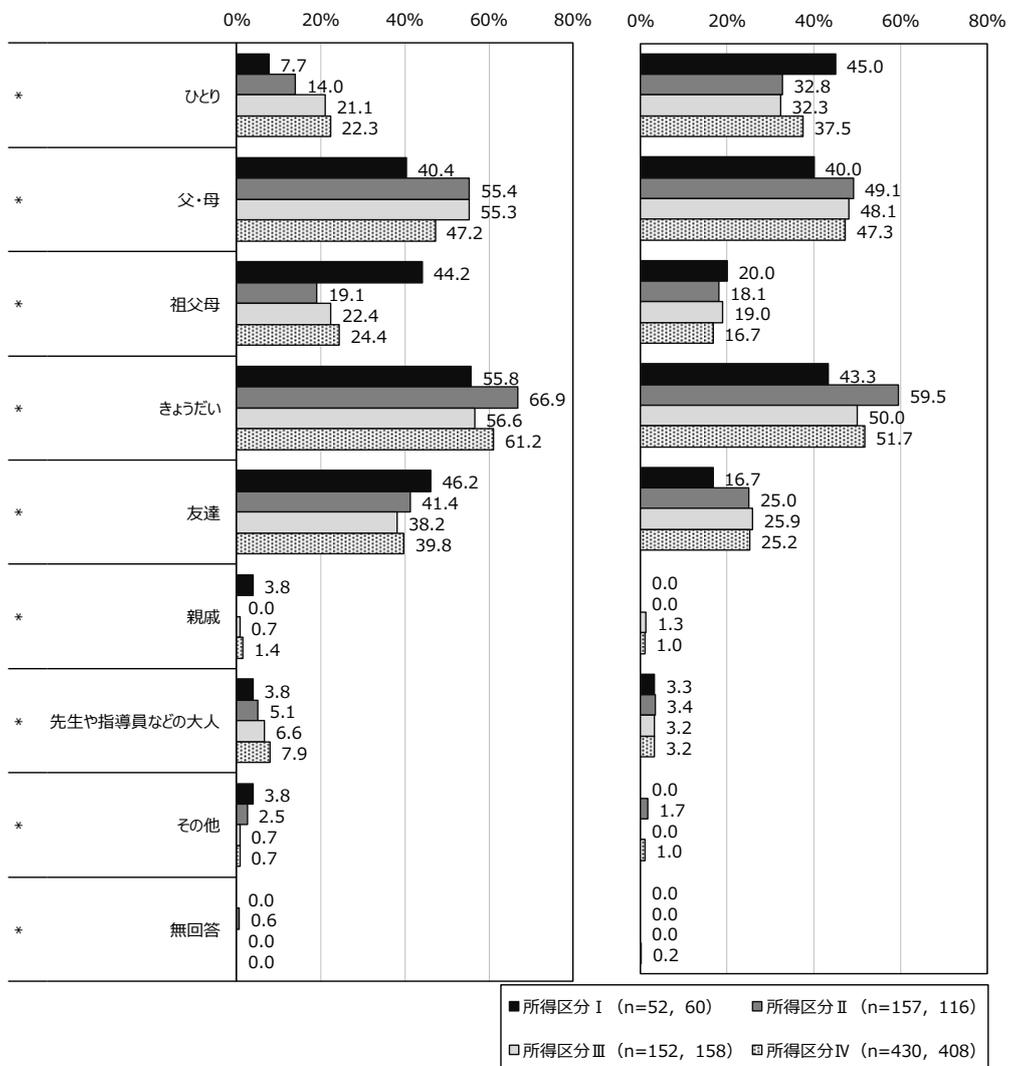
《所得区分別》

子どもが放課後誰と過ごすことが多いかについては、小5ではいずれの所得区分においても「きょうだい」が最も高くなっています。中2の所得区分Iでは、「ひとり」が最も高く、他の所得区分では「きょうだい」が最も高くなっています。次いで、所得区分Iでは「きょうだい」、「父・母」となっています。

図表 24-1 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか

【小学5年生】

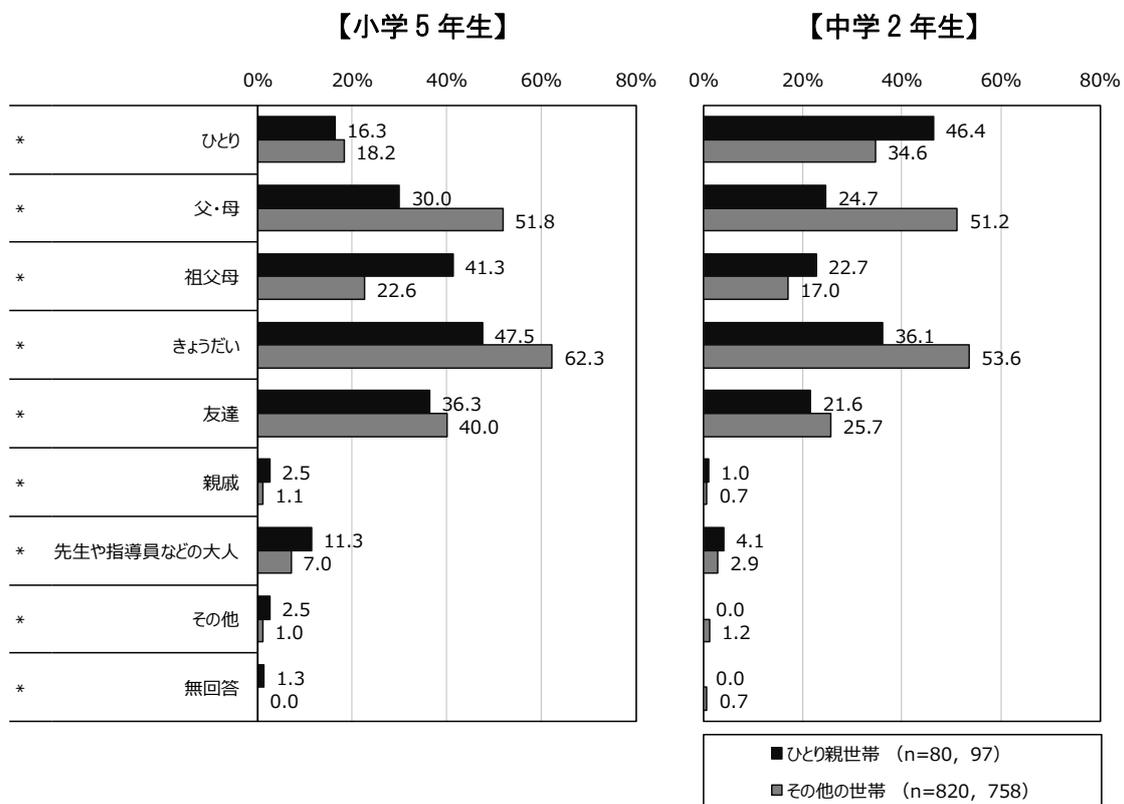
【中学2年生】



《世帯別》

子どもが放課後誰と過ごすことが多いかについては、小5・中2ともにその他の世帯においては「きょうだい」が最も高くなっています。次いで、「父・母」が高くなっています。ひとり親世帯では、小5は「きょうだい」(47.5%)、中2では「ひとり」(46.4%)が最も高くなっています。

図表 24-2 子どもが放課後誰と過ごすことが多いか



(7) 子ども用のもの

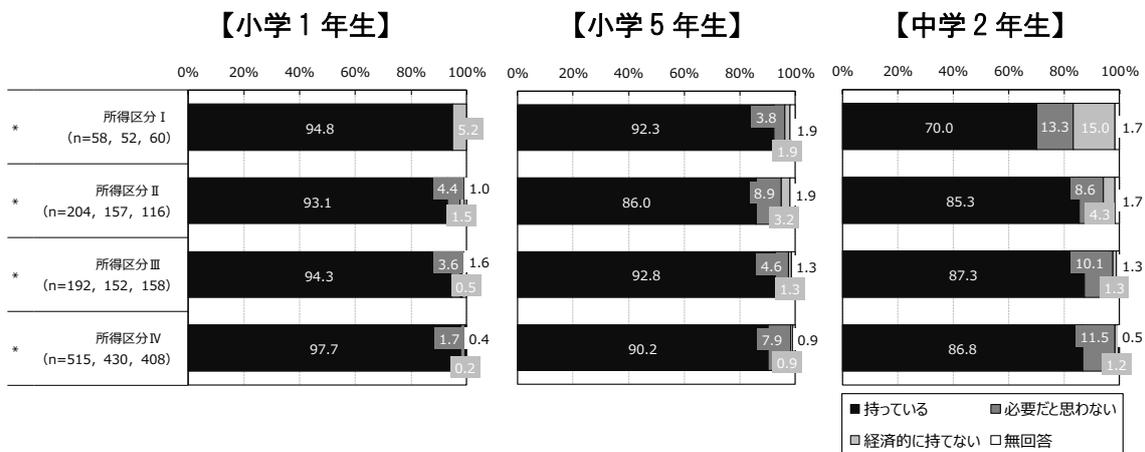
【小学1年生：問14、小学5年生・中学2年生：問11】  
 あなたのご家庭ではお子さん用に次のものをお持ちですか。A～Kについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(7-1) A子どもの本

《所得区分別》

子どもの本については、中2の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても「持っている」が8割以上となっており、大半を占めています。小1では、いずれの所得区分においても9割以上となっています。

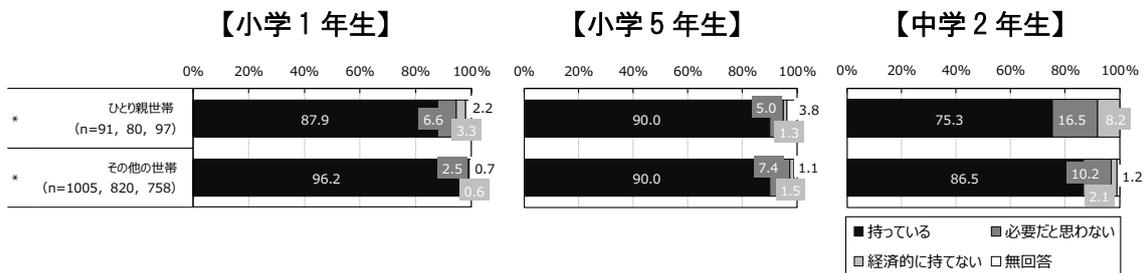
図表 25-1 A 子どもの本



《世帯別》

子どもの本については、いずれの学年・世帯においても「持っている」が7割以上となっており、その他の世帯の小1が96.2%と最も高くなっています。

図表 25-2 A 子どもの本



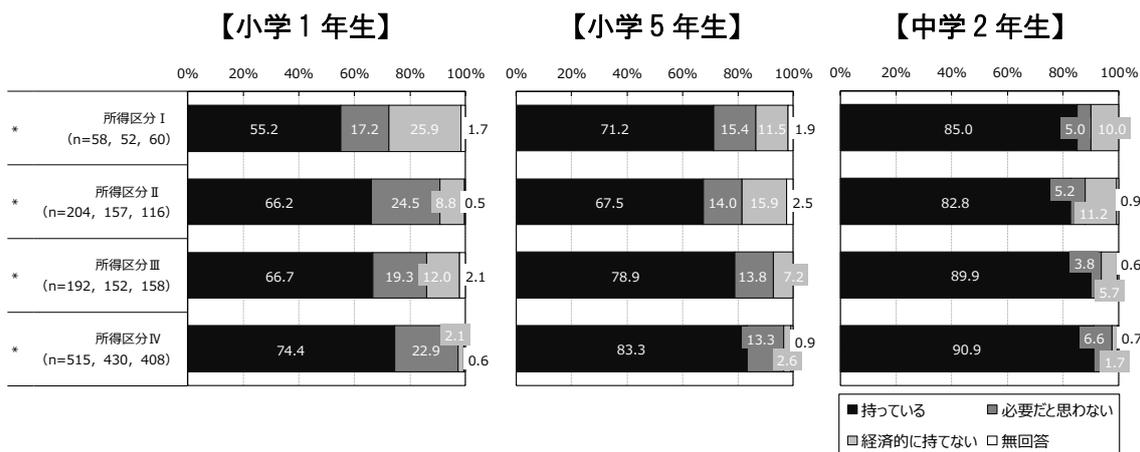
## (7-2) B子ども部屋

### 《所得区分別》

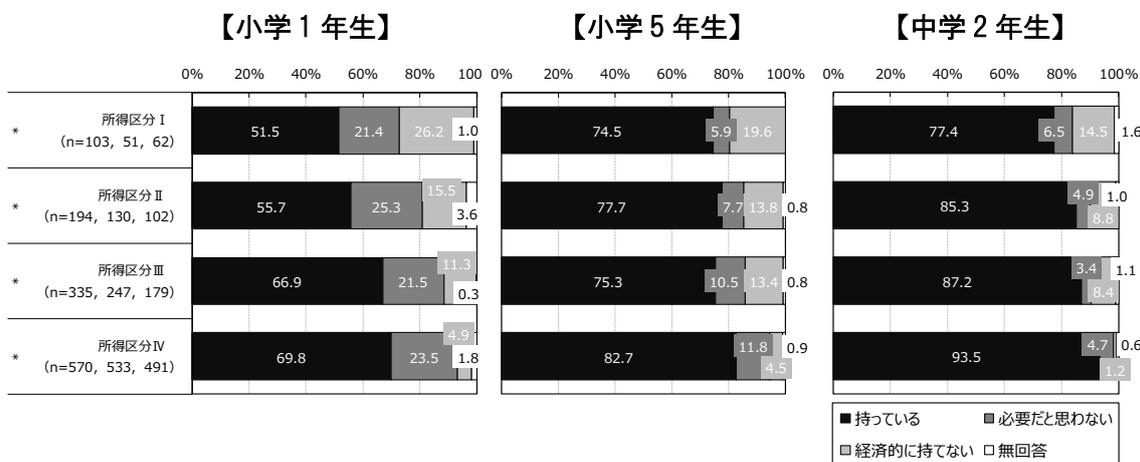
子ども部屋については、いずれの学年・所得区分においても「持っている」が半数以上となっており、学年が上がるにつれて「持っている」の割合が高くなる傾向があります。中2の所得区分Ⅳでは「持っている」の割合が9割以上となっています。また、小1では「必要だと思わない」が、いずれの所得区分においても1.5割以上となっています。

平成30年度調査と比較して、小1の所得区分Ⅱの「持っている」の割合が10.5%高くなっています。

図表 25-3 B 子ども部屋



[平成30年度調査 図表 25-3 B 子ども部屋]

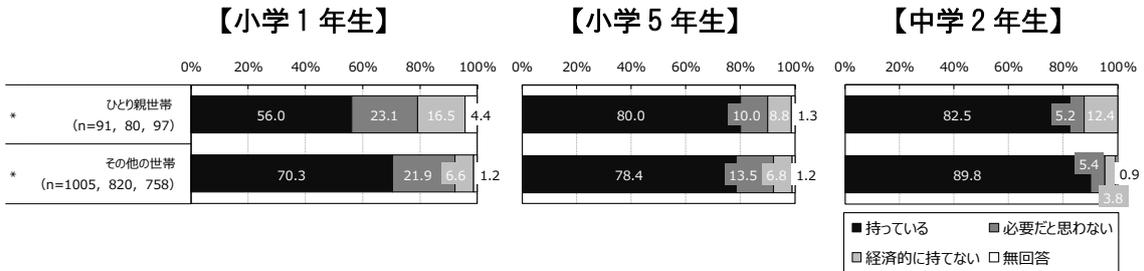


《世帯別》

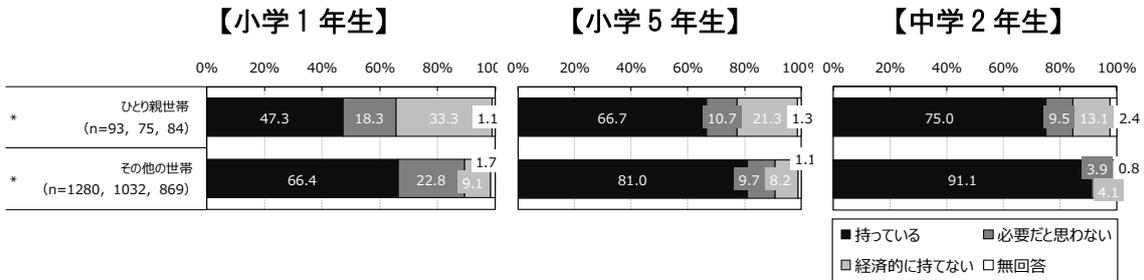
子ども部屋については、小1のひとり親世帯を除く、いずれの世帯においても「持っている」が7割以上となっています。また、小1・中2においてはひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「持っている」の割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯の「持っている」の割合が13.3%高くなっています。

図表 25-4 B 子ども部屋



[平成30年度調査 図表 25-4 B 子ども部屋]

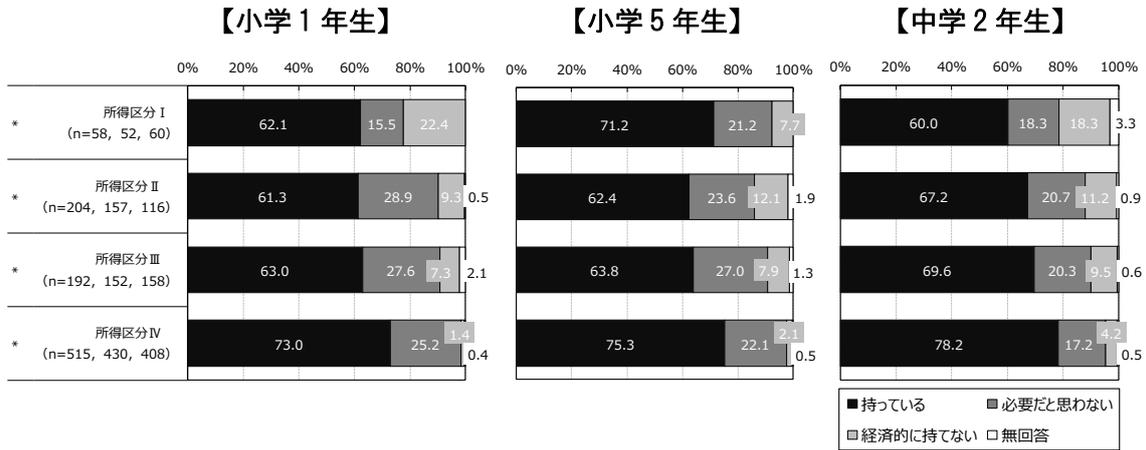


### (7-3) Cインターネットにつながるパソコン

#### 《所得区分別》

インターネットにつながるパソコンについては、いずれの学年においても、全体的に所得区分Ⅰより所得区分Ⅳの方が「持っている」の割合が高い傾向があります。「必要だと思わない」では、小1の所得区分Ⅱが28.9%と高くなっています。「経済的に持てない」では、小1の所得区分Ⅰが22.4%と最も高くなっています。

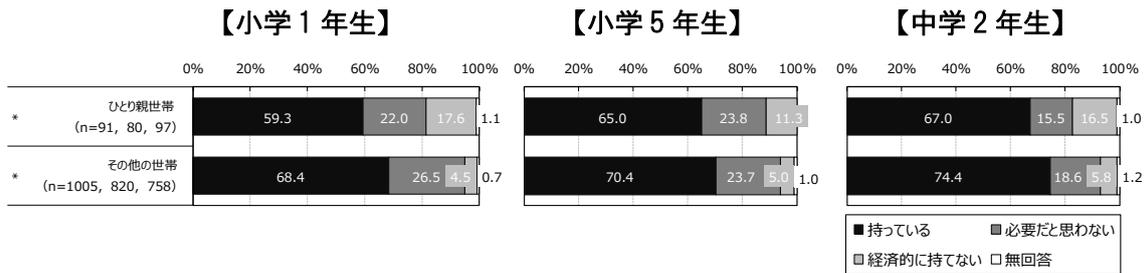
図表 25-5 C インターネットにつながるパソコン



#### 《世帯別》

インターネットにつながるパソコンについては、いずれの世帯においても「持っている」が半数以上となっており、中2のその他の世帯では、74.4%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、小1のその他の世帯で26.5%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、ひとり親世帯の方の割合が高くなっています。

図表 25-6 C インターネットにつながるパソコン

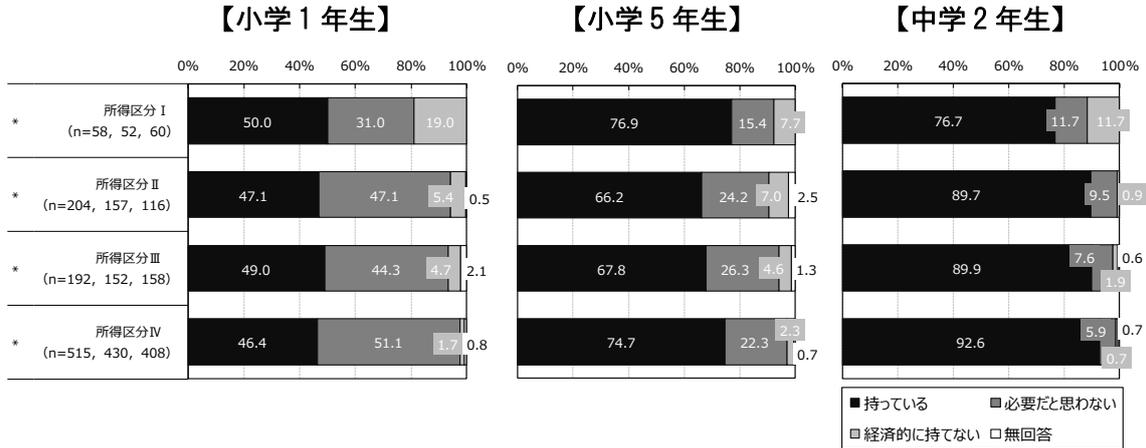


(7-4) D子ども専用の勉強机

《所得区分別》

子ども専用の勉強机については、小1では、いずれの所得区分においても「持っている」の割合が約半数となっています。小5・中2では、いずれの所得区分においても「持っている」の割合が大半近くを占めています。「経済的に持てない」では、所得が低いほど割合が高くなる傾向があります。

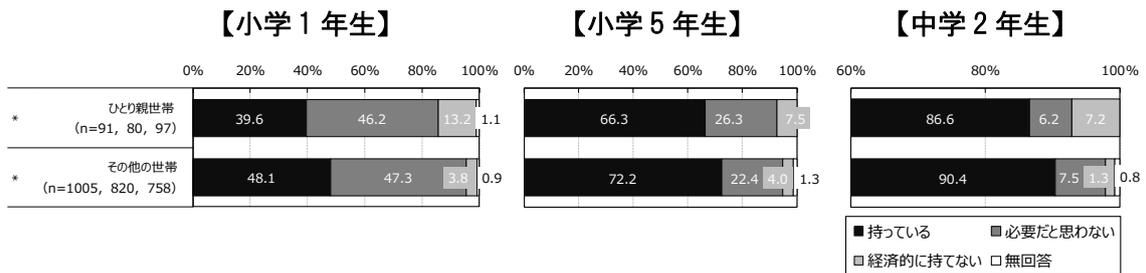
図表 25-7 D 子ども専用の勉強机



《世帯別》

子ども専用の勉強机については、中2では、いずれの世帯においても「持っている」の割合が8割以上を占めており、その他の世帯では90.4%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、小1のその他の世帯が47.3%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1が13.2%と最も高くなっています。

図表 25-8 D 子ども専用の勉強机

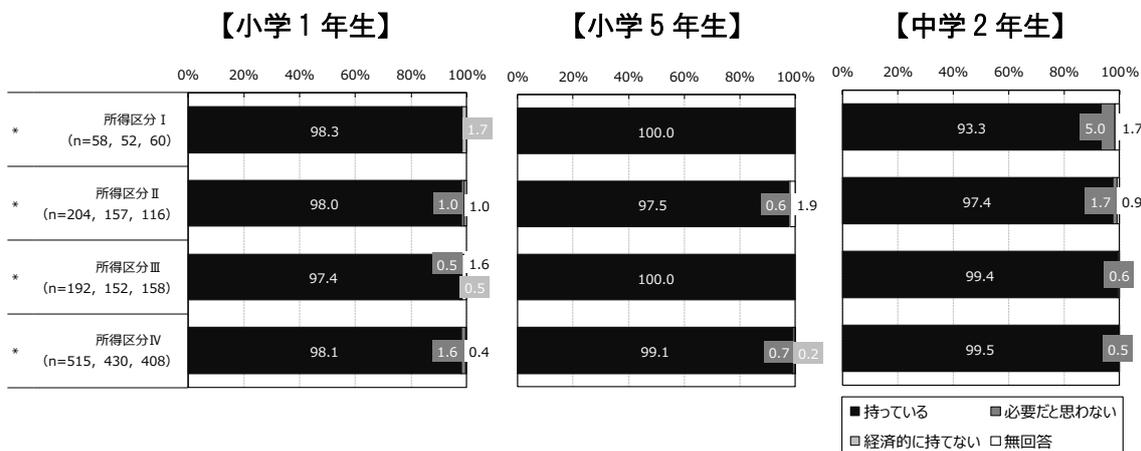


(7-5) E そのお子さん専用の文房具

《所得区分別》

そのお子さん専用の文房具については、いずれの学年・所得区分においても「持っている」が9割以上となっており、大半を占めています。小5の所得区分Ⅰ・Ⅲでは「持っている」が100%となっています。

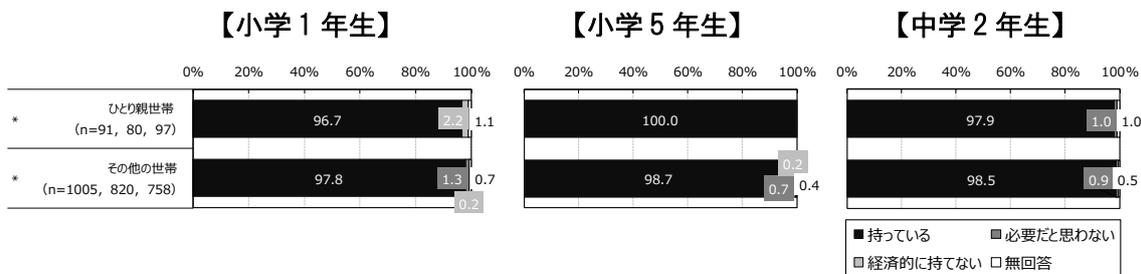
図表 25-9 E そのお子さん専用の文房具



《世帯別》

そのお子さん専用の文房具については、いずれの学年・世帯においても「持っている」が9割以上と、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-10 E そのお子さん専用の文房具

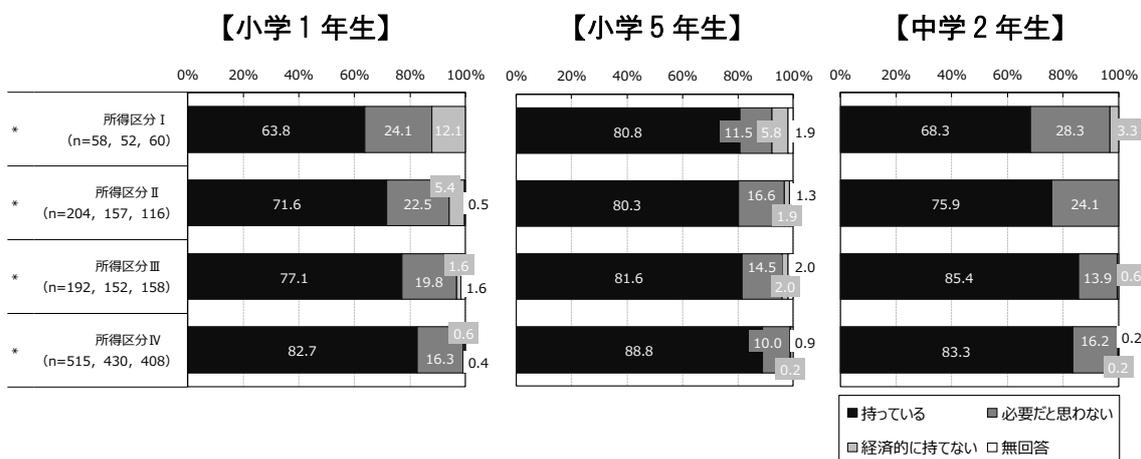


## (7-6) Fスポーツ用品

### 《所得区分別》

スポーツ用品については、所得が上がるにつれて「持っている」の割合が高くなる傾向があります。「必要だと思わない」では、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、「経済的に持てない」では、小1の所得区分Ⅰで1割以上となっています。

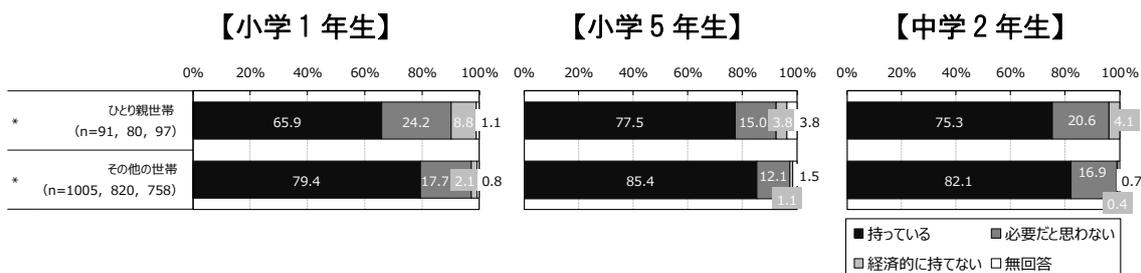
図表 25-11 F スポーツ用品



### 《世帯別》

スポーツ用品については、いずれの学年においても、その他の世帯で「持っている」の割合が高くなっており、小5のその他の世帯が85.4%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-12 F スポーツ用品

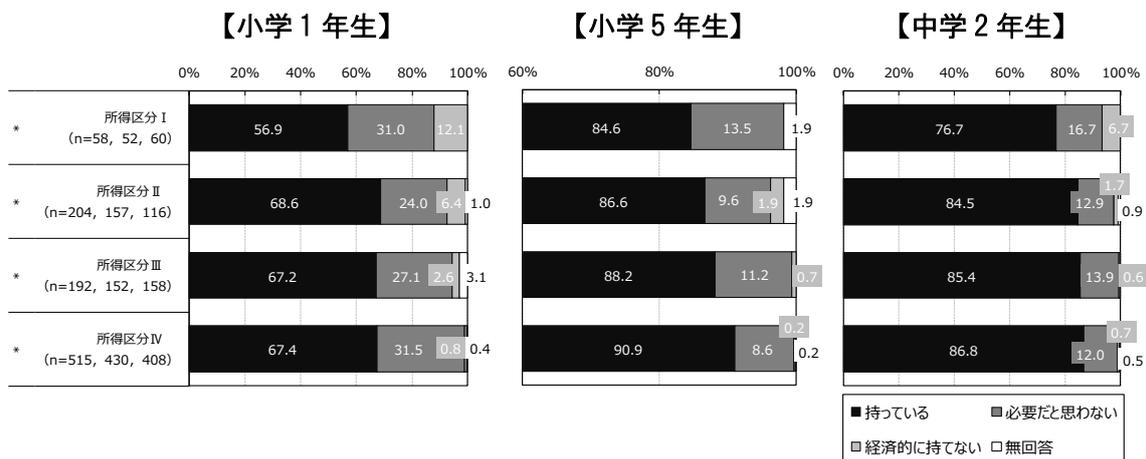


## (7-7) Gゲーム機

### 《所得区分別》

ゲーム機については、小1では、いずれの所得区分においても「持っている」の割合が約6割となっており「必要だと思わない」の割合も高くなっています。小5と中2では、いずれの所得区分においても「持っている」が大半を占めています。「経済的に持てない」では、小1の所得区分Iで1割以上となっています。

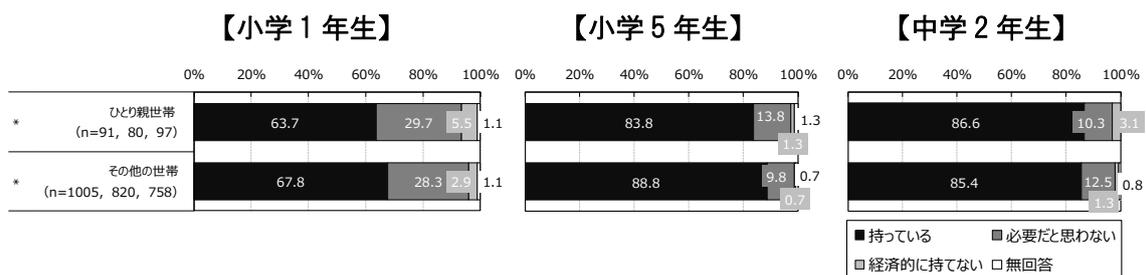
図表 25-13 G ゲーム機



### 《世帯別》

ゲーム機については、小1では、いずれの世帯においても「持っている」が6割以上となっており「必要だと思わない」の割合も高くなっています。小5と中2では、いずれの世帯においても「持っている」が大半を占めており、小5のその他の世帯が88.8%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの世帯においても1割未満となっています。

図表 25-14 G ゲーム機

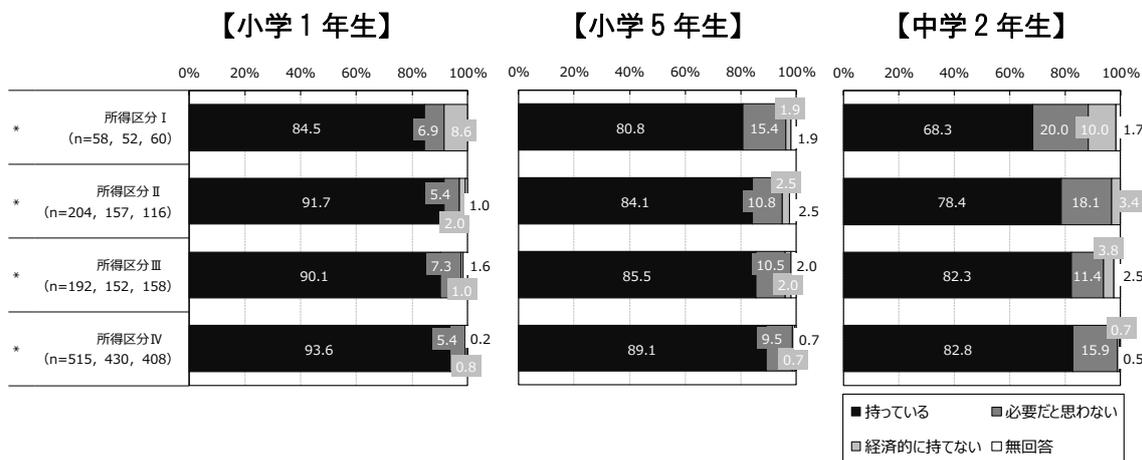


## (7-8) H多くの子どもが持っているおもちゃ

### 《所得区分別》

多くの子どもが持っているおもちゃについては、いずれの学年・所得区分においても「持っている」の割合が高くなっており、小1の所得区分Ⅳが93.6%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、所得が低いほど高くなる傾向があります。

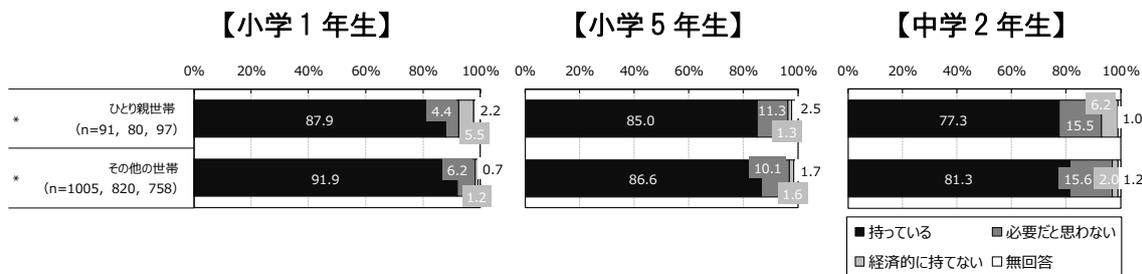
図表 25-15 H 多くの子どもが持っているおもちゃ



### 《世帯別》

多くの子どもが持っているおもちゃについては、いずれの学年・世帯においても「持っている」の割合が高くなっており、小1のその他の世帯が91.9%と最も高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-16 H 多くの子どもが持っているおもちゃ

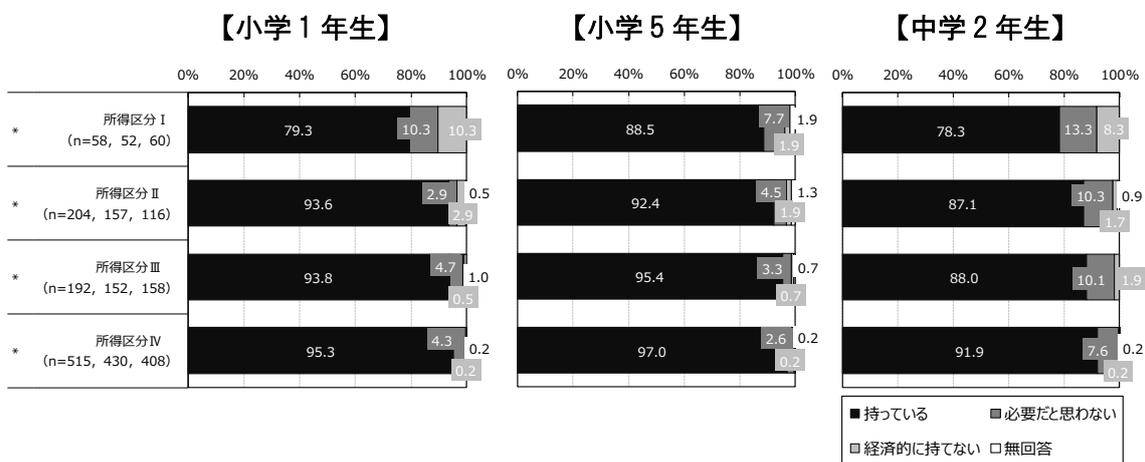


## (7-9) I 自転車

### 《所得区分別》

自転車については、いずれの学年・所得区分においても「持っている」が大半を占めていますが、中2の所得区分Iで「必要だと思わない」の割合が13.3%と、他の所得区分と比べて高くなっています。

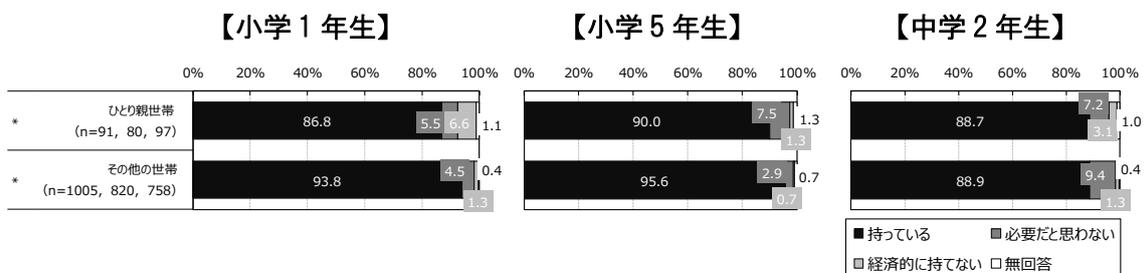
図表 25-17 I 自転車



### 《世帯別》

自転車については、いずれの学年・世帯においても「持っている」が大半を占めていますが、中2のその他の世帯では「必要だと思わない」が9.4%と、最も高くなっています。「経済的に持てない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 25-18 I 自転車

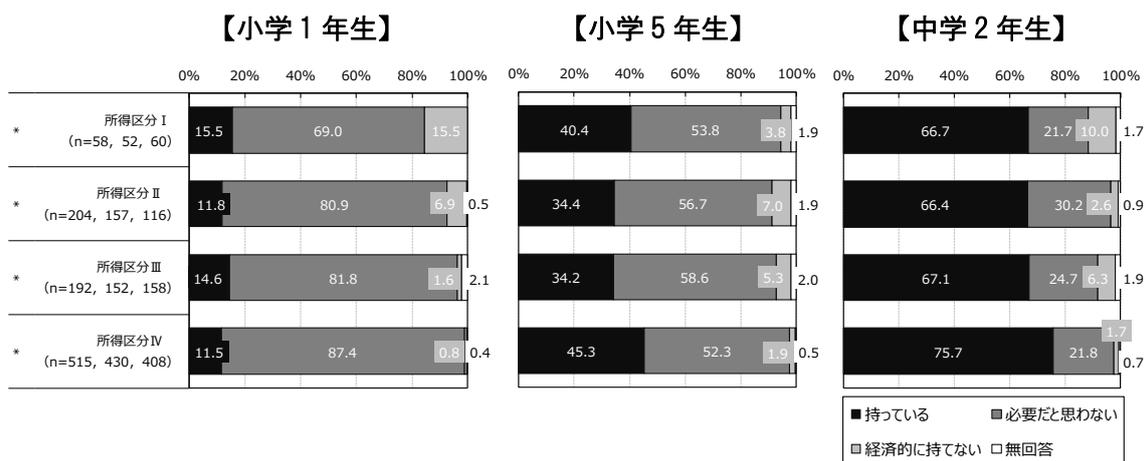


## (7-10) J 携帯電話・スマートフォン

### 《所得区分別》

携帯電話・スマートフォンについては、小1・小5のいずれの所得区分においても「必要だと思わない」の割合が高くなっています。小1では、いずれの所得区分でも「必要だと思わない」が大半を占めており、「持っている」は2割未満となっています。小5では、いずれの所得区分においても「必要だと思わない」が、5割以上となっています。中2では、いずれの所得区分においても「持っている」が6割以上となっています。

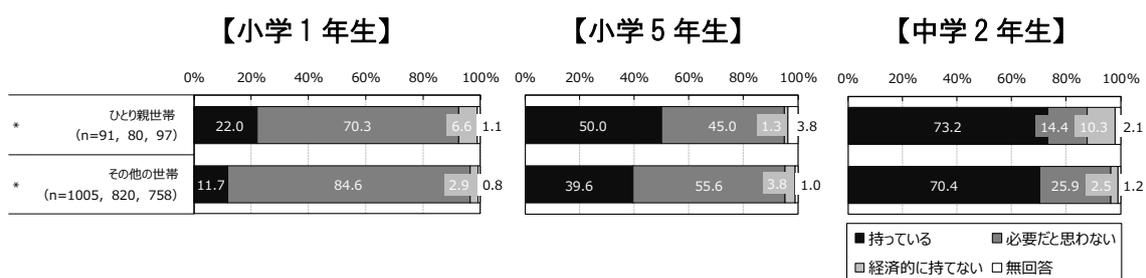
図表 25-19 J 携帯電話・スマートフォン



### 《世帯別》

携帯電話・スマートフォンについては、「持っている」では、中2のいずれの所得区分においても7割以上となっており、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっています。また、小1のいずれの所得区分においても「必要だと思わない」の割合が高くなっています。

図表 25-20 J 携帯電話・スマートフォン

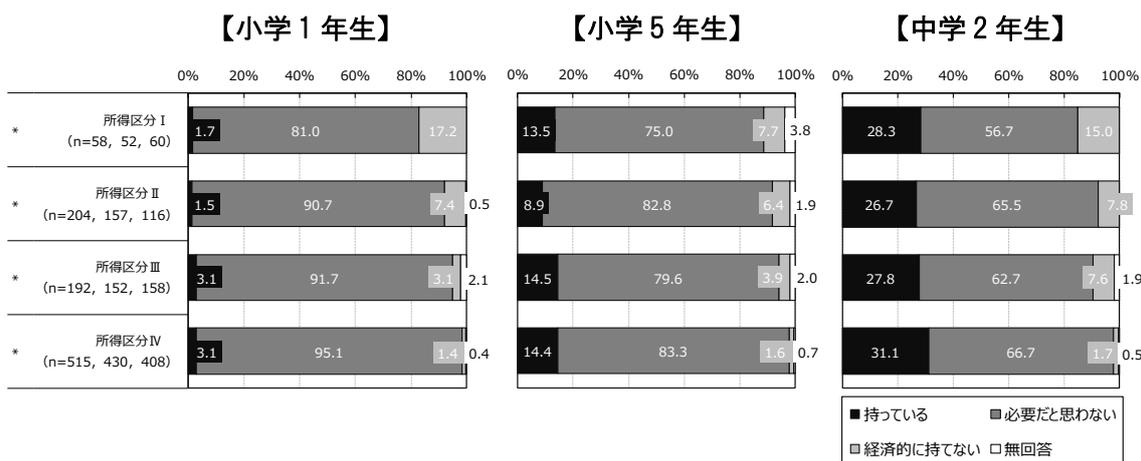


## (7-11) K携帯音楽プレイヤー等

### 《所得区分別》

携帯音楽プレイヤー等については、小1では、いずれの所得区分においても「必要だと思わない」が大半を占めており、「持っている」は1割未満となっています。小5では、いずれの所得区分においても「必要だと思わない」が、7割以上となっています。中2では、いずれの所得区分においても「持っている」が約3割となっています。「経済的に持てない」では、所得が低いほど高くなる傾向があります。

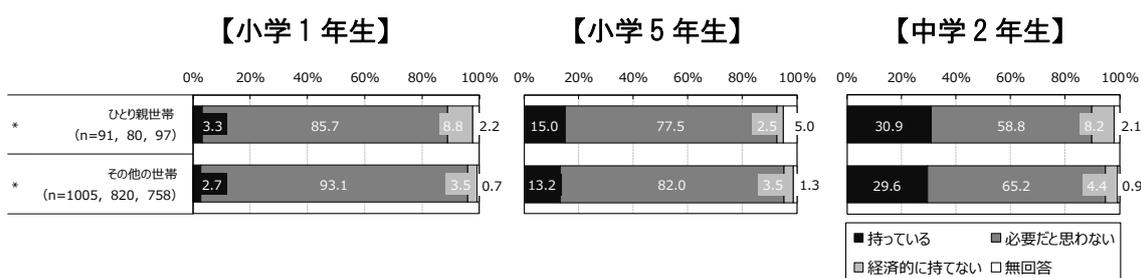
図表 25-21 K 携帯音楽プレイヤー等



### 《世帯別》

携帯音楽プレイヤー等については、小1では、いずれの世帯においても「必要だと思わない」が大半を占めており、「持っている」は1割未満となっています。小5では、いずれの世帯においても「必要だと思わない」が、7割以上となっています。中2では、いずれの世帯も「持っている」が約3割となっています。

図表 25-22 K 携帯音楽プレイヤー等



(8) 子どもにしていること

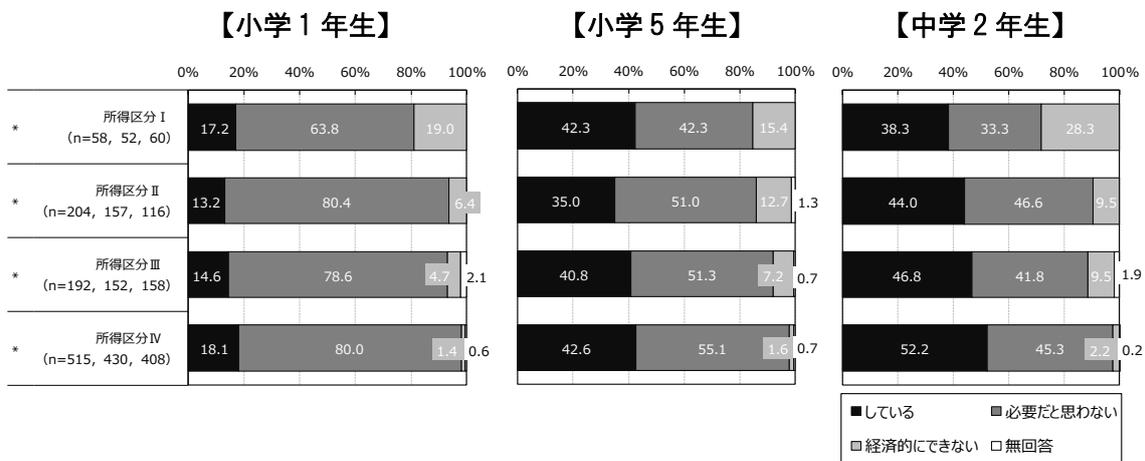
【小学1年生：問15、小学5年生・中学2年生：問12】  
 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(8-1) A 毎月おこづかいを渡す

《所得区分別》

毎月おこづかいを渡すについては、小1はいずれの所得区分においても「必要だと思わない」が大半を占めており、「している」は約1割以上となっています。中2では、「している」の割合は所得が低いほど割合が低くなっています。

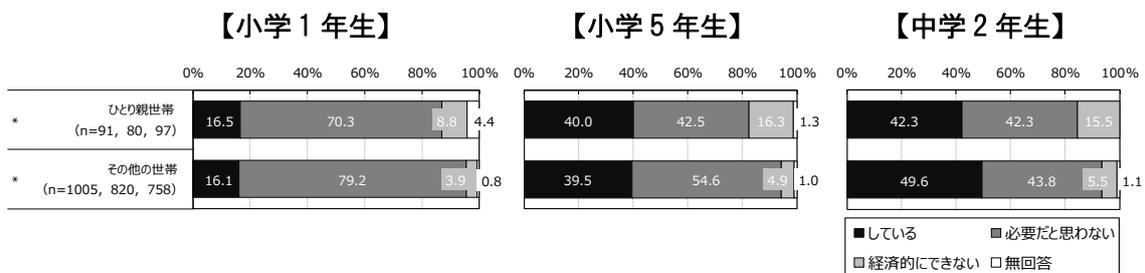
図表 26-1 A 毎月おこづかいを渡す



《世帯別》

毎月おこづかいを渡すについては、小1はいずれの世帯においても「必要だと思わない」が大半を占めており、「している」は、2割未満となっています。小5では、その他の世帯では5割以上が「必要だと思わない」となっており、いずれの世帯も「している」が約4割となっています。中2では、「している」と「必要だと思わない」が同程度となっています。「経済的にできない」は小5と中2のひとり親世帯で1割以上となっています。

図表 26-2 A 毎月おこづかいを渡す

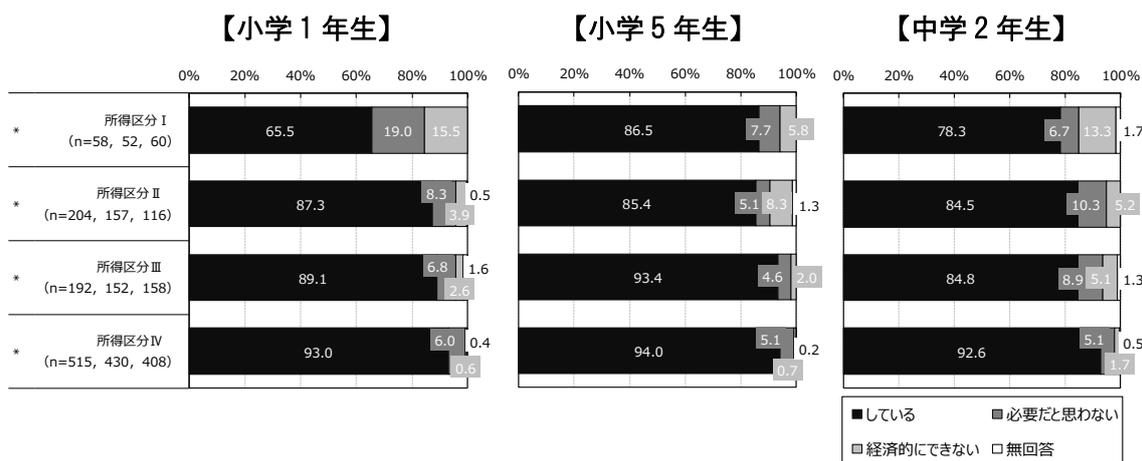


## (8-2) B 毎年新しい洋服・靴を買う

### 《所得区分別》

毎年新しい洋服・靴を買うについては、いずれの学年においても、所得区分が上がるにつれて「している」の割合が高くなる傾向にあり、所得区分Ⅳでは、9割以上が「している」となっています。「必要だと思わない」では、小1と小5では所得区分Ⅰが最も高くなっており、中2では、所得区分Ⅱが最も高くなっていました。「経済的にできない」は小1と中2の所得区分Ⅰで1割以上となっています。

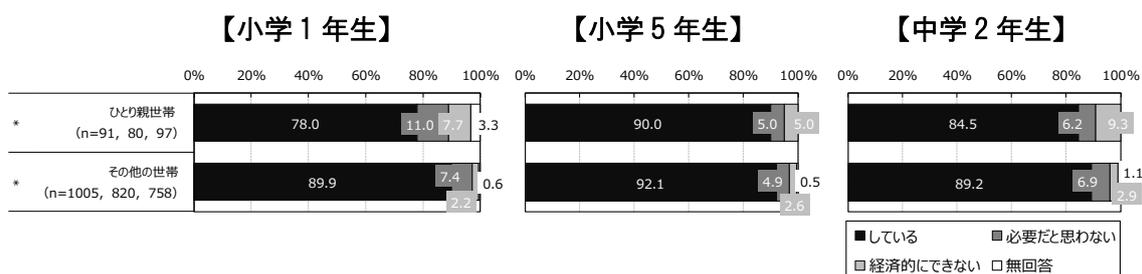
図表 26-3 B 毎年新しい洋服・靴を買う



### 《世帯別》

毎年新しい洋服・靴を買うについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「している」の割合が高くなっており、小5のその他の世帯が92.1%と最も高くなっていました。「必要だと思わない」では、小1のひとり親世帯で1割以上となっています。「経済的にできない」は、中2のひとり親世帯が9.3%と最も高くなっていました。

図表 26-4 B 毎年新しい洋服・靴を買う

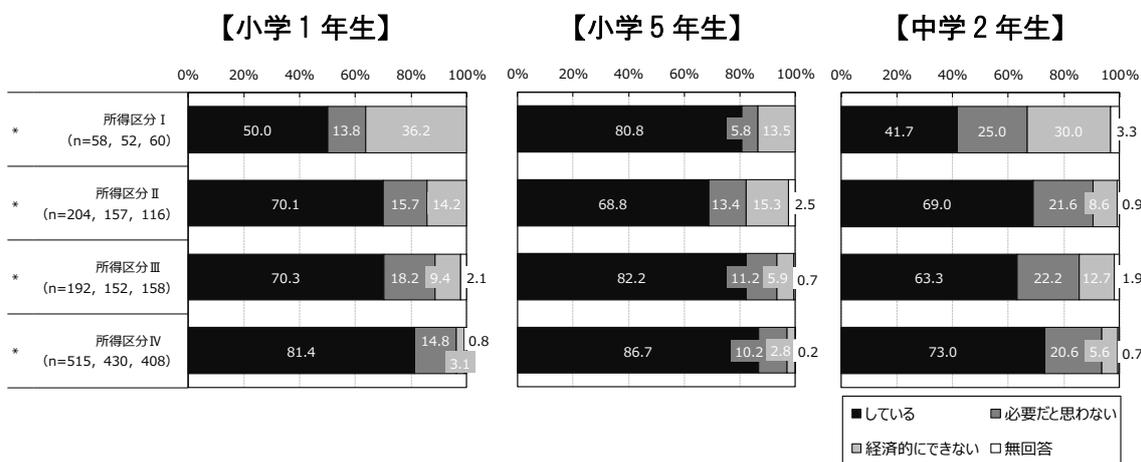


### (8-3) C 習い事に通わせる

#### 《所得区分別》

習い事に通わせるについては、いずれの学年においても「している」割合が高くなっています。「経済的にできない」は、いずれの所得区分においても、所得が低くなるにつれて割合が高くなる傾向があり、小1の所得区分Ⅰが36.2%と最も高くなっています。

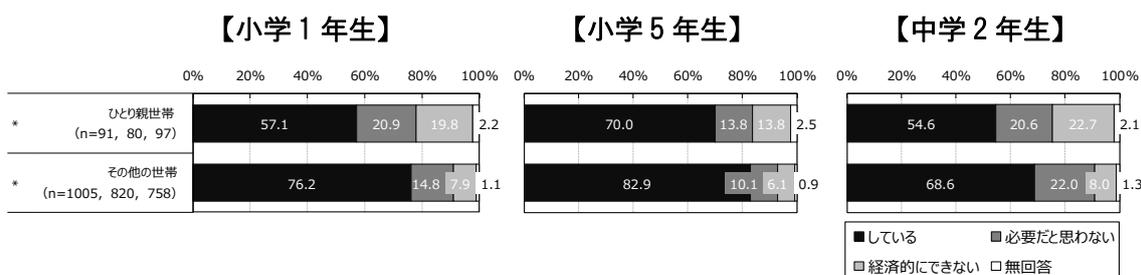
図表 26-5 C 習い事に通わせる



#### 《世帯別》

習い事に通わせるについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「している」の割合は高くなっており、小5のその他の世帯が82.9%と最も高くなっています。「経済的にできない」では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が22.7%と最も高くなっています。

図表 26-6 C 習い事に通わせる



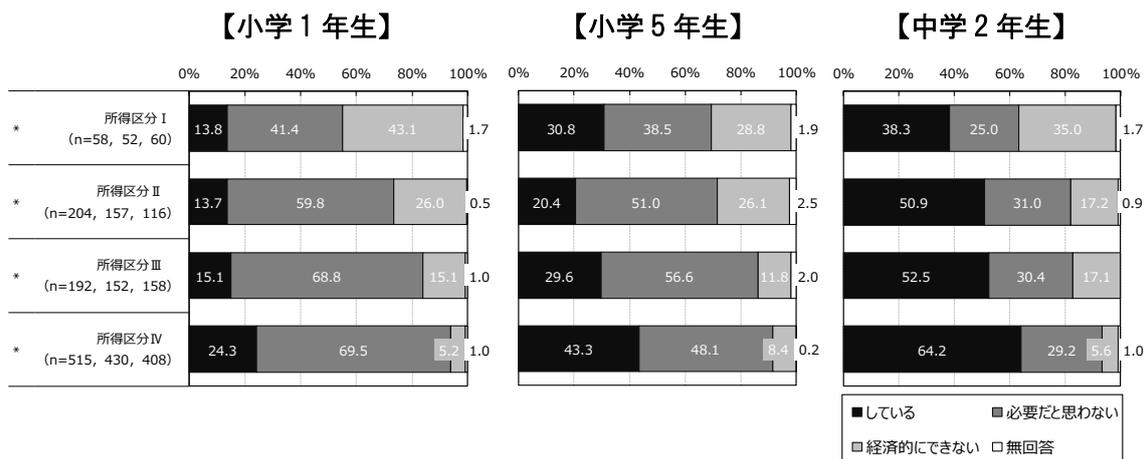
## (8-4) D学習塾に通わせる

### 《所得区分別》

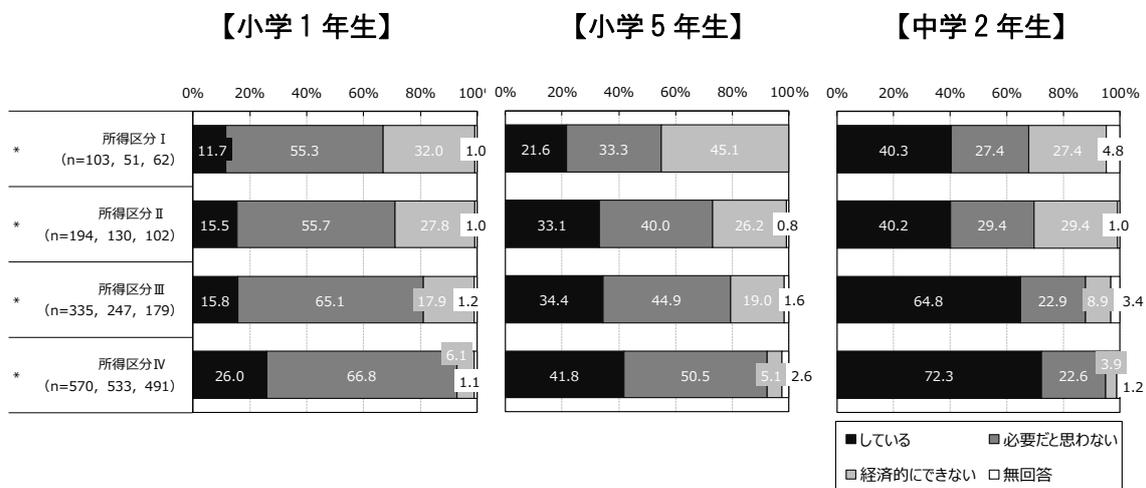
学習塾に通わせるについては、いずれの学年においても、所得が上がるほど「している」割合が高くなる傾向があります。「経済的にできない」では、いずれの学年においても、所得が低くなるにつれて割合が高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5の所得区分Ⅰにおいて、「経済的にできない」の割合は、16.3%低くなっています。

図表 26-7 D 学習塾に通わせる



[平成30年度調査 図表 26-7 D 学習塾に通わせる]

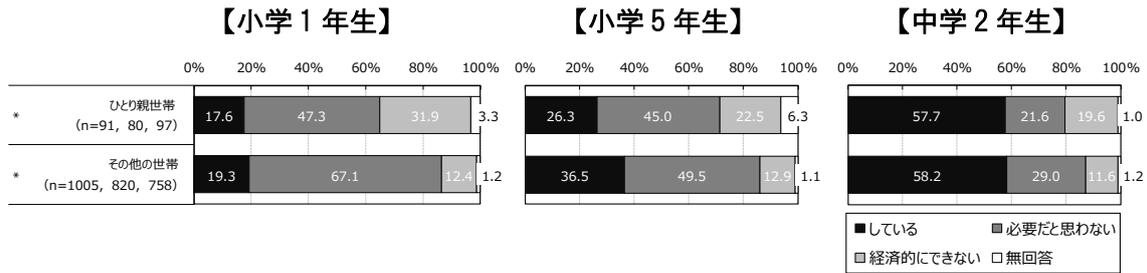


《世帯別》

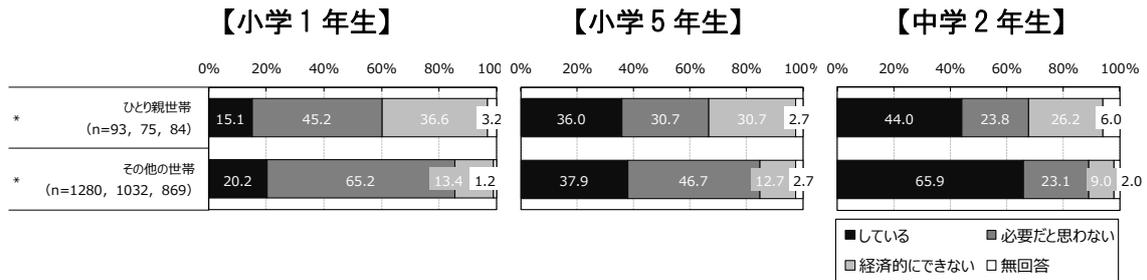
学習塾に通わせるについては、いずれの学年においても、その他の世帯で「している」の割合が高くなっています。また、学年が上がるにつれても高くなっています。「必要だと思わない」では、小1のその他の世帯が67.1%と最も高くなっています。「経済的にできない」では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1が31.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2のひとり親世帯において、「している」の割合は13.7%高くなっています。

図表 26-8 D 学習塾に通わせる



[平成30年度調査 図表 26-8 D 学習塾に通わせる]

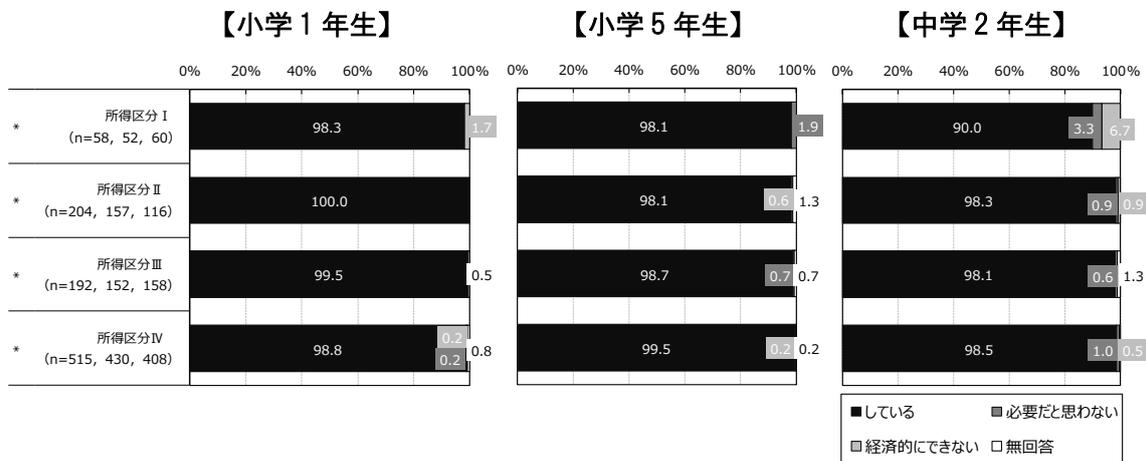


(8-5) E お誕生日のお祝いをする

《所得区分別》

お誕生日のお祝いをするについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が9割を超えており、大半を占めています。

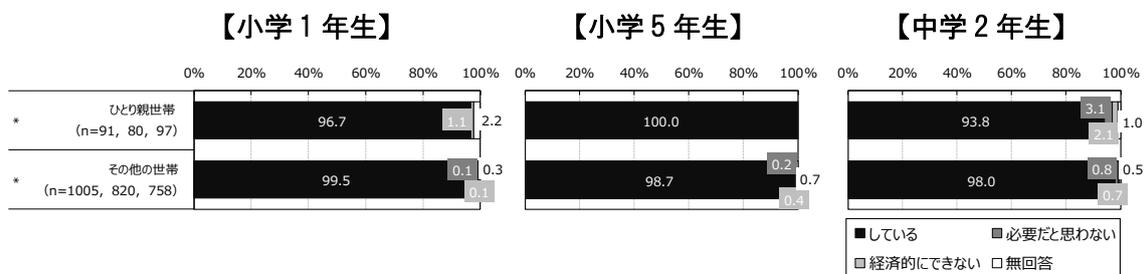
図表 26-9 E お誕生日のお祝いをする



《世帯別》

お誕生日のお祝いをするについては、いずれの学年・世帯においても「している」が9割を超えており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの世帯においても1割未満となっています。

図表 26-10 E お誕生日のお祝いをする

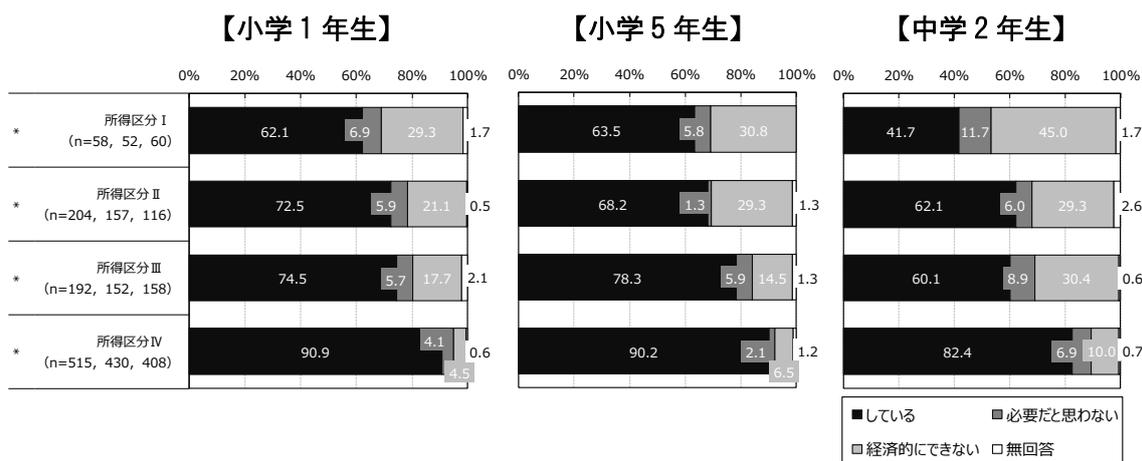


## (8-6) F1年に1回くらい家族旅行に行く

### 《所得区分別》

1年に1回くらい家族旅行に行くについては、いずれの学年においても、所得区分が上がるにつれて「している」割合が高くなる傾向にあります。所得区分Ⅳでは「している」が8割を超えており、大半を占めています。「必要だと思わない」では、中2の所得区分Ⅰを除く、いずれの学年・所得区分においても、1割未満となっています。「経済的にできない」では、いずれの学年においても、所得が低いほど割合が高くなる傾向にあり、中2の所得区分Ⅰが45.0%と最も高くなっています。

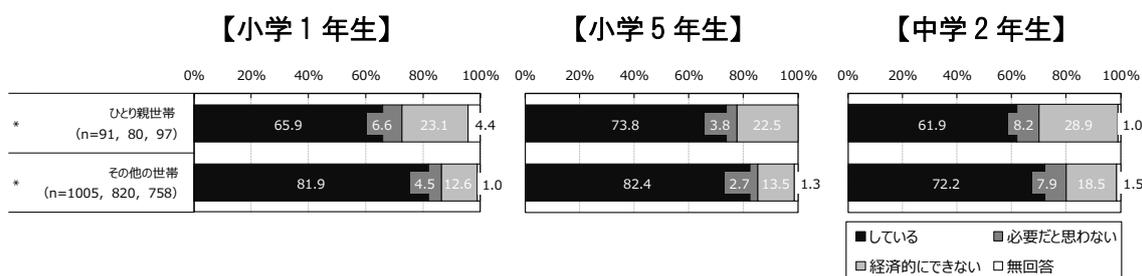
図表 26-11 F 1年に1回くらい家族旅行に行く



### 《世帯別》

1年に1回くらい家族旅行に行くについては、いずれの学年においても、その他の世帯で「している」割合は高くなっており、小5が82.4%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「経済的にできない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっています。

図表 26-12 F 1年に1回くらい家族旅行に行く

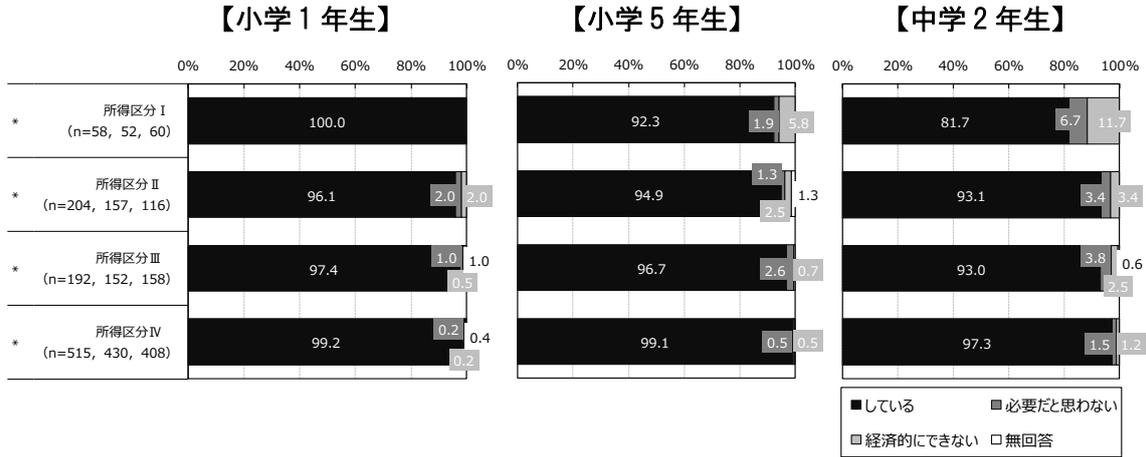


(8-7) G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

《所得区分別》

クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげるについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が8~9割となっており、大半を占めています。「経済的にできない」では、中2の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

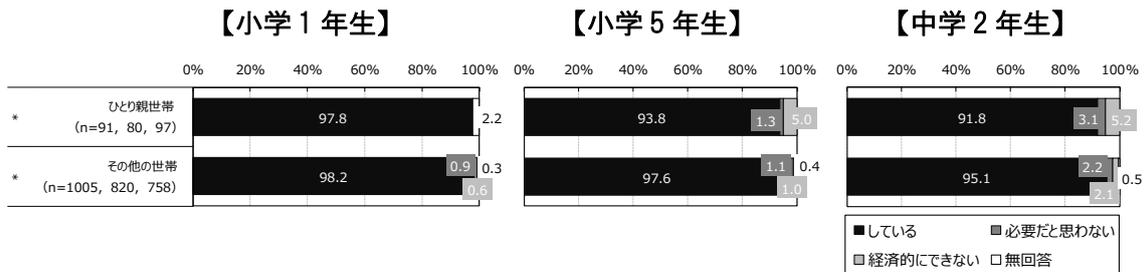
図表 26-13 G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



《世帯別》

クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげるについては、いずれの学年・世帯においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 26-14 G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

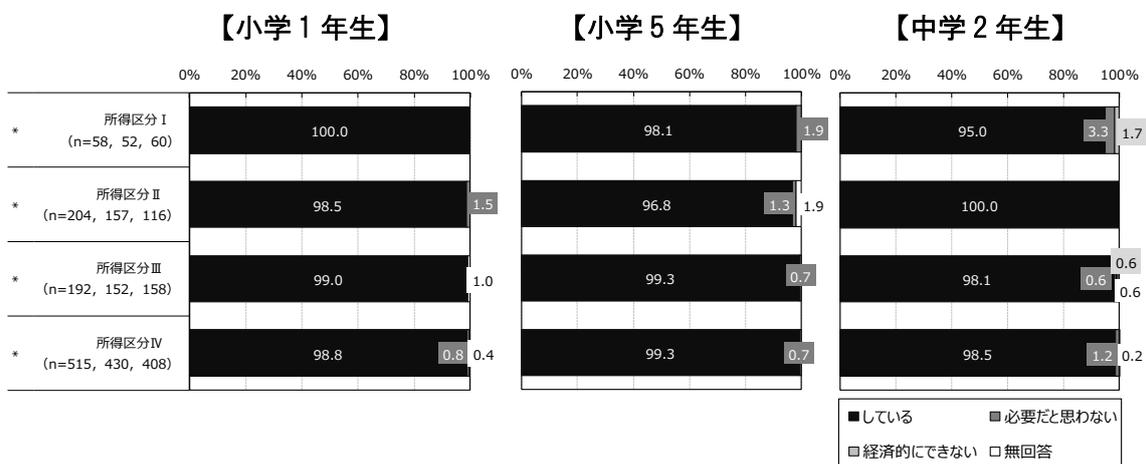


## (8-8) H医者に行く

### 《所得区分別》

医者に行くについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。小1の所得区分Ⅰと中2の所得区分Ⅱでは100%となっています。

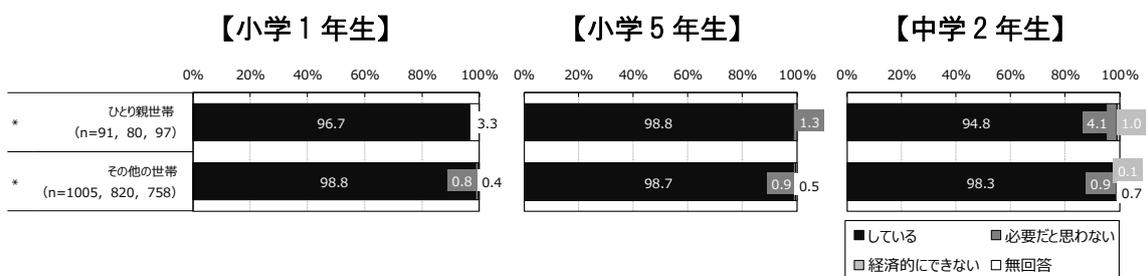
図表 26-15 H 医者に行く



### 《世帯別》

医者に行くについては、いずれの学年・世帯においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 26-16 H 医者に行く

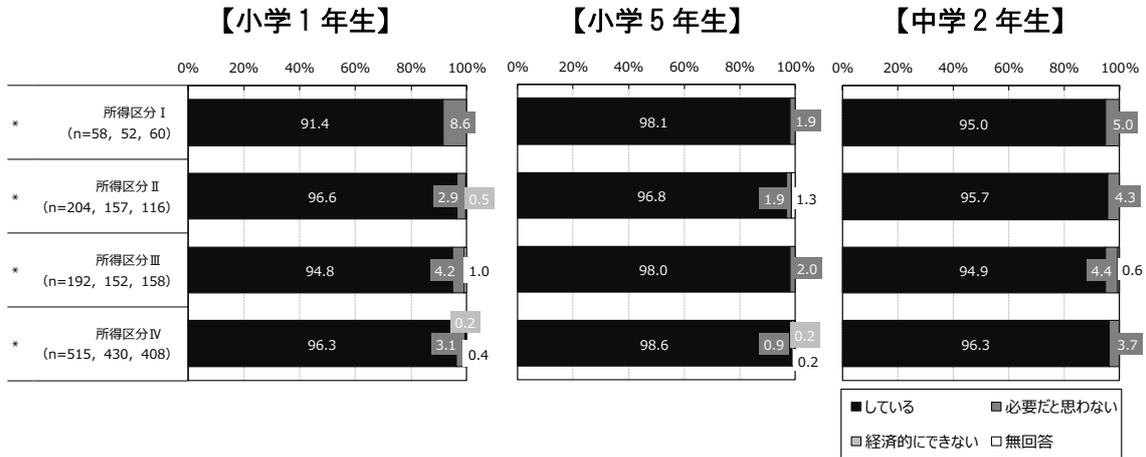


(8-9) I 歯医者に行く

《所得区分別》

歯医者に行くについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」と「経済的にできない」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

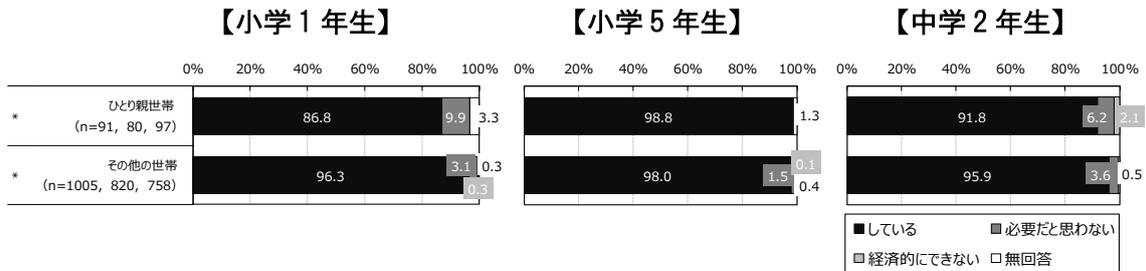
図表 26-17 I 歯医者に行く



《世帯別》

歯医者に行くについては、いずれの学年・世帯においても「している」が大半を占めています。「必要だと思わない」では、小1のひとり親世帯の9.9%が最も高くなっています。「経済的にできない」は、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 26-18 I 歯医者に行く

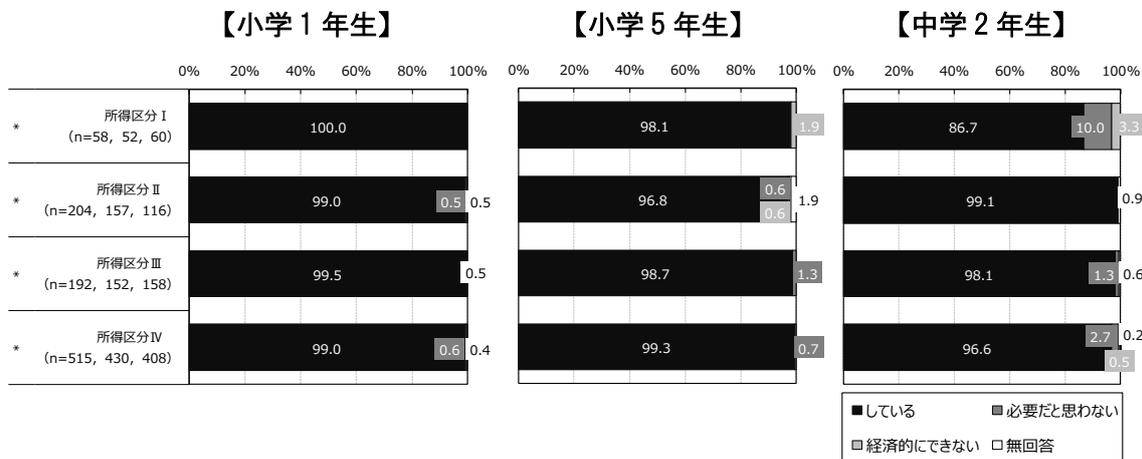


(8-10) J子どもの学校行事などへ親が参加する

《所得区分別》

子どもの学校行事などへ親が参加するについては、いずれの学年・所得区分においても「している」が大半を占めています。小1の所得区分Iでは100%となっています。

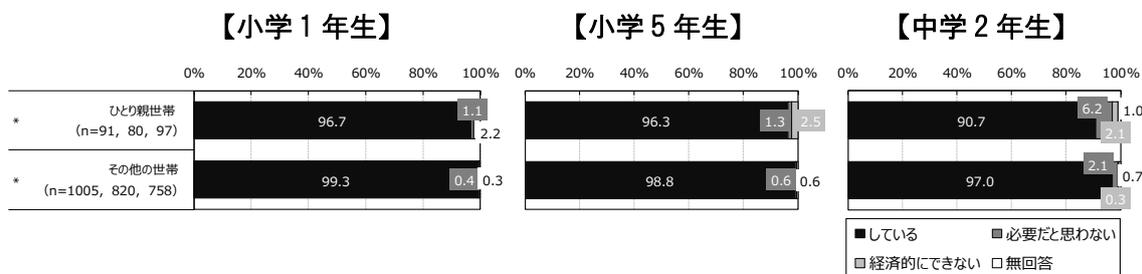
図表 26-19 J子どもの学校行事などへ親が参加する



《世帯別》

子どもの学校行事などへ親が参加するについては、いずれの学年・世帯においても「している」が9割以上となっており、大半を占めています。「必要だと思わない」、「経済的にできない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 26-20 J子どもの学校行事などへ親が参加する



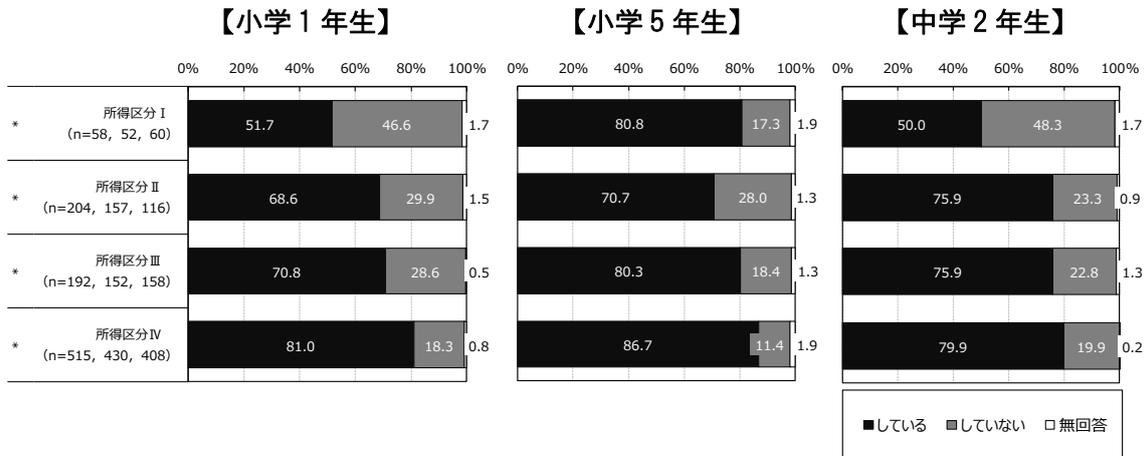
(9) 地域のクラブ活動等以外の有料の習い事

【小学1年生：問 17-1、小学5年生・中学2年生：問 14-1】  
 お子さんは、習い事等（スポーツクラブ・学習塾を含む）をしていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

《所得区分別》

地域のクラブ活動等以外の有料の習い事については、いずれの学年においても、所得が上がるにつれて「している」の割合が高くなる傾向にあります。また、小1と中2の所得区分Iでは「していない」が4割を超えています。

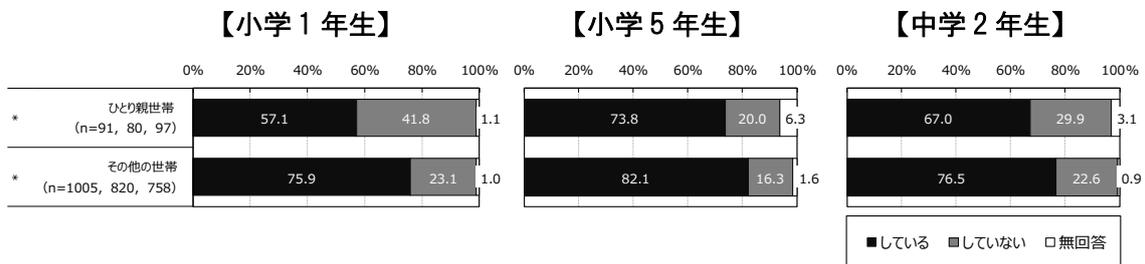
図表 27-1 地域のクラブ活動等の有料の習い事



《世帯別》

地域のクラブ活動等以外の有料の習い事については、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が「している」の割合は高くなっており、小5で82.1%と最も高くなっています。一方、「していない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1で41.8%と最も高くなっています。

図表 27-2 地域のクラブ活動等の有料の習い事



(10) 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの

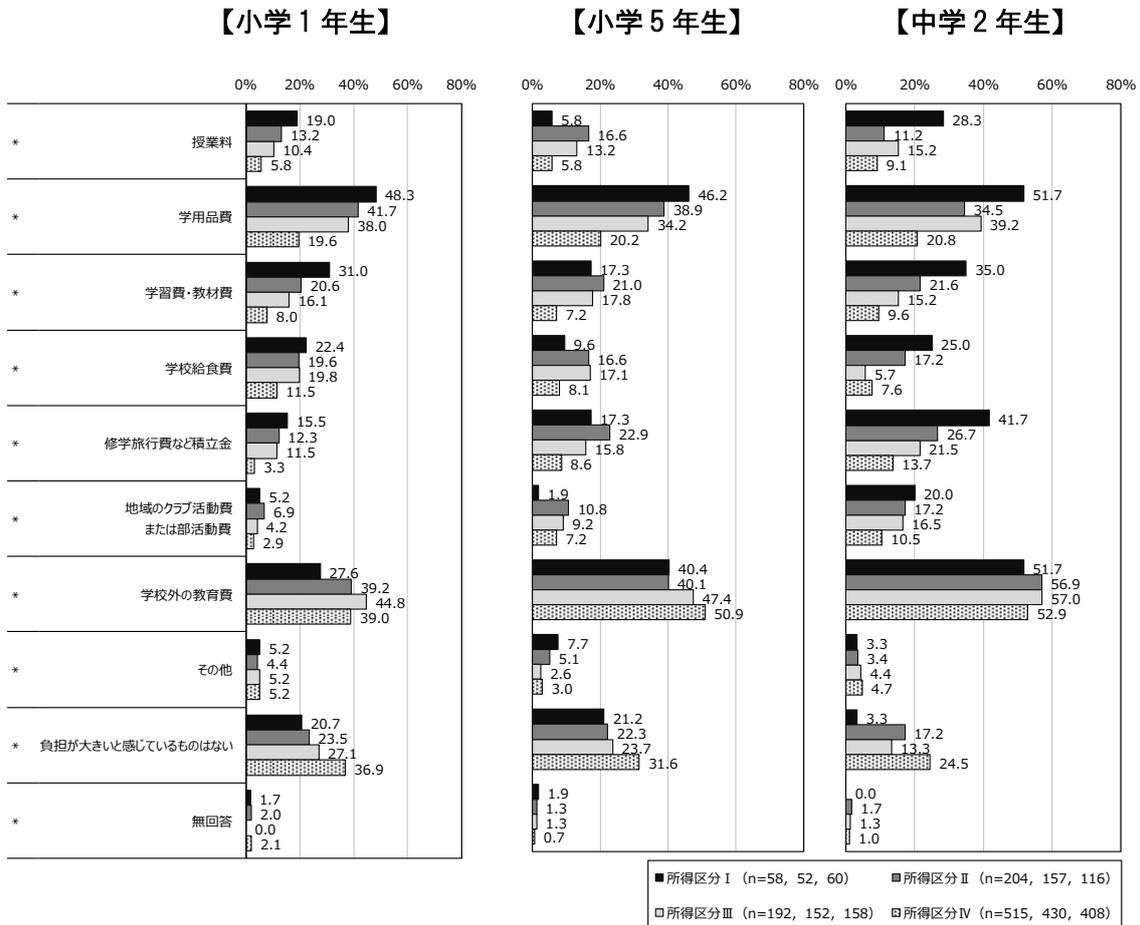
【小学1年生：問18、小学5年生・中学2年生：問15】  
 お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

《所得区分別》

教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものについては、小1の所得区分Ⅰ・所得区分Ⅱでは「学用品費」が最も高くなっており、その他の所得区分では「学校外の教育費」となっています。また、所得区分Ⅳでは「負担が大きいと感じているものはない」も高くなっています。小5と中2では「学用品費」と「学校外の教育費」が高くなっており、所得区分Ⅳでは「負担が大きいと感じているものはない」も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2の所得区分Ⅰの「学用品費」の割合は16.2%高くなっています。

図表 28-1 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの

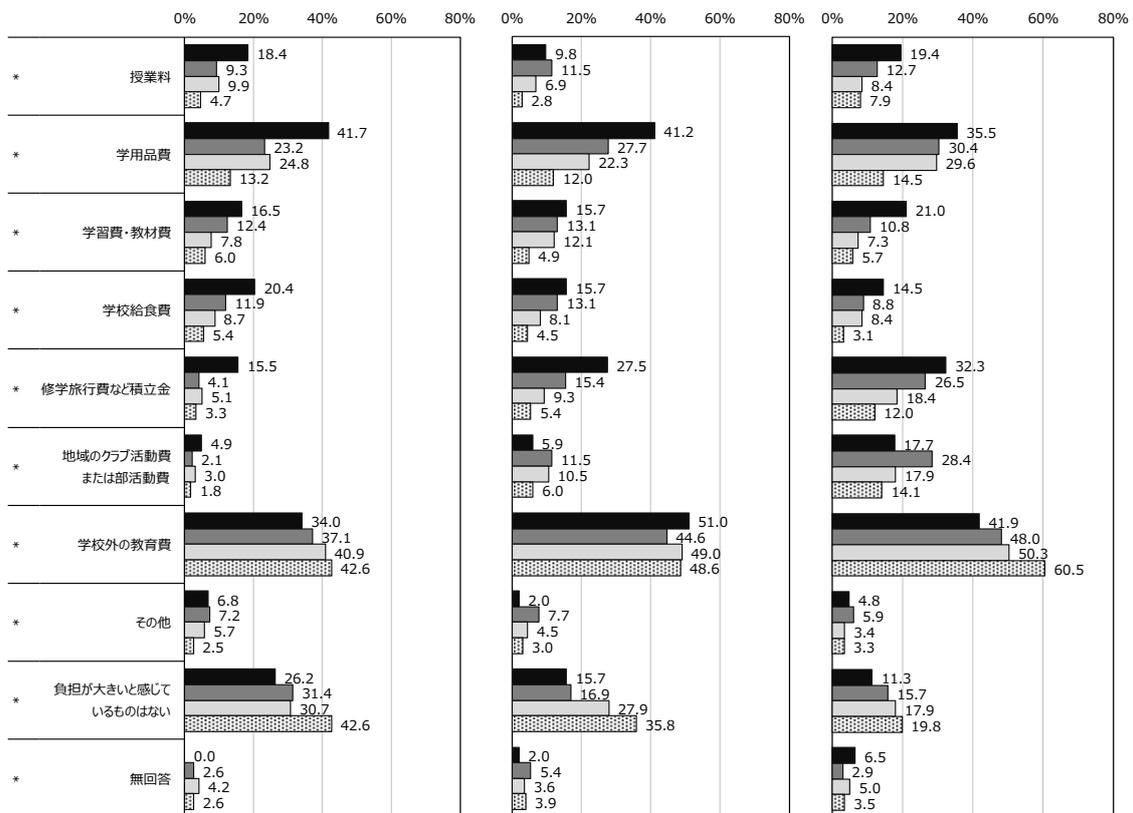


[平成30年度調査 図表 28-1 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの]

【小学1年生】

【小学5年生】

【中学2年生】



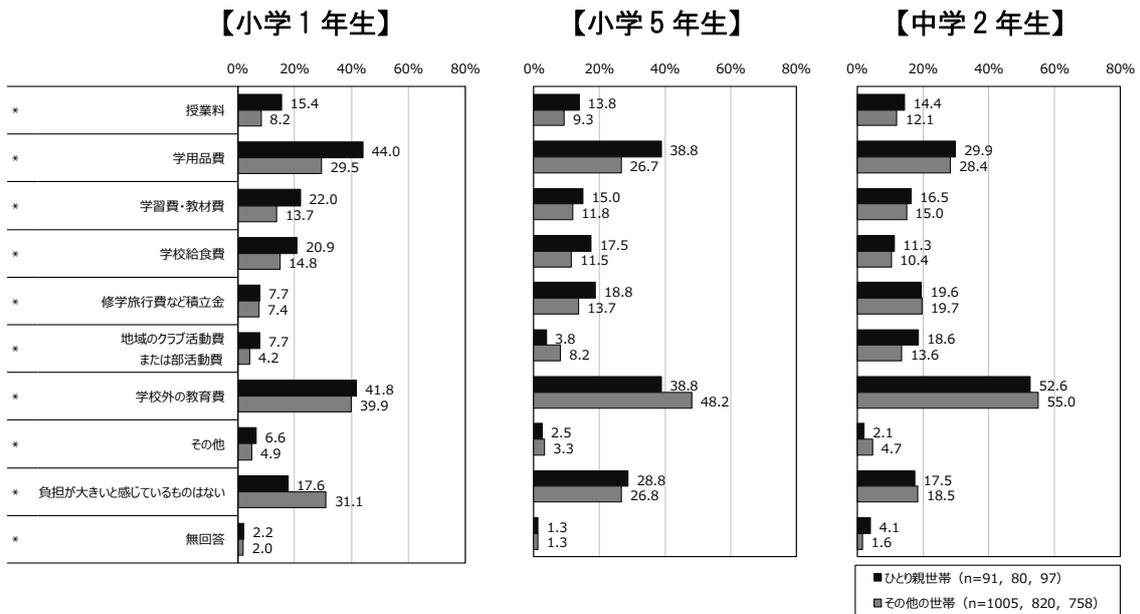
■所得区分 I (n=103, 51, 62) ■所得区分 II (n=194, 130, 102)  
 □所得区分 III (n=335, 247, 179) □所得区分 IV (n=570, 533, 491)

《世帯別》

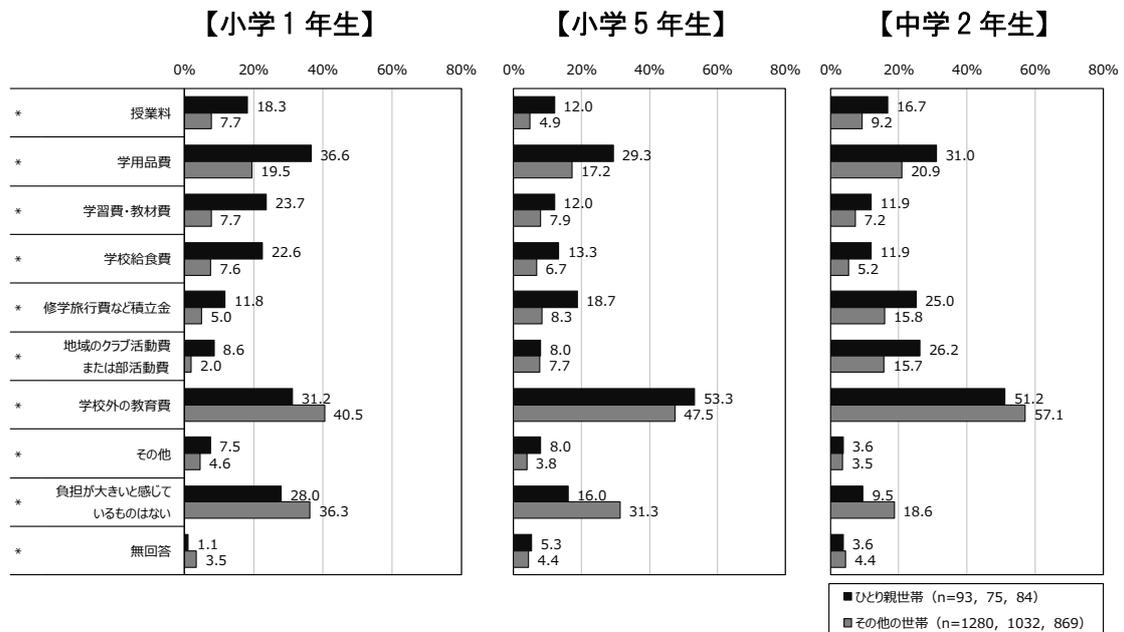
教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものについては、小1のひとり親世帯では「学用品費」が最も高くなっており、その他の世帯では「学校外の教育費」が最も高くなっています。中2では、その他の世帯において「学校外の教育費」が最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯において、「学校外の教育費」の割合は14.5%低くなっています。

図表 28-2 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの



[平成30年度調査 図表 28-2 教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているもの]



(11) どの段階まで教育を受けさせたいか

【小学1年生：問19、小学5年生・中学2年生：問16】  
 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。  
 A～Cについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

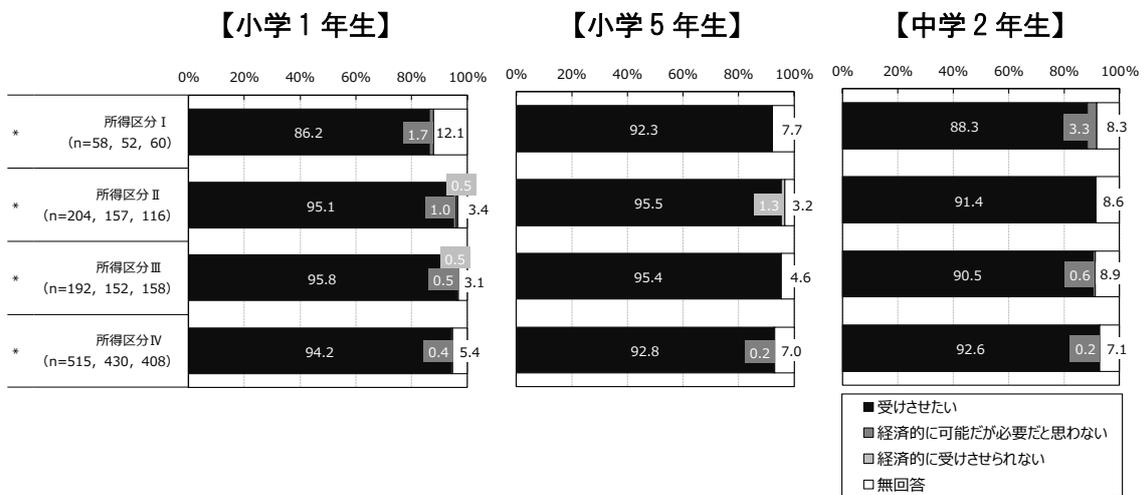
(11-1) A高等学校

《所得区分別》

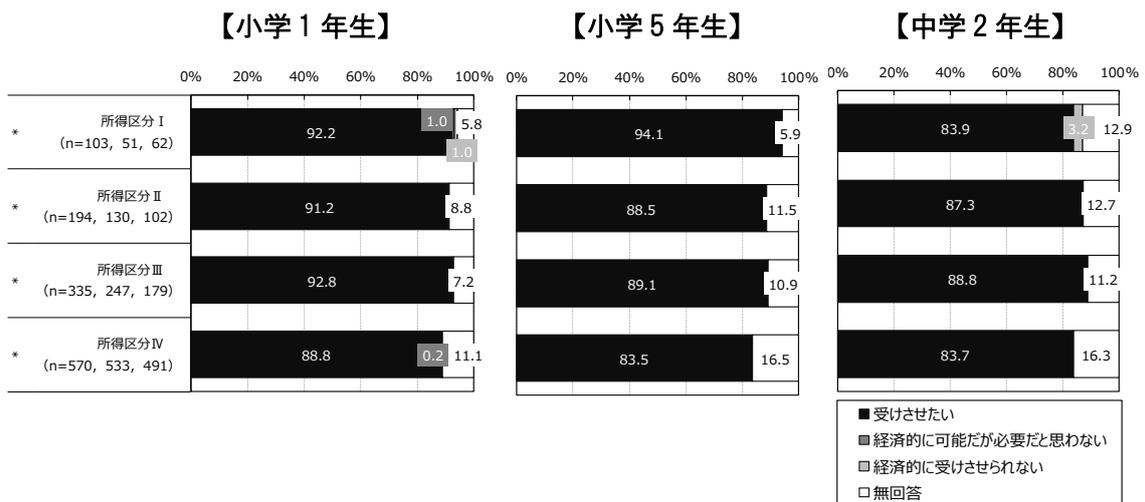
高等学校については、いずれの学年・所得区分においても「受けさせたい」が8割を超えており、大半を占めています。

平成30年度調査と比較して大きな変化は見られませんでした。

図表 29-1 A 高等学校



[平成30年度調査 図表 29-1 A 高等学校]

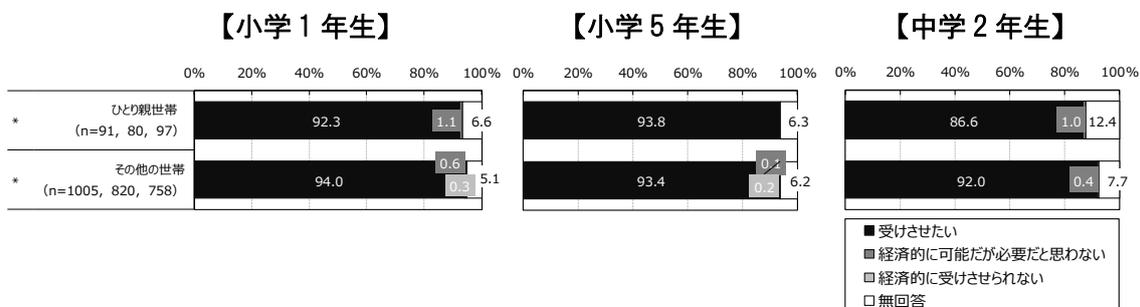


《世帯別》

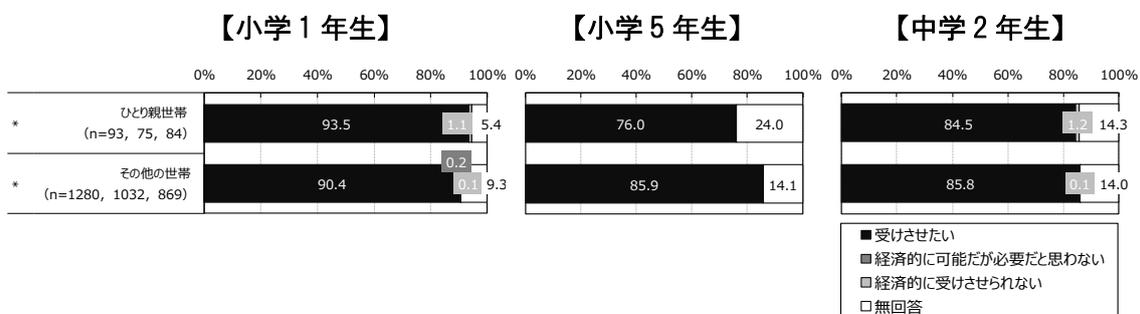
高等学校については、いずれの学年・世帯においても「受けさせたい」が大半を占めています。

平成 30 年度調査と比較して、小 5 のひとり親世帯において、「受けさせたい」の割合は 17.8%高くなっています。

図表 29-2 A 高等学校



[平成 30 年度調査 図表 29-2 A 高等学校]



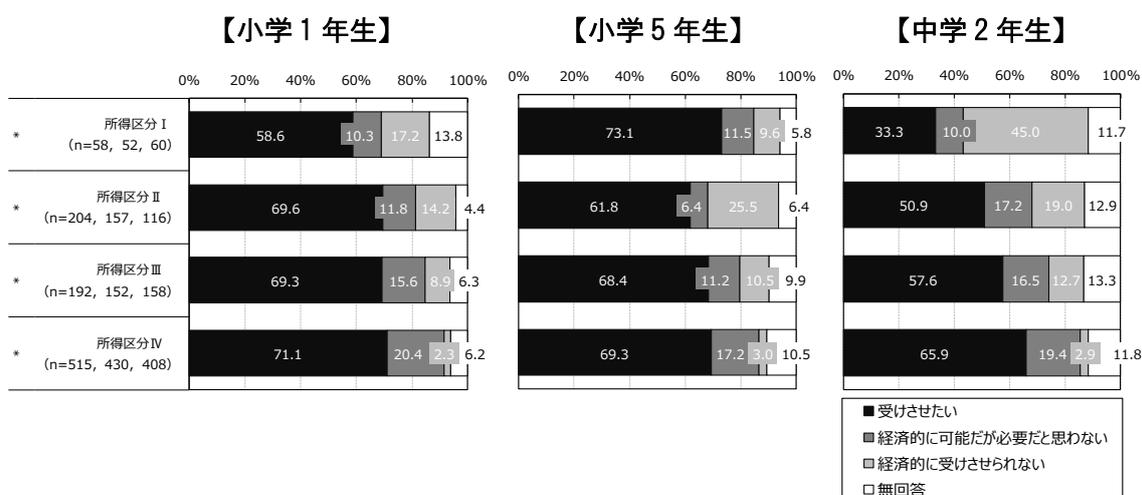
(11-2) B短大・高専・専門学校

《所得区分別》

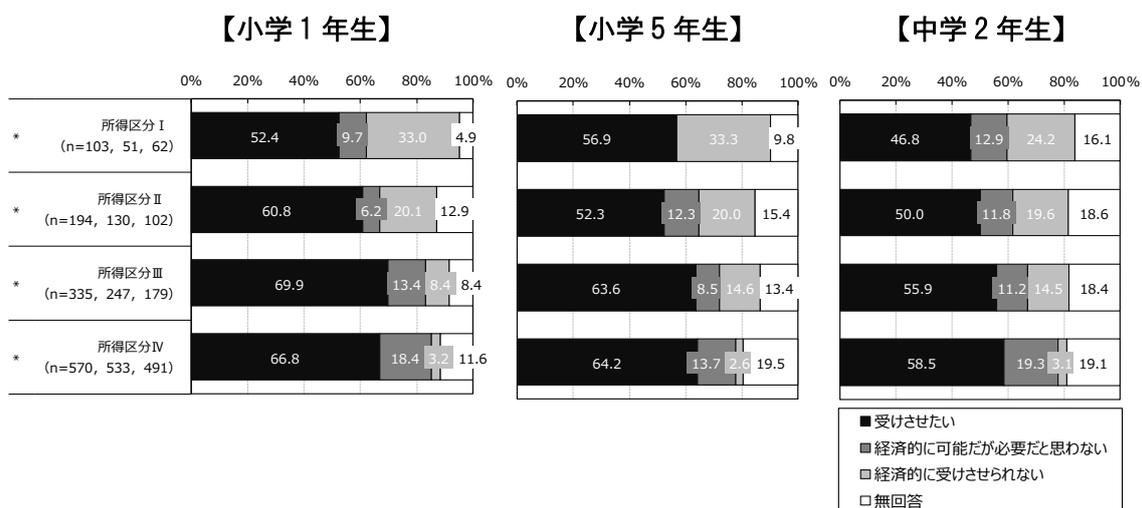
短大・高専・専門学校については、中2の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても「受けさせたい」が半数以上となっています。「経済的に可能だが必要だと思わない」では、所得が高いほど割合が高くなる傾向にあります。「経済的に受けさせられない」では、所得が低いほど高くなる傾向があり、中2の所得区分Iが45%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5の所得区分Iにおいて、「受けさせたい」の割合は、16.2%高くなっています。また、中2の所得区分I「経済的に受けさせられない」の割合は、20.8%高くなっています。

図表 29-3 B 短大・高専・専門学校



[平成30年度調査 図表 29-3 B 短大・高専・専門学校]

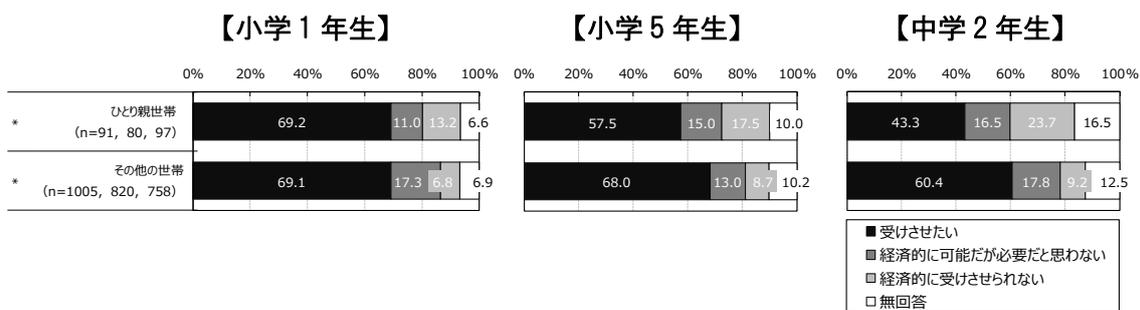


《世帯別》

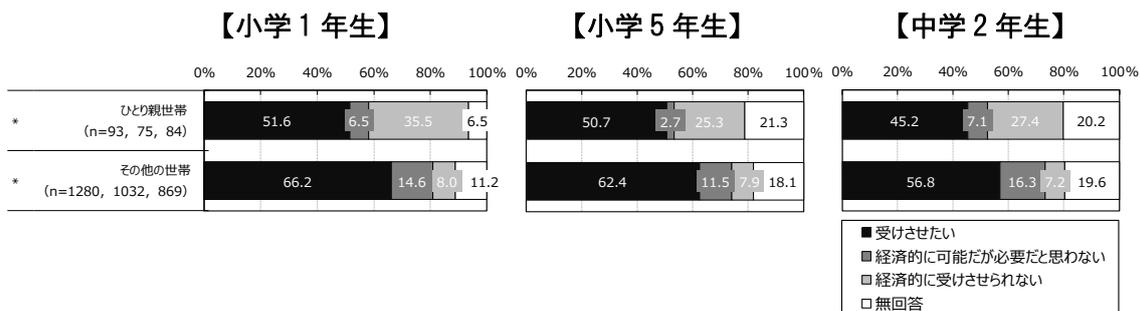
短大・高専・専門学校については、中2のひとり親世帯を除く、いずれの世帯においても「受けさせたい」が半数以上となっています。一方、「経済的に受けさせられない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2では23.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小1のひとり親世帯において、「受けさせたい」の割合は、17.6%高くなっています。

図表 29-4 B 短大・高専・専門学校



[平成30年度調査 図表 29-4 B 短大・高専・専門学校]



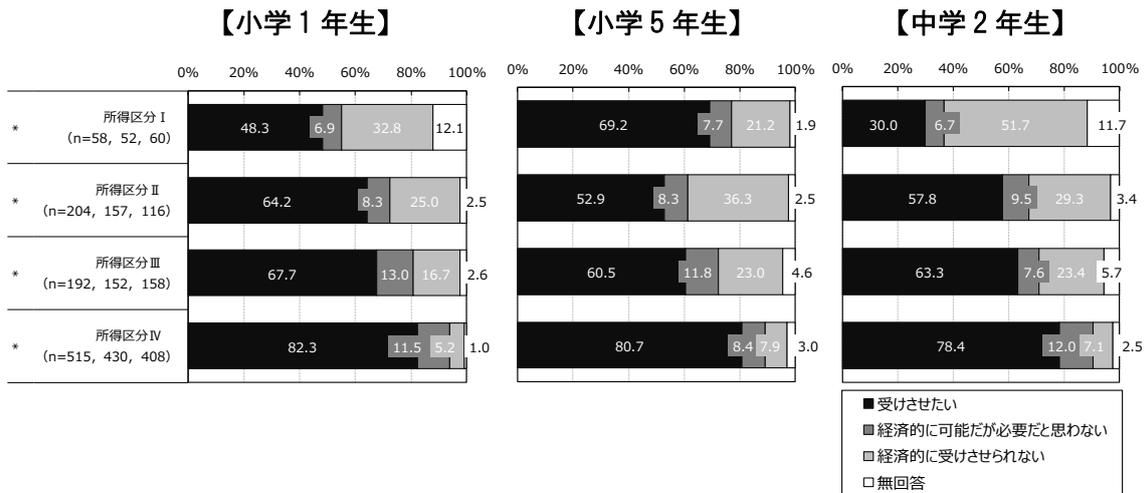
(11-3) C大学・大学院

《所得区分別》

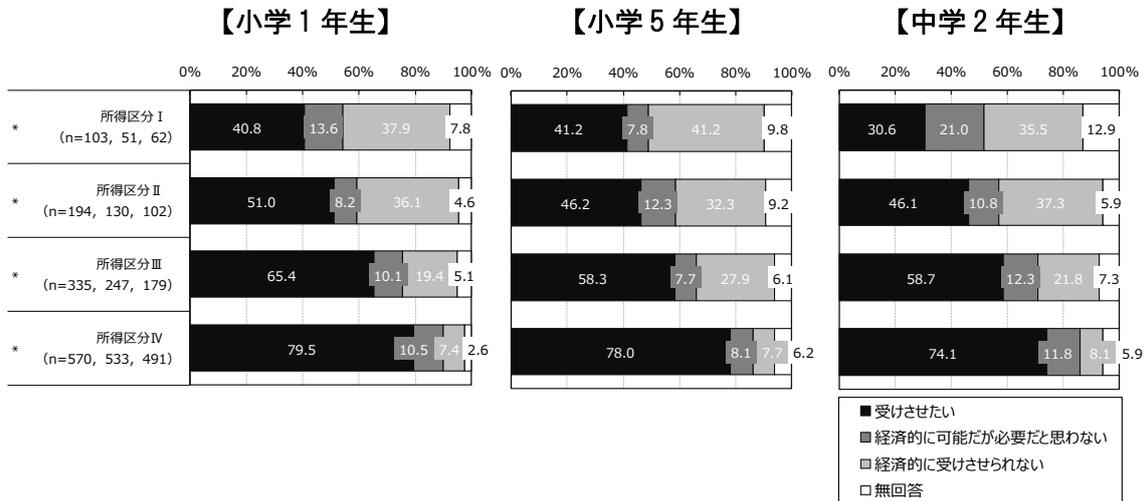
大学・大学院については、いずれの学年・所得区分においても、所得が上がるにつれて「受けさせたい」が高くなる傾向にあり、いずれの学年においても、所得区分Ⅳが7割以上と最も高くなっています。「経済的に受けさせられない」では、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅰが51.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5の所得区分Ⅰにおいて、「受けさせたい」の割合は、28.0%高くなっています。また、中2の所得区分Ⅰ「経済的に受けさせられない」の割合は、16.2%高くなっています。

図表 29-5 C 大学・大学院



[平成30年度調査 図表 29-5 C 大学・大学院]

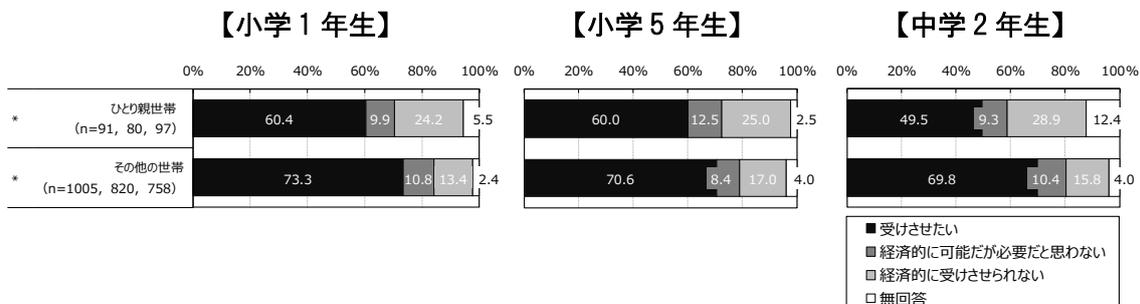


《世帯別》

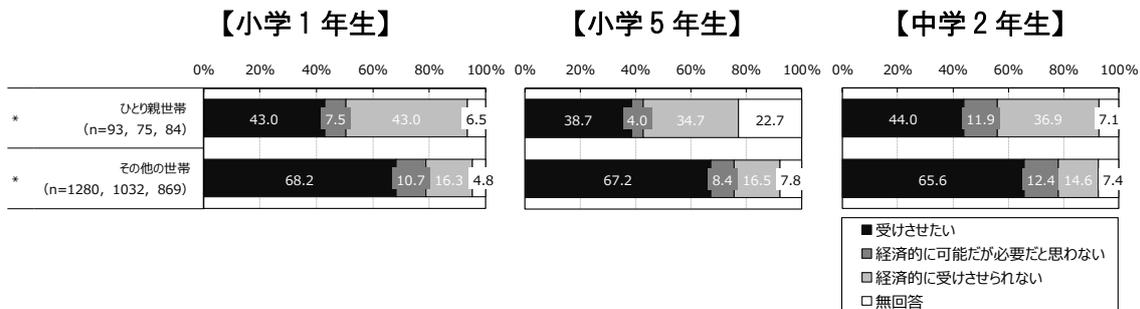
大学・大学院については、中2のひとり親世帯を除く、いずれの学年・世帯においても、「受けさせたい」が6割以上となっています。「経済的に受けさせられない」では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯において、「受けさせたい」の割合は、21.3%高くなっています。

図表 29-6 C 大学・大学院



[平成30年度調査 図表 29-6 C 大学・大学院]



## 6.3 お子さんとの関係について

### (1) 子どもとの関係

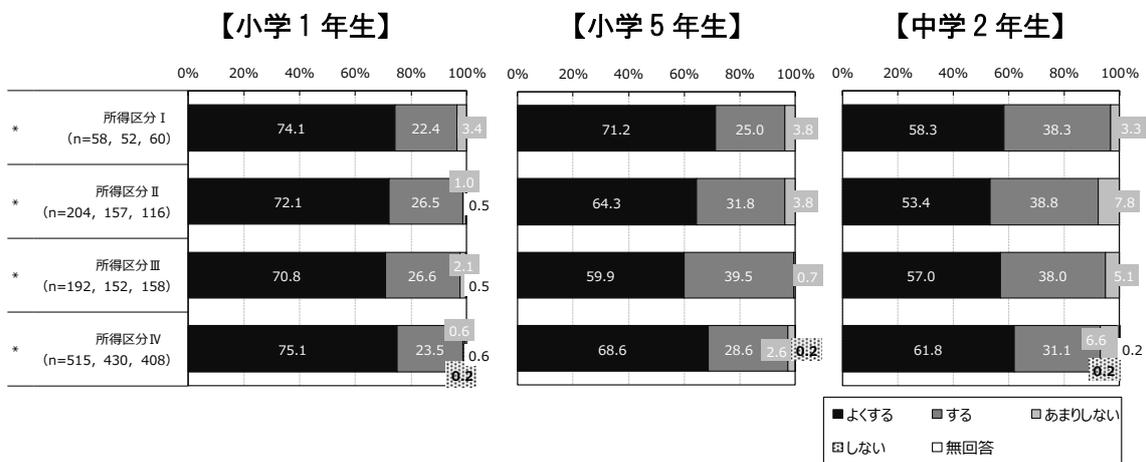
【小学1年生：問20、小学5年生・中学2年生：問17】  
 あなたとお子さんの関係について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。  
 (○はそれぞれひとつ)

#### (1-1) A子どもとよく会話するか

##### 《所得区分別》

子どもとよく会話するかについては、いずれの学年・所得区分においても「する」(「よくする」+「する」)が、大半を占めています。「しない」(「あまりしない」+「しない」)の割合は、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

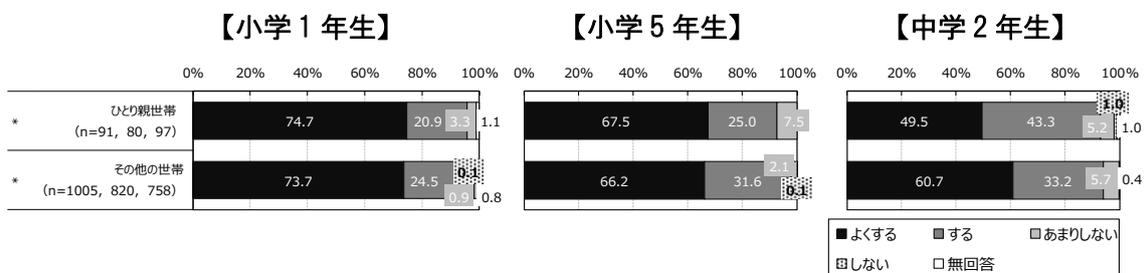
図表 30-1 A 子どもとよく会話するか



##### 《世帯別》

子どもとよく会話するかについては、いずれの学年・世帯においても「する」(「よくする」+「する」)が、大半を占めています。「しない」(「あまりしない」+「しない」)の割合は、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 30-2 A 子どもとよく会話するか

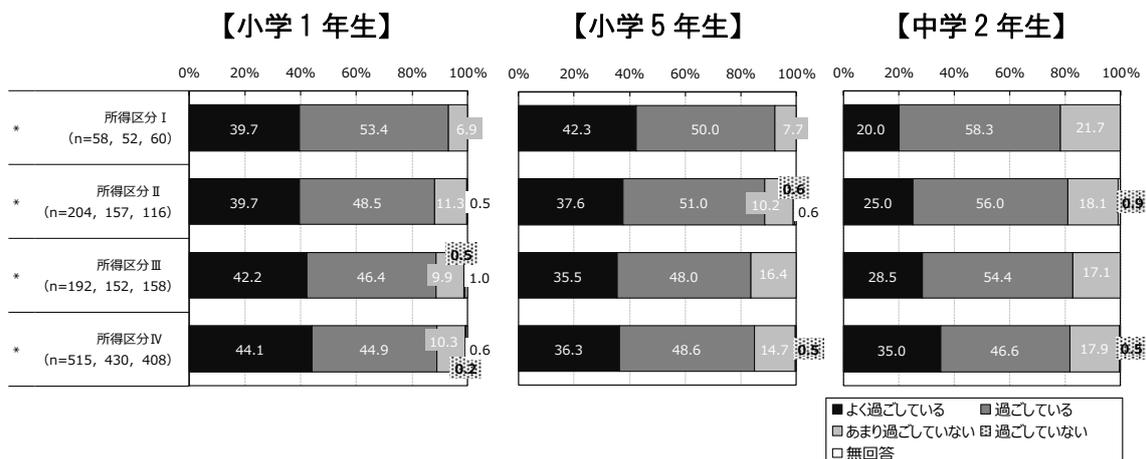


## (1-2) B子どもと十分な時間を過ごしているか

### 《所得区分別》

子どもと十分な時間を過ごしているかについては、いずれの学年・所得区分においても「過ごしている」（「よく過ごしている」＋「過ごしている」）が、大半を占めています。「あまり過ごしていない」の割合は、いずれの学年・所得区分においても1～2割前後となっています。

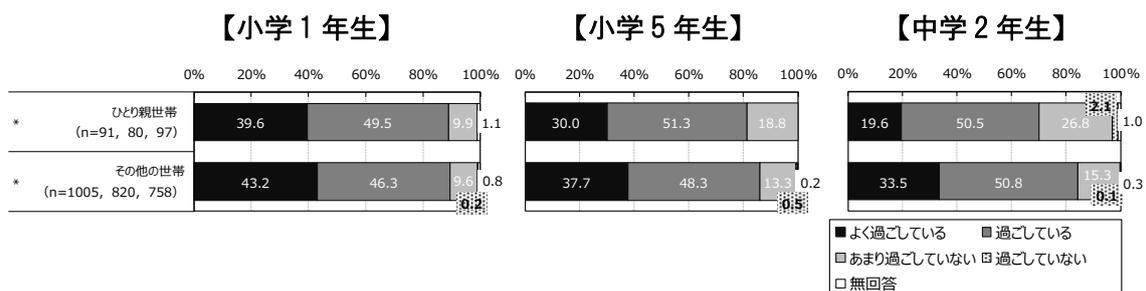
図表 30-3 B 子どもと十分な時間を過ごしているか



### 《世帯別》

子どもと十分な時間を過ごしているかについては、中2のひとり親世帯を除く、いずれの学年・世帯においても、「過ごしている」（「よく過ごしている」＋「過ごしている」）が8割以上となっています。「過ごしていない」（「あまり過ごしていない」＋「過ごしていない」）では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2で28.9%と最も高くなっています。

図表 30-4 B 子どもと十分な時間を過ごしているか

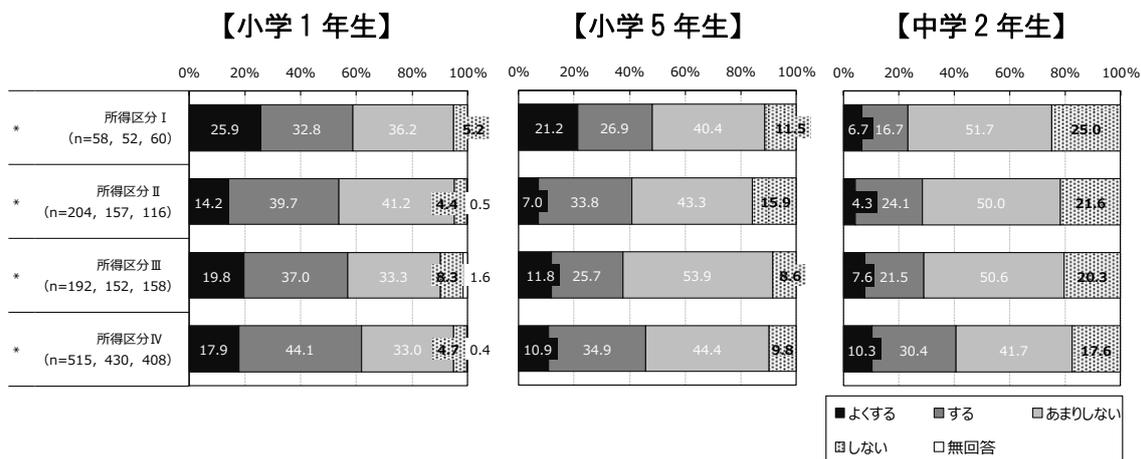


### (1-3) C子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするか

#### 《所得区分別》

子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするかについては、「する」（「よくする」＋「する」）の割合は、小1の所得区分Ⅳが62.0%と最も高くなっています。「しない」（「あまりしない」＋「しない」）では、小5・中2で高いいずれの所得区分においても5割以上となっています。

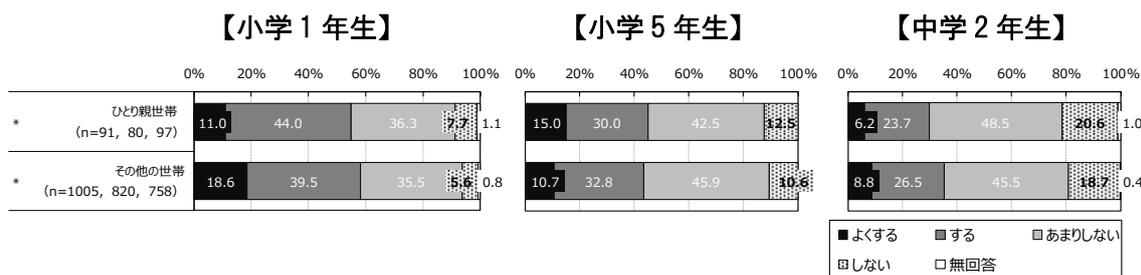
図表 30-5 C 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするか



#### 《世帯別》

子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするかについては、「する」（「よくする」＋「する」）は、小1のその他の世帯が58.1%と最も高くなっています。一方、「しない」（「あまりしない」＋「しない」）では、小1を除き、いずれの学年・世帯においても半数以上となっており、中2のひとり親世帯が69.1%と最も高くなっています。

図表 30-6 C 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりするか

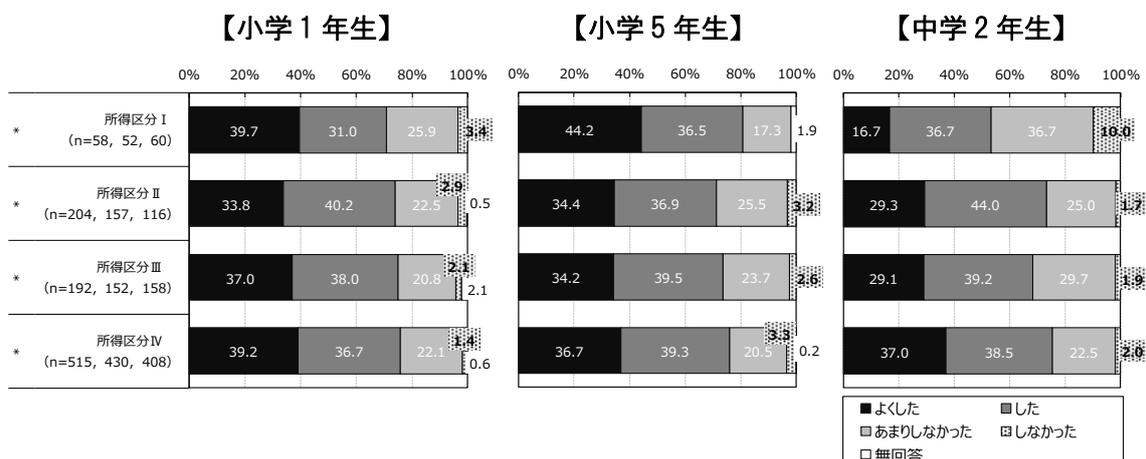


## (1-4) D子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか

### 《所得区分別》

子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたかについては、中2の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても「する」(「よくする」+「する」)の割合は6割以上となっており、小5の所得区分Iで80.7%と最も高くなっています。「しなかった」(「あまりしなかった」+「しなかった」)では、中2の所得区分Iが46.7%と最も高くなっています。

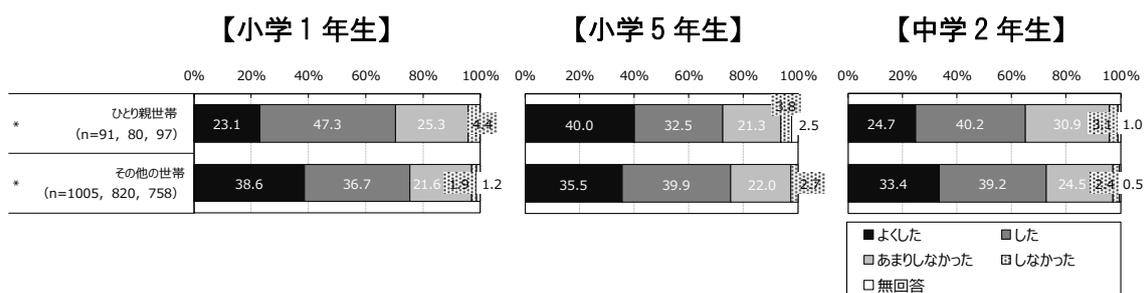
図表 30-7 D 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか



### 《世帯別》

子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたかについては、いずれの学年・世帯においても「する」(「よくする」+「する」)の割合は6割以上となっており、小5のその他の世帯では75.4%と最も高くなっています。一方、「しなかった」(「あまりしなかった」+「しなかった」)では、中2のひとり親世帯で34.0%と最も高くなっています。

図表 30-8 D 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしたか

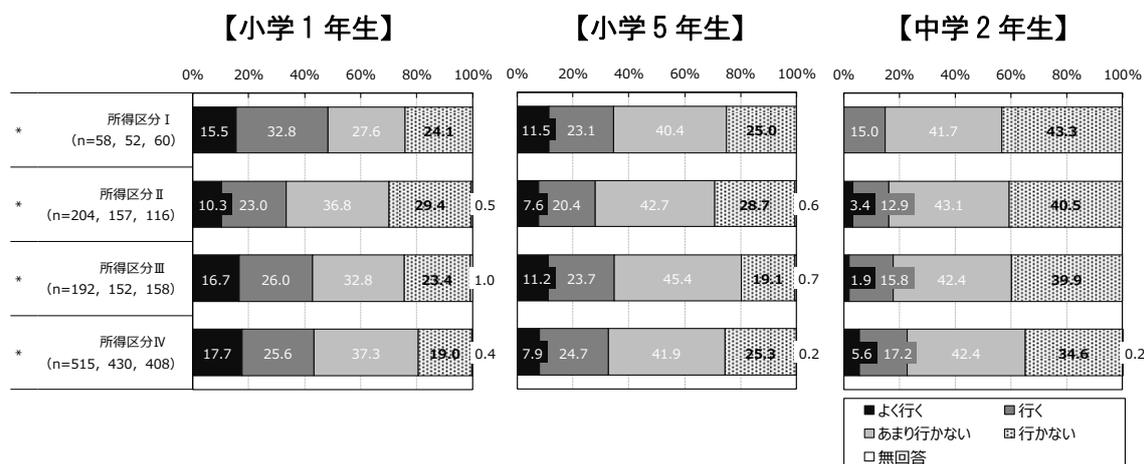


## (1-5) E子どもと一緒に図書館に行くか

### 《所得区分別》

子どもと一緒に図書館に行くかについては、いずれの学年・所得区分においても「行かない」（「あまり行かない」＋「行かない」）の割合が高く、半数を超えています。中2では、いずれの所得区分においても「行かない」が7割以上となっています。「行く」（「よく行く」＋「行く」）では、小1の所得区分Iが48.3%と最も高くなっています。

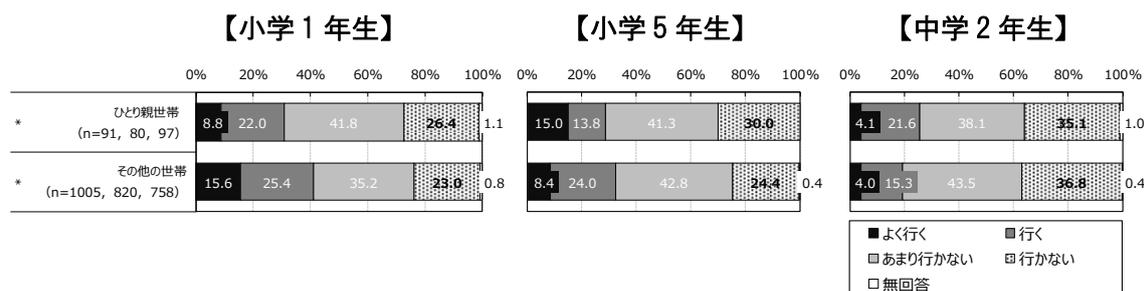
図表 30-9 E 子どもと一緒に図書館に行くか



### 《世帯別》

子どもと一緒に図書館に行くかについては、いずれの学年・世帯においても「行かない」（「あまり行かない」＋「行かない」）の割合が高く、半数を超えています。中2では、いずれの世帯においても「行かない」が7割以上となっています。「行く」（「よく行く」＋「行く」）では、小1のその他の世帯が41.0%と最も高くなっています。

図表 30-10 E 子どもと一緒に図書館に行くか



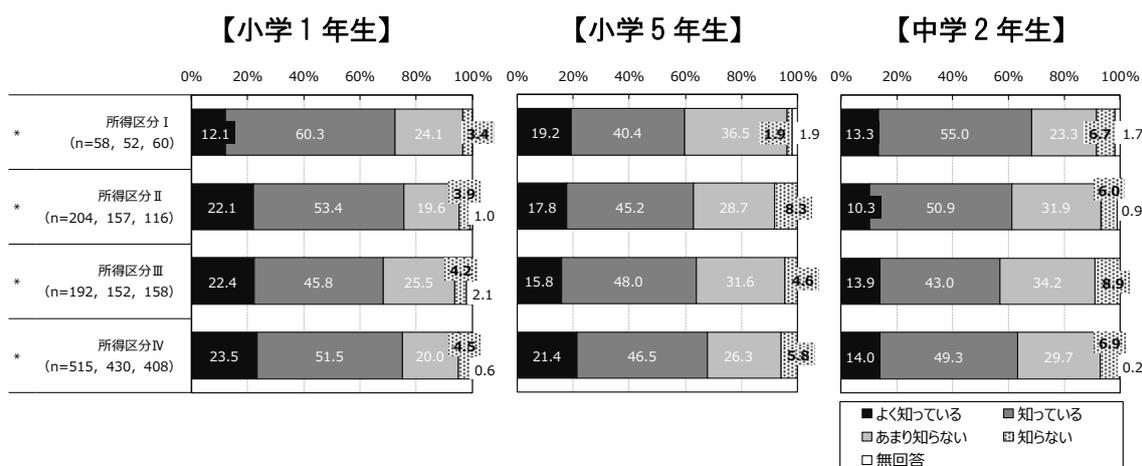
(1-6) F子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか

《所得区分別》

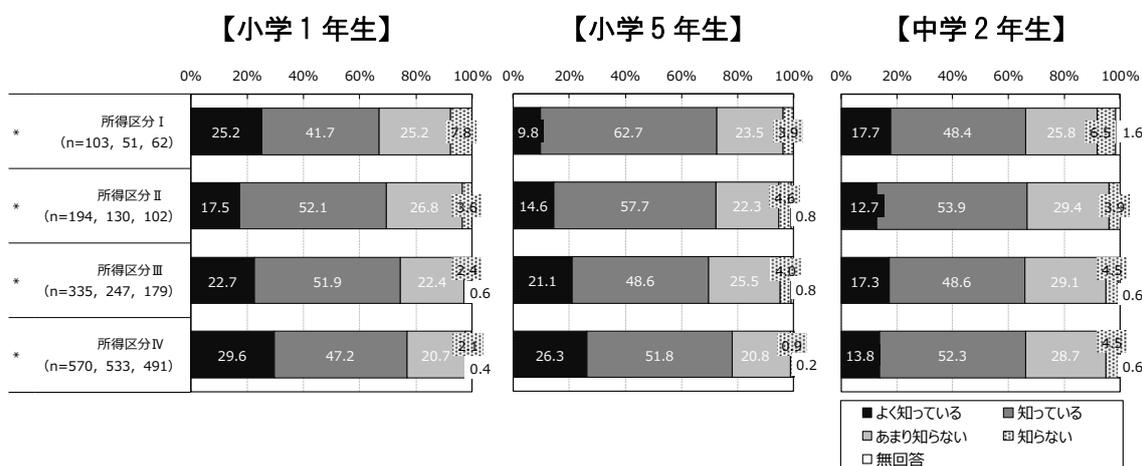
子どもが将来の夢をどう思っているか知っているかについては、いずれの学年・所得区分においても「知っている」（「よく知っている」＋「知っている」）の割合が5割以上となっており、小1の所得区分Ⅱで75.5%と最も高くなっています。「知らない」（「あまり知らない」＋「知らない」）では、いずれの学年・所得区分においても2割以上となっており、中2の所得区分Ⅲで43.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5の各所得区分において、「知っている」（「よく知っている」＋「知っている」）の割合は低くなっています。

図表 30-11 F 子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか



[ 平成30年度調査 図表 30-11 F 子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか ]

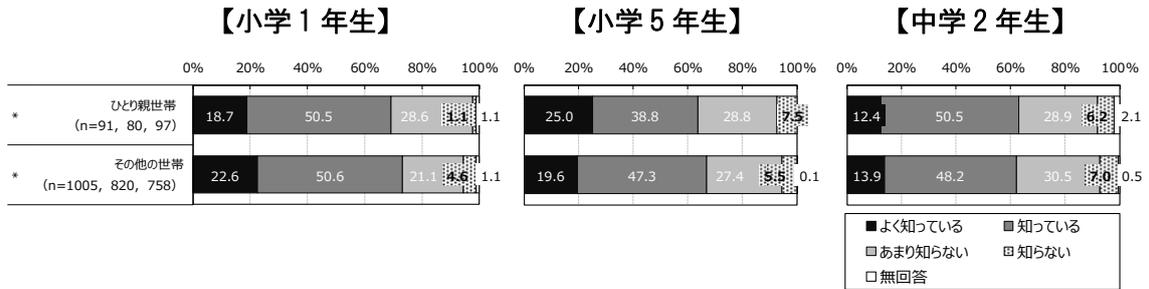


《世帯別》

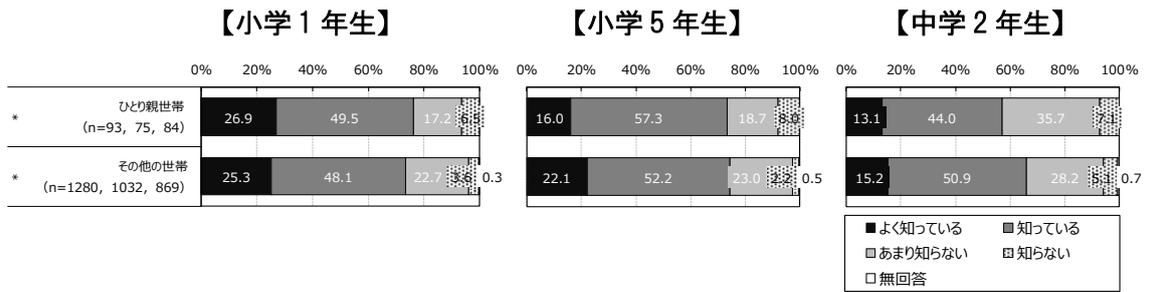
子どもが将来の夢をどう思っているか知っているかについては、いずれの学年・世帯においても「知っている」（「よく知っている」＋「知っている」）の割合が6割以上となっています。「知らない」（「あまり知らない」＋「知らない」）では、小5、中2のいずれの世帯も3割以上となっています。

平成30年度調査と比較して、小5の各世帯において、「知っている」（「よく知っている」＋「知っている」）の割合は低くなっています。

図表 30-12 F 子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか



[ 平成30年度調査 図表 30-12 F 子どもが将来の夢をどう思っているか知っているか ]

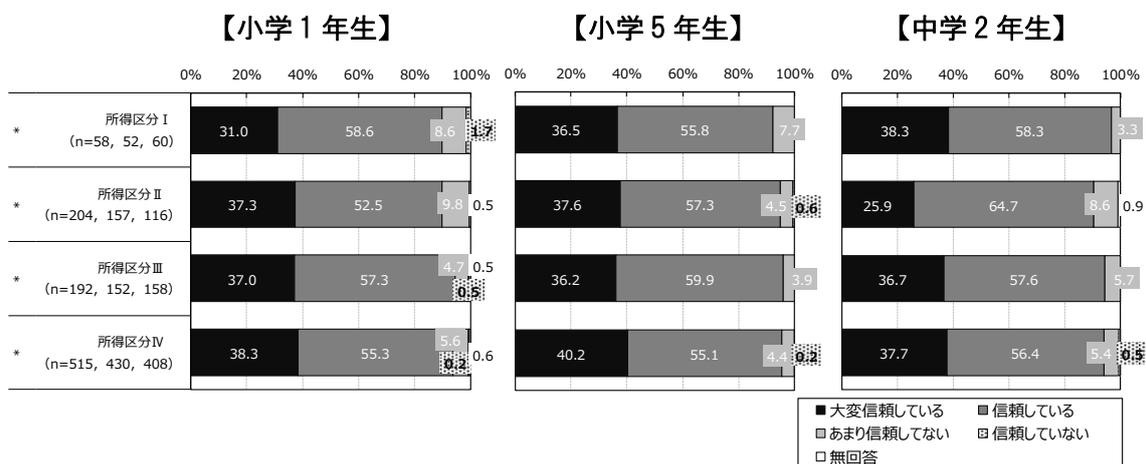


## (1-7) G子どもを信頼しているか

### 《所得区分別》

子どもを信頼しているかについては、いずれの学年・所得区分においても「信頼している」（「大変信頼している」+「信頼している」）が大半を占めており、中2の所得区分Ⅰで96.6%と最も高くなっています。「信頼していない」（「あまり信頼していない」+「信頼していない」）では、小1の所得区分Ⅱが10.3%と最も高くなっています。

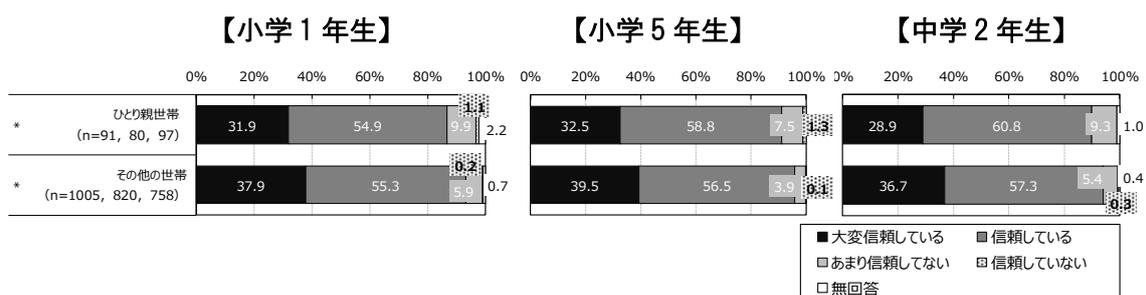
図表 30-13 G 子どもを信頼しているか



### 《世帯別》

子どもを信頼しているかについては、いずれの学年・世帯においても「信頼している」（「大変信頼している」+「信頼している」）が大半を占めており、小5のその他の世帯で96.0%と最も高くなっています。「信頼していない」（「あまり信頼していない」+「信頼していない」）では、小1のひとり親世帯が11.0%と最も高くなっています。

図表 30-14 G 子どもを信頼しているか



## 6. 4 あなたの地域や友人・知人、社会との関係について

### (1) 当てはまること

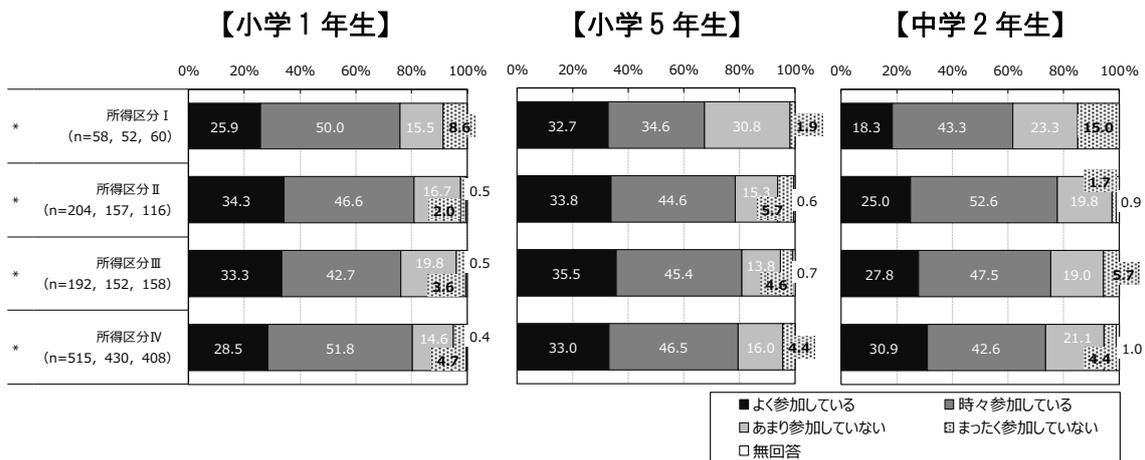
【小学1年生：問21、小学5年生・中学2年生：問18】  
 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。  
 もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

#### (1-1) A 地域の行事への参加

##### 《所得区分別》

地域の行事への参加については、いずれの学年・所得区分においても「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）が大半を占めており、小1の所得区分Ⅱ、小5の所得区分Ⅲが80.9%と最も高く、中2の所得区分Ⅰが61.6%と最も低くなっています。「参加していない」（「あまり参加していない」＋「まったく参加していない」）では、中2の所得区分Ⅰが38.3%と最も高くなっています。

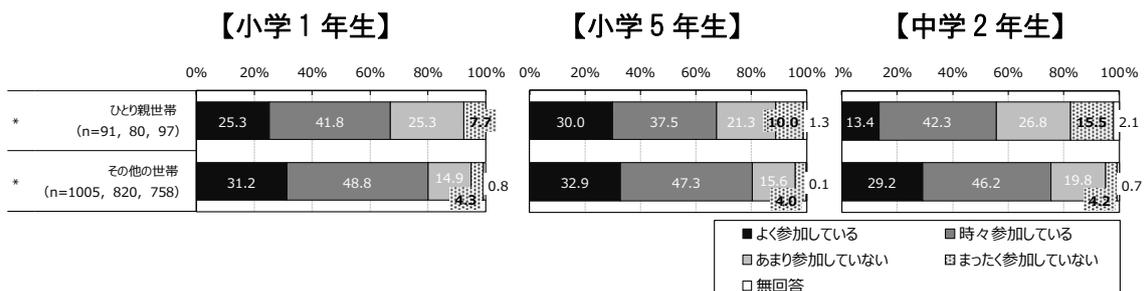
図表 31-1 A 地域の行事への参加



##### 《世帯別》

地域の行事への参加については、いずれの学年・世帯において「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）の割合が5割以上となっており、小5その他の世帯が80.2%と最も高くなっています。中2ひとり親世帯が55.7%と最も低くなっています。一方、「参加していない」（「あまり参加していない」＋「まったく参加していない」）では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2が42.3%と最も高くなっています。

図表 31-2 A 地域の行事への参加

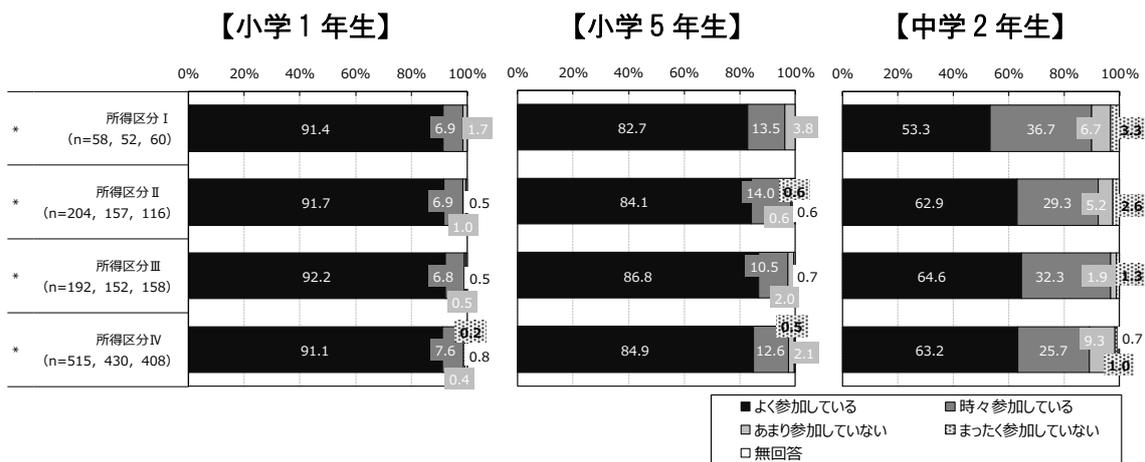


## (1-2) B学校行事への参加

### 《所得区分別》

学校行事への参加については、小1と小5ではいずれの所得区分においても「よく参加している」の割合が大半を占めており、小1の所得区分Ⅲが92.2%と最も高くなっています。中2ではいずれの所得区分においても「よく参加している」は半数以上となっており、「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）では、8割以上となっています。

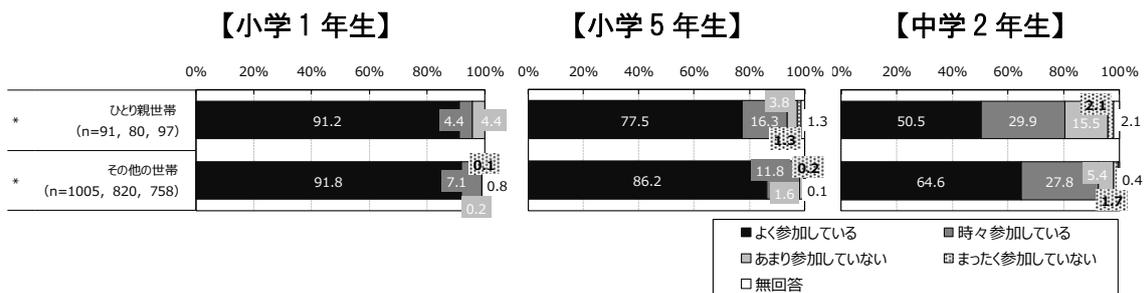
図表 31-3 B 学校の行事への参加



### 《世帯別》

学校行事への参加については、いずれの学年・世帯においても「参加している」（「よく参加している」＋「時々参加している」）の割合が大半を占めており、中2のひとり親世帯が最も低く80.4%となっています。

図表 31-4 B 学校の行事への参加

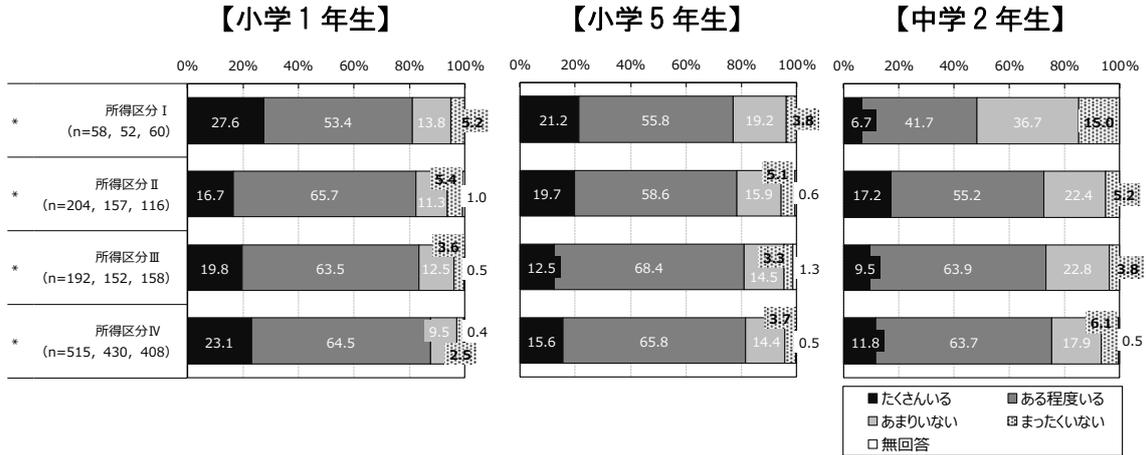


(1-3) C子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚

《所得区分別》

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚については、中2の所得区分Ⅰをのぞき、「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）の割合が7割以上となっており、小1の所得区分Ⅳが87.6%と最も高くなっています。「いない」（「あまりいない」＋「まったくいない」）では、中2の所得区分Ⅰが51.7%と最も高くなっています。

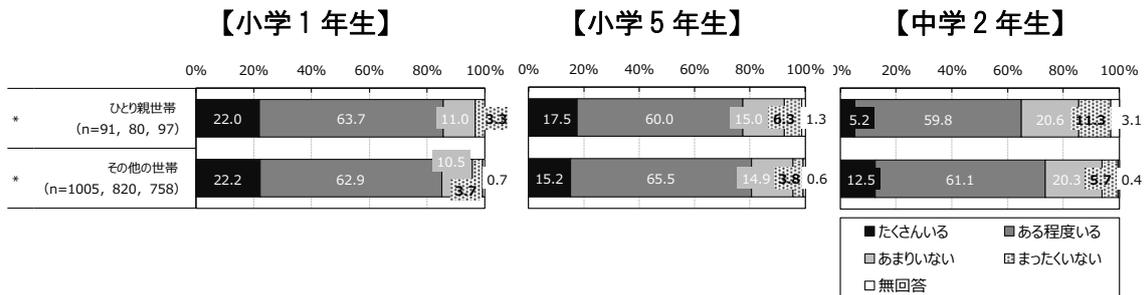
図表 31-5 C 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚



《世帯別》

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚については、いずれの学年・世帯においても、「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）の割合が6割以上となっており、小1のひとり親世帯で85.7%と最も高くなっています。中2のひとり親世帯が65.0%と最も低くなっています。「いない」（「あまりいない」＋「まったくいない」）では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2が31.9%と最も高くなっています。

図表 31-6 C 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚

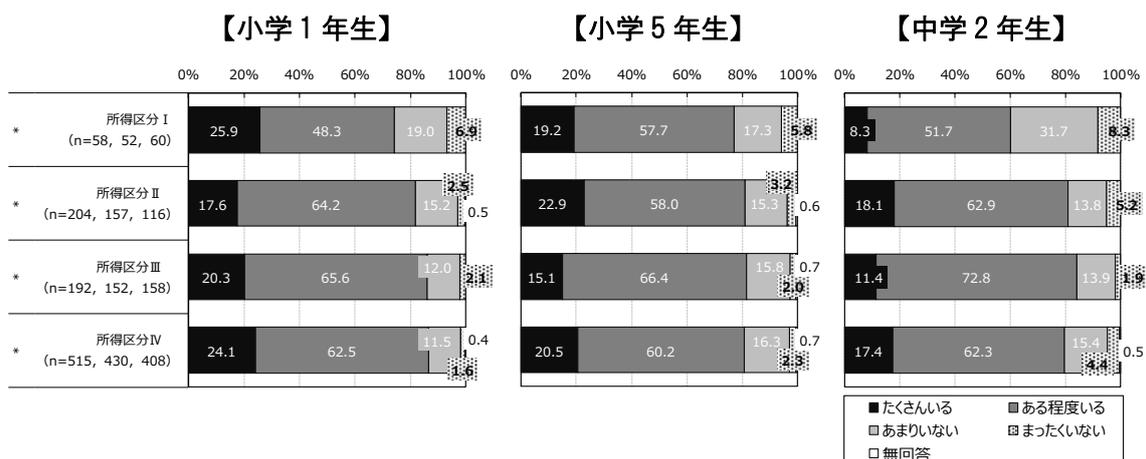


(1-4) D子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人

《所得区分別》

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人については、いずれの学年においても「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）の割合は所得区分Ⅰが最も低く、中2が60.0%と最も低くなっています。「いない」（「あまりいない」＋「まったくいない」）では、いずれの学年においても、所得区分Ⅰで2割以上となっており、中2が40.0%と最も高くなっています。

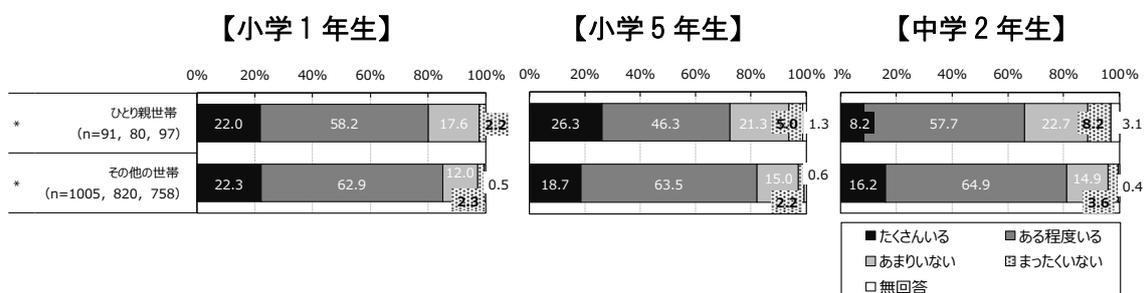
図表 31-7 D 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人



《世帯別》

子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人については、ひとり親世帯ではいずれの学年においても、「いる」（「たくさんいる」＋「ある程度いる」）の割合が6割以上、その他の世帯では8割以上となっており、大半を占めています。いずれの世帯においても、小1の割合が最も高くなっています。「いない」（「あまりいない」＋「まったくいない」）では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が30.9%と最も高くなっています。

図表 31-8 D 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人

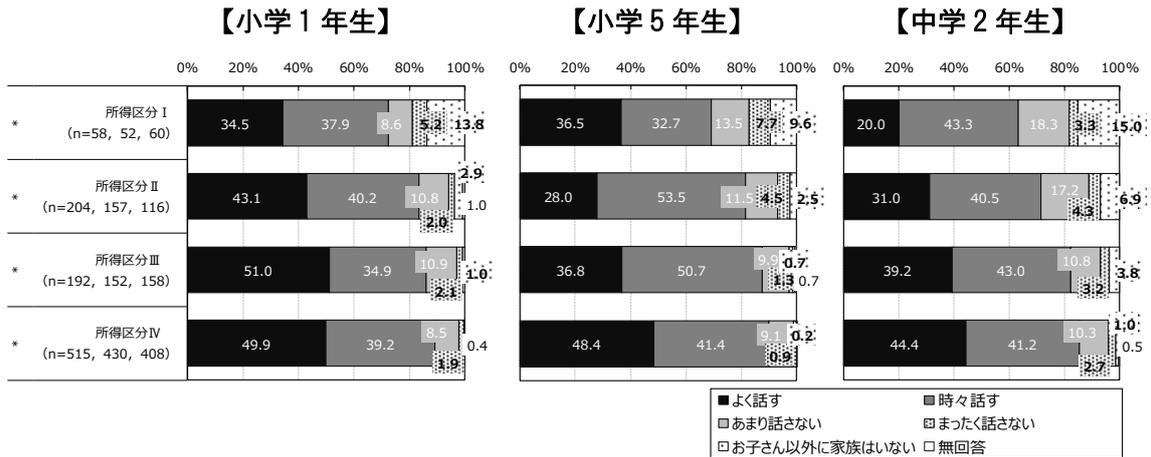


(1-5) E同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合い

《所得区分別》

同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合いについては、小5と中2の所得区分Iを除く、いずれの所得区分においても「話す」（「よく話す」＋「時々話す」）の割合が7割以上となっており、小5の所得区分IVが89.8%と最も高くなっています。「話さない」（「あまり話さない」＋「まったく話さない」）では、中2の所得区分Iが21.6%となっており、最も高くなっています。

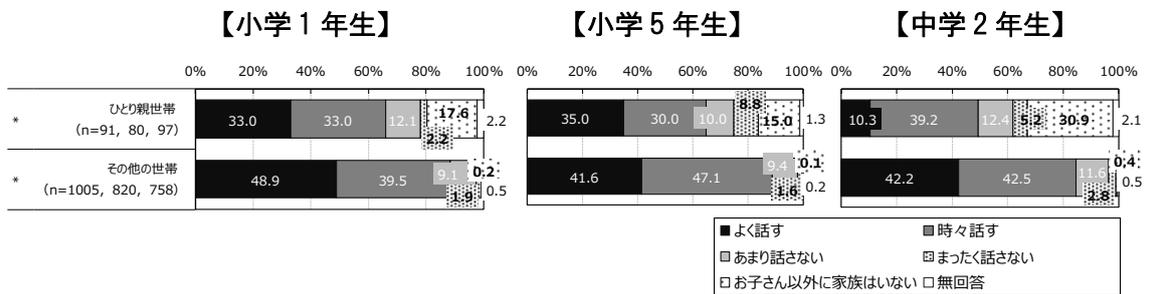
図表 31-9 E 同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合い



《世帯別》

同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合いについては、小1と小5のひとり親世帯では、「話す」（「よく話す」＋「時々話す」）の割合が、半数以上となっています。一方、その他の世帯では8割以上となっており、大半を占めています。「話さない」（「あまり話さない」＋「まったく話さない」）では、小5のひとり親世帯が18.8%と最も高くなっています。「お子さん以外に家族はいない」では、中2のひとり親世帯が30.9%と最も高くなっています。

図表 31-10 E 同居している家族との間での子育てや子どもの教育についての話し合い

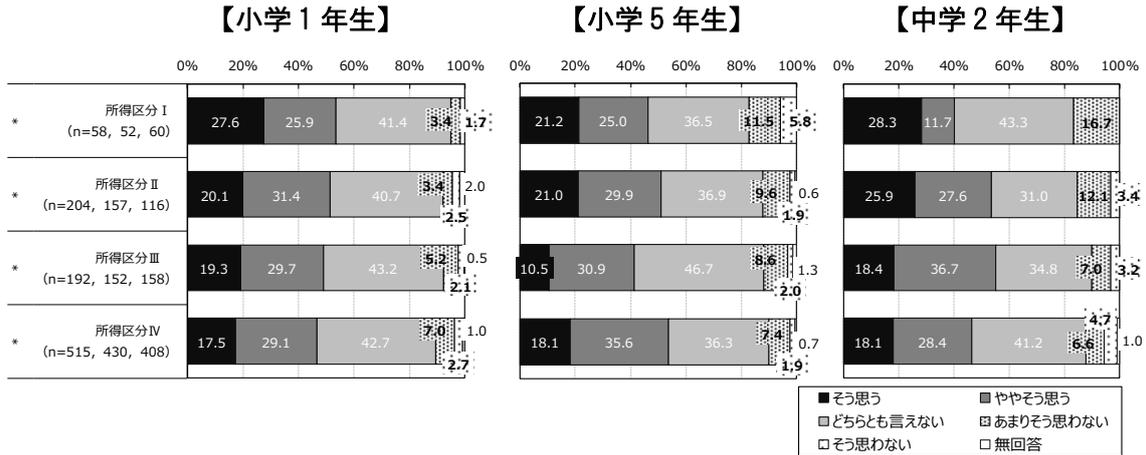


(1-6) F 生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきか

《所得区分別》

生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきかについては、「思う」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合が中2の所得区分Ⅲが55.1%と最も高くなっています。一方、中2の所得区分Ⅰが40.0%と最も低くなっています。「思わない」（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）では、小5の所得区分Ⅰが17.3%と最も高くなっており、他の所得区分では1割前後となっています。

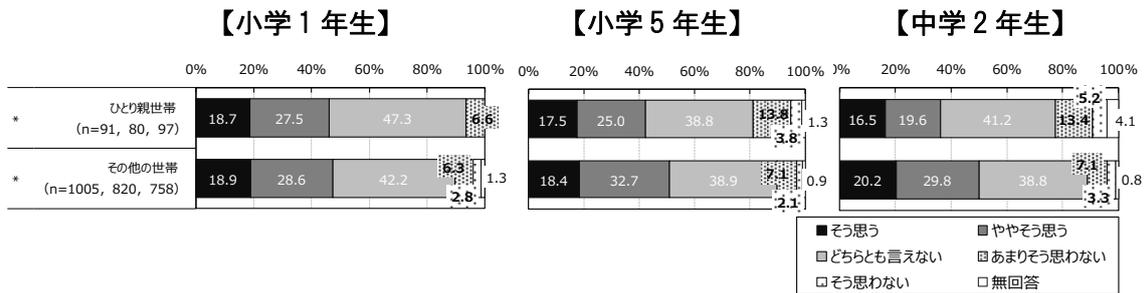
図表 31-11 F 生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきか



《世帯別》

生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきかについては、いずれの学年においても、その他の世帯では「思う」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の割合がひとり親世帯よりも高く、小5が51.1%と最も高くなっています。「思わない」（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）では、小5のひとり親世帯が17.6%、中2のひとり親世帯が18.6%となっており、他の学年・世帯ではいずれも1割前後となっています。

図表 31-12 F 生活上の困難を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきか



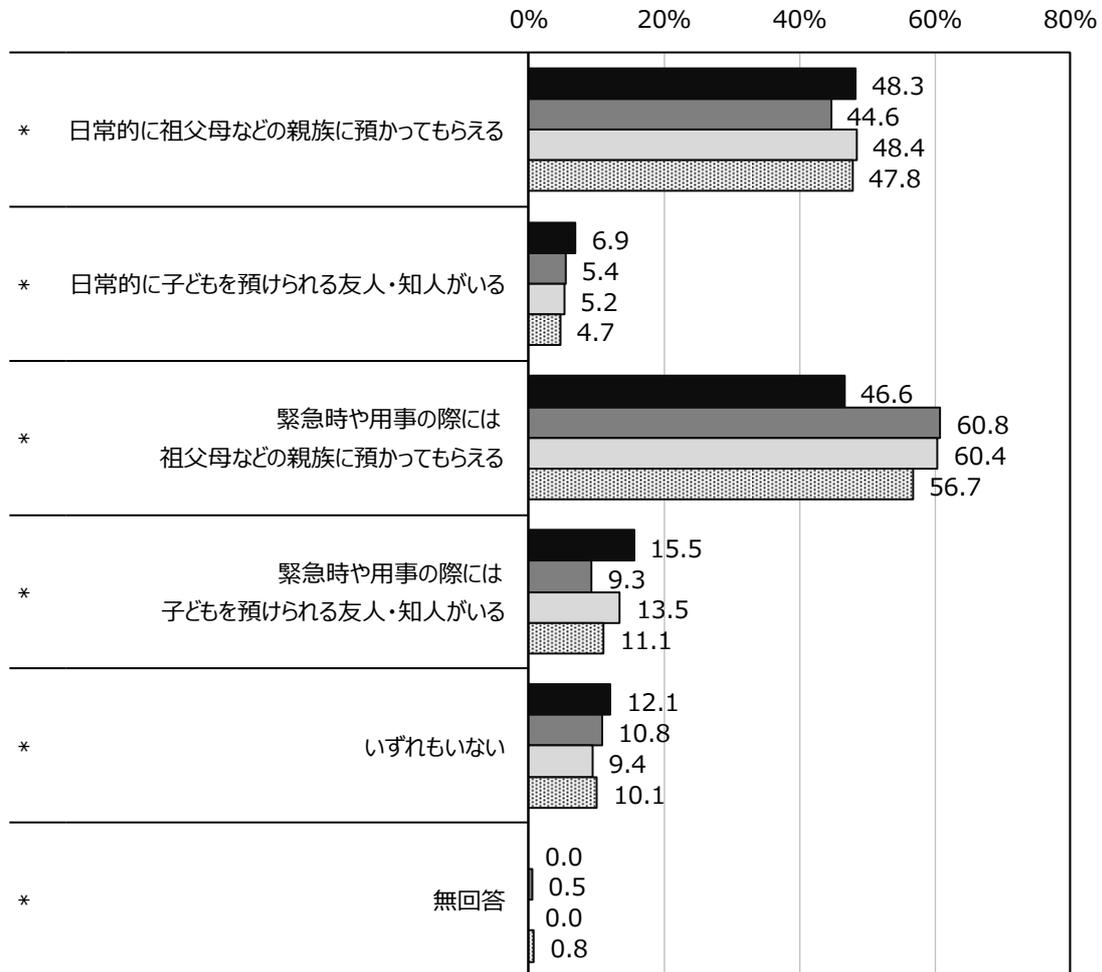
(2) 子どもを預かってもらえる人の有無

【小学1年生のみ：問22】  
 お子さんを預かってもらえる人の有無について教えてください。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

《所得区分別》

子どもを預かってもらえる人の有無については、いずれの所得区分においても「緊急時や用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」、「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」が4割以上となっています。一方、いずれの所得区分においても「いずれもない」が1割前後となっています。

図表 32-1 子どもを預かってもらえる人の有無  
 【小学1年生】

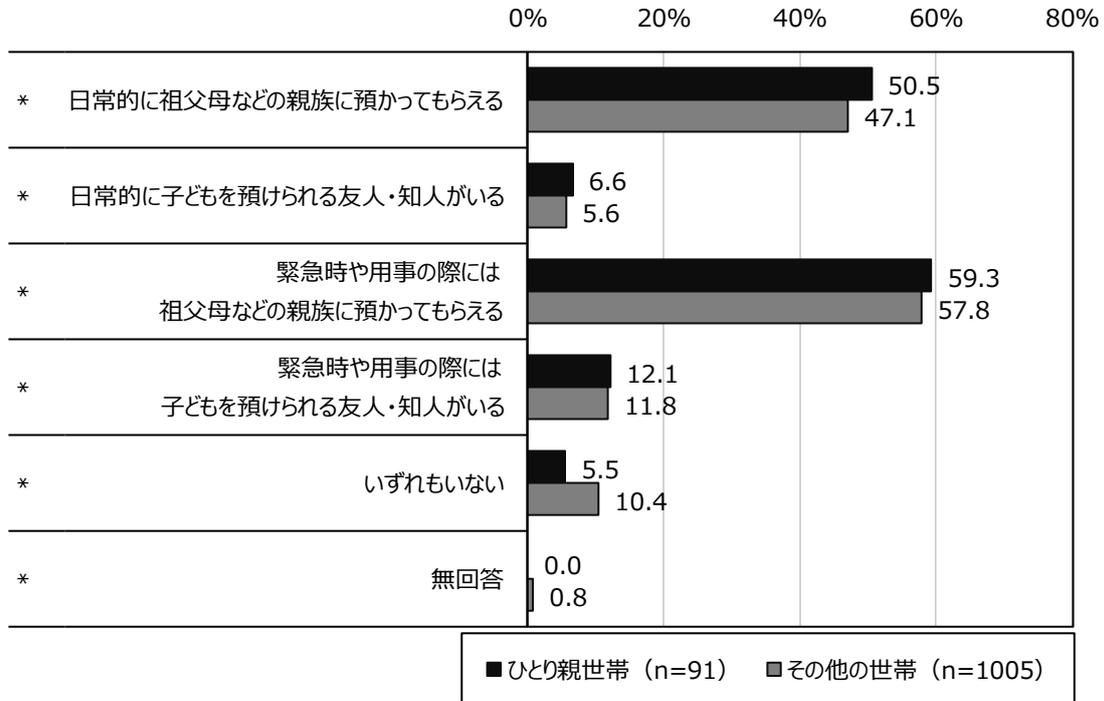


■ 所得区分 I (n=58)      ■ 所得区分 II (n=204)  
 □ 所得区分 III (n=192)      ▨ 所得区分 IV (n=515)

《世帯別》

子どもを預かってもらえる人の有無については、いずれの世帯においても「緊急時や用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が約6割となっています。「いずれもない」に関しては、その他の世帯が10.4%となっており、ひとり親世帯よりも高くなっています。

図表 32-2 子どもを預かってもらえる人の有無  
【小学1年生】



## 6. 5 健康状況について

### (1) 健康状態

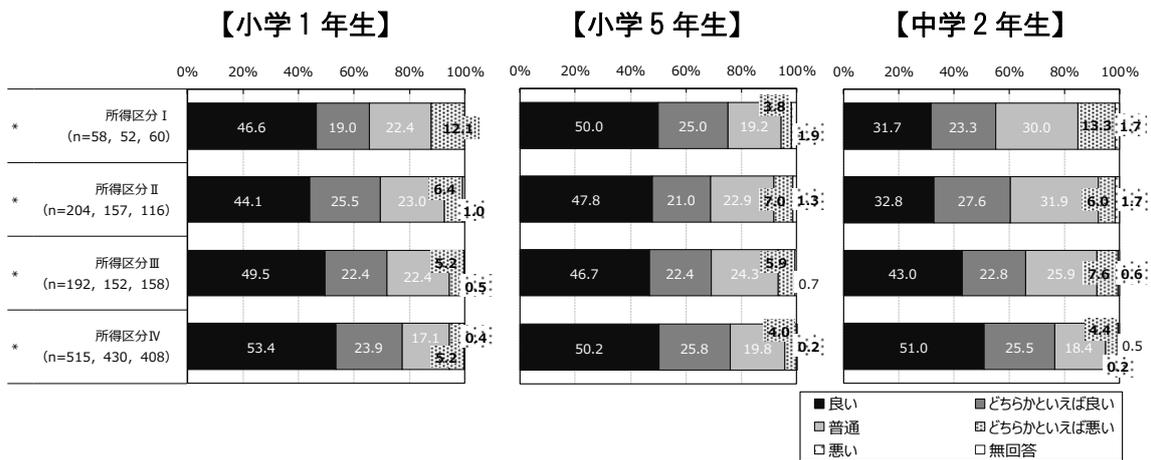
【小学1年生：問23、小学5年生・中学2年生：問19】  
 あなたとお子さんの健康状態についてお伺いします。  
 もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

#### (1-1) A保護者(回答者)の健康状態

##### 《所得区分別》

保護者(回答者)の健康状態については、中2の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても「良い」(「良い」+「どちらかといえば良い」)の割合が6割以上となっており、小1の所得区分IVが77.3%と最も高くなっています。「悪い」(「どちらかといえば悪い」+「悪い」)では、所得区分が低いほど高くなる傾向があり、中2の所得区分Iが15.0%と最も高くなっています。

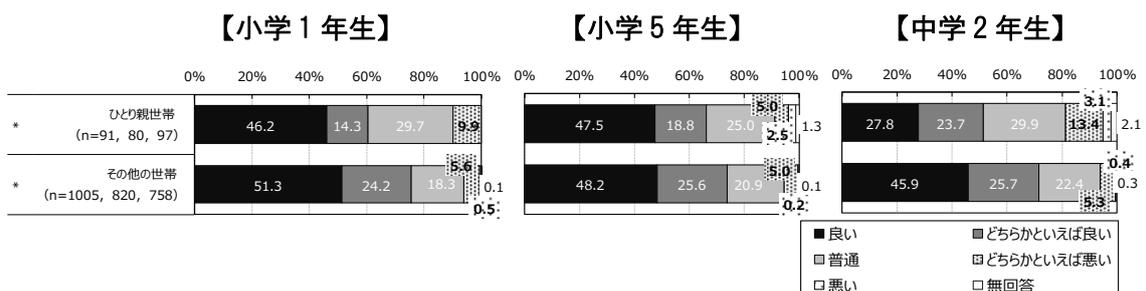
図表 33-1 A 保護者(回答者)の健康状態



##### 《世帯別》

保護者(回答者)の健康状態については、中2のひとり親世帯を除く、いずれの学年・世帯においても「良い」(「良い」+「どちらかといえば良い」)の割合が6割以上となっており、最も高かったのは、小1のその他の世帯で75.5%となっています。一方、「悪い」(「どちらかといえば悪い」+「悪い」)の回答については、いずれの学年においても、ひとり親世帯がその他の世帯よりも高くなる傾向にあり、中2の16.5%が最も高くなっています。その他の世帯においては、いずれの学年も1割未満となっています。

図表 33-2 A 保護者(回答者)の健康状態

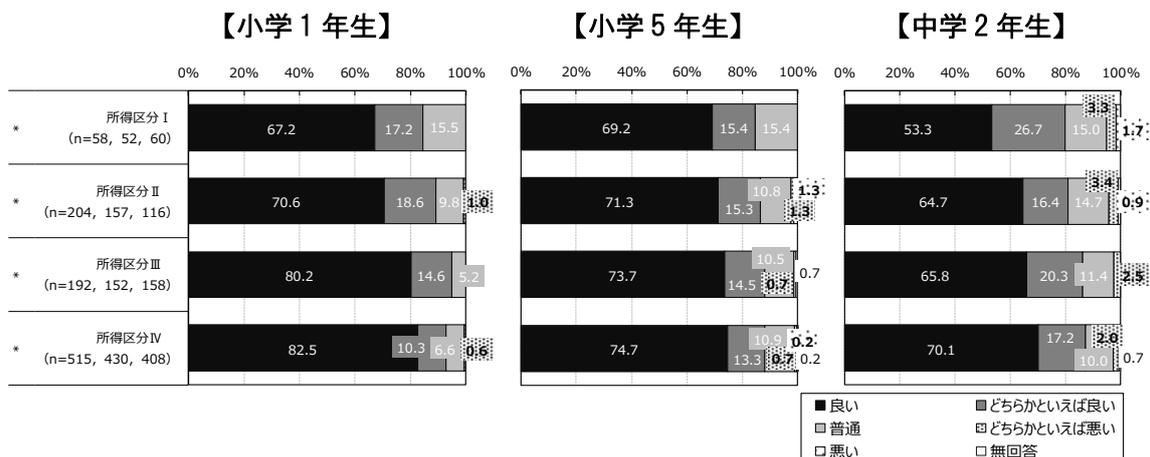


## (1-2) B子どもの健康状態

### 《所得区分別》

子どもの健康状態については、いずれの学年・所得区分においても「良い」（「良い」＋「どちらかといえば良い」）の割合が8割以上となっており、小1の所得区分Ⅳでは92.8%と最も高くなっています。「悪い」（「どちらかといえば悪い」＋「悪い」）では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

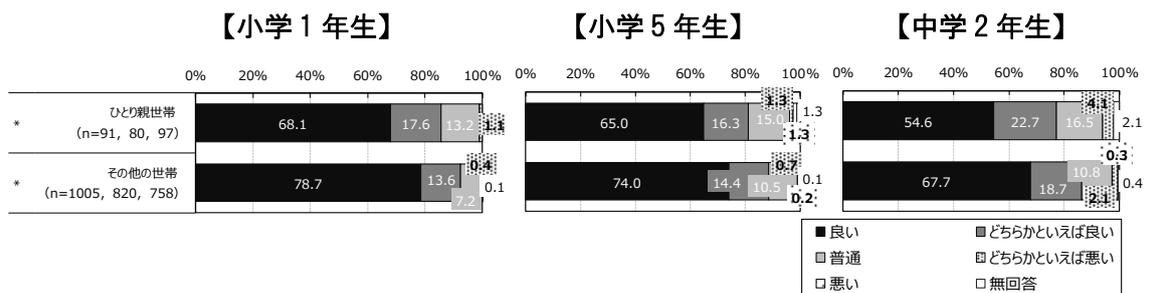
図表 33-3 B 子どもの健康状態



### 《世帯別》

子どもの健康状態については、「良い」（「良い」＋「どちらかといえば良い」）の割合が、中2のひとり親世帯を除いて、8割以上となっており、小1のその他の世帯が92.3%と最も高くなっています。「悪い」（「どちらかといえば悪い」＋「悪い」）では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 33-4 B 子どもの健康状態



(2) 心の状態

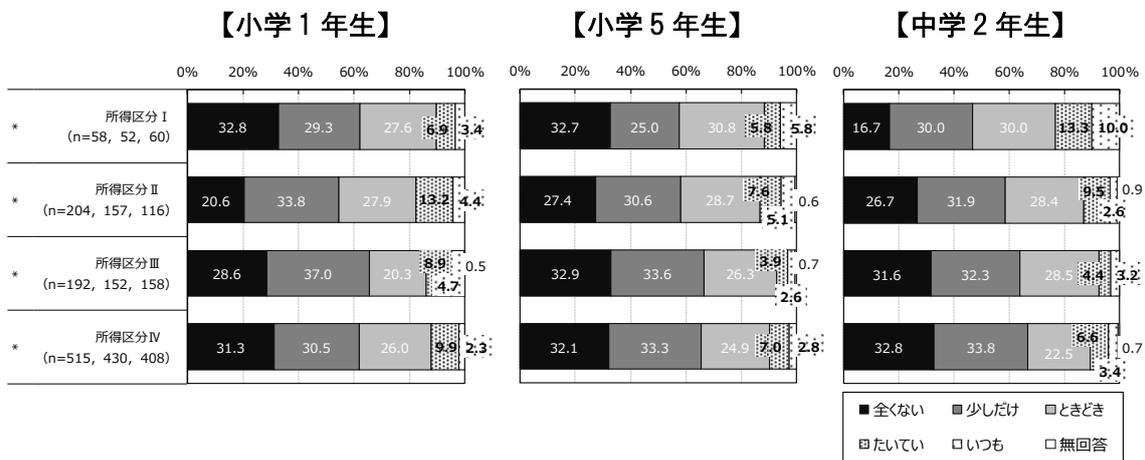
【小学1年生：問24、小学5年生・中学2年生：問20】  
 あなたの心の状態についてお聞きします。過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(2-1) A理由もなく疲れ切ったように感じたか

《所得区分別》

理由もなく疲れ切ったように感じたかについては、いずれの学年においても「全くない」の割合が所得区分ⅢとⅣでは小1の所得区分Ⅲを除き3割を超えています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、小1の所得区分Ⅱが61.7%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、中2の所得区分Ⅰの23.3%が最も高くなっています。

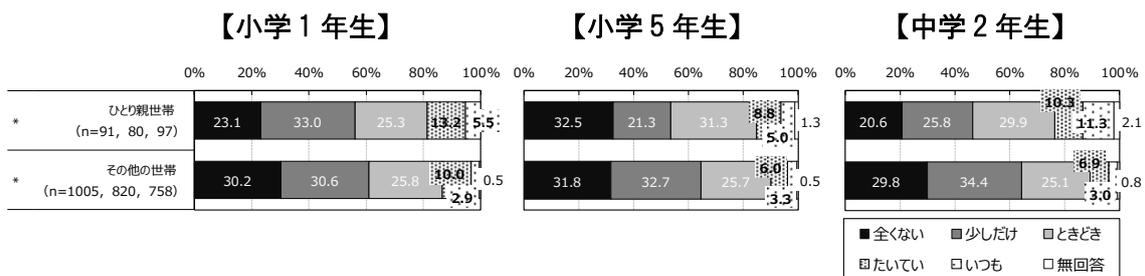
図表 34-1 A 理由もなく疲れ切ったように感じたか



《世帯別》

理由もなく疲れ切ったように感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)の割合が半数以上となっており、中2のその他の世帯が59.5%と最も高くなっています。「全くない」では、小5のひとり親世帯が32.5%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が21.6%と最も高くなっています。

図表 34-2 A 理由もなく疲れ切ったように感じたか

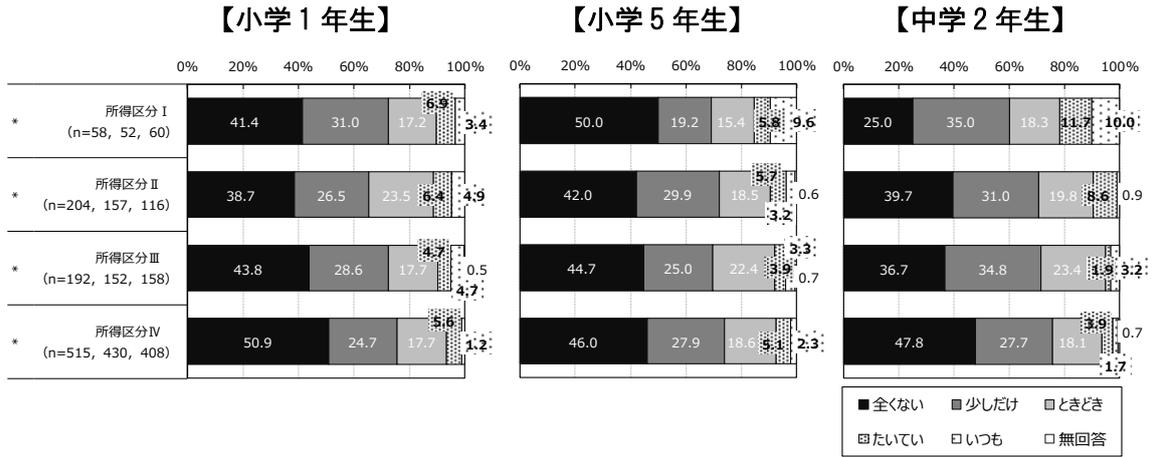


(2-2) B神経過敏に感じたか

《所得区分別》

神経過敏に感じたかについては、「全くない」がいずれの学年においても所得区分Ⅳの割合が4割以上で、小1の所得区分Ⅳが50.9%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、中2の所得区分Ⅲが58.2%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年においても、所得が低くなると割合が高くなる傾向があります。

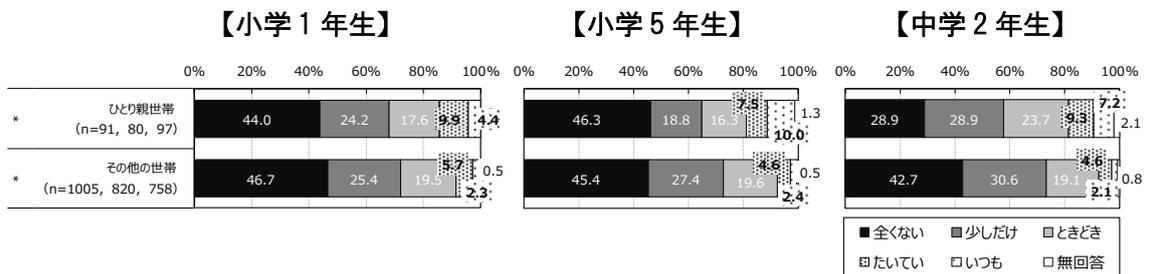
図表 34-3 B 神経過敏に感じたか



《世帯別》

神経過敏に感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が高く、小1のその他の世帯が46.7%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、中2のその他の世帯が49.7%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小5が17.5%と最も高くなっています。

図表 34-4 B 神経過敏に感じたか

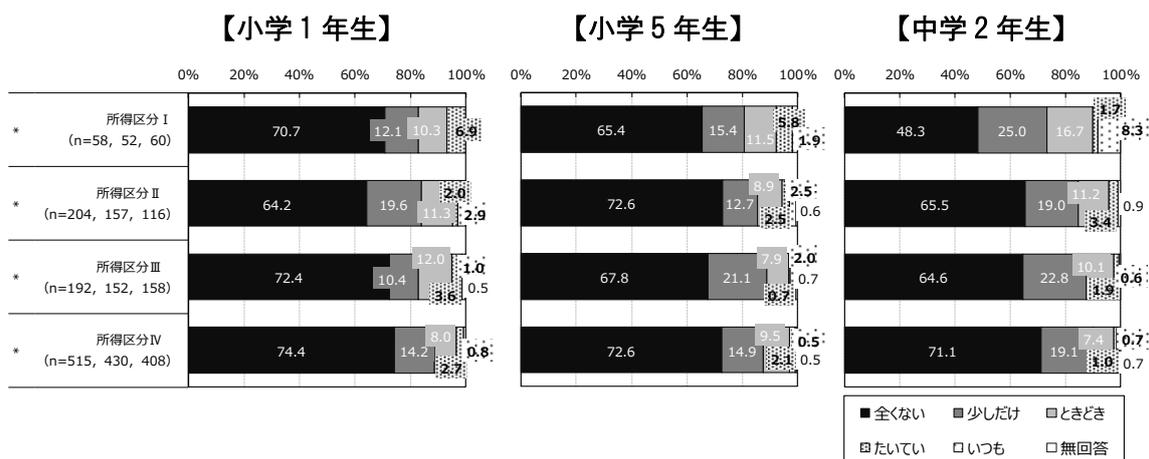


### (2-3) Cどうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたか

#### 《所得区分別》

どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたかについては、中2の所得区分Iを除く、いずれの学年・所得区分においても「全くない」の割合が6割以上となっており、所得区分IVではいずれの学年も7割以上となっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、中2の所得区分Iが41.7%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・所得区分においても1割以下となっています。

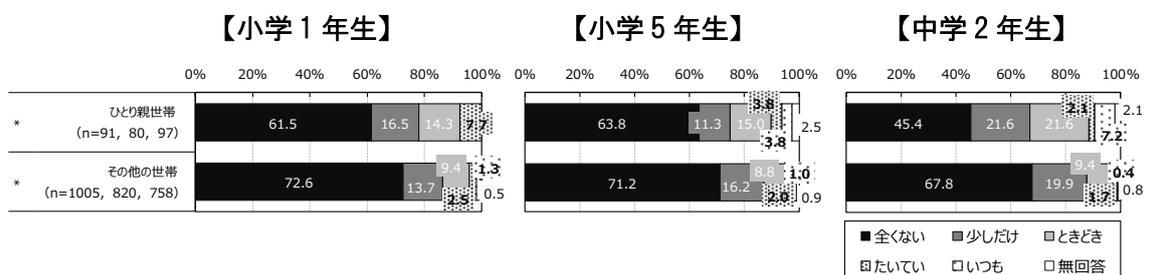
図表 34-5 C どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたか



#### 《世帯別》

どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が高くなっています。その他の世帯では6割以上となっており、小1が72.6%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が43.2%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 34-6 C どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じたか

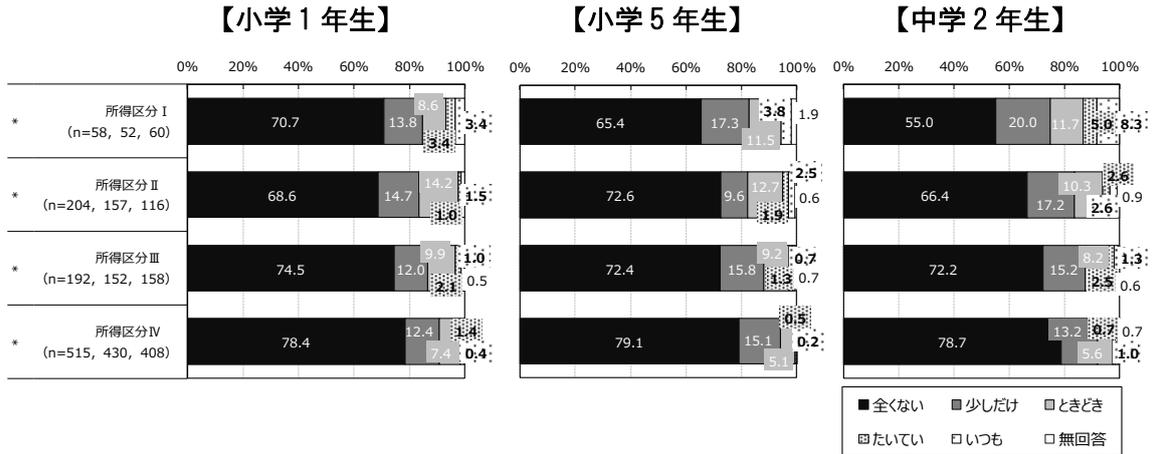


(2-4) D絶望的だと感じたか

《所得区分別》

絶望的だと感じたかについては、いずれの学年においても、所得が上がるにつれて「全くない」の割合が高くなる傾向があります。所得区分ⅣとⅢでは、いずれの学年においても「全くない」が7割以上となっており、大半を占めています。「たまに」（「少しだけ」＋「ときどき」）では、所得が低いほど高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅰが31.7%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています

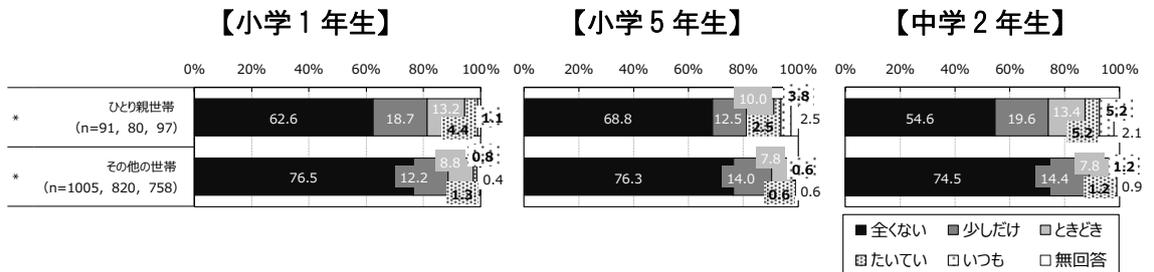
図表 34-7 D 絶望的だと感じたか



《世帯別》

絶望的だと感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が高くなっています。いずれの学年においても、その他の世帯では7割以上となっており、小1が76.5%と最も高くなっています。「たまに」（「少しだけ」＋「ときどき」）では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、中2が33.0%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、いずれの学年・世帯においても1割前後となっています。

図表 34-8 D 絶望的だと感じたか

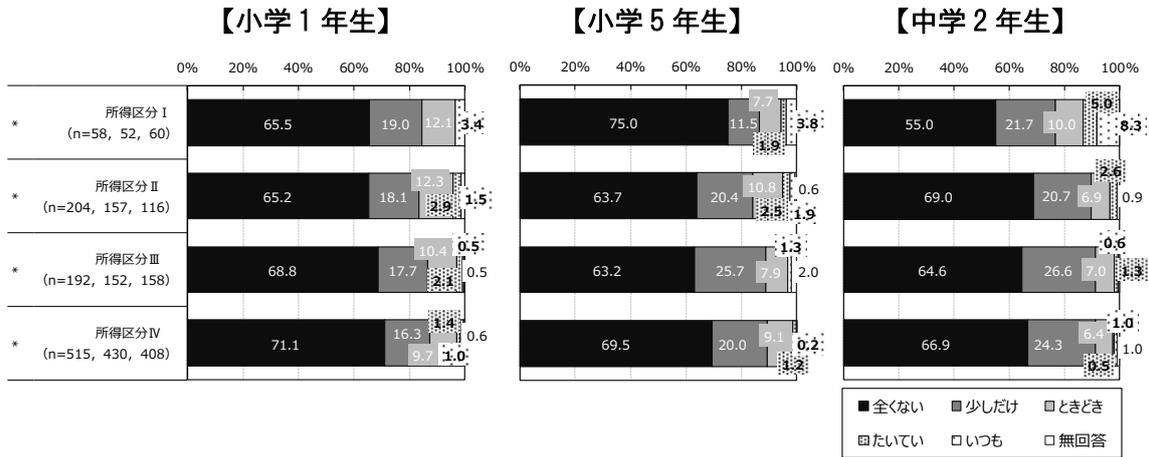


(2-5) E そわそわ、落ち着かなく感じたか

《所得区分別》

そわそわ、落ち着かなく感じたかについては、いずれの学年・所得区分においても「全くない」の割合が半数以上となっており、小5の所得区分Ⅰが75.0%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、いずれの学年・所得区分においても3割前後となっており、小5と中2の所得区分Ⅲが33.6%と最も高くなっています。

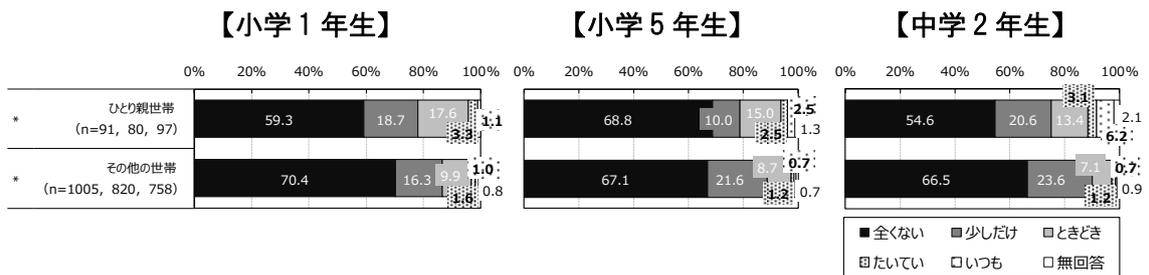
図表 34-9 E そわそわ、落ち着かなく感じたか



《世帯別》

そわそわ、落ち着かなく感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が半数以上となっており、小1のその他の世帯が70.4%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の割合が高くなる傾向にあり、小1が36.3%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 34-10 E そわそわ、落ち着かなく感じたか

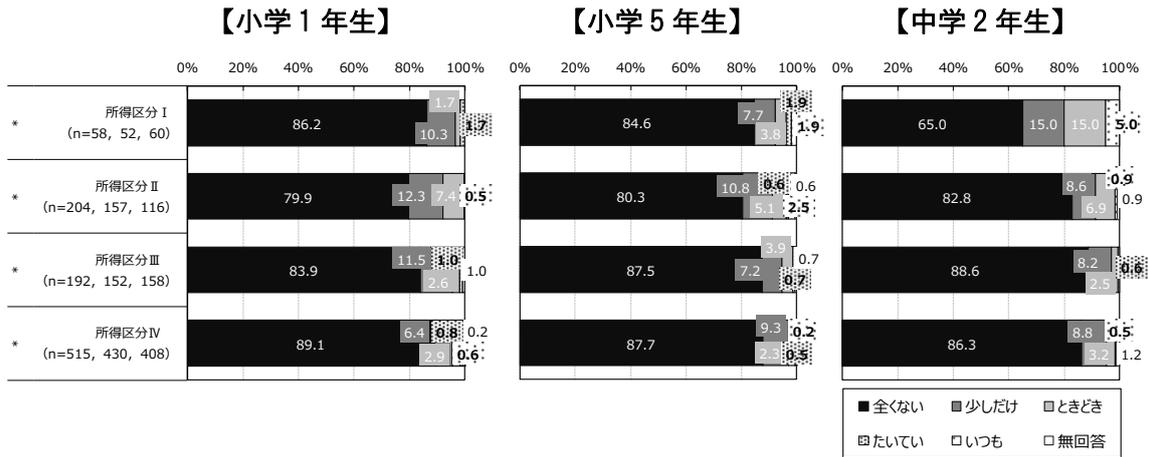


(2-6) Fじっと座ってられないほど落ち着かなく感じたか

《所得区分別》

じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたかについては、中2の所得区分Ⅰを除き、いずれの学年・所得区分においても「全くない」の割合が8割前後となっており、小1の所得区分Ⅳが89.1%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、中2の所得区分Ⅰが30.0%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

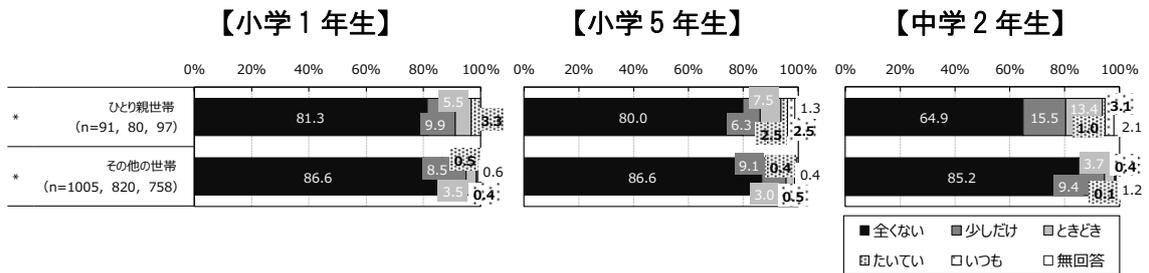
図表 34-11 F じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたか



《世帯別》

じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたかについては、中2のひとり親世帯を除き、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が最も高く、8割以上と大半を占めています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、その他の世帯に比べてひとり親世帯の割合が高くなる傾向にあり、中2の28.9%が最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 34-12 F じっと座ってられないほど落ち着かなく感じたか

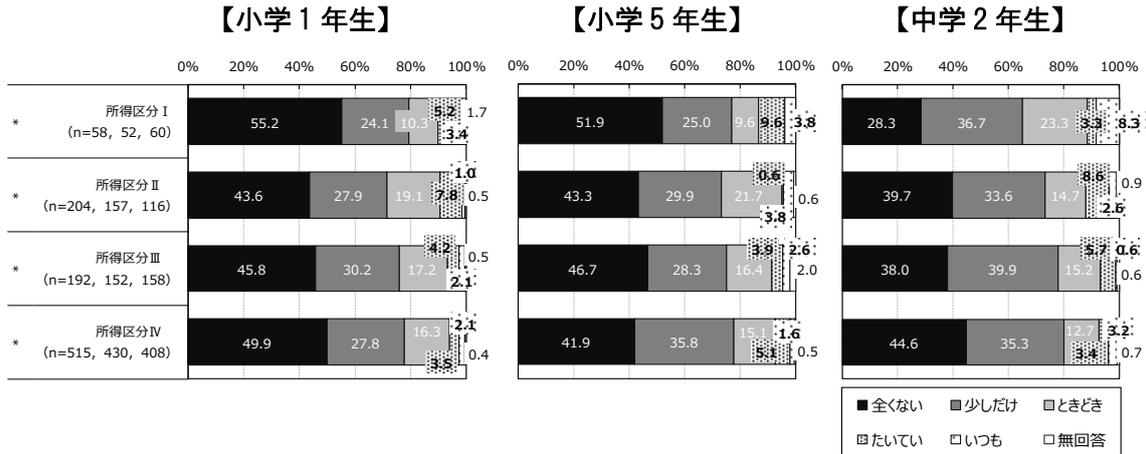


(2-7) G ゆううつに感じたか

《所得区分別》

ゆううつに感じたかについては、中2を除き、小1と小5のいずれの所得区分においても「全くない」の割合が4割以上となっており、小1の所得区分Iが55.2%と最も高くなっています。「たまに」（「少しだけ」＋「ときどき」）では、いずれの学年・所得区分においても3割以上となっており、中2の所得区分Iが60.0%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、いずれの学年・所得区分においても1割前後となっています。

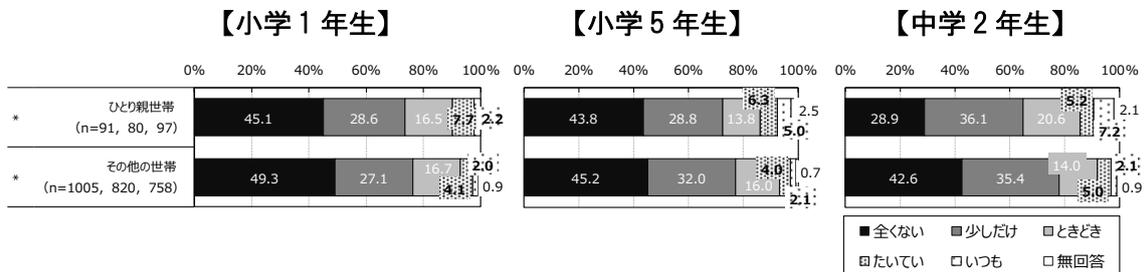
図表 34-13 G ゆううつに感じたか



《世帯別》

ゆううつに感じたかについては、中2のひとり親世帯を除き、いずれの学年・世帯においても「全くない」が4割以上となっており、小1のその他の世帯が49.3%と最も高くなっています。いずれの学年・世帯においても「たまに」（「少しだけ」＋「ときどき」）が4割以上となっており、中2のひとり親世帯では56.7%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、小5と中2のひとり親世帯を除き、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 34-14 G ゆううつに感じたか

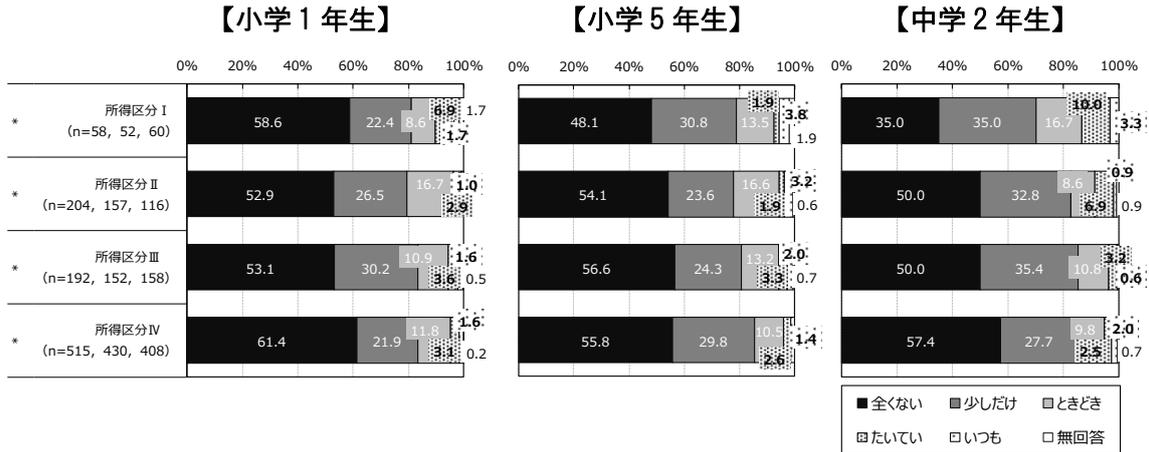


(2-8) H気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じたか

《所得区分別》

気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じたかについては、いずれの学年においても所得区分Ⅰを除いて「全くない」は5割以上となっており、小1の所得区分Ⅳが61.4%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、中2の所得区分Ⅰが51.7%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、中2の所得区分Ⅰを除き、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

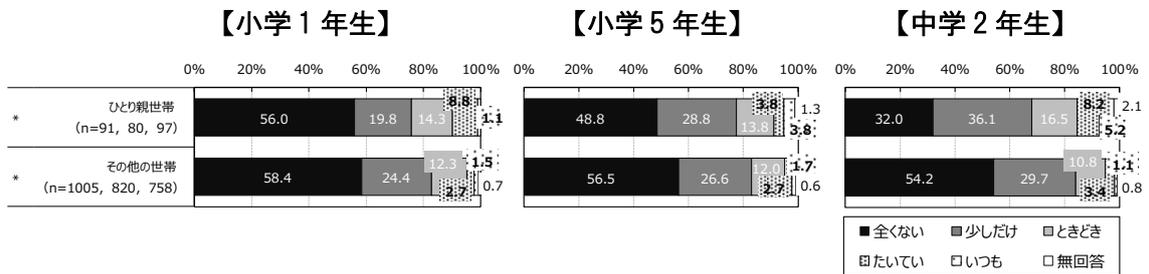
図表 34-15 H 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じたか



《世帯別》

気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じたかについては、いずれの学年においても、「全くない」の割合はひとり親世帯よりその他の世帯が高くなる傾向にあり、小1では58.4%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、中2のひとり親世帯が52.6%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、中2のひとり親世帯の13.4%を除き、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 34-16 H 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じたか

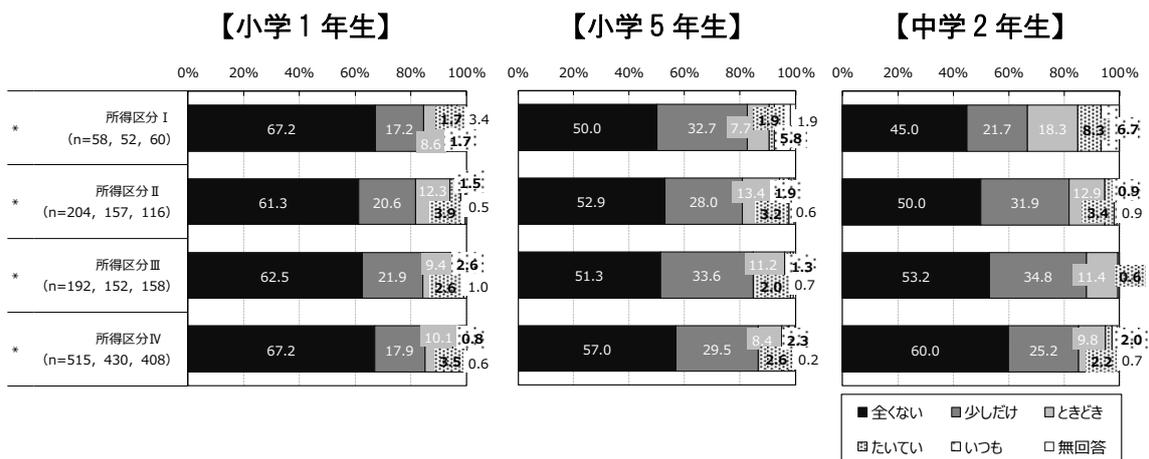


(2-9) I 何をするのも骨折りだと感じたか

《所得区分別》

何をするのも骨折りだと感じたかについては、中2の所得区分Iを除いた、いずれの学年・所得区分においても、「全くない」の割合が半数以上となっており、小1の所得区分IとIVが67.2%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、中2の所得区分IIIが46.2%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、中2の所得区分Iを除き、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

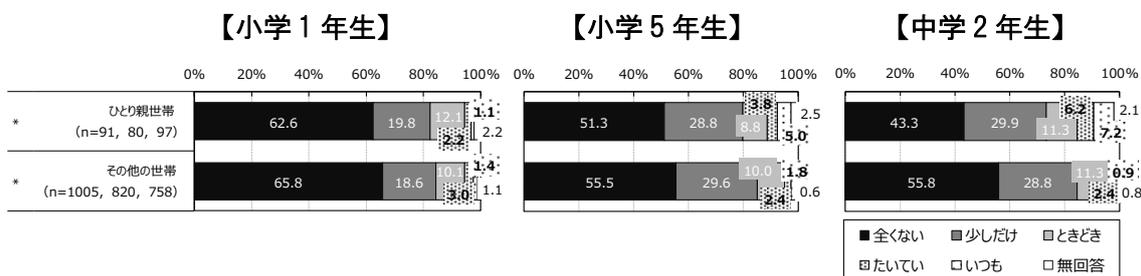
図表 34-17 I 何をするのも骨折りだと感じたか



《世帯別》

何をするのも骨折りだと感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合がひとり親世帯よりもその他の世帯の割合が高くなる傾向にあり、小1のその他の世帯が65.8%と最も高くなっています。「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)の割合では、ひとり親世帯の割合が高くなる傾向にあり、中2では41.2%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、中2のひとり親世帯では13.4%となっており、他の学年・世帯ではいずれも1割未満となっています。

図表 34-18 I 何をするのも骨折りだと感じたか



(2-10) J 自分は価値のない人間だと感じたか

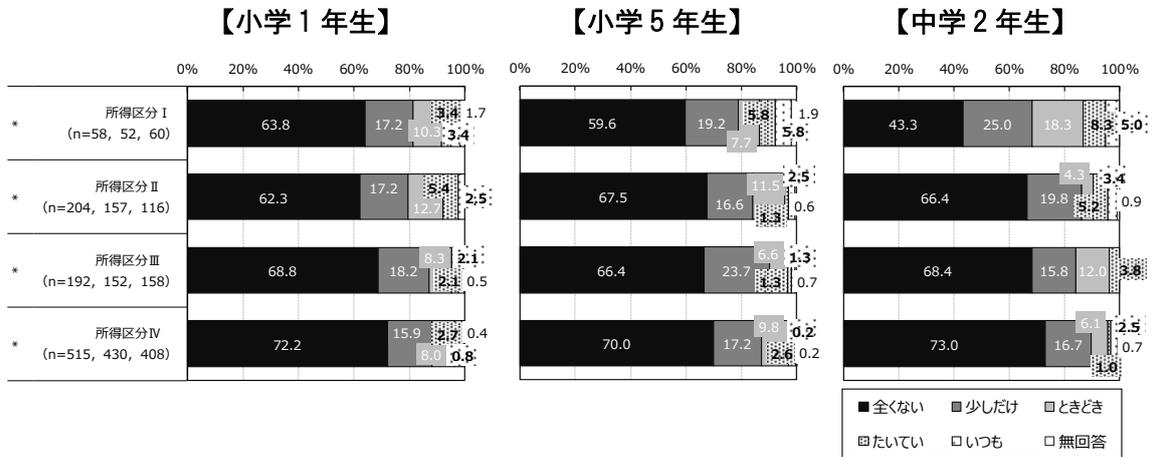
《所得区分別》

自分は価値のない人間だと感じたかについては、中2の所得区分Iを除き、いずれの学年・所得区分においても、「全くない」の割合が半数以上となっており、所得が上がるにつれて、割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分IVが73.0%と最も高くなっています。

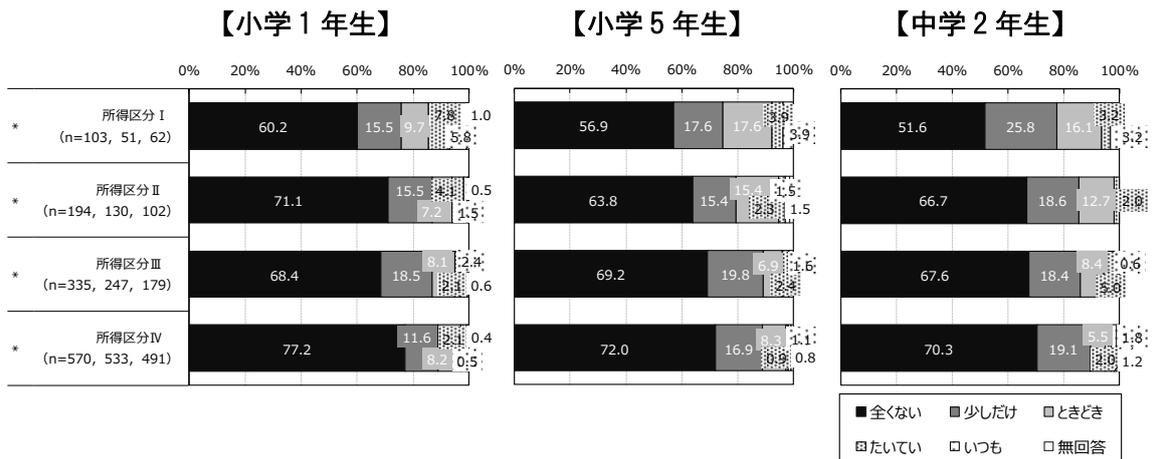
「たまに」(「少しだけ」+「ときどき」)では、いずれの学年においても、所得が低いほど割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分Iが43.3%と最も高くなっています。「常に」(「たいてい」+「いつも」)では、小5の所得区分Iの11.6%、中2の所得区分Iの13.3%を除き、他の所得区分ではいずれも1割未満となっています。

平成30年度調査と比較して、「全くない」は、小1所得区分IV、小5所得区分III、IV、中2の所得区分I、IIにおいて割合が低くなっています。その内中2の所得区分Iにおいて、「全くない」の割合は、8.3%低くなっています。

図表 34-19 J 自分は価値のない人間だと感じたか



[平成30年度調査 図表 34-19 J 自分は価値のない人間だと感じたか]

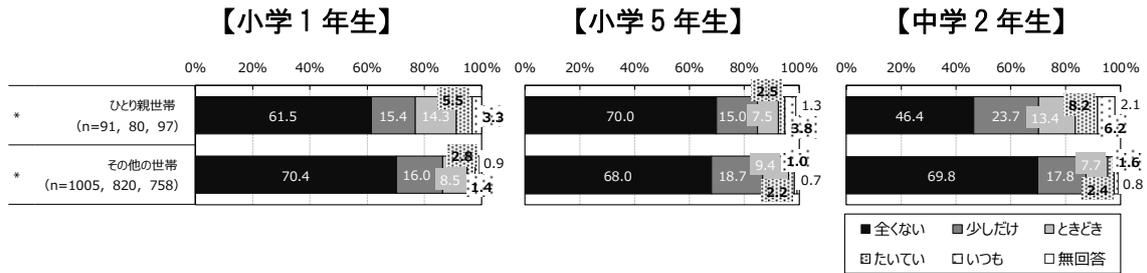


《世帯別》

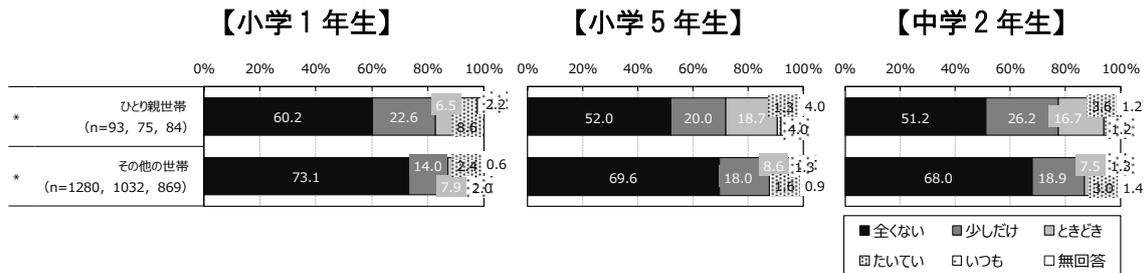
自分は価値のない人間だと感じたかについては、いずれの学年・世帯においても「全くない」の割合が高く、小1のその他の世帯が70.4%と最も高くなっています。一方、「たまたま」（「少しだけ」＋「ときどき」）では、中2のひとり親世帯が37.1%と最も高くなっています。「常に」（「たいてい」＋「いつも」）では、中2のひとり親世帯が14.4%となっており、他の学年・世帯ではいずれも1割未満となっています。

平成30年度調査と比較して、小5のひとり親世帯において、「全くない」の割合は、18.0%高くなっています。一方、中2のひとり親世帯では、4.8%低くなっています。

図表 34-20 J 自分は価値のない人間だと感じたか



[平成30年度調査 図表 34-20 J 自分は価値のない人間だと感じたか]



## 6. 6 人生経験について

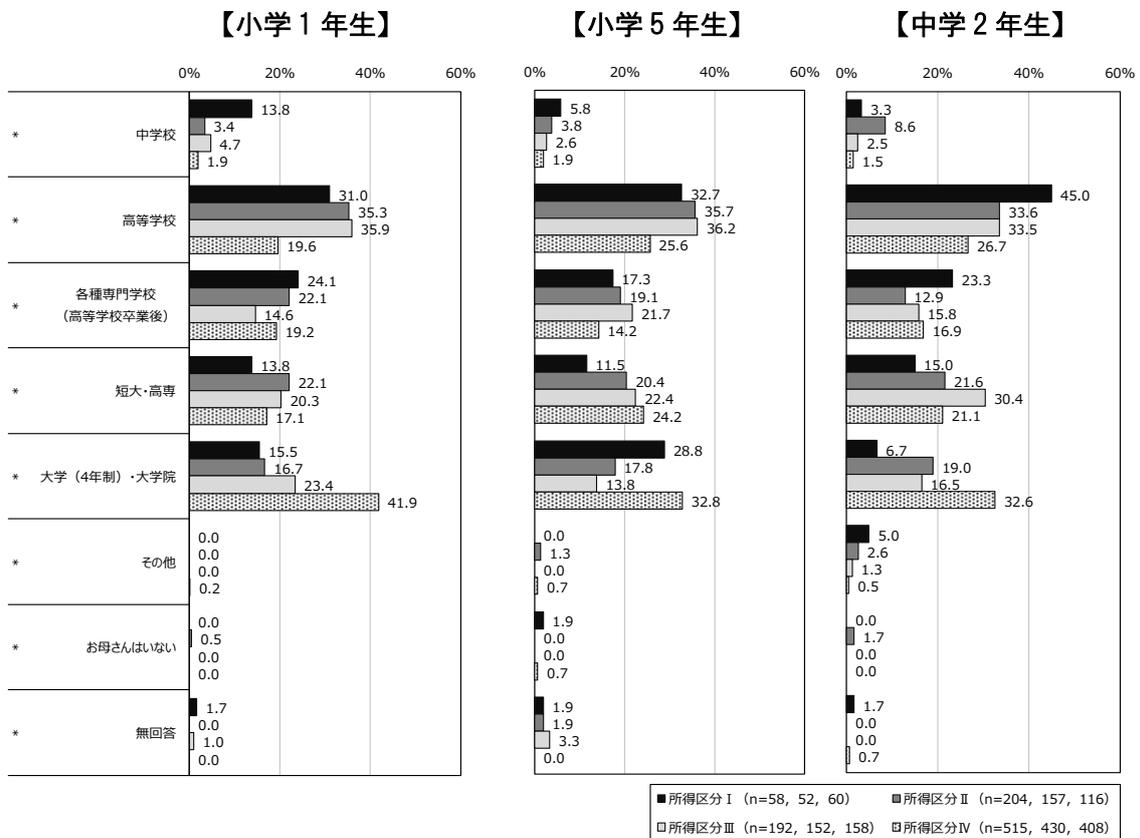
### (1) 母親の最終学歴

【小学1年生：問26、小学5年生・中学2年生：問22】  
 お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）の最終学歴を教えてください。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

《所得区分別》

母親の最終学歴については、いずれの学年においても所得区分Ⅳでは「大学（4年制）・大学院」の割合が最も高くなっています。一方、いずれの学年においても所得区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでは「高等学校」が最も高くなり、3割以上となっています。

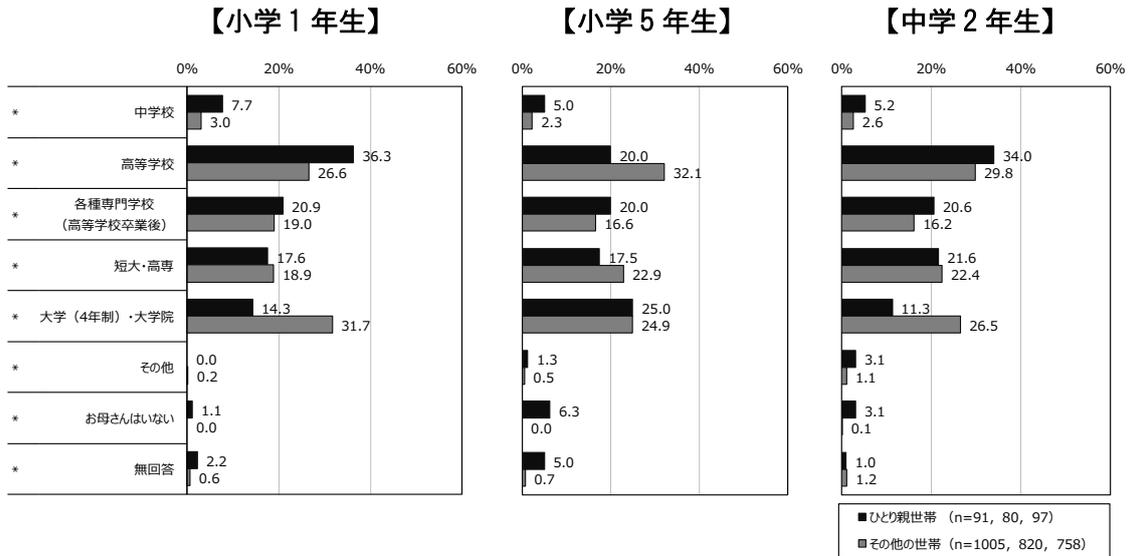
図表 35-1 母親の最終学歴



《世帯別》

母親の最終学歴については、いずれの学年・世帯においても「高等学校」卒業後の進学  
割合が高くなっていますが、「高等学校」の割合も2割以上となっており、小1のひとり親  
世帯では36.3%と最も高くなっています。高校卒業後の進学においては、いずれの学年の  
その他の世帯では「大学（4年制）・大学院」の割合が一番高くなっています。一方、ひとり  
親世帯においては、「各種専門学校（高等学校卒業後）」、「短大・高専」の割合が高くなる傾  
向にあります。

図表 35-2 母親の最終学歴



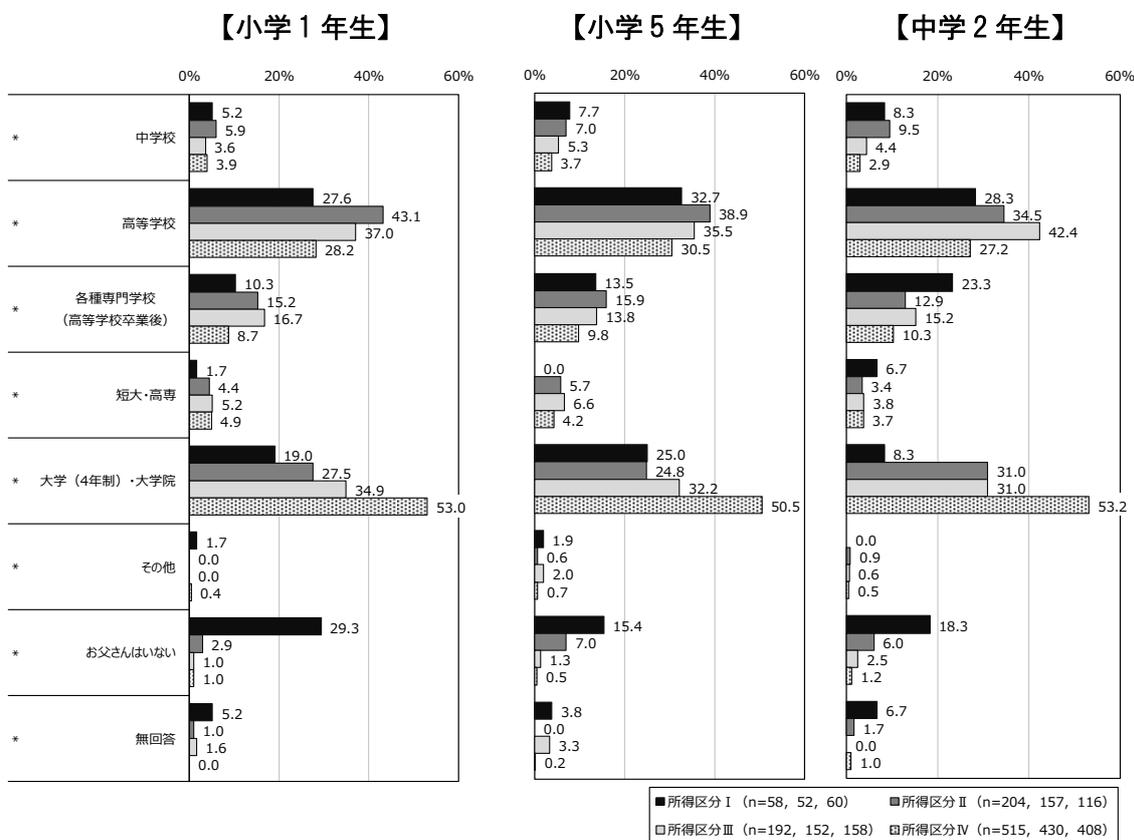
## (2) 父親の最終学歴

【小学1年生：問27、小学5年生・中学2年生：問23】  
 お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）の最終学歴を教えてください。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

### 《所得区分別》

父親の最終学歴については、それぞれの学年で所得区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは「高等学校」が最も高く、所得区分Ⅳでは「大学（4年制）・大学院」が5割以上と最も高くなっています。それぞれの学年の所得区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでは「高等学校」について「大学（4年制）・大学院」が高くなっている傾向がありますが、中2の所得区分Ⅰのみ「各種専門学校（高等学校卒業後）」が「大学（4年制）・大学院」を上回っています。

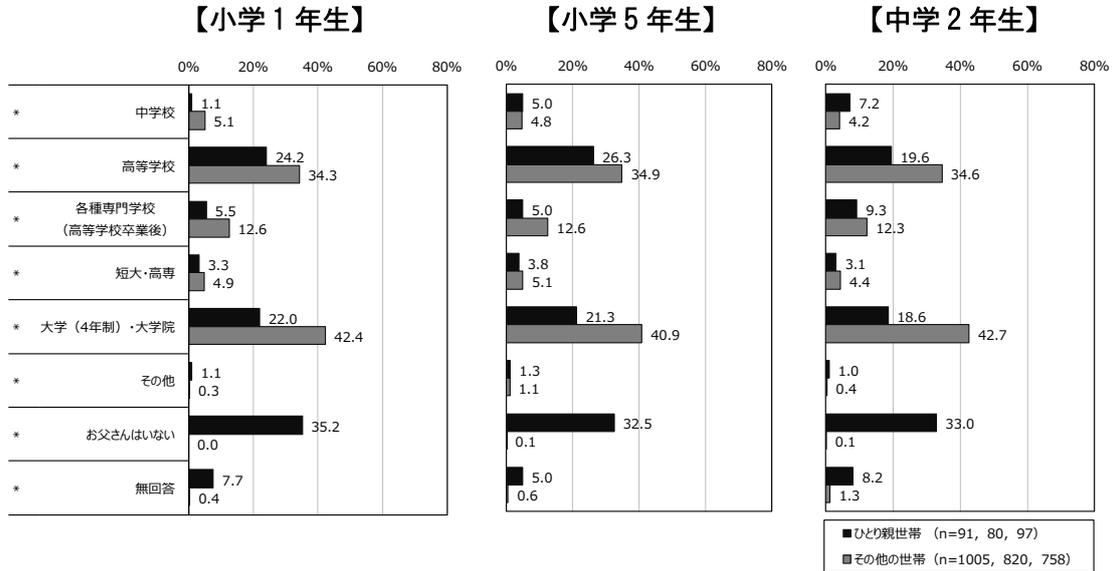
図表 36-1 父親の最終学歴



《世帯別》

父親の最終学歴については、いずれの学年のひとり親世帯においては「高等学校」の割合が最も高く、次いで「大学（4年制）・大学院」の割合が高くなっています。一方、その他の世帯においてはいずれの学年も「大学（4年制）・大学院」が最も高く4割以上となっています。

図表 36-2 父親の最終学歴



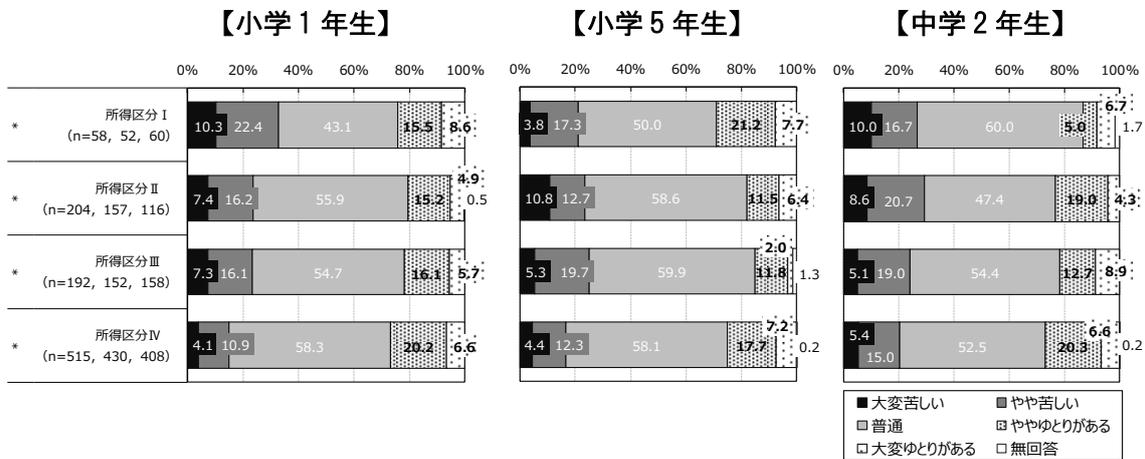
(3) 15歳頃の家庭の暮らし向き

【小学1年生：問29、小学5年生・中学2年生：問25】  
 あなたの15歳頃のご家庭の暮らしの状態はどうだったと感じますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

《所得区分別》

15歳頃の家庭の暮らし向きについては、いずれの学年・所得区分においても「普通」の割合が4割以上を超えており、中2の所得区分Iが60.0%と最も高くなっています。「苦しい」（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）は、小1の所得区分Iが32.7%と最も高くなっています。「ゆとりがある」（「ややゆとりがある」＋「大変ゆとりがある」）では、小5の所得区分Iが28.9%と最も高くなっています。

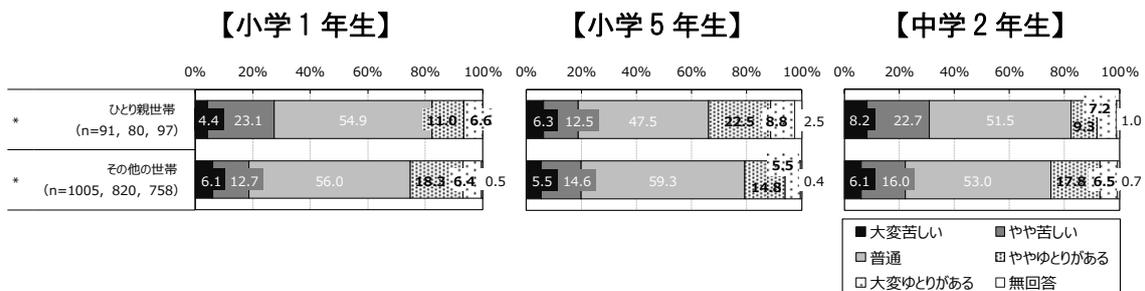
図表 37-1 15歳頃の家庭の暮らし向き



《世帯別》

15歳頃の家庭の暮らし向きについては、いずれの学年・世帯においても「普通」の割合が高く4割以上となっており、小5のその他の世帯が59.3%と最も高くなっています。「苦しい」（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）は、中2のひとり親世帯30.9%が最も高く、他の学年・世帯においては約2割となっています。「ゆとりがある」（「ややゆとりがある」＋「大変ゆとりがある」）では、小5のひとり親世帯が31.3%と最も高くなっています。

図表 37-2 15歳頃の家庭の暮らし向き



## 6. 7 現在の暮らしについて

### (1) 家庭の現在の暮らし向き

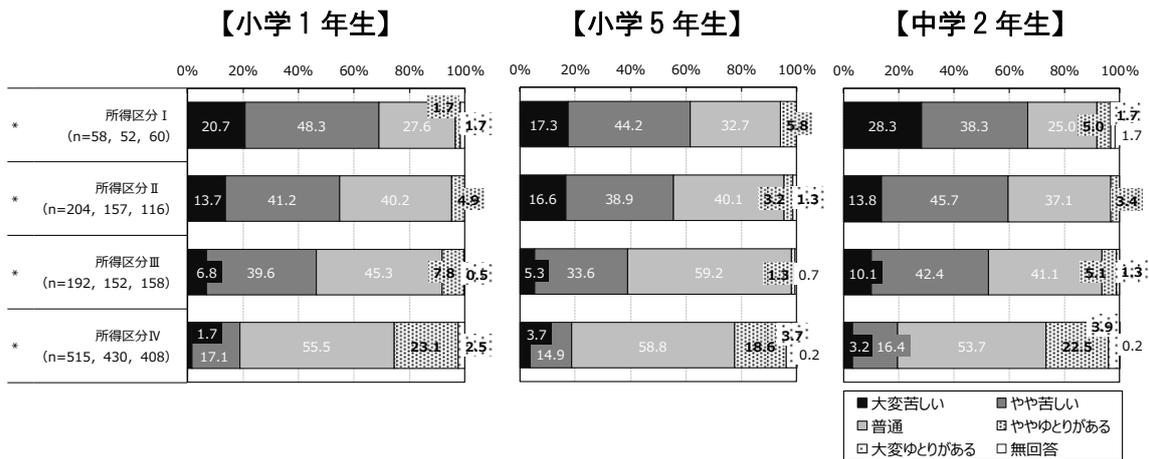
【小学1年生：問30、小学5年生・中学2年生：問26】  
 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

#### 《所得区分別》

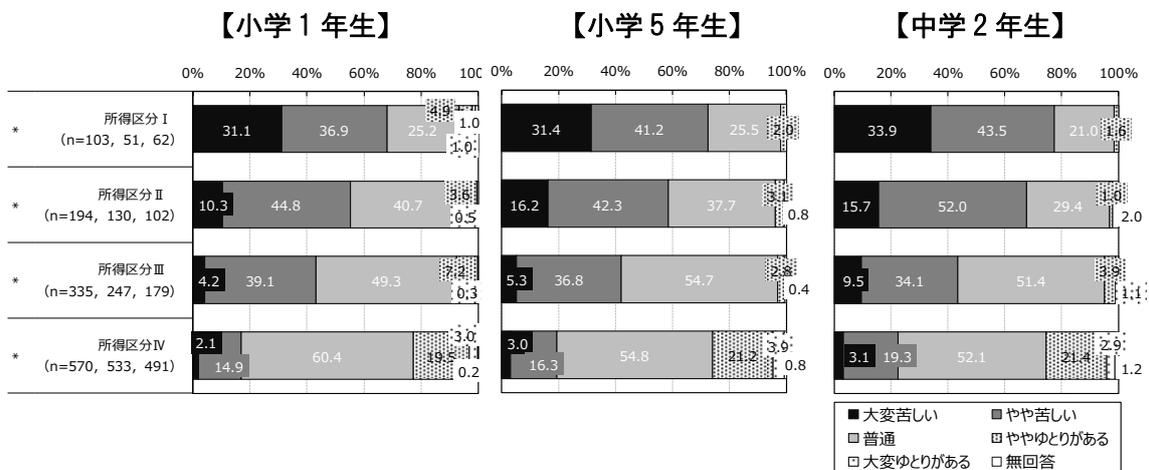
家庭の現在の暮らし向きについては、いずれの学年においても所得が低くなると「苦しい」(「大変苦しい」+「やや苦しい」)の割合が高くなる傾向にあり、所得区分Ⅰにおいてはいずれの学年も6割を超えています。「ゆとりがある」(「ややゆとりがある」+「大変ゆとりがある」)では、いずれの学年においても所得区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでは1割未満であるのに対し、所得区分Ⅳでは2割以上となっており、中2が26.4%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小1の所得区分Ⅰの「大変苦しい」の割合が10.4%低くなっています。

図表 38-1 家庭の現在の暮らし向き



[平成30年度調査 図表 38-1 家庭の現在の暮らし向き]

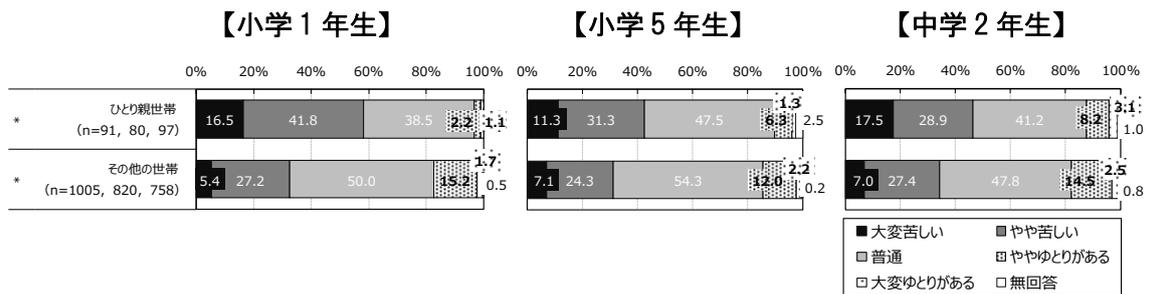


《世帯別》

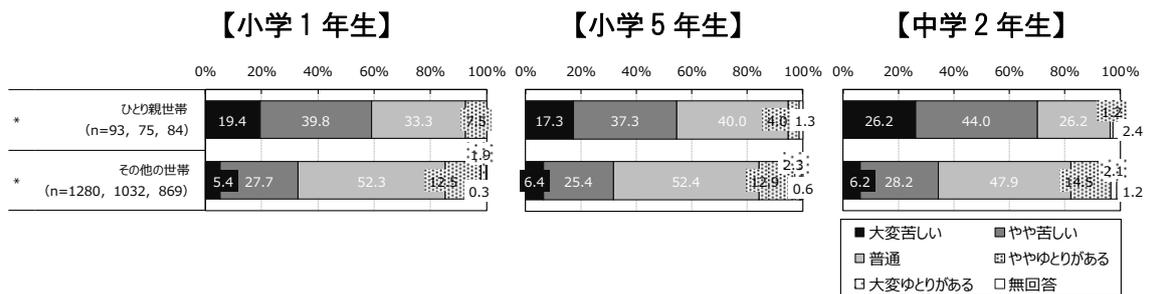
家庭の現在の暮らし向きについては、いずれの学年においても、ひとり親世帯では「苦しい」（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）の割合が4割以上となっており、小1が58.3%と最も高くなっています。一方、いずれの学年においても、その他の世帯では「普通」の割合が高く、小5が54.3%と最も高くなっています。「ゆとりがある」（「ややゆとりがある」＋「大変ゆとりがある」）では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高く、中2が17.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、中2のひとり親世帯の「やや苦しい」の割合が15.1%低くなっています。

図表 38-2 家庭の現在の暮らし向き



[平成30年度調査 図表 38-2 家庭の現在の暮らし向き]



(2) 家庭の通常の家計状況

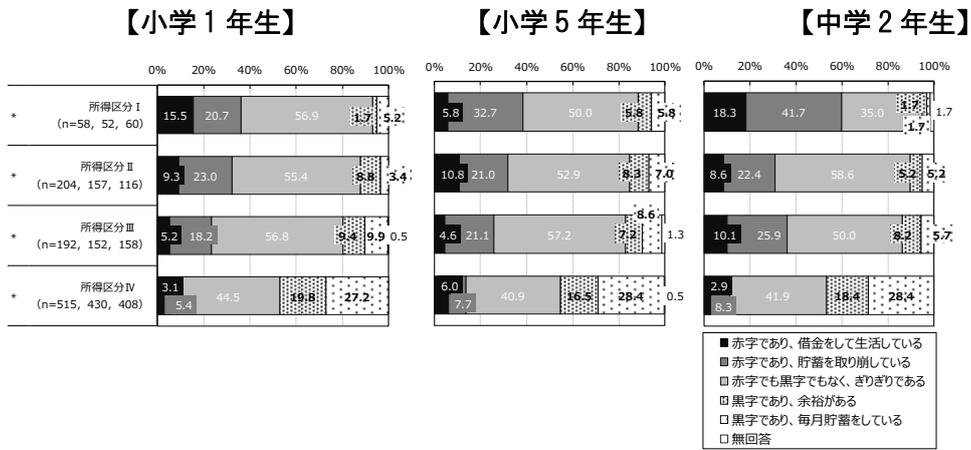
【小学1年生：問31、小学5年生・中学2年生：問27】  
 あなたのご家庭の通常の家計の状況について、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)  
 ※なお、住宅ローンの支払いなどローンに関するものも、支出に入れて下さい。

《所得区分別》

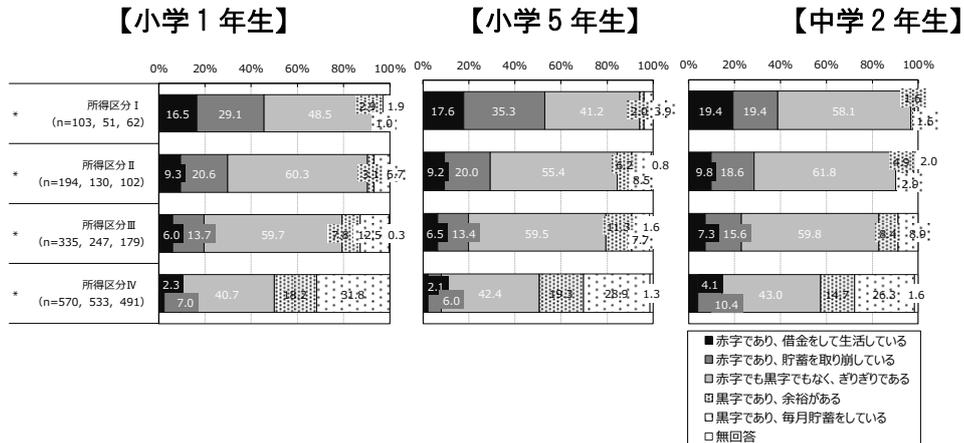
家庭の通常の家計状況については、中2の所得区分Ⅰを除き、いずれの学年・所得区分においても「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合が最も高くなっています。「赤字である」(「赤字であり、借金をして生活している」+「赤字であり、貯蓄を取り崩している」)では、所得が低いほど割合が高くなる傾向にあり、中2の所得区分Ⅰでは60.0%と最も高くなっています。一方、「黒字である」(「黒字であり、余裕がある」+「黒字であり、毎月貯蓄をしている」)では、いずれの学年においても、所得区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲにおいては2割未満となっているのに対し、所得区分Ⅳでは4割以上となっており、小1では47.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小1、小5の所得区分Ⅰの「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合は高くなっています。一方、中2の所得区分Ⅰの「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合が23.1%と低くなっています。

図表 39-1 家庭の通常の家計状態



[平成30年度調査 図表 39-1 家庭の通常の家計状態]



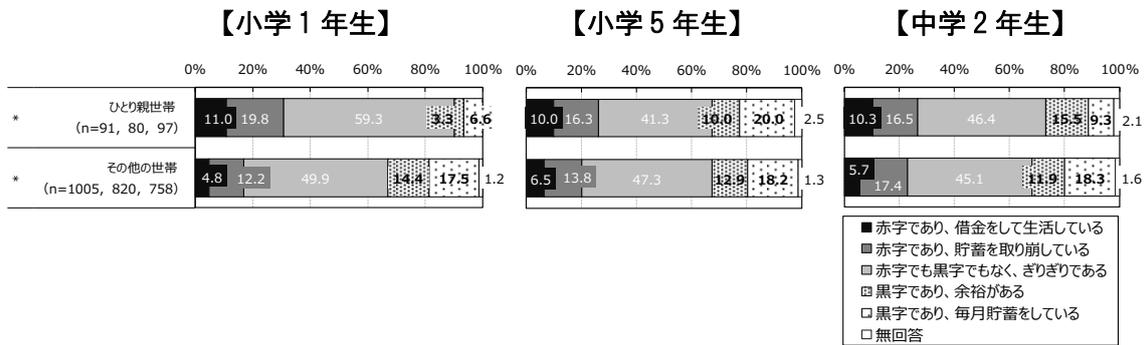
《世帯別》

家庭の通常の家計状況については、いずれの学年・世帯においても「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が最も高く、小1のひとり親世帯が59.3%と最も高くなっています。

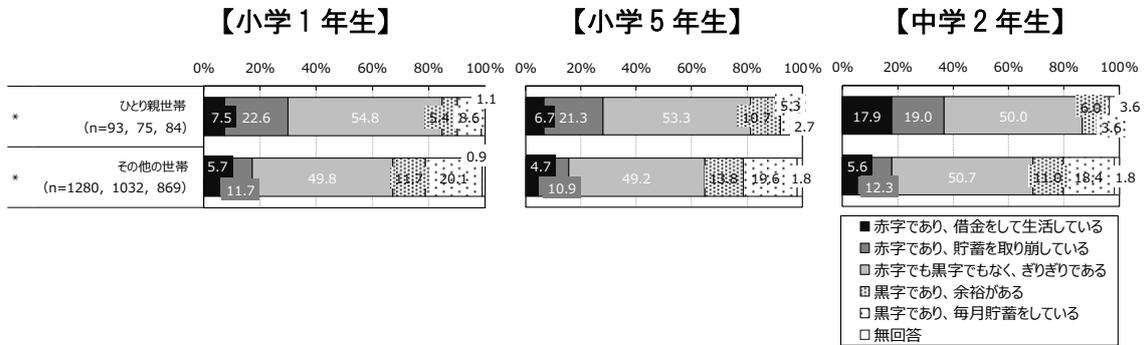
「赤字である」（「赤字であり、借金をして生活している」＋「赤字であり、貯蓄を取り崩している」）では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小1が30.8%と最も高くなっています。一方、「黒字である」（「黒字であり、余裕がある」＋「黒字であり、毎月貯蓄をしている」）では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高く、小1が31.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5、中2のひとり親世帯の「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合は、低くなっており、その内小5のひとり親世帯の「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」の割合は12.0%低くなっています。

図表 39-2 家庭の通常の家計状態



[平成30年度調査 図表 39-2 家庭の通常の家計状態]



(3) 経済的な理由から食料や衣料が買えないことがあったか

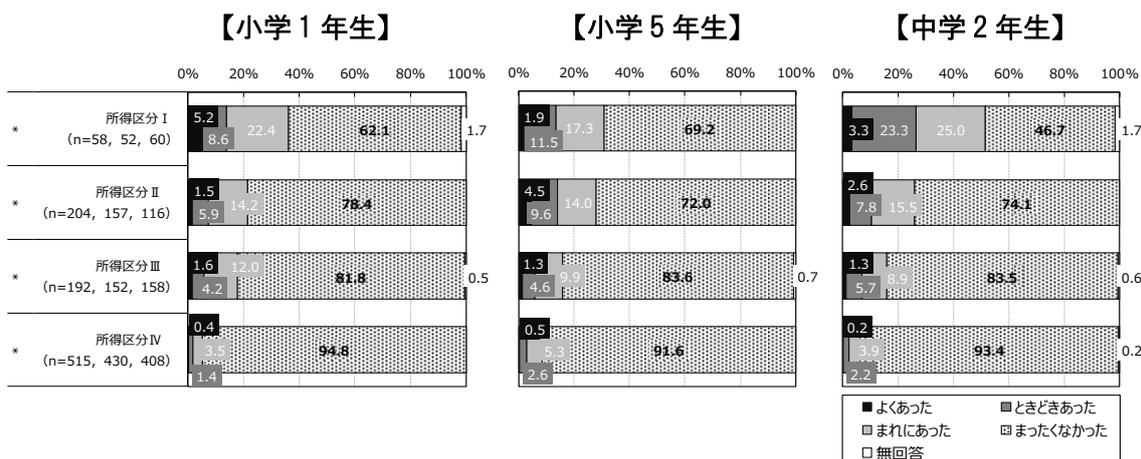
【小学1年生：問32、小学5年生・中学2年生：問28】  
 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はそれぞれひとつ）

(3-1) A食料が買えなかった経験

《所得区分別》

食料が買えなかった経験については、いずれの学年・所得区分においても「まったくなかった」が最も高く、所得が上がるにつれて割合が高くなっています。所得区分Ⅳでは9割以上となっており、大半を占めています。「よくあった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「ややあった」（「ときどきあった」＋「まれにあった」）では、所得が低くなるほど割合が高くなっており、中2の所得区分Ⅰが48.3%と最も高くなっています。

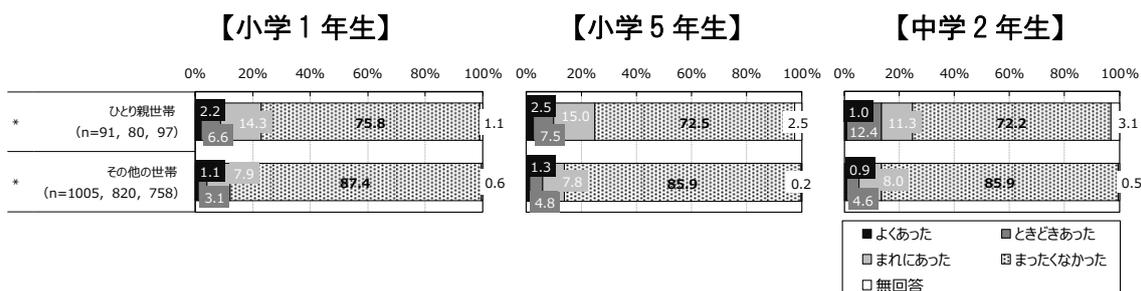
図表 40-1 A 食料が買えなかった経験



《世帯別》

食料が買えなかった経験については、いずれの学年・世帯においても「まったくなかった」が最も高く、その他の世帯では8割以上となっており、大半を占めています。「よくあった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「ややあった」（「ときどきあった」＋「まれにあった」）では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、中2が23.7%と最も高くなっています。

図表 40-2 A 食料が買えなかった経験

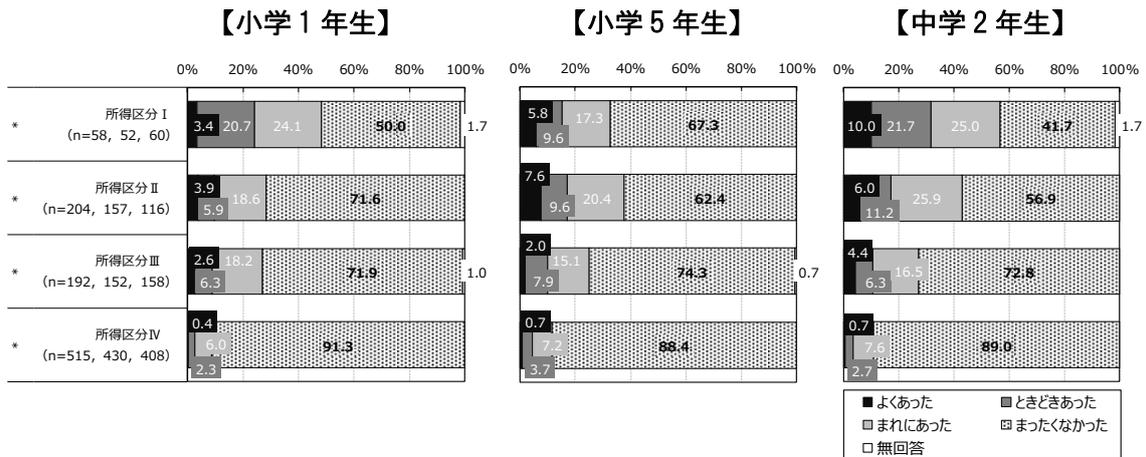


### (3-2) B衣料が買えなかった経験

#### 《所得区分別》

衣料が買えなかった経験については、いずれの学年・所得区分においても「まったくなかった」が最も高く、所得が上がるにつれて割合が高い傾向にあります。いずれの学年においても、所得区分Ⅳでは8割以上となっており、大半を占めています。「よくあった」では、中2の所得区分Ⅰで1割以上となっています。「ややあった」(「ときどきあった」+「まれにあった」)では、いずれの学年においても所得が低くなるほど割合が高くなる傾向があり、中2の所得区分Ⅰが46.7%と最も高くなっています。

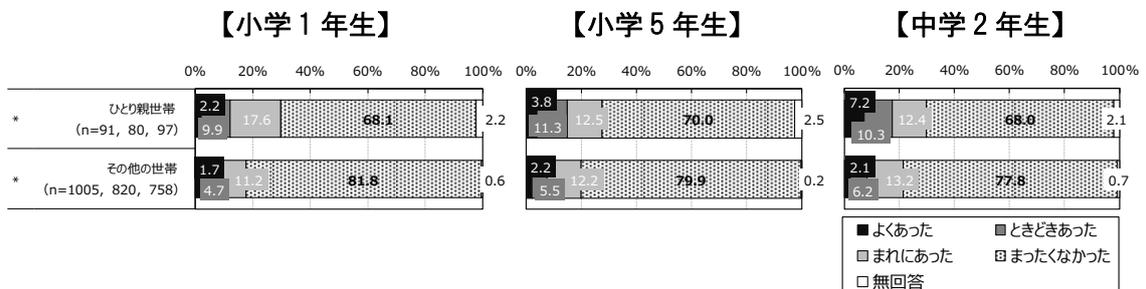
図表 40-3 B 衣料が買えなかった経験



#### 《世帯別》

衣料が買えなかった経験については、いずれの学年・世帯においても「まったくなかった」の割合が約7割前後となっています。「よくあった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「ややあった」(「ときどきあった」+「まれにあった」)では、いずれの学年においても、その他の世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高くなっており、小1が27.5%と最も高くなっています。

図表 40-4 B 衣料が買えなかった経験



(4) 経済的な理由から月々の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができなかったことがあったか

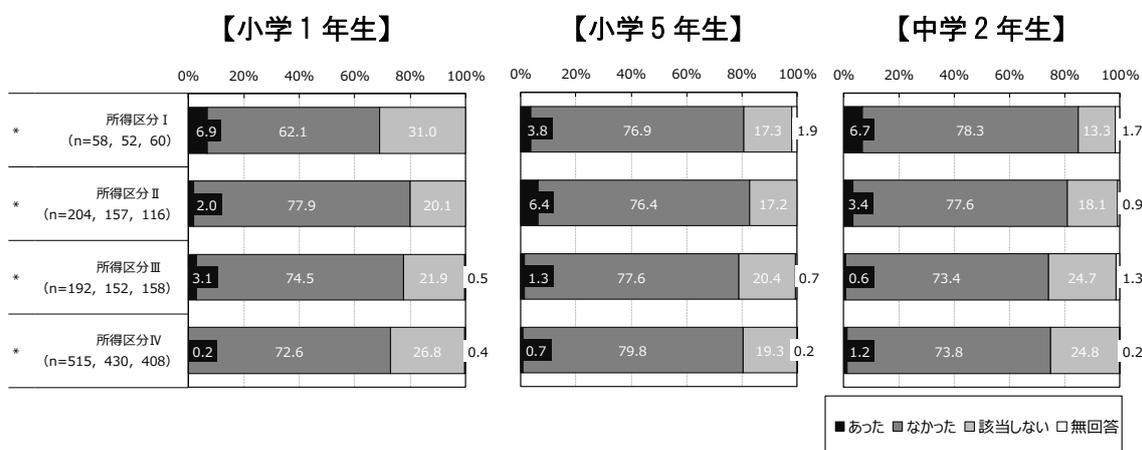
【小学1年生：問33、小学5年生・中学2年生：問29】  
 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。  
 A～Hについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

(4-1) A電気料金の未払い

《所得区分別》

電気料金の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても該当しないを除くと「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

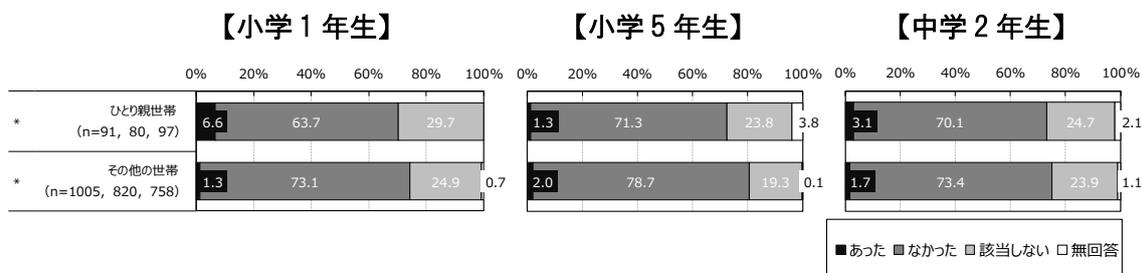
図表 41-1 A 電気料金の未払い



《世帯別》

電気料金の未払いについては、いずれの学年・世帯においても該当しないを除くと「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 41-2 A 電気料金の未払い

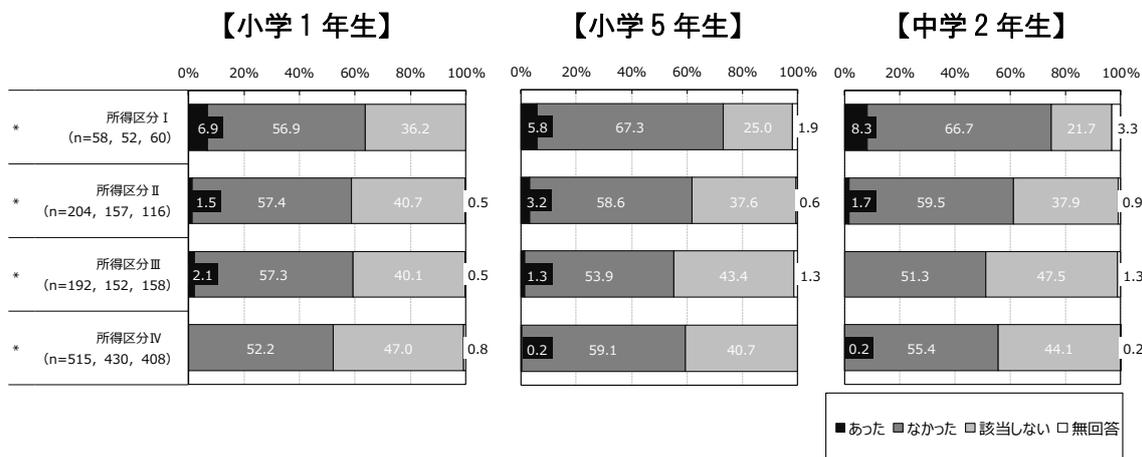


## (4-2) Bガス料金の未払い

### 《所得区分別》

ガス料金の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、該当しないを除くと大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

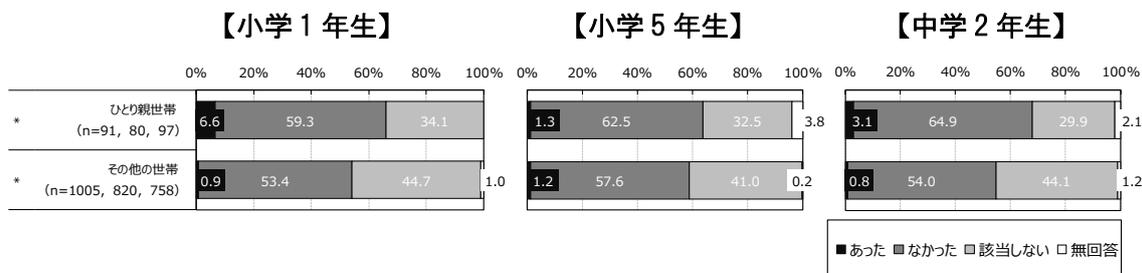
図表 41-3 B ガス料金の未払い



### 《世帯別》

ガス料金の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 41-4 B ガス料金の未払い

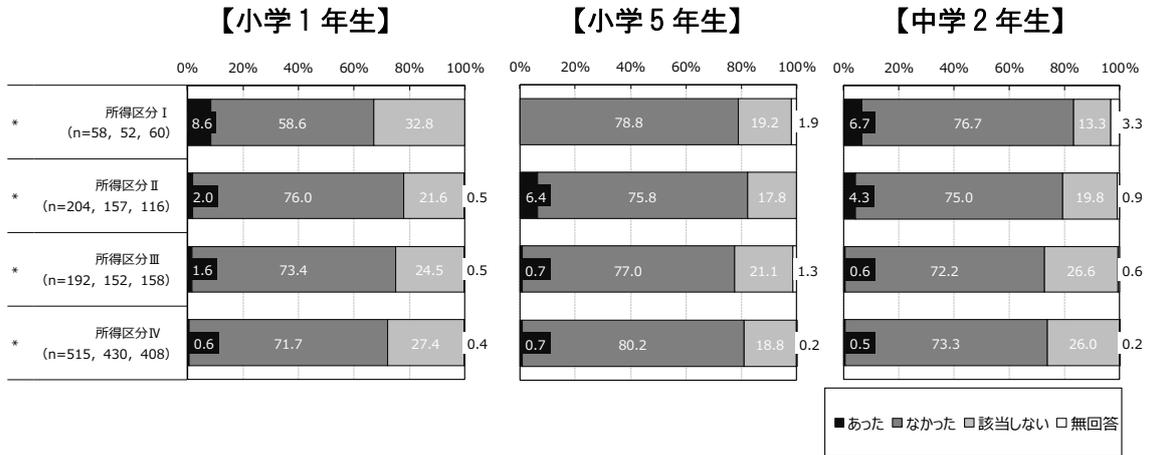


### (4-3) C水道料金の未払い

#### 《所得区分別》

水道料金の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、該当しないを除くと大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

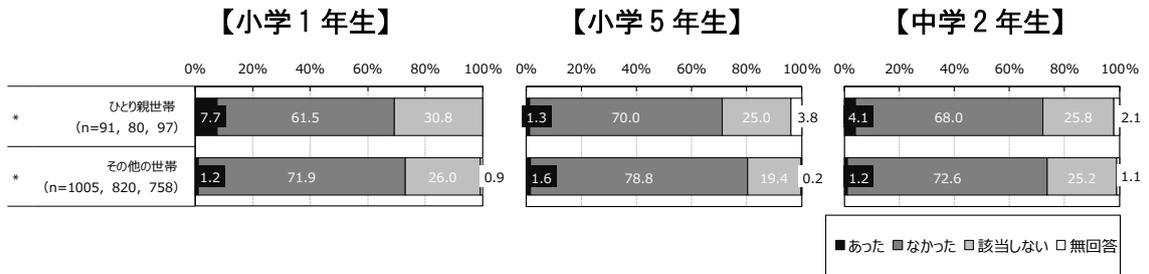
図表 41-5 C 水道料金の未払い



#### 《世帯別》

水道料金の未払いについては、いずれの学年・世帯においても該当しないを除くと「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 41-6 C 水道料金の未払い

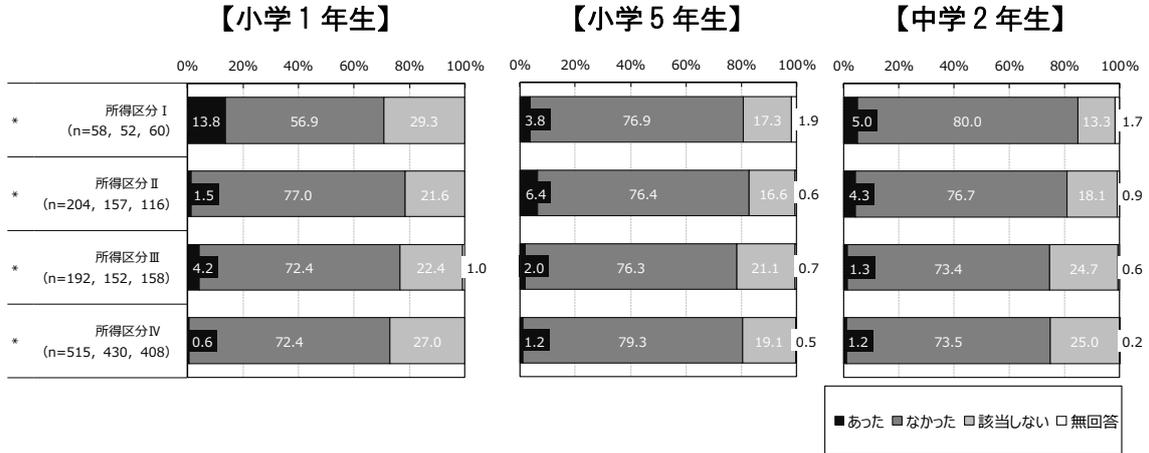


(4-4) D電話料金の未払い

《所得区分別》

電話料金の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、小1の所得区分Ⅰで1割以上となっています。

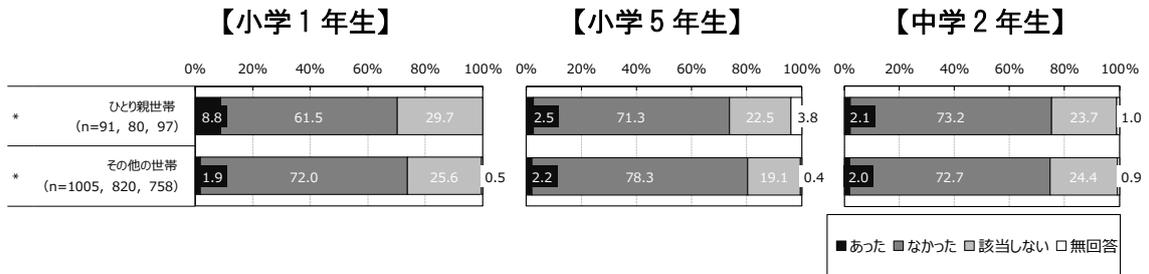
図表 41-7 D 電話料金の未払い



《世帯別》

電話料金の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 41-8 D 電話料金の未払い

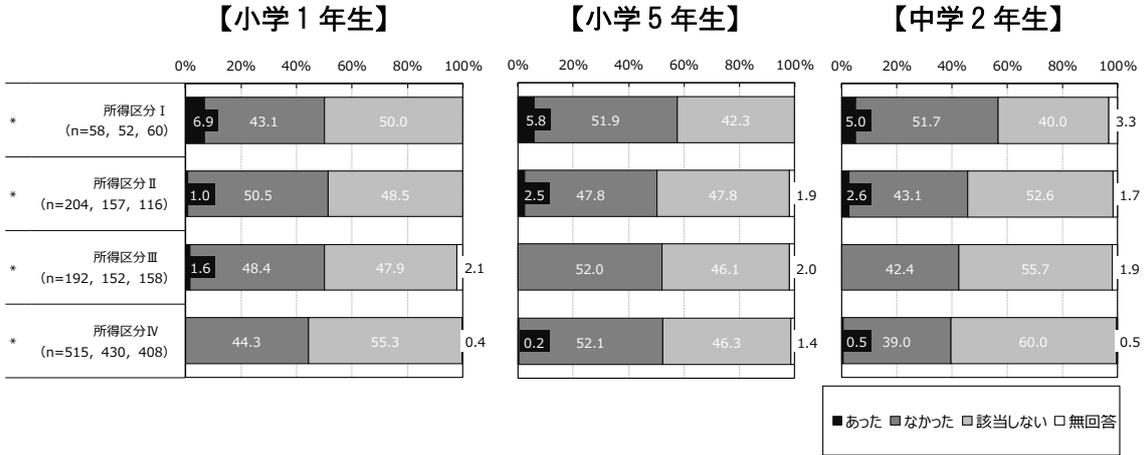


(4-5) E家賃の滞納

《所得区分別》

家賃の滞納については、いずれの学年・所得区分においても、該当しないを除くと「なかった」の割合が最も高くなっています。「あった」では、いずれの学年においても、所得区分Ⅰの割合が高くなっています。

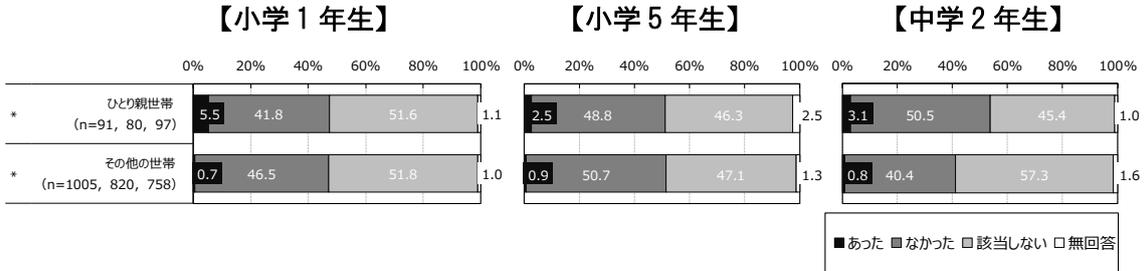
図表 41-9 E 家賃の滞納



《世帯別》

家賃の滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっています。「あった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

図表 41-10 E 家賃の滞納

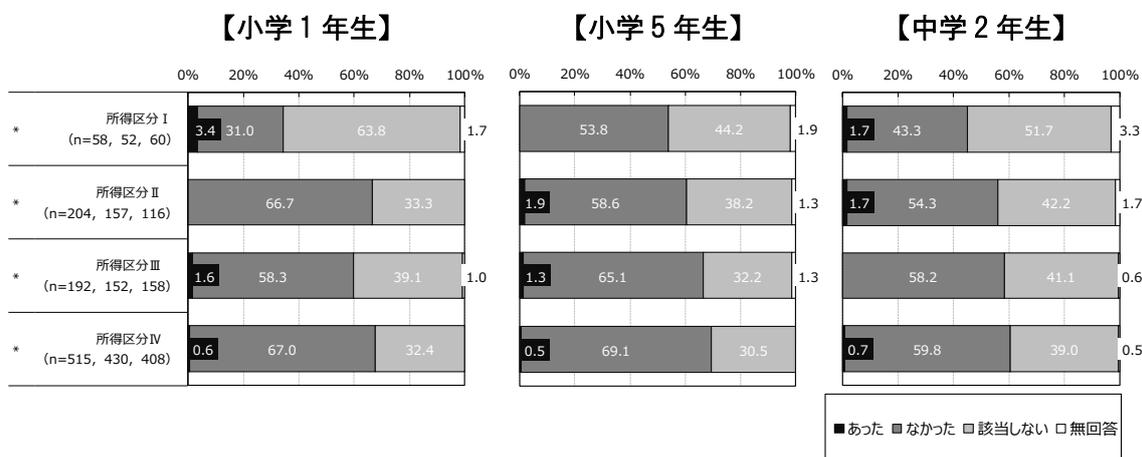


## (4-6) F住宅ローンの滞納

### 《所得区分別》

住宅ローンの滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっています。「あった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

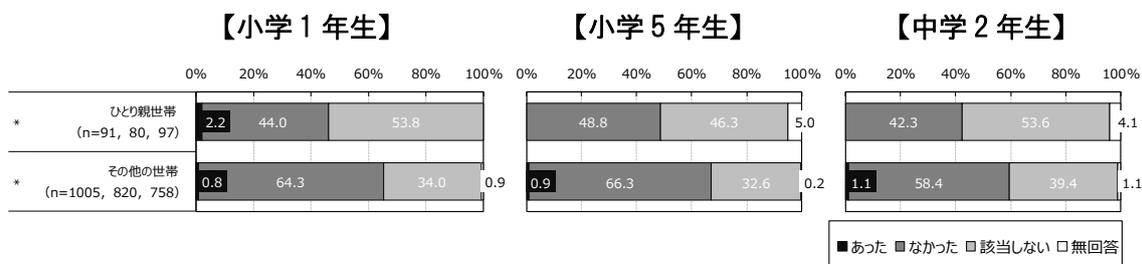
図表 41-11 F 住宅ローンの滞納



### 《世帯別》

住宅ローンの滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっています。「あった」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 41-12 F 住宅ローンの滞納

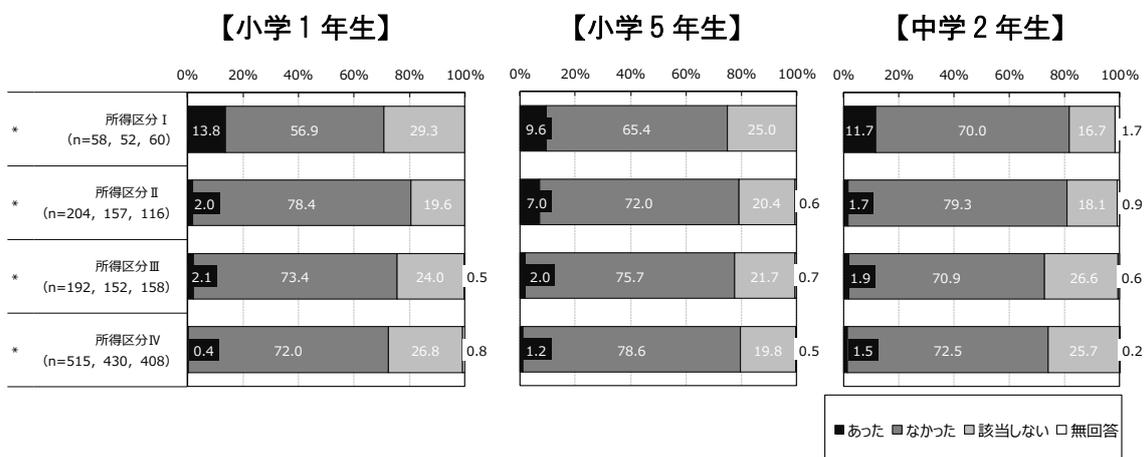


## (4-7) G給食費の滞納

### 《所得区分別》

給食費の滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・所得区分においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、小1と中2の所得区分Iにおいて約1割以上となっています。

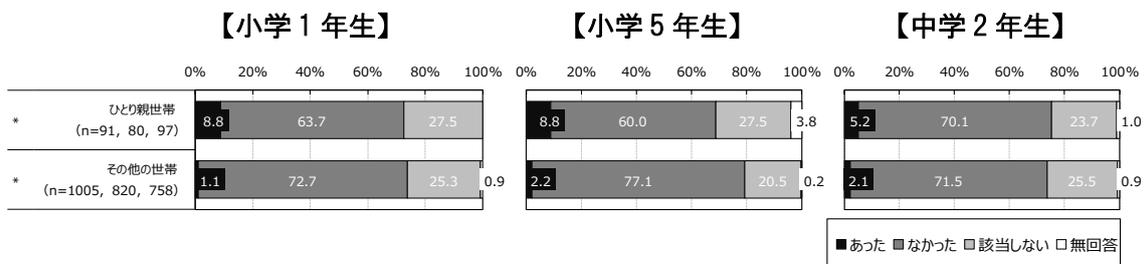
図表 41-13 G 給食費の滞納



### 《世帯別》

給食費の滞納については、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

図表 41-14 G 給食費の滞納

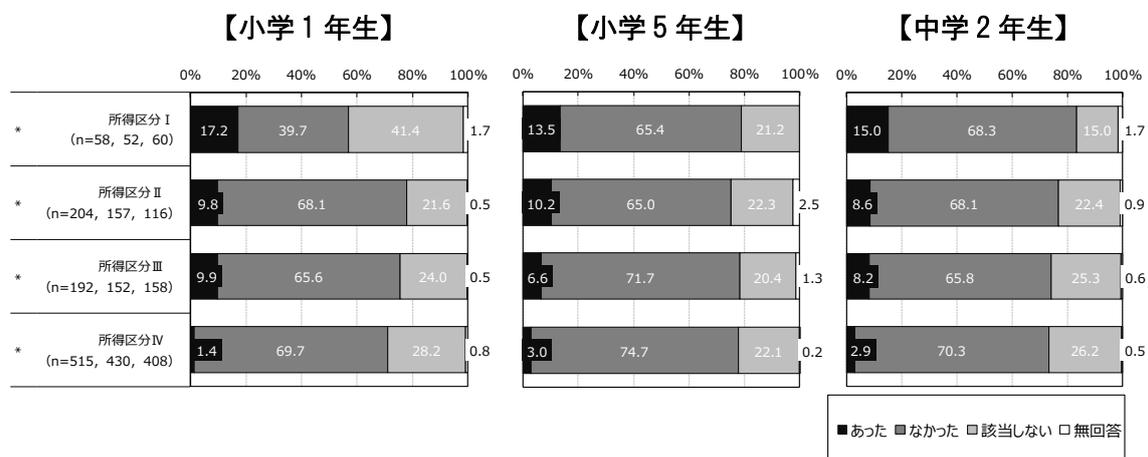


## (4-8) Hその他の未払い

### 《所得区分別》

その他の未払いについては、いずれの学年・所得区分においても、該当しないを除くと「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、所得区分Ⅰで1割以上となっています。

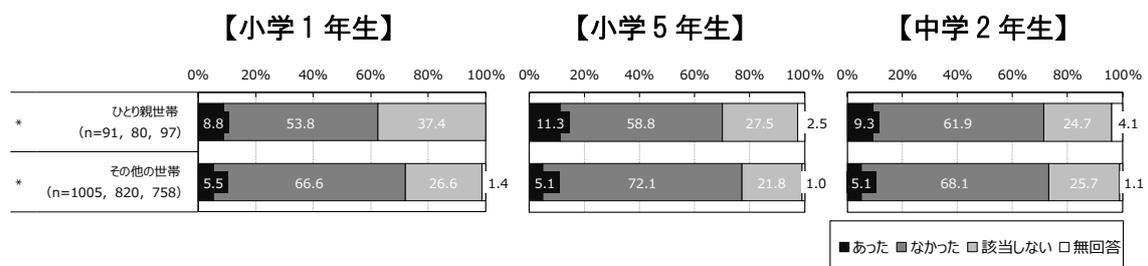
図表 41-15 H その他の未払い



### 《世帯別》

その他の未払いについては、該当しないを除き、いずれの学年・世帯においても「なかった」が最も高くなっており、大半を占めています。「あった」では、小5のひとり親世帯が1割以上となっています。

図表 41-16 H その他の未払い



## 6. 8 支出について

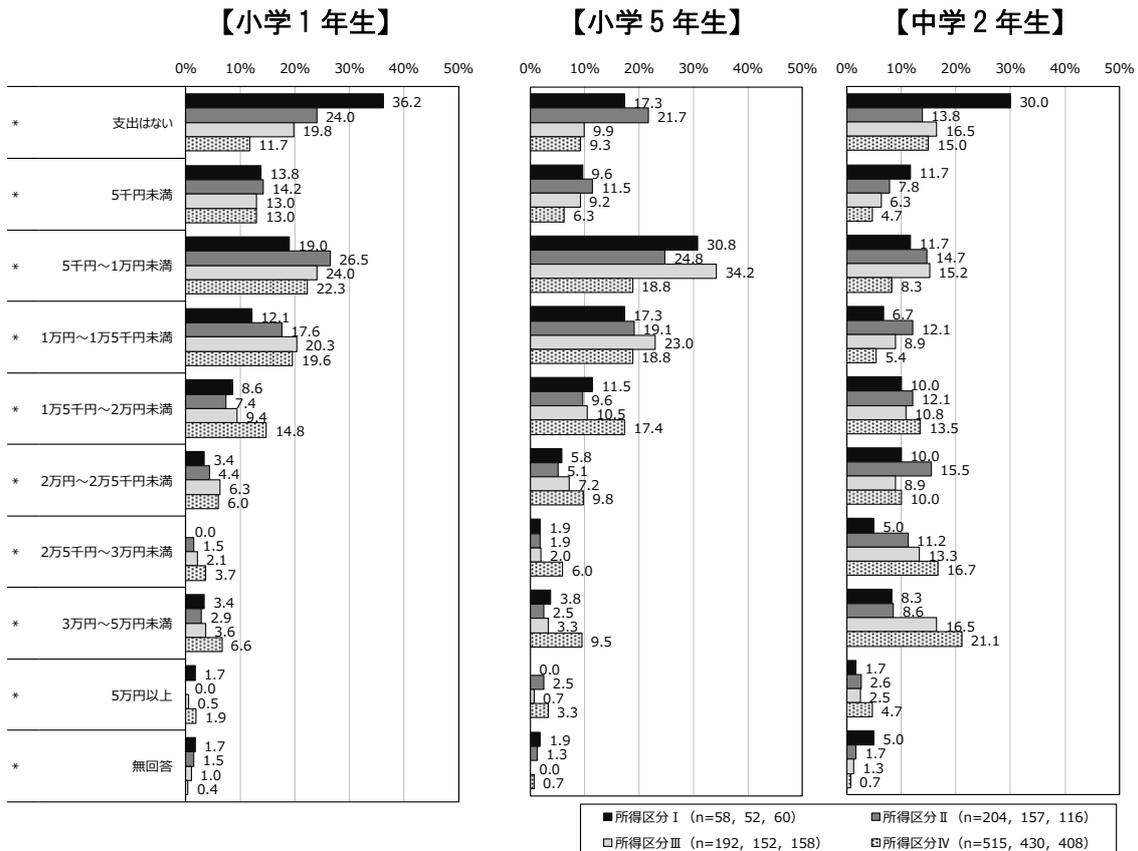
### (1) 子ども 1 人の学校以外の教育費

【小学 1 年生：問 42、小学 5 年生・中学 2 年生：問 38】  
 このアンケート調査の対象となっているお子さん 1 人について、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる 1 ヶ月あたりの平均の支出はどれくらいですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

#### 《所得区分別》

子ども 1 人の学校以外の教育費については、小 1 の所得区分 I では「支出はない」が 36.2%と最も高く、所得区分 II・III・IV では「5 千円～1 万円未満」の割合が最も高くなっています。小 5 では「5 千円～1 万円未満」で所得区分 I が 30.8%・II が 24.8%・III が 34.2%とそれぞれ最も高く、所得区分 IV では「5 千円～1 万円未満」および「1 万円～1 万 5 千円未満」で 18.8%と最も高くなっています。中 2 では「支出はない」で所得区分 I が 30.0%と最も高く、所得区分 II では「5 千円～1 万円未満」で 14.7%と最も高くなっています。所得区分 III では「支出はない」と「3 万円～5 万円未満」でそれぞれ 16.5%と最も高くなっています。所得区分 IV では「3 万円～5 万円未満」が 21.1%と最も高くなっています。

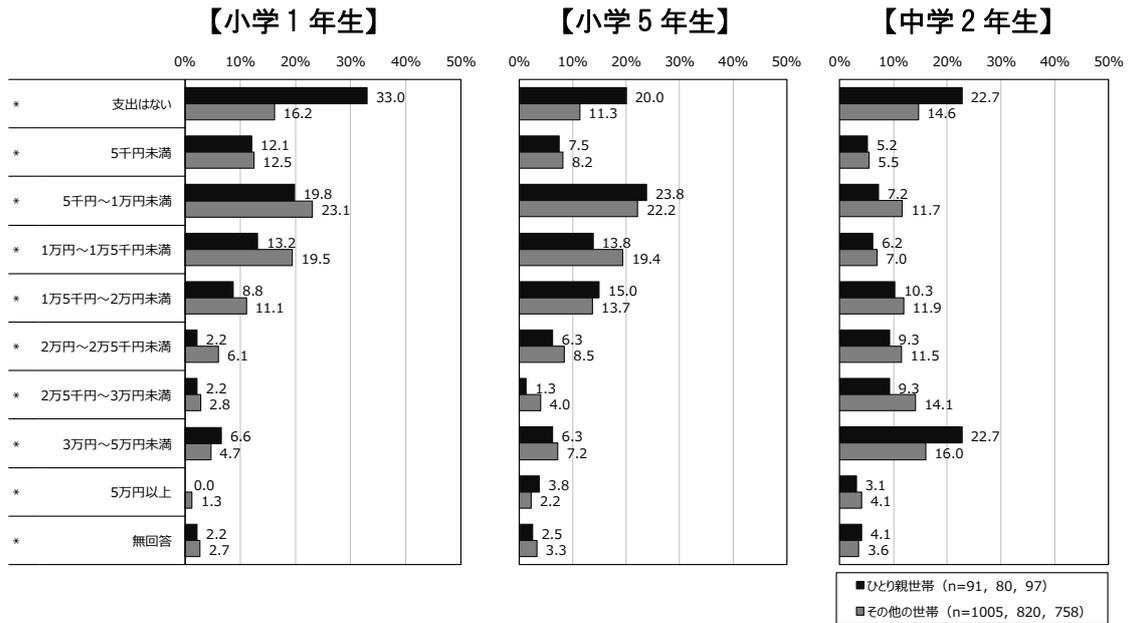
図表 42-1 子ども 1 人の学校以外の教育費



《世帯別》

子ども1人の学校以外の教育費については、小1のひとり親世帯では「支出はない」が33.0%と最も高く、その他の世帯では「5千円～1万円未満」が23.1%と最も高くなっています。小5ではいずれの世帯で「5千円～1万円未満」が最も高く、ひとり親世帯で23.8%、その他の世帯で22.2%となっています。中2のひとり親世帯では「支出はない」「3万円～5万円未満」で22.7%と最も高く、その他の世帯では「3万円～5万円未満」が16.0%と最も高くなっています。いずれの学年においても、ひとり親世帯では「支出はない」の割合が高い傾向にあります。

図表 42-2 子ども1人の学校以外の教育費



## 6.9 お子さんへの支援について

### (1) 利用したいと思うもの

【小学1年生：問43-1、小学5年生・中学2年生：問39-1】  
次のうち、利用したいと思うものについて、あてはまるものに○を付けてください。  
(それぞれ○はひとつ)

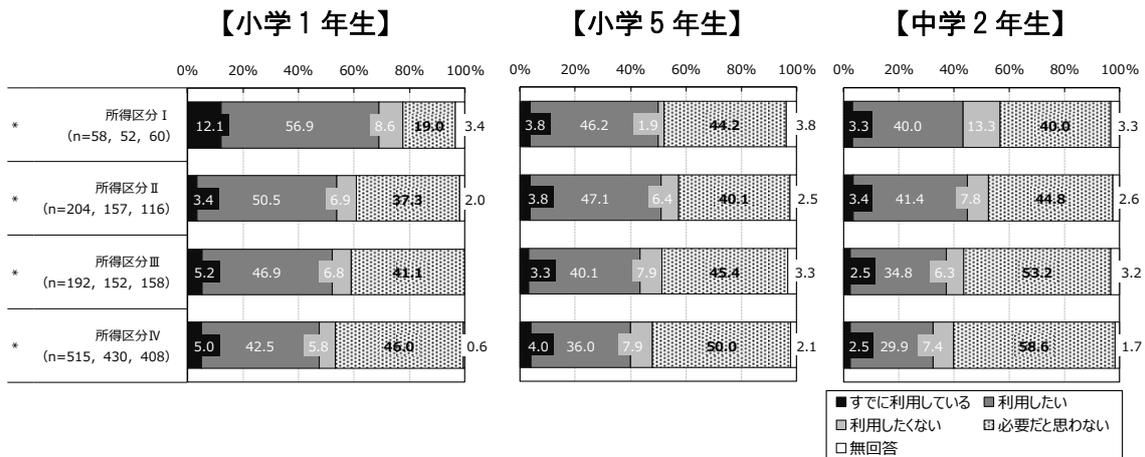
#### (1-1) A子ども食堂

##### 《所得区分別》

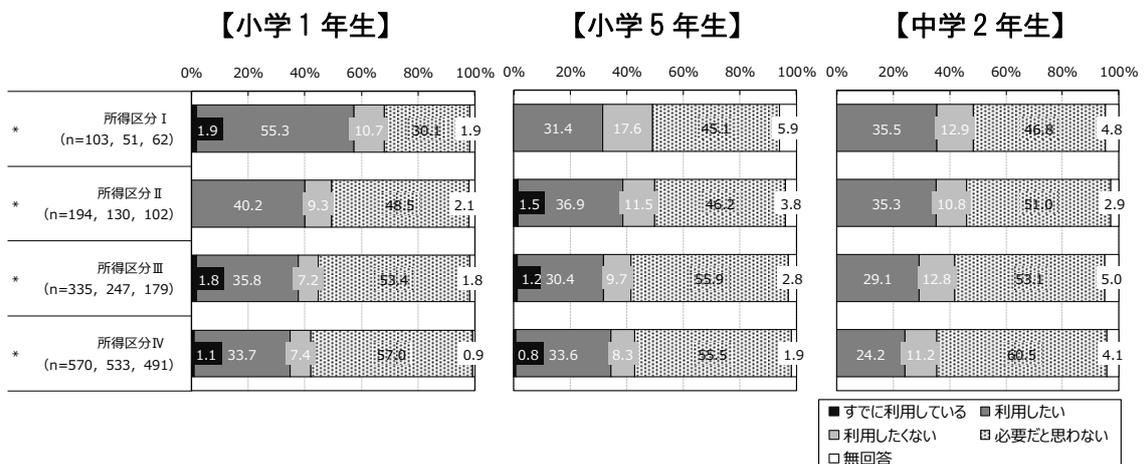
子ども食堂については、「すでに利用している」では、小1の所得区分Ⅰの12.1%を除き、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「利用したい」では、小1の所得区分Ⅰが56.9%と最も高く、半数を超えています。「利用したくない」では、中2の所得区分Ⅰが13.3%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、いずれの学年においても、所得が上がるにつれて割合が高くなる傾向があります。

平成30年度調査と比較して、いずれの学年・所得区分においても「すでに利用している」の割合が高くなっています。小1の所得区分Ⅰの「すでに利用している」の割合が10.2%と最も高くなっています。

図表 43-1 A 子ども食堂



[平成30年度調査 図表 43-1 A 子ども食堂]

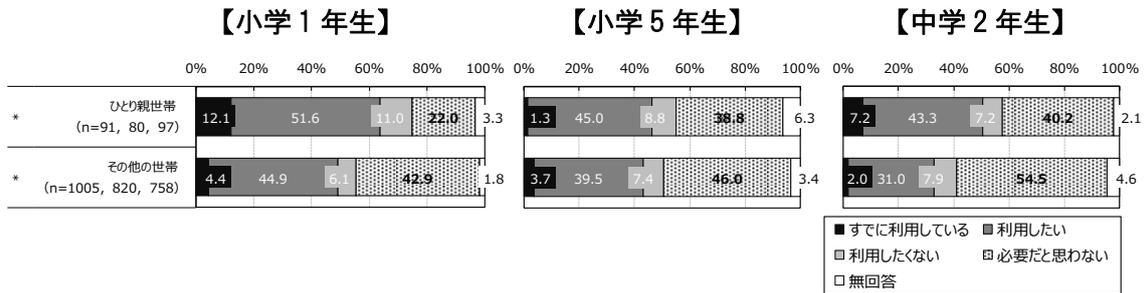


《世帯別》

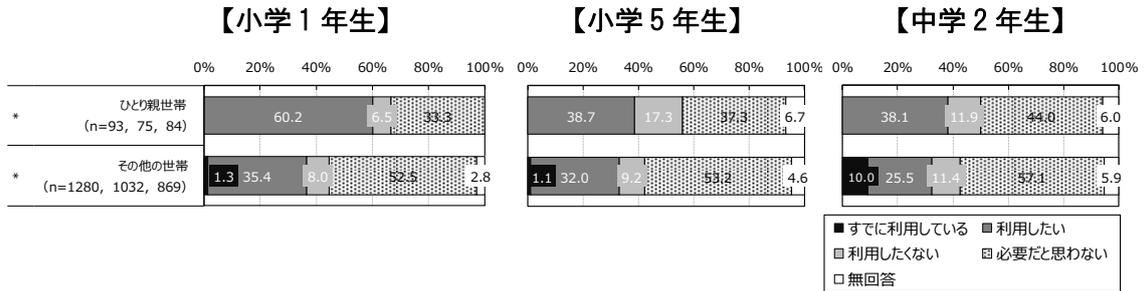
子ども食堂については、「すでに利用している」では、小1のひとり親世帯で12.1%となっており、他の学年・世帯では、いずれも1割未満となっています。「利用したい」では、小1のひとり親世帯のみ51.6%となっており、半数を超えています。「利用したくない」では、小1のひとり親世帯が11.0%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、いずれの学年においても、その他の世帯で4割以上となっており、中2が54.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小1のひとり親世帯の「すでに利用している」の割合が12.1%高くなっています。いずれの学年もひとり親世帯では、「すでに利用している」の割合が増えていることが分かります。

図表 43-2 A 子ども食堂



[平成30年度調査] 図表 43-2 A 子ども食堂



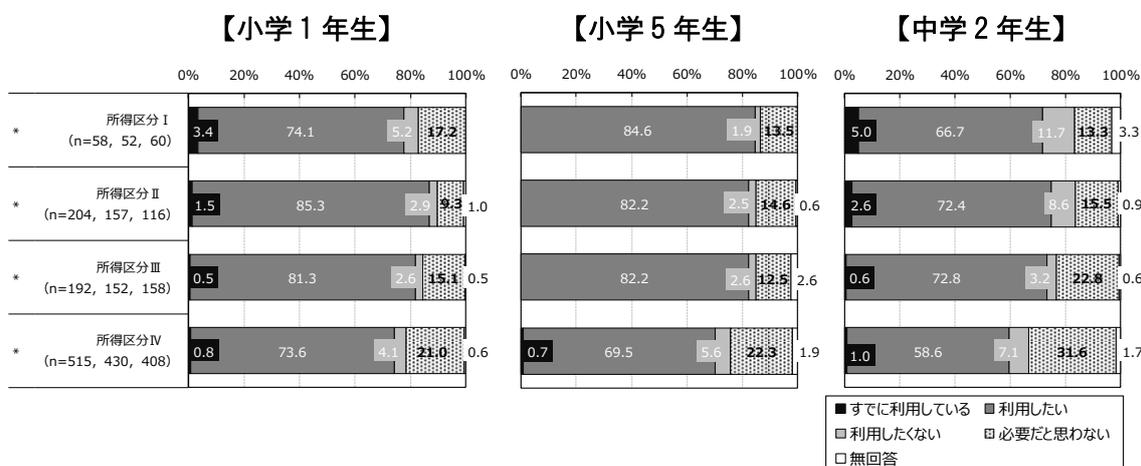
(1-2) B子どものための無料の学習塾

《所得区分別》

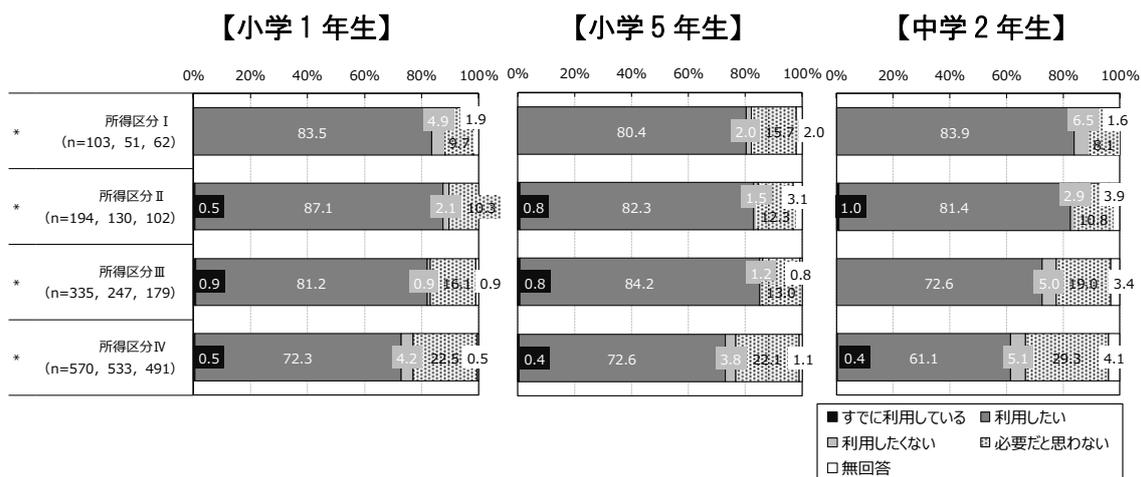
子どものための無料の学習塾については、「すでに利用している」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「利用したい」では、いずれの学年・所得区分においても最も高くなっていますが、中2の所得区分Ⅳでは約6割となっています。「利用したくない」では、中2の所得区分Ⅰの11.7%を除き、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「必要だと思わない」では、所得が上がるにつれて高くなる傾向にあり、中2の所得区分Ⅳでは31.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小1の所得区分Ⅰ、Ⅱ及び中2の所得区分Ⅱ、Ⅳの「利用したい」の割合が低くなっています。その内中2の所得区分Ⅰの「利用したい」の割合は17.2%低くなっています。

図表 43-3 B 子どものための無料の学習塾



[平成30年度調査 図表 43-3 B 子どものための無料の学習塾]

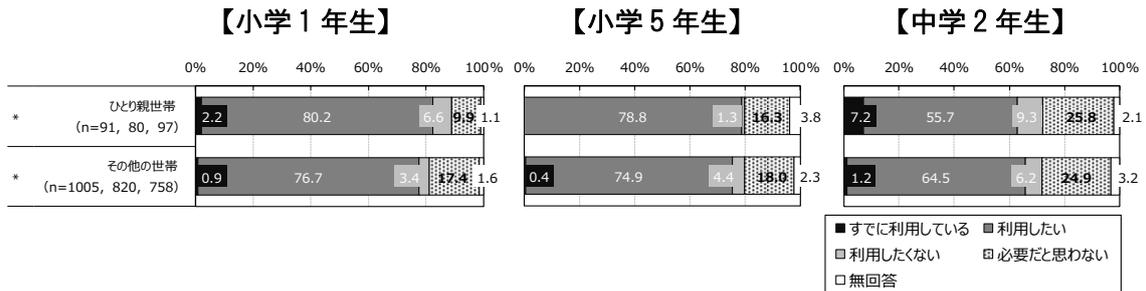


《世帯別》

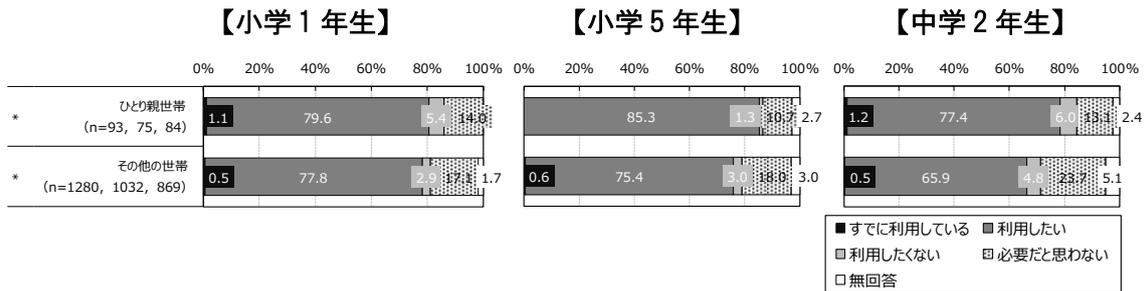
子どものための無料の学習塾については、「すでに利用している」、「利用したくない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「利用したい」では、いずれの学年・世帯においても割合は高くなっており、小1のひとり親世帯が80.2%と最も高くなっています。「必要だと思わない」では、中2のひとり親世帯が25.8%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小1のひとり親世帯を除き「利用したい」の割合は、低くなっています。また、中2のひとり親世帯の「すでに利用している」の割合が6.0%高くなっています。

図表 43-4 B 子どものための無料の学習塾



[平成30年度調査 図表 43-4 B 子どものための無料の学習塾]

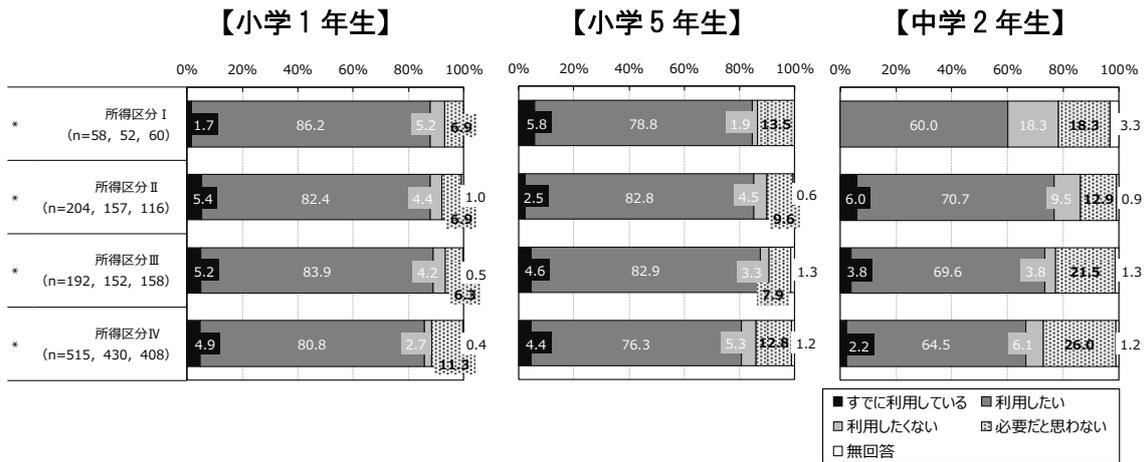


(1-3) C子どものための無料の体験活動

《所得区分別》

子どものための無料の体験活動については、「すでに利用している」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。「利用したい」では、いずれの学年、所得区分においても最も高くなっており、小1の所得区分Iが86.2%と最も高くなっていきます。一方「利用したくない」では、中2の所得区分Iの18.3%を除き、いずれの学年、所得区分においても1割未満となっています。「必要だと思わない」では、中2の所得区分IVが26.0%と最も高くなっていきます。

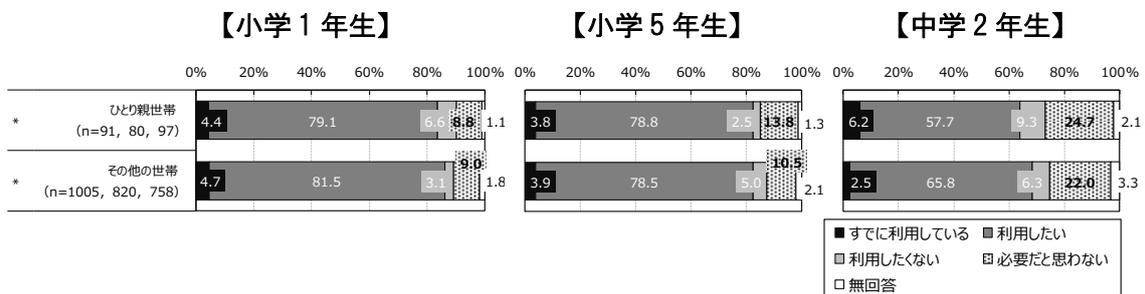
図表 43-5 C 子どものための無料の体験活動



《世帯別》

子どものための無料の体験活動については、「すでに利用している」、「利用したくない」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。「利用したい」では、いずれの学年・世帯においても、割合は最も高くなっていきますが、学年が上がるにつれて割合は低くなっています。「必要だと思わない」では、中2のいずれの世帯でも2割以上となっており、ひとり親世帯では24.7%と最も高くなっています。

図表 43-6 C 子どものための無料の体験活動



(2) 利用したくない・必要だと思わない理由

【小学1年生：問43-2、小学5年生・中学2年生：問39-2】  
 ※問43-1で「3 利用したくない」「4 必要だと思わない」と回答した方に伺います。その理由としてあてはまるものに○をつけてください。  
 (○はいくつでも)

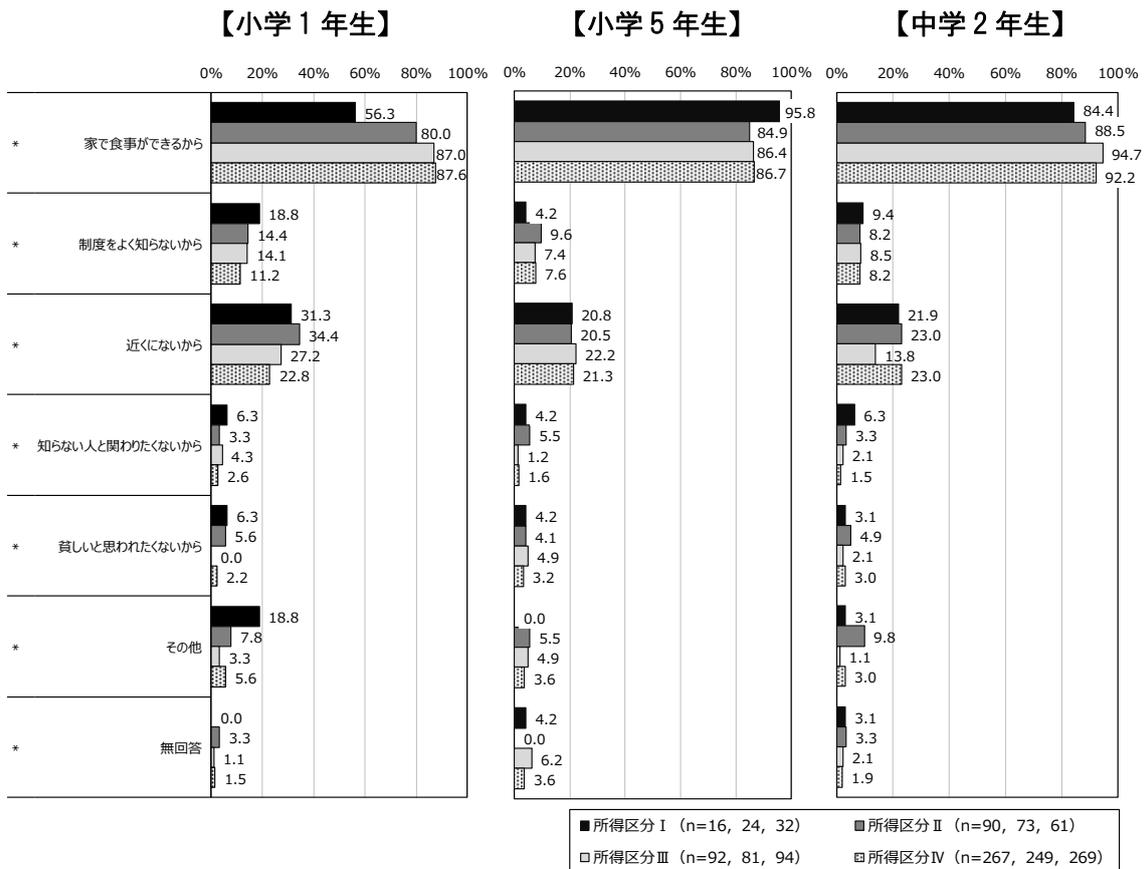
(2-1) A子ども食堂

《所得区分別》

子ども食堂については、いずれの学年・所得区分においても「家で食事ができるから」が最も高くなっています。「制度をよく知らないから」では、小1の所得区分Ⅰが18.8%と最も高くなっています。「近くにないから」では、中2の所得区分Ⅲの13.8%を除き、いずれの学年・所得区分においても2割以上となっています。「知らない人と関わりたくないから」および「貧しいと思われたくないから」では、いずれの学年・所得区分においても1割未満となっています。

平成30年度調査と比較して、小1の所得区分Ⅰにおいて、「家で食事ができるから」の割合は、34.2%低くなっています。

図表 44-1 A 子ども食堂

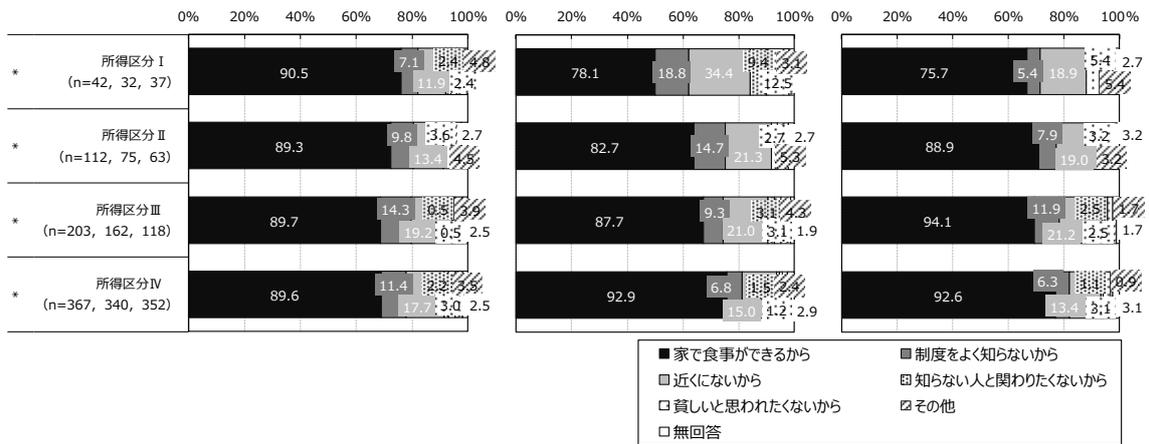


[ 平成 30 年度調査 図表 44-1 A 子ども食堂 ]

【小学 1 年生】

【小学 5 年生】

【中学 2 年生】

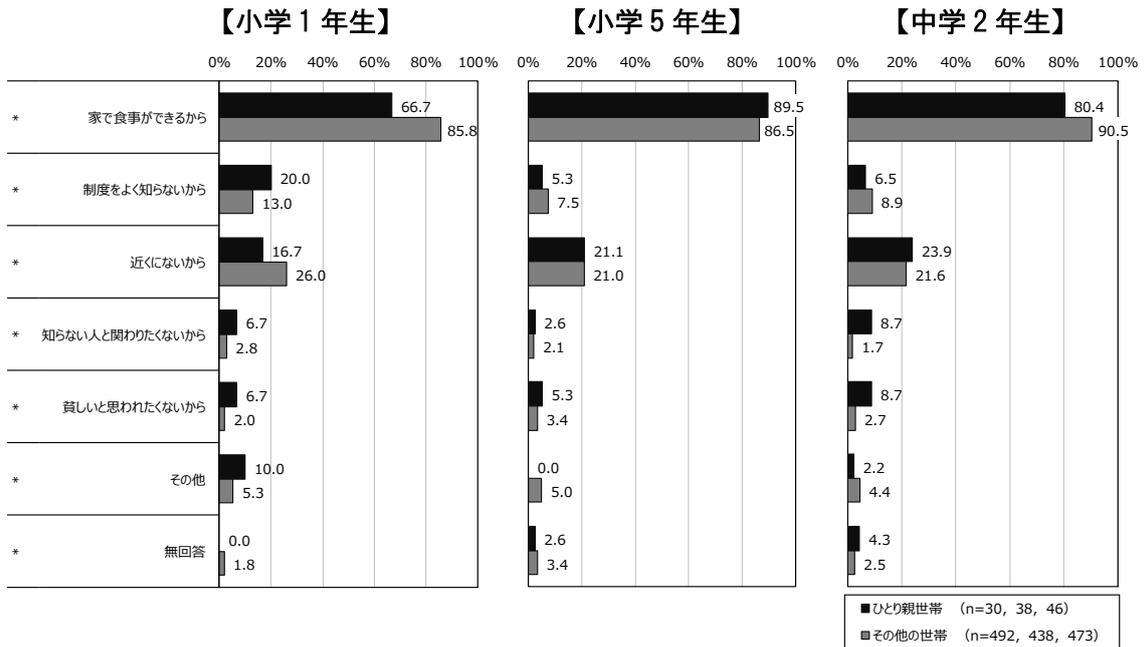


《世帯別》

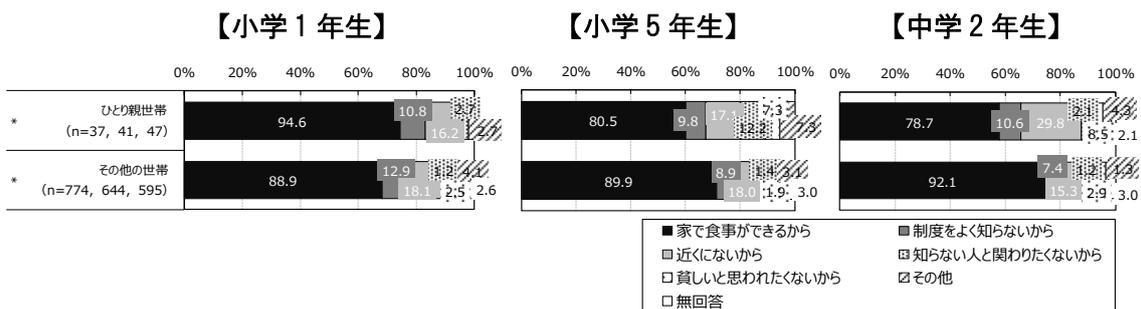
子ども食堂については、いずれの学年・世帯においても「家で食事ができるから」が最も高く、大半を占めています。「制度をよく知らないから」では、小1のひとり親世帯が20.0%と最も高くなっています。「近くはないから」では、小1のひとり親世帯(16.7%)を除き、いずれの学年・世帯において2割以上となっています。「知らない人と関わりたくないから」および「貧しいと思われたくないから」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

平成30年度調査と比較して、小1のひとり親世帯において、「家で食事ができるから」の割合は、27.9%低くなっています。

図表 44-2 A 子ども食堂



[平成30年度調査] 図表 44-2 A 子ども食堂



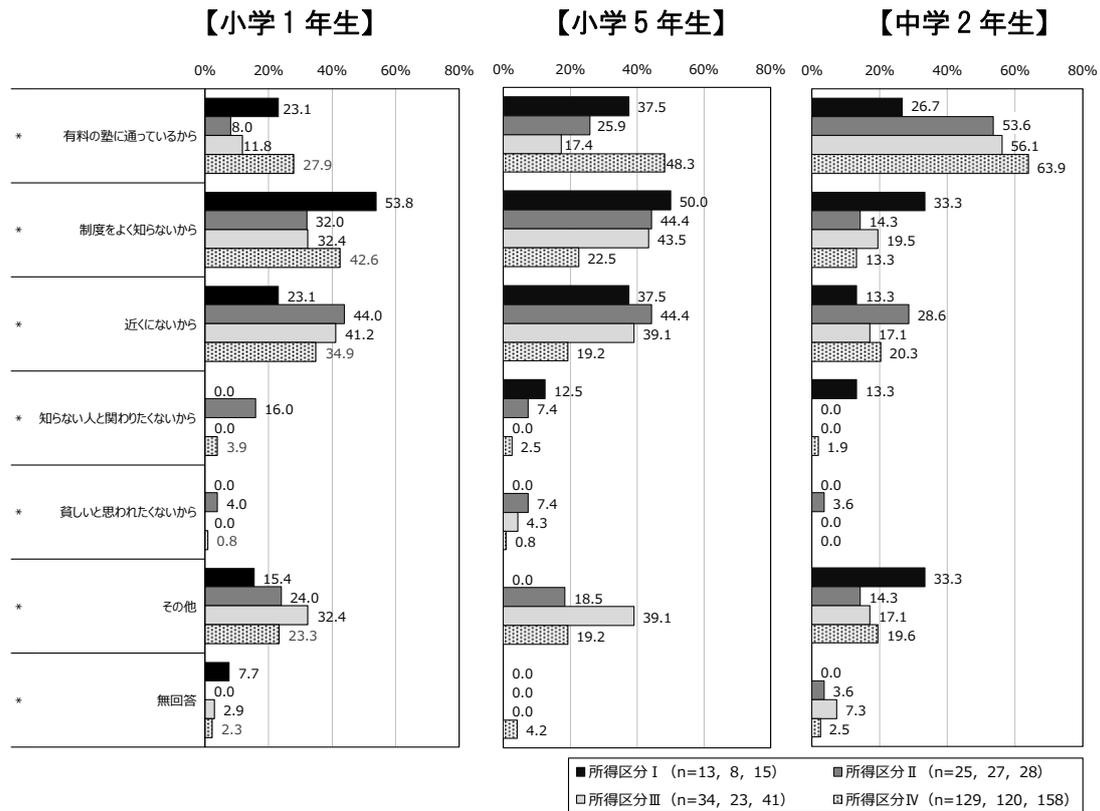
(2-2) B子どものための無料の学習塾

《所得区分別》

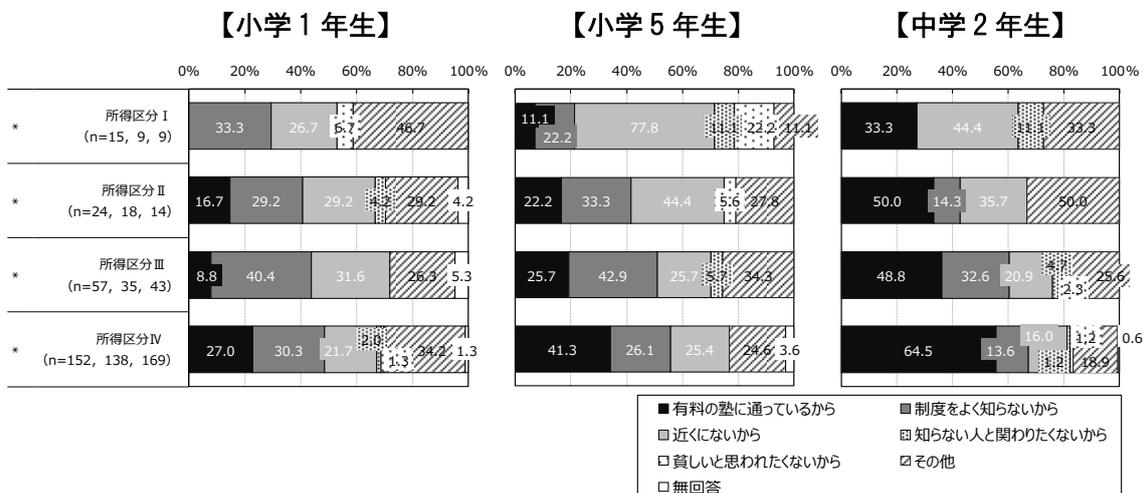
子どものための無料の学習塾については、中2では所得が高くなるにつれて「有料の塾に通っているから」の割合が高くなり、所得区分Ⅳでは63.9%と最も高くなっています。小1、小5のいずれの所得区分においては「制度をよく知らないから」「近くにないから」の割合が高い傾向にあります。「知らない人と関わりたくないから」においては、小1の所得区分Ⅱが16.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較して、小5の所得区分Ⅰにおいて、「有料の塾に通っているから」の割合は、26.4%高くなっています。

図表 44-3 B 子どものための無料の学習塾



[平成30年度調査 図表 44-3 B 子どものための無料の学習塾]

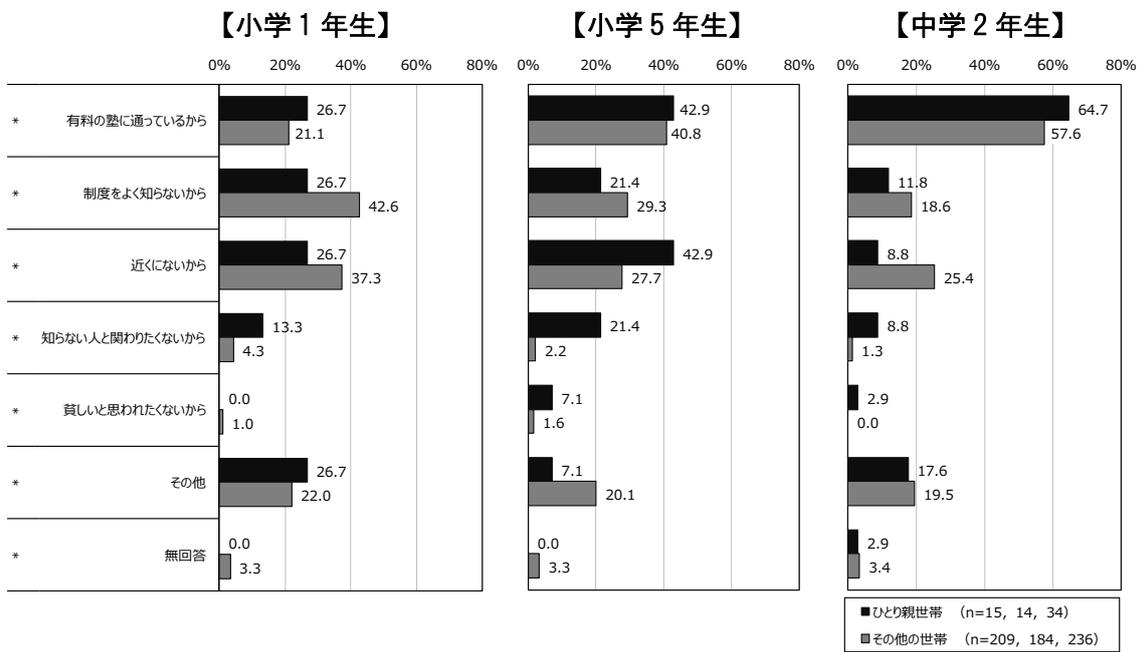


《世帯別》

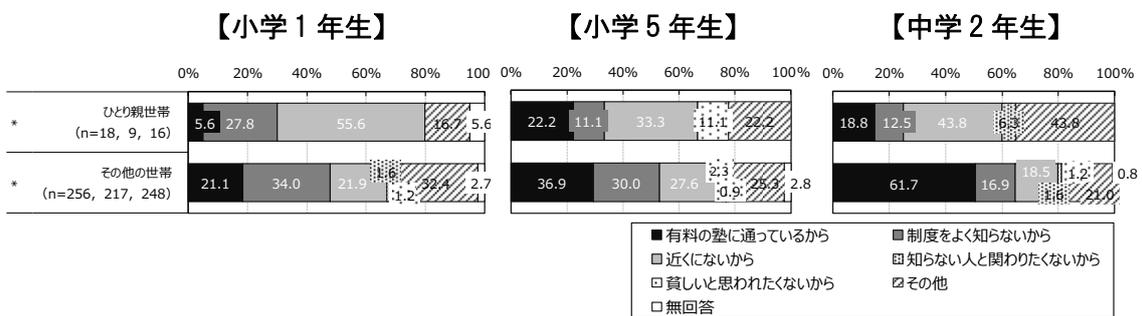
子どものための無料の学習塾については、「有料の塾に通っているから」では、中2のいずれの世帯においても半数を超えており、ひとり親世帯では64.7%と最も高くなっています。「制度をよく知らないから」では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高くなっており、小1が42.6%と最も高くなっています。「近くにないから」では、小5のひとり親世帯が42.9%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、いずれの学年においてもその他の世帯よりもひとり親世帯の割合が高くなっています。「貧しいと思われたくないから」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

平成30年度調査と比較して、中2のひとり親世帯において、「有料の塾に通っているから」の割合は、45.9%高くなっています。

図表 44-4 B 子どものための無料の学習塾



[平成30年度調査 図表 44-4 B 子どものための無料の学習塾]

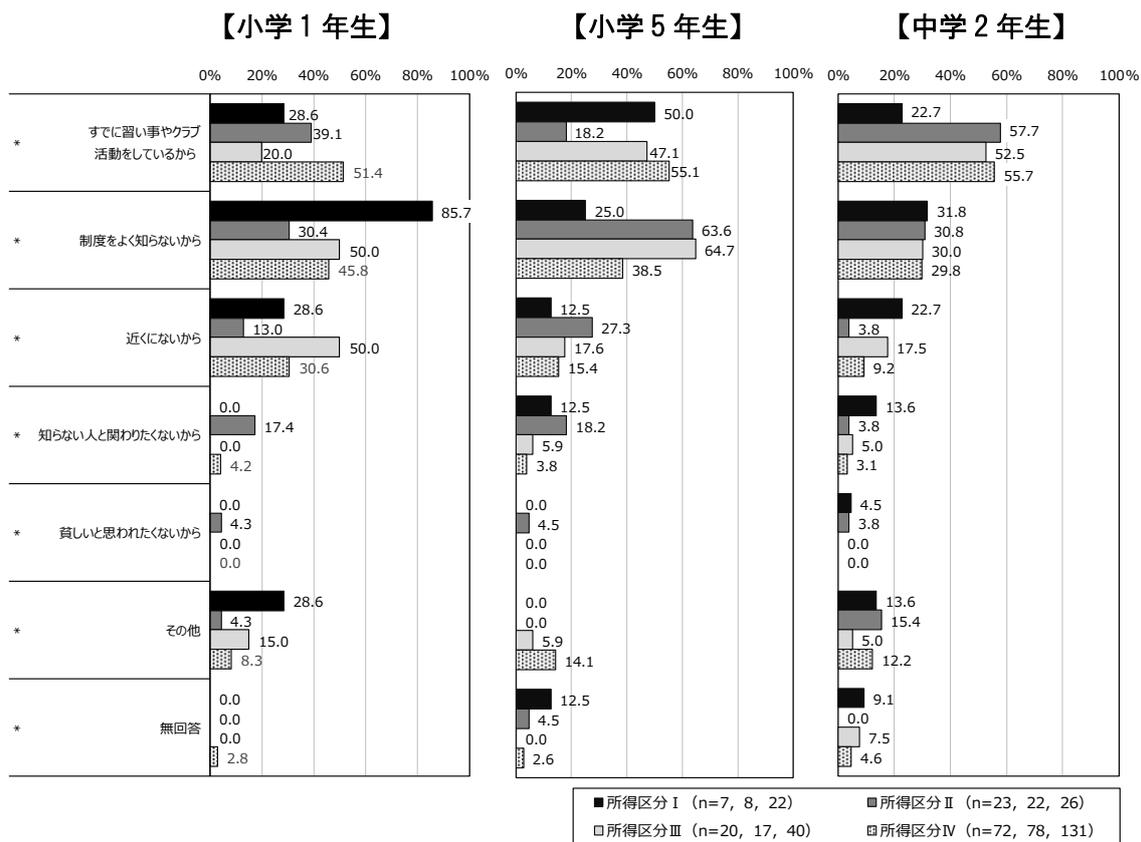


### (2-3) C子どものための無料の体験活動

#### 《所得区分別》

子どものための無料の体験活動については、「すでに習い事やクラブ活動をしているから」では、中2の所得区分Ⅱが57.7%と最も高くなっています。「制度をよく知らないから」は、小1の所得区分Ⅰが85.7%と最も高くなっています。「近くにないから」では、小1の所得区分Ⅲが50.0%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、小5の所得区分Ⅱが18.2%と最も高くなっています。「貧しいと思われたくないから」では、いずれの学年・所得区分においても、1割未満となっています。

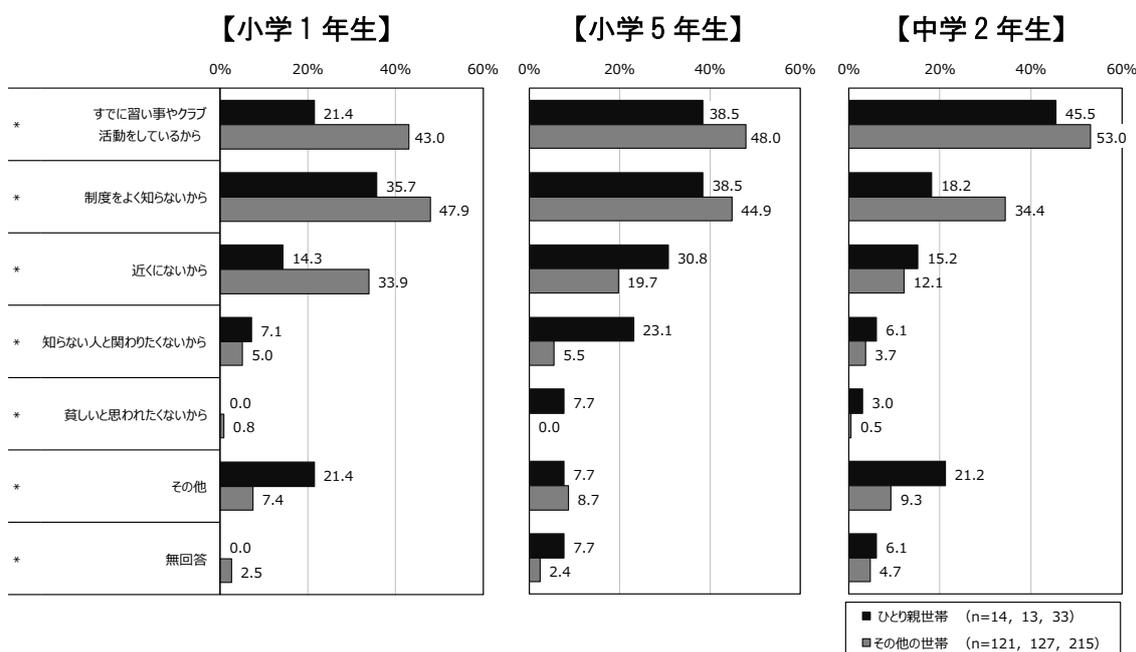
図表 44-5 C 子どものための無料の体験活動



《世帯別》

子どものための無料の体験活動については、「すでに習い事やクラブ活動をしているから」では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の方が割合は高く、中2が53.0%と最も高くなっています。「制度をよく知らないから」では、いずれの学年においても、ひとり親世帯に比べてその他の世帯の割合が高く、小1のその他の世帯が47.9%と最も高くなっています。「近くにないから」では、小1のその他の世帯が33.9%と最も高くなっています。「知らない人と関わりたくないから」では、いずれの学年においても、その他世帯に比べてひとり親世帯の方が割合は高く、小5のひとり親世帯が23.1%と最も高くなっています。「貧しいと思われたくないから」では、いずれの学年・世帯においても1割未満となっています。

図表 44-6 C 子どものための無料の体験活動



## VII 調査票

### 7. 1 小学生5年生(子ども)

ちょうさ  
調査ID

# ぎふけんこ ちょうさ しょうがっこう ねんせいこ ひょう 岐阜県子ども調査(小学校5年生子ども票)

れいわ ねん がつ  
令和5年11月

#### ちょうさ もくてき 調査の目的

この調査は、岐阜県の子どもの成長や夢や希望、なやみなどを調べて、よりよい社会づくりをすることを目的としています。

#### あなたへのおねがい

- 1 この調査は、大人ではなく、小学5年生のあなた自身が自分で書いてください。
- 2 名前は書かないでください。
- 3 答えたくない質問には、答える必要はありません。
- 4 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。思うままに書いてください。

#### かいとう 回答のしかた

次の①か②どちらかの方法で回答してください

かいとう  
回答QRコードはこちら

#### ①パソコンまたはスマートフォンで回答する

- ・インターネット上の専用ページにアクセスし、回答してください。
- ・回答するには、右上の調査IDの入力が必要です。

URL \_\_\_\_\_

#### ②調査票に書いて回答する

- ・黒い鉛筆またはボールペンを使って、この調査票に答えを書いてください。
- ・全部書き終わったら、自分で茶色の「子ども票提出用封筒」に入れて、テープで閉じてください。
- ・封筒を閉じたら半分に折って、おうちの人の調査票(保護者票)と一緒に茶色の郵送用封筒に入れて、テープでしっかり閉じて返送してください。

このアンケートの回答は、おうちの人や先生に見られることはありません。

◎質問があったら、以下に電話をしてください。

ちょうさいたくさきぎょうしゃめい  
調査委託先業者名

しゃちほこ とうどうがいしゃ  
しゃちほこ合同会社

TEL 052-526-7997 (電話受付：月曜日～日曜日：9時～15時)

この調査は、岐阜県の委託を受けて、しゃちほこ合同会社によって行われるものです。

【問1】 あなたの<sup>す</sup>住んでいる市町村に○をつけてください。(○はひとつ)

ぎふけんいき  
・岐阜圏域

- |       |        |       |       |       |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1 岐阜市 | 2 各務原市 | 3 羽島市 | 4 山県市 | 5 瑞穂市 |
| 6 本巣市 | 7 岐南町  | 8 笠松町 | 9 北方町 |       |

せいのうけんいき  
・西濃圏域

- |        |         |        |         |         |
|--------|---------|--------|---------|---------|
| 10 大垣市 | 11 海津市  | 12 養老町 | 13 垂井町  | 14 関ヶ原町 |
| 15 神戸町 | 16 輪之内町 | 17 安八町 | 18 揖斐川町 | 19 大野町  |
| 20 池田町 |         |        |         |         |

ちゅうのうけんいき  
・中濃圏域

- |        |         |          |        |         |
|--------|---------|----------|--------|---------|
| 21 関市  | 22 美濃市  | 23 美濃加茂市 | 24 可児市 | 25 郡上市  |
| 26 坂祝町 | 27 富加町  | 28 川辺町   | 29 七宗町 | 30 八百津町 |
| 31 白川町 | 32 東白川村 | 33 御嵩町   |        |         |

とうのうけんいき  
・東濃圏域

- |         |         |        |        |        |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 34 多治見市 | 35 中津川市 | 36 瑞浪市 | 37 恵那市 | 38 土岐市 |
|---------|---------|--------|--------|--------|

ひだけんいき  
・飛騨圏域

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 39 高山市 | 40 飛騨市 | 41 下呂市 | 42 白川村 |
|--------|--------|--------|--------|

【問2】 あなたの<sup>せいべつ</sup>性別に○をつけてください。

- |     |     |          |
|-----|-----|----------|
| 1 男 | 2 女 | 3 答えたくない |
|-----|-----|----------|

【問3】 あなたの<sup>う</sup>生まれた年と<sup>とし</sup>月を<sup>おし</sup>教えてください。

( ) の中に<sup>なか</sup>数字<sup>すうじ</sup>を書<sup>か</sup>いてください。

平成( )年 ( )月 生まれ

【問4】あなたは、自分が使うことができる、ア～スのものがありますか。

ある場合は、「1 ある」の番号に○をつけてください。

ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらなと思うものは「3 ほしくない」の番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	ある	ない	
ア 自分だけの本(教科書やマンガはのぞく)	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
イ 子ども部屋 (きょうだいと使っている場合も含みます。)	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
ウ インターネットにつながるパソコン	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
エ 自分専用の勉強机	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
オ 自分専用の文房具	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
カ スポーツ用品(野球のグローブや、 サッカーボール、バレーボールなど)	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
キ ゲーム機	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
ク たいていの友だちが持っているおもちゃ	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
ケ 自転車	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
コ ちょっとしたおやつやおもちゃを買うおこづかい	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
サ 友だちが着ているのと同じような服	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
シ けいたい電話、スマートフォン	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
ス けいたい音楽プレイヤーなど音楽をきくもの	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない

## 《 夢について 》

【問5-1】あなたは、将来の夢がありますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 ある → 問6へ
- 2 ない → 問5-2へ

【問5-2】※問5-1で「2 ない」と答えた人に聞きます。

夢がない理由はなんですか。

もっともあてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 夢がかたうことはむずかしいと思うから
- 2 具体的に何も思いうかばないから
- 3 その他(具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)
- 4 わからない

《 とも 友だちについて 》

【問6】あなたは、とも 友だちとのかんけい 関係についてどうおも 思っていますか。

つぎ 次のア～エのそれぞれについて、あてはまるばんごう 番号に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

	1 い つ も そう おも う	2 た い て い そう おも う	3 た い て い そう おも わ な い	4 そ う おも わ な い
ア とも 友だちとたくさんあそ 遊んでいる	1	2	3	4
イ とも 友だちとなかよ しくしている	1	2	3	4
ウ とも 友だちからす 好かれている	1	2	3	4
エ じぶん 自分がとも 友だちとくらべて ちがうとかん 感じる	1	2	3	4

《 ちいき 地域での活動について 》

【問7】あなたは、あなたのす 住んでいるちいき 地域でつぎ 次のようなかつどう 活動にさんか 参加したことがありますか。

あてはまるばんごう 番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 きんじよ 近所のおまつり
- 2 こ 子 ども かい 会 や ちやうないかい 町内会 などがひら 開いたうんどうかい 運動会 や かい かい クリスマス会 などのぎやうじ 行事
- 3 こうえん 公園 や だうろ 道路 などのそうじ そうじ、ちいき 地域のひなんくんれん 避難訓練
- 4 じどうかん 児童館、こうみんかん 公民館 などがひら 開いたこうぎ 講座 や きょうしつ 教室
- 5 そのた 其他 (たぐたいてき おし 具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)
- 6 どれにもさんか 参加したことがない

がっこう べんきょう  
 ≪ 学校・勉強について ≫

【問 8】 あなたの学校生活について聞きます。次のア～クについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	1 とても たの 楽しみ	2 たの 楽しみ	3 少し たの 楽しみ	4 たの 楽しみ ではない
ア 学校の体育・家庭科・音楽・ 図工・書写の授業	1	2	3	4
イ 学校の体育・家庭科・音楽・ 図工・書写以外の授業	1	2	3	4
ウ 学校の先生に会うこと	1	2	3	4
エ 学校の友だちに会うこと	1	2	3	4
オ 学校のクラブ活動	1	2	3	4
カ 学校の休み時間	1	2	3	4
キ 学校の給食	1	2	3	4
ク 学校のその他の時間	1	2	3	4

【問 9】 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 上のほう                      2 やや上のほう                      3 まん巾あたり  
 4 やや下のほう                      5 下のほう                      6 わからない

【問 10】 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 いつもわからない  
 2 ときどきわからない  
 3 わからないことは少ない  
 4 わからないことは全然ない(よくわかる)  
 5 どれにもあてはまらない

【問 1 1】あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）学校の授業以外にどれ  
くらいの時間、勉強しますか。1日あたりの勉強時間について、あてはま  
る番号に○をつけてください。（○はひとつ）  
※学習塾などでの時間も含まれます。

- 1 まったくしない
- 2 30分より少ない
- 3 30分以上、1時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 2時間以上、3時間より少ない
- 6 3時間以上

【問 1 2】あなたは、学習塾へかよっていますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

- 1 かよっている
- 2 かよっていない

【問 1 3】あなたは、理想的には将来どの学校まで行きたいと思いますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

- 1 中学校まで
- 2 高校まで
- 3 大学まで
- 4 その他(具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)

## 《 健康について 》

【問 1 4】あなたは、自分の健康状態について、どう感じていますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

- 1 良い
- 2 どちらかといえば良い
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

【問 1 5】あなたは、今、虫歯がおおよそ何本ありますか。治療中のものも含まれます。  
※虫歯がない場合は、0本と書いてください。

( \_\_\_\_\_ ) 本

【問 1 6 - 1】あなたは、平日(学校のある日 月曜日～金曜日)、何時に起きていますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 午前5時より前      2 午前5時台      3 午前6時台      4 午前7時台  
5 午前8時台      6 午前9時より後      7 決まっていない

【問 1 6 - 2】あなたは、平日(学校のある日 月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 午後9時より前      2 午後9時台      3 午後10時台      4 午後11時台  
5 午前0時台      6 午前1時より後      7 決まっていない

### 《 食事について 》

【問 1 7 - 1】あなたは、平日(学校のある日 月曜日～金曜日)の朝ごはんをおもにだれと  
一緒に食べますか。あてはまる人すべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- 1 親      2 きょうだい      3 その他の家族(おばあさん・おじいさんなど)  
4 ひとりで食べる      5 朝ごはんは食べない  
6 その他(具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)

【問 1 7 - 2】あなたは、平日(学校のある日 月曜日～金曜日)の夕ごはんをおもにだれと  
一緒に食べますか。あてはまる人すべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- 1 親      2 きょうだい      3 その他の家族(おばあさん・おじいさんなど)  
4 ひとりで食べる      5 夕ごはんは食べない  
6 その他(具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)

【問 1 7 - 3】あなたは、休日(学校のない日)の朝ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
あてはまる人すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 親      2 きょうだい      3 その他の家族(おばあさん・おじいさんなど)  
4 ひとりで食べる      5 朝ごはんは食べない  
6 その他(具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)



《 自分<sup>じぶん</sup>のことについて 》

【問19】 あなたの思い<sup>おも</sup>や気持ち<sup>きもち</sup>を聞かせてください。

次<sup>つぎ</sup>のア～カのそれぞれについて、あてはまる番号<sup>ばんごう</sup>に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

	1 とても そう思う <sup>おも</sup>	2 どちらかと いえばそう思う <sup>おも</sup>	3 あまりそ う思わない <sup>おも</sup>	4 そう 思わない <sup>おも</sup>
ア がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
イ 自分 <sup>じぶん</sup> は価値 <sup>かち</sup> のある人間 <sup>にんげん</sup> だと思 <sup>おも</sup> う	1	2	3	4
ウ 自分 <sup>じぶん</sup> は家族 <sup>かぞく</sup> に大事 <sup>だいじ</sup> にされている	1	2	3	4
エ 不安 <sup>ふあん</sup> に感 <sup>かん</sup> じることはない	1	2	3	4
オ 孤独 <sup>こどく</sup> を感 <sup>かん</sup> じることはない	1	2	3	4
カ 自分 <sup>じぶん</sup> の将来 <sup>しょうらい</sup> が楽 <sup>たの</sup> しみだ	1	2	3	4

【問20】 あなたは、これまでにア～エのようなことがありましたか。

それぞれについて、あてはまる番号<sup>ばんごう</sup>に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

	1 よくあつた	2 時々 <sup>ときどき</sup> あつた	3 あまり なかつた	4 なかつた	5 わからない 答 <sup>こた</sup> えたくない
ア 学校 <sup>がっこう</sup> に行きたくないと 思 <sup>おも</sup> った	1	2	3	4	5
イ 1ヶ月以上学校 <sup>がっこう</sup> を休 <sup>やす</sup> んだ (病 <sup>びょう</sup> 気 <sup>き</sup> のときをのぞく)	1	—	—	2	3
ウ いじめられた	1	2	3	4	5
エ 夜遅 <sup>よるおそ</sup> くまで子 <sup>こ</sup> どもだけで 過 <sup>す</sup> ごした	1	2	3	4	5

【問 2 1】あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                                                   |            |                   |
|-------------------------------------------------------------------|------------|-------------------|
| 1 おや親                                                             | 2 きょうだい    | 3 おばあさん・おじいさん     |
| 4 おじ、おばなどの親せき                                                     | 5 がっこうの友だち | 6 塾や習いごとの友だち      |
| 7 その他の友だち                                                         | 8 いとこ      | 9 ほけんしつせんせい保健室の先生 |
| 10 たんにんせんせい担任の先生やほかのクラスの先生                                        |            |                   |
| 11 かつどうせんせいクラブ活動の先生                                               |            |                   |
| 12 スクールカウンセラー                                                     |            |                   |
| 13 じゅくならせんせい塾や習いごとの先生                                             |            |                   |
| 14 がくどうほいくせんせいほうかごこ学童保育の先生(放課後子どもクラブ、放課後児童室、放課後児童クラブなど)           |            |                   |
| 15 こせんようでんわそうだん子ども専用の電話相談                                         |            |                   |
| 16 インターネットのサイトなどを通じて知り合った直接会ったことのない人                              |            |                   |
| 17 きんじよひと近所の人                                                     |            |                   |
| 18 ちいきしえんだんたい地域の支援団体                                              |            |                   |
| (がくしゅうしえんばこしよくどうちいきおなとしこどもがあつぼしよ学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所) |            |                   |
| 19 その他の人(具体的に教えてください: _____)                                      |            |                   |
| 20 だれにもそうだん相談できない                                                 |            |                   |
| 21 だれにもそうだん相談したくない                                                |            |                   |
| 22 わからない                                                          |            |                   |

※これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

最後にこのアンケートの感想や大人に伝えたいことがありましたら、下に書いてください。

この調査票を「子ども票提出用封筒」に入れてテープで閉じて、おうちの人に渡してください。

## 7. 2 中学2年生(子ども)

調査ID

# 岐阜県子ども調査(中学校2年生子ども票)

令和5年11月

### 調査の目的

この調査は、岐阜県の子どもの成長や夢や希望、なやみなどを調べて、よりよい社会づくりをすることを目的としています。

### あなたへのお願い

- 1 この調査は、大人ではなく、中学2年生のあなた自身が自分で書いてください。
- 2 名前は書かないでください。
- 3 答えたくない質問には、答える必要はありません。
- 4 自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。思うままに書いてください。

### 回答のしかた

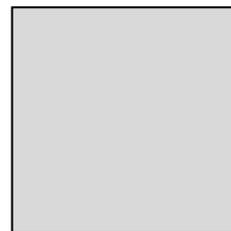
次の①か②どちらかの方法で回答してください

回答QRコードはこちら

#### ①パソコンまたはスマートフォンで回答する

- ・インターネット上の専用ページにアクセスし、回答してください。
- ・回答するには、右上の調査IDの入力が必要です。

URL <https://> \_\_\_\_\_



#### ②調査票に書いて回答する

- ・黒い鉛筆またはボールペンを使って、この調査票に答えを書いてください。
- ・全部書き終わったら、自分で茶色の「子ども票提出用封筒」に入れて、テープで閉じてください。
- ・封筒を閉じたら半分に折って、おうちの人の調査票(保護者票)と一緒に茶色の郵送用封筒に入れて、テープでしっかり閉じて返送してください。

**このアンケートの回答は、おうちの人や先生に見られることはありません。**

◎質問があったら、以下に電話をしてください。

調査委託先業者名 シャちほこ合同会社

TEL 052-526-7997 (電話受付:月曜日～日曜日:9時～15時)

この調査は、岐阜県の委託を受けて、シャちほこ合同会社によって行われるものです。

【問1】あなたの住んでいる市町村に○をつけてください。(○はひとつ)

・岐阜圏域

- |       |        |       |       |       |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1 岐阜市 | 2 各務原市 | 3 羽島市 | 4 山県市 | 5 瑞穂市 |
| 6 本巣市 | 7 岐南町  | 8 笠松町 | 9 北方町 |       |

・西濃圏域

- |        |         |        |         |         |
|--------|---------|--------|---------|---------|
| 10 大垣市 | 11 海津市  | 12 養老町 | 13 垂井町  | 14 関ヶ原町 |
| 15 神戸町 | 16 輪之内町 | 17 安八町 | 18 揖斐川町 | 19 大野町  |
| 20 池田町 |         |        |         |         |

・中濃圏域

- |        |         |          |        |         |
|--------|---------|----------|--------|---------|
| 21 関市  | 22 美濃市  | 23 美濃加茂市 | 24 可児市 | 25 郡上市  |
| 26 坂祝町 | 27 富加町  | 28 川辺町   | 29 七宗町 | 30 八百津町 |
| 31 白川町 | 32 東白川村 | 33 御嵩町   |        |         |

・東濃圏域

- |         |         |        |        |        |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 34 多治見市 | 35 中津川市 | 36 瑞浪市 | 37 恵那市 | 38 土岐市 |
|---------|---------|--------|--------|--------|

・飛騨圏域

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 39 高山市 | 40 飛騨市 | 41 下呂市 | 42 白川村 |
|--------|--------|--------|--------|

【問2】あなたの性別に○をつけてください。

- 1 男          2 女          3 答えたくない

【問3】あなたの生まれた年と月を教えてください。

(    ) の中に数字を書いてください。

平成(         ) 年 (         ) 月 生まれ

【問4】あなたは、自分が使うことができる、A～Mのものがありますか。

ある場合は、「1 ある」の番号に○をつけてください。

ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらなと思うものは

「3 ほしくない」の番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	ある	ない	
A 自分だけの本(教科書やマンガはのぞく)	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
B 子ども部屋 (きょうだいと使っている場合も含みます。)	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
C インターネットにつながるパソコン	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
D 自分専用の勉強机	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
E 自分専用の文房具	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
F スポーツ用品(野球のグローブや、 サッカーボール、バレーボールなど)	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
G ゲーム機	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
H たいていの友だちが持っているおもちゃ	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
I 自転車	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
J ちょっとしたおやつやおもちゃを買うおこづかい	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
K 友だちが着ているのと同じような服	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
L 携帯電話、スマートフォン	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない
M 携帯音楽プレイヤーなど音楽をきくもの	1 ある	2 ほしい	3 ほしくない

## 《 夢について 》

【問5-1】あなたは、将来の夢がありますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

1 ある → 問6へ

2 ない → 問5-2へ

【問5-2】※問5-1で「2 ない」と答えた人に聞きます。

夢がない理由はなんですか。

もっともあてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

1 夢がかたうことはむずかしいと思うから

2 具体的に何も思いうかばないから

3 その他(具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)

4 わからない

《 友だちについて 》

【問6】あなたは、友だちとの関係についてどう思っていますか。  
 次のA～Dのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。  
 (○はそれぞれひとつ)

	1 いつも そう思う	2 たいてい そう思う	3 たいてい そう思わない	4 そう 思わない
A 友だちとたくさん遊んでいる	1	2	3	4
B 友だちと仲良くしている	1	2	3	4
C 友だちから好かれている	1	2	3	4
D 自分が友だちとくらべて ちがうと感じる	1	2	3	4

《 地域での活動について 》

【問7】あなたは、あなたの住んでいる地域で次のような活動に参加したことがありますか。  
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 近所のおまつり
- 2 子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事
- 3 公園や道路などのそうじ、地域の避難訓練
- 4 児童館、公民館などが開いた講座や教室
- 5 その他(具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)
- 6 どれにも参加したことがない

《 学校・勉強について 》

【問8】あなたの学校生活についてお聞きします。次のA～Hについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	1 とても 楽しみ	2 楽しみ	3 少し 楽しみ	4 楽しみ ではない
A 体育・技術家庭・音楽・美術・ 書写の授業	1	2	3	4
B 体育・技術家庭・音楽・美術・ 書写以外の授業	1	2	3	4
C 先生に会うこと	1	2	3	4
D 友だちに会うこと	1	2	3	4
E 部活動	1	2	3	4
F 休み時間	1	2	3	4
G 給食	1	2	3	4
H その他の時間	1	2	3	4

【問 9】あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 上のほう   | 2 やや上のほう | 3 まん巾あたり |
| 4 やや下のほう | 5 下のほう   | 6 わからない  |

【問 10】あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 1 いつもわからない    | 2 ときどきわからない           |
| 3 わからないことは少ない | 4 わからないことは全然ない(よくわかる) |
| 5 どれにもあてはまらない |                       |

【問 11】あなたは、平日(学校のある日 月曜日～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強しますか。1日あたりの勉強時間について、あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ) ※学習塾などでの時間も含みます。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 まったくしない        | 2 30分より少ない       |
| 3 30分以上、1時間より少ない | 4 1時間以上、2時間より少ない |
| 5 2時間以上、3時間より少ない | 6 3時間以上          |

【問 12】あなたは、学習塾へ通っていますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 通っている | 2 通っていない |
|---------|----------|

【問 13】あなたは、理想的には将来どの学校まで行きたいと思いますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1 中学校まで                   | 2 高等学校まで        |
| 3 専門学校まで(高等学校卒業後進学するもの)   | 4 高等専門学校・短期大学まで |
| 5 大学まで                    | 6 大学院まで         |
| 7 その他(具体的に教えてください: _____) |                 |

【問 14】あなたは、現実的にはどの学校まで行くことになると思いますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1 中学校まで                   | 2 高等学校まで        |
| 3 専門学校まで(高等学校卒業後進学するもの)   | 4 高等専門学校・短期大学まで |
| 5 大学まで                    | 6 大学院まで         |
| 7 その他(具体的に教えてください: _____) |                 |

【問15】あなたが問14のように考える理由はなぜですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                  |                    |
|----------------------------------|--------------------|
| 1 それが自分の希望だから                    | 2 ふつうその学校まで行くと思うから |
| 3 自分の学力から考えて                     | 4 親がそう希望しているから     |
| 5 自分が希望する学校まで進学する必要はないと親が考えているから |                    |
| 6 家庭に経済的な余裕がないから                 |                    |
| 7 その他(具体的に教えてください: _____)        |                    |
| 8 特に理由はない                        |                    |

◀ 健康について ▶

【問16】あなたは、自分の健康状態について、どう感じていますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつ)

- |              |              |       |
|--------------|--------------|-------|
| 1 良い         | 2 どちらかといえば良い | 3 ふつう |
| 4 どちらかといえば悪い | 5 悪い         |       |

【問17】あなたは、今、虫歯(治療中のも含めて)がおおよそ何本ありますか。

※虫歯がない場合は、0本と書いてください。

( ) 本

【問18-1】あなたは、平日(学校のある日 月曜日～金曜日)、何時に起きていますか。

あてはまる番号に○を付けてください。(○はひとつ)

- |           |         |           |
|-----------|---------|-----------|
| 1 午前5時より前 | 2 午前5時台 | 3 午前6時台   |
| 4 午前7時台   | 5 午前8時台 | 6 午前9時より後 |
| 7 決まっていない |         |           |

【問18-2】あなたは、平日(学校のある日 月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。

あてはまる番号に○を付けてください。(○はひとつ)

- |           |         |           |
|-----------|---------|-----------|
| 1 午後9時より前 | 2 午後9時台 | 3 午後10時台  |
| 4 午後11時台  | 5 午前0時台 | 6 午前1時より後 |
| 7 決まっていない |         |           |

《 食事について 》

【問19-1】あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）の朝ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。

あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 1 親                       | 2 きょうだい   |
| 3 その他の家族(おばあさん・おじいさんなど)   | 4 ひとりで食べる |
| 5 朝ごはんは食べない               |           |
| 6 その他(具体的に教えてください: _____) |           |

【問19-2】あなたは、平日（学校のある日 月曜日～金曜日）の夕ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。

あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 1 親                       | 2 きょうだい   |
| 3 その他の家族(おばあさん・おじいさんなど)   | 4 ひとりで食べる |
| 5 夕ごはんは食べない               |           |
| 6 その他(具体的に教えてください: _____) |           |

【問19-3】あなたは、休日(学校のない日)の朝ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 1 親                       | 2 きょうだい   |
| 3 その他の家族(おばあさん・おじいさんなど)   | 4 ひとりで食べる |
| 5 朝ごはんは食べない               |           |
| 6 その他(具体的に教えてください: _____) |           |

【問19-4】あなたは、休日(学校のない日)の夕ごはんをおもにだれと一緒に食べますか。  
あてはまる人すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 1 親                       | 2 きょうだい   |
| 3 その他の家族(おばあさん・おじいさんなど)   | 4 ひとりで食べる |
| 5 夕ごはんは食べない               |           |
| 6 その他(具体的に教えてください: _____) |           |

《 家庭について 》

【問20】あなたは、次のようなことについて、お父さんやお母さんとどのくらい話をしますか。

A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

※お父さんやお母さんと一緒に住んでいない場合は、5に○をつけてください。

	お父さんとの会話					お母さんとの会話				
	1 よく話を する	2 ときどき 話を する	3 あまり 話を しない	4 まったく 話を しない	5 お父さん と一緒 に住ん でいな い	1 よく話を する	2 ときどき 話を する	3 あまり 話を しない	4 まったく 話を しない	5 お母さん と一緒 に住ん でいな い
※この質問は、「お父さんとの会話」、「お母さんとの会話」のそれぞれについて、すべての項目に回答してください。										
A 学校での出来事について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
B 勉強や成績のことについて	1	2	3	4		1	2	3	4	
C 将来や進路のことについて	1	2	3	4		1	2	3	4	
D 友だちのことについて	1	2	3	4		1	2	3	4	

《 自分のことについて 》

【問21】あなたの思いや気持ちを聞かせてください。

次のA～Fのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

	1 とても そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 あまり そう思 わない	4 そう 思わな い
A がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
B 自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
C 自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
D 不安に感じることはない	1	2	3	4
E 孤独を感じることはない	1	2	3	4
F 自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4

【問22】あなたは、これまでにA～Dのようなことがありましたか。

それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

	1 よくあった	2 時々あった	3 あまり なかった	4 なかった	5 わからない 答えたくない
A 学校に行きたくないと思った	1	2	3	4	5
B 1ヶ月以上学校を休んだ (病気のときをのぞく)	1	—	—	2	3
C いじめられた	1	2	3	4	5
D 夜遅くまで子どもだけで 過ごした	1	2	3	4	5

【問23】あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |               |          |               |
|---------------|----------|---------------|
| 1 親           | 2 きょうだい  | 3 おばあさん・おじいさん |
| 4 おじ、おばなどの親せき | 5 学校の友だち | 6 塾や習いごとの友だち  |
| 7 その他の友だち     | 8 いとこ    | 9 保健室の先生      |
- 10 担任の先生やほかのクラスの先生
- 11 クラブ活動の先生
- 12 スクールカウンセラー
- 13 塾や習いごとの先生
- 14 学童保育の先生(放課後子どもクラブ、放課後児童室、放課後児童クラブなど)
- 15 子ども専用の電話相談
- 16 インターネットのサイトなどを通じて知り合った直接会ったことのない人
- 17 近所の人
- 18 地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所)
- 19 その他の人(具体的に教えてください: \_\_\_\_\_)
- 20 だれにも相談できない
- 21 だれにも相談したくない
- 22 わからない

※これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

最後にこのアンケートの感想や大人に伝えたいことがありましたら、下にご記入ください。

この調査票を「子ども票提出用封筒」に入れてテープで閉じて、おうちの人に渡してください。

## 7. 3 小学1年生（保護者）

調査ID	
------	--

# 岐阜県子ども調査（小1保護者票）

令和5年11月

調査主管課 岐阜県子ども・女性局子ども家庭課  
調査企画実施 しゃちほこ合同会社

### アンケートご協力をお願い

このアンケートは、岐阜県に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、どのように子どもの成長や子どもの夢や希望、日々の生活などに影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくことを目的として実施するものです。

この調査は、岐阜県の委託を受けて行われるものです。

◎この調査に関するお問い合わせ

TEL：052-526-7997（電話受付：月曜日～日曜日 9時～15時）

（調査委託先業者名：しゃちほこ合同会社）

○次のいずれかの方法により回答してください。

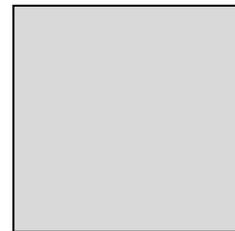
#### (1) オンラインによる回答方法（返送は不要です）

回答QRコードはこちら

- ・下記のインターネット上の専用ページにアクセスし、回答してください。

URL <https://> \_\_\_\_\_

- ・回答にあたっては、本調査票右上に記載されている調査IDの入力が必要です。



#### (2) 本調査票の記入による回答方法（返送が必要です）

- ・黒の鉛筆またはボールペンを使用し、調査票へ記入してください。
- ・記入が終わった調査票は茶色の返信用封筒に入れて、テープでしっかり閉じて、郵送してください。
- ・封筒の開封は、調査委託業者の職員のみが行います。

## ○留意事項

- ・調査票は、令和5年9月1日現在で記入してください。
- ・調査は、無記名方式ですので、お名前やご住所など個人を特定する情報を書いていただく必要はありません。回答の内容は、すべて数字の形で統計的に処理しますので、誰が何を書いたかについて、他の人に知られることはありません。
- ・また、統計の情報以外の目的に**使用されることは一切ありません**。個人の回答が学校やその他の団体に見られることは一切ありません。
- ・あなたご自身やご家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。答えにくい質問や答えたくない質問には、答える必要はありませんが、プライバシーが守られるよう配慮しておりますので、ぜひありのままをお答えいただきますようお願いいたします。
- ・この調査票の質問の「お子さん」とは、この調査票を受け取られたお子さんのことを指します。そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「お子さん」とは調査票を受け取られたお子さんのみについてご回答ください。

＜この調査票は、お子さんの保護者の方に記入をお願いします＞

【問1】あなたの住んでいる市町村に○をつけてください。(○はひとつ)

### ・岐阜圏域

- |       |        |       |       |       |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1 岐阜市 | 2 各務原市 | 3 羽島市 | 4 山県市 | 5 瑞穂市 |
| 6 本巣市 | 7 岐南町  | 8 笠松町 | 9 北方町 |       |

### ・西濃圏域

- |        |         |        |         |         |
|--------|---------|--------|---------|---------|
| 10 大垣市 | 11 海津市  | 12 養老町 | 13 垂井町  | 14 関ヶ原町 |
| 15 神戸町 | 16 輪之内町 | 17 安八町 | 18 揖斐川町 | 19 大野町  |
| 20 池田町 |         |        |         |         |

### ・中濃圏域

- |        |         |          |        |         |
|--------|---------|----------|--------|---------|
| 21 関市  | 22 美濃市  | 23 美濃加茂市 | 24 可児市 | 25 郡上市  |
| 26 坂祝町 | 27 富加町  | 28 川辺町   | 29 七宗町 | 30 八百津町 |
| 31 白川町 | 32 東白川村 | 33 御嵩町   |        |         |

### ・東濃圏域

- |         |         |        |        |        |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 34 多治見市 | 35 中津川市 | 36 瑞浪市 | 37 恵那市 | 38 土岐市 |
|---------|---------|--------|--------|--------|

### ・飛騨圏域

- |        |        |        |        |  |
|--------|--------|--------|--------|--|
| 39 高山市 | 40 飛騨市 | 41 下呂市 | 42 白川村 |  |
|--------|--------|--------|--------|--|

【問2】あなたのお子さんの生年月を教えてください。

平成（ ）年（ ）月生

【問3】この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 母親                      2 父親                      3 祖母                      4 祖父  
5 その他(具体的に記入してください\_\_\_\_\_)

【問4】世帯人員は何人ですか。

調査対象のお子さん本人を除き、単身赴任などで一時的に別居している方を含んだ人数を記入してください。また、同居している方の中にお子さんと生計を別にしていらっしゃる場合は別と記入してください。

【記入例】

お子さんからみた続柄	祖父母	父母	兄弟姉妹	おじ・おば	その他
人数	2人	1人	1人	1人	0人
生計が別				別	

【解答欄】

お子さんからみた続柄	祖父母	父母	兄弟姉妹	おじ・おば	その他
人数	人	人	人	人	人
生計が別					

## 《 就労について 》

### ●お母さんの就労

【問5-1】お子さんのお母さん(またはお母さんに代わる方)は、現在働いていますか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 働いている ⇒ 問6-1へ  
2 働いていない ⇒ 問5-2へ  
3 お母さんはいない ⇒ 問7-1へ

【問5-2】働いていない方にお伺いします。

現在の状況にあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 仕事を探している                      2 専業主婦  
3 定年退職した                              4 学生  
5 その他(具体的に記入してください\_\_\_\_\_)

⇒ 問7-1へ

【問6-1】お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）の現在の職業についてお伺いします。現在のご職業は次のどれにもっとも近いですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1 会社役員                                | 2 民間企業の正社員            |
| 3 公務員などの正職員                           | 4 団体職員                |
| 5 契約社員・派遣社員・嘱託職員                      | 6 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 |
| 7 自営業(家族従業者を含む)                       | 8 自由業                 |
| 9 その他の働き方をしている<br>(具体的に記入してください_____) |                       |

【問6-2】仕事の勤務時間などについてお答えください。A～Cは該当する数字を記入し、D～Gはあてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 普段の1週間あたりの労働日数	日
B 平日、家を出る時間 (最も多い時間帯をお書きください。)	時 分ごろ(24時間制で記入)
C 平日の帰宅時間 (最も多い時間帯をお書きください。)	時 分ごろ(24時間制で記入)
D 深夜労働(22:00～)	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
E 土曜出勤	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
F 日曜・祝日出勤	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
G 副業(主な仕事以外のバイト・内職等)	1 している 2 していない

【問6-3】※問6-1で2～6と答えた方にお伺いします。  
現在の仕事に雇用期間はありますか。あてはまるものに○をつけてください。  
(○はひとつ)

- 1 期間の定めはない
- 2 期間の定めがある:1年未満
- 3 期間の定めがある:1年以上3年未満
- 4 期間の定めがある:3年以上

●お父さんの就労

【問7-1】お子さんのお父さん(またはお父さんに代わる方)は、現在働いていますか。  
(○はひとつ)

- 1 働いている ⇒ 問8-1へ
- 2 働いていない ⇒ 問7-2へ
- 3 お父さんはいない ⇒ 問9-1へ

【問7-2】働いていない方にお伺いします。

現在の状況にあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 1 仕事を探している          | 2 専業主夫 |
| 3 定年退職した            | 4 学生   |
| 5 その他(具体的に記入してください) | )      |

【問8-1】お子さんのお父さん(またはお父さんに代わる方)の現在の職業についてお伺いします。現在のご職業は次のどれにもっとも近いですか。

あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1 会社役員                                | 2 民間企業の正社員            |
| 3 公務員などの正職員                           | 4 団体職員                |
| 5 契約社員・派遣社員・嘱託職員                      | 6 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 |
| 7 自営業(家族従業者を含む)                       | 8 自由業                 |
| 9 その他の働き方をしている<br>(具体的に記入してください_____) |                       |

【問8-2】仕事の勤務時間などについてお答えください。A~Cは該当する数字を記入し、D~Gはあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

A 普段の1週間あたりの労働日数	日
B 平日、家を出る時間 (最も多い時間帯をお書きください。)	時 分ごろ(24時間制で記入)
C 平日の帰宅時間 (最も多い時間帯をお書きください。)	時 分ごろ(24時間制で記入)
D 深夜労働(22:00~)	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
E 土曜出勤	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
F 日曜・祝日出勤	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
G 副業(主な仕事以外のバイト・内職等)	1 している 2 していない

【問8-3】※問8-1で2~6と答えた方にお伺いします。

現在の仕事に雇用期間はありますか。あてはまるものに○をつけてください。

(○はひとつ)

- 1 期間の定めはない
- 2 期間の定めがある:1年未満
- 3 期間の定めがある:1年以上3年未満
- 4 期間の定めがある:3年以上

《 お子さんのことについて 》

【問9-1】あなたのお子さんは小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けましたか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 ひとりで正しく書けた ⇒ 問10-1へ
- 2 ひとりでは正しく書けなかった ⇒ 問9-2へ

【問9-2】※問9-1で「2」と回答した方に伺います。  
現在、あなたのお子さんは、自分の名前をひらがなで書けるようになりましたか。あてはまるものに○をつけてください。

- 1 ひとりで正しく書けるようになった
- 2 まだ練習が必要

【問10-1】あなたのお子さんが小学校入学前の1年間に通っていた施設を教えてください。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 認可保育園(公・私)
- 2 認可外保育施設
- 3 幼稚園(預かり有)
- 4 幼稚園(預かり無)
- 5 認定こども園、幼稚園
- 6 その他の施設(具体的に記入してください: \_\_\_\_\_)
- 7 どこにも通っていない(理由: \_\_\_\_\_)

【問10-2】※問10-1で1～6と回答した方にお伺いします。  
お子さんが通っていた施設の、1ヶ月のおおよその利用料を教えてください。

月額利用料 ( \_\_\_\_\_ ) 円

【問11】これまでの育児について思っていることをお聞かせください。  
これまでの子育ての中でA～Iのようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	1 あてはまる	2 どちらかという とあてはまる	3 どちらかという とあてはまらない	4 あてはまらない
A ついつい子どもにあたってしまった	1	2	3	4
B ついつい子どもを叩いてしまった	1	2	3	4
C しつけのため、よく厳しく叱った	1	2	3	4
D 子どもがわずらわしくてイライラした	1	2	3	4
E 毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない	1	2	3	4
F 育児から解放されたい	1	2	3	4
G 子どもを育てるために我慢している	1	2	3	4
H 自分一人で育てているという圧迫感を感じる	1	2	3	4
I 子どもの世話にはあまり関心がない	1	2	3	4

【問12-1】お子さんは、現在、学校が終わってからの放課後の時間を、主にどこで過ごしていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |                             |                      |              |
|-----------------------------|----------------------|--------------|
| 1 自宅                        | 2 学童保育施設(放課後児童クラブなど) |              |
| 3 放課後子ども教室                  | 4 祖父母の家              | 5 児童館・児童センター |
| 6 友達の家                      | 7 学習塾、習い事            | 8 公園         |
| 9 わからない                     |                      |              |
| 10 その他(具体的に記入してください: _____) |                      |              |

【問12-2】※問12-1で「2」と答えた方にお伺いします。  
現在利用している学童保育施設のおおよその1ヶ月の利用料を教えてください。

学童保育月額利用料 ( \_\_\_\_\_ ) 円

【問13】※問12-1で学童保育を利用していないすべての方にお伺いします。  
学童保育施設を利用していない理由を教えてください。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| 1 必要がないため                     | 2 施設が近くにないため |
| 3 利用料金が高いため                   | 4 その他の施設で満足  |
| 5 存在を知らなかった                   |              |
| 6 その他の理由(具体的に記入してください: _____) |              |

【問14】あなたのご家庭ではお子さん用に次のものをお持ちですか。  
A~Kについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	1 持っている	持っていない	
		2 必要だと 思わない	3 経済的に 持てない
A 子どもの本(学校の教科書やマンガはのぞく)	1	2	3
B 子ども部屋 (きょうだいと使っている場合も含む)	1	2	3
C インターネットにつながるパソコン(家族共有も含む)	1	2	3
D 子ども専用の勉強机	1	2	3
E そのお子さん専用の文房具	1	2	3
F スポーツ用品(グローブやサッカーボール等)	1	2	3
G ゲーム機	1	2	3
H 多くの子どもが持っているおもちゃ	1	2	3
I 自転車	1	2	3
J 携帯電話・スマートフォン	1	2	3
K 携帯音楽プレイヤー等	1	2	3

【問15】あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。  
A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	1 している	していない	
		2 必要だと 思わない	3 経済的に できない
A 毎月おこづかいを渡す	1	2	3
B 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C 習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる	1	2	3
D 学習塾に通わせる	1	2	3
E お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
H 医者に行く(医療機関での健診を含む)	1	2	3
I 歯医者に行く(歯医者での健診を含む)	1	2	3
J 子どもの学校行事などへ親が参加する	1	2	3

【問16-1】お子さんは地域のクラブ活動をしていますか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

※地域のクラブ活動とは、学校または地域ボランティアで行われる非営利の目的の趣味やスポーツ活動のことを指します。

- 1 している ⇒ 問16-2へ  
2 していない ⇒ 問17-1へ

【問16-2】※問16-1で「1 している」と答えた方にお伺いします。  
地域のクラブ活動の種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 水泳                      2 野球                      3 ソフトボール  
4 サッカー                5 卓球                      6 テニス  
7 バasketボール        8 バレーボール            9 空手・剣道・柔道などの武道  
10 コーラス・合唱       11 読書                      12 ブラスバンド  
13 体操  
14 その他(具体的に記入してください \_\_\_\_\_)

【問17-1】お子さんは、習い事(スポーツクラブ・学習塾を含む)をしていますか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 している ⇒ 問17-2へ  
2 していない ⇒ 問18へ

**【問17-2】**※問17-1で「1 している」と答えた方にお伺いします。  
習い事の種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- |                           |                     |                 |
|---------------------------|---------------------|-----------------|
| 1 体操                      | 2 水泳                | 3 野球・ソフトボール     |
| 4 サッカー                    | 5 テニス               | 6 バスケットボール      |
| 7 卓球                      | 8 バレーボール            | 9 空手・剣道・柔道などの武道 |
| 10 バレエ・ダンス・舞踊             | 11 英会話              | 12 外国語(英語以外)    |
| 13 そろばん                   | 14 習字(硬筆含む)         | 15 絵・工作         |
| 16 ピアノ・電子オルガン             | 17 楽器(ピアノ・電子オルガン以外) |                 |
| 18 ボーイスカウト・ガールスカウト        |                     |                 |
| 19 科学・自然                  | 20 華道・茶道            | 21 学習塾(有料)      |
| 22 家庭教師                   | 23 通信教育             |                 |
| 24 その他(具体的に記入してください_____) |                     |                 |

**【問18】**お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 1 授業料                        | 2 学用品費(制服、靴、ノートなど身の回りのもの) |
| 3 学習費・教材費                    | 4 学校給食費                   |
| 5 修学旅行費など積立金                 | 6 地域のクラブ活動費               |
| 7 学校外の教育費(塾代、家庭教師や通信教育に係る費用) |                           |
| 8 その他(具体的に記入してください:_____)    |                           |
| 9 負担が大きいと感じているものはない          |                           |

**【問19】**あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。  
A～Cについて、あてはまるものに○をつけてください。  
(○はそれぞれひとつ)

	1 受けさせたい	2 経済的に可能だが 必要だと思わない	3 経済的に 受けさせられない
A 高等学校	1	2	3
B 短大・高専・専門学校	1	2	3
C 大学・大学院	1	2	3

《 お子さんとの関係について 》

【問20】あなたとお子さんの関係について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

A あなたは、お子さんと、よく会話をしますか。			
1 よくする	2 する	3 あまりしない	4 しない

B あなたは、お子さんと十分時間を過ごしていますか。			
1 よく過ごしている	2 過ごしている	3 あまり過ごしていない	4 過ごしていない

C あなたは、お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか。			
1 よくする	2 する	3 あまりしない	4 しない

D あなたは、お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしましたか。			
1 よくした	2 した	3 あまりしなかった	4 しなかった

E あなたは、お子さんと一緒に図書館に行きますか。			
1 よく行く	2 行く	3 あまり行かない	4 行かない

F あなたは、お子さんが将来の夢をどう思っているか知っていますか。			
1 よく知っている	2 知っている	3 あまり知らない	4 知らない

G あなたは、お子さんを信頼していますか。			
1 大変信頼している	2 信頼している	3 あまり信頼してない	4 信頼していない

《 あなたの地域や友人・知人、社会との関係について 》

【問 2 1】 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

もっとも近いもの 1 つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

A 地域の行事に参加していますか。			
1 よく参加している	2 時々参加している	3 あまり参加していない	4 まったく参加していない

B お子さんが通う学校の行事(授業参観や運動会など)に参加していますか。			
1 よく参加している	2 時々参加している	3 あまり参加していない	4 まったく参加していない

C 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚はいますか。			
1 たくさんいる	2 ある程度いる	3 あまりいない	4 まったくない

D 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人はいますか。			
1 たくさんいる	2 ある程度いる	3 あまりいない	4 まったくない

E 同居している家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をしますか。				
1 よく話す	2 時々話す	3 あまり話さない	4 まったく話さない	5 お子さん以外に家族はいない (お子さんと2人暮らしである)

F 生活上の困難(失業や低所得、病気、要介護の状態)を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきであると思いませんか。				
1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらとも言えない	4 あまりそう思わない	5 そう思わない

【問 2 2】 お子さんを預かってもらえる人の有無について教えてください。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる
- 2 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
- 3 緊急時(病気・残業など)や用事の際には祖父母などの親族に預かってもらえる
- 4 緊急時(病気・残業など)や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
- 5 いずれもない

《 健康状況について 》

【問 2 3】あなたとお子さんの健康状況についてお伺いします。

もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

A あなたの健康状況について				
1 良い	2 どちらかといえば良い	3 普通	4 どちらかといえば悪い	5 悪い

B このアンケートの調査対象となっているお子さんの健康状況について				
1 良い	2 どちらかといえば良い	3 普通	4 どちらかといえば悪い	5 悪い

【問 2 4】あなたの心の状態についてお聞きします。過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	1 全くない	2 少しだけ	3 ときどき	4 たいてい	5 いつも
A 理由もなく疲れ切ったように感じましたか	1	2	3	4	5
B 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
C どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
D 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
E そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
F じっと座っていられないほど落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
G ゆううつに感じましたか	1	2	3	4	5
H 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
I 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
J 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

【問 2 5 - 1】お子さんの状況についてお伺いします。過去1年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

1 ある ⇒ 問25-2へ

2 ない ⇒ 問26へ

**【問25-2】** ※問25-1で「1 ある」と答えた方にお伺いします。  
その理由は何ですか。以下の1～7のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 2 公的医療保険に加入していたが、医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため
- 3 子ども本人が(行くのが)嫌だと言ったため
- 4 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 5 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 6 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 7 その他の理由  
(具体的に記入してください: \_\_\_\_\_)

### 《 人生経験について 》

**【問26】** お子さんのお母さん(またはお母さんに代わる方)の最終学歴を教えてください。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 中学校
- 2 高等学校
- 3 各種専門学校(高等学校卒業後)
- 4 短大・高専
- 5 大学(4年制)・大学院
- 6 その他(具体的に記入してください: \_\_\_\_\_)
- 7 お母さんはいない

**【問27】** お子さんのお父さん(またはお父さんに代わる方)の最終学歴を教えてください。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 中学校
- 2 高等学校
- 3 各種専門学校(高等学校卒業後)
- 4 短大・高専
- 5 大学(4年制)・大学院
- 6 その他(具体的に記入してください: \_\_\_\_\_)
- 7 お父さんはいない

【問28】あなたの15歳頃のご家庭は、次のどの形態でしたか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 子どもと両親のみの世帯
- 2 母子世帯・父子世帯(子どもと祖父母の場合も含む)
- 3 三世帯世帯(子ども・父母・祖父母の世帯)
- 4 その他(具体的に記入してください: \_\_\_\_\_)

【問29】あなたの15歳頃のご家庭の暮らしの状態はどうだったと感じますか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |            |            |      |
|------------|------------|------|
| 1 大変苦しい    | 2 やや苦しい    | 3 普通 |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある |      |

《 現在の暮らしについて 》

【問30】あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |            |            |      |
|------------|------------|------|
| 1 大変苦しい    | 2 やや苦しい    | 3 普通 |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある |      |

【問31】あなたのご家庭の通常の家計の状況について、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)  
※なお、住宅ローンの支払いなどローンに関するものも、支出に入れて下さい。

- 1 赤字であり、借金をして生活している
- 2 赤字であり、貯蓄を取り崩している
- 3 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである
- 4 黒字であり、余裕がある
- 5 黒字であり、毎月貯蓄をしている

【問32】あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家族が必要とする食料や衣料(嗜好品は含みません)が買えないことがありましたか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

A 食料が買えなかった経験			
1 よくあった	2 ときどきあった	3 まれにあった	4 まったくなかった

B 衣料が買えなかった経験			
1 よくあった	2 ときどきあった	3 まれにあった	4 まったくなかった



## 《 収入について 》

**【問 3 6】** 最近のあなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯収入（年間のボーナス含む手取り額を教えてください。なお、単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

<世帯収入(合算値)について>

世帯のすべての方の すべての収入の合計	-	税（所得税・住民税な ど） 社会保険料	=	世帯収入 (手取り 額)
------------------------	---	---------------------------	---	--------------------

※収入とは、勤労収入（パート・アルバイトを含む）、事業所得（自営業等）、農業所得、不動産所得、利子・配当金、公的年金、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当）、個人年金、出稼ぎなどによる別居親族からの仕送りなど、すべてを含めた金額です。

※世帯が生活するための収入として、お父さんやお母さんの勤労収入、祖父母の年金など、複数の収入源がある世帯は、すべての方の収入のおおよその合計額を教えてください。

※手取り額とは、所得税・住民税などの税額、健康保険料や年金保険料・介護保険料を支払った後の金額になります。社内貯金や住宅ローンなど、給与から天引きされる貯蓄・借金等がある場合には、天引き前の金額になります。

世帯収入(合算値) ※ 世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額

A 収入はない	B 50万円未満	C 50～100万円未満	D 100～150万円未満
E 150～200万円未満	F 200～250万円未満	G 250～300万円未満	H 300～350万円未満
I 350～400万円未満	J 400～500万円未満	K 500～600万円未満	L 600～700万円未満
M 700～800万円未満	N 800～900万円未満	O 900～1000万円未満	P 1000万円以上

**【問 3 7】** 世帯収入(合算値)のうち、次のものについて、それぞれの額を教えてください。  
受給していない方は「2 受給していない」に、不明な方は「3 わからない」に○をつけてください。

A 児童手当	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない
B 児童扶養手当・ 特別児童扶養手当	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない
C 公的年金	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない
D 生活保護・準要保護	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない
E その他 (養育費・奨学金(貸付を含む)等)	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない

【問38】世帯収入（合算値）に含まれている、お子さんの親のおおよその年間収入を教えてください。お母さん、お父さんのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ○はひとつ）

●お母さん

A 収入はない	B 50万円未満	C 50～100万円未満	D 100～150万円未満
E 150～200万円未満	F 200～250万円未満	G 250～300万円未満	H 300～400万円未満
I 400～500万円未満	J 500～600万円未満	K 600～700万円未満	L 700万円以上
M 世帯収入に含まれていない		N 不明	O お母さんはいない

●お父さん

A 収入はない	B 50万円未満	C 50～100万円未満	D 100～150万円未満
E 150～200万円未満	F 200～250万円未満	G 250～300万円未満	H 300～400万円未満
I 400～500万円未満	J 500～600万円未満	K 600～700万円未満	L 700万円以上
M 世帯収入に含まれていない		N 不明	O お父さんはいない

《 支出について 》

【問39】あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の平均的な支出（住宅ローン等の借金返済含む・税額等は含まない）はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 1万円未満	B 1万円～5万円未満	C 5万円～10万円未満	D 10万円～15万円未満
E 15万円～20万円未満	F 20万円～30万円未満	G 30万円～40万円未満	H 40万円～50万円未満
I 50万円以上			

【問40】あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の食費について、平均的な支出はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 5千円未満	B 5千円～1万円未満	C 1万円～1万5千円未満	D 1万5千円～2万円未満
E 2万円～2万5千円未満	F 2万5千円～3万円未満	G 3万円～3万5千円未満	H 3万5千円～4万円未満
I 4万円～5万円未満	J 5万円～6万円未満	K 6万円～7万円未満	L 7万円～8万円未満
M 8万円～9万円未満	N 9万円～10万円未満	O 10万円以上	

【問4 1】あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の住居費（家賃・住宅ローン）について、平均的な支出はどれくらいですか。  
あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 支出はない	B 5千円未満	C 5千円～1万円未満	D 1万円～1万5千円未満
E 1万5千円～2万円未満	F 2万円～2万5千円未満	G 2万5千円～3万円未満	H 3万円～3万5千円未満
I 3万5千円～4万円未満	J 4万円～5万円未満	K 5万円～6万円未満	L 6万円～7万円未満
M 7万円～8万円未満	N 8万円～9万円未満	O 9万円～10万円未満	P 10万円以上

【問4 2】このアンケート調査の対象となっているお子さん1人について、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかける1ヶ月あたりの平均の支出はどれくらいですか。  
あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 支出はない	B 5千円未満	C 5千円～1万円未満	D 1万円～1万5千円未満
E 1万5千円～2万円未満	F 2万円～2万5千円未満	G 2万5千円～3万円未満	H 3万円～5万円未満
I 5万円以上			

### 《 お子さんへの支援について 》

【問4 3-1】次のうち、利用したいと思うものについて、あてはまるものに○を付けてください。  
（それぞれ○はひとつ）

	1 すでに 利用している	2 利用したい	3 利用 したくない	4 必要だと 思わない
A 子ども食堂	1	2	3	4
B 子どものための無料の学習塾	1	2	3	4
C 子どものための無料の体験活動	1	2	3	4

※「子ども食堂」とは、子どもがひとりでも時間を過ごすことができ、無料あるいは安価に食事ができる場所のことを言います。

【問43-2】※問43-1で「3 利用したくない」「4 必要だと思わない」と回答した方に伺います。

その理由としてあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	理 由
A 子ども食堂	1 家で食事ができるから 2 制度をよく知らないから 3 近くにないから 4 知らない人と関わりたくないから 5 貧しいと思われたくないから 6 その他 (具体的に記入してください)
B 子どものための無料の学習塾	1 有料の塾に通っているから 2 制度をよく知らないから 3 近くにないから 4 知らない人と関わりたくないから 5 貧しいと思われたくないから 6 その他 (具体的に記入してください)
C 子どものための無料の体験活動	1 すでに習い事やクラブ活動をしているから 2 制度をよく知らないから 3 近くにないから 4 知らない人と関わりたくないから 5 貧しいと思われたくないから 6 その他 (具体的に記入してください)

※これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

最後に、暮らしやお仕事、お子さんについてなど、制度や支援策へのご要望やご意見などがありましたらご自由にお書きください。



この調査票は、茶色の郵送用封筒に入れて、テープで閉じて郵送してください。

## 7. 4 小学5年生・中学2年生（保護者）

調査ID	
------	--

# 岐阜県子ども調査（小5、中2保護者票）

令和5年11月

調査主管課 岐阜県子ども・女性局子ども家庭課  
調査企画実施 しゃちほこ合同会社

### アンケートご協力をお願い

このアンケートは、岐阜県に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、どのように子どもの成長や子どもの夢や希望、日々の生活などに影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくことを目的として実施するものです。

この調査は、岐阜県の委託を受けて行われるものです。

◎この調査に関するお問い合わせ

TEL：052-526-7997（電話受付：月曜日～日曜日 9時～15時）

（調査委託先業者名：しゃちほこ合同会社）

○次のいずれかの方法により回答してください。

#### (1) オンラインによる回答方法（返送は不要です）

回答QRコードはこちら

- ・下記のインターネット上の専用ページにアクセスし、回答してください。

URL <https://> \_\_\_\_\_

- ・回答にあたっては、本調査票右上に記載されている調査IDの入力が必要です。



#### (2) 本調査票の記入による回答方法（返送が必要です）

- ・黒の鉛筆またはボールペンを使用し、調査票へ記入してください。
- ・記入が終わった調査票は茶色の返信用封筒に入れて、テープでしっかり閉じて、郵送してください。  
※お子さんの記入が終わった調査票もあれば、「子ども票提出用封筒」を半分に折って一緒に入れて郵送してください。
- ・封筒の開封は、調査委託業者の職員のみが行います。

○留意事項

- ・調査票は、令和5年9月1日現在で記入してください。
- ・調査は、無記名方式ですので、お名前やご住所など個人を特定する情報を書いていただく必要はありません。回答の内容は、すべて数字の形で統計的に処理しますので、誰が何を書いたかについて、他の人に知られることはありません。
- ・また、統計の情報以外の目的に**使用されることは一切ありません**。個人の回答が学校やその他の団体に見られることは一切ありません。
- ・あなたご自身やご家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。**答えにくい質問や答えたくない質問には、答える必要はありませんが、プライバシーが守られるよう配慮しておりますので、ぜひありのままをお答えいただきますようお願いいたします。**
- ・この調査票の**質問の「お子さん」とは、この調査票を受け取られたお子さんのことを指します**。そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「お子さん」とは調査票を受け取られたお子さんのみについてご回答ください。

＜この調査票は、お子さんの保護者の方に記入をお願いします＞

【問1】あなたの住んでいる市町村に○をつけてください。(○はひとつ)

・岐阜圏域

- |       |        |       |       |       |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 1 岐阜市 | 2 各務原市 | 3 羽島市 | 4 山県市 | 5 瑞穂市 |
| 6 本巣市 | 7 岐南町  | 8 笠松町 | 9 北方町 |       |

・西濃圏域

- |        |         |        |         |         |
|--------|---------|--------|---------|---------|
| 10 大垣市 | 11 海津市  | 12 養老町 | 13 垂井町  | 14 関ヶ原町 |
| 15 神戸町 | 16 輪之内町 | 17 安八町 | 18 揖斐川町 | 19 大野町  |
| 20 池田町 |         |        |         |         |

・中濃圏域

- |        |         |          |        |         |
|--------|---------|----------|--------|---------|
| 21 関市  | 22 美濃市  | 23 美濃加茂市 | 24 可児市 | 25 郡上市  |
| 26 坂祝町 | 27 富加町  | 28 川辺町   | 29 七宗町 | 30 八百津町 |
| 31 白川町 | 32 東白川村 | 33 御嵩町   |        |         |

・東濃圏域

- |         |         |        |        |        |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 34 多治見市 | 35 中津川市 | 36 瑞浪市 | 37 恵那市 | 38 土岐市 |
|---------|---------|--------|--------|--------|

・飛騨圏域

- |        |        |        |        |  |
|--------|--------|--------|--------|--|
| 39 高山市 | 40 飛騨市 | 41 下呂市 | 42 白川村 |  |
|--------|--------|--------|--------|--|

【問2】あなたのお子さんの生年月を教えてください。

平成（ ）年（ ）月生

【問3】この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 母親                      2 父親                      3 祖母                      4 祖父  
5 その他(具体的に記入してください\_\_\_\_\_)

【問4】世帯人員は何人ですか。

調査対象のお子さん本人を除き、単身赴任などで一時的に別居している方を含んだ人数を記入してください。また、同居している方の中にお子さんと生計を別にしていらっしゃる場合は別と記入してください。

【記入例】

お子さんからみた続柄	祖父母	父母	兄弟姉妹	おじ・おば	その他
人数	2人	1人	1人	1人	0人
生計が別				別	

【解答欄】

お子さんからみた続柄	祖父母	父母	兄弟姉妹	おじ・おば	その他
人数	人	人	人	人	人
生計が別					

## 《 就労について 》

### ●お母さんの就労

【問5-1】お子さんのお母さん(またはお母さんに代わる方)は、現在働いていますか。  
あてはまるものに○をつけてください (○はひとつ)

- 1 働いている ⇒ 問6-1へ  
2 働いていない ⇒ 問5-2へ  
3 お母さんはいない ⇒ 問7-1へ

【問5-2】働いていない方にお伺いします。現在の状況にあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 仕事を探している                      2 専業主婦  
3 定年退職した                              4 学生  
5 その他(具体的に記入してください\_\_\_\_\_)

⇒ 問7-1へ

【問6-1】お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）の現在の職業についてお伺いします。現在のご職業は次のどれにもっとも近いですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

- |                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1 会社役員                                 | 2 民間企業の正社員            |
| 3 公務員などの正職員                            | 4 団体職員                |
| 5 契約社員・派遣社員・嘱託職員                       | 6 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 |
| 7 自営業(家族従業者を含む)                        | 8 自由業                 |
| 9 その他の働き方をしている<br>(具体的に記入してください _____) |                       |

【問6-2】仕事の勤務時間などについてお答えください。A～Cは該当する数字を記入し、D～Gはあてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 普段の1週間あたりの労働日数	日
B 平日、家を出る時間 (最も多い時間帯をお書きください。)	時 分ごろ(24時間制で記入)
C 平日の帰宅時間 (最も多い時間帯をお書きください。)	時 分ごろ(24時間制で記入)
D 深夜労働(22:00～)	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
E 土曜出勤	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
F 日曜・祝日出勤	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
G 副業(主な仕事以外のバイト・内職等)	1 している 2 していない

【問6-3】※問6-1で2～6と答えた方にお伺いします。現在の仕事に雇用期間がありますか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

- 1 期間の定めはない
- 2 期間の定めがある:1年未満
- 3 期間の定めがある:1年以上3年未満
- 4 期間の定めがある:3年以上

●お父さんの就労

【問7-1】お子さんのお父さん(またはお父さんに代わる方)は、現在働いていますか。あてはまるものに○をつけてください（○はひとつ）

- 1 働いている ⇒ 問8-1へ
- 2 働いていない ⇒ 問7-2へ
- 3 お父さんはいない ⇒ 問9へ

【問7-2】働いていない方にお伺いします。

現在の状況にあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| 1 仕事を探している                | 2 専業主夫 |
| 3 定年退職した                  | 4 学生   |
| 5 その他(具体的に記入してください _____) |        |

【問8-1】お子さんのお父さん(またはお父さんに代わる方)の現在の職業についてお伺いします。現在のご職業は次のどれにもっとも近いですか。

あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1 会社役員                                 | 2 民間企業の正社員            |
| 3 公務員などの正職員                            | 4 団体職員                |
| 5 契約社員・派遣社員・嘱託職員                       | 6 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 |
| 7 自営業(家族従業者を含む)                        | 8 自由業                 |
| 9 その他の働き方をしている<br>(具体的に記入してください _____) |                       |

【問8-2】仕事の勤務時間などについてお答えください。A~Cは該当する数字を記入し、D~Gはあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

A 普段の1週間あたりの労働日数	日
B 平日、家を出る時間 (最も多い時間帯をお書きください。)	時 分ごろ(24時間制で記入)
C 平日の帰宅時間 (最も多い時間帯をお書きください。)	時 分ごろ(24時間制で記入)
D 深夜労働(22:00~)	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
E 土曜出勤	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
F 日曜・祝日出勤	1 定期的にある 2 不規則にある 3 なし
G 副業(主な仕事以外のバイト・内職等)	1 している 2 していない

【問8-3】※問8-1で2~6と答えた方にお伺いします。現在の仕事に雇用期間はありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 期間の定めはない
- 2 期間の定めがある:1年未満
- 3 期間の定めがある:1年以上3年未満
- 4 期間の定めがある:3年以上

《 お子さんのことについて 》

【問 9】 お子さんは、現在、学校が終わってからの放課後の時間を、主にどこで過ごしていますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 自宅                        | 2 学童保育施設(放課後児童クラブなど) |
| 3 放課後子ども教室                  | 4 祖父母の家              |
| 5 児童館・児童センター                | 6 友達の家               |
| 7 学習塾、習い事                   | 8 公園                 |
| 9 わからない                     |                      |
| 10 その他(具体的に記入してください: _____) |                      |

【問 10】 お子さんは、放課後、誰と過ごすことが多いですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1 ひとり                      | 2 父・母   |
| 3 祖父母                      | 4 きょうだい |
| 5 友達                       | 6 親戚    |
| 7 先生や指導員などの大人              |         |
| 8 その他(具体的に記入してください: _____) |         |

【問 11】 あなたのご家庭ではお子さん用に次のものをお持ちですか。A～Kについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	1 持っている	持っていない	
		2 必要だと 思わない	3 経済的に 持てない
A 子どもの本(学校の教科書やマンガはのぞく)	1	2	3
B 子ども部屋 (きょうだいと使っている場合も含む)	1	2	3
C インターネットにつながるパソコン (家族共有も含む)	1	2	3
D 子ども専用の勉強机	1	2	3
E そのお子さん専用の文房具	1	2	3
F スポーツ用品(グローブやサッカーボール等)	1	2	3
G ゲーム機	1	2	3
H 多くの子どもが持っているおもちゃ	1	2	3
I 自転車	1	2	3
J 携帯電話・スマートフォン	1	2	3
K 携帯音楽プレイヤー等	1	2	3



【問14-2】※問14-1で「1 している」と答えた方にお伺いします。  
習い事等の種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- |                            |                     |                 |
|----------------------------|---------------------|-----------------|
| 1 体操                       | 2 水泳                | 3 野球・ソフトボール     |
| 4 サッカー                     | 5 テニス               | 6 バスケットボール      |
| 7 卓球                       | 8 バレーボール            | 9 空手・剣道・柔道などの武道 |
| 10 バレエ・ダンス・舞踊              | 11 英会話              | 12 外国語(英語以外)    |
| 13 そろばん                    | 14 習字(硬筆含む)         | 15 絵・工作         |
| 16 ピアノ・電子オルガン              | 17 楽器(ピアノ・電子オルガン以外) |                 |
| 18 ボーイスカウト・ガールスカウト         | 19 科学・自然            | 20 華道・茶道        |
| 21 学習塾(有料)                 | 22 家庭教師             | 23 通信教育         |
| 24 その他(具体的に記入してください _____) |                     |                 |

【問15】お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 1 授業料                        | 2 学用品費(制服、靴、ノートなど身の回りのもの) |
| 3 学習費・教材費                    | 4 学校給食費                   |
| 5 修学旅行費など積立金                 | 6 地域のクラブ活動費または部活動費        |
| 7 学校外の教育費(塾代、家庭教師や通信教育に係る費用) |                           |
| 8 その他(具体的に記入してください: _____)   |                           |
| 9 負担が大きいと感じているものはない          |                           |

【問16】あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。  
A～Cについて、あてはまるものに○をつけてください。  
(○はそれぞれひとつ)

	1 受けさせたい	2 経済的に可能だが必要だと思わない	3 経済的に受けさせられない
A 高等学校	1	2	3
B 短大・高専・専門学校	1	2	3
C 大学・大学院	1	2	3

《 お子さんとの関係について 》

【問17】あなたとお子さんとの関係について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

A あなたは、お子さんと、よく会話をしますか。			
1 よくする	2 する	3 あまりしない	4 しない

B あなたは、お子さんと十分時間を過ごしていますか。			
1 よく過ごしている	2 過ごしている	3 あまり過ごしていない	4 過ごしていない

C あなたは、お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか。			
1 よくする	2 する	3 あまりしない	4 しない

D あなたは、お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしましたか。			
1 よくした	2 した	3 あまりしなかった	4 しなかった

E あなたは、お子さんと一緒に図書館に行きますか。			
1 よく行く	2 行く	3 あまり行かない	4 行かない

F あなたは、お子さんが将来の夢をどう思っているか知っていますか。			
1 よく知っている	2 知っている	3 あまり知らない	4 知らない

G あなたは、お子さんを信頼していますか。			
1 大変信頼している	2 信頼している	3 あまり信頼していない	4 信頼していない

《 あなたの地域や友人・知人、社会との関係について 》

【問18】 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

A 地域の行事に参加していますか。			
1 よく参加している	2 時々参加している	3 あまり参加していない	4 まったく参加していない

B お子さんが通う学校の行事(授業参観や運動会など)に参加していますか。			
1 よく参加している	2 時々参加している	3 あまり参加していない	4 まったく参加していない

C 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる親戚はいますか。			
1 たくさんいる	2 ある程度いる	3 あまりいない	4 まったくない

D 子育てや教育についての悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人はいますか。			
1 たくさんいる	2 ある程度いる	3 あまりいない	4 まったくない

E 同居している家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をしますか。				
1 よく話す	2 時々話す	3 あまり話さない	4 まったく話さない	5 お子さん以外に家族はいない (お子さんと2人暮らしである)

F 生活上の困難(失業や低所得、病気、要介護の状態)を解決するために、地域の人々は、お互いに協力すべきだと思いますか。				
1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらとも言えない	4 あまりそう思わない	5 そう思わない

《 健康状況について 》

【問19】 あなたとお子さんの健康状態についてお伺いします。

もっとも近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

A あなたの健康状態について				
1 良い	2 どちらかといえば良い	3 普通	4 どちらかといえば悪い	5 悪い

B このアンケートの調査対象となっているお子さんの健康状態について				
1 良い	2 どちらかといえば良い	3 普通	4 どちらかといえば悪い	5 悪い

【問20】あなたの心の状態についてお聞きします。過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

	1 全くない	2 少しだけ	3 ときどき	4 たいてい	5 いつも
A 理由もなく疲れ切ったように感じましたか	1	2	3	4	5
B 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
C どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
D 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
E そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
F じっと座ってられないほど落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
G ゆうつに感じましたか	1	2	3	4	5
H 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
I 何をやるのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
J 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

【問21-1】お子さんの状況についてお伺いします。過去1年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 ある ⇒ 問21-2へ
- 2 ない ⇒ 問22へ

【問21-2】※問21-1で「1 ある」と答えた方にお伺いします。

その理由は何ですか。以下の1～7のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 2 公的医療保険に加入していたが、医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため
- 3 子ども本人が(行くのが)嫌だと言ったため
- 4 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 5 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 6 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 7 その他の理由 (具体的に記入してください: \_\_\_\_\_)

《 人生経験について 》

【問 2 2】 お子さんのお母さん(またはお母さんに代わる方)の最終学歴を教えてください。

あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1 中学校                      | 2 高等学校  |
| 3 各種専門学校(高等学校卒業後)          | 4 短大・高専 |
| 5 大学(4年制)・大学院              |         |
| 6 その他(具体的に記入してください: _____) |         |
| 7 お母さんはいない                 |         |

【問 2 3】 お子さんのお父さん(またはお父さんに代わる方)の最終学歴を教えてください。

あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1 中学校                      | 2 高等学校  |
| 3 各種専門学校(高等学校卒業後)          | 4 短大・高専 |
| 5 大学(4年制)・大学院              |         |
| 6 その他(具体的に記入してください: _____) |         |
| 7 お父さんはいない                 |         |

【問 2 4】 あなたの15歳頃のご家庭の様子をお伺いします。

あなたの15歳頃のご家庭は、次のどの形態でしたか。

あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 子どもと両親のみの世帯
- 2 母子世帯・父子世帯(子どもと祖父母の場合も含む)
- 3 三世代世帯(子ども・父母・祖父母の世帯)
- 4 その他(具体的に記入してください: \_\_\_\_\_)

【問 2 5】 あなたが15歳頃のご家庭の暮らしの状態はどうだったと感じますか。

あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- |            |            |      |
|------------|------------|------|
| 1 大変苦しい    | 2 やや苦しい    | 3 普通 |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある |      |

《 現在の暮らしについて 》

【問26】あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

- 1 大変苦しい                      2 やや苦しい                      3 普通  
4 ややゆとりがある              5 大変ゆとりがある

【問27】あなたのご家庭の通常の家計の状況について、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)

※なお、住宅ローンの支払いなどローンに関するものも、支出に入れて下さい。

- 1 赤字であり、借金をして生活している                      2 赤字であり、貯蓄を取り崩している  
3 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである                      4 黒字であり、余裕がある  
5 黒字であり、毎月貯蓄をしている

【問28】あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。  
あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

A 食料が買えなかった経験			
1 よくあった	2 ときどきあった	3 まれにあった	4 まったくなかった

B 衣料が買えなかった経験			
1 よくあった	2 ときどきあった	3 まれにあった	4 まったくなかった

【問29】あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができなかったことがありましたか。  
A～Hについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

	1 あった	2 なかった	3 該当しない
A 電気料金の未払い	1	2	3
B ガス料金の未払い	1	2	3
C 水道料金の未払い	1	2	3
D 電話料金の未払い	1	2	3
E 家賃の滞納	1	2	3
F 住宅ローンの滞納	1	2	3
G 給食費の滞納	1	2	3
H その他の未払い	1	2	3

【問30】あなたの世帯では、過去10年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。  
あてはまるものに○をつけてください (○はひとつ)

- 1 あった                      2 なかった

【問31】 あなたはお子さんのために次の公的制度を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（○はそれぞれひとつ）

	利用している、 利用したことがある	利用したことはな いが、知っている	制度を知らない
A 児童手当	1	2	3
B 児童扶養手当	1	2	3
C 就学援助	1	2	3
D 生活保護	1	2	3
E 児童相談所(児童福祉司)	1	2	3
F スクールカウンセラー	1	2	3
G スクールソーシャルワーカー	1	2	3
H 高等学校等就学支援金	1	2	3
I 奨学のための給付金	1	2	3
J 母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3
K 生活福祉資金貸付金	1	2	3

## 《 収入について 》

【問32】 最近のあなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。なお、単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。  
あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

<世帯収入(合算値)について>

世帯のすべての方の すべての収入の合計	-	税(所得税・住民税など) 社会保険料	=	世帯収入 (手取り額)
------------------------	---	-----------------------	---	----------------

※収入とは、勤労収入(パート・アルバイトを含む)、事業所得(自営業等)、農業所得、不動産所得、利子・配当金、公的年金、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当)、個人年金、出稼ぎなどによる別居親族からの仕送りなど、すべてを含めた金額です。

※世帯が生活するための収入として、お父さんやお母さんの勤労収入、おじいさん・おばあさんの年金など、複数の収入源がある世帯は、すべての方の収入のおおよその合計額を教えてください。

※手取り額とは、所得税・住民税などの税額、健康保険料や年金保険料・介護保険料を支払った後の金額になります。社内貯金や住宅ローンなど、給与から天引きされる貯蓄・借金等がある場合には、天引き前の金額になります。

世帯収入(合算値) ※ 世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額

A 収入はない	B 50万円未満	C 50～100万円未満	D 100～150万円未満
E 150～200万円未満	F 200～250万円未満	G 250～300万円未満	H 300～350万円未満
I 350～400万円未満	J 400～500万円未満	K 500～600万円未満	L 600～700万円未満
M 700～800万円未満	N 800～900万円未満	O 900～1000万円未満	P 1000万円以上

【問 3 3】世帯収入(合算値)のうち、次のものについて、それぞれの額を教えてください。  
 受給していない方は「2 受給していない」に、不明な方は「3 わからない」に○をつけてください。

A 児童手当	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない
B 児童扶養手当・ 特別児童扶養手当	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない
C 公的年金	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない
D 生活保護・準要保護	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない
E その他 (養育費・奨学金(貸付を含む)等)	1 受給している (月額 万円)	2 受給していない	3 わからない

【問 3 4】世帯収入(合算値)に含まれている、お子さんの親のおおよその年間収入を教えてください。お母さん、お父さんのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ○はひとつ)

●お母さん

A 収入はない	B 50万円未満	C 50～100万円未満	D 100～150万円未満
E 150～200万円未満	F 200～250万円未満	G 250～300万円未満	H 300～400万円未満
I 400～500万円未満	J 500～600万円未満	K 600～700万円未満	L 700万円以上
M 世帯収入に含まれていない	N 不明	O お母さんはいない	

●お父さん

A 収入はない	B 50万円未満	C 50～100万円未満	D 100～150万円未満
E 150～200万円未満	F 200～250万円未満	G 250～300万円未満	H 300～400万円未満
I 400～500万円未満	J 500～600万円未満	K 600～700万円未満	L 700万円以上
M 世帯収入に含まれていない	N 不明	O お父さんはいない	

《 支出について 》

【問 3 5】あなたの世帯(生計を共にしている方)の1ヶ月の平均的な支出(住宅ローン等の借金返済含む・税額等は含まない)はどれくらいですか。  
 あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

A 1万円未満	B 1万円～5万円未満	C 5万円～10万円未満	D 10万円～15万円未満
E 15万円～20万円未満	F 20万円～30万円未満	G 30万円～40万円未満	H 40万円～50万円未満
I 50万円以上			

【問36】あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の食費について、平均的な支出はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 5千円未満	B 5千円～1万円未満	C 1万円～1万5千円未満	D 1万5千円～2万円未満
E 2万円～2万5千円未満	F 2万5千円～3万円未満	G 3万円～3万5千円未満	H 3万5千円～4万円未満
I 4万円～5万円未満	J 5万円～6万円未満	K 6万円～7万円未満	L 7万円～8万円未満
M 8万円～9万円未満	N 9万円～10万円未満	O 10万円以上	

【問37】あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の住居費（家賃・住宅ローン）について、平均的な支出はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 支出はない	B 5千円未満	C 5千円～1万円未満	D 1万円～1万5千円未満
E 1万5千円～2万円未満	F 2万円～2万5千円未満	G 2万5千円～3万円未満	H 3万円～3万5千円未満
I 3万5千円～4万円未満	J 4万円～5万円未満	K 5万円～6万円未満	L 6万円～7万円未満
M 7万円～8万円未満	N 8万円～9万円未満	O 9万円～10万円未満	P 10万円以上

【問38】このアンケート調査の対象となっているお子さん1人について、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかける1ヶ月あたりの平均の支出はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

A 支出はない	B 5千円未満	C 5千円～1万円未満	D 1万円～1万5千円未満
E 1万5千円～2万円未満	F 2万円～2万5千円未満	G 2万5千円～3万円未満	H 3万円～5万円未満
I 5万円以上			

### 《 お子さんへの支援について 》

【問39-1】次のうち、利用したいと思うものについて、あてはまるものに○を付けてください。（それぞれ○はひとつ）

	1 すでに利用している	2 利用したい	3 利用したくない	4 必要だと思わない
A 子ども食堂	1	2	3	4
B 子どものための無料の学習塾	1	2	3	4
C 子どものための無料の体験活動	1	2	3	4

※「子ども食堂」とは、子どもがひとりでも時間を過ごすことができ、無料あるいは安価に食事ができる場所のことを言います。

【問39-2】※問39-1で「3 利用したくない」「4 必要だと思わない」と回答した方に伺います。

その理由としてあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	理 由
A 子ども食堂	1 家で食事ができるから 2 制度をよく知らないから 3 近くにないから 4 知らない人と関わりたくないから 5 貧しいと思われたくないから 6 その他 ( 具体的に記入してください )
B 子どものための無料の学習塾	1 有料の塾に通っているから 2 制度をよく知らないから 3 近くにないから 4 知らない人と関わりたくないから 5 貧しいと思われたくないから 6 その他 ( 具体的に記入してください )
C 子どものための無料の体験活動	1 すでに習い事やクラブ活動をしているから 2 制度をよく知らないから 3 近くにないから 4 知らない人と関わりたくないから 5 貧しいと思われたくないから 6 その他 ( 具体的に記入してください )

※これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

最後に、暮らしやお仕事、お子さんについてなど、制度や支援策へのご要望やご意見などがありましたらご自由にお書きください。



この調査票は、茶色の郵送用封筒に入れて、お子さんの「子ども票提出用封筒」と一緒に入れてテープで閉じて郵送してください。

# 清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

**知**

清流がもたらした  
自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

**創**

ふるさとの宝ものを磨き活かし、  
新たな創造と発信に努めます

**伝**

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

---

## 岐阜県「子ども調査」報告書

---

令和6年3月

発行：岐阜県健康福祉部子ども・女性局子ども家庭課

住所：〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL：058-272-1111